答申を踏まえた基本的な方向性に係る市民意見募集の実施結果

１．実施概要

実施概要	
実施期間	令和７年７月１日(火)～９月９日(火)　約２か月間
意見提出方法	インターネット入力フォーム、リーフレット付属はがき
リーフレット配架場所	・市民情報センター（市役所３F） ・各区役所　広報相談係 ・行政サービスコーナー、図書館等の PR ボックスなど
周知方法	・LINE、X、Instagram、Facebook ・パマトコ ・プレゼンテーションスペース ・みなとみらい線各駅デジタルサイネージ ・各区役所のデジタルサイネージ

２．実施結果

（１）　意見総数

2610 件

（２）対応状況と定義

対応状況	説明	意見数	割合
反映	ご意見の一部または全部を反映したもの	891 件	34.2%
包含・賛同	ご意見の一部または全部が、基本的な方向性の内容に含まれている、もしくは、賛同いただいたもの	755 件	28.9%
参考	今後の参考とさせていただくもの	648 件	24.8%
その他	本事業に関連しないもの	316 件	12.1%
		2610 件	100.0%

反映

対象の見方

≪記載例１≫
対象：Ⅰ-1-(1)
事業計画案記載場所：第５章　事業の方針
テーマⅠ　世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間
取組方針１　多くの人々の関心を惹く緑・海辺空間
(1) 周辺地域と連なる水際線と、都市を包み込む緑・海辺空間の創出

≪記載例２≫
対象：その他
事業計画案記載場所：第５章以外

【凡例（事業の方針の各テーマ)】
Ⅰ：テーマⅠ　世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間
Ⅱ：テーマⅡ　持続可能なまちを支える明日へのイノベーション
Ⅲ：テーマⅢ　活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい
Ⅳ：テーマⅣ　市民が結ぶ新たなまちの環
イ：「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構築と空間整備

計　891 件

No	意見全文	対象
No1	『答申を踏まえた基本的な方向性』の中で、その答申で強調された「まちづくりへの市民の関わり」については、第４章「再開発のテーマと取組の考え方」２「市民が結ぶ新たなまちの環 」の項で４つの「市民参画のイメージ」が挙げられている。「豊かな緑海辺空間における環境保全や交流促進の取組」「イノベーションにより生まれた最先端技術の体験・体感」「オープンスペースの活用等によるにぎわいづくりと地域活性化」「国内外からの来街者を迎え、もてなす温もりある環境づくり」との文言に画像が添えられている。さらに、将来像としての図表には、３つあるテーマの結節点に「市民が結ぶ新たなまちの環」が置かれ、「市民の皆様をはじめとする多様な主体が参画できるまちづくりの考え方」が示されていると謳ってもいる。 提示されたイメージから市民活動の様子を想像してみよう。与えられた空間で与えられた事を消費する消費活動の主体としての受動的な市民の姿が彷彿できる。いずれの活動も長期的な視点を欠き、拠り所となる理念が見当たらない。文化を創造し、新たな価値を創出する能動的な主体としての市民の姿をそこに見出すことは容易ではない。都市住民が単なる消費活動の主体としてしか扱われていないことと、都市空間が開発業者の草刈り場のような様相を呈しているのとは軌を一にして進行していくようだ。資本主義の高度化が進めば、個人の思考、価値観に加え感性までが資本によって包み込まれてしまい、資本主義の価値観を完全に内面化してしまう人間が増えて来るのだろう。専ら消費主体としての市民だけでは、次世代の市民のためのまちづくりは覚束ない。消費は短期的で近視眼的活動でしかないが、まちづくりには長期的で巨視的視点が必要とされるからである。 『基本的な方向性』に挙げられた市民参画は、消費主体としての市民参画でしかなく文化創造の主体としての市民参画ではない。山下ふ頭の一角に市民が企画運営する、次世代の市民に向けた文化創造交流拠点を設けるという市民の要求は満たされていない。行政と開発業者による、消費者の市民のための、偽りの市民の山下ふ頭は要らない。市民が求めるのは、真の「市民の市民による市民のための山下ふ頭」である。市民が巻き返すのは容易ではないが、侮辱された横浜市民の底力を発揮するのは今でしょう。	Ⅳ
No2	市の収入が増えるような方策を期待しています。 現在でも週末などはイベントなどで新港地区やみなとみらい地区が混雑し動かなくなることがある。山下ふ頭内を駐車場として運用するなどの暫定利用しそこから臨時シャトルバスを出すなど混雑が分散するような方策を検討してほしい。	Ⅱ-1-(1) イ-1-(2)
No3	山下ふ頭の再開発において、「緑と海辺」というテーマを活かしつつも、横浜の国際都市としての魅力をさらに高めるためには、象徴的かつ先進的な建築物による大胆な再開発が必要と考えます。 具体的には、展望台やレストランを備えた高層ビルを整備し、ホテル、国際会議場、アート施設、スタートアップ向けオ	Ⅰ-1-(1) Ⅱ-1-(3) Ⅲ-1-(1) イ-1-(2)

	フィスを併設した複合拠点を提案します。シンガポールのマリーナベイサンズをモデルに、太陽光パネルや雨水再利用システムを導入し、緑豊かな屋上庭園で「緑と海辺」のテーマを体現。夜景を彩る LED ライトアップで横浜のスカイラインを一新し、観光とビジネスの両方を支えるランドマークを創出します。 さらに、海辺の立地を生かし、ビーチフロントにオープンカフェや海上デッキを設け、水上交通や水上アクティビティを提供することで、海との一体感を高め、観光客に新たな魅力を提供できます。 また、野外アリーナやチームラボのような体験型展示を設けることで、若者や観光客を引きつける賑わいを創出できます。また横浜トリエンナーレ、開港祭との連携、地元企業（崎陽軒や横浜ビール）とのコラボ企画で地域色を強化します。 交通面では、水上交通の山下ふ頭専用の新桟橋を設置し、水上バスや観光船でみなとみらいと直結。また Baybike や循環バスと連携したアクセス向上を提案します。 山下ふ頭は、単なる緑地公園に留めるにはとても惜しい立地です。横浜が国際都市として飛躍するため、未来の誇りとなる革新的な空間創出を強く望みます。	イ-3-(1)
No4	ベイブリッジの内側で、ベイブリッジをくぐれない大型客船があるわけですから、IR にするには役不足な立地です。 F-1 等の自動車レース用のサーキットを建設し、周辺の道路と融合して市街地コース化する。サーキット内側には市営のサッカー専用スタジアム建設し、マリノス、横浜 FC、YSCC などの共有のホームスタジアムとする。 海は浅瀬を作り、アマモを植え、透明度の高い綺麗な伊豆のような海辺を作る。あらたな釣り施設やマリーナの設置。道の駅。海の駅。	Ⅰ-2-(1)
No5	市民が安心して過ごせる空間にしてほしい 犯罪が減るよう、取締りを強化して下さい 外国人のトラブルを厳しく取り締まってほしい SDGS は海外ではカルトとして認識されているので、やめてほしい	イ-2-(1)
No6	予算のことは一切考えていないから予算を示さないんですか。 赤字垂れ流しはやめてください。 稼ぐことは全く考えずに、税金を無限に使うことしか考えていないように思えます。　赤字を増やす行為はやめてください。	Ⅱ-1-(1)
No7	赤字反対です。 税金を使っている意識すら無くなっているんですか。 税金を無制限に使えると思っているんですか。　赤字を減らそうとする意識すらないのですか。	Ⅱ-1-(1)
No8	NY のセントラルパークに行ったことがありますが、とても良い公園でした。山下埠頭は、海に面しているので、その利点を生かした空間にして欲しいです。MM21 は、海と陸とが断絶しています。海が目の前にあるのに海には入れませんし、ボートがつけられるわけでもありません。そういう意味では湘南の海岸のほうが良いです。MM21 に行ったところで、港が見えるだけで海に入れるわけでもなく、海に出られるわけでもないですから。。。	Ⅰ-2-(1)
No9	ドバイには「世界一」「豪華絢爛」「奇抜」な建物が多くあります。世界一高いビル「ブルジュハリファ」や世界最大の観覧車「アイン・ドバイ」のような、観光施設が建設されると、観光客が増加するでしょう。　観光客が増加すると、経済成長につながります。山下埠頭の海上周辺にも是非ドバイを超える世界一の噴	Ⅰ-1-(1) Ⅱ-1-(2) Ⅲ-1-(1) イ-1-(3)

	水ショーを作って、世界中の人々にとって死ぬまでに是非一度行ってみたい世界最大の噴水ショーが日本横浜にあると名を挙げてほしいです。また、山下埠頭に世界で 2 つしかない 7 つ星ホテルや世界一大きいショッピングモールや大型な人工砂浜ビーチを作って、市民や観光客が気軽に体験出来るリゾートエリアとして生まれ変わってほしいです。また、山下公園周辺地区と連携して、New York ブロードウェイみたいなミュージカルなどのショー/エンターテイメント集約エリアになって、毎晩ここしか見れない噴水ショーやミュージカルやライブのために夜まで滞在して、カフェやレストランで食事したり、近くのホテルで宿泊したり、ナイトタイムエコノミーの拡大に繋がります。また、山下公園周辺地区と連携して、シンガーポールや香港のセントラル地区を中心に広がるペデストリアンデッキネットワークの形成を再開発の段階で地区協定に盛り込まれてほしいです。垂直な公共空間、空中歩廊は市民や観光客やビジネスマンの活動の QOL を大きく向上します。エリア内でどこのビルに移動しても日差しを気にぜず、雨に濡れず、傘フリーで信号待ちなしで山下埠頭から山下公園周辺のビル群や駅まで自由自在に移動出来るように計画できれば、街全体が一体化します。また、海に向かって奇抜なランドマーク的なオフィスビルかホテルの屋上からバンジージャンプが出来たり、海上でフライボート体験したり、次世代空飛ぶジェットスーツを体験できたり、ユニークな体験をしたいです。ここ山下埠頭で唯一無二の体験が色々出来る場所として生まれ変わっってほしいです。地区内のあっちこっちでドロンやロボットによるデリバリーや街案内や清掃、最先端テクノロジーの実験場になってほしいです。また、エリア内でありとあらゆる場で海とグリンな植栽を眺めながら座れるベンチやアウトドアソファや芝生を作ってほしいです。朝日や夕陽や夜の噴水ショーを眺めながら芝生でヨガーやフラダンスの授業を体験したいです。	
No10	上記の内容に追加する形で、世界一のショッピングモールを山下埠頭に完成してもらいたいですが、ショッピングモールの屋上に是非 3 面の海を眺めれるリゾート感満開の公園に山下公園の 5 倍広い大規模な芝生とシンガーポールのマリーナベイのインフィニティプールみたいな大規模なおしゃれなプールを市民が無料で観光客が有料で利用出来る施設を作ってほしいです。屋上の芝生で子供が裸足で遊んだり、ママたちが芝生で海を眺めながら健康意識を高めれるヨガクラスに参加できたり、屋上での運動が終わったら、ショッピングモールの中にある各種健康メニューが提供されるいろんな料理のレストランで食事したり、ここに来たら体と心が着実に健康になるような、毎日来たくなるような非日常的な場所になってほしいです。	Ⅰ-1-(1)
No11	横浜屈指のウォーターフロントとして、多くの観光客の玄関口である可能性を鑑みて、スポーツや音楽、娯楽施設を兼ねたスタジアムを建設するのがよいと考えます。 県民ホールや産業貿易センタービルなどの一部老朽化している施設が並ぶ山下公園もこちらに併せ、統一感をもたせるように一新し、演劇や映画等のアート作品が楽しめるようにしていただくとよいと思います。それにより大桟	Ⅲ-1-(1)

	橋から山下ふ頭への流れも作れると考えます。	
No12	・文化イベント方向性：近隣に日産スタジアム、みなとみらい各種施設その他多数の文化施設が近隣に存在する 近隣の文化施設のイベント開催状況を定期的に分析しつつ、これら施設と競合しない形での文化イベントや「山下ふ頭らしい」新たな横浜文化の創出・創造・横浜伝統文化との融合等を模索することが望ましい。 ・「横浜の新たな象徴となる魅力的な景観デザイン」について：世界に魅せる、時代を超えて愛される都市景観の創出、都心臨海部全体との調和と個性の発揮のバランス、山下ふ頭ならではの景観体験の創造の方向性は概ね良いと思うが、港街・海・開港以来の歴史伝統等も考慮することを要望する。 ・交通機能で言うと、東京の新交通システムゆりかもめは、外見上は全区間同一運営主体であるも、運行区間により整備主体：建設局・適用法令：軌道法の場合と整備主体：港湾局、適用法令：鉄道事業法であったりと法律適用関係が複雑怪奇になる。したがって、今回の山下ふ頭の新交通機能の整備に関しては、交通機能整備と法令適用はなるべくシンプルにすることが望ましい。 ・新施設や再開発を整備・文化イベント開催した場合、全体のパイは増えないまま誘客の争奪戦・パイの奪い合いになる場合もある（特に、近隣の横浜駅周辺、みなとみらい等）。上述事項とも関連するが、近隣の文化イベント開催傾向や近隣施設と重複しない内容・形式等での「山下ふ頭ならでは」「世界の YOKOHAMA/YAMASHITA ブランド」と言えるコンテンツ確立を様々な手法で実証実験し、「山下ふ頭ならでは」「「世界の YOKOHAMA/YAMASHITA ブランド」の確立に向けて取り組んでいただくことを要望する。	Ⅳ
No13	横浜市内は、多数の横浜の現場視察経験有。本件意見書は、地方公務員法等による、より良い横浜市運営及びより良い地方自治実現に向けた中立的法律意見記載公文書である。 横浜市の最新の中期計画によれば、「共にめざす都市像（めざす未来の具体像）」は、「暮らしやすく誰もが WELL-BEING※を実現できるまち」「人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続けるまち」「変化する時代・社会に適応し、市民生活や 都市を支える新しい在り方を実現し続けるまち」という戦略方向性である。 横浜市基本戦略「子育てしたいまち、次世代を共に育むまちヨコハマ」のうち、山下ふ頭再開発に法的に関連すると考えられる戦略は、テーマ２「未来を育むつながり・自然・文化・学びに溢れるまち」 テーマ３「住居・交通・仕事において便利で選ばれるまち」テーマ４「未来を育むつながり・自然・文化・学びに溢れるまち」テーマ５「将来の世代にわたり安全・安心に暮らせるまち」の４項目に法的関連性を有すると考えられる。 山下ふ頭再開発は、上記横浜市の顔及び中心部に関する重要テーマであることから、今回の方向性については、横浜市中期計画及び戦略のどの部分の項目についての関連性を有するかを明確に記載することが望ましい。 コンセプト用語について：「旅のデスティネーション」「シビックプライド」と安易に英語を使用しているが、中途半端に英語を使用頻用することは望ましくない。日本語でわかりやすい表現に見直しを要望する。 理由：横浜は明治維新後の開港で新たな文化の交差	その他

	点であった。明治維新後は外国用語を新たに日本語に創出置換え等、先人の日本語発展への努力を鑑みると、令和日本語発展の努力不足である。よって、努力を横浜から見せることが望ましい。	
No14	・ガンダムイベント開催なども実際視察したが、方向性にあるように元町中華街駅からの該当地までの旅客導線とその旅客誘導の流動性は課題として具体策の検討を要望する。 ・市有地、国有地が敷地の大部分であることを考えると、公的・準公務的利活用が順当、特に、港町横浜の背景、海の背景や地の利、山下公園等～山手・元町・旧居留地文化等の地の利を活かした横浜ならではの文化イベント、横浜ならではのコンテンツを定期的に入れ替えながら利活用することが相当。 ・彼我比較として、首都圏東京都も、東京臨海地区は方針上、新たな技術実証の試験場として利活用し、そのノウハウを東京都内に水平展開する場としても活用するとともに、新たな江戸東京文化の創造発展等に活かすための施策を展開 上記彼我比較からも、横浜の顔としての資産である神奈川中心地、港町や旧居留地の歴史等を活かしつつ、新たな横浜ならではの文化創造と歴史との融合の実証実験の地として活用することも良い。 ・なお、近隣に横浜スタジアム、日産スタジアム、その他多数の文化施設が存在することから、これら施設と競合しない形の文化イベントや新たな横浜文化の創出・創造・横浜伝統文化との融合等を模索することが望ましい。 ・方向性にあるように、緊急時の輸送物資等のための接岸機能は残存させ、イベント用空地（敷地）をドクターヘリ、市輸送用ヘリ、GREEN EXPO 開催などの輸送拠点として活用（該当敷地の利用は、公務・準公務レベル（県庁・横浜市役所レベルに留め、在日米軍などの安全保障関連の使用はあくまでも対岸にある瑞穂埠頭利用に留めること） ・巨額の設備投資を行うと、それに対応したメンテナンス費用やメンテナンスの手間も莫大な労力になる よって、空き敷地を多目的で柔軟かつ活用できるようにするとよいのではないだろうか。 例：東京都の実施例を見ると、東京ビックサイト・代々木公園・不忍池・日比谷公園等のイベントスペースにおいて１年を通して多種多様な経済文化イベント等が開催されている。方向性にあるように「横浜駅～みなとみらい～山下公園～旧山下居留地・山手地区・元町中華街」の地区とは「連続性・密接性を保有させるとともに、環境変化に柔軟性に対応でき、かつ、右地区とは変化も持たせる」ことを重視し、新たな横浜文化の創造の実証実験の場＆横浜歴史文化との融合等を目指すことが望ましい。	イ-2-(2)
No15	巨大ショッピングモール(ハイブランドメイン) シンガポールのような大規模。大桟橋や新港埠頭にクルーズ船が多く入港するようになったがあまり多くお金を落としていないように感じる。ハイブランドなどが免税できるようにしたい。また資料館や体験型の施設があり、横浜の歴史や文化に触れられる。食文化も歴史のある様々な食べ物、横浜発祥のものも多いので展開。あとはアニメのグッズ販売や施設。屋上には緑の多い広場で飲食や日本らしい 1 年中祭りのような縁日、足湯など。花火にもリンクできる。広場は災害時に開放できるような施設で、トイレは海水を使用できるものや飲水も海水からろ過できる装置などの導入も	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(1)

	良い。理想は農園があり、自給自足もできる施設になる。	
No16	人不足が叫ばれている中で、山下ふ頭までの長距離バスの乗務員の人員確保は実現可能ですか。　万博などでもバスの運転手集めに苦労しているとニュースになっていたと認識しています。 路線バスの運転手も大量離職や人材獲得競争の激化で、予定人数が集まらないとニュースでなっていたと認識しています。山下ふ頭までの長距離バスの乗務員は、路線バスの乗務員から引き抜きをするのですか。 路線バスの乗務員の人員不足が加速してしまうと思います。　どのように山下ふ頭までの長距離バスの乗務員を集めるのか具体的に実行可能な案を教えてください。 何も考えずに計画した訳ではありませんよね。 具体的に実行可能な案を教えてください。	イ-1-(2)
No17	今回の計画全体に関わる意見です。現在日本でもまた世界でも食の問題が大きく注目されています。食料システムで排出する CO２は全世界の 1/3 という数字も出ています。また、食料システムの持続可能死性も大きな問題です。 横浜は食料生産では他県にかないませんが、新しい技術・フードテックを生かすことは可能かと思います。また、海辺の賑わいには、シーフードガ欠かせません。しかし、水産物は持続可能でないものも多いです。この点も、飲食店が扱う材料は、持続可能なエコラベルのついたものであったほしいです。 いずれにしても、今回の基本計画における「食」が一言もないことには不安と失望を感じます。ぜひ食に関する考え方を加え、よいスパイスとしてほしいです。	Ⅰ-2-(1) Ⅱ-1-(1)
No18	３、山下ふ頭における歴史遺産の保存及び観光資源活用について　山下ふ頭にはかつて山下ふ頭駅、山下臨港線が存在した。その一部は現在の山下ふ頭入口交差点付近に線路跡が残存します。 横浜から新橋は明治時代に鉄道が開通した歴史があり、山下臨港線も横浜港の港の物流を支えた重要な歴史的価値を示します。　東京都内においては、旧新橋停車場、品川高輪築堤、渋谷と横浜を結ぶ東横線地下化再開発(渋谷ストリーム、渋谷から代官山地区)など、鉄道の歴史的価値を保存しつつ再開発を行い、歴史的価値の保存継承と再開発を両立させ、観光資源としても活用しています。　現在の山下ふ頭入口部及び交差点部は山下ふ頭駅及び山下臨港線鉄道遺産保存のために、現在よりも東側(交番右手方向)に移設し、山下ふ頭観光資源として活用が望ましいと提言します。　また、渋谷ストリーム東急東横線線路跡や北海道稚内駅日本最北端の線路跡記念碑のように山下ふ頭内にかつて配置されていた山下ふ頭駅鉄道線路跡を復元し、観光資源として活用することは、横浜の港、歴史、伝統的な文化と再開発の両立にかなうことになるので、必要な彼我比較資産等を実際に視察したうえで、山下ふ頭歴史遺産の保存及びご一考をお願いしたい。	Ⅲ-1-(1)
No19	市民として 50 年以上横浜で暮らしています。 みなとみらいなど過去に再開発が行われた地区は、みなとみらい線ができてものの、臨港パークや赤レンガ倉庫など海辺は駅から遠く、車で行くことが中心です。しかし、休日や花火などイベントがあると大渋滞で嫌になります。 現在の山下埠頭は、どうやって行けばよいのか、最寄りの駅は元町中華街なのかもしれませんが、アクセスがわかりづら	Ⅱ-1-(3) イ-1-(2)

	いです。 埠頭内にみなとみらい線が延伸されたり、直接幹線道路が入り、ディズニーランドぐらいの大規模な駐車場がないと、元町や中華街周辺の道路が大渋滞を頻繁におこすのではないでしょうか？　また、幼なじみが山下埠頭内で働いていますが、将来の働く場所を心配しています。再開発後の将来の駐車場経営や商業施設などの事業にかかわれる仕組みがあると、現在港で働いている人が安心かと思いますし、地元で育った若者の憧れの働く場所になるようお願い致します。	
No20	人材不足が叫ばれている現在、どのようにして長距離バスの運転手を集めるのですか 特に運転手不足が深刻化していると思います 実現可能だと本当に思っているんですか 実現できると思っているなら具体的な方法を教えてください	イ-1-(2)
No21	１番目の欄より続く　例えば、旧横浜博覧会においても、山下臨港線の跡を最大活用した旅客輸送を実施した実施実績があるため、山下ふ頭における歴史遺産の活用と未来視点を融合させる視点・観点を基本コンセプトに盛り込むことが望ましい。 横浜市としては、横浜駅周辺、みなとみらい、関内・関外地区の統合的な発展を目指しているわけであるから、上記地区との差別化を図りつつも、上記地区との連携性を保有する基本コンセプトの観点を記述追加することが望ましい。　法的見解及び法的提言事項 2025 年 6 月 27 日「山下ふ頭再開発 答申を踏まえた基本的な方向性」への、「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」という観点反映、及び、「「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」に基づく具体的再開発計画の具現化　２、山下ふ頭再開発計画方向性基本コンセプトに「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」を記述追加することで具現化が想定される山下ふ頭再開発計画の想定歴史の継承：横浜の開港文化、山下臨港線、横浜港の歴史を体現。 未来志向：脱炭素技術やスマートシティの先端技術を導入。 地区連携：横浜駅、桜木町、みなとみらい、関内、山下公園、山手歴史地区、元町中華街、三渓園、根岸住宅跡地再開発予定地区・根岸森林公園等を結ぶ回遊性と一体感を強化。 市民参加：多様な意見を反映し、市民が誇れる空間を創出。 中期計画との整合：子育て支援、防災対策、観光強化、データ活用を反映。　【上記の基本コンセプトを追加した場合の再開発プランの具体案】　・緑と水辺を活用した公園・プロムナード 山下ふ頭の約 50%を緑豊かな公園として整備。横浜港の景観を活かし、市民や観光客が憩えるオープンエリアを創出。　・山下臨港線プロムナード延長部を整備し、桜木町の汽車道、みなとみらいの水際プロムナードと接続する連続した遊歩道を整備。歩行者・自転車動線を強化し、地区間の回遊性を向上。　・海辺にテラスやカフェを設置し、横浜ベイブリッジや港の夜景を楽しめるスポットを整備。　・歴史文化の体現山下臨港線の歴史を活かし、高架跡の一部を保存・展示する「開港歴史ゾーン」を設置。初代横浜駅を模したデザインや横浜博覧会のモニュメントを配置。　以下３番目の欄に続く	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No22	２番目の欄より続く　・横浜の開港文化をテーマにしたインタラクティブな博物館を整備。生糸貿易や西洋文化の導入を体感できるコンテンツを提供。　・山	Ⅱ-1-(1) Ⅱ-2-(3)

	下公園、氷川丸、マリンタワー、山手地区、元町等と連携した観光ルートを構築。 ・交通の結節点として、令和３年に跡地利用計画が公表されている根岸地区、山手地区、三渓園等の歴史地区と山下ふ頭などを結ぶ観光ルートを構築。 ・イノベーションと脱炭素の拠点スマート技術を導入した「イノベーション・ハブ」を整備。スタートアップや大学と連携し、AI、クリーンテック、海洋関連産業を誘致。 ・再生可能エネルギー（太陽光、風力、波力）を活用したエネルギー自給型の施設を導入。脱炭素モデル地区として、環境配慮型の建築基準を採用。 ・データドリブンを活用し、来訪者データの分析やスマートモビリティ（電動シャトル、シェアサイクル）を導入し、横浜駅やみなとみらいへのアクセスを強化。 ・賑わい創出と観光強化国際会議（TICAD9 など）やイベント（横浜トリエンナーレ、音楽フェス）を開催可能な多目的アリーナを建設。 ・地元食材や元町中華街と連携した多国籍フードホール、高級ホテル、スパ施設を誘致し、国際的な観光地としての魅力を強化。 ・子育て世代向けに、短時間預かり施設やキッズパークを整備し、中期計画の子育て支援策と連携。 ・地区連携性の強化横浜駅、桜木町、みなとみらい、関内、山下公園、山手、元町中華街を結ぶ観光シャトルバスや水上タクシーを導入。山下ふ頭を起点とした周遊ルートを確立。 ・AR 技術やデジタルマップを活用した観光案内システムを導入し、地区間の歴史文化をシームレスに体験可能に。 ・防災・減災対策中期計画に基づき、感震ブレーカーや耐震補助を導入した施設を整備。避難所機能を持つ多目的スペースを確保。 上記コンセプト反映による山下ふ頭繁栄の将来予測： １，期待される効果経済効果：観光客増加やイノベーション企業の誘致により、横浜経済の活性化。 ２、文化的価値：開港以来の歴史を継承し、国際的な認知度を向上。 ３、環境貢献：脱炭素モデル地区として、持続可能な都市開発の先駆けに。４、地区連携：横浜の各エリアの魅力を統合し、国際港湾都市のブランド力強化。５、「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」の実現。	Ⅲ-1-(1) Ⅲ-1-(2) Ⅲ-2-(1) イ-1-(2)
No23	（１）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保 ・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。 人材不足が叫ばれている中で、長距離バスの乗務員が集まると思いますか。 路線バスの運転手の人員不足がニュースになっています。生活に必要な路線バスの運転者不足を加速させないでください。 長距離バス乗務員より路線バスの運転者の方が生活に大切です。	イ-1-(2)
No24	（１）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保 ・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。 人材不足が叫ばれている中で、長距離バスの乗務員が集まると思いますか。 路線バスの運転手の人員不足がニュースになっています。生活に必要な路線バスの運転者不足を加速させないでください。 長距離バス乗務員より路線バスの運転者の方が生活に大切です。 どのようにして、運転手を集め	イ-1-(2)

	るのか具体的な考えを明確に教えてください。	
No25	山下公園、みなとみらい、横浜付近に既に存在する施設と役割が重複するような施設や、自然重視や脱炭素や LGBT などの大多数が興味を持っていないつまらないテーマのスポットを期待していないし、それではとても観光資源や税収につながるとは思えない。 しっかりと他の観光スポットとのシナジー効果を考え、住む人にとっても観光で訪れる人にとっても魅力あるスポットを目指してほしい。 例えば、現在の港の見える丘公園から見える景色は、名前通りただの港しか見えない正直残念なものだし、マリンタワーの景色の魅力も期待値に届かない感が否めないため、山下ふ頭には多くの若い人が期待しイメージするであろう非日常感のある街並みを作り、夜はベイブリッジとともに美しい夜景を演出し、すでにあるほかのスポットの観光満足度も同時に引き上げる形にしなければならないと思う。その先としてさらに各スポットから港の見える丘公園までの道中をもっと賑わいある街に発展させ、世界一のハーバーリゾートを謳える街にしてほしい。関内エリアも、再開発計画だけではドヤ街イメージが未だに全く改善できていない状況が付近の不動産価格からも感じられるため、この近辺の雰囲気を一転させるくらいのインパクトが必要だと思う。 そのためには、たとえ横浜市民の税収でも初期投資に十分な金額を投じることができないため、やはりカジノ計画のような大規模な投資を集められてかつ継続的に資金を得られる何かが必要だと思う。競馬、競輪、ボートレースが許されていてかつ好調な状況で、カジノへの投資をしなかったのは大きなチャンスを見送ってしまったようにしか思えない。山下ふ頭の将来像という、カジノ以外の何かを作るという今のところ計画が白紙にしか見えない難しい問題の最適解を考えていくことが、この程度の資料しか作れていない今の横浜市に果たしてできるのかだろうか。	イ-3-(1)
No26	私は神奈川県外に在住しており、これまで何度か横浜観光の際に山下ふ頭周辺も訪れています。港の景色や歴史ある建物、周辺の中華街・元町エリアといった横浜らしい雰囲気がとても魅力的だと感じてます。 今回の再開発にあたっては、観光客として以下の点を特に期待します。 ・海や港の眺望を最大限に活かした開放的な空間づくり 港の風景を楽しめる散策路や展望デッキ、芝生広場、カフェスペースがあると素晴らしかと。 ・観光案内の充実（多言語対応含む） 初めて訪れる人でも分かりやすい案内板やパンフレット、スマホで使えるデジタル案内など、多言語にも対応できるといいかな。 ・地元ならではの体験やイベントの開催 横浜の港にちなんだワークショップや、地元食材を活かしたフードマーケット、季節ごとのイベントなど、横浜らしさを体感できる場を作ってもらいたい。 ・アクセスの良さ・回遊性 公共交通機関からのアクセスや、山下公園や中華街など近隣エリアとの連携も考えてもらえたら、観光客にとってより便利かな。 何度でも訪れたくなる場所になることに期待！	Ⅲ-1-(1) Ⅲ-2-(1) イ-1-(3)
No27	再開発の方向性として、「緑」「持続可能なまち」「賑わい」の中で「緑」を最上位に掲げるとしたようですが、過年度に IR を必要としていたのは、山下ふ頭の	Ⅱ-1-(1)

	再開発単体で収支が取れる事業を目論むものではなく、横浜市の今後の人口減を見越した税収増、市財政収支改善を目指していたはずであり、その視点が置き去りにされているように見え、今後の検討、議論のたたき台としても情報不足感、踏み込み不足感は否めません。	
No28	横浜市の収入増につなげて欲しい。　中区住民、横浜市民には無料パスなど。	Ⅱ-1-(1)
No29	わんこのドッグラン（全国最大級）のある市民公園みたいな感じ 小型犬、中型犬、大型犬、プールラン、アジリティラン、予約必要な貸切ラン、わんこのグッズやおやつなのどのショップなどエリア分け 平面ではなく山あり谷ありな感じで屋外ランと雨の日でもこれる屋根付きラン　他には、わんこと入れるお店や食事の場所もあると嬉しいです　国際プールみたいなものと新横浜公園の合体みたいなのが、みなとみらいの海沿いにもあると素敵だと思います	Ⅲ-1-(1)
No30	犯罪抑止のためのパトロール強化	イ-2-(1)
No31	山下ふ頭の再開発に留まらず、都心臨海部一体での検討を行い、都市機能の最適化を図る。エリアごとに開発企業を誘致するとともに、横浜市の施策に合致する施設・設備整備を求め、その設置費用について、市有地等の売却益から税優遇や補助金を拠出することで、公費負担を抑制することが必要。	Ⅱ-1-(1)
No32	その他・追加でお願いしたいこと　・このような計画には市民や事業者の声を定期的に反映できる場をこれからも作ってほしいです。　・誰もが安心して使えるよう、ユニバーサルデザインやバリアフリーの取り組みももっと進めてほしいです。　・歴史や文化、観光と連動した情報発信や、子どもからお年寄りまでみんなが楽しめる多世代型の街づくりをぜひ進めてほしいです。	Ⅳ
No33	お金を出すのは住んでいる我々です。その「横浜の人」が恩恵を受けられるような施設・場所にして欲しいです。外国人や観光客が大事なのは理解しますが、それこそリゾートやカジノのような、"横浜ではない"ものは求めていません。海外人から見た"日本っぽいもの"で迎合するのではなく、ちゃんとした文化を、まずは横浜人が感じられるような場所にしてほしいです。 Y150 のような惨憺たるイベントの記憶を、横浜の人間は強く持っています。あれは、横浜に長く住んでいても(市民割引があっても)入場料は納得できないくらい高く、そのくせその場に特に魅力的なものがないせいで、外から思ったより人は来ず、かと言って横浜の人はもっと行く気にならない。。結局はただ自分たちの首がしまっただけでした。 山下埠頭の再開発ではそんな場所に決してしないでいただきたい。　また、今でもすでに、横浜にいる海外からの観光客のマナーの悪さがどうしても気になります。京都のように、日本らしさを食い荒らされるようなことにならないように、日本におけるマナーや慣習の大切さについて、流入してくる人に啓蒙するような計画も、再開発と同時にお考えいただけるとありがたいです。　周辺地域の住民が、山下埠頭の再開発があっても安心して暮らせるように、ただの一般的な横浜の人間が、誇りに思えるような場所・施設をお考えいただけますよう、どうかお願い申し上げます。	Ⅲ-1-(1) Ⅲ-1-(2) Ⅳ
No34	市が潤う、もっと積極的な施策進めていただきたい。	Ⅱ-1-(1)

No35	Mrs GREEN APPLE のライブでは多くの人が来場して混雑している。赤れんが辺りもイベントが多く混雑していることが多い。せめて、山下公園周辺はこれ以上イベントライブなど増やして欲しくない。山下埠頭再開発では、オープンテラスのあるレストラン程度に収め、山下公園を拡張する様に木々の多い自然を感じられる公園にして欲しい。	Ⅲ-1-(1)
No36	地域振興、観光強化と言っても近隣住民の住環境が破壊されては元も子もありません。 資源・土地活用の際は暮らしを一番に考えていただきたいです。	Ⅲ-1-(1)
No37	市外居住ですが楽しみにしています。 突堤の間など、水域の活用について触れていただけると良いと思います。 藻場・浅場、オープンウォータースイミングの会場、潮汐発電、養魚場、あるいは埋立など。	Ⅰ-1-(1)
No38	将来像については、いずれも共感できる内容だと思いました。 世界に誇れるエリアにすることで、シビックプライドも育つのではないでしょうか？ 昔、香港や深?で毎晩行われる音と光のショーを見に行きましたが、 毎晩やっているにもかかわらず、すごい人でした。 光はエコであるべきですが、毎晩やることにより、 他のエリアへの周遊も含めた各種ツアー（クルーズ船も含む）なども組みやすくなり、 夜のイベントということで、宿泊も増えると思います。 プロジェクションマッピングの素材は市民からも募るなど、市民参加も可能となるかと思います。	Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No39	○整備主体が見えない。誰が、何を整備し、市や県、国など、公共が何をするのかが見えない。 ○横浜市は、南本牧に続き、新本牧地区の埋立を進めることで、港湾機能を強化しているなか　山下ふ頭の現在の「みなと」の機能をどのように転換するのか　みなとみらい２１中央地区、新港地区やその他のふ頭の機能とどのように役割を分担するのか　位置づけが見えない	その他
No40	頭の固い大人が考えた内容だなと思いました。 緑海が何故世界に誇ることになるのか？どう考えても海もみどりも世界の方が優れているし、国内でも優れているところがあります。 沖縄では「ジャングリア」をオープンし、海だけでなく緑もアピールし始めているのに何が勝てるのでしょうか。 都市のど真ん中で緑とか海とか求めている人は今の時代いません。 日本が誇るのはグルメとエンタメと工業技術です。それらを総合的に活用したおもてなし精神が必要です。SDGｓにとらわれてＳＤＧｓをすることのみを目的としたような稚拙な再開発としか言いようがありません。 すぐすたるような観光地にするくらいなら、物流など経済に貢献しやすいものにした方がまだましです。 こんなものに心躍らせるのは頭の固い学者や、変化を求めない高齢者だけです。 市政を発展させるなら将来の軸になる若者や、外国人が日本に来る目的を踏まえてほしいです。	Ⅲ-1-(1)
No41	SFC では学部横断的な学問を掲げ、多様な分野が共存する自由な環境が実現していますが、実際にはコアな専門性を持つ学生同士の深い交わりは生まれにくく、偶発的な出会いも限られています。また、開かれたキャンパスであるにもかかわらず、外部の人が入りにくい心理的な壁があり、公共的な役割を十分に果たせていないと感じています。　こうした課題に対し、山下ふ頭はそれを乗り越え	Ⅰ-2-(1) Ⅱ-1-(2) イ-1-(3)

	る場になり得ます。緑と海辺の美しい環境を活かしつつ、オフィス・研究所・大学キャンパスを一体的に整備し、相互に関わり合いながらイノベーションが生まれる公共空間をつくることを提案します。そこでは、学生・研究者・企業・市民が成果やプロトタイプを展示できる施設を中心に、展示、発信、議論が日常的に行われます。こうした施設が街の核となり、市民や観光客も自然と足を運び、山下ふ頭の魅力に触れることができます。　また、学生やオフィスワーカーにとっても、自然と交流が生まれ、自らの学問や仕事に誇りを持てる環境は、人生の幸福度そのものを高めるものとなります。そのためには、展示場とカフェ、公園などが連続し、滞在・偶発・対話を誘発する空間づくりが必要です。　さらに、歩行者中心の空間設計を徹底し、誰もが安心して歩ける開かれた都市景観を整えることが不可欠です。水辺の散策路や回遊性の高い動線設計によって、歩くこと自体が楽しみとなるまちを実現し、多様な人々の滞在を促す都市の質を担保すべきです。　また、首都高やみなとみらい線が隣接していることから、道路では、横浜市内から羽田空港や千葉県、都心とつながっており、みなとみらい線は横浜駅から東京副都心、さらには埼玉県までつながっています。　このような山下ふ頭を、展示と創造と交流が重なり合う「未来と知の海辺都市」として整備していただけることを強く願います。	
No42	山下埠頭再開発は、横浜市民に向けた拠点開発であると同時に、市外からの収入を得る新たな拠点を作る貴重な機会だと考えます。　横浜市の財政を持続可能なものとする上で、長期的な視点で横浜市民のためになることは何なのかよく検討して欲しいです。	Ⅱ-1-(1)
No43	「横浜の江戸時代まで遡る歴史を感じさせる」を加えてください。　また、常日頃から、この開発地域が異常時の市民の避難場所として機能するように設計していただきたい。海側には船によるアクセス、山側にはきれいな水の供給が確保される場所として整備されるよう望む。	イ-1-(2)
No44	横浜村の復活 ・自然豊かな砂浜 ・きれいな海 ・高台からの風景 新しいものは作らない 日本らしい横浜らしい風光明媚な環境を作り上げて欲しい 技術的に可能ならきれいな海を再生する 環境を作るのに他の環境を破壊しない工夫をする	Ⅰ-2-(1)
No45	東京都のように大企業の税収が得られるように大企業のオフィスビルなどを誘致してください。	Ⅱ-1-(1)
No46	全体のコンセプトはとても良いと思います。　ただ、個別の事業を進める際に様々な制約によって違うものにならないよう、関係者が目指す姿を共有し、同じ方向を見て進んでいただければ、と思います。共通のイメージを共有できるような、コンセプトに立ち返れるようなキラーワードがあると良いのかも。　皆が譲り合って、アイデアを出し合って、横浜ならではの素敵な港のまちが生まれますように。	Ⅳ その他
No47	2100 年まで、横浜市から全世界へ毎日情報発信を継続する仕組みを作る。　例えば、博物館を設置し毎日の情報発信を継続する。　例えば、防災庁の機能の一部	Ⅰ-1-(2) Ⅱ-2-(2)

	を横浜市へ移転し毎日の全世界の気象条件を宇宙人工衛星の機能を活用し全世界へ情報発信を継続する。 例えば、マイクロプラスチックの汚染予防対策で、生分解性プラスチックを活用する見本の街を作り全世界へ毎日情報発信を継続する。 例えば、植物園を設置しナチュラリスティックガーデンや、ボーダー花壇を作り毎日全世界へ情報発信を継続する。 例えば、水族館を設置し全世界へ毎日情報発信を継続する。 その他です。よろしくお願いします。	
No48	エコロジー。自然エネルギーによる循環型のテーマパーク。	Ⅱ-2-(2)
No49	世界に誇れる..世界に誇れなくて良い。 何故世界？ まずは、横浜市民が、暮らしやすく幸せを感じられる場所にして欲しい。	Ⅳ
No50	とにかく、「みんな」が平等に使える場所にして欲しい。海風を遮って内陸が暑くする建物は本当に不要です。	Ⅰ-1-(1)
No51	「新たなまちの将来像」として山下ふ頭の再開発が進められています。一方で、山下公園を中心とした付近一帯には、丘の上の西洋館群をはじめ「日本初」「発祥の地」など名所旧跡があります。横浜ならではの歴史や横浜らしい景観は、地方から横浜へ移り住んだ私にとっては誇らしいものです。しかし、今回の将来像には、その辺りが全く排除されています。今回の再開発の対象が「山下ふ頭」であるため、周辺地域は含まれないかもしれませんが、「開港」「異国情緒」などの歴史や文化を壊すことのないよう、今ある風情や景観を残しつつ、最先端の技術やイノベーションとの融合を計画して欲しいと思います。 特に、山下公園のバラ園は、名所として多くの方を癒し、楽しませてくれています。また、交通手段としての駐車場の確保も重要だと思います。既存の山下公園など周囲の景観や設備を改悪しないよう望みます。	イ-1-(2)
No52	市民が気楽に行ける、市民にひらかれた空間にしてほしいです。お金がないと入れないとかそういう場にしないでほしい。	Ⅳ
No53	周辺への気候にも影響するためこれ以上のアミューズメント施設はやめるべき。 最大限緑のある憩いの場を行政の手で保護すべき。	Ⅰ-1-(1)
No54	①段階的整備の必要性 山下ふ頭は道路条件が非常に悪く、本来は臨港幹線道路を整備して土地利用を図るべきだが、山下公園前面の工事方法、膨大な事業費等の課題があり早期整備は困難だ。そのため当面は現状の条件で対応せざるを得ず段階的整備の考え方が必要になる。第一段階ではアクセスは徒歩を基本として自動車利用を最小限に制限し、周辺鉄道駅からの歩行空間整備、バス駐車場や船舶停留場の確保などを進める。次の第二段階にはモビリティ導入の継続的実験を進め、将来的土地利用に応じた交通輸送手段を確立すべきだ。 ②緑の市民祭事広場の整備 第一段階の早期に当地を活用する案として「緑の市民祭事広場」を提案する。その理由は、ガンダムファクトリーや赤レンガパークの利用状況から展示・スポーツ・集会・コンサートなど各種のイベント需要が想定できること、また市の方針のように大規模防災基地を確保する場合にも都合が良いためである。具体的には埠頭全体 47ha の山下公園側約 7 割を「港湾緑地」とし水際線の連続性や修景を重視した緑空間を創出する。その中に大中小のイベント	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(1) イ-1-(2)

	会場となる区分可能なオープンスペースを設け、上下水道・電気など必要最小限のインフラ整備を行う。建設費は極力押さえて、会場使用料の徴収により維持管理費用や拡充整備の財源を確保する。 ③シンボル施設の構想づくり 山下ふ頭の残り約 3 割は桟橋先端部分だが、ここはインナーハーバーの景観重要ポイントであり、第二段階にシンボル的な施設の立地が望ましい場所だ。横浜市が未来志向の大胆な構想を立案すべきであり、国際港都建設法の「国際文化の向上に資する施設」として文化芸術施設や教育研究施設等が考えられる。国や民間の協力を得て施設構想を策定し事業手法を決め、国際コンペ等で英知を集めて事業化することが望ましい。文化芸術施設では創造都市の実績を生かして国際的な発信力ある美術館の誘致や、市内関連産業と連携した映像系ミュージアムの設置などが考えられる。教育研究施設では次世代を担う国際的な人材育成機関の立地がふさわしく、例えば国とともに GX など新技術の「国際技術大学院構想」をつくり、東京都渋谷区にある「国連大学」の第 2 キャンパス設置を検討してはどうか。山下ふ頭の最終完成目標は 2059 年の横浜開港 200 年と定めて戦略的に取り組み、国際社会の発展に貢献する真の国際都市実現を目指したい。	
No55	横浜は観光にはお金をかけるけれど、住民や福祉にはお金をかけないと言われ友人は何人も東京に去っていきました。 私は前に横浜市がカジノ施設を作り収入にすること望んでました。しかしなくなり巨大なホテルだけみなとみらいにできましたが赤字の心配です。 カジノはできないなら巨大老人ホームやマンションを作るのもいいでしょう。住んでいる人も今後のまちづくりに随時意見を入れられるようにすることが大切だと思います。花にお金をかけるのでなく木を植えてほしいです。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ
No56	スポーツとアミューズメントの融合 サッカースタジアム、商業施設、宿泊施設のあるいつでも賑わいのある公園。 普段使用されないスタジアムを開放し、もっと身近ないつでも遊びに行くことができる場所にして欲しい。	Ⅲ-1-(1)
No57	カジノやスポーツ施設ではなく、 ファーマーズマーケットや教育関連の施設を作って欲しいです。	Ⅰ-2-(1)
No58	海沿いなので、津波などの災害が起きた時に被害が大きくなるような作りはダメ(交通拠点など) 人を呼ぶためには最新技術の体験場みたいなものでもいい。例えば自動運転とか。	Ⅱ-1-(2) イ-2-(1)
No59	開発にあたり、様々な意見はあると思いますが、観光ではなく、まず第一に横浜市民が利用しやすい施設を作ることを望みます。その一つとして、市民がもっと気軽に使えるスポーツ施設（車いすで走る練習ができるなど障碍者が気楽に利用できる施設、スケボーができるなど）の建設を提案します。スケボーは「禁止」されているにもかかわらず、山下公園をはじめあちこちでしているのを見かけます。最近はスケボーはオリンピック種目にもなり若い選手が活躍し人気スポーツになってきましたが、愛好者が利用できる施設が少ないかと思います。広大な敷地の一部を用意してあげることはできないでしょうか。	Ⅳ
No60	住民税の割には高校無償化もなく、中学校給食もなく、市民に還元されていると	Ⅱ-1-(1)

	ころが少ない。税金を無駄に使用している感が否めない。今後少子化で更に税収が少なくなる中なのでカジノでもテーマパークでも良いので税収を上げるものを作って欲しい。	
No61	駅からのアクセスが良いこと、治安が保たれる事、無料で休憩するスペースがある事、カジノなどと治安が悪くなるものは除外、市民が高額でなく使えるもの、文化芸術の支援（物価上昇などで触れる機会が減る美術、音楽などの芸術に触れられる、提供する側である、創作する人にもドイツみたいにアトリエの提供や展示、公演などスペースや金銭面の援助）などに使ってもらえたら嬉しい。	Ⅳ
No62	横浜市民のためのまちづくりというのなら、外国人を雇わずに横浜市内の工場や企業、市民を積極採用する姿勢を見せて欲しい。ショッピングモールなどをつくるとしても、中のテナントも横浜市に店を構えてる横浜市民のお店から引き込んで欲しい。 市外から観光客を呼び込むのはいいが、横浜市民を中心とした開発にできないか。	Ⅳ
No63	近年のふるさと納税による、住民税の減収に対する税収増加に繋がる観光地としての側面はもちろんのこと、横浜市が住みたい街として選ばれる景観や子供たちが安心して遊べる空間としてほしい。 また、費用対効果をよく確認し、負の遺産とならないようにしてほしい。	Ⅱ-1-(1)
No64	山下ふ頭は港運の拠点であった経緯から、船舶や飛行機等の大型な国際展示の行うことが出来る数少ない立地であると考えられる為、湾内も含めた形での国際展示場が良いと考えます。また、より大型船が入ってきやすくするために、ベイブリッジの高架も検討すべきと考えます。	Ⅱ-1-(2)
No65	山下ふ頭再開発と外国人受け入れに関する意見　山下ふ頭は観光・文化・商業の拠点として再開発され、国際的な交流も意識していますが、外国人観光客や移住者の増加は地域社会にプラス面と課題の両方をもたらします。　1. 観光客マナーの課題と対策　近隣の中華街やみなとみらい地区でも、路上喫煙、ゴミのポイ捨て、声の大きさなど文化的な違いによる摩擦が起きています。 山下ふ頭再開発では、多言語の案内表示や事前の観光マナー啓発（動画やSNS配信）を整備し、観光客が無意識に迷惑行為をしないような仕組みが重要です。　2. 移民受け入れと地域文化の維持　長期滞在や就労目的の外国人が増えれば、多文化共生の機会が広がる一方で、地域固有の生活習慣や景観維持に課題が出る可能性があります。 受け入れを進める場合は、日本語教育や地域ルールの共有プログラムを設け、文化的ギャップを減らす必要があります。　3.「国際都市」としての持続性の確保　外国人観光客や移民を全く排除するのではなく、受け入れる範囲や条件を地域の合意形成で明確化し、地域負担が過度にならないバランスを取ることが重要です。 山下ふ頭を「誰もが快適に過ごせる海辺の国際交流拠点」とするためには、訪れる人・住む人双方のマナー・ルール遵守が前提条件となります	Ⅲ-1-(2)
No66	先日のロックバンドの騒音問題が今後はないようにして欲しい。安心して暮らせないです。次は何が来るんだろうという不安。 山下埠頭の利用の規制を設け	Ⅲ-1-(1)

	て欲しい。騒音問題、混雑、花火大会の件など、賑わいの創出ばかりを考えていて昔の横浜らしい良さが失われてて行くように感じています。もう少し情緒のある使い方を考えていただきたいと思います。	
No67	・港町ヨコハマを全面にアピールできる商用船だけではなくフェリー航路の確立 ・港と電車（駅）を直結	イ-1-(2)
No68	ありふれた公園ではなく、税収に寄与する計画にすることはマストだと考えます。また横浜スタジアムのように、DeNA のようなしがらみがない成長企業にその企画運営を任せて、新しい風を吹き込ませてほしい。何よりも絶対的に優れた眺望を有する立地なので、4 分の 1 程度は市民の誰もが利用できるパブリックスペースとすることが望ましいが、その他は高級リゾートやコンドミニアムなど固定資産税や住民税、法人税など目に見える形で税収が入るか、企業から賃貸費用が入る計画こそが今の横浜市にとって何より必要だと考えます。 よって、緑とか海のような情緒的な計画ではなく、税収効果も低い観光客を集める施設でもない、何より中長期的に横浜市に「税収」を寄与することを優先順位の最上位に設け、開発計画を進めるべきです。その税収でこれから益々必要となる社会保障や公共インフラの保全に用いることが、今の時代です。収益性は民間が考えた方がよい計画となるので、行政は冷静にどのような増収効果があるか一点で計画を見定めてください。	Ⅱ-1-(1)
No69	先日の騒ぎがあるので大きな音を立てるような場所にはしたくないと思います。 山下公園では家族や友達と騒ぎたい人と、夫婦やデート、気分転換にのんびり海を眺めたい人がいるので、エリアが分かれるような工夫があるとうれしいです。	Ⅲ-1-(1)
No70	山下ふ頭の再開発では、「都市型リゾート」として、訪れる人が時間を忘れて過ごせる滞在型空間の実現を望みます。宿泊、飲食、買い物、医療、保育、娯楽などの機能を徒歩圏内に集約し、施設内だけで一日が完結する小さな港町のような構成とすることで、観光客はもちろん、市民も日常から離れた非日常体験を享受できます。 全天候型ドームや海を望むテラス、季節や時間帯に応じて光・音・映像が変化する五感演出を取り入れることで、訪れるたびに新しい発見がある空間とし、昼夜を問わず魅力的に過ごせる環境を整備していただきたいです。子どもや赤ちゃん連れの家族に配慮し、ベビーカーシェアや授乳室、知育型プレイパークを設け、海外旅行者には多言語対応 AI コンシェルジュやキャッシュレス・自動翻訳決済を整備することで、誰もが快適に過ごせます。 また、海辺で日本文化体験や国際交流プログラムを展開し、横浜らしい港町文化と世界の人々が交わる拠点とすることで、新たな価値観を発信できると考えます。山下ふ頭が横浜の中のもう一つの都市として、持続可能かつ多世代・多文化が共生する未来型リゾートになることを期待します。	Ⅲ-1-(1) Ⅲ-1-(2)
No71	可能な限り税金を使わず民間の投資で再開発を目指してほしい。	その他
No72	中区から周辺の区へ配送できる大型給食センターの設立。 元々日本の給食は全て国産で栄養バランスも良く安全性も高い安心安全な食事です。 給食制度を実	Ⅰ-2-(1)

	施している他国と比べても日本の誇る文化の一つだと思います。 現在ハマベンを横浜給食として活用しているのは各中学校に給食室を作るスペースと予算がないからだと認識しております。 まずは交通の便もいいこのエリアに大型の給食センターを作り、中区と周辺の区へ配送できるようにするのはいかがでしょうか。 また、給食センター自体を工場見学のように外部からも見学が出来、さらには試食ができるようにすることで国内の小中学校や観光の見学ツアーなども組めますし、海外からの観光客へ日本の給食の素晴らしさ、食育への取り組みを感じてもらえらのではないでしょうか。	
No73	子育てをしているので、子供が遊べる遊具があったり、自然と触れ合える公園などが出来たら良いなと思います。	Ⅲ-1-(1)
No74	横浜市民の為になる開発を希望します。安易な商業施設やレジャー施設の誘致はやめてほしいです。 立地からすると緊急防災対応施設の設置や市民が楽しめる公園、スポーツ施設、ミュージアムなどの文化施設が良いのではないかと思います。 特に全天候化ではない横浜スタジアムの移転先としての活用も面白いと思います。	Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No75	横浜市の税収増に繋がるような施設や政策をとり進めて、横浜市民にとってプラスになるような還元や、道路整備の推進、子育て支援政策などの原資に繋げてほしい。魅力や緑だけでは正直メリットを感じない。広大な土地を最大限活かして、みなとみらい地区のように経済的にも強いエリアにしてほしい。山下埠頭エリアのみならず、横浜市域全体がより活気を増すような取組や財源を得るための場所にしてほしい。	Ⅱ-1-(1)
No76	先日のミセスグリーンアップルのライブで騒音の問題はありましたが、野外ライブ使用を継続して欲しいです。 みなとみらいのエリア全体が瞬間的に明るくなったような感じがしまして、花火とは別のイベントとしてとても良いと思いました。 改善対策した上で、再度ライブを開催していただきたいです。	Ⅲ-1-(1)
No77	税収確保のための施設が欲しい。市外への流出やふるさと納税等歳入が少なくなり、既存サービスの低下や必要なものにお金が回らなくなる悪循環に陥る可能性を感じる。今更カジノを作れとは言わないが、国内外問わず人を集められるかつ、周囲にお金が落ちる具体的なコンテンツが欲しい。	Ⅱ-1-(1)
No78	全体像には賛同できる。 意見としては、2つ。 1つは、これらの取り組みにおける「コストと付加価値」の数値化とリアルタイムな見える化を、施設の大型ビジョンないしはWEBサイトで市民に提示できるような取り組みをしてほしい。デジタルツインのような形で、イベントをした際の経済効果、環境への効果、一方でかかっているコスト、税金(みどり税)などの活用、最終的にプラスになっているのか、利益はどこの誰に流れて行くのか、関わっている企業や団体(国籍含め)など、失敗した取り組みの説明とアジャイル的な解決案を随時明確にしてほしい。 2つは、子供向け(子育て世代専用エリアの設置)施設を作って欲しい。人混みにおいて、子供の機嫌等を考えるとある程度広くて待ち時間のないエリアが欲しい。また、「緑」のキーワードの中では、子供の農業体験、貸し農地(最	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-1-(1)

	新のアグリテックを活用した遠隔の農作業や世話などのトライアル)など、日本の作物維持や理解に資するような体験施設があると良いのでは。	
No79	再開発のテーマについて異議はありませんが、開発・運営後の収益が、市の財政(市民の暮らしに還元)や地域活性化につながるような事業スキームになっていることを望みます。 ただただ観光客が多くなり、開発・運営業者の収入になるだけでは、かえって暮らしにくくなるかと思います。 開発・運営の SPC を組成して、市民からの投資を募って(横浜市民は特別な恩恵がある)事業を進めていくような手法も、市民の関心と主体性を高める＋家計にも貢献できそうで、おもしろいと思います。 今後の動向を楽しみにしております！大変だと存じますが、頑張ってください！	Ⅱ-1-(1) Ⅲ-1-(1)
No80	カジノなどはやめていただきたい。 それより、老若男女が集える施設にしてほしい。 子どもはボール遊び禁止の公園、声がウルサイなど言われ昔のように外では遊べません。また暑さもあって遊べないため、室内で遊べる施設なんてどうでしょうか？ 市民が利用しやすい施設であってほしい。 ホールなどがあってもよいです。	Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No81	従前懸念のあった、カジノやスポーツベッティングといった賭博性のあるコンテンツについては、断じて反対するものであります。現時点でそのような案件が採択されていないのには安堵していますが、今後もそうした賭博性のあるコンテンツはたとえ合法であっても本件に追加されるようなことがあってはなりません。 持続性の維持の観点からも収益を確保するのは大事です。しかし、市民が望まない形のもので実装されるのでは本末転倒であり、市が行うべき姿ではありません。よって今後も、あらゆる面での透明性の確保と、市民の意見を常に伺うことを、継続して下さるようお願いします。	Ⅳ
No82	再開発、利便性向上などは大変結構なのですが、どんどん広げようとするのみで、地固めが杜撰だと思います。子供をもつ住民の 1 人としては、東京都並みとはいかなくても、子育て支援をもう少し強化してもらいたいです。学費など、隣接する県として差がありすぎます。 開発が進んでも、経済的な環境が良くなければ住民は喜びません。	Ⅱ-1-(1)
No83	カジノの代案を検討していると見受けられるが、多くの市民が喜ぶことに繋がるものを検討してほしい。それは緑とか災害対策とか脱炭素とか世界から選ばれるとかではない。 シンプルに税負担が軽減する、保育料の無償化などが実行できるほどの税収入を期待できる施設、まちづくりをしてほしい。 大規模災害対策施設があったとして、それを享受できるのは周辺の一部の人である。 それに多額の税金を投入するのではなく、本牧以外の市民にも実感できるような政策を望む。 ぜひ港湾関係者の顔色を伺ったり、要望を聞き入れるのではなく、市民に目を向けて実行してほしい。	Ⅱ-1-(1)
No84	緑と海辺は世界中どこにでもあふれているが、世界を魅了するまちを目標にするというなら、 「旅人を迎えるまち」を作るのではなく、持続可能な美しいまちに住む住人の意識を高め、横浜に一歩足を踏み入れた人の意識を変えるよう	Ⅳ

	なまちにしたい。　観光目的の施設が災害時の市民を守る施設になるとか、 美しい景観の作り方をレクチャーしたり、旅行者自身にまちづくりボランティアをしてもらう割引制度を導入したらどうか。　横浜に訪れる人と住む人が互いに横浜を育てていく雰囲気を作ってほしい	
No85	とにかく、外からの流入よりも先にまず、市民が利用しやすい開発にしてほしい。先日のミセスグリーンアップルのライブのように、外部流入者が落とすカネ以上に住民の不快感を募らせるような、外と一瞬の利益だけを見たような開発ならやめてほしい。 現段階の将来像は非常にふんわりしていて魅力的ではない。	Ⅳ
No86	家族・子供連れで訪れたくなる場所にして欲しい。例えばミニ遊園地など。アクセスに対しても、地下駐車場の完備など。	Ⅲ-1-(1) イ-1-(2)
No87	子供と楽しめる街づくり	Ⅲ-1-(1)
No88	将来像については、異論なし。ただし、他県、他国からの旅行者、観光客を集め、収益化することで横浜市の財政が良くなり、市民へしっかり還元される事を約束して欲しい。 一方で、旅行者、観光客が増加する事による治安悪化に発展してはならないため、それに対する考慮をしっかりお願いしたい。(中長期的に少子高齢化が改善され、未来の明るい横浜市にするために、子育て・教育に優れた町にすることをを大前提に考えて欲しい)	イ-2-(1)
No89	現在以上の高い建造物を建てることはやめてほしいです。 港や海の景観を自分たち自身の目の高さで体感できるようにして下さい。背の高い建造物の窓から海をみても、 なんらの感激もしません。建造物の中では潮風を感じたり海の香りも感じられません。 既得権をすでに持つ人たちでけではなく、これからの 社会を担う人たちのなかには、きっと役にたつアイデアや実行力を持つ人たちがいるはずです。『若造たち』とひとくくりにせずに、人材発掘をしてください。	Ⅰ-1-(1) Ⅱ-1-(3)
No90	マナーの悪い外国人が増えても困るので、そこらへんのケアもしっかりとお願いします	イ-2-(1)
No91	絶対にカジノ反対だったので、カジノだけは今でも大反対なのはどうしても伝えたい。横浜の山下公園や東横線みなとみらい線＝治安が良くて安心して親子でのんびりできる場所のイメージです。 なので、カジノ＝治安が確実に悪化する施設は大反対。あと、「親子が安心して過ごせる街」をモットーに考えてほしい。親子の笑顔＝デートや他の 1 人散策の人も安心して楽しめる象徴だと思ってます。 ちびっこが駆けずり回っても、安心できる街をキープしてほしいです。カジノ＝金銭的な治安悪化や、歌舞伎町的な女性が不安になるエリアになる事＝女性＆幼少こどもが安心できない治安悪化だけは、どうしてもイヤです。 あと、Kアリーナ横浜の影響で、土日のみなとみらい周辺が異常に混んでしまいクイーンズのフードコートエリアで、ご飯食べるのにも席が即埋まっており、困ってます。経済効果はあるのでしょうけど、大好きな土日祝にのんびり親子連れで楽しめる横浜を守ってほしい。別に空き地をこどもメインの施設にしなくて大丈夫なので、連れてっても子連れでも安心できる横浜、これを大切にしてほしい	Ⅲ-1-(1)

	です。宜しくお願いします。	
No92	横浜市民が気兼ねなく過ごせるような場所にして欲しい。特に近年は猛暑・酷暑が襲う夏となり、子供達が公園で日中過ごせないことがあります。 お年寄りや近隣住民への配慮のため、ボール遊びなどもできないことも。 少しでも楽しく安全に過ごせる場所が必要だと思います。	Ⅲ-1-(1)
No93	子供が楽しめる場所にしてください。	Ⅲ-1-(1)
No94	カジノ関連や商業施設ではなく、市民の財産になるような文化的かつ公共性の高いものを考えるべき。 公園、イベント会場、防災施設(ヘリポートや港)など。	イ-2-(2)
No95	海に面した広大な敷地は、車の騒音や排気を抑えた安全な歩行者空間にし、ベビーカーや自転車で安心して移動できる導線を確保すべきです。 加えて、屋内外で天候を問わず遊べる大型キッズスペースや、授乳・おむつ替え環境の充実は必須。 単なる「観光客向けの子どもスペース」ではなく、地域住民が日常的に利用できる価格・仕様にすることで、持続的な賑わいが生まれます。 また、海辺の立地を活かし、環境教育や体験学習の拠点化も提案します。 例えば干潟や磯の観察デッキ、潮風を感じながら学べる自然教室は、子どもたちの原体験を豊かにし、観光コンテンツにもなる。 さらに、防災拠点としての機能も組み込めば、非常時には避難所・物資集積地として地域を守る存在に。 観光と子育て支援、防災、環境教育を一体化した山下埠頭こそ、未来の横浜の象徴になれる。 「行って楽しい」だけでなく「暮らして安心」「育てて誇れる」場所へ??それが子育て世代の望む将来像です。	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1) Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No96	横浜市内の地域療育センターの受診待ちの期間が 1 年を超えたりしています。発達障害を診断する個人の病院、大規模病院の受診待ちの期間も長いです。 また横浜市内の支援学校も希望者が入学出来ない状態があります。 そして教職員の人数も足りない状態があります。 山下ふ頭の一部に療育センター、支援学校、病院、教職員の研修施設、福祉に関わる研修施設など複合型の施設を作って欲しいです。 交通の便もいいので、横浜市内の各区から、人が集まりやすいと思います。 その他の場所には緑あふれ、横浜市内は水遊びできる場合が少ないので、水遊びや夏に涼むスポット、釣りなど、手軽に体験できる場所が欲しいです。 観光者向け施設やショッピング施設はみなとみらいにもうじゅうぶん沢山あるので、横浜市民向けの施設が欲しいです。	Ⅰ-2-(1) Ⅳ
No97	大規模災害に備えた街づくりですが、大雨や地震の際は山下ふ頭は津波や洪水で危険だと思うので、災害に備えた施設は横浜市内の内陸で作って欲しいです。	イ-2-(1)
No98	箱物はもういりません。 再開発に関しては運営に当たって黒字事業を条件としその利益を横浜市民に税の還元に充てることとすること。 横浜市の住民税は日本一高く、その資金が MM21 関連に多く投入されている。 横浜市が市民にとって日本中のどこよりも経済的に暮らしやすい町になることを願っています。 このような計画がいつまで経っても行われていることが残念でなりません。	Ⅱ-1-(1)
No99	国際的港湾都市としての観光機能の強化には強く賛成する。一方で、スラム化、治安悪化、景観悪化につながらない様に港湾デザインとオペレーションを実現	イ-2-(1)

	して欲しい。　花火よりもマーライアンの様な噴水のモニュメントの方がお金が掛からずにインバウンド効果が期待できる様に思われました。	
No100	カジノなど子どもが入れない施設でないものにしてほしい。	Ⅲ-1-(1)
No101	羽田空港からもアクセスが良い山下埠頭は、経済を発展させるための重要な拠点としての地理的な要素を持っている。日本国内からもそして、海外からも旅の目的となるような場所にするのが良いと考える。今のみなとみらいに足りない要素は、自然や人々が楽しめる水を使った要素であると考える。サンプルケースとしてシンガポールのセントーサ島など、ビーチとホテルやショッピングモール・カジノなどを複合した「海辺 」であることを利点とした開発を期待する。特に横浜近辺は水質の問題もあり、ビーチがあまりないことが横浜の残念なところではあるので、中長期的な水質改善策のモデルケースのような取り組みを横浜で行い、sdgs の観点からもモデルケースとなるような自然と一体になるビーチと施設の組み合わせを作っていく。 横浜を起点に海も綺麗にしながら経済も発展させていくモデルケースを作ることで、横浜市としてのプレゼンスを高め、経済発展にも寄与することができると考える。	Ⅰ-1-(2) Ⅱ-2-(4)
No102	海との共生をテーマにする際、ぜひ釣りにもスポットを当てていただきたい。横浜は多くの釣り資源に恵まれていますが、釣りができる場所が年々減っています。 金沢水際線緑地のように開放されたエリアもありますが、他の公園と同様投げ釣り禁止であり、多様な釣り方が出来ません。 また、禁止されているにもかかわらず守らないマナーの悪い釣り人もいるのが事実です。 磯子、本牧、大黒と同様でも構いませんので、安全に投げ釣りを含めた釣りが可能なエリアを設定いただきたく、ご検討お願いします。	Ⅰ-2-(1)
No103	給食センター スパリゾートハワイアン横浜　的な 外国人や観光客じゃなく、横浜市の子供や中高生が行ける場所 漫画図書館 大和市のシリウスみたいな場所 室内プールに、漫画図書館に、夏休み一日子供が過ごせる居場所	Ⅲ-1-(1)
No104	持続可能というより、市内生産率を上げる方向は考えませんでしたか？時給自足までとはいいませんが、高層建築物はもう横浜には必要ありませんし、横浜産の何かを市民で作ることを考えていただきたい。	Ⅳ
No105	大都市にも関わらず、市民一人当たりの GDP は全国平均を下回り、また追浜工場閉鎖に伴う雇用や税収の低下も見込まれています。 経済面での活性化で解決する他の問題も多く、高齢化等も省みけして豊かな市政ではないのですから、不透明で明確なゴールのないテーマを設定せずに、企業誘致をはじめとした経済効果に責任のある計画を行なってください。	Ⅱ-1-(1)
No106	山下ふ頭の再開発にあたり、市が掲げる「緑と海辺の魅力を活かした、安全で市民が集えるまちづくり」に共感いたします。子育て世代としては、特に以下の点をご検討いただければ幸いです。 小さな子どもが安心して遊べる広場や芝生空間の整備 海辺での防災・安全対策（高潮・津波対策や転落防止設備など） 授乳室・おむつ替えスペース・休憩所など子連れに優しい施設の充実 ベビーカーや自転車でも快適に移動できる歩道やスロープ、公共交通との連携強化 四季の移	Ⅲ-1-(1)

	ろいを感じられる緑や海との触れ合い空間の確保　また、治安や安心の観点から、カジノの設置は行わない方向での整備を強く希望いたします。	
No107	横浜の海辺は、横浜を思い浮かべる際の象徴的な景観であります。しかし、自然を感じる要素としては今まで印象が弱いです。 海をより強調できるような、取り組み、例えば海を今よりきれいにすること、海にやさしい街を作ること、インフラや事業開発が進んでも海をクリーンに保つ仕組みづくりはできないでしょいか。 海は世界と繋がっていますので、横浜市民としても、こどもの親としても、今後継続して関心のあることでしたので、意見させていただきました。	Ⅰ-2-(1)
No108	横浜市の財源となる施設の誘致をお願いします。散財の場とはしないでいただきたいです。	Ⅱ-1-(1)
No109	イノベーションや脱炭素、緑など、流行りの言葉を並べ立てた感じがしており、結局何がしたいのか分かりません。 そもそも脱炭素ビジネスはアメリカがトランプ大統領に変わった時点で終わっていると思います。EV や太陽光発電ビジネスは逆に温暖化を促進することが分かってきており、そういった不透明なものに将来の政策を託すのはリスクが高いのではないでしょうか。トランプ大統領は脱炭素ビジネスは詐欺だと言っています。アメリカも欧州も EV 補助金は打ち切り始めており、そういった流れに逆行しています。おそらく日本もこれから世界の潮流に飲み込まれるでしょう、そうなった時に本当に持続可能だと言えるのでしょうか。世界の潮流から遅れている日本では、脱炭素ビジネスを行うことでいまだに補助金が出るのでしょうが、一時の流行りに乗って、補助金が打ち切られたら、どうなるのですか？脱炭素ビジネスは補助金ビジネスであり、補助金が打ち切られれば、成り立たなくなります。（テスラの状況を見れば明らかです。）将来のまちづくりを考えるのであれば、数字と実績に基づいて根拠を持って進めるべきです。 真の意味で持続可能なまちを目指すのであれば、IR を核とした計画にした戻した方が将来の横浜経済や周辺地域の活性化にとって良いのではないですか。イノベーションを語るのであれば、国を動かしてイノベーション特区、例えばレベル 5 の自動運転解禁するとか、みなとみらい地区全体で UBER を導入するとか法改正するレベルでないと意味がありません。そういった方針を具体的に明確に示して貰わないとイノベーションという流行り言葉に乗っているだけで、結局、今までと変わらず、数字の裏付けがある IR の方が良いのではとしか思えません。	Ⅱ-1-(2)
No110	象徴的な建物は横浜にたくさんあるのでいらないと思います。 ただ、ジブリやポケモンなど有名なコンテンツとコラボできれば何か作ってもよいのかと。 子育て世代からすると全天候型の屋内施設なあると嬉しいです。みなとみらいには有料でやっている所はありますが結構な額のお金が必要で高いなと思います。しかし、夏は暑すぎて公園にも行けず、プールもおむつが外れないととか水の事故が怖いとかあります。	Ⅲ-1-(1)
No111	「山下ふ頭再開発　答申を踏まえた基本的な方向性」の中で、過去の市民意見募集・意見交換会における意見を取りまとめており、「市の収益確保」が意見とし	Ⅱ-1-(1)

	て挙がっています。 もともと IR の誘致を検討していた背景として、今後人口減少が見込まれる中での安定した税収確保があったかと思いますが、今回の事業検討においても同様の視点をしっかりと盛り込んで、検討を進めていただきたいです。 また、どのような仕組みでどれくらいの税収増が見込めるかなどを、今後の検討の中で試算し示していただければと思います。 現在も既に、施設整備・維持に関する予算が不足しているのか、普段利用する地区センターの設備修繕などが追い付いておらず、一時的に閉館している状況にあります。 市長が掲げる子育てしやすいまちとなるよう、山下ふ頭の事業から得られる財源を用いて、まちづくりを進めてもらいたいと思います。	
No112	地球の緑がなくなってきています。 戦争も起こっていてがれきになっている地域もあります。 ショッピングモールや高層ビルを建てるのは安易ですが、市民がホッとできる安らぎのある場所があればいいなと思います。 森があり、小川が流れていて子ども、高齢者も一緒に生活できる緑あふれる所。 農業を皆でできるのも魅力的です。 山下ふ頭の野菜ができるのも魅力的ですね。	Ⅰ-2-(1) Ⅳ
No113	インバウンド含め、国内の旅行者にも魅力あるものにしてもらい、横浜市の財政を潤すものにしてほしい	Ⅱ-1-(1)
No114	「都会の自然と共生、調和」というテーマを追加していただきたいです。横浜には公園が多数ありますが、海辺、海で磯遊びや砂浜での砂遊び、海水浴など海で遊べる場所はありません。魅せることも大切ですが地元横浜市民が気軽に楽しめる、親しめる海辺であってほしいです。それが子育て、子供たちの自然との触れ合い環境教育にもつながると思います。海に浮いているゴミの回収や海辺の清掃活動にも繋げて、よりきれいで美しい世界に誇れる都会の緑と海辺の街・横浜として PR してはいかがでしょうか。	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1)
No115	渋谷の宮下公園のように、公園や緑、ふれあいの場であるとともにテナント誘致ができる（横浜の収入源）となるような持続可能な仕組みとすべきだと思います。 持続するにはコストがかかります。 持続するために必要な資金が同時に得られる仕組みを考えていただけると良いと思います。	Ⅱ-1-(1)
No116	●人を呼び込むことや結びつけるだけの都市では、いつか廃れ、限界が来る。そのため、何かをアウトプットし続ける都市にして欲しい。そして、そのアウトプットで収益を得られる都市にして欲しい。 ●例えば、 ・世界の人が誰でも利用できる医療施設。海外の人の利用を促し、世界の人々の健康・治療等に関するデータベースを構築・更新し続け、最先端の医療知見と日本の高度な医療技術を組み合わせた診察・治療サービス。 ・サステナブルな食品を製造・輸出する工場兼レストラン。植物工場、食品加工工場、レストラン、廃棄物循環システムなどを組合せた、サステナブルな食の生産システムの実証と実現。誰もがその場で食べる体験をすることができ、さらに港から世界へ届けることが出来る。	Ⅱ-1-(1) Ⅱ-2-(2)
No117	横浜市外の方にとっては遊びや観光の目的地に。横浜市民にとっては普段使いの公園的な位置づけとなることを期待。このため施設入場料は市内と市外でギャップをつけていただきたい。マイナンバーカードをかざすと市民はフリーパ	Ⅳ

	スで入場可能等、運営負担軽減も設計時に見込んで欲しい。	
No118	山下ふ頭への駅からの公共手段は、厳しく 高齢者には憩の場にはならないです。 若い方へ向けて開発も必要と想いますが、 今、生きている方、健康や心のケアに繋がる開発も検討して下さい パーキング等。例えばですが。	イ-1-(3)
No119	横浜には海があるけれど、それは工業的(港と船、工場)なので、自然・生物的なのも取り入れて行きたいです。またそれに対して人々が集まる新たな観光になるのも必要と思います。それを実現するのが「水族館」です。しかしそこにも横浜の先進的なイメージも組み込んでいくべきかと思います。海洋生物の見せ方(魅せ方)の工夫と、飼育だけでない勉強・研究にも役立つようなことを取り入れながら、生物にも優しく見学者も楽しめ将来の自然を守る研究が見えるような施設にしたいです。 更に、エンタメやテーマパーク的な要素を入れるなら、バーチャルでいいので、世界の海で自分がダイビングしている気分になれるような体験ができるものを取り入れてもいいかと思います。 当然それら全てバリアフリーです。 それから、施設の動力は、海風を活かした風力発電を使って地球にも優しく SDG's に取り組むこともアピールできたらいいかと思います。	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-2-(1) Ⅱ-2-(3)
No120	・観光用に新たに建造物を作る必要はないと思う。今のみなとみらいや中華街で十分素晴らしい。 ・赤レンガ倉庫前の広場で開催しているイベントを、山下埠頭に移行させる。 ［理由］赤レンガ倉庫前が大混雑してしまい本来の赤レンガ倉庫の景観や歴史的価値が失われてしまっていると思う（ビールフェス、パン祭り、ミニコンサート、ウクレレ祭り、苺フェア等々は赤レンガ倉庫でやる必要あるのか？？） ・乳幼児やお年寄りが快適に過ごせる総合設備を作る。(授乳室、おむつ交換台、多目的トイレ、熱中症対策として休憩室や屋根) ・ソーラーパネル等の設置	Ⅲ-2-(1)
No121	①段階的整備の必要性 山下ふ頭は都心部に残された貴重な土地であり、国際港都横浜の将来がかかる重要な場所だ。横浜市が当地の検討に着手し十年以上になるが計画は未定であり、このままの状態が続くと周辺地域など横浜経済の停滞につながる。また民間に事業提案を求めても、企業にとっても社会的信用リスクが大きく失敗は許されない場所だ。現在のジレンマから踏み出すため、基本的な方向性を具体化させる方法を考えてみたい。 対象地は道路条件が非常に悪く、本来は臨港幹線道路を整備して土地利用を図るべきだが、山下公園前面の工事方法、膨大な事業費等の課題があり早期整備は困難である。そのため当面は現状の交通条件で対応せざるを得ず、段階的整備の考え方が重要になる。第一段階ではアクセスは徒歩を基本として自動車利用を最小限に制限し、周辺鉄道駅からの歩行空間整備、バス駐車場や船舶停留場の確保などを進める。次の第二段階にはモビリティ導入の継続的実験を進め、将来的土地利用に応じた交通輸送手段を確立すべきだ。	イ-1-(2)
No122	③シンボル施設の構想づくり 山下ふ頭の残り約 3 割は桟橋先端部分であるが、ここはインナーハーバーの景観重要ポイントであり、第二段階にシンボル的な施設の立地が望ましい場所と位置づける。シンボル施設については横浜市が	Ⅱ-1-(3) イ-3-(1)

	市民合意を得ながら未来志向の大胆な構想を立案すべきであり、具体的には国際港都建設法の目的の「国際文化の向上に資する施設」として文化芸術施設や教育研究施設等が考えられる。施設構想づくりに国や民間の協力を得て適切な事業主体を決定し、国際コンペ等で英知を集めて事業化することが望ましい。文化芸術施設では「創造都市」の実績を生かして国際的な発信力ある美術館の誘致や、市内関連産業と連携した映像系ミュージアムの設置などが考えられる。また、教育研究施設では次世代を担う国際的な人材育成機関の立地がふさわしく、例えば国とともに大学・企業・国際機関と協力し GX など新技術の「国際技術大学院構想」をつくり、東京都渋谷区にある「国連大学」の第 2 キャンパス設置を目指してはどうか。　山下ふ頭の最終完成目標は 2059 年の横浜開港 200 年と定めて戦略的に取り組むべきであり、国際社会の発展に貢献する真の国際都市実現が究極的な目標になると考える。	
No123	最先端技術と豊かな自然との共生のため、まずは水質改善して綺麗な海にして欲しいです。	Ⅰ-2-(1)
No124	「横浜市民」が責任を持って将来のことを市民の立場に立って進める事が重要であると思います。この立場に立って具体的な再開発事業に取り組んでいただきたい。それは、カジノ計画撤退が横浜市を中心とする運動で成し遂げられた経過からも明らかでしょう。賭け事、博打で栄える横浜ではなく健全で明るい、港横浜にふさわしい方法で発展すべきです。子ども達からお年寄り、障害を持っていることに関係なく「みて、きて、たいけんして」よかった。気軽にこれてよかった。などという声がたくさん聞こえるような「うつわ」と「なかみ」を期待するものです。	Ⅲ-1-(2) Ⅳ
No125	SDG's の観点から見て、太陽光発電や風力発電を使い、その仕組みを学びながら体験できる「ポケモンの森」、ディズニーランドのように、大人も子供も海外の人々もともに体験できる「新たな感動」を、山下ふ頭に建設してはどうでしょうか！	Ⅱ-2-(3)
No126	期待する山下ふ頭の将来像 世界に誇れる、魅せる形として、「ポケモンランド」を開設。 以前、ピカチュウ大発生イベント時の集客、昨今のインバウンドの増加を見ても、世界中へ向けての「ポケモンと暮らせる街、横浜」として発信できる。 また「緑」を生かした形として、「ポケモンの森」としてはどうでしょう？世界中の人々に旅の目的地として、横浜を選んでもらえる平和的夢空間としての山下ふ頭を期待します。	Ⅲ-1-(1)
No127	地球温暖化で今後は益々猛暑が続きます。 植樹などで緑が増えると気温が下がる。 横浜市ではイメージ通りのクリーンで自然に配慮し、心が安らぐような場所にしてほしい。 立地からスタジアムが近く、子どもを含むファミリーも訪れるので憩いの場が望ましい。 間違っても、カジノ関係で横浜市のイメージダウンに繋がる開発は止めてください。	Ⅰ-1-(1)
No128	子育て世帯として、小さな子供たちも楽しめる場所だと なお嬉しいと思いました。 山下ふ頭周辺は、観光地として魅力がある一方で 小さな子供がいる世帯と	Ⅲ-1-(1)

	しては人も多く、子供が楽しめるところも少なく、とても行きずらいと感じます。 自身も、子供を産んでからほとんど行く機会がなくなりました。横浜の文化を感じられる素敵な場所なので、子供たちと楽しめたらとても嬉しいです。	
No129	全体的に将来にわたる維持管理についても考慮してほしい。今魅力的な施設を作っても今後何十年かでトレンドや世界情勢も変化することが大いに考えられます。 そうであれば箱物を作るのではなく、全面的に自然を生かしたスペースにする方が将来的に柔軟にエリアを活用できるとも考えられます。 大きな施設も魅力的ではありますが上記も考慮いただけると良いと思います	Ⅳ
No130	外向けもよいですが、まずは横浜市民が利用しやすいことも考慮してほしいです	Ⅳ
No131	市税が増えるような開発にしてほしい	Ⅱ-1-(1)
No132	近年猛暑の日も多く屋内で子供が楽しく過ごせる施設があると良い。	Ⅲ-1-(1)
No133	最先端の技術で植物など育て、子どもの教育にも役立てるような施設が良い。	Ⅳ
No134	世界に誇るとか、魅せるということよりも、市民が利用しやすい、市民の声を生かすということを最大限貫くべきです。	Ⅳ
No135	将来を見据え、若い世代が中心になってまちづくりを進めていくべき。	Ⅳ
No136	若者が集まる映える施設にして欲しい	Ⅲ-1-(2)
No137	季節などで内容がガラッと変えられる開発にすると同じ人が何回も来てくれるようになるのではないか	Ⅲ-1-(1)
No138	現在の横浜には、横浜ランドマークタワー、横浜アリーナ、パシフィコ横浜といった既存の大型施設があり、国際会議やエンターテインメントに対応できる環境はすでに整っています。さらに、2031 年には上瀬谷パークに大規模テーマパークが開業予定であり、レジャーや娯楽の役割はそちらが担うことになります。したがって、山下埠頭の再開発においては、単なる「箱物の追加」や「既存施設の模倣」ではなく、横浜の都市ブランドを国際的に一層高める唯一無二の拠点とすべきだと考えます。 そのためには、横浜ランドマークタワーを超える、新たな都市のシンボルとなる建築物の創出が不可欠です。いまや世界中どこにいても映像や情報を得られる時代であり、観光の大きな目的は「実際に訪れ、その場でしか得られない体験をし、写真や映像に残すこと」にあります。シンガポールのマリーナベイ・サンズが空に浮かぶ建築として、またシドニーのオペラハウスが海に浮かぶ建築として世界的に知られているように、象徴的で唯一無二の外観を持つ建築こそが都市を国際的に際立たせる要素だと考えます。横浜においても、山下埠頭を「海と都市が融合した象徴的空間」とし、 ・世界に誇れる特徴的で唯一無二の海に浮かんでいるかのような外観デザイン ・昼夜を通じて楽しめる海沿いの景観と調和した建築 ・内部においては文化・芸術・国際交流・未来都市体験を統合する複合機能　を備えた施設を整備すべきです。これにより、「横浜＝山下埠頭の新ランドマーク」という国際的イメージを確立し、訪日観光客をはじめとする国内外からの集客力を強化できると考えます。 横浜は開港以来、日本の玄関口として多文化と未来を受け入れてきた歴史を持つ都市で	イ-3-(1)

	す。山下埠頭の再開発は、その伝統を未来へとつなぐ最大の好機であり、横浜を世界に誇れる都市ブランドへと押し上げる契機となるはずです。	
No139	全体的に美しいし良いと思いますが市民がお金を掛けずに寛げる空間を基本にして欲しいです。ロープウェイとか廃止しろとは言いませんが明らかに観光客向けの価格設定で利用できないので、せっかく出来る空間がそういうものばかりだとがっかりします。東京都内のようにビジネスマンんおまちではなく横浜は住民主体の街だと思うので市民が快適に暮らせるようにして欲しいです。私はオーストラリアによく旅行に行っていましたが、公園にすごく安価に利用できるバーベキューコンロ（ゴールドコーストなど）がありました。確かワンコインでバーベキューが楽しめるようなコンロでした。普通に日常ユースで肉などをスーパーで購入したりつまり持ち込みでコンロで焼き芝生でレジャーシートなどで食べる感じです。みなとみらいの方も確か持ち込みのバーベキュー施設はできたと思いますがアホみたいに高くて利用するのが馬鹿らしいです。高校生などでもお小遣いでつまり高くても五百円、できれば百円くらいで利用できるような施設を用意して欲しいです。バーベキュー施設を作るというような直接的な要求というよりは商売っけばかり出さずにそういう感覚で市民が利用できるものにして欲しいということです。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ
No140	山下ふ頭に必要なもの。 ・海釣り施設 ・自然をいかした公園 ・平和を祈念する施設。戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に語り継ぐために、先の大戦の日本の加害と被害を正しく展示するもの。核兵器廃絶を訴えるもの。 山下ふ頭に不要なもの。 カジノ。オンラインカジノ。スポーツベッティング。無駄なライトアップ。過度な商業施設（海釣り施設にあるような最低限の食堂と売店があればよい）。	Ⅰ-2-(1)
No141	こどもたちが広々と遊べる空間が欲しい	Ⅲ-1-(1)
No142	人口減少による将来的に市税収入の減少が見込まれるため、とにかくお金を稼ぐ使い方をしてほしいなと思っています！	Ⅱ-1-(1)
No143	①小高い丘のある森を作り観光客も手ぶらでキャンプが出来る施設（バンガロー、スーパー、日用雑貨店等）があり、出来れば砂浜もあると良い。丘があると津波の時避難出来るかも。バンガローだと冬季も利用できる。 ②露天風呂があると良い。みなとみらいをバックに入浴する風呂は格別である。 ③スキー場にあるリフトのような移動手段があると良い。山下埠頭は広いので周回していて手軽に乗れるもの。 ④有料イートインスペースがあると良い。キャンプに限らず横浜の景色を眺めながら持ち込みで食べ飲み出来る場所があるとサイコーですが夏は熱中症対策で木陰が必要です。中華街や関内から持ち込みやデリバリー出来ると地域店舗の経済効果アップにも繋がるかと。 ⑤屋外ライブ会場もあると良いかと思いましたが騒音問題があるので対策が必要。盆踊り会場等。定期的な花火大会等。 冬季はクリスマスツリー会場。森の木一体にイルミネーションをつけると周りが海なので幻想的な気分になりそう。体験人工スキー場等。⑥ホテルではなくあえて温泉旅館の建設。夏は浴衣など海外の方にうけるかも。	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(1) ｲ-2-(1)

	お祭り風出店形式とか。 ⑦山下埠頭南側で逗子マリーナの様なヨットハーバーの建設とか。	
No144	せっかくガンダムがあったので、ロボット開発特区としてはいかがでしょうか。ロボット技術の開発をしている企業や、工学系の大学を誘致し、子どもが楽しめるような体験型の先進技術を学べる施設を作れば、全世代が訪れることのできる場所になると思います。	Ⅱ-1-(3)
No145	山下埠頭の緑を中心とする再開発内容について、反対です。山下埠頭は、横浜市が指定している都心に位置しており、横浜市発展の起爆剤になる場所だと認識しております。みなとみらい地区も 99%の開発・開発予定が終了して臨海都心部の開発可能地が限られて来ました。その中で山下埠頭は最後の一等地と言っても良いくらい、重要な場所です。特に、横浜市の都心部にはカネを生み出す商業地や雇用創出させる場所が必要とされていると思います。横浜市は、人口に対しての法人税が少なく将来的にも税収面で不安要素を抱えています。隣に東京があることによる、拠点性の低下など難しい問題があると思いますが、少しでも軽減する為にも、単なる公園にする様ではあまりにも勿体無いです。具体的には、LRT や BRT を導入して交通網を強化。その上で、みなとみらいの景色を一望できる高層階のホテルを中心として、サーキット場やタワーマンションなどを建設して、人口面や雇用、経済を生ませる開発を提案致します。	Ⅱ-1-(1)
No146	横浜の港付近は好きな場所です。文明開花の香りがして山下公園辺りを歩くと横浜だ　と思います。3 つのテ-マはそれなりの価値があるのでしょうが、世界にほこれなくても市民に愛され、気持ちも身体もリフレッシュでき又ここに来たいと思う再開発にしてほしい。具体的に緑を増やす。子供や犬などゆっくり遊べるスペースを広く取る、お手洗いや水のみ場や日陰スペースを広く取る。無料又は低額のカフェを作る。ベンチを多く設置する、私は長年税金払い今年金とパ-ト収入で生活してます。全市民、国民から愛されるような大企業が儲かるのではなく、中小零細企業まで仕事が行くような開発にして下さい。カジノ廃止になったのは町作りにとっての誇りです。税金を多くの市民が還元を受けれるように宜しくお願いします。	Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No147	IR は誘致しない。 スポーツベッティングも誘致しない。 パチンコ、競馬、競輪、競艇も誘致しない。 老若男女すべての市民が交流出来る場にして欲しい。張りぼてのショッピングモール、レジャー施設、リゾート施設は不要。 本物の海、みなとに再生して欲しい。	Ⅳ
No148	山下ふ頭は、都心に近く、かつ広大で海に面した希少な土地であり、横浜の将来にとって 100 年先を見据えた都市戦略の核となるべき場所です。再開発では、横浜市が掲げる「世界に誇れる、魅せる緑と海浜空間」「持続可能なイノベーション」「にぎわいの創出」を踏まえつつ、全国・国際的な視点から長期的に価値を高める活用が必要と考えます。 1.「今まで横浜になかった」革新的・大型施設の集中整備 緑や海辺の景観と調和させながら、これまで横浜になかった大型施設を整備すべきです。例として、①幕張メッセ級の国際見本市会場・会議場、	Ⅰ-1-(2) Ⅱ-1-(1)

	②多目的野球場・アリーナ、③オープンエア広場や水辺公園、④防災拠点（災害対応、帰宅困難者受け入れ）などが挙げられます。 2．国・国際機関との連携拠点化 国家的プロジェクトや国際機関を誘致し、国際的な知と政策の発信地とするべきです。例として、①金融庁や司法機関の一部移転、②国際仲裁センターや国連機関、③気候変動・海洋・防災に関する国際会議常設拠点などがあります。 3．未来産業・研究開発の集積 脱炭素、AI、バイオ、医療など持続可能社会に資する研究・製造拠点を集積し、横浜発イノベーションを発信します。例として、①国立 AI 研究センター等の研究機構、②官民連携の実証フィールド（海洋都市技術等）、③スタートアップ支援や国際企業研究所の誘致、などが考えられます。 4．教育・学術交流拠点 海外・国内有力大学（MIT、スタンフォード、東京大学等）のキャンパスや研究施設、国際学生寮を整備し、学び・働き・暮らしが一体となる国際的コミュニティを形成します。 5．環境とにぎわいの調和 「緑と海浜」を活かし、人々が集う空間を実現します。緑地率の高い設計、再生可能エネルギーの活用、オーガニックや地産地消を取り入れた海浜カフェやマルシェなどにより、環境とにぎわいを両立させます。 以上、観光や娯楽だけでなく、国際的な交流・政策・産業・学術の拠点として位置づけることが、横浜を未来に向けて発展させる最も有効な道だと考えます。	
No149	山下ふ頭再開発基本的な方向性を拝見し、山下ふ頭の再開発にとどまらず、みなとみらいなど他のエリアと連動し、横浜全体の価値を高めて長い将来に渡り横浜が魅力ある街であり続ける、夢のある素晴らしい計画であると思いました。特に今回の大方針「世界に誇れる、魅せる緑と海辺空間」は非常に魅力的だと考えます。 この大方針と、もともと横浜が持っている価値を融合させて、世界のどの都市にもない、独自の街・コンテンツができたとき、横浜の価値・ブランド力は日本のみならず世界で認められるものになると思います。 〇緑と海辺空間と快適な環境の両立 「魅せる緑と海辺空間」を考えたとき、現在も臨港パークなどでは豊かな緑を楽しめ、また赤レンガやハンマーヘッドでは港の風景を楽しめますが、気候のよい春や秋はよいのですが、酷暑の夏や冬は足が向きにくいという課題もあると思います。緑と海辺に多くの人が集まり、時間を過ごす。ということを考えると、「一年中快適な環境である」ことがとても重要なファクターになります。そこで、ふ頭全体を覆う大きなガラスドームの中に、緑豊かな町を作るという提案をしたいと思います。考え方のビデオの中にシンガポールのチャンギ国際空港の写真がありましたが、あのように、ガラスの空間の中に森と町を作るイメージです。滝や川をつくってもいいかもしれません。 ドーム型タウンにはいくつもメリットが考えられます。 ・年間を通じて緑のある環境が作れる。 ・人々が長時間快適に過ごせる環境がつくれる。 ・ガラスを通じ、建物の内側にいても横浜の価値である、港や海の風景が楽しめる。 ・緑の整備を市民の仕事とし、市民自らが街づくりに参加できる。 ・海の景観と愛想がよい、ユニークなランドマークとなる。 他にも災害時には大勢の方を、室内空間に収容できる緊急避難所としても活用ができると考えます。 〇緑と海辺空間と横浜	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(1) Ⅳ

	ブランドの融合 自由の女神像、シドニーオペラハウス、マリーナベイサンズなど、世界の観光名所を見ると、どの都市も独自性のあるランドマークがあります。 ランドマークは、旅行のゴールとなったり、写真の背景となったりといくつか役割があると思いますが、一番重要な役割は象徴性(この都市しかないという価値の象徴)。ブランドでいうとロゴのような役割だと思います。 先ほど、ドームタウンの提案をしましたが、これだけではどの都市にあってもおかしくない、独自性の低いものになる可能性があります。そこで、ドームタウンに加え横浜らしいランドマークを創出する必要があると思います。 港で発展してきた横浜を象徴するランドマークのひとつの案として、たとえば「灯台」があると思います。単なる灯台というよりはビルと一体化した灯台というイメージで、灯台は展望台として横浜港が一望できるスポットとし、また、その灯台の下には大きなモールがあり食事やショッピングが楽しめるというものです。現在世界で最も大きな灯台はサウジアラビアのジッダ灯台（高さ 133m）だそうですが、ビル一体型であれば、世界で一番高い灯台としてギネスに乗ることもできるかもしれません。 ○ブランドの価値を高める体験の創出 ブランドの力を強くする場合、そのブランドならではの体験があることも重要なファクターとなります。仮にランドマークが灯台となった場合、そこを中心とした、ライトアップとドローンでのショーで横浜港を彩るイベントを定例で行うことにより、独自の体験ができる街という価値が高まると考えます。 ○他エリアとの連動で横浜のブランド価値を集約 以上、山下ふ頭の再開発での意見を申し上げましたが、考え方にもある通り、最終的には横浜全体として魅力・ブランド力を上げていくことが重要です。現在も、横浜駅前、みなとみらい、馬車道、中華街、西洋館など多くの魅力的な場所がありますが、個々がバラバラに存在していると感じます。各エリアがそれぞれの個性を発揮しつつも、横浜という街の一部であるということを共通して示していくことが、横浜の価値をトータルで高めるためには大切だと考えます。一つの手段としては、共通して使用するシンボル(ロゴ、フラッグ)を作り、すべてのエリアで掲出していくことが考えられます。各エリアの独自性を楽しみながら、ここも横浜の一部なんだということを記憶に残していくことが重要と考えます。また、水上バス、ローウエイ延伸、港湾電車復活などで各エリアをつなぐ交通インフラ強化も物理的にエリアの一体感を強化することにつながると思います。 以上が意見となります。横浜に生まれ育った者として、今回の再開発が横浜全体のブランド価値を高め、市民はもちろん世界の皆様から愛される街になるように期待しております。	
No150	山下ふ頭再開発基本的な方向性を拝見し、山下ふ頭の再開発にとどまらず、みなとみらいなど他のエリアと連動し、横浜全体の価値を高めて長い将来に渡り横浜が魅力ある街であり続ける、夢のある素晴らしい計画であると思いました。特に今回の大方針「世界に誇れる、魅せる緑と海辺空間」は非常に魅力的だと考えます。この大方針と、もともと横浜が持っている価値を融合させて、世界のどの都市にもない、独自の街・コンテンツができたとき、横浜の価値・ブランド力	Ⅰ-1-(1) Ⅳ

	は日本のみならず世界で認められるものになると思います。 ○緑と海辺空間と快適な環境の両立 「魅せる緑と海辺空間」を考えたとき、現在も臨港パークなどでは豊かな緑を楽しめ、また赤レンガやハンマーヘッドでは港の風景を楽しめますが、気候のよい春や秋はよいのですが、酷暑の夏や冬は足が向きにくいという課題もあると思います。 緑と海辺に多くの人が集まる。そこで時間を過ごす。ということを考えると、「一年中快適な環境である」ことがとても重要なファクターになると思います。 そこで、ふ頭全体を覆う大きなガラスドームの中に、緑豊かな町を作るという提案をしたいと思います。考え方のビデオの中にシンガポールのチャンギ国際空港の写真がありましたが、あのように、ガラスの空間の中に森と町を作るイメージです。 森と同時に、滝や川をつくってもいいかもしれません。 ドーム型タウンにはいくつもメリットが考えられます。 ・年間を通じて緑のある環境が作れる。 ・人々が長時間快適に過ごせる環境がつくれる。 ・ガラスを通じ、建物の内側にいても横浜の価値である、港や海の風景が楽しめる。 ・緑の整備を市民の仕事とし、市民自らが街づくりに参加できる。 ・海の景観と愛想がよい、ユニークなランドマークとなる。 他にも災害時には大勢の方を、室内空間に収容できる緊急避難所としても活用ができると考えます。	
No151	リーフレット見ながら書いています。 テーマ１に世界に誇れる、魅せる「緑と海辺空間」、テーマ２にも緑・海辺の環境を生かした・・・、グリーン社会の実現、市民が結ぶ新たなまちの環にも豊かな緑・海辺空間における環境保全や交流促進の取組、等と、全体に緑というキーワードが踊っています。 またテーマ３のとりくみの考え方２のポンチ絵は、山下ふ頭全体を緑に塗る等、グリーンウォッシュ的な印象付けがなされています。 その漠然とした方向性が悪いというのではありません。 本当にその方向性で、再開発がなされるのか？という点に疑問を持っています。 折角の 47ha という広大なまとまった土地です。 それも市がその大部分を所有しているという点でも得難いケースです。 ここは民間企業が濡れ手で粟とばかりに喜ぶような「市がお膳立てをして差し上げる」型の開発の呪縛から離れてください。 ですから、ゴルフ場のような芝生の占める割合を以て高い緑被率を謳うのではなくて、「高い樹冠被覆率」を以て、この土地をこの「緑」というキーワードにふさわしい再開発の場にしてくださいませんか。いかに緑被率が高くても、ゴルフ場のような芝生だけでは、ヒートアイランド対策にはならないことは誰でもが知っていることです。 必要なのは樹林です。 例えば、本再開発に、樹冠被覆率 60～70%を達成することを条件と課してその中で、本当のグリーンウォッシュではない具体的なプランを考えてみませんか？ イベント会場やらスポーツ競技場やらが中に点在しているのはそれはそれで結構です。 しかし、これらは、植樹をしてこれが数十年後に育ったのちに、巨大な森の中に、樹林に包接されていたことが気づけるような、そういった夢のある再開発ストーリーを考えませんか？ 昨今の風潮「今だけ、金だけ、自分だけ」ではない、100 年先の夢を抱けるような息の長い再開発プランを実現してくださ	I -1-(1) I -1-(2)

	い。	
No152	ライブ、イベント、スポーツなどの特設会場を設置できるスペースとして、広い空間のまま残してほしい。花火のときには開放したり。そして、大規模災害など有事の際には、仮設テントなどを設置できるように、上下水道や電気などのインフラを設備。建造物はいらない。　山下公園から 2 キロくらいのところに住んでいます。みなとみらいは 20 年くらいで毎年変化し成長しました、それは空き地など空間の余白があったからです。地面の余白がなくなったので、高層の建物を建てたりロープウェーを作ったり空の余白にも手をつけましたね。ごちゃごちゃです。　桜木町の駅を降りると大きく深呼吸できるようなスカッと気持ちの良い感じは、20 年前に比べて半減しました。解放感は開けた空、遠くまで見渡せる空間によるものでした。懐かしいです。そして、寂しく思います。　新しいお店や施設をいくら作っても、きっと似たようなものになるでしょう。そして、他に新しいものができると、その輝きはすぐに見劣りするものになるでしょう。　古いものを壊したら、すぐに新しいものを造らずに、そのままにしませんか？次の世代が必要とするのもを、そのとき生きる人たちに造ってもらいませんか。 彼らは私たちでは思いつかない利用の仕方をするかもしれません。　私は 40 代ですが、更に若い人たち、次の世代のことを考えています。財源があるのなら古いものを壊してきれいに整理しておいてあげましょうよ。	Ⅳ
No153	市民が自由に遊べるアスレティック施設や遊べるアート等をつくり、こどもたちやその家族、シニア層も参加できる街作りを実施してほしい。その町作りの中で、様々な世代や外国の文化との交流ができればなおよい。例えば、多種多様な食文化を経験できる施設やいろんな国の音楽が楽しめるような施設もあれば、楽しめるはず。	Ⅳ
No154	市民の賑わいを創出できる港湾施設、ラグーンなどの施設の整備をお願いします。	Ⅲ-1-(1)
No155	市所有地であり、市民に開放されていて気軽に使えるようにして欲しい。 民間企業などの商業施設にする必要はない。新自由主義的な観点でなく、市民に目を向けた福祉の拠点だったり、防災、環境のよい公園、資料館や博物館など文化的な拠点など。	Ⅳ
No156	以下、『基本的な方向性』を踏まえた上で、「住民が文化価値の創造主体であるまちづくり」を理念に掲げたまちづくり構想を提起する。 短期的、資本的、商業的、経済的視点からのまちづくりではなく、中長期的、文化創造的、住民参加の視点でまちづくりを進めていくことが、これからのポスト経済成長型のまちづくりに必須の要点である。そこで、山下埠頭という街区での街（まち）づくりの理念として「住民が文化価値の創造主体であるまちづくり」を掲げたい。この理念は、再開発で金儲けを目論む経済界の方向性とは一線を画すもので、まちは住民のためにあり、来街者や観光客のためにあるのではないことを明確に示すものである。この理念の下で、初めて、『基本的な方向性』に出されている 3 つのテーマの結節点として、「市民が結ぶ新たなまちの環」が豊かな内実を持って生	Ⅳ

	き生きと立ち上がって来るようになる。柱となるのは次の２点である。1　山下埠頭の一角、埠頭の根元の部分に「市民共創エリア」を設ける。2　根元の部分とその先の部分とは水路（運河）で分割する。 1　山下埠頭の一角、埠頭の根元の部分に「市民共創エリア」を設ける。 市民が主体となって集い、学び、創り、表現できる文化的創造空間として「市民共創エリア」を設ける。『基本的な方向性』テーマ１「世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間」は、第一に、まちの住民が誇りに思う空間でなければならない。旅人が目的地とするまちは、必ず住民に愛されているまちであり、「圧倒的な緑・海辺に都市が包み込まれるような環境」は、住民が生き生きと生活する日常の場であってこそ、次世代へと続くものとなる。「取組の考え方１」で言う「多くの人」の最初は住民である。「取組の考え方２」で挙げられている「新たな発見や感動」さらには「体験・体感による行動変容」を最初に享受するのも住民であり、日常を生きる住民がいて初めて、まちは「市民が主体的に活動し、コミュニティの形成を促進する良質な区間」となる。住民の日常を蔑ろにした空間は、営利企業にとっては「非日常感」を演出する舞台として有益であろうが、長期に亘って持続可能な場には決してならない。（続く）	
No157	（承前）そこで、テーマ２「持続可能なまちを支える明日へのイノベーション」に出て来る「イノベーション拠点」は、第一義的には、文化芸術、科学技術、医療介護等の市民活動の全分野における価値創造の交流拠点となるべきである。「取組の考え方１」で言う「多様な人材・技術の交流による絶え間ないイノベーションの創出」も、「市民共創エリア」が基盤として整備されることが必要条件となる。 テーマ３「活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい」に謳う「旅の目的地」に山下埠頭がなるためには、山下埠頭という街区でのまちづくりが市民主体で行われて、まちが市民の価値創造の活動拠点でなければならない。住民が豊かに暮らすまちこそが「活気に満ちあふれ」ていて他所から人を呼ぶのであって、内外の観光客が来るからまちが「活気に満ちあふれ」るわけではない。後先になった議論は論外である。よって、「取組の考え方１」にある「賑わい拠点の形成」は、埠頭根元にできる「市民共創エリア」を中核としたまちづくりをおいて他は無い。「市民共創エリア」があれば、これが活性化のエンジンとなってて、「取組の考え方２」にある「市域全体の活性化」への道筋も容易である。以下、域内の施設・コンテンツの具体例を提言書『山下ふ頭に○○があったらイイナ』を参考にして挙げる。 1　芝生と低木の多目的緑地。ここは、野外展示、参加型イベント、市場などの市民交流スペースとなる。2　緑・海・空に囲まれた野外ステージ。ここは、音楽、演劇、舞踊、薪能等、プロアマ問わずの芸能広場となる。3　埠頭中央の水路に接する親水広場。ここは海に触れられる親水域となる。4　多目的スタジオ。ここはアート工房、アトリエ、ギャラリー、スタジオなどを併設し、市民文化・アート発表の拠点とする。5　１８区街。ここには市民活動ブースを設け、区を超えた連携や協働も可能となる。6　コンテナを改修した施設群。ここに改造コンテナを利用したカフェ、ショップ、レストラン	Ⅳ

	などで構成される「ハーバーモール」を形成する。７　「共創センター」。ここは「市民共創エリア」の中核であり、市民、研究機関、芸術家など文化的創造者たちの共創を促進する機能を担う。福祉・子育て支援のサテライト施設および多目的図書館を併設する。（続く）	
No158	（承前２）こうした施設・コンテンツに満たされた「市民共創エリア」は、多世代・多文化に開かれた公共空間として、子育て世帯や高齢者、若者、外国人、新しい市民、誰にも開かれた交流・文化プログラムを用意する場となる。真のインクルーシブ（包摂的）な空間が創出されることで、新たな文化・学術・研究の揺籃の場となる。さらに、文化、芸術、子育て、教育、介護などの分野で、幾世代にも亘って市民が手を加えながら、共同で使用して維持して行く、そういう現代版の入会地・里山のような一角を確保することによって、「横浜らしさ」の過去から未来への受け渡しも可能となる。　２　根元の部分とその先の部分とは水路（運河）で分割する。 埠頭の根元の部分とその先の部分を分割して水路を通すことで、中村川・堀川と大岡川の二筋の運河を循環する水上交通路ができて、回遊性が飛躍的に高まる。中央に運河を巡らせた空間構成により、美しい海辺の景観とともに、運河を中心として「水とまち、人」が繋がるようになる。整備される親水域と「市民共創エリア」との連続空間が「魅せる「緑と海辺」空間」を形成する。ほとんど触れることのできない横浜の海岸線の中で、この親水域が横浜市民にとって「海」を取り戻すことになる。「眺めるだけの海から、ふれて楽しむ海へ」と横浜の海の復権である。（続く）	Ⅰ-2-(1) Ⅳ ｲ-1-(2)
No159	◆3P の「市民が結ぶ新たなまちの環」がテーマ 2 とテーマ 3 をつないでいるような絵になっています。 その上で「多様な主体が参画できる」とありますが、具体的に何を指すのかが、全体を読んでも不明です。市民が参画できる仕組みを明示してください。単発で抽選で集めた人から意見を聞く、というのはこれまでも十分にやってきたことでもあり、直近で発表された市民の声聞く場の取材申込み受付リリースは、まるで、広報ネタのために市民を集めると言っているようもので、公的機関としては姑息な感じがします。 選挙で勝ったからこそ高飛車に出ているとは思いますが。 ◆9P での検討経過では、IR カジノの頓挫の教訓などについて一切触れられていません。どうしてでしょうか。まるで、林市政から継続的に検討していた山下ふとう開発流れになるように見えます。是非、修正してキチンと IR カジノ計画を破棄して、新たに作り直した、と言うことが後生に残る形にしてください。	Ⅳ
No160	自然や緑を残しつつ、最新のテクノロジーを利用してポケモンとコラボレーションした街が良いと思います。今までみなとみらいでのピカチュウコラボレーションイベント等を行なってきて、横浜＝ピカチュウのイメージがあることや、大人も子どもも海外でもよく知られているポケモンなら、たくさんの人に親しまれる場所になると思います。できれば、旧上瀬谷通信施設地区とも連携して市内でいろんな場所にポケモン拠点を作ったり、電車やバスもポケモンラッピングにしたら、移動も楽しくなると思います。また、横浜市はふるさと納税で住民	Ⅲ-1-(1)

	税が流出していますが、ふるさと納税もポケモンコラボにするなどで、税収確保を図っていくと良いと思います。	
No161	異常気象のため、屋内でも楽しめるような大きなドーム、屋内農園。 動物とふれあえる施設、競走馬を引退したセラピーホースなど。	Ⅲ-1-(1)
No162	気候危機と言われる昨今です。 広域避難場所として、また緑豊かな憩いの場所にしてほしいと思います。必要最小限の建造物以外は建造物は必要ないと思います。	Ⅰ-1-(1)
No163	山下埠頭の再開発において、私は「音楽フェス会場」としての活用を提案します。山下埠頭は海に囲まれ、広大な平地を有していることから、大規模なイベントや音楽フェスティバルを開催するのに最適な立地です。赤レンガ倉庫や山下公園、中華街といった観光スポットとも近接しており、イベント開催時には国内外から多くの来場者を呼び込むことができます。さらに、音楽を中心としたエンターテインメント拠点とすることで、横浜の「開港の街」「文化の街」といったブランドをより一層強化することが可能です。 また、フェス会場には飲食エリアや屋外シアター、海を望む散策路などを併設すれば、市民にとっても日常的に憩える場所となり、観光と地域振興の両立が図れると考えます。	Ⅲ-1-(1)
No164	横浜市が進める山下ふ頭の再開発は、今後の横浜の姿を大きく左右する重要なプロジェクトだと考えます。港町横浜の象徴的な立地であるだけに、その将来像は観光や産業だけでなく、市民生活や地域文化にも深く関わるものとなるはずです。私はこの再開発において、「自然との調和」「市民が誇れる空間」「多様な世代の交流」という三つの視点を大切にしてほしいと思います。　第一に、自然との調和です。山下ふ頭は海に面し、山下公園や港の見える丘公園といった既存の緑地とも近接しています。この立地を活かし、緑や海を感じられる空間を整備することは、横浜全体の魅力を高める上で欠かせません。過度な商業開発に偏るのではなく、環境に配慮しながら自然と共生できるまちづくりが必要だと考えます。　第二に、市民が誇れる空間であることです。これまで山下ふ頭は物流拠点として一般市民にとっては距離のある場所でした。しかし再開発によって市民が自由に訪れ、楽しめる場所に変わるならば、横浜への愛着はさらに深まります。観光客だけでなく地元の人々にとっても「行きたくなる場所」であることが重要だと感じます。　第三に、多様な世代が交流できる場を整えることです。子どもから高齢者までが安心して利用できる公共施設や広場、また文化・スポーツ・アートなどを楽しめる多様な機能を取り入れることで、単なる商業地ではなく、横浜の新たな「コミュニティ拠点」となるのではないでしょうか。山下ふ頭の再開発は、横浜の未来を象徴する大きな挑戦です。市民の声を反映しながら、持続可能で誰もが誇りに思える空間をつくりあげることを期待しています。	Ⅳ
No165	横浜市は都市化の進展により、ヒートアイランド現象や緑地不足などの環境問題を抱えています。さらに、地球温暖化の影響で台風や豪雨が激甚化し、沿岸部は高潮や津波による浸水、地震時の液状化といったリスクを負っています。こう	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-1-(2) Ⅱ-2-(3)

	した課題を解決するためには、環境配慮と防災力を兼ね備えた再開発が不可欠です。　私は、山下埠頭を「環境と防災を両立する拠点」にすることを提案します。第一に、環境面での取り組みです。広大な敷地を活かして海辺の緑地や公園を整備し、自然を感じられる空間を創出します。また、建物には屋上や壁面緑化を施し、ヒートアイランド現象を緩和します。さらに、海風を利用した風力発電や太陽光パネル、潮流発電を導入し、再生可能エネルギーを地産地消する仕組みを整えます。これにより、CO2 排出を削減し、脱炭素社会を実現します。　第二に、防災面での強化です。高潮や津波への備えとして防潮堤や防水ゲートを設置し、敷地内には避難デッキや広場を設けます。また、港湾機能を活かし、船やヘリを利用した緊急輸送体制を整えることで、陸路が途絶しても人や物資を運べるようにします。これにより、災害時にも都市機能を維持できる体制を確保します。　環境と防災を軸とした再開発により、山下埠頭は自然と都市が調和し、災害に強い街づくりの象徴となります。そして、市民の安全と快適な暮らしを守りながら、横浜の持続可能な未来を支える拠点になると考えます。	イ-2-(1) イ-2-(2)
No166	山下ふ頭再開発の「基本的な方向性」に関して、経済的な視点がやや不足しているように感じました。　〇経済波及効果の明示 再開発によって創出される雇用、観光収入、税収増加などの具体的な経済効果を、定量的に示すことが重要だと思います。市民や投資家にとって、将来の経済的な見通しが明確であることは、プロジェクトへの信頼性を高める要素になるかと思います。　〇民間投資の促進とリスク分散 市の財政負担を抑えるためにも、民間企業との連携や投資誘致の戦略を明確にし、官民連携（PPP）の枠組みの活用などの検討はいかがでしょうか。　〇持続可能な収益モデルの構築 イベント施設や商業施設などの導入にあたっては、短期的な賑わいだけでなく、長期的に安定した収益を生む仕組みの設計が必要だと感じました。 ---------- 経済的な視点を強化することで、山下ふ頭再開発がより実効性のある、持続可能な都市づくりにつながることを期待しております。	Ⅱ-1-(1)
No167	ロンドンのハイドパークやニューヨークのセントラルパークのような都市の象徴となる、量・質ともにたかい緑の空間として整備し、「シティ・イン・グリーン」と形容できるような場になることを期待します。 また、みなとみらい線の延伸など、アクセス性の向上と横浜駅～みなとみらい～関内～山下ふ頭の人の流動性の確保。向上もぜひ進めていただきたいと思います。	Ⅰ-1-(1)
No168	現在、横浜市が抱える課題として少子高齢化が挙げられる。理由として、保護者の子育てに対する負担が多く、また子育て支援が十分でないと考えられる。また、独居の高齢者が多いことも課題としてある。 そこで山下ふ頭に保護者が気軽に子どもを連れて行くことができる、自然公園を建設すると良いと考えた。その場所に、子育てに関する相談をすることができるブースを設置し、保護者が子育てに対する不安や疲れを、抱え込むことを防ぎ、児童虐待を防止することができると考えた。またその施設でシルバー人材センターに登録している高齢者の方にそこで働いてもらうことで高齢者の生きがいづくりや孤立化の防止になる	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-2-(2)

	と考えた。また、異世代間交流の推進も図れると考えた。 上記の内容より、子どもとその保護者、高齢者の方など誰もが住みやすい横浜市をつくるとともに、自然公園という環境に悪影響を与えないものを、建設することで横浜市がより良い市になると良いと考えた。	
No169	山下ふ頭には、大型水族館テーマパークを建設する。技術と水と自然をコンセプトに考えた。水族館は、種類ごとに分けず、大きな水槽で泳ぐ魚たちを見てもらう。コスト削減だけでなく、ゆったりしたスケールの大きさを感じたり、写真映えしたりすることが考えられる。細かい説明をつけず、最新技術を活用したアプリを使用する。写真を撮ると、その魚の説明や歴史などの情報が画像だけでなく音声でも知ることができる。魚の入れ替え時にも、変更しやすい。待ち時間の削減のため、ショーや体験の予約もできるようにする。施設の混雑状況も知ることができる。交通の便も、バス、電車、高速道路、シーバスと様々にあるので、高速道路を引き入れて、出口を直結させる。 釣りを体験する場所も作り、水族館の周りは、自然豊かな場所にして休憩しやすくする。 水族館と直結したホテルも併設する。全室オーシャンビューとし、みなとみらいの夜景や海を一望できる。部屋はどちらをみたいか選ぶことができる。また、宿泊者特典を取り入れる。開館前や閉館後に入館できるようにして、人が少ない時間にゆったりと見たり、普段と違う魚の姿を見られたりと特別な時間を過ごすことができる。 ホテルのレストランは、漁船と契約して、とれたての魚を食べられる。大型水槽（いけす）を見ながらその横で食べることができる。 課題としては、人が多くなることと音の大きさがあげられる。人の増加は、チケットの時間帯を区切ったり、交通網を整えたりすることで、音の大きさは、ショーを室内で行うことで解消できると考える。 一日ゆっくり過ごしたい人は宿泊して、横浜の観光地にも近いのでそちらを利用して楽しみたい人は観光するなど、「食べる」「知る」「癒される」その人それぞれの楽しみ方ができる。	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-1-(1) Ⅲ-1-(2)
No170	１．中区には自然が少ないので、自然が豊富になるようにしてほしい ２．港の見える丘公園は毎週月曜の早朝に殺虫剤を散布しており、"自然"とはいいがたい ３．中区山手駅周辺には、昔牧場があったはずだし、根岸は日本競馬発祥の地である ４．①中区の記憶の継承の観点から、乳牛、馬(引退した競走馬）などの牧場が欲しい。おいしいソフトクリームもいただきたい　②牧場の周囲は多くのどんぐりのなる木（クヌギ)、果樹を植え、ビオトープを作る。一画には市民用の田畑も設ける　緑があり、殺虫剤を散布をまかず、虫と鳥がいて初めて自然といえる。21 世紀の都市観光牧場と都市型里山を構築 ５．インバウンドの集客力を強化するには、横浜に本式の城を構築。その内側や城中に上記 4-①,②を配置	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-1-(2)
No171	私は、令和 4 年の意見募集のパンフレットにあった事業者提案「28ha の緑」に大いに賛成して「山下ふ頭再開発会議」に意見を投稿し、傍聴もしました。様々な方向性の意見がありましたが、この会議の答申が「水と緑」にまとめられ、私は本当にうれしかったです。あれから約半年、答申を受けた市の方向性が発表さ	Ⅳ

	れました。「水と緑」という言葉を冠してはありますが、全体像も方針も具体的ではなく、しかも、方向性が幅広く、「何でもできる」「なにをつくっても解釈次第」という可能性もあり、水と緑は端っこに追いやられて「ここにありますよ」と説明されることすら想像されて、心配になりました。まだまだこれから事業案になるまでは、喧々諤々の過程が想像できます。　たしかに 47ha は広いですが，47ha しかないともいえる広さであり、なにもかもそこに実現できるわけではないのは明らかです。何を重視するかという視点に「市民のため」というものが声高に欲しいと思います。今、世界がリスペクトするゲームやアニメや漫画も古くは浮世絵ももとは日本に住む私たちのためにつくられたものです。もちろんそこに「売る」という行為が存在し、いまやその対象が日本人だけではないということも理解します。それでもまず市民が使うことができることをまず念頭に置いて欲しいと願わずにはいられません。	
No172	全体テーマについての基本的考えには賛同いたします。 ただ津波リスク　既存居住者への騒音リスクを念頭にしつつ単に「緑がある公園」ではなく「誇れる・魅せる」ためのコアになるものの存在は必須であり、その選定はなかなか難しいと感じます。現在山下公園周辺では県民ホール　メルパルク等の再開発が見込まれ　それらとの連携も検討してください。 災害対策用の支援大型船の着岸を想定した設備の建設は必須と思います。	Ⅲ-1-(1)
No173	●山下ふ頭の再開発においては、恒常的な建物を設けない広大な更地スペースを中心に整備することが望ましいです。 この更地スペースは、イベント・展示・市民活動などに貸し出して活用してもらうことを基本とし、特定の用途に縛られず、都市の変化や多様なニーズに柔軟に対応できる場とします。 ●貸し出し先の利用目的に応じて、一時的にステージ・テント・ドームなどの仮設構造物を設置できるようにすることで、スペースの形状や構成を柔軟に変化させながら、創造性と包容力を育む場として機能することを期待します。 また、更地スペースの周辺や付帯施設として、給排水設備、トイレ、ショップ、事務所、貸しテントやイスなど、イベントや活動に必要となるインフラをあらかじめ整備することで、開催コストの低減と資材の再利用を促進します。 ●広大な更地スペースは、イベントが開催されていない期間には公園として一般開放され、都市の「余白」としての役割を果たすとともに、市民や来訪者が自由に使える公共資源として、日常的な憩いや交流の場にもなります。 ●更地スペース部分には、天然芝と比べても劣らない高機能人工芝を採用します。環境負荷を軽減しつつ保守費用を抑制でき、遮熱性・透水性・柔軟性に優れた素材により快適性や安全性を確保します。自然な質感を持ち、都市のヒートアイランド対策にも貢献します。 ●更地スペース内には、風力発電機・太陽光パネル・電力貯蔵施設を一体的に設置します。これにより、昼夜を通じた持続的な電力供給が可能となり、環境負荷低減と都市の未来像の発信、防災時の電力確保に寄与します。 ●市民・事業者・行政が継続的に対話しながらこの場所を育てていくことで、山下ふ頭が横浜の未来を象徴する場所となることを期待します。	Ⅳ

No174	全体的に、「市民が創る」という視点が欠けていると思います。 テーマの１文言にもある、「旅のディスティネーション」ですが、これは、横浜に住む我々市民のためというよりも、外部の方の観光地として発展させる、と理解できます。 観光客に魅せる山下ふ頭ではなく、地域に住む横浜市民が愛し、活用できるものとして 発展させ、その暮らし方そのものが外部の方々、観光客にとっても魅力のあるものになる、そういう方向性を出して頂きたいと思います。 一部の企業、デベロッパーがお金を儲ける場所としてではなく、市民が集い、憩い、交流し、活動し、文化を発信する、市民のためのオープンスペースを中心に据えて、開発を目指して頂きたいです。 また、この場所の事業計画を進める際には、その実効性のある検討委員会に、市民の代表を入れることを強く要望します。	Ⅳ
No175	特別な施設は無くて良いので、家族連れ、若い人、お年寄りも気軽に行ける場所にしてください。	Ⅰ-2-(1)
No176	色々なイベントやって欲しいです	Ⅲ-1-(1)
No177	海のアクティビティを増やして欲しい	Ⅲ-1-(1)
No178	世界から認められるようになって欲しい。	Ⅱ-1-(1)
No179	緑と海辺からは多くの食料が生産されます。 食は生きる基本であり、人類共通の行為です。 横浜は輸入貿易の発祥地であり世界から多くの食文化も輸入してきました。 この広大な敷地に、巨大な飲食街を作ってはどうでしょうか。 日本人、訪日外国人にお勧めの日本の食文化街をこの場合で全て楽しめます。 例えば、　日本館　都道府県各地の　ラーメン館　日本蕎麦館　丼ぶり館　鍋館　焼き鳥館　縁日屋台館など 世界館　世界の名物料理館など　ほんの一例ですが、宜しくお願いします。	Ⅲ-1-(1)
No180	横浜市による山下ふ頭再開発の全体案について、基本的には賛成いたします。ただし、いくつかの点について懸念を申し上げます。　まず、「イノベーション」という言葉が、あまりにも汎用的であるがゆえに、開発の方向性が不明確になり、一部の事業者や限られた層のみが恩恵を受けるような計画へと流れてしまう危険性を感じています。市民のための空間である以上、公共性・開放性を徹底し、特定の利益に偏らないことを強く求めます。	Ⅳ
No181	横浜のイメージ・ブランド作りやにぎわいの創出、市の収益確保のために再開発を進めるのは良いが、先日のロックバンドのライブのように、住民に迷惑がかかるような利用方法は避けてほしい。山下ふ頭と言えばガンダム、というイメージだったのが、騒音問題になった場所、という認識に変わってしまった。	Ⅲ-1-(1)
No182	IR が廃案になり、横浜市の税収改善の兆しがなくなりました。 ぜひ今回の開発では財政改善につながるような開発をぜひお願いします。 災害に強いまちづくりなどは、わざわざあの場所で実現する必要はないと考えます。	Ⅱ-1-(1)
No183	世界に誇れる、魅せる「緑と海辺空間」の実現、楽しみにしています。 先ずは、美しいスペースを創り、一般共有した後に、徐々にコンテンツなどを増設していくことも可能と思います。 市民が誇れる、美しい憩いの空間を、焦らず一緒に作っていきたいと思っています。	Ⅳ

No184	税収の増加といったような横浜市の収入が増える方向性で取り組みをしていくべきと要望します。　横浜市においても、将来的に人口減が予想されているため、今後住民税収が減少していくと思われる。 本市の歳入割合としては、住民税収の割合が高いため、代替での税収源が必須だと思う。 IR プロジェクトがなくなったいま、この山下ふ頭での取組が横浜市の税収源として計算できるような取組をしていくことで、持続可能な市民サービスへ寄与されるのではないかと思う。	Ⅱ-1-(1)
No185	緑があり、市民を含めて訪れた人がのんびりできる場にして欲しい。他都市のイメージを見て感じたのが、他都市と同じようにしても、今年の夏のように暑いと、人が訪れたいと思える場所にならないので工夫が必要だと感じた。	Ⅰ-1-(1)
No186	横浜市民から外国人まで幅広い人が憩える場所にしてほしいです。 いろいろな花を植えることで魅力を高めてほしいです。	Ⅰ-1-(2)
No187	テーマが他の公園緑地と同じような内容になっており、山下ふ頭としての特徴等の内容が薄い気がします。具体的にどのような機能や施設を持たせるかなどは周辺の公園・港湾緑地・道路（日本大通など）との機能分担や連携を図りながら検討を進めるとよいと思います。(港北ニュータウンのグリーンマトリックス的な)。また、山下ふ頭の検討とともに臨海部の緑地は横浜の誇る財産です。個々の施設が管理運営していますが、連携しながらイベントをしたりするともっと活用の幅が広がると思います。(たとえば、ビアガーデンなど同時期に複数公園緑地・施設で連携してやる) ガーデンネックレスやイルミネーションなど少しずつそのような取り組みがでていますが、シティプロモーションになるような取組を企画し、市も後押ししながら更なるもりあがりを期待しています。(個人的には酒・食・花・イルミネーションまたはこれを組み合わせるとよいかと)	Ⅰ-1-(2) Ⅲ-1-(1)
No188	山下ふ頭跡地は横浜のシンボルみなとヨコハマの最後に残る場所であり、47 ヘクタールという広大な場所です。この場所 にどのような施設をつくるかは極めて重要です。みなとみらいのような施設はこれ以上必要ない。次の方向で計画してほしい。　1 市民の憩いの場所としてほしい　 子ども達が気軽に遊べる施設 ①浜辺を利用して家族ぐるみで遊べるプールをつくる ②各種の遊戯を備えた子供たちが遊べる公園 2　市民が集い、文化、芸術、歴史等学び討論ができる施設をつくる ：大型図書館 ：市民ギャラリー（今の場所は伊勢山にあり利用しにくい） ：サポートセンターのように講演会や演奏会、市民活動や文化サークルなどが自由に無料で使えるフリースペースを備えた大型の会館等 3　防災に備えた施設 ：防災タワー、津波に対応できる避難所を兼ねた展望スポット② 防災公園等 4　山下公園と連結した GREEN ベルトの設置	Ⅲ-1-(1)
No189	○山下ふ頭に「商業施設」はふさわしくないと考えます。なぜなら、元町商店街や山下町商業施設があるからです。中区民・横浜市民だけでなく国内および外国人旅行者にも人気があります。新たな商業施設はこれまでの市民生活を壊しかねません。 ○山下ふ頭に「大型宿泊施設」も不要です。ほしいのは、だれもが行きたくなる広い空間です。夏には陽射しを避けられる木陰やミストシャワー	Ⅰ-1-(1) イ-2-(2)

	の設置が望まれます。冬には日向ぼっこだできて、座れるベンチががあるといいです。大型予算でなくても可能な設置がいいと考えます。 ○予算を使うべきは直下型地震対策です。現行の想定を超える津波に対処可能な「津波避難タワー」を世界が注目する機能と形態で設置してほしい。ソーラーパネルで発電し最新の蓄電装置を設置、冷暖房を完備し、食料・寝袋等を備蓄倉庫、一定数のトイレも設置する。これなら「商業施設」「大型宿泊施設」より安価で建設できます。かつ市民に必要な「津波避難タワー」を、高齢者や障がいのある方も登りやすい構造と設備で、外観も子どもたちが登ってみたくなるデザインで設置してほしいです。これこそ世界が注目するという、横浜市ならではの新たなコンセプトを構想した山下ふ頭開発を望みます。	
No190	緑と海辺空間とても良いと思います。 ぜひ市民が集える広い公園を整備してください。現在もイベントが行われ賑わいが創出されています。新たな箱モノやテーマパークのようなものでないシンプルな広場を望みます。防災拠点になるよう最低限必要な施設のみ建設して、将来にわたって市民が利用できる自由な空間ができればいいと思います。目先の経済効果や雇用の創出に重点が行ってしまうと投資する企業の利益が優先されるでしょう。市が市民のために主体性をもって、将来にわたって「ここがあって良かった」と言える場所を作っていただけることを願っています。	Ⅳ
No191	市民のため、そして世界に誇れる魅力的な山下埠頭を！　水辺を楽しむ工夫、コペンハーゲンの水辺には広いデッキが張られて寝転んだり裸足になったり出来ました。 山下埠頭から繋がるコースを作り散歩エリアになるといいですね。国際会議も出来る大きな国際展示場があれば経済面でも活用できるかと。但し市民も利用出来るスペース、災害時にも活用する工夫が欲しいですね。市民、観光客が常に利用出来る食事エリアイートインなどを設けてくれるとありがたい。　広いイベント広場が必要ですね。芝生公園の様なイメージで、市民が楽しんだりイベント開催もありですが、災害時にも利用。 海の見えるベンチや芝生広場でお弁当を広げて家族、友人たちが楽しめる環境づくりをお願いしたい。水飲み場、ゴミの管理、日陰などなど。　以上よろしくお願い致します。	Ⅰ-1-(1) イ-2-(2)
No192	横浜の都心臨海部の観光には、しばしば指摘される課題が三つあります。それは、日本らしさが乏しいこと①、宿泊客が少ないこと②、回遊性が悪いこと③です。山下ふ頭の再開発はこれらの課題の解消につながる好機であると思います。「緑・海辺」 広大な敷地を生かした写真映えのする現代最高の日本庭園を造り、旅の目的地になる名所にします。(①の解消策)「賑わい」充実したナイトライフを提供する娯楽施設を複数造って、一帯を不夜城とすることで、観光客が遠い東京ではなく近い横浜に宿泊するようにします。例えば、夜の遅い時間帯に舞台芸能を鑑賞できる劇場などです。(①②の解消策)「交通機能の強化」 LRT の導入を前提として都市計画を立てます。海岸線と垂直方向の鉄道路線が横浜の都心臨海部には無く、駅と沿岸部の間の移動手段が徒歩かバスに限られている回遊性の悪さを、LRT の導入によって改善します。これは、山下ふ頭・新港ふ頭・	Ⅲ-1-(1)

	みなとみらいの沿岸部と関内駅周辺や野毛などの市営地下鉄・JR の沿線部とを、LRT でつないで移動を容易にして、沿岸部と沿線部の一体性を強めるものです。こうした海岸線と垂直方向の LRT の路線と併せて、平行方向の LRT の路線を造れば、例えば、パシフィコ横浜・赤レンガ倉庫・山下ふ頭・横浜スタジアムを回るような、都心部を周遊するコースの回遊性も向上します。(③の解消策)	
No193	「『答申』を踏まえた基本的な方向性」に対する追加意見　その１　　8 月 15 日、港湾局山下ふ頭再開発調整課は、「山下ふ頭再開発について　幅広い世代の方々が参加する市民検討会(以下、「市民検討会」と略)を始動します！」という「記者発表資料」を公表した。これは、7 月 1 日から開始されている「市民意見募集」期間に新たに加えられた事業計画案策定に向けた措置である。私はすでに「意見」の中で、事業計画案策定においては、「市民参加」を実質的に保証することが必須の条件であると要求したが、「市民検討会」の措置を受け、あらためて「追加意見」を述べる。 1、「市民参加」の実質的保証こそ事業計画案策定の要と要求した すでに提出した「意見」では、「基本的な方向性」の第一の問題点として、一握りのデベロッパー、金融資本の短期的な金儲けのための「世界最高水準のコンテンツや施設等が広がる賑わい拠点」が明記されていることに違和感をもった。その方向性は、飛鳥田市政以来の国の内外から高い評価を受けた先進的な都市(まち)づくりの実績・経験を否定、切断し、市民が誇りとする「横浜らしさ」を壊すものだからである。カジノを止めた市民には到底受け入れられない。それに対置する形で、私は山下ふ頭が市有地、つまり「市民の共有財産」であることを主な根拠に、「市民が集い・憩い・交流・活動し・文化を発信する市民のためのオープンスペース」という「もう一つの方向性」を提案した。それこそが歴史的転換期にふさわしい、市民が望む山下ふ頭のあり方であると考えるからである。 併せて、「基本的な方向性」の第二の問題点として、事業計画案づくりには「市民参加」が保証されなければならないと指摘した。それは山下ふ頭のあり方と不可分の問題だからである。「基本的な方向性」には、「市民が結ぶ新たなまちの環」と市民受けするキャッチフレーズが使われているが、示されている事例を見る限り、本来の「市民参加」とは本質的に異なっている。横浜の都市づくりは、理念として「市民の政府」を掲げ、「市民と共につくる」ことを一貫して実践してきた。その先進性は「市民参加」抜きには語れない。この点でも、カジノ誘致に邁進した林前市政のやり方は真逆で、市民の声に耳を貸さず、もっぱら行政主導で強引に進められた。「市民参加」は全面的に切り捨てられたのである。その２につづく	Ⅳ
No194	緑と海辺のまち、というテーマはいいと思う。 東京に張り合って大きな高級ホテルや音楽施設など箱を作るんじゃなくて、小規模ラグジュアリーホテルや高級純和風旅館、ヨーロッパで市民の週末の楽しみになっているようなこじんまりとしたステキなレストラン兼宿を散らばせるなど違う方向もあると思う。 また桜木町から横浜の一帯は日陰もなく歩道も狭い場所に似たような巨大ビルがバンバン建っていたり、関内駅前も不自然に 1 部だけ桜木町化して高層ビルが	Ⅳ

	建ったがまちづくりがその方向で進むなら問題。 若木が将来森になることを見越して植えるように将来ここが本当に「街」になるのかきちんと計画して横浜として特色・誇りあるまちづくりをすべき。 また観光客や大企業を呼び込むのも大事だが比重が偏り過ぎているように感じるので地元企業・市民を優先した上でのまちづくり・地域経済発展を目指してほしい。	
No195	市民の為の場所にしてほしい。 イノベーションとか賑わいとか、県外の企業や外資を呼び込んだり観光客頼みだったり花博のような甘い算定での計画ではなく、地元中小企業の経済発展の場、市民の憩える場であってほしい。 せっかくの緑税を活かして緑あふれる水辺・山下公園のような市民に愛されるシンプルな公園だけでいい。喫茶店・カフェくらいなら１軒はほしいが飲食店や雑貨店が入った「賑わいあふれる」商業施設はもう不要。 「世界に誇れる」など外に向かって誇る必要もなし。 横浜市歌が歌えるハマッコというだけで十分横浜市民には誇りがあるので、誇りならそういうソフト面での政策を期待。	Ⅳ
No196	横浜市は「方向性」に市民が一番に利益を望んでいるようにまとめたが、それは市民の望みではなく、企業にせかされた市側の望みであろう。市民の意向を無視してどんどん強引にカジノを誘致しようとした反省を横浜市は全くしておらず、市民の意向を勝手に造り上げるなど言語道断である。山下埠頭は市民の財産である。いっときの稼ぎのためではなく、長い市民の福祉に役立つものが良いのである。市は二言目には SDGs と言うが、カジノや、カジノが否定されても大企業のためのテーマパーク型ハコモノ再開発にばかり明け暮れ、全く持続可能性を考えていない。市民のための森林公園が、防災対策にもなり憩いにもなり、海辺に巨大な森林公園があることがかえって観光にも寄与するのである。せっかく米軍から返還された市民の土地であり、山林や原野などの自然が豊かで多くの生物がいたのに、その後の大企業のテーマパーク型ハコモノ再開発のためにブルドーザーで茶色く真っ平らに整地してしまい、取って付けたような植栽を施して「園芸博」を開いて自然を売り物にするような愚を重ねてはならないのである。なお、またぞろカジノ構想が大阪だけでなく北海道や東京に押し付けられる動きがあるようだが、カジノ構想再燃は絶対に許されない。同様に、市民の金で大企業に貢ぐようなテーマパーク型ハコモノ再開発も絶対に許されない。横浜市はどこまで同じことを繰り返すのか。もう改めなければならない。	Ⅳ
No197	山下ふ頭の夜間の核となる常設コンテンツとして、港の景観を生かした「光と水のショー（噴水・水幕・レーザー・音楽の連動)」の導入を提案します。 シンガポールのマリーナベイサンズや大阪万博でもそうですが、光と水のショーの人気は非常に根強いものがあると感じます。 さらに、噴水や音、レーザー、プロジェクションマッピングは変化が比較的容易なため、四季ごとに内容を変える、大さん橋のヨルノヨなどとコラボするなどにより、定期的な集客が見込めますし、私含め地域住民～観光客の定期的な楽しみになると考えます。 光害・音量・航行安全や生態系への配慮を前提に、ご検討をお願いします。	Ⅲ-1-(1)
No198	山下ふ頭再開発に関する詳細ビジョン 山下ふ頭の再開発は、横浜の港町ブラン	Ⅲ-1-(1)

	ドをさらに発展させ、市民と観光客の双方にとって魅力ある拠点を創出する重要なプロジェクトです。私はこの将来像として、「世界一夜景が美しいスケボーパーク」を核とした多機能スポーツパークを提案します。これは単なる施設整備ではなく、市が掲げる各テーマと密接に結びつく持続的なまちづくりのビジョンです。　テーマ I 世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間 山下ふ頭の立地は、海と横浜港の夜景を同時に楽しめる稀有な環境です。ここに国際大会規格のスケートボードパークを設置することで、競技そのものが都市景観と融合した「魅せる空間」となります。芝生広場や緑地を組み込み、家族連れがピクニックや散策を楽しめるようにすることで、利用者はスポーツだけでなく自然と海辺を体感できます。夜間照明を工夫すれば、海と緑のコントラストが映える幻想的な風景が広がり、まさに「旅のデスティネーション」として人々を惹きつける空間が実現します。　テーマ II 持続可能なまちを支える明日へのイノベーション 現在、横浜ではスケートボードの練習場不足から、歩道やビル敷地での危険な練習が問題となっています。適切な練習場を整備することは、迷惑行為や事故の防止に直結し、持続可能な都市環境の実現につながります。さらに、施設運営に再生可能エネルギーを活用し、夜間照明には省エネ型 LED を採用するなど、脱炭素社会に向けた先進的な取り組みを示すことが可能です。ICT を活用した混雑状況の可視化や利用者データの分析により、効率的かつ快適な運営モデルを実装することで、「未来志向の公共空間」としての価値も高まります。　テーマ III 活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい スポーツ大会やイベントは、国内外から来訪者を呼び込み、経済波及効果を生み出します。例えば国際スケートボード大会を山下ふ頭で開催すれば、SNS や映像を通じて横浜の夜景が世界中に発信され、観光誘致の起爆剤となります。また、山下公園・赤レンガ倉庫・大さん橋と回遊性を持たせることで、横浜都心臨海部全体の滞在時間を延ばし、商業施設や飲食店、ホテルなどの活性化にも直結します。 さらに、商業施設や美術館が「一度訪れて終わり」となりがちな点に対し、スケートボードやランニング、サイクリングといった体験型アクティビティはリピート性が高く、継続的な集客が可能です。特に「夜景を背景にした運動体験」は都市型デートスポットとしての魅力を持ち、若者層や観光カップルを呼び込む新たな需要を生みます。市民が結ぶ新たなまちの環 この施設は、子どもからアスリート、観光客まで多世代が同じ空間を共有する「交流の場」として機能します。子どもが安全に自転車練習を行えるエリア、初心者が安心してスケートを始められるスペース、トップアスリートが国際規格の施設で競技に挑む姿を市民が間近で見られる環境は、市民一人ひとりに誇りと一体感をもたらします。多様な主体が参画できるまちづくりの実践例として、市民参加型のワークショップや地域イベントとも親和性が高く、「シビックプライド」を醸成する拠点になると考えます。　騒音・マナーへの配慮 スケートボードは魅力的な文化である一方、音の反響や深夜利用が懸念されます。そのため以下の対策を組み込むことが重要です。 騒音対策 防音舗装材や衝撃吸収素材を活用し、従来のコンクリートより音を抑制。植栽や	Ⅲ-1-(2) Ⅳ イ-3-(1)

	防音壁を部分的に配置し、周辺のホテルや住宅への影響を軽減する。 利用時間の設定 夜景を楽しめる時間帯は開放しつつ、深夜は施錠・閉鎖し、不正利用や近隣迷惑を防止する。 マナー向上策　利用ルールを多言語で表示し、市民参加型イベントや大会を通じて「街に歓迎される文化」としての意識を広げる。 これにより、適切な場所とルールを提供しつつ、周辺環境との調和を図ることができます。 期待される効果 観光　世界大会やイベントを通じて横浜の魅力を国際的に発信。 経済　観光収入の増加に加え、周辺の商業施設・ホテル・飲食店が活性化。 教育・子育て　子どもが世界基準のスポーツに触れることで健全な育成を促し、親子で楽しめる安心空間を提供。 都市ブランド　「港町横浜」に「動きのあるキラキラ」イメージを加え、他都市との差別化を実現。 安全・公益性　路上での危険な練習を抑止し、歩行者や周辺施設への迷惑行為を減少。 持続可能性　再エネや省エネ設備を導入し、環境負荷を抑えた都市モデルを提示。 生活調和　騒音抑制と利用時間の管理により、周辺住民や宿泊施設との共存を実現。 キャッチコピー案 「世界一夜景が美しいスケボーパーク」「横浜の夜景で、世界大会を」「走る、跳ぶ、恋する港町」「子どもの自転車デビュー、海の見える横浜で」	
No199	山下ふ頭の再開発は、横浜の港町ブランドをさらに高めると同時に、緑と海辺の魅力を最大限に活かした空間づくりが重要です。私はその将来像として、「世界一夜景が美しいスケボーパーク」を核とした、体験型・交流型の都市スポーツ拠点を提案します。 この構想は、市が掲げる テーマ I「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」 と特に親和性があります。山下ふ頭の海辺に夜景を背景とした国際規格のスケートボードパークを設けることで、世界大会やイベントを誘致できるだけでなく、海と緑を一体化させた景観そのものが新しい観光資源となります。芝生広場や植栽を組み合わせれば、子どもや家族連れも安心して利用でき、四季折々の自然と海辺を体感できる「魅せる緑と海辺」を日常的に楽しむことができます。 また、テーマ II「持続可能なまちを支える明日へのイノベーション」 の観点からも意義があります。歩道やビル敷地での路上練習を抑止し、安全で快適な利用環境を提供することは、持続可能な都市生活の実現に直結します。さらに照明や施設運営に最新の省エネ技術や再生可能エネルギーを取り入れることで、脱炭素型のスポーツ拠点として先進性を示すことが可能です。さらに、テーマ III「活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい」 にも合致します。スポーツ大会やイベントは国内外からの来訪者を呼び込み、赤レンガ倉庫や大さん橋、山下公園と結びついた回遊性を強化します。商業施設やアートミュージアムと比べ、スポーツや散策といった体験型アクティビティはリピート性が高く、「走る、跳ぶ、恋する港町」としての新しい都市の顔を形づくることができます。 最後に、「市民が結ぶ新たなまちの環」 の理念とも一致します。子どもからアスリート、観光客まで多世代が同じ場を共有することで、多様な主体が関わり、市民一人ひとりのシビックプライドを育むことにつながります。山下ふ頭を「世界一夜景が美しいスケボーパーク」を核とした緑と海辺の体験拠	Ⅲ-1-(1) Ⅳ

	点にすることは、観光・経済・教育・子育て・環境のすべてに波及し、横浜の将来像を力強く前進させると確信します。	
No200	山下ふ頭の土地は大部分が公有地（横浜市有地と国有地）であり、横浜市域中心の臨海部にある地域性を鑑み、横浜市政が凝縮した公的なエーリアとして再開発されることを期待しています。再開発の基本的理念・イメージは、横浜市政の基盤を支える横浜国際港都建設法ならびに横浜市基本構想（長期ビジョン）により、市民自治と国際港都の理念がベースになるべきと思います。「基本構想」では、冒頭に「横浜の都市像」として「市民力」と「創造力」が掲げられ、続いて「都市像を支える５つの柱」の第一に「世界の知が集まる交流拠点都市」が挙げられています。　市民自治の観点からは、教育文化スポーツ・福祉・市民活動の面から各方面の意見を調整して、ハード・ソフト両面から新たな市民交流・活動拠点を創出することを期待します。施設面の一例として、市政の課題となっている新大型図書館建設が含まれることが想定されます。付帯して、国内他都市との常設的な交流システムを構築すれば、市民・文化交流のみならず、各都市物産交流や観光面でも大きな成果が期待されます。　国際港都理念の実践、国際交流の観点からは、このエーリアにアジア諸都市交流拠点を創ることを期待します。横浜市は、世界各都市との間で、姉妹・友好都市、パートナー都市などの提携で広範な国際交流活動を展開してきました。今の時期に、特にアジアの諸都市との提携・交流を強めることは、ともすれば緊張関係に流れる環境の中で、平和・友好の新しいベースを横浜に築くことになり、その意義・役割は絶大です。上海・バンコクにある横浜市事務所の事業とも効果的に連携し、山下ふ頭にアジア都市交流の一大拠点を築き、常設の交流システムを構築しましょう。　市民交流及びアジア都市交流の施設・システムを構築するには、市民のみならず、多様な市民団体の協力が必要です。市民意見の募集に加えて、関係団体の意見募集を企画することを希望します。そのために必要であれば、事業計画作成期間を延長して、将来的な課題に対応できる充実したプラン作成を検討してほしいです。	Ⅳ
No201	「緑と海辺」空間を作るという点にはおおいに賛同します。世界に誇れなくても構いません。市民が利用しやすく何度も行きたい所になってほしい。「イノベーションの創出」も「賑わい拠点」も望みません。 ただ、ただ市民の憩いの場になり、子どもたちがのびのび遊べる空間になる事を望みます。子どもや若者が望んでいるスケートボードを思い切りできる場所、ボール遊びをしても叱られない場所、ランニングもできる路、十分な木陰やベンチが配置されている、ピクニックができる芝生の広場など、ゆったりした緑豊かな場がヨコハマにあっても良いのではないか。 市民が育てる緑の公園、専門の庭師さんが公園を日常的に手入れしたり市民参加のワークショップを開催したり、そんな事で「この公園は市民のものだ」と根付いていく。ニューヨークのセントラルパークは長年市民の憩いの場になってると言います。園内を区分けしてそれぞれに園丁がおり、手入れしているとの事。作りっぱなしではない。ここが大事だと思います。 是非とも広くて緑いっぱいの市民の場を作りましょう。	Ⅳ

No202	再開発にあたって、以下のことを要望します 1．市民が気楽に利用できる「憩いの場」を設ける 2．災害対策意識を高揚させるような展示などを行う 3．地球温暖化対策に関わる意識の高揚を意図する展示などを行う	Ⅳ
No203	1 市民負担を増やさない工夫 市の直接負担を極小化するために民間資金と長期賃貸方式と成果連動型契約を基本にする。市は土地と規制整備を担い民間は建設運営と投資回収を担う。初期費用は敷地の底地賃料と固定資産税収で段階的に回収し料金や税率の引き上げには頼らない。 2 横浜ブランドを世界に売る港町と開港史と中華街という資産を核に国際観光都市横浜の物語を統一発信する。海上夜景や歴史建築や食文化を結ぶ体験導線を作り世界向けに多言語で販売する。ブランド価値を活用したスポンサー協賛やライセンス収入で継続的な収益化を図る。 3 段階的な投資回収モデルを設計 4 市民への利益還元 再開発収益の一部を教育子育て高齢者福祉と防災に充当するルールを明示する。年度ごとにいくら稼いでどの施策にいくら配分したかを見える化する。市民が恩恵を実感できることで再開発への支持と利用が増え収益がさらに高まる。 5 都市交通の強化 本牧方面との回遊と地下鉄延伸に備えた需要創出を先行させる。連節バス水上交通歩行者デッキの三位一体でアクセスの快適性を高め来訪者の滞在時間と消費単価を伸ばす。需要が一定水準に達した段階で鉄道整備に進む。 6 再開発の透明性と説明責任 7 国民間との共同投資モデル 国の補助金と県の支援と民間資金を組み合わせ事業ごとに最適な比率を設定する。市は担保性の高いインフラに限定して出資し需要リスクは民間と分担する。これによりレバレッジを効かせつつ市の財政リスクを抑える。8 外資国際企業誘致 アジア統括拠点と研究所とコンテンツ企業の日本本社を受け入れるため税務や人材ビザや生活支援をワンストップで提供する。英語で完結する行政窓口と国際学校医療居住の環境をそろえ意思決定を後押しする。9 稼ぎを市民に見える形で還元 例えば保育定員の増加や道路整備の延伸など具体的な成果に結び付け現地で掲示とデジタルでの公開を行う。再開発の収益が生活改善に直結すると示せば利用意欲と市民協力が高まる。 10 映画ドラマ撮影特区 撮影申請を迅速化し費用とサービスを定額化して使いやすくする。海と夜景と歴史施設を生かした撮影パッケージを提供し国内外の制作を継続的に誘致する。 11.国際金融センター 資産運用保険フィンテック暗号資産関連の拠点を集積させる。規制理解と人材確保と上場準備の支援をワンストップで提供する。	Ⅱ-1-(1) Ⅲ-1-(2) Ⅳ
No204	世界に稼ぐ横浜　山下ふ頭 ？ 港から世界へ、未来産業・観光・市民体験を融合させた アジア最大級の収益都市モデル	Ⅱ-1-(1)
No205	「緑と海辺」と聞くと好ましいものに聞こえる。グリーン社会、脱酸素、持続可能などの言葉が並んでいるが、再開発そのものが今の気候変動を促進するものではないか。47ha の一部は市民の憩いの場、緑地として、あとは太陽光発電の施設としてはどうか。自然破壊の心配はない。東京都は築地市場跡地の再開発プロジェクトを進めている。 5 万人収容の多目的スタジアム、ホテル、オフィス、商業施設等の複合施設、MICE 施設を整備し、「水と緑に囲まれ、多様な人々が	Ⅳ

	集い、交流することで新しい文化を創造・発信する拠点」を目指すとしている。同じようなものが競合することになる。 子育てや福祉、インフラの整備等にもっと税金を使うべきと考える。	
No206	商業施設はもう十分です。 近隣で客を食い合っては意味がない。 企業が入って既存と同じような商業施設ができたとしても市民の得にはならないと思う。 その維持のために、集客と売上のためにランニングコストがかかり続けるなんて、意味があると思えない。 週末はどこのカフェも長居しておしゃべりする人たちで満員ななか、お弁当やパンを買って、飲み物を持って、過ごせるような気持ちのよい場所があったら。みんな喜ぶと思う。 自然の中で過ごすのはやはり気持ちがいいし、その環境はとても価値が高いと思う。 手入れ、維持には近隣学校の課外授業などで子どもたちの力も借り、子どもたちには経験と職業体験にもなる。 短時間労働したい主婦やシニアや学生もうまく活かしてほしい。 多額の血税が注がれるこの計画、企業が儲儲けるのではなく、はじめから未来永劫まで市民のためになるものであって欲しい。	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-2-(2) Ⅳ
No207	近隣住民として検討委員会をリアルタイムで見ていてかなり不安を感じていたのですが、思ったよりもまとまりのある内容になったと思います。 ただ気になる点があります。 まず、テーマとは別で満たすべき制約を整理した方がいいと思われること。具体的には、耐震強化岸壁や臨港幹線道路計画など用途がすでにある程度予約されている区間があったり、来街者の埠頭までのアクセスなど考慮が漏れると周辺環境に悪影響を与える可能性がある要素などです。 次に、時間スケジュールを示した方がいいと思われること。山下ふ頭は広大であり、一度には作らず、みなとみらいと同様に数十年かけて徐々に成長させることになると思っています。 最後にふ頭外の土地の計画組み込みについて。近隣住民としては現状歩行者動線やシャトルバス停車スペースは十分ではなく、元町・中華街駅から山下ふ頭までの交通状況の悪化を懸念しています。メルパルク跡地や合同庁舎跡地など周辺についても計画の視野に入れていただきたいと思います。	Ⅳ その他
No208	働く場として、高齢者も参画できるシステムを考えていただけたらと思います。これからも間違いなく高齢化が進みます。高齢者の割合が増えるということは、その中のまたまだ働ける人材も増えるということで、働き手不足を補える可能性があります。年齢的に体力面では若い人に敵いませんが、経験を元にした知力、判断力は十分にあると考えます。高齢者を考慮した労働の場、例えば 若い人たちとのワークシェアだったりリモートワーク、年齢と共に低下するスキルはＡＩによるサポート、美観景観を保全するための肉体的労働にロボットによる補助など、老若男女問わず働き交流できる横浜らしいみらい都市を作っていただけたら嬉しいです。	Ⅲ-2-(2)
No209	山下ふ頭を『知の拠点』に。 建築物は CO2 排出削減、塩害防止のため 3 階立て程度の木造とし周辺の緑地（施設建設と同時に緑地公園を造成）に包み込まれるように溶け込む 佇まいとする。 ① 世界（国内外問わず）的に実績ある大学機関のサテライト校を誘致する。 単なる学生を対象とした大学ではなく、世代	Ⅰ-1-(1) Ⅱ-1-(3)

	を超えたリスキリングの場として誰もが受講（参加）できる開かれた学びの場を用意し多様性重視の 文化を創出する。 ②【HOW TO STARTUP】をスローガンに掲げスタートアップ企業に研究施設を提供し次世代技術および人材を世界に発信する。 ③ 隣接して「多機能型横浜市立図書館」を新設。横浜港を眺めながらの読書が可能なオープンテラスや優雅な時間を過ごせるブックカフェを インクルードし市民の「新しい文化発信の場」を演出する。 ④ 更に緑地公園では「海辺」「 緑」を肌で感じながら、市民が気軽に散歩、ペットの散歩もでき、ベンチにただただ座ってくつろげる場所。 それは単なる「にぎわい」の場所ではない空間である。 そこはまさに皆の居場所（居方＝ただ居ることができる場所）パリの【パレ・ロワイヤル】、ニューヨークの【セントラルパーク】を超える世界に 誇れる空間となるでしょう。 教育機関＋研究機関＋多機能型市立図書館＋緑地公園を集積（産学官連携）し【山下ふ頭】は世界に文化情報および技術を発信する自然豊かな 『知の拠点』となる。 これこそが横浜市民のための横浜市民が世界に誇る「横浜らしい」開国の地の将来ビジョンと信じる。	
No210	「基本的な方向性」で「にぎわいと交流」が強調されていますが、そのにぎわいが特定の大手商業施設や事業者だけに偏らず、市民が日常的に利用できる開かれた空間として確保されることを求めます。市民活動や地域中小事業者、文化団体など、多様な主体が関われる仕組みを整え、芝生広場や散策路、自由に使える公共スペースを十分に整備してください。横浜の宝である魅力的なウォーターフロントを壊さない開発にしてください。	Ⅲ-1-(1)
No211	スポーツ賭博のようなギャンブルは止めてもらいたい。お金を出さないと、何もできない場所にはしないで欲しい。 市民や観光客の憩いの場所にして欲しい。	Ⅲ-1-(1)
No212	緑を多く取り入れ、高層の建物は避ける計画をして欲しい。特に、東京の臨海地区で住宅価格の高騰の原因ともなっている、高層の高級マンションは絶対建築しないこと。 外国の人も含め、皆が気軽に憩える野外スペースや屋内スペースを出来るだけ広く確保した街づくりを追及して欲しい。	Ⅰ-1-(1)
No213	山下埠頭の開発に、緑と海辺を大切にすることには賛成です。ただし世界に誇れるとありますが、まず横浜市民が誰でも自由に利用できる、市民が誇れる公園のようなものを目指して欲しいと要望します。世界に誇れるが先にあると、市民より、見栄えが優先しないか心配しています。世界に誇れるではなく、市民が利用しやすい、市民がホッとできる、市民が明日への希望を感じできるそんな再開発ができれば、自然に、世界にも誇れるようになるのではないでしょうか。	Ⅳ
No214	まずこの再開発は誰のために行うのか。市民のため、市のために働いてくれる人のためだと思う。再開発の結果が市民に還元されるように、しっかりと収益化できるものにしてほしい。綺麗ごとはいいので、お金を得ることを目的として再開発を行ってほしい。そのための初期投資も怠らないでほしい。 横浜を歩いていて思うことは、外国人観光客が非常に少ない。横浜としての魅力を上げるとともに、日本的な魅力を上げる、もしくは外国人観光客の集客が見込めるもの（例えばカジノ等）の再検討もしてほしい。インバウンド需要が高まっている昨今、横	Ⅱ-1-(1)

	浜は全くと言っていいほど活かせていない。 財政の豊富な東京が隣接していて、色々な場面で劣勢だとは思うが、負けずに魅力を爆発させ、財政を潤し横浜に住みたいと思える街にしてほしい。	
No215	横浜は、都市デザイン、まちづくりの中で飛鳥田市政の時から、ずっと【横浜らしさ】を大切にしてきました。【横浜らしさ】とは、「エキゾチックな都市環境」と「緑のネットワーク」「水際線を市民に開放し、臨海部に公園を造成」する事です。「エキゾチックな都市環境」は、「歴史を生かした町づくり」へと引き継がれています。今回の山下ふ頭再開発の「答申を踏まえた基本的な方向性」は大きな目で見たら、マスタープランの枠から出ていません。イノベーションは最先端の技術つまり経済性重視であり、賑わいは観光重視で税収を意識しています。市民が結ぶ新たなまちの環は、市民がもてなす側であり、市民の生活を主体にはしていません。山下ふ頭は市民の財産であり、市有地です。市民の生活向上、公共福祉のために開発していくことが横浜市のなすべき事です。マスタープランから、市はお金儲けをしなくてはいけないという発想になり、【横浜らしさ】を捨て去って、ビジネスに邁進しています。みなとみらい、象の鼻パーク、大桟橋、山下公園、そして山下ふ頭へ、さらに港が見える丘公園と続く水際線を「エキゾチックな都市環境」と「緑のネットワーク」「水際線を市民に開放し、臨海部に公園を造成」の計画に則って開発を進めていただきたいです。それが市政として必須の計画であり、市民として当然の要求です。したがって山下ふ頭再開発について、上記の 3 つの事から考えられることは、山下公園の引き続きで緑豊かな公園にする。水際線は市民に開放し、水遊び、カヌー、サップなどができるようにする。船の行き来もできるようにして、陸上からの交通ができないときには、海から交通ができるようにする、必要なら、カフェ、レストラン、大型図書館、市民交流センターなどをつくるという計画になると思います。お年寄りと子どもが交流したり、市民同士が交流したり、山下ふ頭の地域を維持していくためのコミュニティも必要だと思います。それが「市民が結ぶ新たなまちの環」だと思います。それには、住宅も必要だと思います。その他「エキゾチックな都市環境」と「緑のネットワーク」「水際線を市民に開放し、臨海部に公園を造成」から考えられることはまだあると思いますが、市民の声を市政にどのように活かしていくかが、大切だと思います。	Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No216	山下埠頭は再開発は、広いスペースを利用して市民生活に役立つ施設を創って欲しいです。豪華な商業施設や高層マンションなどの大型開発より、民政優先でお願いします。 (1) 市民が気楽に使えて、憩いと健康作りの出来る施設。 ① 多目的広場:樹木に囲まれ、芝生広場、噴水池などのある広場 ② 長期間待たずに、適切な使用料で利用出来るスポーツ広場。植栽に囲まれた設備 ・ 野球場、サッカー場、フットサル場、テニスコート、屋外プール、体育館、海釣り場 (2) 災害時に備えて、臨機応変に使える広場 ① 災害復旧拠点 トイレトレーラー、キッチンカー、給水車、 救急医療飲車輌、ドクターヘリ ・これらの保管と出動拠点 ② 災害時の一時避難場所	Ⅰ-1-(1) Ⅳ イ-2-(2)

No217	(1)　市民が気楽に使えて、憩いと健康作りの出来る施設。　①多目的広場:樹木に囲まれ、芝生広場、噴水池などのある広場　②　長期間待たずに、適切な使用料で利用出来るスポーツ広場。植栽に囲まれた設備　・ 野球場、サッカー場、フットサル場、テニスコート、屋外プール、体育館　(2) 災害時に備えて、臨機応変に使える広場　①　災害復旧拠点 トイレトレーラー、キッチンカー、給水車、救急の医療機関車輌、ドクターヘリ　・これらの保管と出動拠点　② 災害時一時避難場所	Ⅰ-1-(1) イ-2-(2)
No218	市民が住み続けたくなる横浜を念頭に意見を述べたいと思います。市民の中でもとりわけ子供たちが生き生きと生きていく横浜をイメージしています。未来を語るには歴史が重要です。その観点から ①横浜の歴史を紹介する施設を望みます。古代から現在までの歴史を知ることは生きる力となります。関東大震災、空襲、戦争など負の歴史も知らせたいと思います。 ②都会においても日々の暮らしを支える農業を体験することは必要です。米作りを知らずに毎日米を食べている子供達に米作りを近くで体験できるとしたら素晴らしいし、海と水辺を生かした空間の中に里山を造ったり、海と森と川のある自然を創り出すこともできたら横浜の魅力がさらに増していくと思います。 ③賑わいより子供たちの成長に役立つ施設、環境を優先させるということから、例えば図書館、シルクセンターのような体験型施設、プラネタリウム、美術館などの文化施設などを希望します。	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No219	山下ふ頭は、横浜市民共有の場所であり、市民が末永く利用できる憩いの場としていきたい。 特に、横浜市民だけでなく多くの人にとって、文化的な面を享受できる場にしたい。	Ⅳ
No220	○「市民が結ぶ新たなまちの環」　・市民や多様な主体が関われる仕組みを導入していただきたい。　例えば公園や交流施設の運営に市民が参画できれば、誇りを持って関われると思う。　○「緑・海辺のまち」を支える交通・物流インフラ ・ふ頭出入口の狭さや公共交通との接続は課題だと感じる。　山下公園通りやみなとみらいエリアなど広域の視点で交通動線を検討することをお願いしたい。　○「海と一体化した横浜を象徴する風景づくり」　・海と緑が一体となった新しい横浜らしい景観デザインを期待する。　市民や観光客にとって象徴的な風景となることを望む。　○山下ふ頭の将来像（全体について）　・再開発はふ頭単体ではなく、都心臨海部全体と連動させるべき。　・横浜の歴史と未来の創造をつなぐ計画となることを期待したい。　以上	Ⅳ
No221	コンテナターミナル、港湾事業、物流拠点の歴史的背景を基盤として、非常時の「防災拠点」及び平時の学生や非正規雇用者を支援する「セーフティーネット」機能を合わせ持つ「防災コンテナ集積アートタウン」を提案します。 1．　インフラコンテナ・貯水槽、ろ過機、発電機、通信基地局　2．食コンテナ・台所、食堂、食材備蓄品　3．衛生コンテナ・トイレ、浴室、洗濯乾燥　4．保育、学童コンテナ・保護者復旧作業時の見守り施設　5．医療コンテナ・診療所、薬局　6．ペットコンテナ・見守り施設 7．備蓄、支援品コンテナ・受け入れ仕分け	Ⅳ

	８．居住コンテナ・セーフティーネットハウス等の機能別集積コンテナ群を設営する。 各コンテナ群運営管理、責任者は行政担当者が行い。平時は前述８．居住コンテナに住まう市民及び地区防災担当者が定期的に各インフラ提供企業の指導の下ボランティア研修、実習を兼ね各機能コンテナのを保守担う。非常時には８．在住の市民がボランティア　リーダーとして従事する。 なお、コンテナは壁画コンテストなど開催し市民の関心を喚起する行事を実施する。	
No222	・市民の公共財産である山下ふ頭は経済優先の開発をせず、市民の憩いの場にしてほしいです。　広い空のもと海を身近に感じられるところがよいです。高層建築物は必要ありません。　桟橋を作り横浜駅から臨港パーク・ハンマーヘッド・赤レンガ倉庫・大桟橋・山下公園・大黒ふ頭などを船で往き来でき、近隣の川や運河も巡れる　ようになるといいですね。　市民が港に親しめることを最優先にしてほしいと思います。 ・スポーツベッティングの施設を誘致するような話があるようですが絶対に反対です。	イ-1-(2)
No223	1. はじめに　1.1. 埠頭の役割を終えた山下ふ頭は市民に返却すべき 市有地は市民に返却する、それが 60 年余の功績を永遠に記録する唯一の選択です。 1.2. 山下ふ頭の再開発は、市民と来市者が憩える施設・空間で構成すべき 市内に多くの賑わい拠点が造られた今日、少なくともハードウェアに不足は無いでしょう。賑わいが不十分と云うならば、それはソフトウェアに瑕疵があるのです。人口減少が避けられず、可処分所得も伸び悩む現状において、市民が安全安心の下に廉価で憩える場とすべきです。企業優先の再開発計画は無用です。 2. 市民の憩える場とは　2.1. 静謐を基本　海の音、行き交う船の音、樹々のざわめき、人の声など、自然音や生活音が楽しめる環境の意味です。電気増幅された音は無用です。 2.2. 横浜港を身近に感じられる場所 大さん橋に入出港する直前・直後の大型船舶、行き交う中小船舶を間近に見られるなど、横浜港をダイナミックに移動する船舶を観察・見学する環境です。簡易な展望施設があるのも良いでしょう。 2.3. 横浜港の歴史も体験できる場所 周辺に観光船発着所はありますが、山下ふ頭を含めて再編成すべきです。周辺の運河整備を含めて横浜港の舟運、例えば根岸湾との関係を理解して歴史を振り返える企画などの拠点にするのも良いでしょう。 2.4. 海に親しめる親水施設　横浜市の自然海岸は、市内全海岸線の２％ほどと古い資料にあります。身近に人工海浜を造成して海に親しめる機会を増やすべきです。とにかくみんな海（水）が好きです。 2.5. 港の見える丘公園からの港の眺望を確保　横浜を代表する観光地・港の見える丘公園からの港の眺望を確保すべきです。港の眺望を破壊しないために、ビルや施設の高さ制限を設けるべきです。また過度な照明は控えるべきです。 2.6. 港の見える丘公園との回遊性を考慮　海をゆっくり楽しめる場所は多くありません。山手を一望できる場所は無いと云って良いくらいです。横浜を代表する観光地・山手を眺めようと思っても、間近のマリンタワーに上ってさえビルで眺望が切り刻まれます。　山下公園石舞台と港の見える丘公園・フランス山地区はデッキで行き来できますが、今ひとつ魅力に欠けます。石舞台に向かわせる魅力	Ⅰ-2-(1) Ⅳ イ-1-(2)

	も乏しいです。山下ふ頭とフランス山を結ぶ動線の一部に山下ふ頭を組み込むべきです。　2.7. 横濱村に回帰するような個性を山下ふ頭に持たせる　ジオラマを造り、苫屋の煙を復活させるなどとは考えません。ただ重厚長大な施設づくりは無用、人口減少に向かう時代は臨機応変に対応できる、再構成できる軽薄短小な施設こそ、持続可能な環境づくりと云うものです。　立派な施設を作っても、30 年ほどで老朽化と云い出す例が多くあります。　3. 芸術家村の融合とは　より魅力的な山下ふ頭にするためのソフトウェアを次のように考えます 3.1. 市民の憩える公園と芸術家村を融合した施設 子供のための遊具は限定的に、起伏や木登りなど家族とともに自然に親しめる環境を整備します。大人には林間の散策や四阿などの休憩施設を用意します。　付かず離れずの位置に、芸術家たちのために滞在製作や練習・試演可能な施設を用意します。　3.2. 既存設備を最大限活用 山下公園に立派な石舞台があるので活用します。山下ふ頭には既存建屋・設備（所有者不明ですが）が残るので、滞在施設や稽古・練習場として大いに活用します。アトリエ、音楽室なども同様です。　芸術家同士のコレボレーションが自然発生可能な広場を造成します。小規模多目的ホールも建設します。　3.3. 市民や来市者が芸術家を身近に感じ、自然な交流が生まれるレイアウト　芸術家村を回遊できるレイアウトを計画します。作品の展示スペース、練習などは公開あるいは限定公開することを条件にします。複数の個人団体が並行的に活動して、市民や来市者が行けば芸術の雰囲気を感じられるようにします。もちろん作品の完成時には周辺の環境も利用しながら公開します。 3.4. 世界から芸術家の受け入れ、付近の町とのコラボレーション推進 国際化は多義ですが、市民の憩いの場に世界の芸術家を受け入れます。市民交流のきっかけにもします。　付近の町と日常的に接触、交流することで、結びつきが生まれる可能性を増大します。　3.5. 一気に完成するのではなく、弾力的に発展することを継続 市民と滞在する芸術家たちの要望を逐次集約しながら年々発展します。期限限定で良いですが、その間の予算は年々確保します。利用者の意見を尊重しながら常に新しい一面を見せ続けます。　以上	
No224	1）山下公園の東端から大きく北東方向へ向かって開かれている山下ふ頭エリアは、通年 9 月から翌年の 4 月までの 8 か月間概ね北からの風が吹いている。風の影響を考慮して、北向き登りの傾斜した地盤面を想定した。『風の丘』と名付ける。表面部分を人々が集い、地下の部分にはそれらを支えるインフラ等を配置する。 2）山下ふ頭の開かれた 3 方向の水際は、従来のふ頭として機能上必要不可欠だった。しかしながら歩行者にとっては危険な状態なので、落下防止を兼ねて手摺のある『なぎさデッキ』をぐるり 3 方向に設け、又その内側に緊急車両通行ゾーンを設け、またまたその内側に屋根のある『なぎさコリドー』を設け、雨の日の散策を楽しめるようにする。 3）遊覧の飛行船を就航させ、空からゆったりと『みなとみらい』地区を満喫させる。非常時には防災用の中継基地として機能させる。	イ-1-(3)
No225	＜気候変動対策に貢献し、国際平和を発信し、世界に誇れる公園として再生を＞	Ⅰ-1-(1)

	横浜市の緑被率は1975年には４５．４％でしたが、2024年は２７．1%と約4割も減少してしまいました。樹林地は1985年から1994年までの10年間で１２６１ha減少してしまいました。地球環境の危機が叫ばれているいま、４７haという山下ふ頭の敷地について、気候変動対策の評価対策都市として選定された横浜市として、緑を創出し、地球環境に貢献する活用が求められていると思います。 改めて、世界の大都市を見ると、ニューヨークではセントラルパークは３４１haという広さが確保され、利用者の7割がニューヨーク市民。市民のいこいの場になっているそうです。また、ロンドンのハイドパークは１４２ha、リージェントパークは１６６ha、同様広大な敷地が確保されています。パリのブローニュの森は８４６ha。パリ市民の身近な憩いの場になっており、週末を中心に散歩やジョギングなどのスポーツを楽しむ人々でにぎわっているそうです。横浜でも、こうした世界の都市と公園を通じ、姉妹都市を結び、市民の憩いとともに気候変動対策をリードしていけたらと思います。 これらの都市との違いは、山下ふ頭は海辺につながっているということ。みなとみらい地区や赤レンガ倉庫地区、山下公園と合わせて、海辺に沿ってつながり、歴史と文化、気候変動などのコンセプトを包摂し、緑と海辺の公園としてアピールできたらと思います。国際平和に関連する国連の機関を誘致し、国際平和友好の場所として発信できればと思います。その建物は、津波などの災害対策・避難場所として垂直避難が可能なものとし、また、 富士山が見える高さがあり、観光やシンボル的要素も兼ねたものとし、北斎の「神奈川沖浪裏の富士」を壁画などで飾ります。その隣接する建物として、「国際平和ミュージアム」を設置します。	Ⅰ-1-(2)
No226	先端技術と自然が融合されているシンガポールにある、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイのようなものが出来て欲しい。 夜にはライトアップショーもでき、それによる集客ものぞめる。	Ⅲ-1-(1)
No227	将来像は、期間限定のイベントに対応したスペースとして広い空間をそのまま残すのが良いと感じています。近年開催された実物大ガンダムのイベントや、自動車の実走してのイベントなどは、ベイブリッジや横浜港、みなとみらいの建築群を背景に写真栄えがあるものでした。このようなイベントを開催するには、ある程度の広大な敷地が必要であると思います。また、開催時にはイベントスペースにふさわしい休憩所やトイレなどが必要であると思います。仮設のトイレでは、横浜のイメージがダウンしてしまいます。ぜひ、相応しく広大なスペースを邪魔しない施設の設置をお願いします。山下ふ頭までのアクセスは最寄りの駅から歩いて行ける距離であり、駅から歩く際、街中を通り抜けていくので飲食店や土産物店なども利用されると思います。以上になります。	Ⅳ
No228	新たに整備する交通インフラや設置する施設、建物等は、採算性を最も重視して計画して欲しい。横浜の新しいイメージを創出する為と言って、コストを無視した奇抜な施設等の設置は避け、年間の維持費や将来の改修費等も考慮し、将来に渡って横浜市の財政を圧迫する事の無いようにお願いしたい。	Ⅱ-1-(1)
No229	カーボンニュートラルな方法で「テーマⅠ世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空	Ⅱ-1-(1)

	間」を創出・運営してほしい。将来の山下ふ頭は「カーボンニュートラル特区」と呼ばれ、「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構築、空間整備、陸・海・空からのアクセスなど、全てにおいてカーボンニュートラルを実現し、訪れる人々はそれを体験することができ、未来世界が進むべき道を提案する。賛同する世界の都市と提携しカーボンニュートラル化技術を提供することで、新しい産業を創出する。	Ⅱ-1-(2)
No230	テーマ１は最も重要だと思いました。シドニーのオペラハウスは国をオーストラリアを象徴する景観。横浜は、みなとみらいから山下、ベイブリッジまで、シドニーに匹敵する水際景観が生まれる可能性がある都市だと思います。賛否両論になるくらい、独創的な景観を創作して頂けたら市民の誇りとなり、観光にも大きなインパクトが出せるでしょう。	イ-3-(1)
No231	樹木等、緑が多く、建物はその緑に調和し、緑の中にあってほしい。	Ⅰ-1-(1)
No232	山下埠頭周辺に一度も行ったことがありませんが、再開発すると新駅が建設されるのでしょうか。それとも今までどおり既存駅からバスや徒歩でしょうか。交通面が気になります。また埠頭だけ再開発してもその周辺環境とセットで考慮する必要があります。また防犯の観点からはそこに人が住むエリアでないと犯罪が生まれてしまう恐れを気にしてしまいます。横浜市民が安心して生活できる空間と世界に誇れる幸せなエリアになることを願っております。	イ-2-(1)
No233	再開発を考えるうえで、どうしても市の収入向上に繋がることを優先して考えると思います。もちろん財政状況が改善することは、横浜市にとっても市民にとっても重要なことです。しかし、これからの横浜市が経済的にも文化的・社会的にも先進都市であるためには、今の子どもたちの力が必要だと考えています。その子どもたちに寄り添った空間造りをお願いします。是非とも、まだまだ未来ある子どもたちのアイデアをたくさん聞いてあげてください。現実的でない意見も出てくると思いますが、皆んなで考えて意見を交換することで、彼らが大人になった将来、今よりもっと良い市政ができると思います。横浜市の子どもたちが、家族や友人と一緒に、山下埠頭エリアで新しいことを発見したい勉強したい、何度も足を運びたいと思えるようなワクワクと心安らぐ場所になったらとても嬉しいです。	Ⅳ
No234	山下ふ頭は山下公園に隣接しているので、横浜の観光の目玉になりえる地域だと思います。臨港パークからハンマーヘッド・赤レンガ倉庫、象の鼻パーク・大さん橋、山下公園・山下ふ頭まで自転車や徒歩で散策できる遊歩道を整備して、山下ふ頭エリアに横浜開港から現在までの約 170 年の横浜港の歴史を学ぶ事が出来る博物館を建設します。横浜市内には博物館や資料館がたくさん有りますが、横浜港の歴史に特化した博物館が有りませんので、山下ふ頭エリアには横浜港の歴史や横浜港から鉄道でどのようにして全国に荷物を輸送していたのを学べるエリアを作るのはいかがでしょうか？	Ⅰ-2-(1)
No235	言葉だけで具体的なイメージが湧かない。カタカナでなく、日本語で書いて欲しい。インフラ整備も単に中心に駅を置くのでなく、街全体を眺めることができる	イ-1-(2)

	ような仕組みにしてほしい。埠頭内は全面禁煙し、喫煙所を造り綺麗にした上で排出する。	
No236	行政だけで進めず、市民の声もちゃんと聞いて、進めてほしい。	Ⅳ
No237	賑わいが増えるのはとても良いと思うが、治安の観点もしっかり取り組んでほしいと思う。	イ-2-(1)
No238	港湾の汚れを防止出来るか？	Ⅰ-2-(1)
No239	横浜市は未だ未だ先に解決しなければいけない事が有ると思います。福祉や南北のインフラ等早急に構築しなければいけない事が多いと思います。横浜市が世界や市民以外の人達に良く思われるよりも市民が明るく未来に希望を持って過ごせる環境に為に税金を使って欲しいです。又、横浜に生まれて来たい、横浜に住んでて良かったと思える街にして欲しいです。	Ⅳ
No240	現状のテーマに異論はない。その上で、観光地として有名な山下公園と隣接していることを活かし、「観光客にお金を使ってもらう」という視点を現実的に取り入れたい。そのためには、突発的なイベント（THEMEATYOKOHAMA など）やアート展（「ArtSquiggleYokohama2024 やわらかな試行錯誤-芸術とわたしたちを感じる 45 日間-」など）に対応できるスペースの確保と、安定した集客力のある常設施設（GUNDAMFACTORYYOKOHAMA など）両方が必要であると考える。前者は「新規開拓と街への刺激」、後者は「最低限の保障とブランドの定着」が目的である。また、立地的に、分散観光という面でも有効である。(「クリスマスマーケット」や「オクトーバーフェスト」など、赤レンガが担っている集客の一部を山下ふ頭に移せると良い) また、街が一体となって取り組むイベント (横浜トリエンナーレやポケモンワールドチャンピオンシップスなど) に一枚噛めるような態勢があれば、より広い範囲で移動するため、バス、電車、船なども活発に利用される。	Ⅳ
No241	賑わいというとすぐに商業施設が作られるイメージがありますが、デベロッパーは作って終わりだと思いますし、三井系、三菱系どっちにしても他の街の駅前と変わらないというものになってしまうと思います。完成直後は話題性で賑やかになると思いますが、継続して賑わうようなところになって欲しいので、山下公園のように飲み食い、買い物がメインの所ではないけれども、ずっと人が集まっていますよね？そういった場所になるようにして欲しいです。	Ⅲ-1-(1)
No242	テーマ１にある「緑と海辺」ですが、さすがに今の海の色ではイメージの実現は困難としか言いようがないです。やはり、青い海、白い砂浜に映える緑の木々でしょう。そのためには、海水の改良が必要であるため、防波堤を設けて内海を形成してはいかがですか。テーマ２と３にある「持続可能で活気に満ち溢れるには、ヒトとヒト、ヒトとモノ、ヒトと環境、モノと環境など街を形成するすべてが共存を共有できるテーマで取り組んでほしいと思います。ヒトにもモノにも環境にも命が宿っています。当たり前のことが当たり前ではない時代になってきました。今一度、原点に返り、新しい街を考えていただきたいと思います。交通インフラについては、ロープウェイ、ＬＲＴ、海上輸送のみとし、自家用車や	Ⅰ-2-(1)

	バス、自転車、二輪車は使わない未来的なイメージでお願いしたいです。大型客船は既存の大さん橋などを使い、そこからは上記の交通輸送を考えるべきです。	
No243	治安の良い場所にしてほしい。	イ-2-(1)
No244	スポーツができるような場所があれば嬉しい。昔マリノスの練習場があったところ。今はKアリーナとアンパンマンの施設があるが、外周が一周980mくらいでほぼ1kmなので、市民ランナーの練習場や、早朝は大学の自転車部やトライアスロン部の良い練習場になっている。しかしながら、アンパンマンの施設で小さい子どもが増えていること、Kアリーナでのイベントの日は人が多く。ランニングの人と衝突しないかちょっとしんぱいでもある。本牧ふ頭も適度に都心から離れているところから、ランニングや自転車のコースを作るのにとても良いと思う。将来的には駒沢公園のようなランナーが集う場所になって、そこから中華街に広がるような形が良いと思う。	Ⅲ-1-(1)
No245	観光などに頼るのではなく市民主体の横浜にしてほしい	Ⅳ
No246	良く考えられていると思う。なんとかの作文に終わらないように、開発に伴う財源はもとより、将来に利益をもたらすことも十分に考慮頂きたい。	Ⅱ-1-(1)
No247	とても熟考したと思いますが、言葉がわかりにくい感じはしますがイメージは良いと思います。シビックプライドを醸成する、世界に誇れる緑と海辺など、市民としては実現して欲しいですが、海の汚れもきれいになったらいいなと思います。よろしくお願いします。	Ⅰ-2-(1)
No248	ガンダムの像はよかったバスに乗っていた時外国の方もよく下車していた展示も世界的に日本の魅力あるようなもの飽きないよう定期的にかえて何か展示ブースがあったらよいのではまた市民がゆったり憩える屋根があって年寄りでも疲れないまた一人者でも快く出かけられるようなところがよい	Ⅲ-1-(1)
No249	世界から観光客を集めることも経済的には必要だと思うが、今の京都のように住民の生活を犠牲にされるのは本末転倒だと思う。世界と大風呂敷を広げるより、市民が利用したいと思えるもの、何度も利用して楽しめるようなもの、世代に関係なく利用できるもの（子供向け重視は困る）を作ってほしい。交通や環境的な混雑は本当に嫌。まずは市民への還元として位置付けてほしい。	Ⅱ-1-(1) Ⅳ
No250	期間限定のガンダムの展示が行われていた時に実際に山下埠頭を訪れましたが、最寄駅から遠いと感じました。公園を作るにしても、商業施設を作るにしても、十分な数の駐車場の確保が必須と考えます。それとともに、周辺道路の渋滞についてもしっかりと対策をご検討いただきたいです。	イ-1-(2)
No251	提示された将来像は理念的で耳障りは良いものの、具体的にどのような事業が計画され、どんな生活環境が実現されるのかが見えません。特に、市民の日常生活に与える影響や、現在の地域との接続性、治安・災害対策・交通対策などの観点が不足しています。抽象的な理想像よりも、実行可能性や優先順位を示す具体的な検討案を提示いただきたいと思います。」	イ-2-(1)
No252	性別や年齢問わず、色んな人が集まる憩いの場にしてほしい。	Ⅰ-2-(1)
No253	楽しい場所であって欲しいです	Ⅲ-1-(2)

No254	公共交通機関の充実。桜木町のロープウェイは高いので、もっと手頃なバスなど。横浜駅から観光も兼ねたアトラクション感覚で乗れる 2 階建バスはどうか。いわゆるショッピングモールはすでに飽和しているし、どこも同じ印象があるので、子どもやペットと、また 1 人でもくつろいだり遊べる場所があったらいいと思う。アスレチック，ボルダリング、緑や景色を楽しむ遊歩道、カフェなど。もちろんバリアフリーで。開放感を感じられるといい。	Ⅲ-1-(1) イ-1-(2)
No255	施設を作るのではなく、海辺や緑を実感できる空間にしてほしい。	Ⅰ-2-(1)
No256	日中は富士山の遠景に海の碧と陸の緑が映え、夜の帳がおりれば眩い夜景輝く、誰もが行ってみたいと憧れる世界一の海洋公園となって欲しい	イ-3-(1)
No257	市民が横浜港に親しめる施設が重要です。	Ⅰ-2-(1)
No258	今後も少子高齢化が進む中、無謀な開発は不要。既得権益側がいろいろ画策することが予想されるが、とにかくオープンに！	Ⅳ
No259	地理的優位性を最大限に生かす事が重要であると思います。港みらい地区とは繋がりは確保しつつもなるだき重複しないように開発すべきではないでしょうか。プレゼンテーションにもありました交通の核となるシステム構築は素晴らしい方向性だと思う、特に海上交通を多く創設することはとても良いのではないか。例えば羽田空港や築地などとの定期航路開設したり、パリのバトームッシュの様な観光ボートセンターを創設すると国内外の人々が何度もおとずれたくなりますし、羽田空港や築地などと船舶で結ぶことによって単なる交通手段以上の体験を得ながら導線が大きく広がると考えます。	イ-1-(1)
No260	緑と海辺というコンセプトは漠然とした響きもあるが、せっかくカジノを廃止して実現しようとしているのだから、ぜひ成功してほしい。くつろぎの空間を望んでいる。緑は何とかなるのかもしれない。大変かと思うが、海の浄化にも少しでも取り組んでほしい。電源は極力自然エネルギーで賄ってほしい。例えば、横浜の大学が生み出した「ペレブスカイト太陽電池」などは世界に先駆けて積極的に取り入れてほしいと思う。	Ⅰ-1-(1)
No261	人工砂浜や緑園をベースにした親水公園を中心にしたエリアにし、科学技術の教育/研究施設の誘致をすすめてもらいたい。大型イベントスペースなどは MM 地区で十分なので、不要。	Ⅰ-2-(1)
No262	正直、初めて目のする情報ばかりで面食らっています。広報に目を通していますが、こういう動きがあるのを存じませんでした。また、このアンケートを読解できません。「ご意見のある項目」？アンケートには毎回答えてきましたが、今回、意見を項目別に分ける必要があるということでしょうか。だとしたら、各項目で何が語られ、何を求められているのかが今ひとつ理解できません。いずれにしても、一時はカジノになりそうだった港が、緑豊かなものになるなら嬉しいです。木陰になる木も植えられると、温暖化防止にも治水対策にもなると思います。また、お酒を飲まない外国人を連れて行けるところが横浜には極めて少ないです。どうか、眺めが良くて、暑さ寒さをしのげて、野菜たっぷりの和食を食べられて、お酒ではないお茶類などをたくさん楽しめるお店が増えますように。そして、外	Ⅰ-1-(2) Ⅲ-1-(1) Ⅲ-1-(2)

	国語による説明や表示、言葉に頼らないアイコンによる表示などが充実しますように。クルーズで同市に立ち寄る人たちに、誰もが「だったら、あそこで情報を得て、そことここを回って」と教えられる環境が整いますように。	
No263	関東圏では、首都東京に次ぐ大都市圏で横浜市の港街の顔になる場所でもあり、日本はもとより世界に誇れる街なみであってほしい。環境やイノベーション、市民が集え参加できる楽しい夢・希望をもった街になってほしく、みなとと、イノベーションの融合する子どもからお年寄りまで行きたくなる場所をつくってほしい。	Ⅳ イ-3-(1)
No264	緑と海辺で理解しました。山下埠頭の使用が現在ガンダムのみになっていて、横浜との関係性が薄いので、直ちに撤去して映画撮影やアニメや小説のシーンで使ってもらえるような場所に仕上げるのがいいと思います。港の見える丘公園やマリンタワーなど上からの景色でも見栄えがいいような全体的な統一感があるレトロな倉庫街やプロジェクションマッピングを前提としたショッピングストリート、クリスマスやバレンタインデーなどのイベントで期間限定イベントがしやすいような出店レンタルスペースを作り、外壁のペイントを自由に行えるデコレーション可能な建物を設置するなどエリア全体がオシャレな場所を作るのがいいと思います！	Ⅲ-1-(2)
No265	横浜都心部でここまでの広さの土地を再開発できることは稀です。もちろん自然の豊かさと言ったテーマや位置付けは大事ですが、一方で市が主導するのであれば税収につながる取り組みが併せて必要になります。集客できるエリアにするだけでなく、居住エリアや商業・宿泊施設、オフィスと言った観点もあっていいかと思います。実際の収支は別としてピア 8 などは好例かと。(もちろん景観は重要ですが)	Ⅱ-1-(1)
No266	山下ふ頭は、横浜のシンボルです。青少年に悪い影響を及ぼすような施設の建設や、開発は絶対やめるべきです。みんなが安心して行ける施設になるといいですね。収益など考えるのはもってのほかです。頭を冷やして、将来の横浜市にふさわしい施設になることを望んでします。	イ-2-(2)
No267	船に乗ってきた方々だけでなく、我々横浜市民も山下埠頭を使いやすく、行きたくなるようにして欲しい現況、自分たちに関係ない場所の認識しかないので、正直なところ具体的に何かを考えたりもない	Ⅳ
No268	実際に子連れで歩いていると街路樹や日陰がないところが山下ふ頭付近にはまあまあ多くて、休む箇所がない子連れや高齢、慣れてない観光者など夏場きついのではなかろうか？と思うこともあるし、子どもの保護者で県外から転居してきたあまり土地勘のない人から子連れで途中で休めるところはあるか？などよく聞かれることが多い。緑や新規やリニューアルで商業施設を建築する場合、そういう安全配慮の視点もあると嬉しく思う。	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(2)
No269	市民が親しめる施設を望む意見も多いが、引き続き「ふ頭」としての再開発を維持しながら首都高速道路とのアクセスも良好な点も含めて、国内旅客航路・フェリー航路の誘致での客船ターミナルや現行用途同様に貨物ターミナル(本牧エリ	イ-1-(2)

	ア)の補完ターミナル整備・国内各地への荷捌きターミナル等と、横浜市は港湾関連の恩恵で成り立っている都市を再認識するべきに思う。日本の空路玄関が東京(羽田)の一方で海路の玄関は横浜であるべき。分野によっては東京に抜かれているのでは？市民からの支持は市民利用とするのが得策との認識だろうが。	
No270	「世界に誇れる魅せる」より、「横浜市民が大好きな場所」になってほしい。横浜の港周辺は、自分達の故郷・横浜の大事な場所だから。山下公園や元町等との繋がりももたせ、不便な場所でも、何度でも行きたくなる場所にしてほしい。	Ⅳ
No271	以前 IR 誘致していた場所だと知って納得しました。桜木町駅～この周辺はデートスポットのイメージも大きいですが、小さな子供も遊びに行けるような空間だと嬉しいです。	Ⅲ-1-(2)
No272	山下ふ頭は横浜市の顔であり、市民の誇りです。観光向けというよりも、市民の憩いの場所としての整備を優先してほしいと思います。「ついでに県外の人もどうぞ」的な。	Ⅳ
No273	再開発するのは良いが、まずのを造るというのは賛成できません	Ⅳ
No274	横浜らしさ、港らしさを残していただきたい。どこの街にあっても同じような産業集積地ではなく、住んでいる人の生活の匂いもあり、横浜の歴史を感じつつ未来へ向かっていける、というコンセプトがあれば、素敵な自慢できる街になると考えます。	Ⅲ-1-(1)
No275	私が思い描くふ頭。ガンダムなくなった。。子供のころに見ていたガンダムは大人になれば小型ガンダムで働き手として動くことが現実になるかも。と思っていたのに。残念。でも、巨大なガンダムを見て、いつかカタパルトが取れ、自由に歩くガンダムに搭乗できるかも。。と夢が膨らんだ。プラモデルもたくさん購入。でも、期間限定は寂しい。瀬谷通信隊跡地がアニメの聖地となるとうわさで聞いた。ガンダムとコラボはできないだろうか。一日中ガンダムに浸っていられる場所。瀬谷から山下ふ頭は飛ぶバスやモノレール、ホワイトベースで河を利用して大岡川から山下ふ頭まで来れないか。ガンダムのターゲットは大人。40 代～60 代の人たちがをターゲットにガンダムに搭乗でき、軽食がとれ、釣りができ、風呂にはいり、アスレチックや名物を購入、孫や家族、友人と一緒に遊べる場所を作る。	Ⅲ-1-(1)
No276	世界に誇れる、魅せる緑と海辺の実現、是非と思う地球環境を大事にする事にも繋がる魅力的な場所であれば、観光地としても集客も↑	Ⅰ-1-(2)
No277	たくさんの人を引き寄せ楽しめる施設の建設計画とともに、地震は多く富士山が噴火したときの影響を受けやすい地域として、湾内とはいえ津波、浸水の危険性、もしもの時の避難先の確保、またその周知も見やすい分かりやすい場所への掲示、近隣施設で働く人々への訓練の徹底なども常に働きかけ、そこに開店した店任せにせず協力を徹底していって欲しいです。	イ-2-(2)
No278	山下ふ頭はかつて倉庫が並び、貨物船が横付けされ荷揚げがされていた場所。桟橋としての需要があるなら、それが望ましいと個人的には思う。しかし大型客船はベイブリッジを通過できないため、既設の桟橋で足りているのならこの限り	Ⅳ

	ではない。山下公園にほど近く、人が気軽に立ち寄れる好立地の山下ふ頭は、ガンダム開催時に多くの人が訪れていた。期間限定で貸し出し可能なイベント会場、しかも柔軟に対応できる場所として山下ふ頭を保有しておくのも手ではないか	
No279	開発ありきで観光によるオーバーツーリズム対策が不明。基本的に埋め立てエリアであり昨今の災害対策において地盤が地盤が脆弱ではないかと心配。	イ-1-(2)
No280	市民や様々主体が関われる構想はとても惹かれます。市民も、自ら活動していけるような場になっていくと良いと感じています。魅せる緑と海辺とありますが、それらの機能性も人間生活に重要と感じています。一見フバランスのような物でも機能を伝えられるような広報を備えてもらいたいと思いました。花が枯れた後に葉だけの時期も緑の美しさや、来年への光合成の大切さ、日本の四季を感じられる植物の移り変わり等・・・。海外のかたは四季を楽しみにいらっしゃるとよく耳にします。また、日本人も地球、地域を感じる場になるのではないかと思います。	Ⅳ
No281	公園っぽいのもいいが、昔は良く撮影に使われていたので今後も撮影に使える場所もあった方が良い	Ⅲ-1-(2)
No282	将来像は素晴らしい内容であると思うのですが、その前に、自然環境としてメインとなる海を綺麗にする必要があると考えます。市役所へ通ずる弁天橋を渡る際の悪臭をご存知でしょうか。大岡川が赤く濁り、酸素不足になっている状況です。先ずは自然環境の改善に取り組む必要があります。綺麗な海を取り戻す事が先決ではと。	Ⅰ-2-(1)
No283	この地区は将来、「横浜の顔」の一面となり横浜の発展をよくも悪くも左右すると思う。カジノのような娯楽施設は横浜の印象を悪くするし雇用は増えても生産性が無い。子供も女性も誰もが行ってみたい場所で、横浜市民が誇りに思えるところにするべき。	Ⅳ
No284	カジノはなくなったようですが、市民皆んながいいと思えるようにしてほしい	Ⅳ
No285	みなとみらい地区を散歩するのは、楽しいです。三十年くらい前から横浜に住み始めて、変わっていく様子。人が多くなると様々な嫌なことも増えました。どこの観光地にも住民がいます。住民にも優しい場所にしてほしいと、ねがいます。	Ⅲ-1-(1)
No286	釣りができる場所があると良い。	Ⅰ-2-(1)
No287	山下埠頭は港も近いので国際性豊かな街づくりを行って欲しいです。もちろん横浜らしさやみなとみらい地区らしさを盛り込んで下さい。	Ⅲ-1-(1)
No288	単なる公園のような場所ではなく、埠頭という場所が担ってきた、開港以降の港や外国との交易を体感できる場所にしてほしい。80 年代に 10 代の学生だった頃、山下埠頭はベイサイドクラブなどがある憧れの大人の場所だったので、そういう雰囲気をまた復活させてほしい。間違ってもマンションなどを建ててその住民しか使えないような場所にはしないで欲しい。	Ⅲ-1-(1)
No289	「横浜」を象徴する場所の一つとして、大切な再開発と考えるべきです。具体的には、「世界へ開かれた港」のコンセプトを貫き、性別や国籍等による相違を超	Ⅲ-1-(2)

	越した、持続可能でユニバーサルな再開発を目指すべきでしょう。	
No290	都会の人は緑や自然が好みではないでしょうか。人工物をバラバラ作るより、横浜版のセントラルパークの方が市民や観光客も喜ぶと思います。市政から見ると収入は余り見込めませんが、その周辺は良い影響が出てくると思います。	Ⅰ-1-(1)
No291	港「横浜」のシンボルとして「山下ふ頭」を市民の憩いの場所として活用する施策については賛成します。東京にも近いことを利用して、インバウンドを含む旅行者に対する施設や、こうした観光客と市民が積極的に接する場所（コミュニティーセンタ等）の設置もアイデアとしてはいいのではないでしょうか？同時に、海外からの旅行者方々に、日本での生活のマナー等の教育をする場を設けられると、よりスムーズな市民生活との融合が図れると思います。	Ⅲ-1-(2)
No292	市民中心のリゾートまたは公園等を建設してください。	Ⅳ
No293	上記と同じく市民中心の場所とすべきである。	Ⅳ
No294	海の広がりを感じたいのであまり高層ビルを並べてほしくないです。どこにでもあるビジネス＋ショッピングの施設はもういらない。できれば海の中を覗ける施設が欲しい。港の中、構造、ごみ、生物など見える化できたらうれしい。そこから地球温暖化問題や持続可能性へ思いをはせることができるように。	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1) Ⅱ-1-(2)
No295	大きな空き地海辺親水性家族で安全に遊べるイベント、観光客いらない民間でできない開発（採算性にこだわらない、かける支出はできるだけ少なく）	Ⅰ-2-(1)
No296	地震や津波など自然災害に強い街づくりなど市民にとってメリットのある計画を進める。	イ-2-(1)
No297	横浜市の収入が増える事に期待	Ⅱ-1-(1)
No298	交通アクセスがどう発展していくのかがよくわからなかったです。	イ-1-(2)
No299	シンプルな、市民が安心する環境になってほしい	イ-2-(2)
No300	水辺の生物の展示・観察ができる場所などが有れば面白いかなと思います。	Ⅰ-2-(1)
No301	海と森をイメージした街にしたい。亜熱帯化が想像される昨今、ここにくれば涼しくて海や森の香りがする場所にしたい。そして田畑を作ってそれらの作物を使ったレストランで食事ができるようにしたい。あとは横浜の歴史博物館があれば良い。できればツアーのガイドさんのように展示物を説明してくれたら良いと思う。	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-2-(1)
No302	「緑と海辺」の空間つくりのテーマ設定については賛成だが、海上から横浜港を眺めたとき京浜工業地帯と根岸の石油コンビナートの存在がテーマのイメージと相異してくる。「海辺」のイメージとは護岸ばかりではなく海浜の広さ・植林の豊富さ等の景観がほしいと思います。	Ⅰ-1-(1)
No303	緑はとても満足しています。海がもう少し何とか眺められる工夫ができないでしょうか。	Ⅰ-1-(1)
No304	持続が可能な再開発にしてほしい。次の世代にツケをまわすようなことだけはしてほしくない。	Ⅱ-1-(1)
No305	観光も大事だが市民が気軽に海で遊べるようにしてほしい	Ⅰ-2-(1)

No306	市民に親しみのあるまち、防災に強いまち、市民も担い手になり積極的なまちづくり、そして山下ふ頭を見守りたい。	Ⅳ
No307	山下埠頭の再開発に当たり、観光客だけではなく地元市民が楽しめる場所になるといいと思います。また、新しい建物等を作る前に既存のものを活用することを考えてほしいです。	Ⅳ
No308	ガンダムのようなみんなが知っている、キャラクター、各企業、等をもっともっと導入すべきではないかと。	Ⅲ-1-(1)
No309	むしろ、上下水道・電気以外、「何もない空地」として、整備しては如何でしょうか？あるときはイベント会場、ある時は市民の憩いの場所、そして有事の際には避難場所であり、隔離場所であり、資材置き場であり、いかようにも使えるイメージです。今どき、何もない場所を探す方が難しいと思います。	イ-2-(2)
No310	安全、安心できる街づくり。横浜は全体的に子供中心で高齢者に優しくないと日頃から感じているため、子供だけでなく、働き盛りや高齢者に対しても、いろんなイベントなども含めて、安心、安全な開発をお願いしたい。	Ⅰ-2-(1) イ-2-(1)
No311	特にありませんが、税金を消費する企画ではなく、逆に収入が増加するような企画を希望する。	Ⅱ-1-(1)
No312	これからの横浜、そして日本を支えていく若い世代のために、「教育」と「芸術」をつなげた取組みをぜひもっと充実させていただきたいです。たとえば、学校教育の中でアーティストによる出張授業やワークショップをもっと増やして、子どもたちが本物の表現に触れられる機会を広げてほしいです。美術や音楽の授業が単なる知識や技術の習得にとどまらず、「自分の考えを形にする力」や「感じ取る感性」を育てる時間になれば、子どもたちの心はもっと自由になり、自分の個性に自信を持てるようになると思います。また、中高生や若手のアーティストが作品を発表できる場を、市内の公共施設や空き店舗などを使って提供するのも良いのではないでしょうか。地域の人たちがその場を訪れ、若者たちの表現にふれることができれば、世代をこえたつながりも生まれます。さらに、将来アートや創造的な分野で活躍したいと考える若者に対して、制作支援や発表の機会、メンター制度など、実践的な支援を市として行っていただけたら、横浜から世界に羽ばたくような才能が育つと思います。芸術を通じて、自分を表現する力、多様性を認め合う力、そして人と協力する力を学んだ若者は、社会に出たときにもきっと大きな力を発揮してくれると信じています。横浜が、芸術と教育の両方を大切にするまちとして、未来の人材を育てていくことを強く願っています。	Ⅳ
No313	進め方についての意見です。私自身は以前、市役所で開催された市民意見交換会に参加させていただきました。以前進めていたIR誘致取り下げの経緯から、市民の理解を得ながら進めるプロセスが重要であることを一市民としても理解する一方、過度の市民意見を取り入れる進め方に疑問を感じます。山下ふ頭の開発に関心がない（このような市民意見の場で表明することがない）大多数の市民が期待することは、市民生活への還元であり、具体的には税収増だと思います。そ	Ⅱ-1-(1)

	のため、税収増につなげる視点からグランドビジョンを描くことが大事であり、その主体となるのは市民ではなく、行政や企業になると思います。長期的な都市経営（都市間競争、経済発展による日本の国際競争力強化）の視点から、行政としてのグランドビジョンを描き、そのビジョンを実現するプレイヤーである企業との連携を強化して、山下ふ頭の開発が力強く推進されていくことを期待します。また IR と同じように、必要に応じて国の政策と連携しながら、国土の中での横浜市の役割を担っていく視点も必要と思います。以上を踏まえ全体像へのコメントですが、山下ふ頭は現状、全市域からの交通アクセスが良い立地ではないため、市民が利用する空間であることよりも、税収増や経済発展につながる機能を集積させた方が効率が良いと考えます。将来像のキーワードとして挙げられている「賑わい」や「イノベーション」を生み出すためには、企業による経済活動が不可欠であり、3 つのテーマが重なる地点の主体として企業よりも市民が強調されている理由がよく分かりませんでした（まちづくりへの参画も抽象的な表現で、多くの市民が山下ふ頭にそれらの場所を望んでいるとはあまり思えません)。市民活動の場よりも、企業の経済活動の場があった方が良いと思います。市民利用を重視しないという判断はとりづらいと思いますが、より長期的かつ本質的な視点で「結果として多くの市民の生活が豊かになるための開発」という確固たる軸をもって計画が進むことを望みます。以上が、山下ふ頭の開発に関する市民プロジェクトや、意見交換会などに参加して個人的に思うことです。声の大きい一部の意見や内輪的な発想の意見などに左右されず、長期的な公益のために着実に前進していくことを期待します。	
No314	市民が遊べる又は学べるような空間が必要だと思う。	Ⅳ
No315	過去の港とその施設を保存と活用（クレーン、浚渫船等港湾維持の施設・機械)：私設の種々の場（カフェ、小さな博物館)、近代的な施設との共存の状態。今後の発展の方向を描く仕掛け。短時間ではあったがロッテルダムを歩いた時からのイメージです。古いものと近代建築が混在。ロッテルダム中央駅の大胆さには驚きました。市民が、港湾の役割と魅力と知り味わえるような施設と運用。東京都のいわゆる「地下神殿」、「虹の下水道館」、「水の科学館」のイメージです。港湾をもっと PR しても良いと思います。	Ⅲ-1-(2)
No316	山下ふ頭全体を考えた場合、とにかく海の美しさと無臭感が問われると思う。横浜を代表する山下公園があるのだから、万人が安心して海を見ることができるスポットにしてほしい。将来的には海水浴とまではいかないまでも海へ降りて水浴びができるくらいに美しい海を求めたい。	Ⅰ-2-(1)
No317	もっとも重要なことは、住民が幸せを感じられることにある。町の安全を確保した上での開発を望む。	Ⅳ
No318	世界に誇れる、という視点より、市民の生活に有効であるかどうかを第一に考えて欲しいと思います。	Ⅳ
No319	脱衣炭素都市とはいえないが、山下ふ頭が港と花と緑にかこまれ、花の名所とも言われるようになってきている。今後も横浜らしい横浜らしさを感じる場所で	Ⅰ-1-(2)

	あってほしい。	
No320	暑い時期に外でも涼しく過ごせるような森林や屋根の整備	Ⅰ-1-(1)
No321	山下埠頭は中華街や山下公園に近く、さらにはみなとみらい線の元町・中華街駅にも至近という優位性のある広大な土地である。今後未来に持続可能な都市としていくためにも国際都市横浜の顔となるようなコンベンションセンターを建設していただきたい。東京近郊の交通の便が良く、展示会後のアフターまで含めた好立地はなかなかない。パシフィコ横浜はすでに一年中展示会などで埋まっているが、他の展示会場も予約が多数入っていて、なかなか空きが出来ない状況となっている。山下埠頭とぶかり桟橋・羽田空港船着場の間にシーバスを運行するなど、パシフィコや羽田空港と有機的に連携しながらビックサイト並みの展示会場を作る絶好の機会を逃さないようにしていただきたい。	イ-1-(2)
No322	市民の意見を取り入れることは大変重要なこと。地元民との関係も含めて大変大切だ。ただ市民の意見を公募しているが、ウェブ上での意見が目に付く。もっともっと広報をする必要があり、市民の意見を掬い上げるなら、公聴会や意見を聞く会の開催。そしてこれからの横浜を担う若者の意見を掬い上げることが重要だと思う。	Ⅳ
No323	山下埠頭は、ガーデニングフェスやパレード等足を運ぶ機会があります花火大会に関して、安全と安心して、観覧したぃと思っています車や人々の混雑を緩和して欲しいと思っています	Ⅲ-1-(1)
No324	船舶の寄港が減っているので、市民の憩いの場として、磯遊びのできるような海辺の公園として整備してはどうか。	Ⅰ-2-(1)
No325	新たなまちの将来像として、まちづくりの３つのテーマと、その土台となるインフラ構築・空間整備の考え方をもとに推進していくとする基本的な考え方に賛同します。これまでにパブコメや意見交換会等で出された意見・提案等を大切に今後の詳細検討を進めていくことが肝要かと思います。特に、利便性・回遊性向上につながる交通機能の強化や、頻発する大規模災害等に備えたまちづくりは極めて重要です。次世代に大きな負荷を生じさせない新たなまちの土台となるインフラ構築への取り組に期待します。	Ⅳ
No326	出来る限りお金を掛けない。出来る限り自然と調和させる。災害発生時の救援や復興の拠点となるよう工夫して開発する。	Ⅰ-1-(2)
No327	危ない施設、若者ばかりの施設、ガラの悪いのはイヤ	イ-2-(1)
No328	市民にとって親しみやすく自慢できる、そして繰り返し行きたくなるような場所になるようにして欲しいと思います。また、市民にとっても市外からの人にもアクセスしやすいようにもしていただきたいと思います。	Ⅳ
No329	ガンダム、GODZILLA、ウルトラマン等の等身大を常設。ポケモンワールドを造るカーシアターイベント会場ドーム球場(ベイスターズ)	Ⅲ-1-(1)
No330	釣りもできたり、マリンリゾートもできるような、綺麗な海であってほしいです。	Ⅰ-2-(1)
No331	チェーン店ではなく、唯一無二の美味しい料理が食べられる場所がもっと増え	イ-2-(1)

	てほしい旅の目的地となるのはいいが、旅行する外国人とかで治安が荒れるのは勘弁なので警察との連携を強化してほしい	
No332	テーマ１が大枠あって、細分してテーマ２とテーマ３があり、1、2、3 の重なったところが市民という説明であってますか。そして具体的な案があるとさらに良いと思いました。緑と海辺がテーマになっているのは、横浜らしくていいなということ。市民からすると、多様な場ということに加えて安全安心な公共場であり、イベントをするにも市民が誇れる内容が必要だと思います。具体的には、危険なイベントにならないこと。賭け事やギャンブル性、多様という言葉を都合よくしてデモ活動とか、そういう危険あるイベントは禁止して欲しい。多様な活動をみんなに知ってもらいたいというウェルカムで、楽しい内容であれば市民は安心安全であると認識できると思う。	Ⅲ-1-(1)
No333	ガンダム展示時に観光としての集客があったと思います。観光地として市民も楽しめる場所となる事を望みます。	Ⅳ
No334	世界に誇れるという曖昧な言葉を使用しているがもう少し具体的な目標を示してほしい緑と海辺の空間：自然が中心の公園のようなものをイメージするのか、自然豊かな海辺で旅の目的地にはならない一方で活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わいと記載されているがにぎわいということはたくさんの人が集まるということで自然豊かと相容れないことではないか？にぎわいの創出のために巨大な箱物を整備するのは反対。自然豊かな地で市民、旅行者が言ったちろくつろげる、今までにないコンセプトの地域にする。大きな箱物でなく、様々な同じ趣味、嗜好の人たちが集まりコミュニケーションできる小さな個人ベースの人が集まれる施設がいくつもあるとか、自然と海岸を使って子供たちが活動できるエリアにするとか	Ⅰ-1-(1)
No335	訪れるだけで癒しになるような場所、来訪者がお金を落としていくことを狙った商業主義を排した場所	Ⅰ-1-(1)
No336	誰でもが安心して楽しく利用出来る施設と共に横浜の埠頭らしさ絶対に残して欲しいと思います同時に何処からでもアクセスしやすい交通機関を充実して欲しいです例えば神奈川区などは対岸なので出来ればシーバスの航路を増やして直接山下埠頭に行けるコースがあると子供連れや高齢者でも乗り換え無しに楽に行けると嬉しいです	イ-1-(2)
No337	シンガポールのような観光客にも地元民にも愛さるエリアにしてほしい	Ⅳ
No338	山下ふ頭は横浜の象徴に当たる場所と考えます。幼少のころは山下公園は憩いの場でした。氷川丸を筆頭に花緑噴水広い空間気持ちのいい場所でした。近年はガンダムベースとしてにぎわっていましたのが印象です。何回か足を運びましたが。私は個人的にはカジノの誘致は賛成でした。漠然としてですが港町横浜の雰囲気に合うと思っていました。世界への日本の窓口としていろいろな世代が集うものが出来ればいいと思います。異国情緒のある横浜のシンボル的な空間そして子供たちが楽しめる空間が出来たらいいと考えます。	Ⅲ-1-(1)
No339	現状は駅からも客船ターミナルからも離れたところに位置していることもあ	イ-1-(2)

	り、アクセスがいいところではないと思います。そこで、バスターミナルを設ける、水上バスの発着場所を設ける、主要なところからのシャトルバスを運行する、空港バスからのリムジンバスを停車させるなど、公共交通機関を利用したアクセスをよくすることがまずは大事かと思います。また、首都高の出口が近く、駐車場も山下公園に公営のものがありますので、ここをもう少しキャパシティを広げて、自家用車でのアクセスも良くするのがよいと思います。また、それだけの人を収容する施設（ショッピングモール、緑を取り込むような公園などのレジャー施設）なども併せて設けることが必要になるかと思います。	
No340	山下ふ頭のみでは小さくIRがない今雇用等の創出はあまりないです。埠頭だけではなく中区一帯の再開発をすすめ、東京都や千葉などとともに港湾機能の強化やシーバス等の利用の増進など産業と観光の両立した街づくりをするべき。	イ-1-(2)
No341	横浜市民が楽しく利用できるような施設であってほしい（市民のための再開発という視点を入れてほしい）	Ⅳ
No342	緑が少なくあまり寛げるスペースがないように思える。	Ⅰ-1-(1)
No343	良いと思う。以前、EXILE のイベントをしていたが騒がしさが周囲と合わないと感じたため、横浜の雰囲気と合った施設にしてほしい。	Ⅲ-1-(1)
No344	市民が楽しめるようになってもらいたいです。	Ⅳ
No345	正直、ガンダムパークで良かったのでは？と思います。	Ⅲ-1-(1)
No346	山下ふ頭における環境再生型循環社会の創出とアートを中心とした創造都市の展開 山下埠頭は、横浜開港の地に隣接する象徴的な土地です。私はこの地を、人が幸せを感じる好循環が生じるフックとなるような場所にすることを提案したいと思います。 1859年に開港した横浜は、開港166周年を迎えました。山下ふ頭の再開発を考える上で、開港170年、あるいは200年を目指して、横浜がどのような都市であるべきかといった視点が必要になると考えました。 2025年の夏の暑さは記録更新続きで、日中に子どもだけでなく大人さえ安心して出歩くことができないような気候になっています。温暖化による気候変動の問題は、待った無しの状態へと進んでいるように思えます。開港以来、急速に進んだ人々の生活の欧米化は、たくさんの富と快適さをもたらしてくれました。ただ、経済活動のみを優先して自然破壊を繰り返してきたツケが、私たちを生命の危機へと導いているように思われます。 横浜は、開港以来、いち早く欧米の文化や技術が入ってきた街として発展してきました。今度は、都市型の環境再生型社会の創出（「リジェネラテイブ＝Regenerative」環境や社会をより良い状態に回復・再生させることを目指す概念）サスティナブルのその先を行く都市としての新しいあり方を示すことができれば、開港200年に向かうこの国のあり方を導いていくことができるのではないかと考えたのです。 この20年余りの間に、幸せに関する科学的な研究が盛んになり、いろいろな知	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1) Ⅱ-1-(2) Ⅱ-2-(2) Ⅲ-1-(1) Ⅳ イ-1-(2) イ-2-(1) イ-3-(1)

	見が明らかになってきていますが、「ネイチャー・コネクテッドネス＝Nature Connectedness」と言われる、自然との一体感を感じる感覚を持っている人が、幸せ度が高いというデータが世界的に注目を集めています。 横浜は大都市でありながら、多くの農家が存在する都市です。急激に減少しつつある農地を、コミュニティ農園のような形に変えて存続させ、都市に住みながら、お手軽に、自然にも触れ合える場所を提供し、週末を生物多様性を感じられるような農園で過ごすという楽しみも提供でき、週末の短期宿泊のライフスタイルを定着できれば、東京に通うのに便利な都市というだけではなく、お手軽な自然体験もできる住みやすい都市として発展させることができるのではないかと考えました。 横浜市は、2027 年に国家事業でもある「花博」の開催を控えています。私は、この機会に、都市型の自然再生型循環社会の創出と、アートを中心とした創造都市の展開により、市民が幸せに暮らせる街を目指した都市開発の象徴的な場所としての山下埠頭の再開発の提案を行いたいと考えました。 【まちづくりの基本構想】 1　都市における環境再生型循環社会を創出させる、きっかけとなるような場所とする →山下公園から繋がった、大きな公園の延長のような場所として緑地を広げ、その一角に生物多様性を体感できる場所を作る。東京大学大学院工学系研究科道徳感情数理工学で、プラネタリーヘルスを提唱している桐村里紗氏が鳥取県の大山で展開しているネイチャーポジティブな里山の中で、ソニーが提供している 100 平米 100 種の生物多様性の庭の拡大版を作る。参加者を募り、有志が有機土木で土壌改良した 1 ヘクタールの土地に、377 万人の都市を象徴する 377 種の植物を植えて、生物多様性を体感できる庭を作ります。 2　インナーハーバーにおける水上交通の拠点とする →水面を大きな広場と考えたふ頭の活用 ロイヤルウイングクラスの船をランチとディナーの時刻に出向させる 水上タクシーにも対応した施設整備を行います。 大岡川の橋の下をくぐることも考え、船体は低いが見晴らしのよい船を使用し、「水上交通の拠点」として市民や観光客が日常的に利用できる交通手段の役割を果たします。 3　横浜市内の魅力的なスポットを繋ぐ施設とする →市民に開かれた情報発信拠点 山下公園側は、広い広場として使用し、横浜市内の農産物のマーケットや文化芸術拠点の紹介、みなとみらい地区に集まる企業の研究施設を紹介するＷＳ、リサイクルマーケットやクリエイティブリュースのＷＳなどを長期休暇や毎週末に定期的に開催し、市内に点在する魅力的なスポットを紹介し、そこで活躍している人や物・経験が交流する場情報発信の場としても機能させます。 4　横浜の都市デザインの拠点的な施設として、大きく開かれた図書館にプラス	

	して、アートを中心にした感性教育を育む施設（多機能図書館）を作る →市民に広く開放された図書館を作り、その中に、子育て中の家族が気兼ねなく演劇や音楽を楽しめる施設も作ります。子どもから大人まで、人が寄ってくるような施設として、市民が何回も訪れたくなるような施設にします。 ５ 現存する倉庫を改修して、横浜や山下埠頭の歴史がわかる展示をし、現代アートの美術館をつくる →現代社会が抱える社会課題にも積極的に関わっていく美術館とします。 横浜や埠頭の歴史を踏まえながら、社会課題を考える場として、展示物を考えます。 ６ アートを楽しめるホテル、レストラン、展示施設をつくる →ロケーションを生かしたアート作品と過ごせる空間をつくります。 →横浜に、宿泊したくなる街としての魅力を創出させます。 【具体的な施設整備】 １ 鳥取県の大山でソニーが作った 100 平米 100 種の庭の拡大版を、市民参加で作る。 →参加者を募り、環境再生型の有機土木や草花を植える体験に関わることで、自然と関わることの心地よさを体感してもらい、自然環境に負荷を与えず、より良い環境を取り戻していくことへの共感を得ることができると思います。また、自分や家族が関わることで、街への愛着が生じ、ウェルビーイングにも繋がると思います。二酸化炭素の吸収率の高いモリンガの林や有機果樹も植えて、自然とつながる楽しさを提供します。 →関連の展開として、花博の会場となる上瀬谷地区に、木更津の「クルックフィールズ」のような（農業・食・アートを軸とした複合施設）これからの人や社会の豊かさを提案していくような環境再生型パークを作って、展開させます。宿泊施設では、蓄電池や調理器具など、防災グッツとしても活用できる機器の使用体験ができるようにします。市民一人一人が、災害発生時にどんな機器を持っていれば快適に使用できるかを体験しながら、家庭でも購入し備蓄してもらえるような仕組みに結びつけると良いと思います。 ２ 現存する波止場の機能を活用し、ロイヤルウイングぐらいの船を就航させる桟橋をプラスして、水上バスを定期運行させ、市民や観光客の交通手段として活用する。 →水上バスを川で運行する時は電気を用いて排ガスを抑え、走行時も静かなので音楽を楽しむなど、様々な活用方法が考えられると思います。海に出るときには波に負けないエンジンパワーを使用するハイブリット船舶を用いることで、波のある海上でもスムーズな運行を行えると思います。 ３ 象の鼻パークのような窓の大きな開放感のある建物と屋根だけのオープンスペース、大きな公園のような広場で構成する →山下公園と元町や中華街方面からは、大きな歩道橋をつなげて、人が行き来しやすいようにします。建物は、再生可能エネルギーの実験的な使用施設としても	

	活用します。 →埠頭の入口と現存する山下公園の駐車場を改修して繋げた駐車設備を作り、埠頭内には、足の不自由な人やベビーカーなど、必要な人たち用の車両以外は車が入らない仕組み（必要な場合のみ時間制限をして侵入）を作ります。 →山下公園までよりよい交通手段を延長させ、人の流れを誘導する仕組みとします。 4 ヘルシンキ中央図書館のような開放的な多機能図書館を作る 子育て中の家族が気兼ねなくアートを楽しめるよう、青山にあった「こどもの城」のような機能も持たせる →子育て中の家族や中高生から大人まで、多世代が利用できる開かれた図書館を作ります。 朝から晩まで過ごすことができ、調べものや勉強をするだけでなく、先端機器やスタジオ機能も活用できるような施設にします。 →建物は、海に開かれた開放的な場所である特性を生かし、3~4 階建ぐらいの陽光や景色をふんだんに取り入れた開放的な造りの建物とします。 →最上階または屋上に海を見渡せる空間を作ります。山下埠頭の立地の良さを味わえる場所となると思います。 5 現代アートの美術館をつくる 既存倉庫を 1 か所残し、横浜や埠頭の歴史を展示すると共に、現代アートの美術館として活用します。 →現存する倉庫をリノベーションして活用します。シンプルな外観であっても、現代社会の抱える問題にも斬りこむような、内容の濃い施設とします。 6 アートを楽しめるホテル、レストランやチームラボの展示施設をつくる →港の見える丘公園からの眺望を加味して 3~4 階建ての低層のものとし、ふ頭全体夜景を演出します。 →現代アートのコレクター（高橋龍太郎コレクションやタグチコレクションなど）やギャラリー（例えばミヅマアートギャラリー）の協力を得た部屋、作家本人に自分の作品をコーディネイトして貰った部屋などを用意して、高級路線のホテルとします。このホテルに宿泊することを目的にした観光客などを呼び込みます。 →たとえば、人気のアート集団、チームラボに依頼して、横浜らしさを取り入れた作品の展示施設を展開させます。 【ソフト展開】 1. 都会にいながらにして、豊かな自然環境に触れる機会を作り出し、訪れる人たちに多幸感をもたらせるとともに、環境問題に対する能動的な意識を高めてもらいます。 →生物多様性の庭造りに参加することで、自然と触れ合うことでもたらされる精神的な好循環を体感してもらいます。 →ホテルの屋上など人が立ち入れない場所で、山下埠頭ブランドの養蜂も行い	

	ます。半径 2.5Km 以内に農薬を使用するような場所がなければ、有機蜂蜜を名のれるので、将来的には有機蜂蜜の生産を目指し、環境負荷の低い公園が広がっていくことを目指します。自然と触れ合う楽しさを知ってもらい、公園整備を手伝うサポーターも募集します。 →公園内の樹木の手入れで出た枝葉や、周辺レストランの生ごみを堆肥化することで、肥料を使用しない環境負荷の低い草花の育成を目指し、ゴミ問題への好循環も促します。いずれは、山下公園周辺などにも、コンポストを利用したミニトマトなどの野菜や果樹を栽培し、食べられる庭を広げる活動を展開することを目指します。 2. 海上交通や川を利用した水上バスの運行を活発化させて、人や物の交流拠点として機能してもらいます。 →川や海を利用した交通網が活性化すると、川や海の水質改善にも力を入れていこうとする動きが活性化すると思います。 →サップなど、水上レジャーを楽しんだり、いずれは、山下埠頭の牡蠣が食べられるようになるよう、市民や周辺施設の関係者に、環境意識を高めてもらいます。 3 開放感のある建物で、定期的、期間限定的に繰り返される「人、もの、コト（経験）の交流」は、今まで知らなかった市内の魅力的な場所や人や活動を知る機会を提供し、その後の交流につながるフックとなると思います。 →レストランの料理人が、魅力的な食材に出会ったり、町おこしの妄想が、具体的に展開をしたり、演劇好きの集まりは、空き店舗を小劇場に改修させたりといった展開にもつながり、魅力的な出会いが生まれ、広がっていくと思います。 4 子どもや中高生が感性を高め、興味関心や勉強を、自ら進んで、楽しんで行える施設を運営をする 大人も心地よく過ごせる、市民が何度も訪れたくなる施設とする →横浜市は子育てや子どもの教育に力を入れています。 子どもの自発的な学びの重要性は、今後ますます高まっていくと思われます。 →ヘルシンキ中央図書館のイメージで、海辺の景色や陽光を取り入れた広がりのある空間に、居心地の良い、想像力を駆り立てるような施設をつくります。 →書架を低くし、子どもや車椅子の方も利用しやすい設備を整えます。 →MoMA のアートエデュケーション施設を参照して、多方面の造形活動が楽しめる施設やプログラムを展開し、劇場も併設し、子ども連れの家族も気兼ねなく音楽や演劇が楽しめる施設をつくります。 →感性教育を育むレッジョ・エミリアのアトリエスタのような教師やアートセラピーの専門家の研修施設も整備します。 →横浜の開港から現在までの歴史に、中華街や元町、山下埠頭など、苦難や民間外交の歴史も含めたコーナーを設置して、横浜市への理解を深めてもらいます。 →子どもから高齢者まで、市民が繰り返し何度も訪れたくなるような施設とします。	

	→カフェも併設し、長時間滞在できる施設とします。 →この施設のイメージとして参考にしたヘルシンキ中央図書館は、3 階のバルコニーから眺めると、広場と道路を挟んで対面する国会議事堂と同じ高さになるように設置されています。この高さは、民主主義の象徴として図書館が建設されたことを意味しているそうです。言論の自由、表現の自由を政府が保障し、均等な教育、知識や文化に触れる機会をすべての市民に約束していることが表現されているそうです。 山下埠頭に設置するこの多機能図書館は、海に開かれ、民間外交を大切にしながら市政を運営してほしいと願う象徴でもあります。世界幸福度報告書で 2018~20 年の 3 年間 1 位となったフィンランドに倣って、横浜市も、言論の自由、表現の自由を保証し、均等な教育、知識や文化に触れる機会をすべての市民に約束し、市民の生活に多幸感をもたらす象徴として機能して欲しいと願っています。（詳しい展開は別紙「多機能図書館構想」参照） 5 現代アートの美術館の存在意義とアーティストの手を借りる意義 →多様性が重要だとされる現代社会において、アーティストが作品に込めた思いを知ったり想像したりすることは、見る人が社会課題に目を向けるきっかけともなります。 →小学校 4 年生ぐらいの時、市内のすべての学校の生徒が、図書館と現代アートの美術館を訪問するようにすることで、同級生と作品を見て、同じ作品を見ても、自分以外の人が様々な印象を持つのだという体験を共有します。 →現代アート作品は、写真撮影 OK のものも多く、作品を前にその意味を問う面白さもあります。複数人で感想を交換する対話型鑑賞とも親和性があり、自分と違う感性を持つ人の存在を再誇識させ、学びを深める要素にもなり、魅力的な体験となるはずです。 →開港から 160 年余りとなる横浜では、大切に保存されてきた建物が、老朽化したり、持ち主の事情で手離されたりする事態も考えられます。たとえ。建物がそのまま保存することに無理が生じたとしても、アーティストの発想や手仕事を介在させることで、長い間引き継がれてきた貴重な細工を凝らした建材や家具、家財道具などをアップサイクルさせるシステムを作り、末永く活用していけると良いと思います。 6 空間にアート作品が存在する楽しさを味わう、横浜らしい作品を楽しむ →アートホテル内で、部屋の中にアート作品が存在する楽しさや高揚感を味わうことは、体験した人に多幸感をもたらします。 →高級路線のホテルは、庶民の手に届きにくくても、象徴的な存在意義があると思います。 →いつか自分の家にも、お気に入りの作品を飾りたいと願う気持ちは、アーティスト支援にも繋がっていくと考えられます。 →特に、横浜らしさを取り入れることを願って作られたチームラボのようなアート空間は、唯一無二の鑑賞体験となり、海外からの観光客や若い人たちの注目	

	を集めてくれる、観光の目玉になっていくと思います。 ＊全体の補足として 必ずしも山下埠頭でなくても良いかとは思いますが、空き倉庫などを活用して、クリエイティブリュース（廃材を使用したアートや DIY）の拠点を作り、子どもが自由な発想で創作体験をしたり、大人の DIY に活用させます。 この建物は、パンデミック時には建物を野戦病院のように活用できるよう陰圧室の機能も併せ持つものとします。 __新型コロナウイルスの感染拡大を経験した横浜は、パンデミック対応に備えるべきだと考えました。倉庫のような建物は、少ない医師や看護婦でも展開可能な野戦病院のような施設に転用できると考えました。巨大な客船の就航を進めている横浜市は、ダイヤモンドプリンセス号の惨禍を教訓とした、パンデミックに備える体制も準備しておく必要があると考えています。 （別紙） 山下埠頭多機能図書館構想 ～誰もが学ぶことを楽しめる、パブリックオープンスペースとして活用する～ 山下埠頭の中心に、横浜市を象徴するような建物として、誰もが楽しめ、何度も訪れたくなるような多機能図書館を建設することを提案します。 多機能図書館の建物のイメージとして、ヘルシンキ中央図書館(Oodi)全景 WEB 資料より 多機能図書館について考えるとき、私は、2018 年に開館し 2019 年に世界一の図書館に選ばれたヘルシンキ中央図書館とニューヨーク公共図書館群と青山にあった「こどもの城」を参考に考えをまとめました。ヘルシンキ中央図書館については「Pen-online」、ニューヨーク公共図書館については菅谷明子さんの『未来を作る図書館』～知的創造空間としての図書館の可能性～ニューヨークの事例から～、こどもの城については施設利用した思い出を参考にしました。 陽光をふんだんに取り入れた建物は、明るく開放的で、周りは公園として、自然で開かれた空間の中に建てます。夜には、海を挟んだ対岸やインナーハーバーを周遊する観光船からも、元町や中華街、山下公園方面からも、美しい光を帯びた建物として目を引き、観光スポットの一つとして加わることになるでしょう。 横浜を幸福な気持ちで過ごせる街に 教育水準と国民の幸福度が高いとされている北欧の国々には、子どもからお年寄りまで、誰もが居心地よく過ごせるようにデザインされた、魅力のいっぱい詰まった多機能図書館が発展しています。横浜市の人口は約 377 万人、フィンランドやデンマークの人口の半分強となります。広くて人口も多いため、18 行政区ごとに縦割りの活動を考えがちですが、私は、横浜市全体の中で「人、もの、こと（経験） 」が魅力的につながる場所が必要だと考えています。 誰もが楽しめ、何度も訪れたくなるような多機能図書館 ここで言う多機能図書館は、再編成され、地域のコミュニティー的な働きが加味された各区の区立図書館の象徴的な施設とします。従来の図書館機能のみなら	

	ず、多くの市民が集まり、学んだり、話し合ったりすることによって、新しいアイデアや考えが生まれる場所になり、市内に人やことの好循環が生じます。 書架が低く誰でも閲覧しやすく明るく開けたスペース（参考資料：Oodi 内部：Pen-Online） 心地よく開放的な空間 陽光をふんたんに取り入れたオープンなスペースに横浜港の眺望を仰げるよう机や椅子を配置し、リラックスしながら滞在できる施設にします。自らの思いや想像を巡らせるプライベート空間に加え、共有スペースではグループで話し合うことも可能で、ミーティングなどに活用できるスペースも多数用意します。 多様な意見の存在を知り、その中からよりよい共通項を積み上げていく経験は、高等教育や社会に出てからも有用な力となります。 海を見渡すデッキでは、世界との繋がりを意識し、希望が広がる(YOKOHAMA 観光情報） 多機能図書館内の施設について 子育て中の家族が、気兼ねなく演劇や音楽を楽しむことができるホールも併設し、自由な発想で造形活動ができる（幼児の造形活動から想像力や創造力を育む、イタリアのレッジョ・エミリアのような教育）施設も併設します。絵本や児童書は、リアルな紙媒体として、ふれあいを重視し、分野によってはデジタルアーカイブ的な方法で、学習や検索ができるようにします。 造形体験というと、カラフルな工作キットで組み立てや色ぬりをして見栄えの良い作品が出来上がることを思い浮かべるかもしれませんが、ここで重要視したいのは、自由な発想で、自分の作りたいものを素材選びから行う、クリエイティブリユース（廃材をアート作品に生かす）の体験です。この活動は、絵を描く技術の上手い下手に関係なく造形活動を楽しめる利点があります。自由な発想を巡らせ、例えば 5~10 人のグループ分けをして「未来のまちづくり」などの課題で制作すれば、自分と違う意見の子とアイデアを持ち寄り、協力し合いながら楽しく作り上げることができるでしょう。ここで得られる経験は、単なる工作を超えた、グループワークの礎になっていくと思われます。 小さな頃から、文化芸術と触れ合う利点 小さな頃から文化・芸術に親しむことは、人が幸せな人生を歩んでいく基礎的な経験となるでしょう。演劇の魅力は、登場人物の生き方や言葉によって、最初は俯敵していた観客の気持ちに、他者の視点や、時には何百年も前の人とも心が通じあえるような体験にあります。自らの感性を問い直す経験は、人生を豊かにしてくれることでしょう。 若き起業家の支援～ニューヨーク公共図書館の活動を参考にして 家庭環境に恵まれない青少年も希望を持って未来を描けるよう、PC や先端機器を時間貸しし、使い方を教えたりする、支援の仕組みも作ります。 『未来を作る図書館』（菅谷明子、岩波新書、2003 年）によれば、いくつもの部門別図書館群からなるニューヨーク公共図書館の中には、科学産業ビジネス図	

	書館があり、市民が持つ様々な可能性を引き出すのに役立っているそうです。今では世界を代表するような企業経営者になった人の中にも、このシステムに救われ起業に至った人も多く、その寄付や経験の伝授が次世代の起業家を支えているそうです。アメリカが発展し続けている要因の一つとも考えられます。 私は仕事の関係で、毎年 1~2 回、主に児童関係の福祉施設への奉仕活動に裏方として、時には参加者の一人として関わってきました。児童福祉施設の子どもたちと時間を共にして感じたことは、社会階層が固定化してきていて、たった 1 回の経験が劇的にその子たちの生活を変えることになるのだろうかというもどかしさです。その子たちに光を当てられるとすれば、家庭環境に恵まれなかった子どもたちの中から、アイデアを持ったリーダーが育っていくことが一番なのだと思います。資金援助が難しいのだとしたら、起業の経験でも良いから、提案しあえるシステムを作っていくことが、将来的に横浜市の繁栄にもつながるのではないかと考えています。 多文化共生や多様な人たちの交流の場として 日本在住の外国人や海外からの観光客、障がいを持つ人たちなどとの交流拠点も設けます。料理やダンス、アート作品制作など、ノンバーバル・コミュニケーションから発展させ、より深く理解しあえる場を模索、提供し続けていきます。 ブックカフェでは、本を通じた交流～様々な年代の人たちと共に 市民が一定の空間を利用できるようにする形で、お気に入りの本を紹介できるブックカフェを作り、本を通した交流が楽しめるとよいと思います。こだわりの書籍を集めた空間は、初めて会った人同士を急速に近づけるきっかけにもなり、関わった人たちに幸せな時間を届けてくれることでしょう。 社会課題に敏感な現代アートの農示スペース さらに、社会課題を題材にした作品が多い、現代アートを企画展形式で展示できる空間を設ければ、市民が今ある社会課題に問題意識を持って関わるきっかけとなるかもしれません。 企業との運携も 若者の自殺が多く、ジェンダーギャップ指数が 145 ヶ国中 125 位と残念な結果だった日本は、裏を返せば、この問題の改善で幸せ度急浮上の可能性を秘めています。みなとみらい地区にグローバル企業の本社や研究機関が集まっているという利点を生かし、企業が海外で蓄積してきた経験を地域に生かしてもらう場を設け、市民との交流が、地域の活性化につながることが期待できます。 文化芸術都市としての拡がり 横浜市は文化芸術都市を掲げて、まちづくりのお手本のように注目を浴びた時代がありました。明治維新にいち早く西洋文明を取り入れてきた街として、文化財的な建物も有しています。また、映画やドラマのロケ地として知られている場所もたくさんあります。 どこに行ってもあるようなファッションビルを建てるのではなく、市が所有しているこれらの資産を保全し、アーカイブ化していくことで、文化芸術に興味が	

	ある人たちが集まる街となれば、イタリアのヴェネチアやフランスのナントのような芸術祭やフランスのアビニヨンのような演劇祭が開かれるような都市として発展していけると思います。関内近辺に増えつつある空きビルを利用した、ギャラリーや小劇場、パフォーマンス・スペースを有したカフェなどが広がっていくと、横浜に滞在してその魅力を味わいたいという宿泊観光客が増えることでしょう。 多機能図書館のアイデアコンペについて 多機能図書館の建物は、広くコンペで募集します。多くの人の関心を集めることで、完成後に観光スポットとして注目を集めることに寄与すると思われます。 また、横浜市が、どういう意図をもってこの建物を建てたかという思いを共有することは、377 万人の大都市がゆるく一体感を持って存在していく礎になることでしょう。大きな建物の建設は、費用も時間もかかると思います。でも、市民の象徴となるような建物が、どういう働きを持ったものであって欲しいかを様々な形で問いかけていくことは、話し合いに加わった人たちに夢や希望をもたらしてくれるのではないでしょうか？　家庭でも職場でも、強制的に組み込まれがちな町内会でもない、ゆるい人間関係のサードプレイスを持つことは、大都市の住民に緩やかな帰属意識と幸福感をもたらせてくれると思います。	
No347	参加者応募者に選ばれましたが、5 回満足に参加出来ず迷惑かけますので応募しません。今回申し上げたいのは埠頭再開発を利潤最大化の追求は控えて下さい。市民全員が優先参加出来るシステム化を図り市民の満足を充足して下さい。税金に対して皆さん敏感ですかね。	Ⅳ
No348	「山下ふ頭再開発・答申を踏まえた基本的な方向性」への意見具申 ①　計画の基本的な進め方が間違っている 〇市がコントロールした再開発検討委員会の答申をなぞっただけの具体性の無い「基本的方向性」をもって、ディベロッパー等大手事業者に丸投げで具体の事業提案をさせ、それに乗っかって市民の共有財産である市有地を民間開発に委せようというのは、行政の思考停止、行政の怠慢、市民に対する行政の責任放棄と言わざるを得ない。 〇そもそも、公務員テクノクラートはこれからの人口減少、経済低成長、地球規模の気候変動、大国主導の国際秩序の終焉等、横浜市を取り巻く状況変化に大局的・長期的視点を持つ、都市経営の基本構想を立案し、その具体策として山下ふ頭再開発を考えるべきである。市の基本構想は 1965 年飛鳥田市政期の「横浜国際港都建設総合計画」から、中田市政期に「ゆめはま 2010 プラン」で多くの修正がなされたものの、現下の地球規模の課題、世界情勢の変化に対応したビジョンは示されていない。 〇神戸市では震災復興が一段落した 2023 年次世代を担う市内の全小中生徒から意見を聞いて「新・基本構想」をまとめ、人口減少時代を見据えて「神戸 2025 ビジョン・海と山が育む・グローバル貢献都市」を打ち出している。 〇山下ふ頭についても、テクノクラートたる行政職員自身がよく勉強をして、自	Ⅰ-2-(1) Ⅱ-1-(1) Ⅳ ｲ-1-(2)

	分で考え、具体的な土地利用計画案を複数作成、市民に提案し、意見と評価を受ける取組を数回繰り返して修正し、最終的な基本計画をまとめることが肝要である。 ○その上で、民間事業者の参画が必要と判断したら、どのような役割を民間事業者に求めるかを明らかにした上で、協働体を考えていくのが本筋である。 ②基本的な方向性の問題点 １．短期的な消費換起型の大企業優位の産業開発ではなく、長期的視点に立った国民さらに世界の安全安定のための産業創生を目指すべき ２．３つのテーマの優位順位を明らかにすべき 優先順位はテーマ1、テーマ2、テーマ3の順である ○テーマ１：世界に誇れる「緑と海辺」空間 何よりも臨海部のウォーターフロントオープンスペース確保を第一に 都市における自然生態系の回復のモデルケースとなる取組を ○テーマ２：持続可能なまちを支える明日へのイノベーション 横浜だけでなく、日本全体さらに世界に対して、どのようにグローバルに貢献してゆくかの視点で「緑を海辺」や導入機能を考える。 ○テーマ３：活気に満ちあふれ周辺へと広がる新たな賑わい 特に大型商業エンタメ系の施設は既に都心臨海部でオーバーストアで不要 テーマ１、テーマ２を補完するアメニティの充実で十分 山下ふ頭と周辺市街地を結ぶプロムナード、交通利便性・快適性の形成に注力すべき ３．もう少し具体的に言うと ○ロジスティック、交通計画、供給処理計画を当初から良く検討すること バス・トラック等は輸送容量が小さく余り役に立たない 鉄道、インナーハーバーリングに羽田、新横浜等から直結する鉄道を京浜臨海部から大船 貨物輸送鉄道ネットワークと共に計画 大深度地下鉄として、戦時の避難スペースともなる計画 MM 線の元町中華街駅は容量が小さい ○供給処理（エネルギー・水・廃棄物等）は、市街地との接続が１カ所の島なので、クローズドシステムを考え、関内等都心部への負担をかけないようにすること ○グローバルな機能立地を考えて、港湾区域保存地区は存続すること ○先端部の７棟の倉庫は、少なくなった港湾活動の歴史を物語と歴史の建造物で古い、全て、保存活用すること ○建築規制：山下ふ頭全体でグロス建ペイ率１０％以下 高さは中、新港地区と同じ規制 マリンタワー、山下公園からベイブリッジへの眺望、港の見える丘公園からのインナーハーバー全体への眺望確保	

	建物緑化、海岸気候の中の人工的環境での緑化に挑戦すること ①　国連本部 V2 〇日米二国間安全保障同盟の時代は終わりつつある。 〇米露中の大国帝国主義が主導する世界秩序も様々な翳りを見せており、世界各地で大きな混乱が生じている。 〇ポスト大国主導世界秩序を目指して、グローバルサウスなどの多次元外交・多国間安全保障の国際機関として再生するために、UN(国際連合)本部をニューヨークから横浜山下ふ頭に誘致する。 〇昨今のウクライナ、パレスチナ紛争で明らかなように、五大国主義の国連安全保障理事会は意味を失いつつあり、国連の空洞化が進んでいる。 〇全ての加盟国が平等に発言し、決議に参加できる全員参加型の国連に衣替えしていかねばならない。 〇新しい国連の再生・誕生と基に、その立地や姿形も代えねばならない。旧五大国ではない場所に移転して、活動を始める。国際港湾都市横浜はその１つとして、名乗りを上げたい。 〇明治維新より脱亜入欧を急激に押し進め、錯誤の末の亡国の危機を経験し、戦後のアジア追従型繁栄と平和の果ての安逸に流れて日本沈没の危機を招来する中、日本再生の新国家を構想するシンボライズな事業となろう。 ②　災害対応・防災・医療等対応基地 〇広大なオープンスペースの価値を生かしたフレキシブルな土地活用。 〇パリオリンピックにみるように、パリ中心部の広大なオープンスペース広場や公園はスタジアムや体育館を設けずとも、オリンピックを開催できることを証明。都市の日常空間と非日常空間が一体化して、魅力ある都市空間を実現。 〇我国でも江戸の大川端や上野山下に設けられた広小路と呼ばれる広大な空間は、花小路と都市の双方に土倉を配置して共生を営み、普段は縁日や芝居等興業の場として活用すると共に、火避け地、避難場所として機能。 〇山下ふ頭を横浜及び県内の大災害時の防災医療等の支援・機材供給基地として使用する。更には日本国内各地あるいは海外での大災害救援の支援基地としても活用。陸・海・空の交通拠点に近い利点を生かした迅速なロジスティック開発の場として、官民協力の仕組をつくり、防災産業の研究開発の拠点ともする。 〇例えば、高付加価値コンテナの開発と備蓄により、各地への迅速な機材・人員の派遣を加速させることができる。ソーラー発電コンテナ、蓄電池コンテナ、通信所コンテナ、海水や汚水の飲料化コンテナ、食の調理型コンテナ、トイレ・シャワー等の水廻りコンテナ、水槽コンテナ、医療・手術用コンテナ、など。 〇日常の活動としては、出初式、市民の起震体験・消火訓練なども。 〇国連防災機関とも連係し、戦災地での復興・救援活動も地雷不発弾処理・防災・食料・医療品配備等。 〇山下ふ頭の全ての岸壁を耐震岸壁として強化し、基地の防災性を高める。 ③　気候大変動期に対応する食と農の研究開発機構	

	○日本の食糧自給率は 38%と世界的に見て大変低い。特に大都市圏は 1～2%と極めて不安定である。 ○世界人口が現在の 80 億人から 2050 年に 97 億人になると予想される中、戦災や地球温暖化により頻発する天災、大国の自国本位の保護貿易等による食糧の供給不安や価格高騰など、日本の食の基盤のぜい弱性が日本の食の安全保障が損なわれる事態が懸念されている。 ○横浜市西部や北部等郊外部の農業活動と都心臨海部の農業活動を、生産・加工・流通・調理のバリューチェーンの中での連携を強化すると共に、市街地でのソーラーシェアリング型立体農業の研究開発を行う横浜独自の取組をすべきである。 ○また、国連食糧農業機関(FAO)と連係して高温、乾燥気候に強い作物・穀物の開発、栽培方法、救荒作物の開発なども行い、アフリカ等農業後進国の振興にも寄与してゆきたい。 ○さらに多くの農業法人・企業の参画を得て、官民共々の取組を進め、新しい農事産業の創出を目指す。 山下ふ頭　再開発　食と農 ○アグリポリス　空中栽培農法　都市型農業開発 ○フードポート ●食と農の体系 ●市街地の押下の耕地利用図 ●横浜市内のフード連携 ④　治岸生態研究開発機構 ○日本の都市部海岸は、戦後の急激な都市化・工業化により、沿岸部は工場・都市インフラが占拠し、水際線は RC で固められ、海底には河川からの砂の供給も止まったためにヘドロ化、本来の沿岸及び浅海生物の生態環境は著しく悪化している。 ○都市化と多様な生物の生態環境の共存を図る取組みは、京浜工業地帯の工場敷地内でのトンボ池などのビオトップや東京港野島公園、葛西臨海公園の整備、千葉の三番瀬干潟の保全など、断片的な整備にとどまり、沿岸生態系ネットワークの形成には至っていない。また太平洋・日本海の廃プラスチックの除去や規制もまだである。 ○また、地球温暖化などの気候変動対策は、景観政策による市街地緑化が主体で、都心臨海部の気候変動対策や多様な生物生態系再生は進んでいない。 ○2009 年の「国連環境計画報告書」では、海の生態系消失を防ぐために、ブルーカーボンや廃プラスチックへの対策強化を訴える。海に貯めこまれる炭素のおよそ半分が、面積的には、0.5%に満たない沿岸植生域によって吸収されており、沿岸や浅い海の生態域が大きな役割を果たしていることを明らかにした。 ○今年 2 月に閣議決定された国の地球温暖化対策には、沿岸環境や藻場の保全・海藻生産の推進が唱われている。	

	○横浜市は、東京湾沿岸都市と連携して東京湾の気候変動対策として、浅海や汽水域の植生回復を進めるために、横須賀市久里浜にある国の港湾空港技術研究所の海洋研究開発機構（ＪＡＭＳＴＥＣ）を山下ふ頭に誘致すると共に、横浜市が東京湾生態回復のネットワークのハブとなる施設を運営し、インナーハーバーリングの主要な機能の１つとなる。 ○東京湾生態再生の実験場の１つ ○浮島の中継、汐入池 ○汽水域の生態観察、魚介形昆虫等 ○汽水域の生態観察、海岸性植物・水生植物 ○大温室による亜熱帯性植物園、水生小動物園 ○東京湾自然博物館 ○人間の生態環境として、出来るだけクローズドシステムに 【電気】ソーラーによるマイクログリッド 【上水】雨水浄化 【下水】域内で浄化処理 【ゴミ処理】生ごみコンパクト化、分別 【野菜工場】域内レストランへの供給	
No349	GUNDAM FACTORY YOKOHAMA 再建設による横浜の未来 横浜市は、山下埠頭を「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」として、また「持続可能なまちづくり」と「新たな賑わいを創出する場」として再開発を進めています。GFY の再建設は、これらの目標達成に大きく貢献し、横浜の魅力をさらに高める起爆剤となり得ます。 ● インバウンド誘致と国際的ブランド力の向上 GFY は、その開催期間中、国内外から多くの観光客を呼び込み、特に外国人観光客の多さが際立っていました。コロナ禍後の 1 年では来日できなかった海外のガンダムファンにとって、再建設は待望の機会です。 世界的な知名度：ガンダムは日本を代表するコンテンツであり、その実物大モビルスーツが動く姿は世界中の注目を集めます。これにより、横浜の国際的な知名度とブランド力が飛躍的に向上します。 リピーターの創出：一度訪れた観光客が「また来たい」と思えるような、体験型のエンターテインメント施設は、リピーターの創出に繋がり、長期的な観光収入に貢献します。 周辺地域への波及効果：GFY が山下埠頭に再建設されれば、横浜中華街や山下公園、みなとみらい地区など、周辺の観光地への周遊が促進され、地域全体の経済活性化に繋がります。 ● 経済効果と地域活性化 GFY の再建設は、単なる観光施設の設置に留まらず、広範な経済効果と地域活性化をもたらします。 直接的な経済効果：	Ⅱ-1-(1) Ⅱ-1-(2) Ⅲ-1-(1) イ-1-(2)

	入場料収入：GFY 単体での収益が見込めます。 公式グッズ販売：GFY 限定のガンプラや関連グッズは、国内外のファンにとって大きな魅力となり、高収益が見込めます。 飲食物販収入：来場者向けの飲食施設や物販店舗からの収入が期待できます。 雇用創出：施設の運営・維持管理、物販、飲食など、多岐にわたる雇用が生まれます。 間接的な経済効果： 宿泊需要の増加：特に海外からの観光客は、宿泊を伴う滞在となるため、市内のホテル稼働率や宿泊単価の向上に貢献します。また限定の見返り（特別仕様のガンプラや普段は入場できないエリアへの招待）付の宿泊プランはファンにとって大いに魅力となります。 交通機関の利用促進：鉄道、高速バス、タクシーなどの交通機関の利用が増加します。 ふるさと納税の増収：横浜市へのふるさと納税返礼品に、限定ガンプラなどの GFY 関連グッズを追加することで、全国からの寄付増が見込めます。これにより、再開発事業への財源確保にも繋がります。 ●「イノベーション」と「教育」の拠点 横浜市が掲げる「未来社会に対応した持続可能なまちづくりに向けたイノベーションの創出」といいうテーマに対しても、GFY は貢献できます。 技術的な魅力：動くガンダムは、日本のロボット技術や製造技術の粋を集めたものであり、その開発プロセスや構造を学べる「アカデミー」のような施設を併設することで、科学技術への関心喚起や人材育成に貢献します。 国際的な技術交流：世界中から研究者や技術者が集まることで、新たなイノベーションの創出や国際的な共同研究の機会が生まれる可能性があります。 地域の誇り：市民が誇りを持てるような、世界的にもユニークな施設があることで、シビックプライドの醸成にも繋がります。 GUNDAM FACTORY YOKOHAMA の再建設は、単なるエンターテイメント施設ではなく、横浜市が目指す「世界に選ばれる都市」としてのブランド力向上、経済活性化、そして次世代へのイノベーション育成に貢献する可能性を秘めています。 GFY 再建設による経済波及効果の試算 GFY が横浜にもたらす経済効果は、直接的な収入だけでなく、間接的な波及効果や地域貢献という多角的な側面から評価できます。 ●直接的な経済効果 入場料収入：過去の実績を踏まえ、年間来場者数を国内外合わせて約 80 万人と想定した場合、平均入場料を約 2,000 円とすると、年間 16 億円程度の収益が見込めます。特別イベントやシーズンパスなども含めると、さらに増加する可能性があります。 物販収入：GFY 限定ガンプラ、オリジナルグッズ、アパレルなど、高付加価値	

	な商品の販売は高収益源となります。入場料収入の 50%～80%程度の物販収入を見込むことが可能であり、年間 8 億円～12.8 億円程度の売上が期待できます。特に、外国人観光客は限定品に対する購買意欲が高い傾向にあります。 飲食収入：施設内のカフェやレストランでの飲食提供による収入です。物販同様、限定メニューやコラボレーションメニューの展開により、来場者一人あたり 500 円～1,000 円程度の消費を見込むと、年間 4 億円～8 億円程度の収入が見込めます。 雇用創出：施設運営、警備、清掃、物販、飲食、メンテナンスなど、多岐にわたる雇用が創出されます。直接雇用だけでも数百人規模の雇用が生まれ、関連産業も含めるとさらに多くの雇用機会が生まれます。 ● 間接的な経済波及効果 宿泊費：GFY 来場者のうち、特に遠方からの来場者やインバウンド観光客は宿泊を伴います。横浜市内の宿泊施設の稼働率向上と平均宿泊単価の上昇に寄与します。宿泊単価を 1 人 1 泊 1 万円と仮定し、宿泊を伴う来場者を年間 10 万人とすると、10 億円の追加消費が見込めます。 交通費：GFY へのアクセスだけでなく、横浜市内の観光地を周遊するための公共交通機関やタクシーの利用が増加します。 飲食費（周辺店舗）：GFY 以外の周辺飲食店での消費が増加します。特に山下町、中華街、みなとみらい地区などの飲食店にとっては大きな恩恵となります。 その他観光消費：GFY を目的として横浜を訪れた観光客が、他のショッピング、エンターテイメント施設、美術館、博物館などで消費する金額も含まれます。 ふるさと納税増収効果：横浜市へのふるさと納税返礼品に、限定版ガンプラ等の GFY 関連グッズを追加することで、全国のガンダムファンや横浜を応援したい層からの寄付を大幅に増やすことが見込めます。例えば、高額寄付者向けの特別な返礼品を設定することで、これまで横浜市に関心がなかった層からの寄付も期待でき、年間数億円規模の寄付増加も視野に入ります。 これらの直接的・間接的な経済効果を総合すると、年間で数十億円規模の経済効果が期待でき、横浜経済の活性化に大きく貢献すると考えられます。 ● 具体的な施設構成案 GFY の再建設にあたっては、単に動くガンダムを再設置するだけでなく、より多角的で魅力的な体験を提供、定期的な演出の変更、イベントを開催することで、リピーターを増やし、周辺地域への波及効果を最大化することが重要です。 ● 主要施設 動く実物大ガンダム本体：山下埠頭の象徴として、ガンダム本体とドックを再設置。前回の経験を踏まえ、メンテナンス性を向上させ、安定的な稼働を目指します。 GFY ミュージアム＆展示スペース：ガンダムの歴史、モビルスーツの技術解説、GFY の制作秘話などを展示。万博のガンダムパビリオンは戦闘ではない宇宙での利用方法を検討するいい題材になるので万博終了後、誘致するのもよいでし	

	ょう。子ども向けの体験型コンテンツ（例：ガンダム操縦シミュレーター、ロボットプログラミング体験）を導入し、教育的側面を強化します。 限定ショップ「GUNDAM BASE YOKOHAMA」（仮称）：GFY 限定ガンプラやオリジナル商品を充実させ、ここでしか手に入らないプレミアム感を演出します。インバウンド向けに、免税対応や国際配送サービスも検討します。 カフェ＆レストラン「GFY CAFE」（仮称）：ガンダムの世界観をテーマにした飲食メニューを提供。装飾などからガンダムの世界に入れるものとし、夜間営業も行い、ライトアップされたガンダムを眺めながら食事ができる空間を設けます。 イベントスペース：期間ごとの特別展示、ファンイベント、ライブビューイングなどを開催できる多目的スペースを設けます。 ● 周辺連携・拡張施設 「横浜ガンダムツアーズ」インフォメーション：GFY だけでなく、横浜市内のガンダム関連スポット（例：ガンダムグッズ販売店、ガンダムカフェなど）や、みなとみらい・中華街・元町など周辺観光地への周遊を促す情報提供と体験プログラムを企画します。 インタラクティブ・ナイトビューイングエリア：夜間にはガンダム本体と周辺空間を一体とした大規模なプロジェクションマッピングやライトアップショーを実施。山下埠頭からの横浜夜景と融合させ、新たな観光コンテンツとします。 オープンイノベーション・ラボ（仮称）：ロボット技術、AI、XR などの先端技術に関する研究・開発企業との連携拠点とし、企業や大学、研究機関が GFY の技術を活用・研究できる場を提供します。これにより、横浜市が掲げる「イノベーション創出」の具体例となります。一般向けのワークショップやイベントも開催し、市民の科学技術への関心を高めます。 ガンダム×YOKOHAMA 体験型アトラクション：例えば、ガンダム搭乗体験（シミュレーター）、VR を駆使した戦闘体験など、より没入感のあるアトラクションを導入します。 これらの施設構成は、来場者の滞在時間を延ばし、消費を促すだけでなく、横浜市が目指す「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」「持続可能なまちづくりに向けたイノベーション」「新たな賑わいの創出」というテーマに合致すると考えます。 ● 具体的な事業計画（フェーズ別） GFY の再建設は、計画段階から運営、そして将来的展望まで、いくつかのフェーズに分けて考えることができます。 1. 計画・設計フェーズ（約 2〜3 年） このフェーズでは、実現可能性調査、設計、資金調達が主な活動となります。 事業主体・運営体制の確立：横浜市、バンダイナムコグループ、地元企業など複数の関係者による共同事業体（例：第三セクター）の設立を検討します。これにより、リスク分散と専門性の活用が図れます。 詳細設計：前回の GFY から得られた知見を活かし、さらなる安全性の向上、メ	

	ンテナンス性の確保、観覧環境の改善、付帯施設の最適配置（物販、飲食、体験施設など）を行います。来場者の満足度を高めるには、利便性の高いトイレや休憩スペースも重要です。 法令・許認可の取得：建築基準法、消防法、都市計画法など、関連する法規制への適合を確認し、必要な許認可を早期に取得します。山下埠頭という特殊な立地条件も考慮します。 資金調達計画:建設費、運営費、維持管理費を算出し、官民連携での資金調達（例:補助金、融資、出資、クラウドファンディングなど）を検討します。ふるさと納税の活用もこの段階で具体化します。 2. 建設フェーズ（約 1〜2 年） 設計に基づき、動くガンダム本体および関連施設の建設を行います。 ガンダム本体・ドックの建設：高度な技術力を要するため、専門性の高い企業と連携し、安全第一で建設を進めます。 付帯施設建設：ミュージアム、ショップ、カフェ、オフィスなどの関連施設を効率的に建設します。 インフラ整備：電力、上下水道、通信などのインフラに加え、来場者のアクセスを考慮した交通インフラ（駐車場、公共交通機関との連携）の整備が重要です。 3. 開業・運営フェーズ 開業後は、集客と収益の最大化を目指した運営を行います。 マーケティング・プロモーション：開業前から国内外に向けた積極的なプロモーションを展開します。メディア露出、SNS を活用した情報発信、旅行会社との連携強化などを行います。 イベント・コンテンツの定期的更新：来場者が飽きないよう、期間限定の特別演出、コラボレーションイベント、新しい展示などを定期的に企画・実施します。再訪を促す施策が重要です。 人材育成：質の高い接客サービスを提供するため、多言語対応可能なスタッフの育成や、ガンダムに関する知識を持ったガイドの配置などを検討します。 ふるさと納税連動：限定ガンプラの返礼品化や、GFY の入場券・年間パスポートを組み込んだ寄付プランを設定し、継続的な収入源とします。 4. 将来的展望 長期的な視点では、山下埠頭再開発全体の方向性と連動し、GFY を核としたエリアの活性化を目指します。 周辺施設との連携強化：山下公園、中華街、みなとみらい地区など既存の観光地との連携を深め、周遊ルートの確立や共通チケットの発行などを検討します。 新しいテクノロジーの導入：最新の VR/AR 技術やロボティクス技術を取り入れ、体験コンテンツを常に最新の状態に保ち、来場者に「次も来たい」と思わせる工夫を凝らします。 ドラゴンボールは日本のアニメにもかかわらず、テーマパークは他国に建設されることになりました。それによる損失には下記が挙げられます。	

	1. 観光収入や関連事業の逸失機会 国内での建設が実現していれば観光誘致や地域経済効果、雇用創出などが期待されました 2. 日本企業、日本自治体の意思決定の鈍さという世界からの印象悪化 作品発祥地である日本で建設されず、海外の資金力に頼る形になったことについて、「なぜ日本がやらなかったのか」との疑問も呈されています ＜日本の企業や自治体への世界からの印象＞ 安定志向の強いため、変革・革新を抑えられてしまう 年配や自治体に「アニメ＝子供向け」という固定概念の根付きがチャンスを逃している 慎重すぎるため生産性が低い 失敗を避ける文化が新規挑戦を抑制。市場変化への迅速な対応が難しいと見られている アニメのテーマパークは一過性に終わるリスクも考えられますが、ガンダムはすでに何十年に渡り新規シリーズが作られ続けており一過性に終わる可能性は低い作品です。 ただ動くだけでなくみなとみらいやベイブリッジと連動したかのような景観はお台場や福岡では得られない唯一無二のものでした。 他都市や他国に盗られてから後悔しても遅いのです。	
No350	世界取大のドバイモールを超えるジャパンモールを山下ふ頭に作ってほしいです。 アイススケートリンクがあったり、本物の恐竜の化石が展示されたり、巨大水槽でまるで水族館に行ったような気分になって、すべて無料で行けるエリアであれば、買物しなくても楽しい、何度も訪れても新しい発見がある場所になってもらいたいです。単なるショッピングの場所以上にエンターテイメントやレジャーも楽しめる複合施設として、世界中から多くの人々に訪れてもらいたいです。地球上で家大かつ最も豪華なショッピングセンターの 1 つであるこの象徴的な目的地は、単なるショッピングモールではなく、誰もが何かを提供する活気に満ちた体験です。ご家旅向けのアクティビティをお探しなら、ここにはすべてが揃っています！24 時間営業で夜でもエンターテーメントを楽しめれるモールで、観光客が日本の文化を体験できるようなイベントとして、例えば、舞妓さんや芸妓さんの舞踊や、青森ねぶた祭、よさこい祭りなどの体験やショーを見れたら、それだけでも楽しい異文化体験になります。	Ⅲ-1-(1)
No351	「海・人・歴史がつながる都市型ウォーターフロント」 ①（海洋観光・文化）帆船・ヨット・歴史と海を体験する港 ・帆船・ヨットの停泊機能　・セーリング文化の向上 ・海洋体験施設　・歴史博物館（遠湾ミュージアム） ②（環境・生態系）自然と共生する都市海兵 ・潮干狩り　・干潟再生エリアの整備	Ⅰ-2-(1)

	・バードサンクチュアリ ③（食と産業）横浜らしさを味わい次世代産業を育てる ・陸上養殖施設＋体験型レストラン ・シーフードマルシェ　・横浜フードコート ④（アクセス・回遊性） ・山下公園・大さん橋・赤レが倉庫との連動再整備 ・小型水上 EV バス　・MICE、教育機能との複合 ・ドローンを使った移動体験　以上	
No352	例えばレンガを積む、そのレンガに自分の名前が残るような、市民の実際の身体性と関わりをもてるような再開発という楽しい労働になったらいい。コミットするということは手を足を動かすこと。いかに多くの市民を半ば強制的にせよ、動かし協働するか。	Ⅳ
No353	ヨコハマには、「客間しかない家」のような場所が多い。観光客ファースト 以前住んでいたチューリッヒ（スイス）では、駅のすぐそばの川や湖で市民が自由に泳いでいた。こんな光景は観光客も心がなごむだろう。この街にもっと親しみをもつはず。 水質をきれいにして、市民がたのしめる場所をつくってほしい。	Ⅰ-2-(1)
No354	みなと未来や山下公園はいつも人でいっぱい。長くはいられません。観光客も大切ですが市民もゆっくり出来る公園も必要では。 海や船がゆっくり見える所で一日中弁当を持って遊びに行く所も必要。子供達も自由に遊べる老人も休めるそんな公園がいい！！	Ⅰ-2-(1)
No355	まち作りの基本は、「安全なまち」、「安心して住めるまち」であろう。この条件を満たせない町づくりは、いくらきれい事を並べても失格である。また、まち作り検討の条件を明示するべきである。すなわち、地震、津波、高潮、富士山の噴火による火山灰をどの程度想定するのか。これらを無視したまち作りは、失敗と言わざるを得ない。かつて、災害が発生したとき「そこまでは考えていなかった」という責任者の言い訳が頭をよぎる。きれい事ではなく、足を地につけた堅実な計画が望まれる。	イ-2-(1)
No356	山下ふ頭は市有地です。みどり税を負担している市民の土地です。 多くの子どもが植林して緑がたくさんの広場にして下さい。	Ⅳ
No357	山下ふ頭は市有地です。市民の土です。みどり税を払っています。 子ども直、障害がある方々、又、お年寄りが、楽しめるような場所。 そこには、緑あふれる所で暑い時期過ごせるよう、屋根のある場所に行って下さい。	Ⅰ-1-(1)
No358	長期的に税収が見込める施設・誘致を実施して頂きたい。	Ⅱ-1-(1)
No359	横浜は、日本の海の玄関です。次々世代までずっと残せる誇りある”山下”にしましょう。　広～く市民の意見を聞く機会を広報などを通じて知らせて下さい。	Ⅳ
No360	横浜は、歴史を有している 1.日本を代表する場所	Ⅳ

	2.都市であるが、整備された景観 3.市民として誇りを持っている 4.今後共繁栄する様、心よりお祈り申し上げ、私自身微力ながら一市民として、生活をしていきたい。	
No361	あれだけの膨大なコストをかけて倉庫の解体、上屋の解体、移転を行ったのだから、それに見合うだけの利益を生むパフォーマンスを実現してほしい。 47ha あるのだから、神宮外苑を超えるような各種競技場や野球場などのスポーツ施設、IR は選挙で否定されたというのなら、海辺のスポーツの都となるような盛り上がりを経済効果を期待したい。 ハマスタの移転先　ドーム球場を誘致してはいかがでしょう	Ⅱ-1-(1)
No362	①山下ふ頭は、市民の財産です。市民検討会や市民の意見を必ず反映して下さい。 ②横浜港の入口側に位置しているので、高層の建物を絶対建設しないで下さい。 ③スポーツベッティングの整備はしないで下さい。市民はかけごとは望んでいません。 ④世界に選ばれるのではなく、市民や子どもたちに喜ばれる内容にして下さい。	Ⅳ
No363	商業的、観当的なものはもう十分です。これ以上、要りません。 時間がたっても、み力のあるものが良いと思います。50 年とか 100 年たっても、横浜市民のいこいの場になっているような再開発をして下さい。	Ⅳ
No364	外国からの観光客だけでなく、市民・県民にも利用価値の高い施設を希望します。	Ⅳ
No365	①高波が押し寄せても安心　②海水に触れる事ができる　③周辺の海の眺めを高台から見られる　④左右につつじなどの背の低い木々を植える	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1)
No366	横浜港のあたりは、外を歩くのが楽しい場所です。今後ますます、夏の気温が高くなっていくなら、その対策を第一にしてほしい。浅瀬に戻す、木を植える、太陽光発電パネルを置く、市民が参加できるゴミゼロをめざした資源の分別回収の常設ステーションなど。 私は育てた植物やせん定した木の枝など、もえるゴミではなく、個体のまま置いておくか炭にして土に戻せたらいいなと思いますが。 とにかく何か、横浜市が、この問題に、本気でとりくんでいるということがわかる場所にすればよいと思います。それが、ちゃんと、今よりもっと快適な気候へ進んでおくと思えなければ、どんな活動も、消費も生産も辛い気がします。横浜市には人も物もたくさんある。資源の山。ゴミにしたらもったいない。学者市長に期待しています。	Ⅰ-1-(1)
No367	マリーナベイサンズとバオバヴの木の様な人工木、シンガポールはあの建造物で経済、文化、若者人口も多く世界から人の集まる都市へと姿を変えました。ランドマークタワーや観覧車、インターコンチネンタルホテルの様に美しく空から海から陸から横浜の象徴の様になる景観デザインの中での横浜、横浜中華街の成功の様に横浜で生まれた物、アイスクリームのどこにも負けない程の集合	Ⅲ-2-(1)

	販売拠点。世界的なテニスの大会のできるコート。トライアスロンの拠点。寿司の集合拠点。ラーメンの集合拠点。国内、外国人観光客が大好きな日本の味をクオリティ高く提供出来たら、万博の様にいつもにぎわいを保つ事ができると思います。	
No368	山下ふとうは横浜市有地がほとんどと聞いているので、業者やもうけ最優先ではなく、第1に市民のいこいの場となるようにしてほしいです。ハンディのある方にとっても過ごしやすい配慮を忘れずに！ 具体的には ・屋外で子ども～大人まで体を動かして楽しめる施設を作ってほしい ・屋内で（空調はもちろんありで）子ども（幼児～小学生位）が体を動かして楽しめる施設・・雨の日や夏の日の暑い日でものびのび遊べるように。 ・全世代が楽しめる図書館等文化施設を	Ⅲ-1-(1)
No369	学生達と山下ふ頭再開発について話し合いました。教育学部の学生です。子どもたち一人が一本ずつ植樹をし、自分の木にニックネームをつける。機会があれば肥料水やりをして、なるべく自分で育てる。それが10年20年…50年後、大きな木となり、山下ふ頭に森ができる。それを実現したいと言っていました。休けい所があってもカフェ、レストランがあっても良いですが、主体は子どもが植えた木です。山下ふとうにつくらなくても…とも考えられますが、温暖化だからこそ、あちこちに森そして自然エネルギー（風力、太陽光、海流、潮位）です。そんなシンボルになるとよいです。	Ⅱ-2-(3) Ⅳ
No370	・高層ビルは建設しないでください。　・災害に備えて（含 感染症対策）の施設の建設　・食料、薬品etcの貯蔵庫の建設　・土地の大部分は緑でおおわれ木かげも適度に配置する　・一部に展示場もあってよい（収益の面で）　ただし武器＆兵器の展示はさせない。	イ-2-(2)
No371	暑い夏でした。日本は温暖地帯の気候区分ではなく、熱帯？？少なくとも、ザッと雨が降って、カンカンに照りつける亜熱帯です。春と秋は、ほとんどなくなっています。子どもたちは、熱くて外では、遊べません。そんな子どもたちに、全天候型やね付きのプレイルーム、多種多様な、冷房、暖房完備の遊ぶ場所をつくりましょう。昼外の遊び場も、浜辺も、砂浜もあるとよいです。サップ、カヌー遊びもできるとよいです。安全への配慮、そのための設備、人員も必要です。市民の税金は、市の子どもに使いましょう。	Ⅲ-1-(1)
No372	地球温暖化による、特に夏の高温が気候でも海辺で風と本かげで少しでも涼しく過ごせる物所にすることを希望します。 特に、”お金を払わないと入れない、使えない”という場所にはしてほしくない。スポーツベッティングが素案に上がっているが、キャンブルが行われるのはやめてもらいたい。	Ⅰ-1-(1)
No373	群馬県立自然史博物館と、妙養小年自然の家を合わせた様な、海版の教育機関にすべき。機浜市の50億年の自然史と、海で、の、生活術、海のことを学べ、体験、実習を通じて学べ、有時には、物資を受入れる港になったり、有事の活用も、	Ⅳ

	考慮に入れを、自然について、博物学的にも、知識、技能の面でも学べ、かつ、有時にも実際に役立て、そう言う、教育・生涯学習、防災施設にすべきだと思う。	
No374	観光都市横浜ではありますが、これ以上の開発ではなく市民がくつろげるいこいの場として自由に企画し運営できる空間として残して下さい。大きな建造物などつくることは将来の負債となる可能性をも高く、そのようなリスクよりも、確実に市民の利益として残せるものににて下さい！	Ⅳ
No375	精神的にも肉体的にも健康になれる場所を求めます。横浜の山下ふ頭に来れば老若男女健康になれる！それをキャッチフレーズに日本の世界の人々を呼び込みたい。文化、芸術、医療、スポーツ、食について、人が健康になれるにはどう発想、発展させれば良いかを市民、みんなで考えたい。お金もうけを頭に考えるのでなく、人々が喜んで集まって来る場所には、あとでお金がついて来る。	Ⅳ
No376	海の近くであり清波に対する防御できる建築物の中て安心して学ふことができ親子で楽しめる大型図書館。そしてシニアの代の方もゆっくり楽しめる食事ができお話しが長くでき心から今日は健康的にも心が豊かになれたと思える日々を過ごせる場を作って頂きたい。	Ⅰ-2-(1)
No377	このはがきを書いていたら、きりない位アイデアは出てきます。しかし、公共福祉のために開発し、公共福祉のための場所にするという、最低線はかわらないです。なぜなら、山下ふ頭は、市有地、市民共有の財産だからです。市がお金もうけをするのではなく、市は市民がいかに快適に豊かにすごせるのか、市民のために税金をつかうのが市の仕事です。市が快適にすごせていないのに、旅行者を呼びこむことに夢中になるのは本末転倒です。市民が楽しくすごしている場所に、遊びに旅行者が来て旅行者も心豊かになれる、そんなコミュティをつくりましょう。	Ⅳ
No378	①横浜の中心には何万という多くの人が集まる広場がないのですが災害のときには必要。 ②大きな木があり、いす、テーブルのおかれ人々がゆっくりすごせる場所がほしい ③ショッピングのような賑わいでなく自然・緑にかこまれた静かな森のような空間がほしい。	Ⅰ-1-(1)
No379	子どもや、若い人が活躍できる場になってほしい。子どもは、遊びや運動ができる施設を備え、（体育館、サッカー場、テニスコートなど）バスケットボール、卓球、バドミントン、体操、陸上競技、テニス、サッカーなどたくさんの運動ができるようにしてほしい。　若い人向けには、録音スタジオ、舞台、映像が映せる場、アニメなどが作れる場、ダンスがおどれる場所などコンパクトなスタジオをつくって、様々な創作活動にとりくめるようにしてほしい。	Ⅳ
No380	市有地なので公共福祉に役立ててほしい。大型図書館、交流センター、老人と子どもが集う場所、キャンプ場、子どもが遊べる全天候型プレイルーム 若い人がうたったり、おどったりできるスタジオ、体育館があるとよいです。	Ⅲ-1-(1)
No381	旅行者がたくさんの町は、問題が多いです。不法行為、ごみのなげ捨てなどがあ	Ⅲ-1-(2)

	ります。住民が快適にくらしていること、そこに旅行者が訪れて、「よいまちだ」「みんなが幸せに生活している」と感じられなくては、旅行者も訪れないのではないでしょうか。まずは、ゆとりをもって豊かに、生活ができていること。快適な住まいと、公共施設（図書館、交流センター、会議室など）をつくり、理想的な町にすることで一級の観光地にしていきましょう。	
No382	・賑わいと安らぎの調和、商業施設とフリースペースの調和。　・ふ頭を港湾部の防災拠点に瀬谷の花博跡地を内陸部の防災拠点とする具体敵施設を設置する。　・ふ頭内における自給自足の再エネシステムの完備を、イノベーションの創出。防災の観点からも推進。　・ふ頭内におけるバリアフリー化の徹底、モデルケース化の実現　・横浜の未来をになう若者達が集う場の創出。例えば、スケートボード、クライミング、水上競技の場づくり。 ※商業施設が乱立する観光優先の場ではなく、全市民から愛され、大切にされる空間とし、多くの面で、将来へのモデルを創出し、国際的交流の場としていくことが大切。	Ⅰ-1-(2) Ⅳ
No383	Ⅰ.若者が緑と海辺に囲まれた地で、のびのびと文流し、技術力を競い合う施設を創って下さい。たとえば、スケボー&フットサル ①国際競技ができる施設を　②初心者から楽しめる施設を Ⅱ.平和都市横浜にふさわしい施設（常設館）を！――被害だけでなく加害の事実を直視する―― ①関東大震災後の朝鮮人虐殺　②横浜空襲	Ⅳ
No384	・海にはマングローブを植えて、気温上昇でも耐え、魚類がたくさん見える子ども達にとっても楽園になるものにして下さい。海水浄化にも役立ちます。 ・陸側には横浜市立大学と国際平和大学をコラボした大学を設置して世界平和の発信する場所にすることで世界との交流窓口になると思います。	Ⅰ-1-(2)
No385	市は 3 つの基本方向を提案されているが全体的にどこに重点を置かれているかを判断するに「世界に選ばれる象徴的なにぎわい」と思われる。私の周辺の人とも、どんなものが良いか話し合ったが、やはり、市民が利用しやすいもの、いこいのある空間を求めているし、私も同様です。市民が気軽に集まり、市民による文化イベントを行なったりして、市民が創造的に関わる場であること、緑や公園が広いスペースであること。市民を中心にした方向性を基本にして欲しい。最初から、世界からのインバウンド狙いは本来てんとうである。人を中心にした横浜らしさが、世界から興味を引くのではないか。市民検討会には参加したい。希望者を募って欲しい。	Ⅳ
No386	山下ふ頭は江戸期の横浜開港・昭和 20 年からの横浜港等の接収・日本の高度経済成長から今に至る日本に唯一無二の歴史を背負う貴重なエリアだと思います。その歴史をふまえた「この立地だからことできる」再開発をお願いします。 ・（必要ならば岸壁等の補強工事を行い）大地震・津波の際にも発災直後の避難の船で港外への避難の拠点になる・物資補給拠点にもなり得る（平常時は特色あるモール・非常時避雑場所等）	Ⅱ-1-(1)

	・新港ふ頭のハンマーヘッドに対応して現在のガントリークレーンのような「今」を象徴するモニュメントの周りに歴史を説明する案内報など ・臨港パークからの一体性を大事に緑地を多く（非常時の為にも）して、トリエンナーレのように定期的に野外フェスなど行う ・旧上瀬公通信施設地区にテーマⅡの拠点を置き、現在進行中のイノベーションプロジェクトの紹介場所（ブース）をおく	
No387	（1）再開発にあたっては、隣接する山下公園との連続性、一体性に努めてほしい。水際線の散歩道、広々とした芝生空間、呪文区と花壇。ベンチの数、配置にも留意し、自由で開放的で誰でも気軽にアクセスし利用できる。その意味では日常的な空間設計を買いてほしい。 （2）「基本的な方向性」を見ても、横浜らしさ、横浜の魅力が伝ってこない。極論すれば横浜を他の都市に置換えてもそのまま使える気がしてしまう。言葉が上すべりしているのは、歴史や現実を踏まえていないからではないか。市民は今の横浜の港（街）のどこにプライドや愛着を感じているのか。もう 1 度検証、分析してほしい。160 年余の歴史を俯職してみてほしい。	Ⅰ-1-(2) Ⅲ-1-(1)
No388	山下ふ頭に「タマちゃんマリンランド」開設の提案 世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間実現のため、山下ふ頭にアザラシを保護・展示する水族館「タマちゃんマリンランド」を開設することを提案いたします。横浜市の海に面しており、港湾都市・海洋都市としての横浜の魅力をさらに高める拠点となり得ます。環境保護の推進をアピールするとともに、観光客の誘致にも大きく貢献するでしょう。現在、オランダの「ワッデン海世界遺産センター（通称：アザラシ幼稚園)」が人気を集めているように、アザラシの保護施設は国内外で注目されています。日本国内でも、北海道紋別市の「オホーツクとっかりセンター」が観光の目玉となっており、地域振興に寄与しています。 神奈川新聞の記事横浜港山下ふ頭巡りにぎわい拠点へ私案続々「市民意見踏まえ検討を」にもあるように、山下ふ頭の活用に関する市民の意見が集まっており、「タマちゃんマリンランド構想」も具体的に検討されています。記事では以下のような声が紹介されています： 「横浜市民はタマちゃんに優しかった。タマちゃんの仲間に北極海から来てもらい、横浜港でのびのびと暮らしてもらう。市民は北極海に思いをはせてほしい」「横浜港を選んだ理由は、近年開発が進む北極海航路の存在だ。ドイツ・ハンブルク港から横浜港への航行距離は、スエズ運河を通る南回り航路の約 6 割となる約 1 万 3 千キロに短縮でき、燃料も安く済む。タマちゃんの古里を通る船が発着する横浜港でやることに意味がある」 2002 年には、アゴヒゲアザラシのタマちゃんが横浜市の帷子川護岸に現れ、市民の関心を集めました。流行語大賞を受賞し、横浜市から特別住民票が交付されるなど、タマちゃんは横浜市民に深く愛されました。 このような背景を踏まえ、タマちゃんの名を冠した水族館を山下ふ頭に設置することで、環境保護・海洋教育・観光振興の相乗効果が期待できますし、ふ頭内他施設にも好影響です。他都市との差別化を図るとともに、脱炭素社会の実現、自然環境との共生を推進する象徴的な施設となるでしょう。	Ⅰ-1-(2)

	「タマちゃん」を活かした街づくりを通じて、横浜市を港湾と自然が調和する都市に。タマちゃんへの顕彰施設を設置してください。	
No389	F-1 等の自動車レースのオーバルサーキット＋市街地コースの融合、オーバルサーキット内にサッカー専用スタジアム建設！や、IR 誘致と、当初は思っていましたが、いずれにしてもベイブリッジをくぐれない大型客船があり、IR には不向きな立地かと思います。 それであればいっそ、テーマ 1 にある緑地化ですね。一般人が入れないように、いっそ不可侵なくらいで、自然の森にしてしまうのが温暖化対策にもなりますし、野鳥や昆虫の住処にしてしまうのが良いと思います。	Ⅰ-1-(1)
No390	現在の山下公園は日陰が少なく、夏の暑い日などはのんびり過ごす場所がなく、人通りも少なくなっています。 山下ふ頭エリアでは緑を多くすることで日陰空間を多く作ってもらい、その下にベンチなどを配置して海辺の空間も目で見て楽しめるようにしてもらいたいです。 また、海辺と緑の環境教育の拠点として活用されるエリアになるなど世界的に見ても先進的な取り組みを実施できる場所になると良いと思います。	Ⅰ-1-(1)
No391	海釣り公園	Ⅰ-2-(1)
No392	（1）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保　・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。　人材不足が叫ばれている中で、長距離バスの乗務員が集まると思いますか。 路線バスの運転手の人員不足がニュースになっています。生活に必要な路線バスの運転者不足を加速させないでください。 長距離バス乗務員より路線バスの運転者の方が生活に大切です。　長距離バスの乗務員が集まらなかったら、港湾局職員が責任を取って大型二種免許を取得して長距離バスを走らせる覚悟があって計画していると認識して問題ありませんね。 普通免許取得後 1 年、21 歳で誰でも取得できる簡単な免許ですから、港湾局職員が責任を取って取得して長距離バスを走らせてくれるのですね。港湾局に覚悟があって計画していると認識して間違いありめせんね。	イ-1-(2)
No393	（1）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保　・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。　人材不足が叫ばれている中で、長距離バスの乗務員が集まると思いますか。 路線バスの運転手の人員不足がニュースになっています。生活に必要な路線バスの運転者から奪い取らないでください。 長距離バス乗務員より路線バスの運転者の方が生活に大切です。　長距離バスの乗務員が集まらなかったら港湾局職員が責任を取って大型二種免許を取得して長距離バスを走らせる覚悟があって計画していると認識して問題ありませんね。 普通免許取得後 1 年、21 歳で誰でも取得できる簡単な免許ですから、港湾局職員が責任を取って取得して長距離バスを走らせてくれるのですね。港湾局に覚悟があって計画	イ-1-(2)

	していると認識して間違いありませんね。	
No394	シンボルとなる空間～日本ならではの世界一の創造～　杉を利用した一枚板の世界一長いカウンターをシンボルにしてはどうでしょうか。 日本固有の樹種である「杉」は高さ 60ｍの物も存在するそうです。 その杉を利用して、繋ぎ目なしの一枚板のカウンターは、まさしくギネス登録できると思います。 そのカウンターを川の字の様に三列に配置してはどうでしょうか。 海側一番前列は、畳敷きにしコタツの高さ程に設置する事で、日本文化の「直に座る」を体感できるようにする。 カウンターを支える脚は檜を使用し、宮大工の技術を表現できるデザインと融合させ、畳のい草と檜の匂いを味わっていただく。 中間のカウンターは、椅子に座って丁度いい高さに設置し、車椅子の方も家族と過ごせる様にすると共に、ここは一枚板には拘らず、所々に通路を 設け、回遊性と非常時の導線を確保する。 最後方のカウンターは、スタンドバーの高さにし、まさしく「世界一長い杉で出来た一枚板のバーカウンター」を横浜に出現させる。 目線をひな壇にする事で、ほぼ死角なしに山下公園からみなとみらい全域を見渡せる空間になると思います。 又、国の花粉症発生源対策と連携し、周知活動が出来るのではとも考えられます。　この木材の調査→伐採→運搬→設置までのドキュメンタリー映像を PR の媒体として使用も可能かなと思います。 特に海上輸送は、現在コンテナが主軸ですが、現在でも行われている艀や台船による運搬の歴史と共に、この空間と隣接する貯木場跡地「木と海」の歴史を、子供たちの社会見学として利用できるのではないでしょうか。　設置後も杉は匂いは少ないのですが、木目が綺麗で非常に柔らかいので、カウンターの表面は傷付きやすいのですが、手触りを重視し、敢えて表面は加工せず、逆にこれを逆手にとり定期的に表面を削るイベントを開催することも可能かと思います。 鉋で削った鉋屑をお土産で提供しても面白いかと思います。　以上。是非、ご検討材料に入れて頂きたく思います。　杉の学名「Cryptomeria japonica」～「日本の隠された宝」	Ⅲ-1-(1)
No395	これまでの委員会等で議論されたのかわかりませんが、毎年山下公園(周辺)で定期的に行われているイベントとの関わりについて、どのような考えを持っているのでしょうか。 山下公園では通年、民間団体主催のカッターレース、ドラゴンボートレース、ベルギービールウィークエンド、ハマフェス、ワールドフェスタ、横浜七夕まつり等、又、横浜市も関わるヨコハマパレード、トライアスロン、横浜マラソン、花と緑のスプリングフェア等があると思います。 これら各イベントが抱える課題や問題点等を包含した再開発をすることで、イベントを拡大、継続、発展させることでより多くの市民が楽しむことが可能となり、来街者にとってもより一層滞在時間を充実したものに出来るかと思います。 なので、一度各主催元へのヒヤリングを行い意見や希望を取るべきと考えます。	Ⅲ-2-(1)
No396	１．活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい　・横浜市中央卸売市場については、老朽化や物流の効率化、温度管理、防災性の向上など諸課題への対応のため、狭隘な敷地で増築を進めている状況。市場を山下ふ頭に移転※し、機	Ⅰ-2-(1) Ⅱ-2-(2) Ⅱ-2-(3)

	能強化を図る。 ・移転後は、横浜中華街等との近接性を活かし、賑わい拠点として、食のエンタメ施設を併設。早朝の競りの見学や場内飲食店の充実を図ることで、横浜観光最大の弱点である宿泊者増加に寄与する。 ・また、一角に魚介類の海上・陸上養殖、植物工場の機能を誘致し、市場への出荷と子供たちの食育等に活用する。 ※市場の隣地である東高島駅北地区 C 地区棟計画が進行。市場へのメイン動線は分離されているが、物流動線に近いエリアでの住民の著しい増加は安全性に懸念。市場の底地をディベロッパーに売却し、売却益を山下ふ頭の再開発に充当することで、公費負担を圧縮。 ２．持続可能なまちを支える明日へのイノベーション ・市場近接地にバイオマス発電等を誘致。市場や周辺飲食店舗から出る食品廃棄物、使用済み食用油等を回収し、バイオマス発電や SAF（持続可能な航空燃料）を製造。市場の電力へ活用するなど、エネルギーの地産地消を実現。 ・バイオマス発電や SAF 製造過程などを見学できる施設の併設を義務付け、サーキュラーエコノミーに関する市民（特に次世代を担う子供たち）の理解醸成や関心度向上を図る教育施設とする。 ３．世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間 ・バイオマス発電から排出される熱を利用した植物園や植物工場を誘致し、市場への出荷と子供たちの食育等に活用する。 ・山下公園側に設置することで、公園との緑の一体性を確保。同時に、みなとみらいからつながる緑の歩行者空間に、ジョギング等に活用できる距離表示を整備することで、市民の朝活を促し、健康増進に寄与する。 以上、人類が抱える食糧問題や廃棄物問題を、実際に見たり、体験したりすることで、循環型社会の実現に参画し、考えることができるエリア開発を行う。	Ⅲ-1-(1)
No397	オフィスビルの周りには緑豊かな公園を整備し、子供から高齢者が集いやすい空間を作ってください。また真夏に散歩できる公園が少なく、日影を多くするなど工夫を凝らした公園づくりをしていただけると嬉しいです。	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-2-(1)
No398	『 世界に誇れる、魅せる「緑と海辺空間」』を最大化する方向での再開発を希望。緑は、塩害に強い樹木で森林を構成し、海辺の「明治神宮の森」を実現し クルーズ船で訪れる訪日客を、緑で出迎える街づくりを進めてもらいたい。 森の維持管理で排出される木材から、バイオマス発電に利用し、 市民、観光客に憩いの場を提供しつつ、サステナブルな街づくりに貢献できるのではと思います。	Ⅰ-1-(1) Ⅱ-2-(3)
No399	無機質にならないよう、海と緑が調和した街を期待します。 地球温暖化にも貢献でき、海辺で温暖な気候が保てる、日差しや雨がしのげるような、木陰、日陰で海を見ながらのんびり過ごせる緑の空間がたくさんあると良いと思います。	Ⅰ-1-(1)
No400	「世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間」というコンセプトに、大いに賛成です。近年夏場になると日中は外に出ることが難しい状況ですので、緑陰の下で、屋外で楽しく快適に活動できるようなエリアにしてほしいと思います。 ウォーカブル水際線というコンセプトにも大いに賛成で、思い思いに散策やウォーキング・ジョギングなどで回遊できるようになると良いと思います。各所に見どころとなる開港の歴史を感じられるスポットや花の見どころ（例えば山下公園の	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-1-(2) イ-1-(2) イ-1-(3)

	バラ園のような）などがあると、周遊もより楽しくなるのでは、と思います。 先日 37 度の猛暑の中、大阪・関西万博に行きましたが、大屋根リングの下が通行可能な日陰となっており、園内移動や休憩（ベンチがたくさん配置）における利便性向上に大きく寄与していました。山下エリアの水際線には、現在も歩行者デッキがありますが、エリア全体にデッキが貫通していなかったり、日陰になるデッキ下部は通行できなかったりと不便です。「緑でつながる歩行者空間」の整備の際には、緑陰の整備とともに、このあたりの利便性が向上すると良いのではないかと思います。デッキは環状になると、なおよいと思います。 水際線のエリアは、山下公園や赤レンガ倉庫など、開港の歴史を感じられる施設が多いエリアでもありますので、なるべく既存の景観を活かす形での再整備を望みます。 また、47ha もある山下ふ頭本体の再整備については、賑わいづくりの拠点とするのであれば、それこそディズニーランドやＵＳＪのような大規模テーマパークを整備するのが良いと思います。市外からの誘客のために、公共交通機関の充実とともに、駐車場施設の充実も必要だと思います。ふ頭再整備の暁には、大規模な駐車場ができるとは思いますが、ふ頭への来訪者だけで一杯になってしまうことが容易に想像できます。そのほかの来訪者の入れ込みや、エリアの周遊性の観点から言えば、みなとみらい公共駐車場や臨港パーク駐車場、山下公園駐車場など各地に点在する既存の駐車場施設の収容台数強化や利便性向上も必要と考えます。 色々書きましたが、再開発には大いに期待しています。市民が誇れるエリアとなるよう。頑張ってください。	
No401	何を作るにしても、建物は全部、2 階建て程度の低層にして欲しい。海際の高層の建物は、海風を遮って内陸が暑くなるので。 「大さん橋ターミナル」のような形で、街中にできた「丘」になるような建物。屋上は緑化して、一般人にも開放して欲しい。暑い日に丘の上の木陰で海風にあたって休憩したり、逆にランドマークタワーやアメリカ山から海～山下公園とバラ園～ふ頭の緑の丘が続く景色を楽しめるようにして欲しい。ここから開港祭の花火を家族で見たい。子どもでも安全に自転車遊び、ボール遊びなど、昔の子どもが道端でやれていた遊びを緑の中で自由にできるスペースも欲しい。 にぎやかでキラキラした商業施設と住んでいる人だけしか景色が楽しめないタワーマンションや高層オフィスは、みなとみらいにお任せして、山下公園～山下ふ頭～元町～山手は、時間の流れが違うような、横浜市民も観光客も、誰でもみんなが「一息つく」スペースにして欲しい。NY のセントラルパークが海の隣にあるような。	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(1) ｲ-3-(3)
No402	災害対策を兼ね、ヒートアイランドを予防する 最大限緑地・森林を拡張した地域にしてほしい。	Ⅰ-1-(2)
No403	周辺への気候にも影響するためこれ以上のアミューズメント施設はやめるべき。 最大限緑のある憩いの場を行政の手で保護すべき。	Ⅰ-1-(1)
No404	皆様のご尽力に感謝して どの取り組みも今から楽しみにしています。 子供の頃から思うのは 便が悪い 日陰や屋根がないので夏は特に暑い 観光客は見たさ聞きたさに訪れるのでシャアが 地元」横浜の人は特に珍しいものではなく	Ⅰ-1-(1)

	わざわざ便が悪いのに行かなくてもと思います。	
No405	横浜市営もしくは民間委託した、自然あふれるオートキャンプ場、BBQ 場、野鳥観察公園、ドッグランが融合した施設を建設したら良いと思います。 日本を代表する政令指定都市に、自然と調和した施設があることに意味があると思います。GREEN EXPO も開催されることですし、その繋がりも感じられて良いと思います。	Ⅰ-1-(2) Ⅱ-2-(1)
No406	何点か意見があります 1、夏場は気温の上昇が激しく、冬場は海辺なので寒さがキツいです、青空はすでにあるので空調の区別をしっかりしていただきたいです　2、最近話題になりました某アーティストの騒音問題ですが、今後光や臭い等にも敏感になってくるかと思いますので、夜間の光源、路上販売、浮浪者の対策等検討していただきたいです。　3、緑化を行うと平行して虫害や鳥害等が出てくるかと思うので対策をしていただきたい。　4、釣り人やスケートボードをしている人への対策として許可されている場所の明確な表示を行って欲しいです。	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(1)
No407	どんな施設があれば、そこを目指していきたいかと考えたときに まず大型の駐車場が併設されているアウトレット(木更津規模)があったら良いなと思いました。 ですが、ただのアウトレットだと世界に愛される横浜としては全く特徴がないので 外観に唯一無二のインパクトがある、大きな公園や海洋施設などが融合して併設されているような「海の中のショッピングモール」になれば、横浜市民としては誇らしく、楽しそうだなと感じました。 （参考）シンガポール植物園やマリーナベイサンズ、モルディブやドバイにあるような水の中のレストランやホテル。	イ-3-(1)
No408	高島水際公園の事例のように、水鳥や海棲生物が利用できる環境を創出し、横浜湾、東京湾における生物のよりどころになって欲しいと考えます。沿岸部を藻場や磯などのエコトーンを再生し、市民が景観や生き物の観察を楽しめるようになると良いと思います。陸地には葛西臨海公園のような湿地水辺空間を再生できるでしょうか。 復元した自然環境と連続するようにコミュニティガーデンやコミュニティファームを配置し、市民が交流しながら緑地維持を学び関わる場があると楽しそうです。	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-2-(1) Ⅳ
No409	夏でも涼しい遊び場を作って欲しい 遊具や大型施設がある場所でなく 森や地形を考えた自然公園をつくって欲しい 東京都江東区内で海に囲まれた埋め立て場に海の森公園があるように横浜の方が海に近く恩恵を受けてきたのに環境の整備され子供が遊べるところは少ないとおもいます 芝生を作るというよりしっかりと木を埋め涼しい木陰をたくさんつくって欲しいです 生物多様性の観察できる公園になれば世界的にも進んだ公園となり海外からのインバウンドや投資にもつながると思います	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-1-(2) Ⅱ-1-(1)
No410	大きな施設にコンクリートいっぱいの写真映えするだけの場所はたくさんあります 多種多様なひとがが訪れられる公園は少なく あると世界的にも観光地になります 生物多様性と人の多種多様を考えた公園は 少ないと思います 何度	Ⅰ-1-(2)

	も訪れたい場所へなるよう ぜひお願いいたします	
No411	テーマ 3 とも関連すると思うが、いま海辺の問題として、神奈川県や横浜市の「釣り」が堂々とできる場所が激減している。近隣の千葉県、静岡県も軒並み釣り禁止、もしくは立ち入り禁止になっている。神奈川県や横浜市の釣り人口や釣りをしたいと希望する人口はかなり多く、その証拠に横浜市の海釣り施設：大黒や本牧は、休日ともなると待ちの渋滞や混雑で人や車でごった返す。釣り座の隣同士が狭くなるためストレスも多く、家族・カップル・友達同士での思い出作りや癒しを求めてやってきたはずが、もはやそれどころではない【嫌な思い出】として帰って行く。「釣り」を通じて得られるものが多く、子供の頃から親しむことで巧緻運動や生物観察を通じてＩＱを向上させることが分かっている。また自宅に食用として持って帰り、魚を捌き、摂食する、といった一連行動を【猟】として意識することで本来人間が営んできた感覚の賦活や歴史への興味きっかけ作りなどが挙げられると思う。また他の施設同様に有料にした方が客層の質を高め、環境保全や景観を保て、環境意識や生態系への理解を深め、（自然や娯楽施設がストレス発散や癒しとして機能するため）犯罪率の低下、混雑やストレスの緩和、自然への畏怖畏敬の念の向上、にも繋がる。また万一事故が起きても閉鎖などするべきではない。本人や保護者の発達特性や希死念慮の関係でいくら注意したり安全性に万全を期しても、死ぬ者は死ぬ。むしろその理解を周知するのが自治体の役割ではないだろうか。ぜひ、横浜市に、楽しい思い出が作れるような釣り場（芝生の整備や BBQ 可なども良いだろう）を作って欲しい。よろしく！	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1)
No412	人工砂浜を作り、これまでの横浜では出来なかった海水浴や海辺の自然保全、生き物とのかかわりが積極的にできるようなレジャースポットとして横浜の海を盛り上げていきたいです。	Ⅰ-2-(1)
No413	兎にも角にも、せっかく横浜市全体でグリーンエキスポを推しているのだから、全国に先立った、緑と共存する未来都市を創造してほしい。涼しい街と聞けば人が集まるのは避暑地=お金が落ちる街という考え方にならないだろうか。	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1)
No414	遠目からの景観こそよいが、足元を見ると公園、海、施設どこに置いてもゴミか目立つ。 これは、観光やイベント開催などをはじめとする人の行き来が多いことに起因するところが大きいと思うが、外部からの観光客への意識付け（クリーンな街であることのアピール）がまだまだ必要ではないか。 今回の再開発にあたって大々的にアピールしていきたい点である。 また、ただ開発するだけでなく、実態が伴うような維持も考える必要がある。例えば、周辺施設の壁にあるスプレーアートなども放置しないほうがよい。そういった街の景観を損なう部分の放置が、少しなら汚してもいいだろうという心理にさせてしまっているように思う。	Ⅲ-1-(2)
No415	水族館、植物園、スポーツ施設などが一挙に集まると いった、ナチュラルに寄った施設がコンセプトと理 解。海の中がそのまま見えるような海中ゾーン等も海 辺だからこそ実現可能なものでは。テクノロジーを運 営面や移動手段で取	Ⅰ-1-(1)

	り入れつつも、身近な人とお金を かけずに日常的な幸せを享受することを大切にした い。ギラギラした施設は相応しくない。 室内だが日光が降り注ぎ、雨粒が天井をたたく。その 中で安心して過ごせる形はどうか。	
No416	子供が遊べる水辺が近隣に少ないので、安心して遊ばせることのできる水辺があると良いです。そこに住む海の生き物が観察できると自然を大切にしようという意識が自然と芽生えるのではないでしょうか。 また、日陰が少なく暑くて夏は歩く気がしないので、緑地を増やして木陰か増えると少しは涼めるのではないでしょうか。また、アスファルトの照り返しの軽減も期待できるかと思います。	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1)
No417	海を通じた人間育成や自然調和の教育は進んで行うべきと思います。これは強く推したい。	Ⅰ-2-(1)
No418	①山下公園の延長で子供達やペット一緒に遊べ、落ち着く公演	Ⅲ-1-(1)
No419	山下公園もあるので、緑はほどほどにして、稼ぐ土地にして欲しい	Ⅱ-1-(1)
No420	全体的に美しいし良いと思いますが市民がお金を掛けずに寛げる空間を基本にして欲しいです。ロープウェイとか廃止しろとは言いませんが明らかに観光客向けの価格設定で利用できないので、せっかく出来る空間がそういうものばかりだとがっかりします。東京都内のようにビジネスマンんおまちではなく横浜は住民主体の街だと思うので市民が快適に暮らせるようにして欲しいです。私はオーストラリアによく旅行に行っていましたが、公園にすごく安価に利用できるバーベキューコンロ（ゴールドコーストなど）がありました。確かワンコインでバーベキューが楽しめるようなコンロでした。普通に日常ユースで肉などをスーパーで購入したりつまり持ち込みでコンロで焼き芝生でレジャーシートなどで食べる感じです。みなとみらいの方も確か持ち込みのバーベキュー施設はできたと思いますがアホみたいに高くて利用するのが馬鹿らしいです。高校生などでもお小遣いでつまり高くても五百円、できれば百円くらいで利用できるような施設を用意して欲しいです。バーベキュー施設を作るというような直接的な要求というよりは商売っけばかり出さずにそういう感覚で市民が利用できるものにして欲しいということです。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ
No421	近隣の公園（山下公園や臨海パーク）との差別化として、開けた公園より、散策して楽しい緑の公園にしてほしい。 もちろんイベントの開催されるというので、開けた場所が必要なのは分かるので、一部だけでも。	Ⅰ-1-(1)
No422	1.市民が気軽に行ける場に　山下ふ頭は交通の便が良く、市民にとって身近な場所です。観光客だけでなく、市民が日常的に散歩や休憩に訪れることができる、気軽に立ち寄れる空間として整備していただきたいです。 2.広く利用できる場に　子どもから高齢者まで、幅広い世代や背景を持つ人々が安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインやバリアフリーを徹底し、誰もが快適に過ごせる場にしていただきたいです。 3.緑と自然を大切に　横浜らしい海と緑の景観を守り育てることが重要です。市民が自然と触れ合い、憩い、交流できる大規模な緑地や水辺空間を確保してい	Ⅰ-2-(1) Ⅳ

	ただきたいです。 4.持続可能な脱炭素のまちづくりを　環境負荷の少ない再生可能エネルギーの活用、循環型社会の推進、カーボンニュートラルの実現など、未来の世代に誇れる、持続可能なまちづくりを進めていただきたいです。 以上の点が反映されることで、山下ふ頭が、市民に開かれた憩いの場でありながら、横浜の未来を象徴する、持続可能なまちとなることを強く期待しています。	
No423	鎌倉や京都のような観光公害は市民にとって迷惑。観光客はみなとみらい地区で十分。海の公園に次ぐ、市民が海と親しめる場としてほしい。	Ⅰ-2-(1)
No424	すごく良いアイデアだと思う。酷暑は数十年と続くかもしれないので、木陰で遊べるようなスペースや、昆虫を観察できるスペースがあると子供と遊びやすい。一日の吸収二酸化炭素量等が可視化できると、緑化の数値的効果が見え、緑あふれる自治体が更に増えていくのではないか、と思う。 山下埠頭から日本全体に良い土地活用方法が広まってほしいと思う。	Ⅰ-1-(2)
No425	開港前の田園風景が広がっていたことを思い起こせるようなエリアが欲しい。松林があり、海辺では海水浴場とまではいかなくても砂浜を感じられるエリアと、陸側には中区にない市民農園を作り、樹木エリアと野菜・花の部分にわけてマイナスイオンいっぱいの場所としたい。通路は極力、雨水を利用できるようにした道路としたい。また、都市気候に悩まないエリアであることをアピールできると、涼しくなる朝・夕のペットの散歩やジョギングもしやすい場所となる。	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-2-(1)
No426	きれいで楽しいお金のかかる施設ばかりではなく、市民がお金をかけなくても、楽しく、自由に使える空間があるといいと思います。	Ⅳ
No427	私は令和4年の意見募集のパンフレットにあった事業者提案「28haの緑」が実現することを大いに願っている者です。横浜は特に高度成長期以降の古い開発の波に洗われ、緑被率は30%をきっており、更にインナーハーバーの付近は10%ちょっとしかありません。新しいビルを建てるのに若干の緑を植えるということは行われていますが、まとまった緑の回復は望めるものではない状況です。いまだ開発というと、緑を伐採しビルを建てるという50年来の概念から脱却できないでいます。そしていったんビルを建てたところは、そのビルが古くなってしまうとまた新たなもっと高いビルを建てないと回らないのです。都心には上層をマンションにして分割所有する新しいビルが多く建てられています。だから、市内の所々の今ある緑を「開発しない」ということで守ることが精一杯なのです。この点において、この山下ふ頭での28haの緑を再開発で入れるということは、新しい再開発の概念である、SDGsの「Transforming our world」 であると考えます。こんなにまとまった緑を回復するチャンスはありません。　横浜市のみなとみらいには熱帯木材機構の事務局があります。そこは世界の熱帯樹林の回復を推進しているそうです。横浜市は是非、日本の山下ふ頭から都心部の緑の回復の推進を目ざしてほしいと思います。	Ⅰ-1-(1)
No428	●山下公園との連続性を持たせ、緑地や花壇を豊かに整備することで、海辺の自然と調和した空間を形成することを期待します。 季節の移ろいや植栽の多様性	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1)

	を取り入れることで、訪れる人々に癒しと発見を提供します。 ●更地スペース部分には、「1. 山下ふ頭の将来像」で定めた高機能人工芝を活かし、舗装では得られない柔らかな印象と、座ったり寝転んだりできる居心地の良さを確保できます。 ●海辺の立地を活かし、人工の砂浜と磯辺を部分的に設けることで、海との距離感を縮め、五感で楽しめる空間づくりを図ることができます。 水辺に触れられる場所を設けることで、視覚・聴覚・触覚を通じて海の存在を身近に感じられるようにします。	
No429	海綺麗にして欲しい	Ⅰ-2-(1)
No430	令和８年度頃の事業化を目指すというのであれば、GREEN×EXPO 2027 の前年である。せっかく緑をテーマに掲げるのであれば、GREEN×EXPO 2027 でテーマとしているネイチャーベースソリューションを体現できる場所として横浜市が先頭を切って打ち出した方が、意義があると思う。単にテーマだけ掲げて民間に任せるのではなく、こうした大きなテーマに対し、GREEN×EXPO 2027 で掲げた考え方を横浜市として実装していくことで、強いメッセージになると思う。「答申を踏まえた基本的な方向性」の内に、GREEN×EXPO 2027 という言葉が全く出てこないのもどうなのか。	Ⅱ-2-(1)
No431	一つ目のテーマに緑が入ったことを喜ばしく思っています。 近隣都市の臨海部に超高層ビルが立ち並んだことで風の道が遮られ、内陸部の気温が上昇していると言われており、私自身、年々厳しさを増す酷暑を憂いていました。西区・中区をはじめとする海辺のまちも、私の住んでいる緑区のような緑のまちもある横浜市が、再開発をしようとすればいくらでも高層ビルを誘致して収入をあげることもできる中で、緑を一つ目に掲げられたことを市民として誇りに思いますし、シビックプライドの醸成にも資することだと思います。山下ふ頭が緑豊かで季節問わず内外から人々が集う素敵な空間になることを心から楽しみにしております。	Ⅰ-1-(1)
No432	色々な要望があり玉虫色になってしまうかもしれませんが、とにかく行きたくなる、誰もが無料で楽しめる、カッコいい、美しい水辺の景観を創ってください。赤レンガ倉庫につづくデートの名所になるといいですね。 また、たくさんの若手のクリエイター達が小さくても尖ったコンテンツを作り続けるような場があるとよいと思います。 恋人たちやクリエイターがあつまるような場所を目指してください。期待しています。	Ⅳ
No433	市民が緑と海辺に親しみ楽しむ場所にしたい。 木々や緑の中でゆっくり自然を感じる場所にしたい。 海でカヌーなどを楽しめる場所にしたい。 近くの中華街や元町商店街を利用できるので商業施設はいらない。	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(1)
No434	桜やイチョウなど、並木道がほしい。花見ができる広場などもほしい。	Ⅰ-1-(2)
No435	以下の施設を設置していただきたいです。まず、子どもたちが遊べる大きな噴水広場と大屋根リングのような涼しい建物です。温暖化の影響で、年々子どもたちは外で遊ぶことが困難な状況になっています。夏場は水で遊んで、秋から春にかけては、噴水を見て楽しんだり散歩をしたいです。次に、海を眺めながら一息つ	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(1)

	けるカフェを作ってほしいです。どこにでもよく箱型の店舗ではなく、「海を眺める」をテーマにした横に長いかたちの店舗や横浜らしさが分かるような店舗だと面白いと思います。	
No436	以前カジノの誘致の話がありましたが、これからも絶対そういうIR構想は絶対反対です。高額の遊園地ではなく、安くて子どもが安心して遊べる遊具をたくさん置いた緑がたくさんある公園にして、大人も休めるような休憩所があると良いと思います。キャンプ場のようにして、バンガローを建てると災害時の避難所として利用もできるかと思います。	Ⅲ-1-(1)
No437	既に同様の公園＋海辺の施設がみなとみらいから続いているが、どう差別化するのか。同じようなものが続いたところで、テーマ３に記載の【地域経済の活性化と雇用創出】に繋がるとは考えにくい。 テーマ３のように賑わいの創出にふってもよいのではないか。横須賀の軍港めぐりやハンマーヘッドの辺りからでている観光クルーズのようなもので回ってみて面白い、(きれい、楽しいにくわえて、学びがあるものが良いのでは)ものがあっても良い。 例えば、今までのガンダムのように人がそこを目指してくるものは良かったと思うし、豊洲あたりのチームプラネットも、外国からもそこをめざして来てくれる。イベントもの＋その場での消費ができるコンテンツがあるのも良いと思う。 また、それに伴い関内駅～埠頭あたりの交通が改善するのであればその方が良い。 近年たくさん到着するクルーズ船の旅客がスムーズに次の目的地(横浜、羽田)にたどり着けるようバス停も集約してはどうか。同じ名前のバス停が多すぎて、よくバス停を聞かれる。日本人ですらわかりにくく、人を集めるなら対応策が必要。	イ-1-(1) イ-1-(2)
No438	商業施設はもう十分です。 近隣で客を食い合っては意味がない。 企業が入って既存と同じような商業施設ができたとしても市民の得にはならないと思う。 その維持のために、集客と売上のためにランニングコストがかかり続けるなんて、意味があると思えない。　週末はどこのカフェも長居しておしゃべりする人たちで満員ななか、お弁当やパンを買って、飲み物を持って、過ごせるような気持ちのよい場所があったら。みんな喜ぶと思う。 自然の中で過ごすのはやはり気持ちがいいし、その環境はとても価値が高いと思う。 手入れ、維持には近隣学校の課外授業などで子どもたちの力も借り、子どもたちには経験と職業体験にもなる。 短時間労働したい主婦やシニアや学生もうまく活かしてほしい。 多額の血税が注がれるこの計画、企業が儲儲けるのではなく、はじめから未来永劫まで市民のためになるものであって欲しい。	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-2-(2) Ⅳ
No439	テーマ１ 『世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間』、にて推し進めて欲しい。テーマ2、テーマ３を、せっかく風が通り、眺めのよい山下ふ頭をわざわざ使う必要はないと感じた。 横浜市として上記二テーマも進めたいのであれば、内陸部で行えばよいのでは？　管轄が異なり、掛けられる費用が違うことは考慮しないとして、 横浜市には代々木公園や井の頭恩賜公園、駒沢オリンピック公園のような、 広大でゆっくり過ごせる、清潔感がある公園がないので、今回の開発でぜひ山下ふ頭にこうした公園を作って欲しい。　そして、公園内には、緑豊	Ⅲ-1-(1) イ-1-(2)

	かな公園内に開店しても違和感がない店舗を常設して欲しい。 例えば、公園内に回転経験が豊富なスターバックスや、おいしい食事を提供できる個人経営の店。 派手派手しいチェーン店は不要。 公園近くに広大な駐車場を準備し、上記のように整っていれば、遠方からも来園すると思う。 事実、我が家は、代々木公園にはよく出掛けるので。場所ではなく何があるか、だと思う。 ギラギラした観光地はもうみなとみらい周辺だけでお腹いっぱいです。 派手派手しい、軽い、一時的には人が集まる場所やイベントの提供ではなく、 これからの時代、ゆっくりと過ごせる、緑豊かな場所が必要だと思います。 人が集まり豊かに過ごしている公園の視察を増やし、市民が求めているものは何か感じ取って欲しい。	
No440	山下公園からの緑の道の方向に賛成します。内容として、1）オープンスペースの確保（芝生）避難広場や音楽の公演を含む、2）植物園的機能の配置　A　樹木：桜、楠、ケヤキ、落葉樹（紅葉、クヌギ、コナラなど)、B　植物：バラ園、牡丹園、チューリップ、ハスの池、アジサイの道など)、3）ゆったり憩えるベンチやカフェの配置　4）可能であれば、森の小道を配置し、その中に小さな池をつくり、子どもが自然観照したり、年1回は指導員のもとで、網ですくって生態観察を行うこと等）5）緑の道の面積を出来るだけ拡張すること。	Ⅰ-1-(2)
No441	小学生までの子供たちも安心して遊べる水辺のエリア、浜を感じられるような人工の砂浜（大森ふるさとの浜辺　や　お台場のような）があるとビーチサイドへの商店の賑わいと旅の目的地ともなり集客と交通が見込める。 目的地となる為に駐車場を地下に拡充して設置 日焼けとなる空間を拡充する	Ⅰ-2-(1) イ-1-(2)
No442	ア　上瀬谷の緑との差別化 イ　多様な水上交通，大型パワーボートも着岸可能なマリーナ機能の充実（富裕層の取り込み） ウ　突堤間の海域を活用した市民が憩うためのビーチリゾート設計（海水浴プール・サウナ・お洒落な海の家） エ既存の岸壁を活かした船舶イベント（e.g. 国際観艦式）	イ-1-(2)
No443	アをもとに色々と考えてみました。アテーマ1緑・海辺ロンドンのハイドパークのような公園にする。ハイドパークで開かれたコンサートを記録した物販が拡散されることで世界的に有名な場所にする。例）日本武道館。海外のタレントが行ったライブの CD を販売し有名な場所に。イテーマ2イノベーション広大な横浜の空中を利用した発表会イベント屋内での発表会から、無数の小さなドローンにより横浜港や建築群を映像空間とした発表会場へ！例）夕方の富士山とみなとみらいの建築群をバックにベイブリッジから街並みを背景に、ドローンによる3D 映像を大規模な発表ツールとして魅せるウテーマ3賑わい広大な海辺のスペースに親水広場を設けて、水に浸りながら海を見るエリアを設けるエ市民が結ぶ新たなまちの環マリンタワーを移設し、大阪の太陽の塔のような横浜のシンボルとする横浜港の周辺は様々な施設があり、この広大な横浜を見せるために広大な空間を維持する。歴史的建造物のマリンタワーを山下ふ頭の海側に移設し、横浜港の新たな灯台とする。移設後のマリンタワーを大阪の太陽の塔のような横浜のシンボルとし、大屋根で灯台の周りを囲み、その大屋根から灯	Ⅱ-1-(2)

	台上部を突き出させ、港をぐるっと見れる施設にする市民が昼も夜も集える場所、災害時には避難ができる場所、イベント時には雨を避けて楽しめる場所にするオ交通機能の強化横浜には電気自動車に力を入れている日産自動車があり、電気自動車に協力してもらい、交通機関とするカ災害に強いまちエの市民が結ぶ新たなまちの環に記入したような大屋根広場をつくるキ景観デザイン基本は何もない広大なスペースとし、そこを緑で飾り、横浜の巨大なイベントスペースとする。赤レンガ倉庫の周辺がイベントスペースになっているように、マリンタワーを活かしながら、ほかの歴史的建造物と結び付けて文明開化の雰囲気の街にする。開発の各テーマと取組みの考え方絶対に不要なのはJリーグのサッカースタジアムです。第一に、他のサッカースタジアムの例から、選手とファンは月に2回使えますが市民はまったく使えない。第二に、他のサッカースタジアムの例から、建設費と維持費の回収がのぞめない。	
No444	世界に誇れる「緑と海辺」空間を目指すのであれば、世界基準で美しい街並み創造をしていくべきだと考えます。世界における魅力的な水辺のある都市といえば、ヴェネツィアやプラハ、シドニーを思い浮かべます。これらの美しい都市に共通してあるものは、人の目で見てきれいだと思う「水質」、街並みを見渡すことができる歩いて渡れる「橋」、そして統一感のある「建物群」です。この3要素にこだわって、新しい街並みをつくってほしいです。そこに横浜らしさを加えるとすれば、横浜ブルーを基調とした色味で統一感をもたせることもできると考えられます。さらに、世界からも注目されるためには、他の都市よりも一歩先をゆく空間造りをするべきです。つまり、未来都市の創造です。技術の観点では、空飛ぶ車・電車、水上デパート・レストランなど、課題が多く現実的ではありませんが、子どもから大人までもこのエリアに足を踏み入れた瞬間から、未来や将来が楽しみになるようなワクワクする仕掛けを取り入れてほしいです。	Ⅰ-2-(1)
No445	真夏に涼める場所が欲しい。	Ⅰ-1-(1)
No446	緑ということで、木を植えるだけでは人は集まらないと思うので、広大なアスレチック（緑を活用したジップラインやツリーハウス等）やこどもの国のような牧場も併設できれば出来立てのアイス、ジェラートなども生産販売することが出来て、良いと思います。駐車場はふ頭の地下全体とすれば相当数のスペースを確保できると考えます。	Ⅲ-1-(1) イ-1-(2)
No447	横浜の未来に望むこと世界に存在感を示せる場所になることを期待しています。市民が安心・安全に暮らせる環境のもと、衣食住を通して魅力的な文化が自然と形成されていくことが理想です。また、海や緑、夜景といった美しい景観を活かして、観光客やインバウンドの訪問者が横浜の都市そのものを体感できるような街づくりを望みます。日常を少し贅沢に彩るリゾート感のある都市として、自然と都市機能を融合させ、他にはない魅力を発信していけることを願っています。	イ-3-(1)
No448	今の美しい横浜を壊さないようにしてほしい。歴史を生かしつつ、調和のとれたデザインが好ましい。他都市に比べて頑張っている方だと思うので（東京はひど	Ⅰ-1-(2)

	い）もっとその方向性をブレずに突き詰めてほしい。海と緑花、それが魅力なので最大限拡げて、くだらない箱ものやカジノのような娯楽施設は必要ない。広く美しい空間があれば、自然と人は集まり、思うままに自由に過ごせるはず。都市景色を楽しめるというのは、横浜の最大の魅力だし、それを絶対に守ってほしい。夜景を生かした企画イベントも素敵だし、いろいろと考えてくれていることは伝わっている。だからこそ、カジノとか、無理して外国から人を呼ぶのではなく、横浜の歴史と景観を楽しめる施設にとどめてほしい。海外でも行ってみたい、人気のあるところは、結局はそこにしかない景色や景観、歴史が楽しめるところ。箱ものではなく、その点を突き詰めれば、横浜は日本でも有数の魅力都市になれる、なっているからこそ維持してほしい。	
No449	商業施設よりも、臨港パークのような子供連れやペット同伴で行ける緑が多いスペースがいいと思います	Ⅲ-1-(1)
No450	子供たちが磯遊びを出来るような環境にしてほしい。	Ⅰ-2-(1)
No451	海岸線に沿って散歩できるような道と自転車専用路の整備をして欲しい。途中に休憩可能な休憩所や cafe があると良い。	Ⅰ-2-(1)
No452	ライブ会場やホテルなど箱ものは、みなとみらい地区にあるので、そことは異なったエンタメ施設や海を見ながらくつろげる場所か良い	Ⅰ-1-(1)
No453	具体的に山下ふ頭がどれくらいの規模なのか全くわかりませんが市民はもちろん神奈川県としても誇れる方向へ行くことを望みます。画期的なことが出来る折角のチャンスなので海と山に恵まれた場所を生かしたい。将来自然に戻せるようなまたは自然になるような人工の砂浜や人間以外の生物が住みやすいことも考えられた場所になったら良いと思う。また災害の際にも活用しやすい構造も備えられたら最高です。	Ⅰ-1-(2)
No454	横浜市内で浜辺があるのは海の公園だけ。みなとみらいにもちょこっとだけ増やそうとしていますが、観光客を集めたり生物多様性を持たせるにはまだまだ不十分です。高度経済成長期に失われてしまった根岸・磯子の自然環境は本来の横浜のあるべき姿ではないでしょうか。山下埠頭を再開発して山下公園の延長線上のエリアを作っても意味はなく、世界に誇るエリアにするのであれば砂浜・磯がある親水域の整備は必至かと思います。	Ⅰ-1-(2)
No455	飛来する野鳥や海辺の生き物を観察できる野鳥園を設置してほしい。山下公園と接続すると、緑のある景観が地続きになるので良いのではないかと思う。横浜の海沿いには、西洋館や三塔など、開国から横浜港の発展を偲ばせる建造物が多く残っているので、ふ頭に新たに建造するものや植栽が歴史的景観を壊すものでないようにしてほしい。エドワード・S・モースが随筆のなかで、横浜港に降り立った際の印象として「茶の匂いがした」と書いていたと記憶している。多分お茶農家が複数あって茶ノ木が植えられていたのだと思う。そういうのも再現したら面白いと思う（チャドクガの駆除が大変になるかな・・・）	Ⅰ-1-(2)
No456	市内には緑に囲まれ、人々が憩える公園がどれほどあるだろうか。日曜日の昼過ぎに山下公園を散策していると様々なイベントや大道芸などで賑わっている。	Ⅲ-1-(1)

	大道芸の周りには人がそのパフォーマンスを見ようと輪になっている。イベント会場ではイベントを実施している周囲にキッチンカーが並び、人々はそれらを求めて列を作っている。それらの光景を見ていると人々の幸福感が伝わってきて、とても心が和やかになる。一方では公園の芝に寝転んで身体を休めたいと思っている人には喧騒が煩わしいかもしれない。山下ふ頭の外輪は緑あふれる木々で囲まれて、周辺の車の音などかき消してくれる。中に足を踏み入れると芝生が一面に広がって、シートなど敷いてのんびりしたり、こども達がボール投げや追いかけっこなどしている。犬の散歩に立ち寄る市民もいる。ここで過ごしていると時間を忘れてしまう。そんな空間を創出できたらと願っている。	
No457	海外からの観光客も多く呼び込む為には、性善説によらず強固な防犯対策が必須となるかと考えます。今の日本の防犯レベルでは海外のレベルの犯罪をほぼ防げていない、やらせたい放題になってしまっているようにお見受けしますので、良い面と同じくらいの強固な防犯インフラと仕組みの構築も同時に実施いただく事で、この壮大な素晴らしい取り組みが成功するかと感じます。ご検討いただけますと幸いです。	イ-2-(1)
No458	横浜駅にいくと頭が痛くなります。商業施設の中もガチャガチャやユーフォーキャッチャーなど電気で動いている物が多いせいなのでしょうか？LED のせいなのでしょうか？人はどんなところに何度も行きたくなるのか？景色が綺麗で癒される場所植物からエネルギーを貰えて元気になる場所。横浜が世界の先端になる必要があるのですか？人が造った場所はすぐにさびれてしまいます。みなとみらいの夜のライトアップ、プロジェクションマッピングはいらないと思います。新築で引っ越してきた時には小さかった木々がこの一25 年でとても大きく成長して素敵な庭になりました。セミの鳴き声、小鳥のさえずり、バッタもいます。四季を感じます。梅雨時に緑が濃くなってぐんと色鮮やかになります。そのように時間をかけて植物に街を作ってもらえたらいいですね。行ったことがないですが軽井沢のハルニテラスとか白馬岩岳マウンテンリゾートとか、緑が沢山の場所に行きたいと思います。レストランやカフェから素敵な景色が見れるような作り。青山フラワーマーケットのカフェのような植物でかざられたカフェ。ハウステンボスのようなそこは異国の街（まだいったことはありません。）インスタを見てると、推しのぬいぐるみ、リカちゃん、ミッフィなどなどを持って自然の多いところで撮影されてる方が多いです。人はそういうところを求めています。	Ⅰ-1-(2) Ⅳ
No459	山下埠頭周辺は、海と緑が共存していて大変景観が良いと思います。公園内はきれいに保たれていて、四季折々の草花を眺めて楽しめるしとても居心地が良いです。海は大型船が停泊したりする時もあるのでいつ行ってもその時その時の景観を楽しむことができます。海と緑両方あるので、その特性を生かせて自然を充分感じられれば良いと思います。先日暑い日に行きましたが緑と海があると風があってそんなに暑さを感じなかったのが自然で良いなぁと思いました。居心地が良いのでまた行きたくなる場所です。	Ⅰ-1-(1)

No460	昔から山下埠頭は倉庫の景色など、港横浜の魅力的な景観だった。関係者以外立ち入り禁止だっただけに、映画などでしか見れない憧れのようなものがあった。赤煉瓦倉庫とは違う魅力がある。そうした昭和の殺風景な倉庫街の歴史や雰囲気が垣間見れる場所を公園などの中に少し残して欲しい。多くの労働者や船員が流した汗水も横浜港を作っている。世界を魅了する街になって欲しいが、オーバーツーリズムは歓迎出来ない。現在でも週末は人が多いので港のエリアは避けている。まずは老若男女が集え、市民が楽しめる賑わいにして欲しい。自然との一体感を感じられる場所にも日除、雨除け出来る場所を所々に作って欲しい。トイレの充実も必須でお願いしたい。	Ⅰ-2-(1) イ-1-(3)
No461	年齢層に関係なく市民がいつでも気軽に来れる場所が望ましいと考える。	Ⅰ-2-(1)
No462	横浜は港町というイメージが強く貿易が盛んで船とかの行き来が多いが、みんなで楽しめる浜が横浜駅近くにないので子供たちが海辺で安心に遊べるような環境があったらいいと思う。	Ⅰ-2-(1)
No463	緑のある公園などは山下公園や山手地区が担って、山下埠頭は子供や家族連れが遊ぶ場所ではなく、大人が楽しめるおしゃれな場所にしてほしい。	Ⅲ-1-(1)
No464	今から 10 年、30 年先を想像すると年寄りが多くなり、子供が少なくなると予想されています。また、夏はとても暑く、冬は寒い春と秋の期間が無くなって(短くなって)外出する人が少なくなるとおもわれます健康維持には、外へ出てストレス発散が更に求めてくるよって、多くのシュミレーション、市民が快適に居られるところを構築して頂きたい	Ⅰ-1-(1)
No465	無料体験など海に子供達が触れ会えて、市民・県民だけではなく、すべての人に開かれた横浜を目指す。オーブン横浜。	Ⅰ-2-(1)
No466	山下公園は薔薇など花で市民を癒してくれています。山下埠頭は海辺の松林を再現して日本の海辺の景観を見せて夏でも木陰がある心地よい場所にしてほしいです。みなとみらいは人工的で未来的ですが、自然は少ないので、対照的に緑を多くして憩える場所にしてほしいです。	Ⅰ-1-(1)
No467	開発されて美しくなりそうだけれど、休日等の人手がますます増えて大変そうだと思いました	Ⅲ-1-(1)
No468	水が綺麗になり、魚も見れて安全な海辺になればいいなと思う。また、夏場は海水浴場になればいいなと思う。	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1)
No469	もっと港湾を開放ｓぢ、有料でいいので釣りができる施設を沢山欲しい。せっかく魚種豊富な東京湾なのだから	Ⅰ-2-(1)
No470	ペット(犬)と安心して過ごせる空間づくりを期待します。	Ⅲ-1-(1)
No471	自然環境の維持とその結果の外部発信が横浜を活発化させると思う。	Ⅰ-1-(2)
No472	直接海に入れなくとも、親水公園や子供達が水浴び可能な噴水的な公園、夏の猛暑対策を兼ねて	Ⅰ-2-(1)
No473	横浜といえば, 赤レンガあたりから山下公園, 港の見える丘公園というイメージを強く持つ人は多いのではないかと思います。それに隣接する山下ふ頭に関しては, はやりすたりのある, 店舗や施設よりも, まさに緑と海ということをアピ	Ⅰ-1-(1)

	ールできる公共の場ができると良いと感じます。埠頭をどう緑にするのかという点は難しい面があるかとも思いますが，経時的に，樹木が成長して，景観が変わっていくのも悪くないのではと思います。なお，温暖化の影響は避けられないので，盛夏でもある程度安心して，楽しめるような仕掛けは必要かともいます。	
No474	建築物を並べ積み上げる旧態の開発は止めて頂きたい。自然系の緑地帯を育てはぐくみ、海風を遮らない景観を両立する将来次世代へ手渡しできるような提案とその実現こそが、この時代に求められる真のイノベーションのあり方だと思う。	Ⅰ-1-(1)
No475	山下ふ頭に限らず、コンクリート護岸の影響もあり、生物の多様性が失われております。特に、近年、カタクチイワシの姿が激減しており憂慮しております。	Ⅰ-1-(2)
No476	市民が利用しやすい環境を整えて欲しい	Ⅳ
No477	・家族で楽しめる、ピクニック　公園　桜並木　・海を眺めながら船の往来を近くで観る　・各地域との連絡船　・広い駐車場 港湾業者は一切利枚なし　強い業者の隠れ独占となる　東北震災のときも公平性に欠けており不満が多かった　第三セクターが良い	Ⅰ-1-(2)
No478	豊かな緑・海辺空間を確保するため大きな建築物や施設は作らない。海岸に真近にあるのでウォータースポーツ　ボート、ヨット、シーカヤックなどの初心者のための施設やスクールを作る。ピクニックエリアを拡充しておく。 若い人　大学生、高校生、中学生、小学生、幼児などが利用しやすく集まりやすい環境をつくる。 横浜マラソンのスタート、ゴールエリアにできるような広場をつくる。 津波に対応できる施設にして災害対応にも活用する施設とする。	Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No479	「災害時の拠点」は、津波、液状化の面で大丈夫でしょうか？オーバーツーリズムの観点から、観光客を呼び込むような施設は不要です。またギャンブル系のものも絶対に入れたくありません。 環境問題、気候変動を考慮した緑ゆたかで市民がくつろげる公園が希望です。障がい者や較度認知症の方も一緒に働く、カフェや緑化保全事業所などがもとからある倉庫棟などのリノベーション建物に入るとよいのですが。 ニューヨークのセントラルパークのようなイメージです。	Ⅰ-1-(1) イ-2-(1)
No480	みなとみらいの景色は、誰が見てもきれいと思うでしょう。「きれい」だからヨコハマに住みたいと考える方もいます。長く住んでいますが、そうとばかりとは言えません。 さて、山下ふ頭の再開発については、市民のために解放された緑あふれる大きな広々とした楽しい広場、公園　視界をさえぎる高層建物などない、自然を活した場所にして欲しいです。　子、孫の世代に残してもらいたいです。私の願い、想いをど～ぞおくみとりいただきたいです。	Ⅰ-1-(1)
No481	長い航海の後、横浜に着いた。その感動は、広々とした海原から無機質な都会に置き去りになるより、緑豊かな森に迎えられ、自然豊かな港町に横浜はなってほしい。	Ⅰ-1-(1)

	少なくとも横浜には緑が少ない。	
No482	樹々をたくさん植えて、木陰をつくり、中心には、海水を引き入れた親水公園にして欲しい。	Ⅰ-1-(1)
No483	みなとの見える丘公園等のこあたりが大好きです。　企業主等の大開発ではなく、市民のいこいの場となるような開発を、市民の声を聞きながらにして下さい。	Ⅳ
No484	緑が失なわれ、タワーマンションや商業ビルの林立は息が詰ります。小さなお子さんから高齢者までゆったりくつろげて、健康的に過せる森（少し位の緑ではダメです。）を作って下さい。	Ⅰ-1-(1)
No485	半数は市民代表が入る委員会で計画を海に面した貴重なふ頭を全体を市民の憩いの場、緑豊かな空間とすることは、地球温暖化が進行する現在重要です。企業の開発のためにふ頭を使わせたり、ましてやカジノ企業の進出など絶対に許せません。発想の大転換を市に求めます。また、ノースドックを返還させ、横浜港を戦争のために使わせないで下さい。	Ⅰ-1-(2)
No486	森林を取り戻そう。2027 年の EXPO 横浜から世界へ発信。アホの一つおぼえみたいに再生エネルギーはもういらない。自然を大切に！！	Ⅰ-1-(1)
No487	市内で 2 人の子育てをしています。横浜～みなとみらい、山下公園の方までたくさんあそびに行っていて、私たちにとっては日常にある場所です。特別なものがなくても、山下公園のような広い芝の走れるところや、商業施設もある今の横浜が子育てにもありがたい場所です。もちろん、住んでいる人以外の利用、観光目的場所も必要だと思うのですが、そればかりに重きを置くのは、市民として悲しいです。時には特別な場所（例えばフェス、ライブ会場、スポーツイベントなど）にもなり、普段は気軽にあそびに行ける場所（芝の広場やちょっとした休憩スペースなど）にならないかなぁ、なんてよくばってしまいます。子育てをしているとあそび場ちかくまで行けること（交通機能）も重要だけど、あそび場に危険（車道からちかい、ふみきりがちかいなど）が多くなるのも不安です。ぜひ子育てしやすい横浜を作ってください！！横浜育ち、横浜が大好きです。	Ⅲ-1-(1)
No488	アクセス手段として、中村川の高速高架下の水面上空を利用し石川町/元町中華街駅からの流動をつなげる新型ロープウエイを導入 高さ 50M の回遊できる多層回廊シェル　中にはオフィス/イベント会場 等　表面は季節の花で覆われ、ひたち海浜公園のネモフィラのような集客を期待 遊べる海　泳げる海　浅水化 岸壁の直線部は極力曲線とし、埠頭のイメージを消し「緑の島」を感じさせる	Ⅰ-1-(2)
No489	□緑・海辺・・・温暖化防止のため、植樹で CO2 排出削減（フランスで行われている） □市民が結ぶ新たなまちの環 市民が自由に出入可能でリラックスできる場の確保 □オンラインカジノ構想の”うわさ”を聞くが”人を不幸にする危険”のあるものは絶対に廃除すべき！！	Ⅰ-1-(1) Ⅳ イ-2-(2)

	□災害に強いまち 関東大震災で甚大な被害があった横浜。近づく地震の対策を万全に！避難場所、必需品倉庫、医療施設等の命と生活を守れる場所の確保を要望する。	
No490	昨今の猛暑等気候変化に備え、樹々を多く植え、内陸に風の流れを、また、災害防止に全体的に建築物ではなく、芝生の公園。例えば、ロンドンのハイドパーク、ニューヨークのセントラルパークの様に大都市に隣接する大きな公園にする。 周りを塩害に強い樹々（松等）にする。 商業エリアにするのでは無く、何も無い芝生公園が価値になる。（人々を寄せるツール）日差しを遮る”緑の日傘”としての価値、津波を防ぐ森林としての価値、パンフレットの表紙写真をみても緑の割合が弱い、山下公園だけでは少な過ぎる。倉庫を CO2 減少の酸素を創るエリアに転換する。 東京湾のうみの森の横浜版。横浜なのに浜が無い！水辺を浜に再生して、元祖横浜の復活を！	I -1-(1) I -1-(2)
No491	地球の温暖化、地域の温暖化が加速しているが、開発優先で緑（樹木）が失われているみなと未来周辺もビルばかりです。人が一番感動するのは自然に対してではないでしょうか。山下ふ頭がカジノにならなかったのは良いことです。横浜市民の良識ある判断でした。観光客も市民も感動する緑あふれる地域にしていくこと、屋根・日陰のあるここに来たらホッとするねと言える思える場所にしてもらいたいと強く思います。横浜のおいしい水がいつでも、どこでも飲める（安心して）場所を作って下さい。（暑さは 1 年の半分も続いています。）	I -1-(1)
No492	近年の温暖化による地球規模の災害が私たちの暮らしにも大きな被害をもたらしています。 再開発の基本は、環境に負荷をかけない神宮の森のように、100 年後の豊かな空間が伝えられるような開発を求めます。巨大な施設は疲れます。 市民が誇りを持って、横浜自慢ができるようにするには弱者がくらしやすい街、外出しやすい交通、外国のように美術館、博物館等、文化へのサポート無料化など。出かけた先に楽しい文化、交流など、そして心からくつろげる公園、深い緑と海。そして、基地のない横浜港を望みます。人にやさしくなれる街、市民が住みやすい街と■成できれば、もっと発展します。海側からの景観とてもステキですが、緑が多ければ眼にも自然にもやさしいのではないでしょうか。宜しくお願いします。	I -1-(1)
No493	・水辺を楽しむ、くつろげる広いデッキテラスを設けて、山下公園から、夏場日陰にもなる樹木を配置した散策コースで繋ぐ　・災害にも利用出来る芝生のイベント広場　・国際会議、展示場にもなる規模の大きなコンベンションセンターは市民の活用場所も作り、自由に出入り出来る開かれたイメージで。災害基地としても使える機能を備える。　・隣接する元町、山手、中華街へ歩きたくなるような歩道（ウォーキングコース）の整備をする。途中には休める木陰やベンチが欲しい。 以上、よろしくお願いいたします。頑張って下さいね。期待しています。	I -1-(1) IV

No494	緑地に最大限のスペースを確保して下さい。温暖化新港の中、広大な森、芝生などを思いきって確保して CO2 を減らすようにして下さい。世界に誇る街とは、セントラルパークのような緑地を町中につくることではないでしょうか。 商業施設やテーマパークのようなものはいりません。100 年後も、愛される街は、はやりすたりを追うのではなく、緑の多い公園こそ、市民が誇れるところです。何もない緑地こそ、人々がいろいろな形で集まってくると思います。	Ⅰ-1-(2)
No495	Ⅰ.都市と自然の共生はぜひ追及してほしいです。 Ⅱ.持続可能なまちを支えるために脱炭素化をすすめるエネルギー政策をもっと具体的に提示が必要。緑税を徴収しても緑が増えてないのはなぜか？グリーン社会は脱炭素社会実現にも欠かせない要素。本気度が問われていると思います。 災害に強いまちづくりは住民にとって今最も望まれているといえるのでは？防災拠点にしてほしい。観光客へのアピールもできる。「有事に備える空間づくりと体制の構築」よりノースドックを早期返還してもらう方が先決でしょう。	イ-2-(2)
No496	・再生エネルギーを活した、山下公園から続く「緑りの回廊」を海辺につくる。 ・高層ビルでなく、いろんな企画に活用できるオープンスペースを確保する。 ・MM21 地区とは違うまちづくりをする ・温暖化対策と震災対策に対応したまちづくりをしてほしい ・市民が気軽にいける交通手段が必要です。 ・「海辺の森づくり」を考えてはどうですか。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ
No497	市民がくつろげる場所であって欲しいです。	Ⅰ-1-(1)
No498	横浜市民が、海辺と緑を生かした場所で、のんびりといこえる場所でアートや音楽を楽しめる、命のせんたくができる場所にしてほしい。入浴施設があって、子供達がプールで楽しめて、子供の交流ができるような、図書館も作ってほしい。文化的な子供も大人ものびのびといられる場所、利用料は低価格にしてほしい	Ⅰ-2-(1)
No499	山下公園と港の見える丘公園の間の場所なので、広い公園と、海辺をたのしめる砂場（砂浜)、舟着き場、磯などをつくって、緑と海辺の景観をそのまま維持してほしいです。	Ⅰ-1-(2)
No500	みなとみらいの様なものではなく、自然を活かした市民がゆったりすごせる場所　緑の多い場所にして欲しい。	Ⅰ-1-(1)
No501	１．活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい　・横浜市中央卸売市場については、老朽化や物流の効率化、温度管理、防災性の向上など諸課題への対応のため、狭隘な敷地で増築を進めている状況。市場を山下ふ頭に移転※し、機能強化を図る。　・移転後は、横浜中華街等との近接性を活かし、賑わい拠点として、食のエンタメ施設を併設。早朝の競りの見学や場内飲食店の充実を図ることで、横浜観光最大の弱点である宿泊者増加に寄与する。　・また、一角に魚介類の海上・陸上養殖、植物工場の機能を誘致し、市場への出荷と子供たちの食育等に活用する。　※市場の隣地である東高島駅北地区 C 地区棟計画が進行。市場へのメイン動線は分離されているが、物流動線に近いエリアでの住民の著しい増加は安全性に懸念。市場の底地をディベロッパーに売却し、売却益を山下	Ⅰ-2-(1) Ⅱ-2-(2) Ⅱ-2-(3) Ⅲ-1-(1)

	ふ頭の再開発に充当することで、公費負担を圧縮。 ２．持続可能なまちを支える明日へのイノベーション　・市場近接地にバイオマス発電等を誘致。市場や周辺飲食店舗から出る食品廃棄物、使用済み食用油等を回収し、バイオマス発電やSAF（持続可能な航空燃料）を製造。市場の電力へ活用するなど、エネルギーの地産地消を実現。　・バイオマス発電やSAF製造過程などを見学できる施設の併設を義務付け、サーキュラーエコノミーに関する市民（特に次世代を担う子供たち）の理解醸成や関心度向上を図る教育施設とする。 ３．世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間　・バイオマス発電から排出される熱を利用した植物園や植物工場を誘致し、市場への出荷と子供たちの食育等に活用する。　・山下公園側に設置することで、公園との緑の一体性を確保。同時に、みなとみらいからつながる緑の歩行者空間に、ジョギング等に活用できる距離表示を整備することで、市民の朝活を促し、健康増進に寄与する。 以上、人類が抱える食糧問題や廃棄物問題を、実際に見たり、体験したりすることで、循環型社会の実現に参画し、考えることができるエリア開発を行う。	
No502	温暖化による地球変動　環境問題　生態系等子供から大人まで学び施設。また、将来的にどうしたら良いかを研究施設や企業にも誘致する。特に学生には修学旅行の学び施設として利用してもらう。	Ⅰ-2-(1)
No503	夏は、涼しく過ごせて冬は暖かい。海水を利用した自然エネルギーで一日過ごせる空間を作る。	Ⅱ-2-(3)
No504	イノベーションを生むのはいいですが、グリーン技術しか思いつかないのかと思いました。 最先端技術を活用できる実証フィールドの方がよほど求められると思います。 無人タクシーや、ヒューマノイド、ブロックチェーンによる管理等、世界的に実現すべき技術をイノベーションしてほしいです。	Ⅱ-1-(1)
No505	どのような形であれ、交通アクセスの良さが生かされる再開発にしてほしい。道路網や鉄道網をみれば、横浜市内だけでなく、重要な交通結節点(羽田空港や、新横浜)、そして首都圏各地からのアクセスが非常に優秀な場所となっている。それらを活かせる再開発をして欲しい。　地元経済に大きく影響を及ぼしている会社や、バイオ系やAI系など、最先端をいくベンチャー等を誘致してもらいたい。また、大学は必ず有名で大きな大学を呼ぶこと。将来性と研究力がない大学を呼んでも意味がない。　市民や観光客が訪れたいと思う場所にしてほしい。学生やオフィスワーカだけが満足する街にするにはあまりにももったいない立地。遠方から車や電車に乗って、行ったみたいと思える公園や展示場、企業の博物館を整備してほしい。	Ⅱ-1-(1)
No506	イノベーション施設での会議やレセプションが平日であれば、こどもの預かり先があるが日曜日や祝日だと預け先がないため、働き子育て世代を呼び込むために、魅力的な保育付き屋内遊技場を作ってほしい。大人が自己啓発等に時間を当てているのに子供が不自由になることがあると、参加するのにためらうため。	Ⅱ-1-(3)
No507	この20年の横浜は、イノベーションの重点を観光や市民の消費に置いてきて成	Ⅱ-1-(1)

	果も出ていると思うので、次は日本の文化と技術を支える経済と市民の日常経済にもイノベーションを起こして欲しい。 温暖化で、米や野菜、近海で獲れる魚などが変わってきていて、かつて日本の食文化を支えた食材が生産量低下や価格高騰で、家で食べられなくなってきている。これを別の方法で生産して安定供給する方法を国内外に発信できる場所にして欲しい。 例えば丸の内のビルの中で作る野菜のような人工太陽光を使って生産する施設や、日本近海で獲れていた魚の養殖施設、そこで出る廃棄物を生産に使うエネルギーに変える施設を作って、生産物だけではなく、生産技術や廃棄物循環の技術を国内外に発信・輸出する。一般の人が生産したものを知ったり、買ったりできる販売施設と、どんな収入の人でも気軽に、ここで生産したものを食べられる飲食施設も欲しい。ただ、かつて山下ふ頭周辺の「横浜港」は開国後の日本文化の世界への発信拠点の１つだった歴史は感じられるように配慮してもらいたい。また、カジノやパチンコ屋などギャンブル施設は建設しないことを約束して欲しい。	Ⅱ-2-(2) Ⅳ
No508	これまでの委員会等で議論されたのかわかりませんが、毎年山下公園(周辺)で定期的に行われているイベントとの関わりについて、どのような考えを持っているのでしょうか。 山下公園では通年、民間団体主催のカッターレース、ドラゴンボートレース、ベルギービールウィークエンド、ハマフェス、ワールドフェスタ、横浜七夕まつり等、又、横浜市も関わるヨコハマパレード、トライアスロン、横浜マラソン、花と緑のスプリングフェア等があると思います。 これら各イベントが抱える課題や問題点等を包含した再開発をすることで、イベントを拡大、継続、発展させることでより多くの市民が楽しむことが可能となり、来街者にとってもより一層滞在時間を充実したものに出来るかと思います。 なので、一度各主催元へのヒヤリングを行い意見や希望を取るべきと考えます。	Ⅲ-1-(1) Ⅲ-2-(1)
No509	大中小企業とベンチャーの交流を深めるインキュベーションセンターなどビジネスや技術開発が発展する場、及び、科学館など次世代の興味を育てるための教育の機会を提供する場としての利用を検討してほしい。 また、桜木町駅から赤レンガ・山下ふ頭など施設が広く分布しており、徒歩でそこそこの距離を歩いて利用している。領域を限定した自動運転バスなどで交通の便を上げられないか検討してほしい。	Ⅱ-1-(3)
No510	スタートアップ特区のような、新しいビジネスが生まれるようにハードもソフトも支援があるエリア。 広大な緑と調和し、大人も子どもも開放的になれるエリア。	Ⅱ-1-(3)
No511	インバウンドや国内観光客による経済効果も期待したいところですが、みなとみらいのほか施設を再度見直すことが可能かと思います。山下ふ頭の開発に関しては、イノベーションをメインに市民の憩いの場としてゆったりとした時間が過ごせる施設を作っていただけると嬉しいです。 また、近年夏場は酷暑です。我が家にも幼児が 2 人いますが、日中お外で過ごすことなんてできません。オープンスペースは山下公園や象の鼻パークなど近場にございます。それよりも、室内公園が横浜市は少なすぎます。ただでさえ、東京に対して子育て支援で何か	Ⅲ-1-(1) Ⅳ ｲ-1-(2)

	と遅れをとっている印象がある横浜市なので、ぜひ山下ふ頭では次世代の子どもに優しく夏場も過ごしやすい施設づくりをして頂きたいです。 そのためには、幼児期は緑が感じられる室内公園で、小学生から高校生、大学生までは緑や農業、エネルギーを学べる館内施設を充実させてみるのはいかがでしょうか。みなとみらいは新しく YAMAHA の施設やムラーボ、古くからは三菱みなとみらい技術感や帆船日本丸・横浜みなと博物館など「学べる施設」が充実しています。ぜひ「子どもが学べる・ミライに希望の持てる施設」が充実したみなとみらいというイメージを継続して頂きたく存じます。 そのためには、駐車場も完備し交通アクセスも見直していただく必要があるかと思いますが、バス・徒歩でのアクセスとなると本末転倒になるため、どうかよろしくお願いいたします。	
No512	他のテーマは横浜にあると感じるので横浜に本社がある企業の技術でなにかパビリオン的なのを作れたら面白いと考えます。横浜に本社を構えてくださっている企業にも貢献でき、やや辺鄙なところにある山下ふ頭にいく理由になると思います。 あとは、ポケモンとよくコラボしてるイメージがあるのでポケモンパークやポケモンの屋内施設を作れば人がよく来るかと思います。個人的にはジブリパーク希望です。	Ⅱ-1-(2) Ⅲ-1-(1)
No513	地球温暖化対策を横浜市が先頭の立ち、 ①二酸化炭素削減設備 ②次世代電力の開発企業の誘致 ③人的誘致 ④温暖化対策建築(地下も利用)での検証	Ⅱ-1-(1)
No514	テーマⅢとも関連してだが、山下埠頭を再開発するにあたっては将来的に横浜市の税収がアップする方向で進めて欲しい。 山下埠頭自体が魅力的になっても、市民全体に直接的にその恩恵が還元されるわけではないとおもう。 だが、例えば企業誘致や投資的な意味合いでのスターアップの応援による税収アップによりそれ以外の地域の再開発（インフラ整備含め）が進められたり、 技術開発による還元を目指してほしい。 個人的には綱島駅の再開発が停滞していて、交通に危険があるため、そちらを先に完遂させてほしい。	Ⅱ-1-(1)
No515	トヨタのウーブン・シティのように、様々な企業がこれからの街に実装したいものを試験的に導入できる場所にしてはどうか。エリア内に無人のモビリティを走 らせることもできる。臨床施設となることができれば 参加企業からの施設利用料も期待できるし、その後本格導入となった場合に横浜市を優遇してもらう契約にもできるのでは。住宅街に坂道の多い横浜は、様々な地方のモデルケースになり注目されるだろう。	Ⅱ-1-(2)
No516	イノベーションとは具体的にどういうことなのかが不明瞭なので具体的な案を知りたいです。そもそも持続可能なイノベーションはあるのでしょうか。都市化・商業施設化を進めるよりも自然と共生・調和した環境の方が横浜・桜木町・みなとみらい一体では返って貴重で来客者の増加が見込まれるのではないでしょうか。その中で珍しい体験ができるようなレクリエーションなどかあると良いのではないかとおもいます。	Ⅱ-1-(2)
No517	山下ふ頭の再開発にあたり、ぜひ「社会実験特区」としての位置づけを検討いただきたいと考えます。例えばウーブンシティや筑波大学周辺のように、条例や規	Ⅱ-1-(2)

	制緩和を活用し、最先端の科学技術や新たなサービスを例外的に試せる環境を整えることで、企業・大学・研究機関が集まり、継続的なイノベーションが生まれる拠点になると期待します。　また、そこで展開される技術やサービスは、単なる実証にとどまらず、市民や観光客が直接体験できる形にしてほしいです。訪れる人々が、まるで万博の会場に足を踏み入れたように、未来の暮らしや社会の姿を五感で感じられる??そんな「ワクワク」と「学び」が同居する地区であれば、国内外からの関心を集め、横浜のブランド価値向上にもつながります。　山下埠頭が「未来を先取りできる街」として世界に知られる存在になることを強く願っています。	
No518	山下ふ頭再開発の基本計画を拝見し、提案させていただきます。 視点としては、１０～２０年先の横浜さらに日本を牽引する未来志向の成長エンジンの核を、憩いと文化を育む緑の環境の中でシンボリックに具現化する活動拠点の創出であるべきだとの 思いが募りました。ここに要点のみ下記４項わたり述べさせていただきます。 １、提案テーマ「緑豊かな環境の中に、先端再生医療センター設立を核とする産業創出、　　高度人材育成及び、福祉と文化的生活の向上の施策パッケージ」 ２、施策　-1,社会の高齢化に起因する医療課題に直面に国内、更にはアジア諸国では、　　パーキンソン病、ALS、心臓病等に関し iPS 細胞による再生医療が期待され、需要が高まっている。　そこで先端再生医療センターを核として設立し、ワンストップで日本ならではの質の高い先端の再生医療サービスを提供する一方、快適で文化的な滞在生活を家族で過ごせるように周辺では、緑と文化交流の環境を整備する。　またニーズの高い医療サービス施設とも連携して総合的な医療サービスのワンストップ・サービス化を図る。　これにて内外の需要開拓という面から、先端再生医療サービスという新技術を軸に成長性のある新産業創出のモデルを創出する。　-2, 先端再生医療センターは高度人材の育成の場でもあり、教育や研修の施設も充実させると共に、海外人材の交流や育成を通じ国際的な人材の育成拠化を図る。　(-3 に続く)	Ⅱ-1-(2)
No519	-3,　温暖化環境下においても、心地よさを感じる大規模な並木と数々の小公園を配置し人々の散歩、ジョッギングや語らい　並びに　個人や小グループでの音楽演奏や　　曲芸の活動を促進する。これにて一般市民の健康増進、文化や教養活動の向上に貢献する。(地味ですが、歩く場を提供することは大事な要素と言えます。) ３、具体化策例　-1,想定される運営母体：横浜市、国、医療法人、国際的地域開発業者の JV　-2,事業化調査ステップ　1)市関係者によるヒアリング実施 2)基本情報や市場・先行事例の調査実施　3)粗い素案作成　4) 関係著名人によるアドバイザリー委員会設置により関係人材との協力体制構築　5)素案作成　6)素案に関する市民意見募集　7)以降は他プロジェクトに順じる	Ⅰ-1-(1)
No520	エコで循環型社会は誰でも目指したい。 だけど、日々ゴミだしの細かさや少な	Ⅱ-2-(2)

	い収集日や時間帯の現実まで体験しないと面倒くささは実体験できない。自分が出すゴミを自分で出す経験が、購買行動の変容にまでつながる。 理想ではない現実体験を参加者全員にさせる意義は多い。　ゴミの分別が厳しすぎて不法投棄してしまう気持ちの根底にある面倒臭さは、性善説や罰則だけでなく運用や製品のあり方から防ぐことは必ずできると思います。　各国の状況をシェアしながら何が自国にとって実現可能か深く理解できる場所になるのではないかと思います。　山下埠頭埠頭が世界唯一の循環型社会の実体験型教育拠点になり、しいては地方創生のイノベーションにまでつながれば誇らしく思います。(地方ではゴミの収集限定的かつプラスティックの収集が月に2回だったり細かすぎたりと出すことすらままならない。　これがなければ移住できると考える人がいることを無視してはいけない。 例えばゴミは分別さえすればいつだしても毎日深夜にゴミ収集車ゴミを収集してくれるなど国によって良い取りくみがある。　日本は生活者の善意に頼りすぎた継続不可能な細かすぎるルールのせいで不法投棄にいたっている例があまりに多い。やってやれないくらい分別が多く、洗って乾燥させて捨てろとか水と時間の無駄、それ決めたやつお前が一回やってから言えよと思う、ルール決定者が未経験者なのは日本固有の問題)	
No521	大きいとは言えない山下ふ頭で、イノベーション創出・研究の施設を導入することに関しては、再検討していただきたい。限られた人しか使用できない施設ではなく、多くの人に開かれていて、住民や来訪者の経験が豊かになる施設や空間作りに集中して頂きたい。イノベーションの実装の場として、良いのではないかと思う。	Ⅳ
No522	便利になること自体はよいことですが、全体として市民が利用しやすいことを貫いたものにしてください。	Ⅳ
No523	グリーン社会の実現は、テーマ2のイノベーションエリアにしか適用しないように見えます。賑わいエリアも含む山下ふ頭全体で、ネイチャーポジティブやゼロカーボン、サーキュラーエコノミー等を実現できるような計画が望ましいと思います。	Ⅱ-2-(1)
No524	地球温暖化が進行し、夏の暑さの深刻さや線状降水帯の出現頻度の上昇など、市民生活をめぐる心配事が増えています。 横浜市はグリーンエキスポを開催する都市として、地球温暖化への先進的な姿勢も示すべきと考えます。 緑地管理に新技術を活用し、「温暖化を感じさせない地域づくり」を進めてほしいと思います。 例としては、「マングローブの茂る水辺」や「夏の昼時、散策してもつらくない木立」などを実現してほしいと思います。 「深い木立と木陰のある都市づくり」などが他に例のない都市像となるのではないでしょうか？　特に横浜市は、他都市に例のない「みどり税」を実施しているので、その活用方法も、世界から注目を浴びる施策を期待します。	Ⅰ-1-(2) Ⅱ-2-(1)
No525	横浜市が示す山下ふ頭の再開発の方向性の中で、私が特に重要だと考えるのは「持続可能性の確保」です。横浜市は SDGs 未来都市にも選定されており、都市開発において環境負荷を軽減し、次世代に継承できる街づくりを進めること	Ⅰ-1-(2) Ⅱ-2-(1) Ⅱ-2-(3)

	が求められていると思います。山下ふ頭は観光や交流拠点として期待される一方で、大規模な施設整備によりエネルギー消費や交通量増加が懸念されると考えています。そのため、再開発においては脱炭素社会を見据えた設計が不可欠です。具体的には、再生可能エネルギーの導入や省エネ建築の採用、港湾特性を生かした風力や海洋エネルギーの活用などを考えます。また、緑地や水辺空間を十分に確保し、ヒートアイランド対策や生態系保全にも寄与することで、市民の方々にとっても快適で魅力ある環境を提供できると思います。	
No526	私は令和 4 年の意見募集のパンフレットにあった事業者提案「28ha の緑」が実現することをに大いに願っている者です。私は、山下ふ頭につくられる樹林地や市内にある守られた里山の木々を利用する方法を考えています。それはこれらの木々を使ったバイオマス発電所をつくることです。「答申を踏まえた基本的な方向性」の動画には、イノベーションということばが何回も出てきました。これは「技術革新とさらに技術革新によって新たな価値を生み出す」ということのようです。里山の緑はかつて燃料と肥料でした。石油と化学肥料の登場で里山は不要なものと化して、開発の名のもとに消滅の一途でした。わずかに残った里山を市民の有志が守ってきたのです。今やっと市をあげて、緑の回復を進めるようになりました。さて、森林の役割のひとつに「化石燃料の代替エネルギー」があります。市内の森林をエネルギー源にすることは、不要だった里山を有用にするイノベーションであると考えます。木々は育つために二酸化炭素を吸収し酸素を排出します。そして、発電した電気で水を電気分解すると水素と酸素になります。今空気中の二酸化炭素を吸収し水素と結びつけてメタンを生み出す技術を研究していると聞きました。ここでも酸素が生み出されるはずです。二酸化炭素ばかりが話題ですが、化石燃料を燃やせば、酸素は減るのです。酸素の回復も論じられていいと思います.私はこれらの技術こそ科学技術イノベーションだと思います。私は、この発電所と研究所を国際園芸博覧会の敷地の端につくればよいと考えています。 また高知県本山町にバイオマス発電所と次世代型園芸施設の農業クラスター事業があることを知りました。国際園芸博覧会の会場には食と農のエリアがあります。大いに注目しています。他方私が今ひとつ注目しているのは、丸太を運搬する時に使うロボットスーツの開発です。私が参加した道志村水源林の間伐では玉切りにして、林の中に積んでいました.。各地の杉林でひどいところは、玉切りもせず、間伐しっぱなしのところをよく見ます。この放置された丸太が大雨で土石流と一緒に下流の町を襲うのだと聞きました。この間伐した丸太を車が入る道まで運ぶのにロボットスーツが有効ではないかと思うのです。そして運んだ丸太をバイオマス発電に使えば、これもイノベーションになると思います。	Ⅰ-1-(1) Ⅱ-2-(3)
No527	テーマ 2「明日へのイノベーション」ここについては強い懸念があります。MICE などの大規模イベント施設は、市民生活への還元が乏しい上、civic pride に逆行する提案と考えます。市民が日常的に体験・体感できるフィールドとしての利用であれば賛同しますが、巨大なインドア施設や常設イベントスペースは適切で	Ⅲ-1-(1) Ⅳ

	はありません。 例えば、みなとみらいや赤レンガ倉庫には既にイベント空間が整備されています。これ以上の集客型イベント施設は不要です。私は山下公園周辺に居住しておりますが、先日の大規模コンサートでは騒音により体調を崩し、大変苦しい経験をしました。同様の事態を繰り返さないためにも、山下ふ頭は「日常の憩い」を守る場所であるべきです。 また、P.28 に示されるようなコンテンツ導入についても注意が必要です。流行や娯楽は必ず飽きが来ます。その一方で、日本が世界に誇れる最大のコンテンツは「食」であり、全国各地の物産や日本文化を体験できる場は、訪れる市民・観光客双方にとって長く魅力を保ち続けるはずです。「開国の町」としての横浜の歴史にふさわしいコンテンツの導入をお願いしたいと思います。	
No528	持続可能なまちを支える明日へのイノベーション （1）気候危機、経済格差拡大、戦争、など世界が直面する地球的な課題を市民目線からとらえ、市民や地域に何ができるかを議論、提案する場。18 区の各地域におけるディスカッションをふまえて、議論に参加する。手法はぺちゃくちゃナイトスタイルで，一人 15 分のプレゼンを原則とするなど発表や討論のフォーマットをシンプルなものに統一する。発表やディスカッションの様子は YouTuibe 中継する。また発表・討論内容は AI により要約し、各国語で海外にも配信する。 （2）現代アート、演劇、ダンス、コンサート、ライブ演奏、映画上映、講演会などの文化事業を市民のイニシアティブで開催する。 (3) 市民がふらっと立ち寄れるカフェを常設する（パーティー開催にも対応） これらの機能を市営上屋 4 号倉庫を活用して行う（2005 年の横浜トリエンナーレを参照)。具体化に向けては、市民、企業、大学等からメンバーを公募し基本構想検討を行う。ここでいう「イノベーション」は狭い意味の「技術開発」に留まるのではなく、社会の制度、システム、構造、われわれの価値観、などを含むもので、横浜から世界に向けて新たな価値創造を発信することを目指す。	Ⅳ
No529	1.再生可能エネルギーの可能性を広げる研究機関の設置 1）ペロブスカイトの実用化、長寿命化に向けた研究 2）現在の太陽光発電機器の寿命がきた時の廃棄物処理の改善や再利用の可能性などの研究 3）普及型蓄電池の開発・研究 4）地熱利用の可能性の追求 5）風力発電所敵地の研究：周辺住民の理解が得られる適地とシステムの研究 6）海に面しているので、波力利用の研究などをする研究所の設置 2.再生可能エネルギーを最大限活用した建物や電子機器等の採用を追及した街づくり	Ⅱ-2-(3)
No530	海辺の環境を生かすために、まずは海辺の水質改善に注力してほしいです。みなとみらいエリアではアマモのプロジェクトを進めていますが、山下埠頭エリアにおいてもアマモの活動を取り入れたり、市民参加型の海の清掃活動など大規模な取り組みを続けていくことが肝心だと感じています。また、緑・海辺の環境を生かして未来型の大型噴水があったら良いと考えます。イメージとしては、海水を汲んで分解し、その水を噴水に使用したり、噴水の一部が周辺の緑地や花壇	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1) Ⅱ-1-(2)

	に水撒きできる。ここまでを全自動化し、その仕組みが可視化されることも重要かと思います。そして残った塩分を商品化することも良いのではないかと思います。また、持続可能な社会の実現のために、企業主体のワークショップを定期的に開催し、未来のために人々の考える力をパワーアップさせていきたいです。	
No531	脱酸素化など、環境に配慮した機能を備えた地域の日本代表的な場所を目指し、そこから市内各区にも影響を与えるような場所にしてほしいまずは山下埠頭から率先して進化していることを示す場所にしてほしい	Ⅰ-1-(2)
No532	アントレプレーナーを育て異業種が複合的に共存できる環境とそれを取り巻く周辺を市民の憩いの場所。	Ⅱ-1-(3)
No533	太陽光発電と風力発電設備を備えた市民が憩える公園を作る。風力発電はバードストライクを避けるためプロペラ式ではないものを採用する。	Ⅱ-2-(3)
No534	水力、風力、潮力、太陽光（ペロブスカイト！）、太陽熱など持続可能な再生可能エネルギー関連の技術を集積して（企業誘致？）横浜の顔にする。子どもたちにもわかりやすい展示を行い、県外からの卒業旅行先に選ばれるようにする。国際会議も誘致する。	Ⅱ-1-(3)
No535	「持続可能なまち」を考えるとき、①子育てへのコミット②最先端テクノロジーの実装③酷暑への適応という視点を盛り込んでほしいと考えます。これらは互いに関連づいたものです。①子育てへのコミット：子どもは「持続可能なまち」の根幹であり、子育てのしやすさを徹底的に追求し、選ばれるまちを実現してほしいです。結果的に、安全で快適でインクルーシブなまちの実現につながるでしょう。②最先端テクノロジーの実装：市内には優れた技術をもった企業や大学等が集積しています。住宅から距離があり、陸・海・空の要素を含む山下ふ頭の立地は、最先端のテクノロジーを大規模に実装し、その有用性を検証したり新たなライフスタイルを提案するのに適した立地であると感じます。常設の開かれた万博会場のようなエリアとなると良いです。③酷暑への適応：酷暑の期間が今後も長く激しくなることは避けられないでしょう。酷暑でも快適に過ごせる空間の創出は極めて重要です。酷暑でも安心して子どもを遊ばせられる空間、酷暑でも快適に周遊できるエリアなどのコンセプトは必ず求められると感じます。また、激しい日差しを避ける意味でも、夜間の経済活動を活性化させることも重要でしょう。	Ⅰ-1-(1) Ⅱ-1-(2) Ⅲ-1-(1) Ⅲ-1-(2) イ-1-(3)
No536	警備がしやすい地形と思われるので、地の利を活かせる集客の場（国際会議、音楽フェス、国際スポーツ大会、大型劇場等）を創出でき、かつ、その来訪者に、先端的な技術や環境活動をアピールできるエリアになるとよい。個人的には、さいたまスタジアムやノエビアスタジアムを訪れて、日産スタジアムは交通の便は良いけれど、サッカー等のフィールドゲームを観るには魅力・迫力に欠けると痛感したので、横浜にも、フィールドゲーム専用の大型スタジアム（国際Ａマッチの会場として選ばれるような）ができたら嬉しいです。	Ⅱ-1-(1)
No537	ソーラーパネルを使って水を電気分解し水素を取り出すグリーン水素事業をしてはどうかエネルギー価格高騰は市民生活に重い負担となっており、エネルギ	Ⅱ-2-(3)

	ー源の多様化が求められている市営バスの電化を耳にしたが、水素バスも走らせてその供給源とすれば持続可能な街としての宣伝材料になるように思うエネルギーの地産地消にもなる	
No538	ガンダムやライブなど、特設会場としてはかなり良い場所と思います。イノベーションなど、何か新しいことの発表の場となることを期待しています。	Ⅱ-1-(2)
No539	みなとみらい地区でさえ開発に何十年もかかっていて未だ開発途中であるし、企業誘致も捗々しくない状況なので、もうこれ以上都市化する開発よりも、テーマ１の「緑・海辺」やオ＆カの「交通機能の強化」「災害に強いまち」といった、直接市民の生活や住環境に大きく寄与する開発へ重きを置いて開発を進めて頂きたいです。他県や外国からの観光客よりも、市民に優しい環境造りを念頭に開発計画を練って欲しいです。	Ⅳ
No540	・水辺を楽しむ、くつろげる広いデッキテラスを設けて、山下公園から、夏場日陰にもなる樹木を配置した散策コースで繋ぐ　・災害にも利用出来る芝生のイベント広場　・国際会議、展示場にもなる規模の大きなコンベンションセンターは市民の活用場所も作り、自由に出入り出来る開かれたイメージで。災害基地としても使える機能を備える。　・隣接する元町、山手、中華街へ歩きたくなるような歩道（ウォーキングコース）の整備をする。途中には休める木陰やベンチが欲しい。 以上、よろしくお願いいたします。頑張って下さいね。期待しています。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ
No541	Ⅰ.都市と自然の共生はぜひ追及してほしいです。 Ⅱ.持続可能なまちを支えるために脱炭素化をすすめるエネルギー政策をもっと具体的に提示が必要。緑税を徴収しても緑が増えてないのはなぜか？グリーン社会は脱炭素社会実現にも欠かせない要素。本気度が問われていると思います。災害に強いまちづくりは住民にとって今最も望まれているといえるのでは？防災拠点にしてほしい。観光客へのアピールもできる。「有事に備える空間づくりと体制の構築」よりノースドックを早期返還してもらう方が先決でしょう。	イ-2-(2)
No542	にぎわに創出は必要だと思うが大規模ライブイベントのようにオーバーツーリズム問題を巻き起こすようなイベントは近隣に住むものとしてあまり賛同しない。ライブアリーナみたいなものは建設しないでもらいたい。一時的に大量の人が訪れるのではなくヨルノヨのような平日も含めある程度の期間実施するようなイベントを行うのが望ましい。　現在は暫定利用ということである程度規模の大きいベントを実施しているようだが、山下公園と連動したり、ふ頭内基部側でもう少し小規模なイベントも開けるようになれば需要もあるのではないかと思う。	Ⅲ-1-(1)
No543	インバウンド需要に対応するための商業施設やホテルなどの滞在施設も必要だとは思いますが、横浜市民がいつでも行ける、いつ行っても楽しめる、「横浜市民の象徴・誇り」となるような魅力的なエリアになることを願っています。よろしくお願いします。	Ⅳ
No544	世界一のショッピングモールを山下埠頭に完成してもらいたいですが、ショッ	Ⅰ-1-(1)

	ピングモールの屋上に是非 3 面の海を眺めれるリゾート感満開の公園に山下公園の 5 倍広い大規模な芝生とシンガーポールのマリーナベイのインフィニティプールみたいな大規模なおしゃれなプールを市民が無料で観光客が有料で利用出来る施設を作ってほしいです。屋上の芝生で子供が裸足で遊んだり、ママたちが芝生で海を眺めながら健康意識を高めれるヨガクラスに参加できたり、屋上での運動が終わったら、ショッピングモールの中にある各種健康メニューが提供されるいろんな料理のレストランで食事したり、ここに来たら体と心が着実に健康になるような、毎日来たくなるような非日常的な場所になってほしいです。	
No545	横浜と言えばこれだよね！と国際的に認識されるような建築物があると理想的（例えばシドニーのオペラハウスなど)。 ホテルなどでも良いとは思うが実際に大型建築するとなると土台的に厳しい？　何か海を利用したお洒落なちょっと奇抜的な世界的にも認知されるようなレストラン・カフェなども良い。例えば海中・海上レストランなど。 他には水族館など海にあわせた総合的なレジャー施設があると良い。さらにばジェットスキーやパラセイリングなどマリンアクティビティーも可能な環境を整える（そこにカジノなどあった方が盛り上がったとは思うが)。　あとは公園があってドッグランができたり子供が遊んだり地域住民が憩いの場としてくつろいだり遊んだりできる空間造り。　あわせて横浜埠頭から中華街にかけてのホテル開発・タワマン建築などの再整備もあった方が街並みが良くなるだろう	Ⅲ-1-(1)
No546	国際都市である横浜市が、インバウンド需要を十分に満たす魅力あるコンテンツの創設を望む。国内の魅力的な IP（知的財産）との連携や、国際的なエグゼクティブの社交の場であるスポーツイベントとの連携を考慮し、高規格な競技場・レジャー施設とホテル・リゾート施設を統合的に配置した高密度な行楽スペースとしてほしい。どこにでもあるような公園やイベントホールを置くべきではなく、集客すべきターゲットに確実に刺さる施設を配置すべきと考える。また、市政サービスの持続可能性を担保すべく、安定した税収を見込める収益性のある事業への活用に重きを置くべき。 総花的などっちつかずの施設は市の未来に何の価値ももたらさない。市内経済の起爆剤となるような勢いと輝きのある、先進性と華やかさを伴った場所にしてほしい。	Ⅱ-1-(1) Ⅲ-1-(1)
No547	これまでの委員会等で議論されたのかわかりませんが、毎年山下公園(周辺)で定期的に行われているイベントとの関わりについて、どのような考えを持っているのでしょうか。 山下公園では通年、民間団体主催のカッターレース、ドラゴンボートレース、ベルギービールウィークエンド、ハマフェス、ワールドフェスタ、横浜七夕まつり等、又、横浜市も関わるヨコハマパレード、トライアスロン、横浜マラソン、花と緑のスプリングフェア等があると思います。 これら各イベントが抱える課題や問題点等を包含した再開発をすることで、イベントを拡大、継続、発展させることでより多くの市民が楽しむことが可能となり、来街者にとってもより一層滞在時間を充実したものに出来るかと思います。 なので、一度	Ⅲ-2-(1)

	各主催元へのヒヤリングを行い意見や希望を取るべきと考えます。	
No548	大阪万博の夢洲の開発は大成功だと思います。大阪万博が終わった後も夢洲は色んな人が集う賑わいの地になると思っています。 山下埠頭はガンダム目当てで友人と一緒に行きました。初音ミクの花火も見に行きました。それらはまさに国内外の多くの人を惹きつけるコンテンツだったと思っています。　広い土地を生かし、大阪万博のように見ていて楽しい建造物を用意し、日本ならではのカルチャーを取り入れた施設ができると活気に溢れた場所になると思いました。	Ⅲ-1-(1)
No549	賑わいの創出、及び雇用の創出については全国規模の大企業を参画させるのではなく、横浜市として横浜市内に本社がある企業を中心に業務委託して頂きたい。 横浜市民として納税した税金での業務委託を横浜市外の企業にするのは困ります。 横浜市内の企業に業務委託することにより、将来的にはその企業が成長して横浜市の法人税増加にも繋がると思います。	Ⅱ-1-(3)
No550	市内外、国内外の人がそこで行われるイベント、そしてそこにに行くこと自体が目的となる本物で魅力的な大規模集客施設と魅力的なコンテンツを誘致する運営母体を作ってほしい（民設民営）。そして、フランチャイズにするコンテンツ各種団体を誘致してほしい。 さらに、市民が主催した非興行利用の場合は、利用料金を値下げして、利用しやすい価格設定ができるとよい。 施設としては、球技専用スタジアム、スポーツ・イベント共用アリーナ、アーバンスポーツ施設、オペラハウス、体験型アトラクション施設、など種類は多い方がよい。	Ⅳ
No551	１．活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい　・横浜市中央卸売市場については、老朽化や物流の効率化、温度管理、防災性の向上など諸課題への対応のため、狭隘な敷地で増築を進めている状況。市場を山下ふ頭に移転※し、機能強化を図る。 ・移転後は、横浜中華街等との近接性を活かし、賑わい拠点として、食のエンタメ施設を併設。早朝の競りの見学や場内飲食店の充実を図ることで、横浜観光最大の弱点である宿泊者増加に寄与する。 ・また、一角に魚介類の海上・陸上養殖、植物工場の機能を誘致し、市場への出荷と子供たちの食育等に活用する。 ※市場の隣地である東高島駅北地区 C 地区棟計画が進行。 市場へのメイン動線は分離されているが、物流動線に近いエリアでの住民の著しい増加は安全性に懸念。市場の底地をディベロッパーに売却し、売却益を山下ふ頭の再開発に充当することで、公費負担を圧縮。 ２．持続可能なまちを支える明日へのイノベーション　・市場近接地にバイオマス発電等を誘致。市場や周辺飲食店舗から出る食品廃棄物、使用済み食用油等を回収し、バイオマス発電や SAF（持続可能な航空燃料）を製造。市場の電力へ活用するなど、エネルギーの地産地消を実現。　・バイオマス発電や SAF 製造過程などを見学できる施設の併設を義務付け、サーキュラーエコノミーに関する市民（特に次世代を担う子供たち）の理解醸成や関心度向上を図る教育施設とする。 ３．世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間　・バイオマス発電から排出される熱を利用した植物園や植物工場を誘致し、市場への出荷と子供たちの食育等	Ⅰ-2-(1) Ⅱ-2-(2) Ⅱ-2-(3) Ⅲ-1-(1)

	に活用する。　・山下公園側に設置することで、公園との緑の一体性を確保。同時に、みなとみらいからつながる緑の歩行者空間に、ジョギング等に活用できる距離表示を整備することで、市民の朝活を促し、健康増進に寄与する。 以上、人類が抱える食糧問題や廃棄物問題を、実際に見たり、体験したりすることで、循環型社会の実現に参画し、考えることができるエリア開発を行う。	
No552	神奈川県に存在しないテーマパーク開発を提案します。 日本が誇る、バンダイナムコ等のアニメキャラクターを意識したアトラクションを大々的に打ち出してはいかがでしょうか。	Ⅲ-1-(1)
No553	今まさにミセスグリーンアップルのライブをが開催されているが、音を遮る塀や囲いをするわけでもなく騒音が酷い。二日間とはいえ、リハーサルも含めて音と光が迷惑です。 コンサート会場をまだ増やす構想があるようですが、すでにK.アリーナ、MM ぴあなどで飽和状態になっている。コンサートが開催される土日には横浜駅周辺からみなとみらい界隈は混雑がひどく出勤にも支障があるのでこれ以上は反対します。 奇をてらった建物や人集めのための施設より、横浜市民がゆったり楽しめる場所にしてほしい。 それでなくても、横浜市の公園は山坂、階段、傾斜が多く小さい子供達を安心して遊ばせられないので、 海と空を感じられる空間にしてほしい。	Ⅳ
No554	2025 年 7 月 26 日(土)、27 日(日)に実施された MrsGreenApple の LIVE ですが、重低音の響く音が海側に向かって流され、10km 程離れた鶴見区まで聞こえてきて非常に不快でした。山下ふ頭を盛り上げる活動自体は良いと思いますが、近隣でない住民にも迷惑をかけるような活動は今後一切しないでいただきたいです。今回のことを受けて改善してください。	Ⅲ-1-(1)
No555	屋外ライブイベントを招致する際には、スピーカーの向きを騒音被害が出ないように千葉県側（南東ですかね）に向けるなど、騒音対策をしっかりしていただきたい。 7 月 26、27 日のミセスグリーンアップルの屋外ライブでは鶴見区の海側の騒音被害が酷く、重低音が屋外、屋内に響き子供は頭痛と吐き気で体調を崩しました。 あの騒音を聞かされるのは耐えがたい苦痛でした。 しっかり対策してください。出来ないのなら山下ふ頭エリアで屋外ライブは禁止してください。	Ⅲ-1-(1)
No556	IR の代わりと位置付けられる再開発になるため、税収アップは大前提として、横浜市に大きな利益をもらたすものになる必要がある。 そうした意味合いから、脱炭素だとか、こども向けだとか、地元民への貢献とか、そんな要素は二の次で、テーマ３のとおり、日本中の人々から、そして世界中の人々から選ばれる賑わいを創出することを中心に据えて考えてほしい。	Ⅱ-1-(1) Ⅲ-1-(1)
No557	今、人が住んでいない街だからこそできる、コンテンツの充実を期待します。大きなイベントの開催会場やスケボー、ドックラン、バスケットゴールなど、住宅地や街中では実現しにくい施設や既存の施設では行えない新たなスポーツなどの試験的な場があると、いつも何か新しいこと、先進的なことがある場所として常に注目されるのでは。 また、広大な敷地の移動手段も常に先進的でサスティナブルなものを試験的・実験的に取り入れていただくと何度も訪れたくなりそ	イ-1-(2)

	うです。	
No558	最近は、海で遊びたい時期がとてもあついので、屋内で自然のうみと触れ合えるような空間があると嬉しいです。ガラス張りの屋内で波がそのまま入ってくる感じの屋内施設が欲しいです。 たとえば、スプラトゥーンとかマリオカートがリアルにできる施設があったら行ってみたい。	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-1-(1)
No559	敷地内に水族館を作ってほしいです。港北エリアではシーパラや江ノ島に行くのは 1 日がかりで大変で、近場で楽しめる緑と水に親しめる場所があるといいなと思います。	Ⅰ-2-(1)
No560	犬連れが気兼ねなく訪れ、存分に楽しめる「横浜モデル」を提案します。 日ごろから犬連れでお出かけできる場所を探していますが、山下・みなとみらいエリアは犬同伴で利用できるカフェ（山下公園のワーフハウスもそうです）や、ショップも多く、歴史的建造物や花壇（山下公園のバラ園など）がきれいな街並みを楽しみながら散策することができ、「犬連れお出かけ地」として人気の高いエリアです。街中で出会った犬連れさんとお話すると、横須賀や東京から車で来ている方も多いので、近隣都市の犬連れさんからも人気なのだと感じています。車移動が必須になるので、駐車場が点在していることもみなとみらいの魅力の一つですが、出かける前には、駐車場混雑で停められないかもしれないと毎回心配で、行楽シーズンのみなとみらいへのお出かけはあきらめてしまうこともあります。 山下ふ頭をはじめとするエリア再開発にあたっては、渋滞対策も含め、山下公園駐車場の拡大や山下ふ頭での新設も検討をお願いしたいと思います。また、毎年みなとみらいで行っている犬イベントを楽しみにしています。街全体でこのような素晴らしいイベントを実施してもらえることは大変ありがたく、さすが横浜だなと誇りに思います。 山下ふ頭再開発では、犬連れが気兼ねなく楽しめる横浜モデルになるような施策を盛り込んではいかがでしょうか。夏の暑さや雨をしのげる屋根付きスペースや水飲み場があるドッグラン、アジリティスポット、プール、宿泊施設、同伴で休める飲食店の設置、サロンのほか、山下公園のバラ園をバッグに写真が撮れる撮影スポット、里山ガーデンのような花スポット、犬を連れて入れるトイレの設置など、遠方からも犬連れで宿泊し、近隣の犬連れも何度も訪れたくなる、安心して楽しめる横浜モデルを作ってもらいたいです。 あわせて、マナーの普及や動物福祉、動物愛護などの啓発にも取組み、「国内初」、「日本一」と言われるくらいの話題性のある「犬連れ観光スポット」となることを期待しています。	Ⅲ-1-(1) イ-1-(2)
No561	何かできるか具体的に分からず怖い。治安が悪くなってしまい子どもたちが住みにくい街ができるのではないかと思う。	イ-2-(1)
No562	イベント開催時など混雑が緩和される街づくりを希望します 特に市営地下鉄はエレベーターも狭く、ベビーカーでの移動が困難です　また、昨今は夏場は災害級の暑さのため、遊歩道などには日よけの屋根を設置するなど、小さな子供を連れての外出先としての選択肢になるような街づくりをしてほしいです	イ-1-(3)
No563	大阪港・九州と比べ関東は船舶（特に旅客船）が少ないと感じる。港町と胸を張	イ-1-(2)

	って言えるように旅客航路を増やすべく商船会社を誘致してください。	
No564	どこの国でも、港湾は、常に防犯意識が強くないといけない。 賑わいも大事ながら、それに伴う防犯は当然の事として、周囲の防犯が比較的手薄になると犯罪はそちらへ流れる為、中区は元より、居住の多い隣接する西区、南区、磯子区の防犯強化をお願いしたい。 なお、IR 誘致とならず、よかったと考えている。（犯罪や依存症、ホームレスや反社活動が増える事が明白であった為） 後世に恥じないよう、よい横浜を残しつつ、新しくできればと思う。	イ-2-(1)
No565	まだ構想が練られていない段階で各項目が抽象的過ぎるので意見募集していると思われますが、今後の横浜市を公的機関の方々自身はどうしていきたいのか、どうすべきと考えておられるのでしょうか？ 以下の問題点を踏まえ、恒久的税収増加の為、外資系企業の誘致強化の必要性を訴えます。 まず、横浜に住んで 10 年弱ですが、他地域に比べ横浜市民の方々には財政への危機感や他地域の実情を知らなすぎると感じる事が多々あります。 日本全国人口減により、過疎地域が増えており、インフラ維持の為にコンパクトシティ化が地方では推進されております。 横浜市の問題点として、現在、公的機関の視点ですと人口が多いにも関わらず財政難、市民目線だと住民税が高い、それでいて学校給食すら用意できない等お世辞にも暮らしやすいとはいえない状態です。 首都に近く、港湾も施設もあるのだから、この地域的利点を活かして、個人ではなく法人収入を増やす為先行投資の必要があります。 法人誘致に必要な土地提供、税減免、環境関連法的規制見直し等してこれから市場をリードできる優良企業に横浜で支店や工場を作ってもらえるよう働きかけてはいかがでしょうか？ 地域雇用を産む新たな製造業や、これからますます必要になる IT とりわけ AI 関連はデータセンターや開発拠点等これからますます多岐に渡る発展が見込めます。 神奈川に古くからある日産や富士通、東芝等の日系企業では業績や企業動向も世界から乗り遅れが目立ってきています。 競争を促す為にも、一つの企業に頼らず良い企業で日本に拠点を作ってやっていきたい企業を誘致する必要があると思います。 イベントでの一時的収入増や箱物誘致、インバウンド収入では、イベント後の跡地活用、維持管理、地域との軋轢等様々な軋轢が現れてきています。 横浜は新しい時代に適応して発展してきた歴史があるので、港湾利権等古い利権に拘らず、新しく発展する方法を目指していかないと近い将来人口減、人口流出するのは目に見えています。	Ⅱ-1-(1)
No566	屋内型の子供の遊び場を作ってほしい。大和市の SIRIUS のより規模の大きな中学生ぐらいまでか遊べる屋内施設を希望します。 横浜市に公園がたくさんあるが、気候変動により夏場は暑すぎて外で遊べないです。	Ⅲ-1-(1)
No567	立地を踏まえ IP を活用したテーマパーク。議論はあったかもしれませんが、ポケモンパークを横浜に。利益が出る税金の使い方をすることで財源を育て、社会保障に充てるチャネルを増やしたい	Ⅲ-1-(1)
No568	観光客や大人だけに向けた賑わいはもう時代遅れです。 これから必要なのは、子どもが真ん中にいる生活と遊びが混ざり合う賑わい。 子どもは街の「動く景	Ⅲ-1-(2) Ⅳ

	観」であり、笑い声や走る姿は人を引き寄せる磁力になります。 例えば、海風を感じる広場で、週末には子ども向けマルシェやミニコンサートを開催。 平日は地元の保育園や小学校の遠足先として開放し、芝生や水辺の遊び場で日常的な利用を促す。 さらに、親世代が滞在したくなるカフェやワークスペースを併設すれば、子どもが遊び、大人が集う自然な循環が生まれます。 ポイントは「一見、子ども施設に見えないおしゃれな空間設計」。 大人が写真を撮りたくなり、SNS で拡散されることで、地元利用と観光がリンクし、持続的な賑わいが保たれる。 山下埠頭は、子どもを中心に据えることで、単なる観光地から未来の市民を育てる賑わい拠点へと進化できるのです。	
No569	山下埠頭付近は雨の日に楽しめる観光スポットが少ない。特に子供が体を使って遊べる施設が少ないので、雨の日でも楽しめる施設を作ってほしい。	Ⅲ-1-(1)
No570	前提として IR 施設誘致に賛成です。 再開発において IR 誘致は叶いませんが、横浜市の税収増加に繋がる施策を希望します。「緑と海辺」というテーマでは、ただ公園が整備されて終わってしまい県外からの観光客が来るというより周辺住民が満足して終わりになることが想像される。そのため、観光客が見込める整備をお願いします。	Ⅱ-1-(1)
No571	賑わいという言葉を聞くと、やはりイベントやスポーツをイメージします。昨今横浜市には賑わいスポーツ文化局というものができたと知りました。スポーツやスポーツというコンテンツを使い賑わいを創出して、市民の心の豊かさを生み出す活動をしています。新しくなった市庁舎ではプロスポーツのイベントや体験会、またパブリックビューイングなどをしてスタジアムには行くことが出来ない方も沢山の皆さんと一緒に応援したり楽しんだりし、新しい繋がりを生み出す活動などもしておりました。またそこに、キッチンカーや食べ物飲み物販売、ご当地グルメなどを販売し経済的効果も生み出すことが出来ると考えます。花火や音楽イベントなども取り入れられます。健康、運動、文化、食、学び、またインクルーシブ教育なども取り入れ横浜独自のエンターテイメントができる空間を作ってほしいです。	Ⅲ-1-(1) Ⅲ-2-(1)
No572	映画制作会社、撮影スタジオ、アニメ制作会社など、日本を代表する映像作品に関わる企業を誘致して、横浜を映画とアニメの街にする。アメリカのユニバーサルのスタジオツアーのように、横浜に、日本映画のスタジオツアーが欲しい。ハリウッドに負けない、世界に名を馳せる映画の街にしたい。	Ⅲ-1-(1)
No573	観光地としては有名だが、子作りも含めて開発して欲しい。具体的には 0 歳から 6 歳位の子供が安心して学べる水族館と日常生活のための安価なショッピングセンターを作って欲しい。この様な異常気候が続く中で安心して子育てして欲しい。私達の子供が親、祖父母と 1 日遊べる様な地域に根付いた物にして欲しい。イルカ等高価物でなく墨田区のような子供が遊んで学べる安価な物をつくって下さい。墨田区がオリックスからの収入も含めて運営している様に横浜市も DeNA を連携して運営して貰えると助かると思います。沢山学んで遊んで子供ははまっ子です。これからもよろしくお願いします。	Ⅰ-1-(1)

No574	近隣では子供が安心して遊べる室内施設が少ない。 東京都の有明ガーデンという商業施設は子連れでとても賑わっている。 なぜかと言うと、屋上には噴水広場があり、子供向けのメニューのあるレストランや大きなフードコートがある。また、室内には 30 分の時間制限はあるものの、無料で遊べる広い人工芝と大きな遊具のある室内遊び広場がある。 みなとみらいエリアでは子連れに特化した施設が少なく、最近は 5 月から 10 月まで外で遊ぶのが厳しい気候のため、室内で年齢問わずくつろげる場所が欲しい。 例えばサンシャイン 60 の展望台はリニューアルして人工芝を一面に敷き、都会の景色を眺めながら涼しく過ごせる。みなとみらいでもそれができたら誇れる施設になり賑わいも増すと思う。	Ⅲ-1-(1)
No575	7/26.27 で開催された特設ステージによる野外ライブにおいて、騒音が広範囲にわたって問題になったことが記憶に新しいです。騒音の他にも、周辺にはコンビニや遅くまで営業している飲食店などが少なく、暑い中飲食物の確保に苦労したとの意見も見ました。 パンフレットのイメージ図を見ると、コンサートなども開催できる施設を想定していると思いますので、特に周辺住民に配慮した開発が必要なのでは無いかと思われます。	Ⅲ-1-(1)
No576	上瀬谷に遊園地を作るよりも交通の便が良い山下ふ頭に遊園地を作ってほしい山下ふ頭で音楽イベントをする際は重低音の音量に規制をかけてほしい（赤レンガパークには音量や時間帯の規制がある）	Ⅲ-1-(1)
No577	ライブ等を行い、賑わいがある施設を作るのは、とても良いと思うが、きちんと近隣施設の迷惑にならない対策をしっかりと行って欲しい。 特に、騒音対策。ライブやイベント開催前後の客が移動できる手段が沢山あるように。 来場者、近隣住民共に来やすい環境を作って欲しいです。	Ⅲ-1-(1) イ-1-(3)
No578	賑わいに関してご提案になります。 そもそも賑わいがどういうものかを考えた時に、旅の目的地としての機能だけでなく、 訪問した方々からまた別の方へ発信できるようなコンテンツを持つことが賑わいに繋がると考えました。 そのような賑わいを表現する手段として、 イベントスペースとしての活用はいかがでしょうか？ 今、赤レンガ倉庫で行われているイベントは毎回大盛況でそれを目的にして、この横浜にくる方も多いです ただ問題点としてスペースがさほど大きく無い為、入場規制や混雑、待ち時間などマイナス面が目立つこともあります。 今回、埠頭にスペースを設けることで入場者増が見込めますし、あえて常設のものを置かないことでいつも新鮮な気持ちで埠頭を目的地とすることができるのではないかと考えました。	Ⅲ-1-(2)
No579	山下ふ頭は保税上屋の有る性質上、花火大会時以外では荒っぽい人や場所と言うイメージが有り、近づきづらい雰囲気があります。ガンダムが去った今、ガンダムを超える新たな魅力あるコンテンツが必要不可欠だと思います。ある意味、淡路島の二次元の森の様な特化型のコンテンツです。横浜は景観だけではインバウンドとしての魅力も薄い土地柄だと思いますので、コンテンツは非常に大事だと感じています。そういったコンテンツを山下ふ頭から本牧ふ頭エリアまで拡張し交通機能も強化する事で、湾岸エリア一帯への賑わいをマイカル本牧	Ⅲ-1-(1)

	が出来た当初よりも、より大きく取り戻すことが出来るのではないかと思います。	
No580	再開発の各テーマと取組の考え方　テーマ３ 賑わいに関して　MICE 施設は要らないと思います。 海の上です。避難もままならないのではと危惧します。 先日はコンサートを行ったら、遠く川崎まで騒音が垂れ流されて迷惑をかけてしまいました。　じっくり何年もかけて、市民が本当に憩える場所にして欲しい。賑わいは要らないです。	Ⅳ
No581	ガンダム残して欲しかった。	Ⅲ-1-(1)
No582	企業の利益だけではなく、市民への福利厚生も考えてほしいです。	Ⅱ-1-(1)
No583	横浜というブランドとして、港町であり緑豊富という強みを活かせるのではないかと思いつつ、市の財政状況を考えると人々に多く訪れ金銭を落としてもらえるような仕組みが広がれば、財政的にも潤うのではと思いました。 近くには元町・中華街という賑やかなエリアがあったり、港の見える丘公園や山下公園などもありますが、夏は暑くてなかなか訪れることを躊躇してしまうのではなでしょうか。実際市民としても暑い日にわざわざ屋外へ出かけようとは思いにくく・・・ここが屋内で駅直結であればクリーンで季節関係なく日々活かせる場になるのではと思いました。 個人的には水族館や体験型屋内施設、広いカフェスペースや図書館なども需要があるのではと思います。子連れが平日に訪れやすい場になると子育て世帯の流出を防げたり、市民の減少を防ぐこともできるのではないかとも思います。 ぜひより魅力的で素敵な街であり続ける横浜であってほしいと願っています。	Ⅲ-1-(1) イ-1-(3)
No584	ポケモンのテーマパークを作ってください	Ⅲ-1-(1)
No585	ポケモンとの協業によるイベント、ピカチュウ大行列など、これからも継続して力を入れてほしい。 海外にも発信していくことで大きな賑わいになると思います。　ポケモンのテーマパークを、横浜市内に誘致して欲しい	Ⅲ-1-(1)
No586	山下ふ頭再開発は目新しくシンボリックなものや緑豊かな空間を作る事が主眼のように読めたので、方針に沿っていないと理解した上の意見なのですが、横浜が他都市と圧倒的に違うのは、日本史や世界史でも象徴的ですが、開港都市であることと思います。また、その中でも一番首都に近い立地で、国内外から集客できる立地と思います。結論から言うと、開港時期（広く幕末から明治終わりぐらい）までの資料で見るような歴史的な港の街並みを復元したタイムトリップしたような空間が出来たら面白いと思います。最新の景観はいずれ古くなりますが、最初から古い景観を復元するのであれば、復元された建築物等のクオリティにもよりますが、時代が流れても歴史的景観として価値を保ち続けると思います。建物の中に入るものは観光客が泊まれる旅館や、VR や体験型アトラクション等最新のものから、映えるスイーツのお店等、目新しいもので、集客が見込めるものがいいと思います。またエリア全体を使うような謎解きや、エキストラがいてシティ探索型の TRPG のリアル版のようなイベントが出来ると体験として面白いと思います。また幕末・明治・大正は定期的に大河ドラマやアニメ・ゲー	Ⅲ-1-(1)

	ムなどのサブカルチャーでも舞台に選ばれる時代で、かつ横浜は開港都市ということで何かとシーンとして選ばれていると思います。どれだけ時代が流れてもコラボやイベントなど常に活気がある仕掛けが作りやすいと思います。簡単な和装（浴衣やはっぴ等羽織ものでも）で料金がわずかに安くなる等あれば、来た人たちも歴史的な街並みの一部に溶け込めるし、遊びに来た人含めて非日常感がアップしたタイムトリップ空間が作れて唯一無二なのではと思います。開港の景観復元をして集客が見込めるのは大都市に近い横浜神戸ぐらいなのではと思いますし、特に黒船が来た地点に近い横浜の方がより開港の歴史的背景が強く、ポテンシャルが高いと思うので、古きを新しい価値として現代に開港の歴史的建造物の空間再現できたら、人気スポットになると思いました。あり得ない方向からの話かと思いますが、常々横浜開港村？開港街？のような歴史的建造物の復元エリアが出来たら、それ目当てに横浜に観光客が沢山来るんだろうなあと思っていたので、意見しました。	
No587	動くガンダムのような、日本にしかないコンテンツで、海外からの観光客を誘致したい。 小規模でいいので花火を定期的に開催、周囲の建物（マリンタワー、ランドマークタワー、コスモクロック、ベイブリッジ等）を統一したイルミネーションで花火と共演してほしい。 シーバスを山下ふ頭まで延長してほしい。 水族館があったら嬉しい。 親水公園を作ってほしい。	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-1-(1) ｲ-2-(2)
No588	①テーマが総花的過ぎて、横浜市民の目線を超えている。結果、市民目線での方針になっていないのが残念だ。突き詰めれば、市の収益を増やすための活用ありきでしかない。 ②カジノ、賭博などの施設は導入しないことを明記すべきだ。現在、市は将来にわたってギャンブル施設を誘致しない、とは宣言していないのだから、計画ごとに主旨をいれるのが、横浜市民への誠意だと思う。この方向性は、主に経済界にむけてのメッセージに過ぎない。	Ⅳ
No589	横浜市が抱える大きな課題のひとつは、「都市のにぎわい」と「地域住民の安心・安全」をどう両立させるかという点です。山下ふ頭の再開発では、イベントや観光を通じて人を呼び込み、まち全体の活性化を目指しています。広大な敷地を活かし、文化施設や宿泊施設などを整備することで、横浜らしい魅力ある空間をつくろうとしています。しかしその一方で、騒音や治安、交通の混雑など、住民の暮らしに影響する問題も出てきています。たとえば、最近行われた野外ライブでは、音の大きさや人の多さが原因で近隣から苦情が相次ぎました。風向きによっては音が遠くまで届き、予想以上の影響が出たことから、イベントの設計や運営における地域との丁寧な調整が欠かせないことが改めて浮き彫りになりました。そのため山下ふ頭では、イベント前の住民説明会の開催や音響・警備の工夫、終了時間の配慮など、具体的な対策が必要だと考えています。また、イベントの収益の一部を地域活動や防犯設備に還元する仕組みを導入することで、住民の理解と協力を得やすくなるでしょう。さらに、観光客だけでなく、地元の人が日常的に使える空間づくりも重要です。公園やカフェ、地域の人が参加できるワー	Ⅲ-1-(1) Ⅳ ｲ-2-(1)

	クショップなどを通じて、暮らしの中に自然と賑わいが溶け込むような設計が求められます。市民が空間づくりに関われる仕組みがあれば、まちへの愛着も育まれ、持続的なにぎわいにつながります。つまり、山下ふ頭は「楽しい場所」であると同時に、「安心できる場所」であることが大切です。市民の声を丁寧に取り入れながら、にぎわいと安全が共存するまちづくりを進めることが、横浜市の課題解決につながっていくと考えています。	
No590	私は横浜市に賑わいを今より与えたいです。今後、海外からの旅行客なども増えてくるかと思います。 私が考える山下ふ頭の再開発は、横浜の強みを活かすということです。横浜の強みは、港町、海、夜景、食だと考えています。 横浜ならではのテーマパーク案として、マリンテーマパークや、海辺カフェ、夜景を楽しめるレストランなど、夜景、海、港に面した立地を活かせる施設を造るとかなり需要があるかと思います。 もう 1 つの課題として、少子高齢化についてです。 そのため子育て世代を呼び込めるよう、子供向け施設も充実させると良いかと思います。コンセプトは「一日中滞在できる施設」です。例えば、キッズエリアや科学館など、子どもたちにとって教育的な要素も取り入れることも大切だと考えます。これらだけでなく、ベビーカーでも動きやすい通路、雨でも遊べる場所、授乳室やオムツ替えスペースの充実など子育て世代の方々目線で考えると助けになるかと思います。	Ⅲ-1-(1)
No591	こうした施設の運営には、大変お金がかかります。財政の負担を軽減するために 1： 施設全般運営の費用面補助のため、競技場それぞれに見合った、各種プロ球団の誘致。 来てもらうため、試合時のグッズ販売も許可する。 2：低額一般開放。(一部施設を除く) 3：旅客・アスリートが利用するホテルの誘致や、近隣の人間も使えるスーパーマーケット等、宿泊・生活施設の誘致	Ⅲ-1-(1)
No592	F1 レース世界選手権、横浜グランプリを開催。 国内外から多くの観客が訪れるグランプリ期間だけで なく、グランプリ期間外も、ミュージアムやレース体験が出来るアトラクションなどがあるモータースポーツの テーマパークとして通年で集客を行い、ショッピング、グルメ、エンターテイメントの賑わいを博す場所に してほしい。 F1 は現在のところ、エンターテイメント関連コンテンツとしては世界でも有数の人気で、モナコやアブダビ、米国マイアミなどが開催し大成功してるように、横浜のようなマリーナ都市と相性がよい。	Ⅲ-1-(1)
No593	横浜や神奈川や首都圏の特産品を販売するショップを作ってくれればありがたいです。	Ⅲ-2-(1)
No594	現在の横浜市の厳しい財政状況から山下ふ頭再開発事業では、税収の大幅増に繋がる政策を検討してほしい。 昨今の単に宿泊施設を増やすだけであったり、企業誘致（法人税免除特例）政策では大幅な税収増は見込めないため、抜本的な改革が必要である。 カジノ計画は撤回となったが、同等の経済効果のある再開発をお願いしたい。	Ⅱ-1-(1)
No595	ポケモンのテーマパークを作って欲しいです。 海外にも子どもから大人まで圧倒的に多くのファンがいますので、賑わいを作る意味ではもってこいだと思い	Ⅲ-1-(1)

	ます。 カジノより健全にお金が動くと思います。 ポケモンがだめなら、週刊少年ジャンプのテーマパークとかでも良いです。 何かしら海外でも人気のアニメのコンテンツが使えれば良いと思います。	
No596	横浜のみなとみらいエリアでは、コロナ前まで、毎年のようにピカチュウ 大発生を行い、また近年ではポケモンのカードバトルの会場にもなっており、多くの国内外の観光客がみなとみらいに来ているので、ぜひ、ポケモンランドを作ってほしいです。観光客が来ることで、収入が増え、多いに有益となるし、緑や海がある山下埠頭でポケモンに会えたら、感動すること間違いなしです。世界に誇るポケモンをぜひ横浜に誘致してほしいです。	Ⅲ-1-(1)
No597	中央部はオフィスビルで建物全体の高さを確保しつつ、海辺へ行くにつれて低い建物を配置。 臨海部は公園や砂浜など市民が訪れ易い環境を確保。 駅から最も遠い臨海部の一部は超富裕層向け（ヨットで横付け出来きる規模）の住宅地を整備して景観と税収を確保。 その他は箱物、アニメ等日本の文化発信地、ブリューワリー、海鮮市場などの魅力ある建物があれば良い。	Ⅲ-1-(1)
No598	国内、海外の人を集めるコンテンツを入れてほしい。 国内向けならば、近場の横浜スタジアムの移設場所にして観客数を増やすのもありだと思う。せっかくならばドームにして全天候型にすれば天気に左右されず色々な催しがしやすいと思う。 海外向けならば、アニメやマンガ、ゲームなどの日本のサブカルチャーの一大スポットにするのはありだと思う。以前あった等身大ガンダムみたいなものを中心にその世界観を楽しめるエリアがあると面白い。 （どちらかと言うと上瀬谷向けかもしれないが、ポケモンのテーマパークがあると楽しいかもしれない。来場者がポケモントレーナーの気分で自然の中でいろいろ楽しめるのも面白い） あとは、チームラボの大規模スポットなどもあっても面白いと思う。 IR が白紙になった以上、海外から『東京や大阪、京都ではなく、わざわざ来たくなる』ような集客を見込めるものも作って欲しい。	Ⅲ-1-(1)
No599	横浜の港が果たした歴史的役割を市民が再確認し、後世に残す意味で「港と船の歴史博物館」を跡地利用のシンボルしてはいかがでしょうか。船舶は人類が誕生して最初の乗り物ではないでしょうか。日本も大陸や南方から船を利用して人々が移動し古代国家の礎を築きました。船の動力も人力→風力→蒸気→ディーゼルと変遷し今後ゼロエミッション化を目指して電動、ハイブリッドなど持続可能な燃料や次世代エネルギーへの転換がすすんでいます。船の変遷と将来展望を示す施設は山下ふ頭跡地に最適かと思います。尚、東京の「船の科学館」は体験型のプログラムが豊富で魅力的な施設ですが立地条件に難があります。港に関しては港で働く人々にスポットを当てた展示をメインにしてみてはいかがでしょうか。港で働く人の職種は多岐にわたっているにもかかわらず一般の人には知られていない職種が存在します。市内には個別の資料館（横浜税関資料展示室等）が多数あるので新博物館が各資料館等のポータルサイトの機能を持たせることも可能かと思われます。跡地全体は緑の多い憩いの場としてその中心に「港と船の歴史博物館」が存在し、現在残っている建物を活用して世界の食	Ⅲ-1-(1)

	べ物を提供する場をつくってみてはいかがでしょうか。また新たにできる水際ロードを市民の健康づくりの場として位置づけウォーキング＆サイクリングロードの建設を望みます。	
No600	映画やドラマで横浜の風景が出てくるととても嬉しい且つ誇らしい気持ちになります。 人が多くて撮影が難しいような場所を再現した街並みを造るのはいがでしょうか。もっと横浜の風景を撮影に使って貰えると思います。そして映画やドラマを見た人に横浜の街をアピールできると思います。	Ⅲ-1-(2)
No601	野外ライブ会場はやめてほしい。ワールドポーターズなどのショッピングモールほどでなくても、赤レンガ倉庫のように、飲食店を集めた美味しいものを食べられるところがほしい。キッチンカーなどでも良い	Ⅲ-1-(1)
No602	野外音楽フェスの様な騒音問題が出る様なイベントは辞めて欲しい。 各所へ迷惑をかけ、騒音だけでなく近隣駐車場も満車で日常生活がおくれない。	Ⅲ-1-(1)
No603	横浜は歴史の浅い都市。それでも開港、幕末、維新から戦後までは面白味がビッシリ詰まった都市です。 浦賀のペリー来航以来近代日本が始まり、厚木からマッカーサーの進駐。時代の節目、節目に横浜あり。 戦後はアメリカのカルチャーを一早く浴びて沢山のストーリーを生みました。本牧あたりのベース、GI、ダンスホール、チャブヤ、元町、伊勢佐木町など商店街の発展。産業の発展に伴う港の活気。港町ヨコハマを舞台の映画、歌謡曲。戦後昭和でいちばん耀いていたのがヨコハマ。 ペリー来航の様子や、当時の横浜村。生麦事件。鉄道開通、アイスクリーム、ビール、パン。クリーニング、ガス灯等々数えきれないほどの、横浜発祥の品。 このあたりを上手にパビリオンかなんかに振り分けて、画像、ロボット、AI 等を駆使して展示されたら宜しいかと。 そうですね。令和の明治村みたいに。もちろんイートインも、ウチキパン、泉平、牛鍋、シュウマイ、拉麺等。老いも若きも、県外からのお客様は勿論、横浜市民にも長年に渡り愛されるように。そして小中学生の学びの場でもありますように。 今は世界的な大変革期、グローバリズムから自国伝統文化へ。そこんとこお間違いないように。	Ⅱ-1-(2) Ⅲ-1-(1)
No604	子どものための山下埠頭を実現させていただきたいです。子どもたちの将来が楽しくなるような、横浜をもっと好きになるようなエリアになったら嬉しいです。	Ⅲ-1-(1)
No605	テーマ 1 及び 2 を満たすプランとして、①韓国・香港・シンガポールなどと肩を並べる国際的展示会場(防災用拠点・フェスイベント会場などとしても機能)、②横浜市民にとっての落ち着いた憩いの場としての広大な庭園(山下公園や赤レンガとは趣を異なる大人向けのセントラル・パークであり、防災拠点としても機能)。以上の①②を併設することで、横浜市民としての誇りある拠点であり、経済的効果や賑わいをもたらす拠点としても機能する、世界に誇れる空間を創出することが可能になると考えます。	Ⅰ-1-(1)
No606	みなとみらいから元町方面へ散歩していると、景観は綺麗で何度通っても飽きないと思える一方、飲食店が少ないなと感じる。カフェの数も多くないし、夜に関しては中華街ですら閑散としてしまっていて、これは観光客は来ないなと思	Ⅲ-1-(1)

	ってしまう。再開発とともにそこの誘致及び場所の整備もしてほしい。	
No607	（3）賑わい：　山下公園通り・元町・中華街との間の回遊性向上のための遊歩道ルートの設計開発（(5）にも関連）　(4）市民が結ぶ新たなまちの環：　町内会と連携した地元コミュニティーの形成　(5）交通機能の強化：　羽田空港・扇島・大黒ふ頭・山下ふ頭・本牧・根岸/関内・新横浜を直結する地下鉄路線の実現　(6）災害に強いまち：　防災拠点（水上署・中消防署出先機能（救急艇，病院船，ドクターヘリ配備），水素発電施設（有事の電力供給源），飲食料・飲用水備蓄設備（市場機能），地域救急医療機関との連携）　(7）景観：　みなとみらい，ベイブリッジ方面を見渡す水際エリアには高さ規制を設定し，ふ頭内のどのエリアからでも素晴らしい景観を愉しめる構造物設計（バランス，景観阻害要因の排除）を重視すべき　総合意見：　すべてのテーマを網羅した意見を準備したが、この意見募集集約システムは使い勝手が悪い。	イ-2-(1)
No608	メルカートメトロポリターノを誘致してほしい　大手チェーン店を入れず地産地消やサステナブルにこだわるフードホールを展開。「旅の目的地とな」り、「賑わいの創出」「雇用創出」が見込めます。 またフードテックの大会にもパートナーとしてかかわっており、テーマ２「持続可能な～イノベーション」にもアプローチ出来るのではないでしょうか。	Ⅲ-1-(1)
No609	「活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい」　・横浜らしい海辺の賑わいを高め、観光・宿泊・交流の拠点となることを望む。　・国内外の来訪者が横浜を起点に日本各地を楽しめるような観光導線の拡張を期待する。	イ-1-(1)
No610	数年前の動くガンダムは面白かったと思う。横浜でしか見ることができないものだった。 常設でもいいと思ったくらいです。「ガンダムといえば横浜」と言われるようになってほしい。	Ⅲ-1-(1)
No611	あまり高層な建物はいらない。天井の高い二階から三階建てくらいにしてほしい。たくさんの人にきてほしいが、労働人口が減ってきているなか、高齢者でも働ける人が働けるようになると良いと思う。	Ⅲ-2-(2)
No612	古くから海外に開かれ、先進的な文化を取り入れてきた風土をアピールするなど、他の都市にはない横浜ならではのコンセプトを全面に押し出す戦略が必要だと思います。また、横浜の課題と言われる宿泊観光客の取り込みに力を入れるため、全国各地や羽田空港・成田空港などと結ぶ大規模な高速バスターミナルの設置を検討するのもよいと思います。	Ⅳ
No613	観光事業も大切ではあるが、市民が喜ぶことを主眼に置いて欲しいです。市民が喜ぶ、にぎわっている、行ってみたい、住んでみたいなど、魅力があれば、泊まってでも訪れたい気持ちが自然と起こると考えます。山下ふ頭へ行くにはアクセス面で弱い部分が多々あります。アクセスが悪くても見に行きたい気持ちが?き立てられる...そんなまちづくりを目指して欲しいと思います。	Ⅳ
No614	賑わう事で、場所全体が活性化することは良いことと思うますが、昨今賑わいが混雑に繋がり、地元住民が通常の生活が出来ないなど、各所観光地で問題が出ていることもあるので、そのあたりをうまく融合できる施策を考えて欲しいです	Ⅲ-1-(1)

No615	人生 100 年時代で、これから横浜にも高齢者が多くなる。50 代ぐらいになると少しずつ衰えを感じるが、まだ活力のある年齢。現在の日本では、民間企業では若い人達と同じレベルの体力で勤務が課されているが、それでは少し厳しい面もある。今までの労働環境の概念を根本から壊して、人生が豊かになるようなやり甲斐のあるポストで、個人個人が体力や時間の面でフレキシブルに働ける雇用を創出して欲しい。若い人の人手不足の解消に繋げる取り組みを試して欲しい。中高年の人口、人材が充分な横浜ならではの最先端の実験は、日本の将来のモデルケースにもなると思う。	Ⅲ-2-(2)
No616	観光地としても人が増えて収入の面でも増えることはいいことだと思います。しかし、一部の観光客（海外からの観光客も含む）のマナーやモラルがかなり問題となっていると感じます。そこについての厳しい取り締まりや対策がなければならないと思います。どのように行なっていくのか、有効な方法を明確にしていただきたいです。	Ⅲ-1-(2)
No617	ガンダム立像を再び横浜へ	Ⅲ-1-(1)
No618	賑わいを生み出すためのアイデアとして「アートとサブカルチャーの融合」を提案します。横浜はヨコハマトリエンナーレや黄金町バザールなどを通じてアートとまちの関係性を構築してきました。これは世界的な潮流にも合致し、今後も強力に推進していくべきと感じます。同時に、日本が誇るソフトコンテンツ、特にサブカルチャーに対する世界的な人気も注目に値します。近年、少しずつ「アートとサブカルチャー」が融合する場面を目にするようになってきました。たとえば、「ポケモン×工芸展―美とわざの大発見―」などは、外国人をはじめ多くの人の注目を集めていました。海外の有名なミュージアムでも、日本の漫画などを大々的に取り上げる展覧会が盛況です。横浜でも 2023 年の「ポケモンワールドチャンピオンシップス」では酷暑の中、あちこちに長蛇の列ができていました。これらの状況を踏まえ、山下ふ頭に「アートとサブカルチャーの融合を掲げる常設のミュージアム」の開設を提案します。参考になる事例として「角川武蔵野ミュージアム」など挙げられますが、横浜ではより強く「アート」を打ち出すことで、魅力を増すことができると思います。常設の拠点施設と、まちに広がるイベントの両輪で、日本全国もしくは海外からの来訪者の目的地になりうると感じます。また、ミュージアムや資料館の集積により、まちを巡りながら複数施設を楽しむようなスタイルの観光も提案できるでしょう。	Ⅲ-1-(1)
No619	みなとみらいから赤レンガ倉庫、大さん橋、山下公園にかけては観光名所が数多くありますが、一日を通して楽しめる施設やテーマパークが少ないため、日帰りの観光客が多くなっているように感じます。そのような現状を踏まえると、山下ふ頭の再開発においては、長時間滞在できる空間の整備が求められるのではないでしょうか。特に、テーマパークなどの滞在型施設は、観光客を惹きつける有力なコンテンツになり得ると考えます。また、横浜は国内観光客の人気は高い一方で、インバウンド（訪日外国人観光客）にとっては魅力がやや乏しいと感じられる場面もあります。その点でも、外国人観光客にも訴求力のある施設の整備が	Ⅲ-1-(1)

	必要です。例えば「江戸村」のように、日本の歴史や文化を体験できるテーマパークが整備されれば、日本人だけでなく外国人観光客にも長時間滞在してもらえる環境が生まれ、地域の活性化にも大きく貢献するのではないでしょうか。	
No620	賑わいは大事かもしれないが外国人の利用には少しはきちんと制限をして欲しい。例えばゴミなどの捨て方など。	Ⅲ-1-(2)
No621	世界に一つしかないコンテンツを誘致してほしいです。どんなに著名でも類似施設では横浜らしくないので、デザイン性も高くて、新たな街のシンボルとなるような建築とアトラクションを期待します。	イ-3-(1)
No622	横浜のテーマパークを作ってはどうか。横浜の歴史を没入型で学べたり、横浜の特産品モチーフのこどもの遊び場があったり、特産品が買えたり。佐藤雅彦さんなどデザインのプロにお願いしてかっこいいものを作ってほしい。作って終わりではいつか寂れてしまうので、時代の変化にも対応できるようなサステナブルな視点で開発を進めてほしいと思う。	Ⅲ-2-(1) Ⅳ
No623	開港の歴史を持つ横浜ならではの「開かれた文化都市」という性格を継承しながら、日本の美意識や精神性を前面に打ち出すことで、他の都市にはない唯一無二の港湾再生を目指すべきだと思います。例えば、山下埠頭全体を 3 つのゾーンに分けて開発を行うことを提案します。第一は、「和の迎賓街」ゾーン。日本の町屋建築を現代的に再構成した街並みの中に、和食・伝統工芸・茶道体験・和モダン宿泊など、五感で日本文化を味わえる空間を展開します。ここでは、単なる物販や観光体験にとどまらず、地域の職人やクリエイターが継続的に参加し、伝統と革新が共存する「生きた文化のまち」を形成します。第二は、「水と祈りの庭」ゾーン。埠頭の先端部に、海と一体化するように設計された静謐な庭園空間を整備し、誰でも利用可能な「祈りと内省のパビリオン」を設置します。禅や神道、自然信仰のエッセンスを取り入れた設計とし、宗教や文化を問わず、訪れる人が心を静め、自らと向き合える「都市の中の精神的な避難所「」を目指します。第三は、「未来和文化館」ゾーン。日本文化と最先端技術を掛け合わせた展示・体験施設を中心に、AR・VR による歴史・芸術体験、インタラクティブな祭りの再現、次世代の工芸品展示など、伝統を未来につなぐ文化発信の拠点とします。このゾーンでは国内外の若手アーティストや研究者の活動拠点とも連携し、創造的かつ国際的な交流の場を創出します。以上 3 つの空間によって、市民の日常の散策や教育活動の場としても開くことで、港町にふさわしい「ひらかれた文化圏」を形成できます。単なる観光開発ではなく、市民と世界がともに関わり、支え合う「文化と交流の港」へ。山下埠頭は、横浜が世界に示す「日本らしい都市づくり」の最前線として、次の 100 年を見据えたランドマークへと生まれ変わることを期待します。	Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No624	他所から不特定多数の人たちが来るので、治安が悪くならないように最低限の対策を講じていただきたいです。(ゴミのポイ捨て防止、ゴミ分別や持ち帰り推奨、所定の場所以外での座り込み飲食防止、窃盗などの犯罪防止など)	イ-2-(1)
No625	ガンダムとかのテーマパークもつくって欲しい	Ⅲ-1-(1)

No626	和歌山に続いて来年には上野からもパンダが中国に返還されると聞きました。 横浜の本牧市民公園に昔、上海との友好都市になっていることを表す建物があったのを覚えています。横浜市と上海市で友好都市になっていることや、昔から市内の中華街が日本最大＆最有名なことからも、次は是非横浜にパンダを誘致してほしいと思います。動物園は他にもあるのでパンダに特化した施設を造るといいと思います。エサの世は県内の山の中から美味しい場所を捜しパンダの飼育に訓れた人を和歌山や上野から連れてくれば絶対大人気になると思います。車で訪れる人の為に広大な駐車場も必要だと思います。期待してます☺	イ-1-(2)
No627	（現在行われていましたら没にして下さい）ー賑わいと市民の心の繋がりとその発展を期待してー 出航する船（客船、貨物線を問わず）を関係者以外の一般市民（希望者）も賑やかに見送れるようイベント化したらいかがでしょうか。（テープ、音楽、マスコット等々アイディアの為の費用が必要ですが）海辺に新な賑わい、活気が生まれ、市民間の良い繋りも生まれてくるのではないでしょうか。	Ⅳ
No628	山下ふ頭は市有地です。みどり税負担している市民の土地です。 企業の開発が優先しているのは、ダメです。 若い人達が、楽しめるようコンパクトなスタジオ、ステージがあったら良いです。 若い人達が活動出来るようもっと若い人達の意見を求めて下さい。	Ⅳ
No629	「知的好奇心と職を堪能できる街」 近年、異なる文化・価値観を認め合う多様性の時代と言われますが、似たような街、同じような店が目につきます。横浜は江戸時代から近代へと移り変わった歴史的重要拠点なので、その当時へとタイムトラベルができるような大小さまざまな仕掛けがあると、横浜に住む者にとりましてもここを訪れる国内外の方にも学びと、真の多様性が体感できるのではないでしょうか。物があふれ売れない今日、人々が求めているのはここでしか味わえない食、ここが出発点であったと感じられる体験といった知的好奇心であり、それらが可能なのが横浜ではないかと思います。例えば、かつてペリー艦隊が来たのはふ頭沖でしたので、当時の様子から氷川丸チャプリンの訪日のころまでを、バーチャルで体験できるような施設や、ふ頭の広さを生かして日本の食をゆっくりと堪能できる食の博物館など…そういった日本を世界に表現する役割が横浜の埠頭にこそ担えるのではと感じます。そして赤レンガ、馬車道など近隣エリアへと人々の好奇心が満たされる街づくりを展開していただきたいです。	Ⅲ-1-(1) Ⅲ-2-(1)
No630	・山下公園通りからの車道について、できるだけ山下公園を分断せず地下化してアクセスするようにしてほしい。　・港湾緑地も禁煙化してほしい。　・ヴェニスのように水上バスを導入してほしい。　・横浜には人口の割に美術館が少ない。現代美術専用の美術館を整備してほしい。　・花火を毎週末 5 分でいいので、実施してほしい。　・クアハウス、サウナをつくってほしい。　・一つでもいいので倉庫の上屋を残して活用してほしい。　・夜景の演出にネオンサインを	イ-1-(2) イ-3-(1)

	活用すべきと思う。	
No631	賑わいというと商業施設の誘致やテーマパークと考えるのはやめて下さい。 100 年後までみすえるならば、山下ふ頭開発で金儲けするのは、おかしい。税収を得るとか、財政をうるおわすという観点が入ると、どうしても儲かるための事業に目が向きますが、市民のためのこの広大な土地を緑地として残すことを切に願います。	Ⅰ-1-(1)
No632	世界景大規模のショッピングセンターを山下ふ頭で建設して、1 日滞在しても遊び足りないぐらいの複合施設、全天候型で、気候が悪くても関係なく、楽しく暮せる場所として、子供から高齢者まで、庶民から富裕層まで、日本人から外国人まで、ありとあらゆる人々をいごこちよく受け入れてくれる施設を建設して頂きたいです。 日本の中でマスト GO すべきスポットとしてなってもらったいです。夜になるときらびやかなライトアップで東京のスカイツリーからも見えるよろな存在感を出してほしいです。横浜のほこり、日本のほこりの場所になってほしいです。	Ⅲ-1-(2) Ⅳ
No633	市民は無駄に税金を使ってまで、どうせ失策に終わる行政の観光開発など求めていません。 餅は餅屋。企業に富裕層向け高層マンション群と、低層階にはアウトレットとショッピングモール、景観を気にするならホテル参入を星野リゾートにでも任せればいい。 市民以外からは『住みたい街ランキング上位』ですが、いつまでもみどり税すら廃止できない行政には山下埠頭の再開発でいかに税収が上げられるかを最優先に考えて頂きたい。 新しいモノなど無くとも、横浜は既に十分に魅力的です。	Ⅱ-1-(1)
No634	◆ 意見 私は**「公共性と景観を重視した再開発」が望ましい**と考えます。 山下ふ頭はみなとみらい～山下公園～中華街という観光動線の一角にあり、緑地や文化施設を中心に、市民が誇れる空間にすべきです。 IR のような民間投資頼みの一極集中型開発は、地域の個性を失い、賛否も激しく分かれるため慎重であるべき。 一方で、歴史・文化・自然・市民の憩いをうまく融合した空間になれば、横浜らしい魅力が高まり、多世代にとって価値ある場所になると感じます。 提案内容 ◆生涯スポーツを意識した「ランニングコース併設型の公園整備」 山下ふ頭の広い敷地と海沿いの立地を活かし、1 周 1km～3km 程度のランニング・ウォーキングコースを整備。 緑地やベンチ、ストレッチ器具なども設置し、高齢者から子どもまで誰もが利用できる「生涯スポーツの場」に。 夜間照明や防犯カメラの設置で、安全性にも配慮。 ◆「港の見える丘公園」「元町」とのアクセス向上 歩行者専用の回遊ルートや歩道橋を整備し、山下公園～山下ふ頭～港の見える丘公園～元町をつなぐ動線を確保。 レンタサイクルステーションやベビーカー利用者への配慮も含め、多世代に優しい観光導線を形成。	Ⅰ-2-(1) Ⅳ ｲ-2-(1)
No635	多様な市民がかかわるというコンセプトは理解できましたが、具体的にどのような場面でどのような市民がかかわるのかが気になりました。山下ふ頭は基本的には居住地ではないので、利用者は外から来る人ということになると思いま	Ⅳ

	すが、それはどういった属性の方を想定しているのでしょうか。たまに来る程度の人が山下ふ頭に愛着を感じるにはどのような状態であればよいのかについてお考えがあれば、聞かせていただきたいです。	
No636	中区に住んでますが、近く住民のための公園やプール、スポーツ健康施設ありません。体を動かす施設を作ってほしいです。街並みもベニスとは行かないまでも海の街にふさわしくハウステンボスのようにきれいな歴史を意識できるようしてほしいです。収入の為にも、横浜から東京、千葉のディズニーランドに結ぶ船を作ると良いです。	イ-1-(2)
No637	「こども」という観点で何ができるのか、具体的な提示が欲しいです。 先日のMrs.GreenApple のライブのような集客やイベントを行う場所というよりは、緑が豊かな夏でも暑くなく（ドバイのように屋根の設置など）安全に遊べる公園が少ないので、そういったところがあると嬉しいです。	Ⅰ-2-(1) Ⅳ
No638	猛暑により、子どもが夏休みの間遊べる場所が限られています。親水公園や、屋根がある全天候型の広いスペースがほしいです。屋内で軽く運動できるところがあまりないように感じます。こうした場所は、災害の際は避難スペースとして活用もできると思います。	Ⅰ-1-(1) Ⅲ-1-(1)
No639	・子育て世帯が過ごしやすく、学びと交流につながる空間になっていること。・子育て世帯が電車でも車でも来やすい交通が整っていること。 ・利用時に横浜市民ならではの恩恵があること。	Ⅳ
No640	どろんこゾーンや木登りゾーン等、昔ながらの遊びができるスペースが欲しいです。せっかくの海辺なので足をつけられたり海の生き物がみれるゾーンがあると嬉しいです。 場所はあるので、有料の観光客がきそうな施設も欲しいです。	Ⅰ-1-(2)
No641	木々が沢山ある緑と近代的な雰囲気もいいのですが、山下ふ頭の周辺はビル群や、ショッピング施設、観光施設がもう充実しています。 観光に重きをおくより、横浜市内はこどもが水遊びする場が年々少なく、また最近の夏の暑さは以上で、こどもや大人も外で涼む場がないです。 横浜市民が過ごす緑あふれる場所が欲しいです。 緑を多くして、市民の交流の場や緑の木々の中で時折イベントやキッチンカーなどがあればうれしいです。 あと、釣りを行われる場合が少なく、こどもも大人も気軽に釣りや磯遊び出来るスポットも欲しいです。	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-2-(1)
No642	横浜にも農家さん、漁師さんなどの食に携わる方達がいますから、そういった有志の方達にも協力していただいて、販売所を作って欲しい。 近頃は美味しくて、安く野菜が買える道の駅が大人気です。 横浜には道の駅ないですよね。「ハマの道の駅」名前は変えても良いですが、そんなイメージです。 または、こんなのはどうでしょうか？ 現代の無人販売所です。 そこでぜひ参考にしていただきたいのが、ドイツのヘッセン州をメインに展開している tegut というスーパーマーケットがあります。 そこは見た目も現代的(いわゆるサステナブル)で面白い無人販売の小さなショップも展開しており、ドイツの閉店法を回避できる利便性も持ち合わせているようで続々と増えているようです。 「tegut teo」で調べてみて下さい。 再開発のテーマ 2 にも通ずるものがあると思います。 そんな	Ⅳ

	ショップを広い敷地内にいくつか展開し、訪れた人々にコンビニや「入れる自動販売機」のような感覚で利用してもらうというのはなかなか面白いと思うのですがどうでしょうか。	
No643	市民が参加型の公園作りができるところがあると嬉しいです 木を植えたり道をつくったり伝統的な土木や街づくりをみんなでやることで思い入れは強くなり訪れやすく楽しい場所や故郷になりそうです 定期的にみんなで手入れすることができれば さらに市民のコミュニティや多様性がうまれ他ではなかなかない素敵な場所になりそうで嬉しいです	Ⅳ
No644	国内外から様々な人を呼びたいとありますが、横浜に昔から住んでいる人達が肩身が狭くならなかったり負担が大きくなったりしないようにして欲しいです。特に外国人観光客が、マナーや習慣・文化などの違いにより、犯罪とまではいかなくても地元の人達とトラブルが起きることが全国的に目立つようになってきています。外国人を多く受け入れる場合は、現地のルールを周知することを徹底して欲しいです。通訳者や対応できる言語の種類の確保などが難しい場合は、入場制限を設けることも検討されて欲しいです。年齢や障害、得意不得意により、言語の習得が難しかったり様々な文化を覚えることが苦手な人もいることも考慮されて欲しいです。	Ⅲ-1-(2)
No645	市民や市民以外の親子が来やすい環境を作って欲しいです。 少子高齢化対策のためにも、現在子供や赤ちゃんがいる家族や、将来子供を考えている人に対して、ここは行きやすい。子育て世代が利用したいと思える環境を備えて欲しいです。 子供が遊びやすい環境(熱中症や梅雨対策をしている施設)、赤ちゃんと一緒に来やすい環境(オムツ交換台を男女どちらにトイレにもつける・授乳室の完備)、親子で入りやすい飲食店の導入(子供用椅子がある、離乳食をあげられる、ベビーカーでも入店できる)	Ⅲ-1-(2)
No646	これまでの委員会等で議論されたのかわかりませんが、毎年山下公園(周辺)で定期的に行われているイベントとの関わりについて、どのような考えを持っているのでしょうか。 山下公園では通年、民間団体主催のカッターレース、ドラゴンボートレース、ベルギービールウィークエンド、ハマフェス、ワールドフェスタ、横浜七夕まつり等、又、横浜市も関わるヨコハマパレード、トライアスロン、横浜マラソン、花と緑のスプリングフェア等があると思います。 これら各イベントが抱える課題や問題点等を包含した再開発をすることで、イベントを拡大、継続、発展させることでより多くの市民が楽しむことが可能となり、来街者にとってもより一層滞在時間を充実したものに出来るかと思います。 なので、一度各主催元へのヒヤリングを行い意見や希望を取るべきと考えます。	Ⅲ-2-(1)
No647	市民が結ぶ新たなまちの環とイノベーションの両方に関わる意見です。 循環型社会を実現するために横浜市をはじめ多くの国地域で取り組みが行われています。 横浜市においては、アフリカ諸国から研修として、そのゴミや資源の回収方法を学びに多くの人々が来ています。 素晴らしい取り組みの一方で、実生活までの生活体験まで踏み込んだ研修までは行われていないように感じます。	Ⅱ-2-(2)

	つまり、素晴らしいけど自国で再現できるかそもそも生活者としての経験談まで持ち帰れていないのではないか。 提案したいのは、循環型社会の長期滞在型ミニ万博です。モデルケースになる国や地域を選び、その施設で滞在者(世界各国の小学生から大人まで)に 2 週間など生活させる。 買い物、料理、洗濯、掃除など自分たちで行うことで発生するゴミの分別も各自各チームで行い、滞在中、焼却再生まで全ての工程を体験させる。 実体験に基づく、理想と現実の差を目の当たりにして得られる発見は面倒臭いと感じることにより、克服するべくイノベーションがうまれえる。 レポートやディスカッションの場も用意し企業や行政へにフィードバックなどをさせる。(過剰包装プラスティック製品の多さ)モデル地域も随時変更し滞在者チームも SNS などで発表をする。企業担当者にも実際に生活者として参画してもらう。	
No648	o う開発に一部大企業優先で進められるとの懸念があります。民間大企業の利益最優先ではとても市民感覚では問題です。また、一部の富裕層だけが利用できる施設・設備では益々格差が目の前で出現してしまいます。おおくの市民が気軽に利用できる施設設備。広く利用できる「場」の開設や運営を望みます。	Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No649	社会的なつながりが薄くなっている現代において街を通じて人がつながることは重要だと思った	Ⅳ
No650	もてなすというスタンスに違和感。 もてなしてくれるのは誰？ オーバーツーリズムによるゴミ問題や治安悪化、また先日のライブの騒音被害もあるため、まずは税金を払っている近隣住民や市民を尊重し、市民に愛されることが優先という姿勢が必要だと考える。 この方向性だと市民が置いてけぼりで、他にも困っていることはたくさんあるのに多額の税金を使ってやるとなると嫌な気持ちになる。 市民のメリットを感じられない。	Ⅱ-1-(1) Ⅳ
No651	市民が海に親しみ触れられる場を設けてほしい。そのためにはごみがなく生物が生息できる環境づくりも必要。観光客を優先する景観づくりでなく市民が親しめる場を水際線に多く取ってもらいたい。臨港パーク潮入の池のポンプは壊れて維持出来なかった。噴水を設けるようアイデアもあると聞いているが維持管理が大変なのでやめるべき！埋立で壊し続けてきた海を再生し後世に残していくことで、市民が結ぶ新たなまちの環になる。日本の海辺の原風景に戻すようなテーマを基礎としてほしい。	Ⅰ-1-(2) Ⅰ-2-(1) Ⅳ
No652	子ども図書館（船の子ども図書館も含む）の設置、未来を担う子どもたちとこれから増えるシニア世代がうまく相互補助して、新しいコミュニティを形成し、孤独・孤立から解放され、生きがいを感じ、ワクワクする街作りをすすめてほしい。また街にアートのある生活を目指した、文化事業にも積極的に取り組んでほしい。	Ⅳ
No653	この地域は何もない陸の孤島というイメージが強く、観光客はおろか市民すらも行くことが少ない。しかし、船でアクセスできるレストランやホームセンターなど魅力的なものも近辺に点在している。交通手段を増やすことはもちろんであり、レストランや宿泊施設など観光客を集める施設を作ることは大事だが、市	Ⅲ-1-(1)

	民が日常的に利用できるものも増やした方が良い。例えば、誰でも使えるバスケットボールコートやサッカーコート、テニスコートや、国際合宿や国際大会も可能になるようなスポーツ施設の建設である。周辺の緑を利用した市民向けの運動プログラム、国際色豊かな横浜ならではのスポーツを通じた国際交流イベントなども開催してほしい。また、緑を配置するのであればグランピングやキャンプ施設も良いだろう。楽しく明るいイメージに繋げるためスポーツやイベントで人を集めて活気付けるのが良いと思う。	
No654	1．中区には市民農園がない。市民農園を作ってほしい。中区民が他の区の市民農園まで車で通っている人がいる。市民農園利用者間の交流に収穫祭等のイベントを行えば、食育や世代間交流もできる。 2．いろんな世代の人が自分の居場所として安心して過ごせる場所の確保。利用料や申し込みは必要なく、ふらっと立ち寄れて、相談員がいて安心できるスペース。またはフリーマーケット等ができる屋根付きのエリアがあると良い。 3．市民サークルが使える音楽室や会議室、発表できるスペースもある地区センターみたいな施設を作ってほしい。中区では、場所探しが難しい。 4．市民が使えるテニスコートやスケートボードができる等、運動場もしくは体育館みたいな場所があると、夕方からは勤労者が、休日は子供が使える。競技内容は市民に聞いて、不足しているものを選択してほしい。	Ⅰ-2-(1) Ⅳ
No655	私は令和4年の意見募集のパンフレットにあった事業者提案「28haの緑」が実現することをに大いに願っている者です。更に、私はこの緑を樹林地にして、山手地区から続く風致地区に指定されることをも願っています。私は、この新しい樹林地を、市民の手で作り上げることを考えています。「山下ふ頭再開発会議」の中で、「山下公園は関東大震災のときの瓦礫を使って市民の力でつくったという歴史があるのだから、山下ふ頭の再開発も市民の力で進めるということがあってもよい」という趣旨の発言がありました。それにはまず、地盤の改変にはガバメントクラウドファンディングを実施します。これはお金を集めることだけでなく、再開発のコンセプトやデザイン、インナーハーバー全体の景観といったものをWPで世界に訴えることができます。そして、市民の力で植林をします.。私が記念植林をした2012年の全国植樹祭山口県きらら浜では、使う苗をプレイベントで市民に育ててもらって、招待者だけでなく市民も植樹をしたのです。最後に一番大変なのは管理です。そのために「横浜トラスト」といったようなものを立ち上げます。「山下埠頭に緑を」とか「ビルばかり建てて」などと思っている市民の募金を集めて、基金をつくるのです。私が参加した中田宮の台市民の森での横浜市のスケッターズという森づくり活動には若い人が多くいました。森づくりを学ぼうと板橋から来た人々もいました。しかしこれらの人々が組織的に山下ふ頭での森を守る活動を続けていくのは難しいように思われるのです。そういった若くて森づくりに関心の高い、しかしながら平日は忙しい人々を活動に誘う中心となる組織が横浜にあるとよいと考えているのです。出発点は山下ふ頭の緑。やがて、守る会などの後継者を失った市内の樹林地の管理もこの基	Ⅰ-1-(1) Ⅳ

	金を中心にして、若い市民が休日などに横浜の緑の回復に参加できるようになるとよいと考えています。	
No656	●市民は再開発の企画検討段階はもとより、利用、運営段階においても市民の参加を前提としたものとすべきです。 更地スペースの整備や活用にあたっては、市民が単なる利用者ではなく、共に育てる主体として関わることが重要です。●市民参加の理念と仕組みを明確化し、優先予約枠や利用支援制度を整備して欲しいです。 ●更地スペースの運用状況や利用実績は定期的に公開し、利用者や市民からの意見を反映できるフィードバックの仕組みを導入してください。透明性のある運営を通じて、信頼と共感を育みながら、公共スペースとしての質を高めることができます。	Ⅳ
No657	ここに記載されている「市民」は、そこに準備されたものをただ利用する、 または「国内外からの来街者」をもてなす側として位置づけられています。 山下ふ頭という場所を活用していく、再開発を行なっていく「主体」として 位置づけ、考えて頂きたいです。	Ⅳ
No658	中華街内の整体などのサービス業の発信強化など	Ⅲ-2-(1)
No659	大岡川、中村川、山下公園を回遊また、川沿いによるイベントなどを開催し、地元と横浜を訪れる人たちとの交流していけるといいと思います。また、災害時、川で囲まれている埋地地区の安全安心の対応について、川を利用した取り組みと、同時に、危険性について、周辺の人たちと協働した取り組みの検討など、地元の人たち、関係者、関係機関が検討し、実践できる取り組みが生まれるといいと思います。震災からできた山下公園やその周辺を、経済を前提に考えないで下さい。	Ⅳ
No660	みなとみらいあたりは税金を使って開発したのに お金がなくては楽しめない商業施設ばかり。 臨港パークから山下公園までの歩道も 日陰が少なく高齢者や車椅子では通行しにくい。 聴覚視覚に障害ある市民の方々も安心して 散歩を楽しめる場所にしてほしいです。	Ⅲ-1-(2)
No661	市民が主役の再開発になるよう、市民が結ぶ新たなまちの環を大事にしてほしい。海辺を生かした、緑豊かで、市民が誰でも交流できるようなものを考えてください。	Ⅳ
No662	（3）賑わい： 山下公園通り・元町・中華街との間の回遊性向上のための遊歩道ルートの設計開発（(5）にも関連） （4）市民が結ぶ新たなまちの環： 町内会と連携した地元コミュニティーの形成 （5）交通機能の強化： 羽田空港・扇島・大黒ふ頭・山下ふ頭・本牧・根岸/関内・新横浜を直結する地下鉄路線の実現 （6）災害に強いまち： 防災拠点（水上署・中消防署出先機能（救急艇，病院船，ドクターヘリ配備），水素発電施設（有事の電力供給源），飲食料・飲用水備蓄設備（市場機能），地域救急医療機関との連携） （7）景観： みなとみらい，ベイブリッジ方面を見渡す水際エリアには高さ規制を設定し，ふ頭内のどのエリアからでも素晴らしい景観を愉しめる構造物設計（バランス，景観阻害要因の排除）を重視すべき 総合意見： すべてのテーマを網羅した意見を準備した	イ-2-(1)

	が、この意見募集集約システムは使い勝手が悪い。	
No663	③市民参加の文化発信 ・文化芸術を志す市民や学生やクリエイターがもっと活躍できる場、交流する場を設けてほしいです。 ・アートや演劇などを気軽に体験できると、地元の若い人や観光客にも魅力的だと思います。	Ⅳ
No664	○「市民が結ぶ新たなまちの環」 ・市民や多様な主体が関われる仕組みを導入していただきたい。 例えば公園や交流施設の運営に市民が参画できれば、誇りを持って関われると思う。 ○「緑・海辺のまち」を支える交通・物流インフラ ・ふ頭出入口の狭さや公共交通との接続は課題だと感じる。 山下公園通りやみなとみらいエリアなど広域の視点で交通動線を検討することをお願いしたい。 ○「海と一体化した横浜を象徴する風景づくり」 ・海と緑が一体となった新しい横浜らしい景観デザインを期待する。 市民や観光客にとって象徴的な風景となることを望む。 ○山下ふ頭の将来像（全体について） ・再開発はふ頭単体ではなく、都心臨海部全体と連動させるべき。 ・横浜の歴史と未来の創造をつなぐ計画となることを期待したい。 以上	Ⅳ
No665	商業施設などにして、企業の利益を最優先にするような開発はやめてください。山下埠頭は市民のための私有地です。市民が幅広く、老若男女が気軽に行ける場にしてください。市民バスなどを利用して交通の便利性も測ってください。遊びに行きます。文化的な場にしてください。宜しくお願いします。	Ⅳ
No666	多様な人材が活躍するソーシャルビジネスの活用 日本のビールの起源である横浜。クラフトビール醸造・販売を障がい者が働く就労の場所としてカッコよく、健常者と一緒に 活躍するソーシャルビジネスとして、人が集まる山下ふ頭内で始める。 毎年 赤レンガで行われるビールフェスや、みなとみらい近隣のクラフトビール醸造所にも協力頂き、横浜が推進されている障がい者福祉を 稼ぐソーシャルビジネスで更なる活躍の場を創造頂けるとワクワクします	Ⅲ-2-(1) イ-1-(3)
No667	人口減少、ふるさと納税による税収減などにより、観光客やインバウンドによる収入を期待したいこともありますが、やはりまずは市民が暮らしやすく、住んでて安心、楽しい、幸せと思うような街づくりを最優先にしてほしい。	Ⅳ
No668	市民が相互に関わり合いが出来て、暖かみのある社会の構築を目指す。	Ⅳ
No669	住みたいと思われる魅力的な町であって欲しい鎌倉が舞台のドラマがあったが、地域を大事にしている市役所の方の姿が描かれていたが、とても素敵でした	Ⅳ
No670	とかく浜っこと言う人たちは、横浜から離れられないだからこそ、その横浜に住んでる人たちがより喜ぶ街づくりをすれば、必然とその街を観光に訪れたくなるのではないかと思う	Ⅳ
No671	港町横浜の歴史と文化を将来も継承していく為には、市民のつながりによる歴史の継承と変化を吸収する事による柔軟な対応性・多様性が大切だと思います。もの（建物）からこと（文化、習慣）により重点を置いた活動にして頂きたい。	Ⅳ
No672	伝統技術を傾斜することで世代間のつながりができたらと思う	Ⅳ
No673	もう少しアクセスが良く駐車場も整備されて欲しい	イ-1-(2)
No674	・アミューズメントだけでなく、歴史や文化的な学びを教え合えるイベントがあ	Ⅳ

	ると、よりシビックプライドの向上をはかれるのかなとおもう。・市民だけでなく、外から来た人と内にいる人の相互の交流があると良い	
No675	みなとみらい地区も山下ふ頭も然り、混雑状況が見える横浜市民は足が遠退きます。時代の変化に合わせて再開発も必然だとは思いますが、本当の意味で横浜に住んでいて良かったと思える街にして欲しいと思います。例：横浜市民は利用料割引等、市民ならではの得を感じたいです	Ⅳ
No676	観光客でなく市民もが楽しめる場所にしてほしい。	Ⅳ
No677	子供たちと外国人との交流の機会等も設けられると嬉しいです。	Ⅳ
No678	大人や子どもなど幅広い世代が遊べたり、くつろげたりできる施設がほしい。	Ⅲ-1-(1)
No679	（現在行われていましたら没にして下さい）ー賑わいと市民の心の繋がりとその発展を期待してー 出航する船（客船、貨物線を問わず）を関係者以外の一般市民（希望者）も賑やかに見送れるようイベント化したらいかがでしょうか。（テープ、音楽、マスコット等々アイディアの為の費用が必要ですが）海辺に新な賑わい、活気が生まれ、市民間の良い繋りも生まれてくるのではないでしょうか。	Ⅳ
No680	山下ふ頭は市有地です。公共福祉のために開発して下さい。 市民が交流出来る交流センターを作って下さい。 市民がイベントを計画出来る場所　等 市民のために計画をして欲しいです。	Ⅳ
No681	□緑・海辺・・・温暖化防止のため、植樹で CO2 排出削減（フランスで行われている） □市民が結ぶ新たなまちの環 市民が自由に出入可能でリラックスできる場の確保 □オンラインカジノ構想の”うわさ”を聞くが”人を不幸にする危険”のあるものは絶対に廃除すべき！！ □災害に強いまち 関東大震災で甚大な被害があった横浜。近づく地震の対策を万全に！避難場所、必需品倉庫、医療施設等の命と生活を守れる場所の確保を要望する。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ ｲ-2-(2)
No682	乳幼児から高齢者まで市民が安心して、集える、公共の施設の新設を希望します。	Ⅳ
No683	世界に誇れる観光都市 YOKOHAMA の名にふさわしい名実ともに観光メインにするのは賛成ですが、同時に防災にも力点を置く観点を置いてほしい。津波想定はもちろん、防災拠点にもなるような新たな概念も入れて下さい。市民も気軽に集れるような緑の多い街づくり、スペースにして下さい。	Ⅳ ｲ-2-(2)
No684	・再生エネルギーを活した、山下公園から続く「緑りの回廊」を海辺につくる。 ・高層ビルでなく、いろんな企画に活用できるオープンスペースを確保する。 ・MM21 地区とは違うまちづくりをする ・温暖化対策と震災対策に対応したまちづくりをしてほしい ・市民が気軽にいける交通手段が必要です。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ

	・「海辺の森づくり」を考えてはどうですか。	
No685	「市民が結ぶ新たなまちの環」とは、国内や海外からの旅行者を市民がもてなすための活動ではない。市民どうしが、互いに交流し合い、活動計画をたてて、まちづくりにとりくんでいくことだと考える。そのためには、山下ふとうそのものが一つのコミュニティになっていること。そのためには、会議の場所、ショッピングセンター、老人ホーム、保育所、住居が必要で、ふとうに住む人と、それ以外の人が協力し合って町づくりをしているのが良いことだ。コミュニティのモデルとなるような町をつくってほしい。山本理顕さんの発想やデザインを生かすと良い。	Ⅳ
No686	山下ふ頭の再開発の答申を踏まえた基本的な方向性にある「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構築と空間整備のため、鉄道駅などと山下ふ頭を結ぶ新たな公共交通機関の整備が必要です。山下ふ頭へのアクセスが向上し、周辺の観光地や居住地とも連携し、交通利便性の向上と横浜市全体の活性化が期待されます。 従来の公共交通機関は、建設費用の高さや土地収用の困難さといった課題があります。そこで、LRT（次世代型路面電車）、自走式ロープウェイ「Zippar」など、環境負荷の少ない新交通システムの導入を提案いたします。 1. LRT（次世代型路面電車） 栃木県宇都宮市で導入された LRT は、沿線人口の増加や予想を上回る乗客数を記録し、他自治体からの視察も相次ぐなど大きな成功を収めています。桜木町駅や関内駅から山下ふ頭、新山下、本牧などの鉄道空白地を結ぶことで、山下公園通り周辺を交通のハブとし、アクセス向上が期待されます。LRT は環境に優しく、利用者に使いやすく、海岸沿いを走ることで観光資源としての価値も高まります。 2. 自走式ロープウェイ「Zippar」 神奈川県秦野市で実験され、福島県南相馬市で大規模実験線が建設中です。神奈川県と連携協定を結び、神奈川県藤沢市・厚木市・三浦市や北海道石狩市、宮城県富谷市はじめ各地の自治体で導入を検討しています。従来の公共交通機関と比べ低コストかつカーブも可能です。ロープウェイなら陸上だけでなく YOKOHAMA AIR CABIN のように海上に敷設もありえます。無人運転なので昨今の運転手不足等にも対応できます。新交通システムを横浜駅、桜木町駅、みなとみらい地区、関内駅などの主要拠点から、山下ふ頭、新山下、本牧といった鉄道空白地へと接続し、さらに広大な山下ふ頭内の移動手段としても活用することで、以下のような多面的な効果が期待されます。 山下ふ頭へのアクセスが飛躍的に向上し、来訪者の利便性が高まる 山下ふ頭内の各施設への移動が容易になり、回遊性が向上する 周辺の観光地や居住地とも連携し、通勤・通学・観光の利便性が向上する 横浜市全体の都市機能の強化と、新技術の導入による先進都市としてのブランド力向上につながる 宇都宮市で導入された LRT のように、新交通が観光資源になる	イ-1-(2)
No687	大規模な駐車場、高速バスや路線バスにくわえて民間シャトルバスも利用できるバスロータリーの整備、ベイバイクやループのようなモビリティの大規模スペースを、ポンツーンを用意して船での行き来も可能にするなど整備して交通	イ-1-(2)

	結節点として機能するものを設置してほしい。中途半端なものではなく大規模なものを整備し最新の駐車場管理システムや車両台数や人流のデータ収集なども行い先進性もアピールできるようなものを。 またそれにあわせて１カ所しかないふ頭入り口の交通網を整備してもらいたい。臨港幹線道路を整備して新構築や本牧ふ頭にも行ける出入口を作れるのが理想だと思うが早急には山下公園駐車場を一部道路にするとか検討の余地はあるかと。　現在でも週末などはイベントなどで新港地区やみなとみらい地区が混雑し動かなくなることがある。山下ふ頭内を駐車場として運用するなどの暫定利用しそこから臨時シャトルバスを出すなど混雑が分散するような方策を検討してほしい。	
No688	元町・中華街方面への水上交通の活性化のためにも、山下公園側に運河と橋をつくって、船が通れるようにしてもらいたいと思います。山下公園から山下ふ頭を迂回して元町・中華街側へ行くのは時間もかかりますし、波も高くなってしまいます。 また、山下公園側に船着場を設けることで、シーバス等への乗り継ぎなどが可能となり、交通結節点の核としての重要度や活用可能性が向上すると考えます。	イ-1-(2)
No689	クルマでの来場について クルマで実際に現場を視察すると、現在においても付近の道路は非常に交通量の多い幹線道路であり、また、山下ふ頭の入り口付近は湾曲しているため、文化イベント開催にあたってクルマで直接誘客すると現地が非常に渋滞が悪化する可能性もある。また、近隣には多くの駐車場等が配置されているが、駐車収容容量には限界もあることから、なるべく公共交通機関を使用した来客・誘客が望ましい。 最寄り駅は元町中華街駅であるが、山下ふ頭の入り口までは徒歩での移動が必要であり、雨天時、厳冬時期、真夏日・直射日光の強い日などは移動に困難を伴う。方向性として、移動手段を準備すると明記されているが、桜木町駅～横浜ランドマークタワーの間には屋根付きペデストリアンデッキ兼動く歩道が準備されており、公共交通機関を使用する場合は、目的地までの移動は非常にスムーズと言える。 そこで、最寄り駅元町中華街～山下ふ頭再開発地区の入り口までは桜木町駅～横浜ランドマークタワーまでと同等にペデストリアンデッキ及び動く歩道を整備し移動容易性の確保を行うことが望ましい（整備条件コンセプトとしては「最寄り駅元町中華街駅から山下ふ頭再開発地区入口までは雨天時でも傘を刺さずとも容易に移動できる移動機能の整備」である。）	イ-1-(3)
No690	（１）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保　・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。　人材不足が叫ばれている中で、長距離バスの乗務員が集まると思いますか。 路線バスの運転手の人員不足がニュースになっています。生活に必要な路線バスの運転者不足を加速させないでください。 長距離バス乗務員より路線バスの運転者の方が生活に大切です。　長距離バスの乗務員が集まらなかったら、港湾局職員が責任を取って大型二種免許を取得して長距離バスを	イ-1-(2)

	走らせる覚悟があって計画していると認識して問題ありませんね。 普通免許取得後１年、21 歳で誰でも取得できる簡単な免許ですから、港湾局職員が責任を取って取得して長距離バスを走らせてくれるのですね。港湾局に覚悟があって計画していると認識して間違いありめせんね。	
No691	（１）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保　・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。 人材不足が叫ばれている中で、長距離バスの乗務員が集まると思いますか。 路線バスの運転手の人員不足がニュースになっています。生活に必要な路線バスの運転者から奪い取らないでください。 長距離バス乗務員より路線バスの運転者の方が生活に大切です。 長距離バスの乗務員が集まらなかったら港湾局職員が責任を取って大型二種免許を取得して長距離バスを走らせる覚悟があって計画していると認識して問題ありませんね。 普通免許取得後１年、21 歳で誰でも取得できる簡単な免許ですから、港湾局職員が責任を取って取得して長距離バスを走らせてくれるのですね。港湾局に覚悟があって計画していると認識して間違いありませんね。 覚悟の無い計画はしていませんね。	イ-1-(2)
No692	横浜市民みんなが訪れて楽しめることがシビックプライドになるので、見た目やテクノロジーにばかり走らないでほしい	Ⅳ
No693	人不足が叫ばれている中で、山下ふ頭までの長距離バスの乗務員の人員確保は実現可能ですか。 万博などでもバスの運転手集めに苦労しているとニュースになっていたと認識しています。 路線バスの運転手も大量離職や人材獲得競争の激化で、予定人数が集まらないとニュースでなっていたと認識しています。山下ふ頭までの長距離バスの乗務員は、路線バスの乗務員から引き抜きをするのですか。 路線バスの乗務員の人員不足が加速してしまうと思います。 どのように山下ふ頭までの長距離バスの乗務員を集めるのか具体的に実行可能な案を教えてください。 何も考えずに計画した訳ではありませんよね。 具体的に実行可能な案を教えてください。	イ-1-(2)
No694	その他：横浜港臨港幹線道路計画と山下ふ頭から山下公園の港、海、歴史を踏まえた景観との両立の件　横浜港臨港幹線道路計画については、山下ふ頭入口付近から山下公園の海上(高架 or トンネル)に建設する計画図であるようですが、山下公園から山下ふ頭の港、海、景観との連続性を考慮すると、港、海、景観を損ねる建設計画には「慎重を期すべき」であると考えます。 たとえば、東京都日本橋では都内河川上に建設した高速道路高架橋を撤去して地下化したうえで日本橋本来の景観を復活させる計画であるが、非常に長期間と巨額設備投資が必要になります。 また、山下ふ頭入口まで横浜港臨港幹線道路を再開発に伴い延長する設備投資なのであれば、公共交通機関利用者の利便性を考慮し、山下ふ頭から最寄駅みなとみらい線元町中華街駅、や、山下公園西端部等までの屋根付き動く歩道や屋根付きペデストリアンデッキの整備は必須とも言えます。 また、上述のように、山下ふ頭の東部西部にいて乗降場を有する水上バスルートの	イ-1-(2) イ-1-(3)

	整備の必要性も尚更優先順位が上がるものと考えられます。	
No695	横浜市内は、多数の横浜の現場視察経験有。本法律意見書は、より良い横浜市運営及びより良い地方自治実現に向けた中立的法律意見記載公文書である（前回に続き２通目)。 追加意見書（交通機能の強化） １、水上移動ルートの整備 現在運行されている横浜ベイクォーター、ハンマーヘッド、ピア赤レンガ、山下公園を結ぶ水上バスを山下ふ頭(東中央(仮))ー山下公園(西中央(仮))ー元町山手方面ー石川町方面に延長検討をするよう提言します 理由：・水運を活用した山下ふ頭、みなとみらい線元町中華街&山手地区方面、JR 石川町方面への公共アクセス確保、特に公共交通機関を使うアクティブシニア、子育て世代等を考慮する必要性があること ・山下ふ頭のふ頭岸壁等を活用した水上バス／水運の必要性があること(各場所で必要な岸壁の高さは違うと考えられるので、ルートや運行船の種類等の詳細は技術的法的予算的な検討が必要） ２、「鉄道間移動（縦移動）手段」のより容易化と強化 「より円滑な要所要所での「縦」移動（鉄道間移動）手法」の準備と実現の方策を検討するように提言します 理由：水上バス、みなとみらい線、JR 線という「横」移動交通機能は整備され、「横」移動は容易であるが、「縦」移動（鉄道間移動）は徒歩 or バス or タクシーに頼らざるを得ない。シニア層、子供を連れたファミリー層、真夏雨天時などにおいては、横浜から山手の間の要所要所でのより円滑な「鉄道間移動（縦移動）手段」には課題がある。	イ-1-(2)
No696	これまでの委員会等で議論されたのかわかりませんが、毎年山下公園(周辺)で定期的に行われているイベントとの関わりについて、どのような考えを持っているのでしょうか。 山下公園では通年、民間団体主催のカッターレース、ドラゴンボートレース、ベルギービールウィークエンド、ハマフェス、ワールドフェスタ、横浜七夕まつり等、又、横浜市も関わるヨコハマパレード、トライアスロン、横浜マラソン、花と緑のスプリングフェア等があると思います。 これら各イベントが抱える課題や問題点等を包含した再開発をすることで、イベントを拡大、継続、発展させることでより多くの市民が楽しむことが可能となり、来街者にとってもより一層滞在時間を充実したものに出来るかと思います。 なので、一度各主催元へのヒヤリングを行い意見や希望を取るべきと考えます。	Ⅲ-2-(1)
No697	（１）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保 ・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。 人材不足が叫ばれている中で、長距離バスの乗務員が集まると思いますか。 路線バスの運転手の人員不足がニュースになっています。生活に必要な路線バスの運転者不足を加速させないでください。 長距離バス乗務員より路線バスの運転者の方が生活に大切です。 長距離バスの乗務員が集まらなかったら、港湾局職員が責任を取って大型二種免許を取得して長距離バスを走らせる覚悟があって計画していると認識して問題ありませんね。 普通免許取得後１年、21 歳で誰でも取得できる簡単な免許ですから、港湾局職員が責任を取って取得して長距離バスを走らせてる覚悟をもっての計画だと認識して間違	イ-1-(2)

	いありませんね。	
No698	（1）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保　・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。　人材不足が叫ばれている中で、長距離バスの乗務員が集まると思いますか。 路線バスの運転手の人員不足がニュースになっています。生活に必要な路線バスの運転者不足を加速させないでください。 長距離バス乗務員より路線バスの運転者の方が生活に大切です。　路線バスの運転手から絶対に運転手を奪わないでください。	イ-1-(2)
No699	交通機能強化　・陸・海・空すべてを活かした快適な移動ができるようにしてほしいです。　・いろいろな交通機関を乗り継ぎやすくしたり、「乗り放題パス」など、便利でお得な移動の仕組みを取り入れてほしいです。シドニーの例なども参考にしてもらえるとうれしいです。　・港の物流や人の流れも考えて、全体として活発になる工夫をお願いしたいです。	イ-1-(1)
No700	どのような形であれ、交通アクセスの良さが生かされる再開発にしてほしい。道路網や鉄道網をみれば、横浜市内だけでなく、重要な交通結節点(羽田空港や、新横浜)、そして首都圏各地からのアクセスが非常に優秀な場所となっている。それらを活かせる再開発をして欲しい。　地元経済に大きく影響を及ぼしている会社や、バイオ系やAI系など、最先端をいくベンチャー等を誘致してもらいたい。また、大学は必ず有名で大きな大学を呼ぶこと。将来性と研究力がない大学を呼んでも意味がない。　市民や観光客が訪れたいと思う場所にしてほしい。学生やオフィスワーカだけが満足する街にするにはあまりにももったいない立地。遠方から車や電車に乗って、行ったみたいと思える公園や展示場、企業の博物館を整備してほしい。	Ⅱ-1-(1)
No701	交通機能の強化　家から元町や中華街に食事や散歩に行くのに、小さい子どもや年を取ってきた両親が一緒だと車が必需品だが、休日は観光客の車やバスに占領されて、周辺駐車場の空き探しが大変なのは私だけではないと思うので、再開発の機会に山下公園の駐車場はもっと大きくして欲しい。	イ-1-(2)
No702	山下ふ頭で交通結節点になる場合はどのような交通機関の接続をイメージしているのでしょうか。地形的には鉄道同士の乗り換えや鉄道とバスの乗り換えはあまり期待できないと思いますが、それらではなく船と道路交通の接続性を高めるということでしょうか。その場合、船の多くは産業用途であり、人の乗り換えはそこまで発生しないと考えられますが、貨物船とトラックの荷物授受の場にするのか、それとも新たに観光船や普段利用が可能な船を導入するのかなど、具体的な交通結節のあり方についてお考えがあれば、聞かせていただきたいです。	イ-1-(2)
No703	利便性も重要ですが、どの国においても最重要なのは物流かと思われます。物流が滞りなく円滑に進む事がこの国を更に強くする。	イ-1-(3)
No704	交通機能強化に関する意見　1. アクセス手段の多様化と分散　観光シーズンや	Ⅰ-2-(1)

	イベント開催時には、山下公園や中華街周辺が大混雑するため、鉄道・バス・船・自転車など複数のアクセス手段を組み合わせた動線設計が必要。　特に外国人観光客は公共交通利用のハードルが高い場合があるため、多言語対応の案内板・アプリ整備が必須です。　　2. 公共交通の強化　みなとみらい線の延伸や、桜木町駅・関内駅からの直通バス路線増設を検討すべきです。 横浜港内の水上バス・観光船の発着拠点として山下ふ頭を活用し、海上アクセスを観光と日常利用の両方に活かせます。　　3. 駐車場と観光バスの整理　大型観光バスや自家用車が集中すると景観・安全性・騒音の問題が発生します。 地下や離れた場所に大規模駐車場を整備し、山下ふ頭内はシャトルバスや自転車で移動する方式が望ましいです。	イ-1-(2) イ-1-(3)
No705	夏の暑さを考え、屋内型がいいと思います。山下公園も日陰がなく、灼熱です。そして、交通もごった返してしまわないように、導線も考えて欲しいです。	Ⅰ-1-(1) イ-1-(3)
No706	山下埠頭へのアクセスは課題があります。みなとみらい線ですは、横浜駅での乗り継ぎが難しいです。エレベーターが少なく、ベビーカーがあると苦労します。みなとみらい線の各駅は地下にありますが、エレベーターを増設して欲しいです。あるいは、横浜駅からバスに乗る道をわかりやすくすべきだと思います。	Ⅲ-1-(2)
No707	何を作るにしても駐車場の台数は多めに考えて頂きたいです。 益々高齢化社会になりますしペットを飼っておられる方も多いです。 観光地ですので他県からも来られます。 地元の車が停められないのは本末転倒。	イ-1-(2)
No708	山下埠頭への交通の便をもっと良くして、川の水質改善、出来れば中華街の小汚いイメージも改善してほしいです。	イ-1-(2)
No709	防災意識を高めるのは本当にとても大事だと思います。 先日、カムチャツカ半島の件がありましたけど、みなさん所詮人ごとでボケッとしてましたから。 しっかりした会社の方は連絡があり、待機することを指示されたようですが、ほとんどが何もしてなかったような気がします。 できる対策はしておいて、何もなくてよかったというのが理想ですから、横浜市内にいる場合起こり得る最悪の事態を体感できて対策方法が知れるような場所があるといいと思います。 しっかりお金をかけて体感できる場所を作って欲しいと思います。 山下埠頭全体を利用して、実際の動きを体感するのもいいかもしれません。	Ⅳ
No710	やはりどうしても桜木町や関内等の駅から赤レンガのアクセスが悪い。 特に夏場は子連れでの移動は体調面で不安があり、どの子連れ客もタクシーを探して彷徨っていた。 あかいくつやブルーの連結バスの他にも移動手段が欲しい。 例えば昔使っていてまだ残っているレールを活用して観光客用に桜木町からワールドポーターズあたりまで電車を走らせたらどうか。 ロープウェイには横浜市民割などつけてもらえると利用しやすい。	イ-1-(2)
No711	海上交通(人、物、その他)の拠点を作る。 理由 ①地震、災害時の交通対策になる ②倉庫、①対策の建物を造る ③企業誘致で土地費用の削減が可能 ④騒音対策になる ⑤海上移動を民間運輸会社に託す	イ-1-(2)
No712	交通機能のことを考えたまちづくりをするとは言うが、道路を作ると必ずと言	Ⅰ-1-(2)

	っていいほど邪険にされるのが樹木の存在ではないか。イメージ図からは緑の部分が無いように思われる。緑と共存し、ヒートアイランド現象を食い止められるような街作りをしていただきたい。	
No713	元町側の山下公園付近から、みなとみらい(赤レンガ方面)までを歩車分離にして、自動運転を導入した交通インフラ整備を行ない、先進的な自動運転を導入したイノベーションシティを目指してほしい。 サービスは国内に限定せず、海外の自動運転企業(Waymo など)を誘致し日本における AI を用いた自動運転技術の開発拠点をみなとみらい地区に誘致して欲しい。	Ⅱ-1-(1)
No714	赤レンガ方面から山下ふとうまで、かなり距離があるので、歩道の整備だけでなく、自転車専用の道も整備してほしい。 歩道には、なるべく日影ができるような、街路樹や屋根を付けてほしい。 シーバスで山下ふとうまで行けるようにしてほしい。	Ⅰ-2-(1) イ-1-(3)
No715	フェリーターミナルが欲しいです。フェリーは車無し（人のみ）の利用もできるので豪華客船には手が届かない人には重宝です。乗船客が増えることによりミナトの役割が増し、賑わいを創出できると思います。	イ-1-(2)
No716	●山下ふ頭へのアクセス性を高めるため、公共交通機関の充実を図ることを期待します。 元町中華街駅を中心に、元町商店街・中華街・山下公園・山下ふ頭を結ぶ地下道および高架橋の新設および整備し、各エリアをシームレスにつなぐ導線を確保します。 地下道は浸水被害を受けにくい構造とし、地下・高架ともに全体的なバリアフリー化を徹底することで、誰もが安心して移動できる歩行空間を目指します。 ●山下ふ頭のバスターミナルには路線バスの乗り入れを可能とし、公共交通による来訪手段の選択肢を広げることを期待します。 イベント時や観光シーズンにも対応できるよう、運行本数や案内体制の強化も併せて検討して欲しいです。 ●歩行者や自転車による回遊性を高めるため、海沿いのプロムナードや自転車道の整備を進めることを期待します。 周辺エリアとの接続性を高めることで、山下ふ頭が都市の回遊拠点として機能するようにします。 ●自動車による直接的な出入りは原則として想定しないようにした方が良いと考えますが、搬入・緊急車両・福祉車両などに対応できる限定的なアクセスルートや乗降スペースの整備は必要かもしれません。	Ⅰ-2-(1) Ⅲ-1-(2)
No717	交通機能について 現在ある桜木町からのロープウェイ等のアトラクション的な乗り物の延伸 シーバス 客船 大黒埠頭経由で羽田と公共交通機関で結ぶ JR の乗入れ 海上を「空飛ぶタクシー」で運行　大人も子供もワクワクするような「乗り物」で主要地域と結んで欲しい	イ-1-(2)
No718	道路に自転車専用の空間を作って欲しいです。	Ⅰ-2-(1)
No719	新交通システムを横浜駅、桜木町駅、みなとみらい地区、関内駅などの主要拠点から、山下ふ頭、新山下、本牧といった鉄道空白地へと接続し、さらに広大な山下ふ頭内の移動手段としても活用することで、以下のような多面的な効果が期待されます。 １山下ふ頭へのアクセスが飛躍的に向上し、来訪者の利便性が高まる ２山下ふ頭内の各施設への移動が容易になり、回遊性が向上する ３周辺	イ-1-(2)

	の観光地や居住地とも連携し、通勤・通学・観光の利便性が向上する 4 横浜市全体の都市機能の強化と、新技術の導入による先進都市としてのブランド力向上につながる 特に、宇都宮市で導入された LRT のように、新交通そのものが観光資源となり、交通インフラを目的とした来訪者の増加も期待できます。 横浜市が世界に誇る次世代型都市交通のモデルケースとなることを目指し、ぜひ前向きなご検討をお願いいたします。	
No720	山下ふ頭再開発検討委員会の答申では、山下ふ頭への交通アクセスの充実が取り上げられており、大変意義深い内容だと感じています。特に第 6 回検討委員会では、委員から関内駅などから山下ふ頭への LRT 導入の提案や、新山下方面との接続に関する意見が出され、山下ふ頭のみならず横浜市全体の発展を見据えた有意義な議論が行われました。5 回までの委員会での意見や会議視聴者からの意見も大規模交通導入を求める声が多いです。 現在、山下ふ頭は交通の便が悪く、横浜駅や関内駅などからのアクセスが徒歩では困難であり、来訪者にとって利便性が高いとは言えません。脱炭素社会の実現や省エネルギーの推進、ガソリン消費・排気ガス・渋滞・駐車場問題の軽減を図るためにも、自動車利用の抑制が求められています。 山下ふ頭の再開発の答申を踏まえた基本的な方向性にある「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構築と空間整備のため、鉄道駅などと山下ふ頭を結ぶ新たな公共交通機関の整備が必要です。これにより、山下ふ頭へのアクセスが向上するだけでなく、周辺の観光地や居住地とも連携し、交通利便性の向上と横浜市全体の活性化が期待されます。 従来の公共交通機関は、建設費用の高さや土地収用の困難さといった課題があります。そこで、LRT（次世代型路面電車）、自走式ロープウェイ「Zippar」、エコライド、全自動無人運転車両システム（AGT）「Prismo」など、柔軟かつ環境負荷の少ない新交通システムの導入を提案いたします。 1. LRT（次世代型路面電車） 栃木県宇都宮市で導入された LRT は、沿線人口の増加や予想を上回る乗客数を記録し、他自治体からの視察も相次ぎさらなる延伸が検討されるなど大きな成功を収めています。桜木町駅や関内駅から山下ふ頭、新山下、本牧などの鉄道空白地を結ぶことで、山下公園通り周辺を交通のハブとし、アクセス向上が期待されます。LRT は環境に優しく、こどもから高齢者等も使いやすく、海岸沿いを走ることで観光資源としての価値も高まります。	イ-1-(2)
No721	4. 全自動無人運転車両システム「Prismo」 運行中の車両の減速時に発生する回生電力を車両に無駄なく蓄電・活用することで、従来の AGT システムと比べ約 10%の省エネ運行および約 10%の CO2 排出量削減を実現します。また、駅間の架線による給電が必要ないため、万一の停電時も次の駅まで支障なく乗客を送り届けることができます。センターガイド方式を採用したことにより、軌道をスリムに設計できるため、土木構造物を含めたインフラ建設費を大きく削減することができ、景観向上にも寄与します。加えて、架線やガイドの削減により、電気・軌道設備を点検・交換する作業も大幅に減り、保守コストも低減できます。必要な電力の全てを三菱重工和田沖太陽光発電所の電力で賄うなどして工場の	イ-1-(1)

	CO2 排出量を 97.5%削減した「カーボンニュートラルトランジションハブ三原」（広島県三原市にある三原製作所）で車両製造することやインフラの物量削減により、新交通システムの製造・建設時の CO2 排出量を従来に比べ 40%以上削減。上述の製造・建設と省エネ運行、そしてメンテナンス・廃棄まで含めたライフサイクル全体で排出する CO2 は、従来製品と比較して約 6,400 トン削減することとなります。高架かつ無人運転です。	
No722	緑は豊かですし、さまざまな人々が住んでいますし、出かけるのも買い物に行くのにも、本牧は自家用車さえあれば非常に便利なところです。よくたまに乗るバスの中で聞いたり、本牧五番街のエレベーターの中で聞いたりすることがらに、「本牧は良いところですね。でもアクセスが、、、」というものです。首都高湾岸線の本牧インターや新山下インターはすぐ近くにあるので、東京や港北区などへ自家用車などで、行くのには大変便利ですが、その自家用車を持たない人たちには、非常に来づらい本牧なのです。本牧からはバスで根岸、山手など JR、また山下公園中華街のみなとみらい線へ、通勤または通学に通う人たちが多数います。本題に戻ります。山下ふ頭の再開発に向けて、私は以上のことを踏まえて、貯木場、小港、本牧、間門、根岸とこの地域一帯らしい、独特の歴史を表現するエリアを作ったら良いのではないかと想像します。山下ふ頭から、例えば LCR などのローカルな軌道電車やクラシックな形をしたバスなどで、観光客も呼び込めば、本牧エリアはもっと活気づく地域です。そのポテンシャルは十分にあると思います。本牧は、開校つまり日本が世界に扉を開く時、そこにあった場所です。赤い崖も小さくなりましたがまだ存在します。また外人墓地も近く、テニスが初めて行われたコートも山手ですが、あります。そしてここ本牧はアメリカ文化が花開いた町でもあります。かなりの外国人（アジア人以外が多い）が居住しています。山手から本牧エリアはやはり、外国人と長い間、共住してきた町です。ですので、山下ふ頭再開発の骨子にもありましたが、共住していける文化をもつ空間をぜひ作って欲しいと思います。これからの日本は、日本人だけ、外国人だけという区分ではなく、どうしたら共住共生できるか、それを考え、まず横浜が、そして本牧がそれを示していく時代だと思います。インバウンドも、東京ばかりに取られていないで、もっと日本の横浜に来たら、ここに住みたい！という街作りをしていただきたい。そうお願い申し上げる次第です。	Ⅲ-2-(1)
No723	山下ふ頭に旅客船や高速バスのターミナルを設置したり、みなとみらい線元町・中華街駅との連絡を強化することで陸海空の交通の極点にしてほしいです。 各交通機関の連絡をしやすくすることでいろいろな場所に行きやすくしてほしいです。	イ-1-(1) イ-1-(2)
No724	1　市民意見の反映方法 このような意見募集や無作為で選んだ検討会で意見を聴くのも必要ですが、事業計画をつくるにあたっては市当局だけでつくるのではなく、専門家、関係市民団体、市民から公募して事業計画検討委員会をつくり一緒に考えつくることが本当の市民参加だと思います。市民参加なしに市民に喜ばれる、市民のための山下ふ頭にはなりません。　2　交通に関する意見	Ⅳ

	交通不便地なので、横浜駅又は桜木町駅から山下公園ー山下ふ頭ー本牧方面まで西欧で活用されている LRT（路面電車） を走らせる	
No725	山下ふ頭の回遊性を考えたとき、JR 石川町駅を利用すべきだと思います。赤いくつやベイサイドブルーも楽しいです。しかし、JR 石川町を利用すれば、元町や中華街を歩く回遊性が生じます。あかいくつなら桜木町、ベイサイドブルーなら横浜駅、徒歩なら石川町。という感じです。山下公園の「世界の広場」から山下ふ頭はすぐ目の前にあります。この広場は「世界の広場」と名づける意味のある設計がなされているそううなので、それを大切にしつつ山下ふ頭から人形の家の前まで動く歩道、それから首都高速のガード下まで徒歩。そこから首都高のガード下に動く歩道を通します。そうすると屋根をつくる必要がありません。途中で谷戸橋から元町・中華街駅や元町、飯田橋で中華街に降りることができるようにしておいて、そのまま石川町に直結します。「山下ふ頭再開発会議」の中で中区役所や消防署が古くなって困っている。という趣旨の発言がありました。そんな意見があるならば、市役所跡地を売り飛ばさないで、新しい中区役所と消防署そして関内インナーハーバー一帯の防災センターにすればよかったのではないかと思いました。山下ふ頭にそのようないかめしいものはそぐわないと思いますが、山下ふ頭の周辺の状況も気をつけて開発を進めるべきという教訓だと思います。南区には大岡川沿いが桜のプロムナードになっています。その案内板には周辺の商店街も記載されていますが、残念ながらそのひとつは消滅してしまいました。大型開発は大きなお金が動きます。そこに携わる大きな会社の人々にはお金だけでなく、横浜で生きる人々の現状や気持ちに寄り添う開発をお願いしたいと思います。	Ⅳ イ-1-(3)
No726	水上バスなどより先に地域の移動手段である市バス等の本数を増やして頂きたいです。足腰不自由な高齢者も長時間、立ちぱなしです。 大規模な開発より市民に身近な山下埠頭、市民の憩いの場、市民が安心してて訪れる場にして頂きたいです。	Ⅰ-2-(1)
No727	山下ふ頭再開発に際し、世代を超えて横浜らしい賑わいを生み出す楽しいところに是非実現して頂きたいと考えました。―――――――――――――――――――――― 横浜は鉄道発祥を担っていながら、鉄道の博物館を埼玉県に持っていかれてしまい残念至極の思いでした。 ただ、横浜には日本丸や氷川丸などの船が係留してあるのは誇らしい思いです。 なので、船だけではなく世代を超えて様々な乗り物を横浜で楽しめるところであればと願っています。 ただ、「乗り物」は展示だけではなく山下ふ頭内や近辺さらに山下ふ頭まで様々な乗り物があれば賑わいを生み出せるかと思います。 以下はその一例です。 1．桜木町駅前からのエアーキャビンを大桟橋付近まで延長する。 2．大桟橋付近から山下公園内を経て山下ふ頭内迄リニアモーターカーを動かす （YES89 でもリニアモーターカーを動かしていましたように） 3．山下ふ頭内の周りなどでは横浜で動いていた市電や最新の LRT を動かす。 4．「空飛ぶクルマ」で大黒ふ頭や横浜駅付近な	イ-1-(2)

	どを周回する。 5．飛行機は横浜・杉田（YS の由来？）と関連の YS-11 などを機体展示する 以上、そうしたことが実現できれば楽しいところになるとうれしいですね。	
No728	元町周辺は駐車場が少なく、混雑します。ですので、今の山下ふ頭の 3 分の一か半分は駐車場にしたら、元町周辺の混雑が解消し、観光や買い物客を増やすことができて、経済のプラスにもなると思われます。 また駐車場には電気自動車のバッテリー充電機も増やし、実験的なエネルギーも使える場になると、開発支援にもなると思います、 それから、残りのスペースは公園か広いスペースとして、そのまま使用し、フリーマーケットやイベントスペースとして使えるようにしたら、建設費をかけずに、多くのお客様が楽しめると思います。 増やすとしたら、綺麗なお手洗いとスマホなどの充電スペースを多めに作り、イベントがあっても、お客様が快適に過ごせるスペースになると思いますし、他の場所と比べても魅力となると思われます。	イ-1-(2)
No729	山下ふ頭は周辺の山下公園や中華街、赤レンガ倉庫と隣接していますが、現状はアクセスが限定的です。回遊性を高めるために歩行者・自転車に優しい動線整備を重視してほしいです。そのために、次世代スローモビリティの導入なども視野に入れて検討していただきたいです。	Ⅰ-2-(1)
No730	（3）賑わい： 山下公園通り・元町・中華街との間の回遊性向上のための遊歩道ルートの設計開発（(5）にも関連） （4）市民が結ぶ新たなまちの環： 町内会と連携した地元コミュニティーの形成 （5）交通機能の強化： 羽田空港・扇島・大黒ふ頭・山下ふ頭・本牧・根岸/関内・新横浜を直結する地下鉄路線の実現 （6）災害に強いまち： 防災拠点（水上署・中消防署出先機能（救急艇，病院船，ドクターヘリ配備），水素発電施設（有事の電力供給源），飲食料・飲用水備蓄設備（市場機能），地域救急医療機関との連携） （7）景観： みなとみらい，ベイブリッジ方面を見渡す水際エリアには高さ規制を設定し，ふ頭内のどのエリアからでも素晴らしい景観を愉しめる構造物設計（バランス，景観阻害要因の排除）を重視すべき 総合意見： すべてのテーマを網羅した意見を準備したが、この意見募集集約システムは使い勝手が悪い。	イ-2-(1)
No731	○「市民が結ぶ新たなまちの環」 ・市民や多様な主体が関われる仕組みを導入していただきたい。 例えば公園や交流施設の運営に市民が参画できれば、誇りを持って関われると思う。 ○「緑・海辺のまち」を支える交通・物流インフラ ・ふ頭出入口の狭さや公共交通との接続は課題だと感じる。 山下公園通りやみなとみらいエリアなど広域の視点で交通動線を検討することをお願いしたい。 ○「海と一体化した横浜を象徴する風景づくり」 ・海と緑が一体となった新しい横浜らしい景観デザインを期待する。 市民や観光客にとって象徴的な風景となることを望む。 ○山下ふ頭の将来像（全体について） ・再開発はふ頭単体ではなく、都心臨海部全体と連動させるべき。 ・横浜の歴史と未来の創造をつなぐ計画となることを期待したい。 以上	Ⅳ
No732	交通拠点となること自体は歓迎だが、かえって渋滞や混雑の元とならないよう	イ-1-(3)

	にして欲しい。観光で訪れる人と生活や仕事で利用する人がぶつからない動線を意識してもらいたい。	
No733	近くにはみなとみらい線があり、バス運転手の成り手が減っているので、車で移動できる人の利用がメインになりそうだと思った。	イ-1-(2)
No734	クルマに変わる移動手段として近い将来が体験できる場所として、課題を抽出出来る場としてのエリアにしても良いと考えます。公道で運用出来ないもの、通常エリアでは現在の法の上で実現が難しい事が行える場所として、交通に限らずあらゆる実験的な事が行える場所として活用するのはいかがでしょうか。埠頭の外周は地元民が気軽に走ったり散歩したりと皇居の外周のようになり、且つ、例えば屋根付きになっていて半屋外で運動や散歩するにも過ごしやすい空間作りが出来たらと思います。交通の便が良いとは言えない場所だと思いますので、無理にクルマを引き込むようにすると周辺の混雑の常態化が避けられないため、大人数を呼び込むような施設の設置は控えても良いと思います。	イ-1-(3)
No735	再開発については素晴らしい物が出来そうで期待をしています。個人的に懸念事項として考えるのは、山下埠頭迄の交通手段です。駐車場にするとパークに対しての台数計算が大変だと思うし渋滞により周辺の施設が麻痺することが考えられます。アクセスの方法をよく考えて頂きたいと思います。可能かどうか分かりませんが、個人的に思う案を書いて見ます*桜木町からのロープウェイの延長*旧貨物線を利用してアクセス*横浜からの水上バスの延長*JR 山下駅の拡張（東急線本町、中華街駅の拡張）又は、延長*ベイブリッジ経由（大黒埠頭）バスの運転いくつかあげましたが、難しい案件だと思います誰もが、そこへ行ける様に考慮をお願い致します	イ-1-(2)
No736	休日にあかいくつバスに乗りましたが、道路が混んでいて、元町からワールドポーターズに行くのに 50 分位かかってしまいました。車内も混み合い、これでは楽しい思い出が作れないのではないかと思いました。山下埠頭が開発されると、さらに混み合うと思いますので、スムーズに快適に移動できるように工夫が必要だと思います。	イ-1-(2)
No737	山下ふ頭をということではなく横浜市全体のことになりますが人の不足などで市営バスの本数や終点が変更されたりと利用者にとって不便が生じている。みなとみらい線が開通も最初の計画より短くなっている聞いたのでそのことも含め弱くなるところを補えるような計画を立ててほしい。	イ-1-(2)
No738	ぜひ路面電車。利便性、世界に誇れる景観、脱炭酸にも繋がるし、世界の素晴らしい都市にはだいたいトラムが走っていて憧れる。	イ-1-(2)
No739	埠頭の開発は、陸地を中心に考えていると思いますが、海と繋がる空間として、開発をしてほしいです。客船ターミナルやプレジャーボートのビジターバースもありますが、遊びに来られた方が、気軽に乗れる観光船や交通船の整備をもっとしてほしいです。観光で来られた方が港に来ているのに、陸地だけを回遊するのは勿体無いです。シーバスが運行されている狭い範囲ないだけではなくて、海上交通で、でかれられるとか、周遊するとか、マリンスポーツを楽しむとか選択	イ-1-(2)

	肢がもっとあってもいいのではないでしょうか。それとも数社の独占で船を運行されているから、その辺は介入できないということなのでしょうか。	
No740	海上交通の充実が、よりこの地区の発展を促すものだと思っています。横浜の最大の魅力は、やはり海です。その割に海（辺）の活用がされていないという印象を持っています。この山下埠頭を横浜や横浜周辺の海上交通のハブとすることで、この地区独自の魅力を得ることができるのではないでしょうか。	イ-1-(1)
No741	渋滞、駐車場、交通機関の連携が持続可能なモチベーションになると思う	イ-1-(2)
No742	船が活躍できるとよい	イ-1-(2)
No743	特に夏場はあまり外を歩かなくても移動手段が増えればありがたいですね。	イ-1-(3)
No744	町を繋ぐとは、具体的にどのようなことを想定しているのか？横浜、桜木町、関内、石川町、元町・中華街あたりのことを指しているようにも感じられるが、三渓園あたりとの関係はどのように考えているか？本牧地区を市営バスも減便が続き、とても交通機能の強化が望めるとは思えない。きれいごとではなく、投資対効果をしっかり考え提示してほしい。計画倒れになり、言い訳を聞くのはこりごりである。	イ-1-(2)
No745	交通機能の強化では、交通網の充実を視点論議されているが、速さ、利便性の視点だけではなく、移動を楽しむゆとり視点での検討をお願いしたい。車・自転車・歩行者の完全分離等	イ-1-(2) イ-1-(3)
No746	人が集まる場所やスペースについてどのような事が起こりやすく想定しているのかがうかがえません事前の想定事項の洗い出し・リスク回避等々	イ-1-(3)
No747	鉄道、バス、タクシー等の従来型の事業者毎のサービスを個々に提供、組み合わせるの箱物の改善ではなく、横浜市として住民、観光客或いは老若男女それぞれに適した交通サービスあるいはオンデマンド交通サービスが提供可能な事業体を設立し、そこが主体となることで様々な交通手段を利用者エ戦でフレキシブルに提供、コントロールできるモデルを提供してほしい。	イ-1-(2)
No748	山下ふ頭の大きな弱点はアクセスです。様々な移動手段で一定程度カバーすることはできると思いますが、やはり抜本的な整備は必要と感じます。特に「JR 石川町駅～元町・中華街駅～山下ふ頭」のスムーズな動線は必須です。さらに可能であれば、「山下ふ頭～本牧ふ頭 A 突堤～大黒ふ頭」という動線を整備し、クルーズ客船が接岸する地点間を結ぶことができると良いでしょう。ベイブリッジを超えられない超大型客船は、接岸するふ頭が遠すぎて、来訪する側、受け入れる側双方にとって、様々な不都合を生んでいるように感じます。山下ふ頭を結節点として、この課題の解決に近づけると良いです。あまり現実的な提案ではないと思いますが、横浜市営地下鉄関内駅で既存の路線から分岐し、「関内駅～石川町駅～元町・中華街駅～山下ふ頭」という新線を整備できれば、横浜駅、新横浜駅からのアクセスは格段に良くなり、多くの路線から鉄道のみで山下ふ頭に至るルートが確立します。また、JR における最寄り駅である石川町駅に至る移動にも課題を感じます。JR 根岸線で「桜木町駅発着」となっているものを「石川町駅発着」とできれば、状況は大きく改善すると感じます。石川町駅の改修が必	イ-1-(1)

	要であり、容易ではないと思いますが、関内駅、石川町駅ともに観光客が多く利用する駅であり、桜木町駅発着から石川町駅発着にすることで利便性は大きく向上すると感じます。	
No749	緑あふれる山下埠頭へのみなとみらいからの水上バスや山下埠頭から八景島や江ノ島や横須賀等の周辺観光地への観光船を発着させて横浜だけでなく周囲の観光地を巡れるようにしたらもっと観光地の拠点となるのではないでしょうか。	イ-1-(2)
No750	元町・中華街駅から 15 分程度だが、更なる交通機能の強化とは？またロープウェイ？	イ-1-(2)
No751	現状、山下ふ頭付近の道路はトレーラー車の通行が多い（当然でしょうけど）ため、自転車での通行は非常に恐いです。自転車でも安心・安全に通行できるよう道路整備をして欲しい。	Ⅰ-2-(1)
No752	観光機能を意識した例えば水上バス（シーバス）の充実、ロープウェイの延伸、LRT 構想の実現等、もう少し真剣に考えて欲しい	イ-1-(2)
No753	山下ふ頭には交通機関がバスしかありません。今後どうするのか知りたい。	イ-1-(2)
No754	とにかく、現状では交通機関が貧弱すぎます。バスはいくら増やしても来訪者アップには繋がらないと思います。待ち時間、渋滞、着席できない可能性など、やはり鉄道には敵わないと思います。通常の路線が難しければ、地下鉄や路面電車なども考慮に含めるべきかと。	イ-1-(2)
No755	・家族で楽しめる、ピクニック　公園　桜並木　・海を眺めながら船の往来を近くで観る ・各地域との連絡船　・広い駐車場 港湾業者は一切利枚なし　強い業者の隠れ独占となる　東北震災のときも公平性に欠けており不満が多かった　第三セクターが良い	Ⅰ-1-(2)
No756	地理的に近似のバンクーバーやシドニー（サーキュラーキー）の機能が参考になる。高速道路の要に位置するため、各種海路交通の拠点、かつ高速バス、自家用車のパーク＆ライド用地として最適と考えます。 現在の横浜西・東口とも YCAT 以外のバスターミナルは用地的に無理。インバウンド、国内のバスツーリズムと東京湾岸エリアの通勤（バス+海路）、羽田成田への拠点になれば、横浜市民、川崎、横須賀他 500 万人の利用＋観光需要で充分ペイするはず。 もちろん、宿泊、商業、飲食他複合施設により、集中し過ぎている横浜駅の機能を多少なりとも分散させ、オーバーツーリズム対策の光取りもできる。 課題は、バス以外の都市交通をどうリンクするか、2 線の地下鉄との、例えば路面電車（市電）の復刻復活（広島、広電の路面電車と長距離鉄道の乗入れ参考）も良いと思います。 シーサイドラインⅡもいい。	イ-1-(2)
No757	7 月 26・27 日に行われたミセスグリーンアップルの山下ふ頭のライブの後、みなとみらい線は混雑で乗れず、バスも乗れず、仕方なく横浜駅まで歩いた人がた	イ-1-(2)

	くさんいたようです。今後、大規模イベントを行う時には、駐車場の整備、みなとみらい緑の増便など検討していただきたいです。	
No758	アクセス手段として、中村川の高速高架下の水面上空を利用し石川町/元町中華街駅からの流動をつなげる新型ロープウエイを導入 高さ 50M の回遊できる多層回廊シェル　中にはオフィス/イベント会場 等　表面は季節の花で覆われ、ひたち海浜公園のネモフィラのような集客を期待 遊べる海　泳げる海　浅水化 岸壁の直線部は極力曲線とし、埠頭のイメージを消し「緑の島」を感じさせる	Ⅰ-1-(2)
No759	□緑・海辺・・・温暖化防止のため、植樹で CO2 排出削減（フランスで行われている） □市民が結ぶ新たなまちの環 市民が自由に出入可能でリラックスできる場の確保 □オンラインカジノ構想の”うわさ”を聞くが”人を不幸にする危険”のあるものは絶対に廃除すべき！！ □災害に強いまち 関東大震災で甚大な被害があった横浜。近づく地震の対策を万全に！避難場所、必需品倉庫、医療施設等の命と生活を守れる場所の確保を要望する。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ イ-2-(2)
No760	・山下公園通りからの車道について、できるだけ山下公園を分断せず地下化してアクセスするようにしてほしい。　・港湾緑地も禁煙化してほしい。　・ヴェニスのように水上バスを導入してほしい。　・横浜には人口の割に美術館が少ない。現代美術専用の美術館を整備してほしい。　・花火を毎週末 5 分でいいので、実施してほしい。　・クアハウス、サウナをつくってほしい。　・一つでもいいので倉庫の上屋を残して活用してほしい。　・夜景の演出にネオンサインを活用すべきと思う。	イ-1-(2) イ-3-(1)
No761	山下ふ頭へ行けば、海外に行った様な気分になれる場所になったらいいな。年中イベントが開かれ、年中花火も見られる場所。開放的な場所であってほしい。	Ⅲ-1-(1)
No762	・再生エネルギーを活した、山下公園から続く「緑りの回廊」を海辺につくる。 ・高層ビルでなく、いろんな企画に活用できるオープンスペースを確保する。 ・MM21 地区とは違うまちづくりをする ・温暖化対策と震災対策に対応したまちづくりをしてほしい ・市民が気軽にいける交通手段が必要です。 ・「海辺の森づくり」を考えてはどうですか。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ
No763	防災に力を入れてほしいと考えます。 横浜市は食料自給率が低いため、災害時の食料の確保が特に必要だと私は考えます。 備蓄や輸送経路の確保に十分配慮をお願いしたいです。　また、海が近いので津波の対策をお願いします。	イ-2-(1) イ-2-(2)
No764	○災害に強いまちづくり　・再生可能エネルギーを普段だけでなく災害時にも使える仕組みをぜひ導入してほしいです。　・津波や災害を考え、十分な避難場所や備蓄品など、安全のための設備をきちんと整えてほしいです。 ○魅力的な景観デザイン　・夜も安心して楽しめるようなライトアップや美し	イ-2-(1) イ-3-(1)

	い景観づくりに期待しています。 ・シドニーやマンハッタンなどの良い部分も取り入れながら、横浜ならではのデザインや魅力がしっかり伝わる街にしてほしいです。	
No765	津波や液状化のリスクある中、限度があるのではないか。また、市庁舎や警察本部とは近いが、消防本部とは距離があるが大丈夫なのか。しっかり検討し、必要な施設はちゃんと整備をしてほしい。	イ-2-(1)
No766	災害に対する取り組みはとても良いと思います。特に山下ふ頭の立地は広大な空地であり、避難者を収容することが可能であることに加えて、海に面していることから支援物資の授受が可能であるため、事前に災害対策を整備しておくことで、有事の際も安心して過ごせる空間づくりができて、よいと思います。しかし湾の奥まった場所にあるとはいえ、大きな災害が発生した際は山下ふ頭は津波に対して危険な場所なので、山下ふ頭に避難することだけでなく、山下ふ頭から避難することも十分に考慮してほしいと思います。	イ-2-(2)
No767	これまでの委員会等で議論されたのかわかりませんが、毎年山下公園(周辺)で定期的に行われているイベントとの関わりについて、どのような考えを持っているのでしょうか。 山下公園では通年、民間団体主催のカッターレース、ドラゴンボートレース、ベルギービールウィークエンド、ハマフェス、ワールドフェスタ、横浜七夕まつり等、又、横浜市も関わるヨコハマパレード、トライアスロン、横浜マラソン、花と緑のスプリングフェア等があると思います。 これら各イベントが抱える課題や問題点等を包含した再開発をすることで、イベントを拡大、継続、発展させることでより多くの市民が楽しむことが可能となり、来街者にとってもより一層滞在時間を充実したものに出来るかと思います。 なので、一度各主催元へのヒヤリングを行い意見や希望を取るべきと考えます。	Ⅲ-2-(1)
No768	平時は子供達が過ごせる屋内施設兼、緊急時の物資を置ける倉庫があってもいいと思います。 非常食や救命胴衣、テントなどを収容しておけて、屋上は津波から避難できるなど。	イ-2-(2)
No769	広場の舗装は可動式ソーラーパネルで構成し、通常は日陰やイベント電源として活用、災害時には外して避難者用の電力・照明に供給。 埠頭沿いのベンチは内部が飲料水タンクになっており、普段は腰掛け・夜はライトアップされ、非常時は給水ポイントへ早変わり。 さらに、横浜港の物流ネットワークを使って「海から物資を届ける市民参加型システム」を構築。 平常時は観光船やクルーズ船、漁船を使った港内周遊や体験イベントを行い、非常時にはその船舶が食料・医療物資輸送に切り替わる。 子どもたちには学校教育の一環として港の防災体験授業を実施し、実際に救援物資を積み込むシミュレーションを体験させることで、世代を超えた防災意識を醸成します。 この発想は、コストも運営も簡単ではないでしょう。 しかし「普段から人が集まり楽しめる場」が、そのまま災害時に生命線になる街は、世界でもほとんど例がありません。 横浜だからこそできる、遊びと防災が同居する持続可能な都市こそが、未来への最大の希望です。	Ⅳ イ-2-(1)

No770	地震や津波に備えて欲しい	イ-2-(1)
No771	津波の対策が良くわかりませんでした。 全体を 10 メートル位の高台にするなどと言った、わかりやすい安心感が有ると嬉しいです。	イ-2-(1)
No772	災害の対策だけではなく、災害に対して少しでも考える機会や、対策をしたいと思える環境整備をして欲しい。（そなエリア東京の様な施設）	Ⅳ
No773	安全安心のシンボルとして拠点形成や体制構築はとても大切だと感じます。災害時の的確なオペレーションができる警察や消防などの機動力を是非、拠点形成の中に盛り込んでほしいです。	イ-2-(1)
No774	施設は巨大な屋内施設にして、展示場も設けてはどう か。海際であるため天候不良は避けにくいが、雨風に 関わらず人を呼ぶことができる上、今後温暖化していく地球でも海と緑のレジャーを安全に楽しむケースとなれるのでは。 また、有事の際に避難所となることに期待	Ⅲ-1-(1)
No775	海抜が低いので津波対策について具体的に知りたいです。以前、原発では想定外の事態だと政府の方がおっしゃっていましたが、自然災害は想定外の事態が起こるものとしてご対応していただきたいです。 また、せっかく広い土地があるので震災の時の防災拠点としての役割もしっかり準備していただきたいです。また、インバウンド、外国人への対応よりもまずは神奈川県民や関東在住の人にとっての安心を最優先に考えていただきたいです。	イ-2-(1)
No776	災害時の避難経路の案内図がどの方向に逃げればよいかが現在の地図はわかりにくく、海外旅行客や子供にもわかりやすく示して欲しい　山下公園やみなとみらい地区は、地形的に方角が分かりにくいので、矢印標識や避難経路を含めて統一されたデザインで、海外旅行客にもわかりやすくピクトグラムを使って弱視や色覚特性のある人にも見やすい色に配慮して掲示して欲しい。	イ-2-(2)
No777	災害の強いまちを実現する上で、消防署の整備は必須だと考える。	イ-2-(1)
No778	横浜市は海や山間部が多く、交通もしっかりと機能しているなど神奈川屈指の大都市として様々な利点があります。しかし、その分課題も多く、南海トラフ地震などの巨大地震の被害が懸念されたり港湾都市のため津波による浸水被害の影響が大きいなど災害による問題が多いと思います。発展している都市だからこそ災害が起きた時に横浜市にいる人々を助けれるように災害に対処できるようにしていくべきだと考えています。　この課題の解決に向けて山下ふ頭では防災マニュアルを作成し、港の特徴を活かした防災を行っていくべきだと考えています。観光客や地域住民などが災害が起きた時にどうすれば良いのか分かりやすくするために子供から老人、外国人まで理解できる防災マニュアルを作成していくべきであり、イラストやピクトグラムを使い、多言語で防災マニュアルやデジタル看板を作成すれば様々な人が災害発生時にすぐに行動することができると思います。更に地震や津波で電気系統などの重要施設が故障しないように重要施設を高い位置に設置し、周辺の地盤を強化すれば災害発生時のリスクを減らすことができます。 私は横浜市が災害に対処できるように山下ふ頭で防災力を向上させ、災害時に対処できるように都市を作っていくべきだと考え	イ-2-(1) イ-2-(2)

	ています。山下ふ頭は様々な形で活用されてきましたが防災のためにも使うことができ、今後は誰もが安心して滞在できる、災害に強い横浜にするためにも山下ふ頭を活用していくべきだと思います。	
No779	横浜の山下ふ頭は再開発によって新しい魅力を生み出すことが期待されていますが、海に面した埋立地であるため、地震や液状化、津波や高潮の危険を抱えています。だからこそ「災害に強いまちづくり」を実現することが重要だと思います。　まず必要なのはインフラの強化です。耐震護岸や防潮堤を整備し、地盤を改良することで被害を減らすことができます。また、非常用電源や貯水施設を備えて、災害後も基本的な都市機能を維持する仕組みが欠かせません。　さらに、防災を意識した都市デザインも有効です。山下ふ頭の広い土地を活かして大規模な避難スペースを整備すれば、普段はイベント広場として、非常時は避難場所として機能します。歩行者デッキや高所通路を整備すれば、津波や浸水からの避難も可能です。　加えて、ICT を活用した「スマート防災」も大切です。センサーや AI で危険を把握し、多言語で避難情報を発信すれば、多くの市民や観光客を守ることができます。太陽光発電や蓄電池を備え、停電時にも最低限の電力を確保することも効果的です。　山下ふ頭の再開発は、魅力ある水辺空間をつくるだけでなく、災害に強い未来志向の町を形づくる絶好の機会だと思います。	イ-2-(1) イ-2-(2)
No780	私が考える山下ふ頭の課題は防災だと考えます。そう考えた理由は、山下ふ頭一帯は埋立地であり海に囲まれているところなどから地震が発生した際には液状化現象により建物が崩れ道路の陥没などが起こり避難が遅れてしまう危険性や海が近いことから津波の到達が早いと予想されるので被害が大きくなるとわかります。このことからこの 2 つは重要な課題だと考えました。　この 2 つの課題を解決するために考える対策は、まず液状化現象の対策として地盤の強化を行うと良いと考えました。薬液や液状化を防止する為の工法などである程度防ぐことができます。建物では今建っている耐震性の低い建物には改修工事を行い耐震性を上げ新しく建つ建物は、耐震性が高いものが多いので点検などを欠かさず行うことが重要になります。道路に関しても同様に陥没が起こりそうな場所を確認し点検や改修工事を行うことが重要です。次に津波の対策です。津波の対策は、波の威力を抑えるために現在ある防波堤をより高さのある強い防波堤にし防波堤がないところは、設置することで山下ふ頭近辺の津波の被害を最小限に抑えることができると思います。　最後に今回挙げた対策を実行していく為に必要なことは多くの人の協力が必要だということです。災害はいつ起こるかは、誰にも予想することは、出来ないので早急に対応していかなければなりません。ですので技術を持っている人や近辺に住む住民の皆さんの協力が最も必要だと考えました。	Ⅳ イ-2-(1)
No781	「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構造と空間設備の課題は、災害対策だと考えています。地震や津波などの災害に対応することは、山下ひ頭に訪れた人々の安全を守るためにとても重要だと思います。　私は、防災設備の設置や維持・	イ-2-(1) イ-2-(2)

	管理を通じて、被害を軽減していくことがとても重要だと考えます。また、災害発生時の誘導や防災拠点として、エネルギー供給システムや強靭な通信環境を構築などが必要だと思いました。誘導では、インバウンドで増加した外国人向けに多言語での説明文の設置やアナウンスの準備などをすることで、迅速に避難することができると考えます。　防災設備の設置だけではなく、災害発生時を想定した避難誘導や救助活動などの防災訓練、緊急時に対応したエネルギー供給システムや通信環境の構築などに対応していくことで、人々が安心して訪れることができる「緑・海辺のまち」になると考えています。	
No782	私は令和 4 年の意見募集のパンフレットにあった事業者提案「28ha の緑」が実現することを大いに願っている者です。そして残りの 19ha をどのようにするのでしょうか。「水と緑」から、山下公園から続く美しい水際線をデザインされることでしょう。ここには市議会で意見に出てきた児童遊具のある広場があるといいですね。さらに　私には、3 つの考えがあります。ひとつめは山下ふ頭の船着き場を利用してフェリーを就航させるとよいと思っています。フェリーは観光客や帰省客ばかりでなく、物流にも貢献します。船は、水素やアンモニアを燃料とする船用エンジンを用いた新しい船を使い、例えば南九州からの物流をモーダルシフトします。そのターミナルは、1 階がフェリー乗り場、2 階が大型観光バスも使える駐車場、3 階が RV パークにすればよいと考えています。そして屋上はメガソーラを設置します。平常は充電をして余った電気は売電で収入を得ます。28ha の森と共に脱炭素化に貢献できると考えます。さらに災害時は充電した電気と共に毎日の発電によって、非常用電源として活用します。太陽電池パネルの下に人が入れるほどの 2m 弱の隙間をつくり、蹴破ることができる扉をつくっておくと、津波の際の避難場所になります。RV パークにキャンピングカーのレンタルショップを置くと、災害時に使用できるかも知れないとも考えています。これは 5ha 位必要です。ふたつめは山下公園からつながる場所に大震災と大空襲の慰霊の資料館をつくることです。 1 階はホールにして慰霊祭ができるようにします。2 階はいくつかの会議室をつくって、災害や平和についての会議やプレゼンができるようにするとよいと思います。3 階は専門の学芸員がいる図書室にします。これは 2ha 位かなと。みっつめが主に中区西区のマンションやタワーマンションに住む人々が利用できるスポーツセンターをつくります。 1 階は床を土か人工芝にして少年野球場や自転車競技場、2 階が体育館。屋上をヘリポートにします。平常はペロブスカイト太陽電池で充電や売電を行い、災害時には巻き取って、ヘリポートにします。これも 2ha 位でしょうか。2 階の体育館は災害時に船で搬入した救援物資のセンターになると考えています。私は以上の 3 つの施設をつくればよいと考えています。	イ-1-(2) イ-2-(1) イ-2-(2)
No783	山下ふ頭は海抜の低い地域です。津波の恐れがあります。防災拠点とするのはふさわしくありません。この地域を開発するにあたっては、地震、津波対策に十分留意することを望みます。	イ-2-(1)
No784	津波を考慮した湾岸整備、津波が引いた後の豪華客船を使った避難所とするな	イ-2-(1)

	ど災害時への対応ができる設備を行ってほしい	
No785	大規模な災害が起きた時の拠点基地となるべく施設を優先的に作るべき。災害時の陸海空の受援が可能な立地を存分に活かすべき。 それらを 365 日管理、運営するために大規模な消防機能（消防署）を建ててはいかがでしょうか。市民が防災を学ぶための施設、防災イベントや商業イベント、訓練、避難所の対応ができる広場や敷地　海路からの受援物資をうけるための施設（各種船舶の停泊用浮桟橋） 空路からの受援物資をうけるための施設（ヘリパッド 5 ～10 機着陸できる施設）　横浜市の観光、防災の中心としてあらゆる人が自然と安心して集う場所として欲しい。	Ⅳ
No786	横浜市は人口が多いながらも、地域をみていると、つながりによる防災などの意識の高さから、しっかり対策や訓練がなされていると思っています。 一方で、今回の山下ふ頭の開発によりにぎわうエリアは、住んでいる人よりも、遊びに訪れる、必ずしも災害への意識がたかいわけではない人が多く来るのではないかと思います。 防災としての機能ももちろん必要だと思うのですが、何かあった際にはしっかり町を守ってくれる、警察や消防、海上保安庁など、各組織が常にいるような、そんな場所にしてほしいと思います。	イ-2-(1)
No787	「防災拠点にする」と言う点に疑問を覚える。海岸に設ける「防災拠点」のイメージが湧かない。 津波が来たらまず被害を受けるところだ。備蓄品は波にさらわれてしまうのでは？ ここにどんな避難場所を設けるのか？	イ-2-(1)
No788	（3）賑わい：　山下公園通り・元町・中華街との間の回遊性向上のための遊歩道ルートの設計開発（(5）にも関連）　(4）市民が結ぶ新たなまちの環：　町内会と連携した地元コミュニティーの形成　(5）交通機能の強化：　羽田空港・扇島・大黒ふ頭・山下ふ頭・本牧・根岸/関内・新横浜を直結する地下鉄路線の実現　(6）災害に強いまち：　防災拠点（水上署・中消防署出先機能（救急艇，病院船，ドクターヘリ配備），水素発電施設（有事の電力供給源），飲食料・飲用水備蓄設備（市場機能），地域救急医療機関との連携）　(7）景観：　みなとみらい，ベイブリッジ方面を見渡す水際エリアには高さ規制を設定し，ふ頭内のどのエリアからでも素晴らしい景観を愉しめる構造物設計（バランス，景観阻害要因の排除）を重視すべき　総合意見：　すべてのテーマを網羅した意見を準備したが、この意見募集集約システムは使い勝手が悪い。	イ-2-(1)
No789	市民の防災用品や避難所開設に必要な資材の保管など、十分に備蓄出来るスペースを作ってほしい。	イ-2-(2)
No790	最近、大雨、地震など自然災害が多くなっていると感じます。市民が必須で受ける研修を準備して、市民一人一人が災害に備えることができる啓蒙活動が必要だと思います	Ⅳ
No791	山下埠頭をどうやって災害に強くするのでしょう？大きな地震があれば津波に 1 番先にやられる場所なのでは？台風などの風水害も然り。広域避難場所とするつもりなら最悪の場所ですが。ここに賑わいを作るなら、そこで災害が起きた時にいかに避難させるかが課題だと思います。	イ-2-(2)

No792	地震などによる津波への対策をしっかりしていただきたいと思います。近隣のビルなどに垂直避難したとして、避難中の物資をどうするかという問題が出てくるのではないでしょうか。観光客を多く呼び込むには災害への対策もきちんとしていることもアピールポイントの１つになると思います。	イ-2-(1) イ-2-(2)
No793	周りを海に囲まれた場所ということで、昨今の震災や豪雨を考えると防災拠点や避難場所として機能するのは現実的では無い気がします。	イ-2-(1)
No794	『横浜市民の命を守る』災害に特化した場所にしてください。つまり『山下埠頭に行けば助かる』という場所です。埠頭の機能を活かせる例です。例１：液体水素の発電所液体水素は、タンカーで搬入できます。例２：自衛隊の船の病院 COVID-19 の初期、隔離病棟として使われました。緊急時で病院が対応できない場合、要請できます。例３：災害用の水・食料・什器等の保管	イ-2-(2)
No795	観光とかではなく、埠頭として災害時にもきちんと機能するような再開発を希望します。	イ-2-(1)
No796	中華街から、山下公園に最近よく行きますが、歩行者が迷わず分かり易い案内板が見当たらない。ビル群によって山下公園前まで同じ様な感じで災害時の避難に時間がかかりそう。	イ-2-(2)
No797	防災訓練や避難所体験の出来る所	Ⅳ
No798	坂が多い街並みなので、道幅を広く、防災防犯に優れた街にしてほしい。老人、子ども、障害者に優しい、ユニバーサルデザインの街にしてほしい。	Ⅲ-1-(2)
No799	昨今、世の中では様々な事件、事故等が発生しています。災害・・というよりも、事件事故等の発生と防止、一般の個人に対する発生時のケア、対策、トラブル対策、警備対応、ルールの確保等は、どのように織り込まれるのでしょう。マナーだからとか常識だから大丈夫だよという言葉では通用しない無責任な世の中になってしまった感があります。24 時間 365 日、何が起きるかわからないですね、市民をはじめ利用者がこの場所において不安なく安全安心に過ごすことが出来るのでしょうか・・・？不安が感じられます。対応計画案でのこのような事象に対する対策盛り込みも必要でしょう。	イ-2-(1)
No800	港町の横浜としては、海における災害に弱い印象を受ける事があるので、イノベーションも含め、災害に強い面が強調できる街づくりに結びつけられれば、国内は元より、海外にも大きなアピールポイントになるように思える。	イ-2-(2)
No801	巨大地震発生時に備え三角錐型の避難塔を作り、災害時その場にいらっしゃる方や船の方が迷わず避難できる塔で、日常は遠くを見渡せる誰でも利用可能な大きくて高い塔が出来たら素敵だと思う。子供の頃は体を動かす遊びが何より大切な事で７６歳になった今でも子供の頃に遊んだことが宝物になっている。塔の中心の柱には避難時に必要な簡易トイレとか水やロープ等を備えて置ける倉庫を設ければより安心。	イ-2-(2)
No802	海岸沿いの津波に対する対策を強化してほしい。	イ-2-(1)
No803	再開発にあたって考慮すべき点として「カ」の災害対策があげられる。ほぼ海抜 0 メートルの山下埠頭を災害時の補給路として本当に使えるのかエビデンスが	イ-2-(1)

	明確でない。また予算と効果、維持費用等も言及がないので案としては良いのだが実現性がわからないし、そうしたことが今後の工程の中でいつどのように決まるのかはっきりしない。	
No804	来るべき大地震と有事に備えて、防災備蓄・避難場所の整備、インフラの更新は最優先事項だと思います。	イ-2-(2)
No805	災害多発の日本では、いかに死者を減らし、受け入れ体制をより快適な持続できるものにして欲しい。	イ-2-(2)
No806	いつくるかわからない災害にたいして、少しでもおおくの備えが必要	イ-2-(2)
No807	災害に強いまちづくりに力点を置いた（優先とした）再開発を実施して欲しい。自然災害のみならず、有事（戦争、紛争など含む）に備えた拠点としても機能するように計画して欲しい。とすると、物流・人流の仕組みが最重要になるので、車を主とする物流だけではなく、陸海空全てを活用した（補完関係にある）仕組みを作って欲しい。旧陸軍のように兵站をないがしろにする計画（根性論）だけは絶対にダメ。	イ-2-(2)
No808	過去には、関東大震災を経験した場所であり、そのがれきで作られた山下公園や震災復興住宅だった新山下の傍にあり、災害に強いまちを発信するのにふさわしい場所と思います。そのような歴史を知る人も少なくなりましたが、日本に住んでいるかぎり、自然災害、とくに、地震は注意を怠ってはならず、関東大震災を経験した町として、災害への意識を先導できる町であってほしいと願います。話がそれますが、ここから開国がされ、その後、米軍占領によって兵舎なども建ち並んだ、歴史に翻弄されたエリアでした。横浜は次々に新しいものを作り、過去の生々しい歴史の面影を感じられる場所が少ないことが残念です。町の数奇な歴史が感じられる展示などがあるとよいと思います。	イ-2-(2)
No809	海辺なので、津波災害には特に気を付けてほしい	イ-2-(1)
No810	各テーマそれぞれ重要だと思いますが、地震や特に海辺なので津波に強い、例えば津波タワーを設置するとか人々が安心して過ごせるエリアにして欲しいです。	イ-2-(1)
No811	広域自然災害が起きたとき、横浜港や道が使えないといった状況になれば救護活動等に支障が出かねない自衛隊も首都防衛隊など東京を中心に動くであろうから、横浜は優先順位が二の次になるかもしれないそこでドローン基地を備えて、陸路・海路がダメになったときのため空路を整備しておくと良いように思う通常時はドローン配送の導入実験を行い配送問題対応の研究も進められるように思う	Ⅱ-1-(1) イ-2-(2)
No812	今よりもさらに詳しい防災マップなどを作って配布してほしい避難訓練なども、町内ごとに行ってもいいと思う	Ⅳ イ-2-(2)
No813	津波対策を強化し、他都道府県や他国の見本となるようなふ頭になることを願っています。	イ-2-(2)
No814	海抜 0 メートルの地点に多くの人が集まることにより、有事の際にどのように避難を誘導するのか、を充分に検討して欲しい。魅力的な街づくりには安全対策	イ-2-(2)

	が欠かせないと思うのでよろしくお願いします。	
No815	南海トラフなど災害の懸念があるなか、市民への取り組みをあまり感じていない。拠点としての安心の整備が結果的に市民だけでなく、国、世界への発信にもなると思う。観光や海をテーマにしたものは溢れている。	Ⅳ イ-2-(2)
No816	地震は今直ぐ起きるか分からない中対策は急務災害の備えと共に災害時の避難対策を市全体で進めて欲しい	イ-2-(2)
No817	近年の災害は予測不能で激甚化しているように思われます。高齢化が進み、人口も減っていく今後について、災害時に市民がどう対処すればいいのか日頃から考えておくべきだと思います。富士山の噴火も考慮しておくべきで、それぞれの災害時についての行動指針を地区ごとの細かい対策があれば少しは安心できると思います。	Ⅳ
No818	地震の脅威が高まっている中で海側に行けば行くほど観光客人口が多い現状、どのように災害対策をしているのかを積極的に発信するべき。おそらく観光客の１割も対策について理解していないと思う。	イ-2-(2)
No819	地震や津波に強いまちづくりを希望	イ-2-(1)
No820	カジノ誘致や大手デベロッパーの組んでの高層ビル建設なのでは無く将来の子供達の為の農業体験や防災の為の避難タワー＋立川にある様な防災体験施設（楽しめる）民間と共同で市民が払える使用料も決めて，これからの食糧危機に備えて野菜の苗を是非買いたいです。余談ですが間に合わないと思いますが2027 グリーンエクスポに苗が売っていたら買い求めたいです。	Ⅰ-2-(1)
No821	南海トラフ巨大地震の発生が遠くない将来に予想されているなかで、山下ふ頭周辺の地域も津波による大きな被害が想定されている。 また首都直下型地震が発生した場合も、当該地域は地盤の液状化の懸念があり、現実的に災害が切迫しているなかで、新たな開発はこのような被害が発生することを充分想定して、計画を進めるべき。 この地域を防災拠点としての機能をもたせる計画は大変有効であるが、この地域の地盤が大規模地震に耐えうるものか充分に検討した上で計画を進めてほしい。	イ-2-(1)
No822	次世代に借金を残さない。横浜市民ファースト、日本人ファースト。 必らず災害は発生します。　「備えよ恒に」いまの大人の責任です。	イ-2-(2)
No823	酷暑の中、お仕事お疲れ様です。 山下ふ頭の海の中、海に囲まれています。何より地震の際、津波の被害対策を第１に考えたいと思います。観光客も多く、そこに津波となったとき、垂直避難ができるタワー等の建築をご検討くださるよう希望します。 また、山下ふ頭にこだわりませんが、横浜は東京都に比べて、図書館の設備が脆弱です。是非ゆったりできる図書館をお願いします。	イ-2-(1)
No824	地球温暖化により海面の満潮時の水位が上がってきています。あらかじめ土地の高さを今より 1m～2mかさあげしておいた方がよいと思います。水際部分は親水性を確保して。ニューヨーク市などは対策初めていると聞きます	Ⅰ-2-(1) イ-2-(1)

No825	□緑・海辺・・・温暖化防止のため、植樹で CO2 排出削減（フランスで行われている） □市民が結ぶ新たなまちの環 市民が自由に出入可能でリラックスできる場の確保 □オンラインカジノ構想の”うわさ”を聞くが”人を不幸にする危険”のあるものは絶対に廃除すべき！！ □災害に強いまち 関東大震災で甚大な被害があった横浜。近づく地震の対策を万全に！避難場所、必需品倉庫、医療施設等の命と生活を守れる場所の確保を要望する。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ イ-2-(2)
No826	昨今の猛暑等気候変化に備え、樹々を多く植え、内陸に風の流れを、また、災害防止に全体的に建築物ではなく、芝生の公園。例えば、ロンドンのハイドパーク、ニューヨークのセントラルパークの様に大都市に隣接する大きな公園にする。 周りを塩害に強い樹々（松等）にする。 商業エリアにするのでは無く、何も無い芝生公園が価値になる。（人々を寄せるツール）日差しを遮る”緑の日傘”としての価値、津波を防ぐ森林としての価値、パンフレットの表紙写真をみても緑の割合が弱い、山下公園だけでは少な過ぎる。倉庫を CO2 減少の酸素を創るエリアに転換する。 東京湾のうみの森の横浜版。横浜なのに浜が無い！水辺を浜に再生して、元祖横浜の復活を！	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-1-(2)
No827	世界に誇れる観光都市 YOKOHAMA の名にふさわしい名実ともに観光メインにするのは賛成ですが、同時に防災にも力点を置く観点を置いてほしい。津波想定はもちろん、防災拠点にもなるような新たな概念も入れて下さい。市民も気軽に集れるような緑の多い街づくり、スペースにして下さい。	Ⅳ イ-2-(1)
No828	山下ふ頭は日本の玄関としてアピール出来る好立置にあります。そこへ”カジノ”というとんでもない計画に”ノー”をつきつけ市長を誕生させた市民の良識を必ず生かすべき”地域”とも思い注目しています。 資源の少ない日本、最近毎年大きな災害に見舞われその復興を遅々として進まない現実が日々写し出されているからでしょうか”防災・気候危機・平和”を具体化する様な誇らしい街づくりにしたいと思います。そこで、”喉元過ぎれば熱さを忘れ”の様に原発の再稼働の動きにあきれるばかりです。具体的には仲々思いつきませんが、風力発電を可能な限り多く建てられたら大きなアピール力となり災害にも復興にも少なからず役割を担えるのではないでしょうか。突然ですが、思い出した事があります。中学校給食実現の為中学校をまわっている時、校長室に通され生徒指導係の先生との話し合いになり、南区は子供達が自転車で簡単に行ける所に街の荒れるカジノ等とんでもない事で何とかせねばと思っている。協力してほしいと訴えられた事を思い出しました。企業の儲けの種とならない事を開発の留意点としていただきます様よろしく御願いします。	イ-2-(1)
No829	・水辺を楽しむ、くつろげる広いデッキテラスを設けて、山下公園から、夏場日陰にもなる樹木を配置した散策コースで繋ぐ　・災害にも利用出来る芝生のイ	Ⅰ-1-(1) Ⅳ

	ベント広場　・国際会議、展示場にもなる規模の大きなコンベンションセンターは市民の活用場所も作り、自由に出入り出来る開かれたイメージで。災害基地としても使える機能を備える。　・隣接する元町、山手、中華街へ歩きたくなるような歩道（ウォーキングコース）の整備をする。途中には休める木陰やベンチが欲しい。 以上、よろしくお願いいたします。頑張って下さいね。期待しています。	
No830	Ⅰ.都市と自然の共生はぜひ追及してほしいです。 Ⅱ.持続可能なまちを支えるために脱炭素化をすすめるエネルギー政策をもっと具体的に提示が必要。緑税を徴収しても緑が増えてないのはなぜか？グリーン社会は脱炭素社会実現にも欠かせない要素。本気度が問われていると思います。災害に強いまちづくりは住民にとって今最も望まれているといえるのでは？防災拠点にしてほしい。観光客へのアピールもできる。「有事に備える空間づくりと体制の構築」よりノースドックを早期返還してもらう方が先決でしょう。	イ-2-(2)
No831	・再生エネルギーを活した、山下公園から続く「緑りの回廊」を海辺につくる。　・高層ビルでなく、いろんな企画に活用できるオープンスペースを確保する。　・MM21 地区とは違うまちづくりをする　・温暖化対策と震災対策に対応したまちづくりをしてほしい　・市民が気軽にいける交通手段が必要です。　・「海辺の森づくり」を考えてはどうですか。	Ⅰ-1-(1) Ⅳ
No832	防災拠点として活用する。堅牢な建物はつくらず、平地にして、防災時に必要な建物があとからつくれるようにする。備蓄倉庫など簡易な建物だけにする。ふとうとしての機能を生かして多くの舟が接岸でき荷物の積みおろしができるようにする。ヘリコプター基地も必要。津波対策も必要。	Ⅳ イ-2-(1) イ-2-(2)
No833	地震対策をお願いします。南海トラフはさがみトラフに連動するらしい…そうであるなら津波対策が必要です。台風対策もお願いします。	イ-2-(1)
No834	その他：横浜港臨港幹線道路計画と山下ふ頭から山下公園の港、海、歴史を踏まえた景観との両立の件　横浜港臨港幹線道路計画については、山下ふ頭入口付近から山下公園の海上(高架 or トンネル)に建設する計画図であるようですが、山下公園から山下ふ頭の港、海、景観との連続性を考慮すると、港、海、景観を損ねる建設計画には「慎重を期すべき」であると考えます。 たとえば、東京都日本橋では都内河川上に建設した高速道路高架橋を撤去して地下化したうえで日本橋本来の景観を復活させる計画であるが、非常に長期間と巨額設備投資が必要になります。 また、山下ふ頭入口まで横浜港臨港幹線道路を再開発に伴い延長する設備投資なのであれば、公共交通機関利用者の利便性を考慮し、山下ふ頭から最寄駅みなとみらい線元町中華街駅、や、山下公園西端部等までの屋根付き動く歩道や屋根付きペデストリアンデッキの整備は必須とも言えます。 また、上述のように、山下ふ頭の東部西部にいて乗降場を有する水上バスルートの整備の必要性も尚更優先順位が上がるものと考えられます。	イ-1-(2) イ-1-(3)
No835	山下埠頭は横浜の顔とも言える港に位置し、未来の横浜を象徴する空間として大きな可能性を秘めています。開発にあたっては、海・緑・都市が調和する景観	イ-3-(1)

	デザインを重視し、訪れる人が横浜らしさを感じられる新たなランドマークとして整備していただきたいです。具体的には、海に開かれた広場や水辺の散策路、地域の歴史や文化を感じられる施設の整備、そして夜景を活かしたライトアップなど、観光客だけでなく市民にとっても魅力的な場所にしてほしいと考えています。横浜の未来を形作る重要な場所だからこそ、短期的な利益にとらわれず、持続可能で美しいまちづくりを要望します	
No836	○災害に強いまちづくり　・再生可能エネルギーを普段だけでなく災害時にも使える仕組みをぜひ導入してほしいです。　・津波や災害を考え、十分な避難場所や備蓄品など、安全のための設備をきちんと整えてほしいです。 ○魅力的な景観デザイン　・夜も安心して楽しめるようなライトアップや美しい景観づくりに期待しています。　・シドニーやマンハッタンなどの良い部分も取り入れながら、横浜ならではのデザインや魅力がしっかり伝わる街にしてほしいです。	イ-2-(1) イ-3-(1)
No837	子供が水遊びできる場所、それに伴う更衣スペースがあると嬉しい 季節にあったイルミネーションをやってほしい。近くのホテルから輝く夜景として見えたら人が増えるんじゃないか	イ-3-(1)
No838	動くガンダムを常設してほしい	Ⅲ-1-(1)
No839	これまでの委員会等で議論されたのかわかりませんが、毎年山下公園(周辺)で定期的に行われているイベントとの関わりについて、どのような考えを持っているのでしょうか。 山下公園では通年、民間団体主催のカッターレース、ドラゴンボートレース、ベルギービールウィークエンド、ハマフェス、ワールドフェスタ、横浜七夕まつり等、又、横浜市も関わるヨコハマパレード、トライアスロン、横浜マラソン、花と緑のスプリングフェア等があると思います。 これら各イベントが抱える課題や問題点等を包含した再開発をすることで、イベントを拡大、継続、発展させることでより多くの市民が楽しむことが可能となり、来街者にとってもより一層滞在時間を充実したものに出来るかと思います。 なので、一度各主催元へのヒヤリングを行い意見や希望を取るべきと考えます。	Ⅲ-2-(1)
No840	緑と調和した新しい都市の姿を感じさせるシンボリックな構造物を構築して欲しい。 遠目には「山」や「丘」のようで、季節の花が表面を飾り、それを目当てに人が集まるようなものでありたい。 花を愛でながら回遊すると頂上に行き着く楽しさは、さながらひたちなか海浜公園のネモフィラの丘のようにありたい。構造物の内側にはイノベーションを生むオフィスや、イベント会場　等があり、埠頭のアウトラインは柔らかい曲線に改修し、緑と海に囲まれた心地よい都市像の象徴になるエリアになって欲しいと思います。	Ⅰ-1-(2) イ-3-(1)
No841	緑や海辺、横浜らしい景観という考え方は良いと思いましたが、それだけだといろんな人が訪れる魅力的な場所となるには一歩足りないのではと感じています。 「ここにしかない」とか、「思わず行ってみたくなる」様なアートとのコラボレーションを考えてほしいと思いました。 最先端技術や有名アーティストとのコラボを取り入れてほしいという意味では全くなく、シンプルに景観として	Ⅲ-1-(1)

	おもしろいと思えたり、美しさや楽しさ、居心地のよさ、もしくは心に残る何かを提供できる様な場所になると良いなと思いました。 以前、桜木町・旧東横線高架下の用地壁面に絵がずーっと描いてあったかと思うのですが、とても横浜らしいおもしろいアートだったのではないかと思っています。たくさんお金をかけなくても、人々を圧倒するその地域らしいアートはできるのではないかと思うので、そういったものを取り入れてほしいと思いました。 アートを取り入れることで、他の場所にはない、ここに行ってみたい！と思えるかげがえのない場所になるなではないかと思います。	
No842	横浜の新しい魅力となるような施設 海辺と歴史を活かした施設を希望します	イ-3-(1)
No843	（3）賑わい： 山下公園通り・元町・中華街との間の回遊性向上のための遊歩道ルートの設計開発（(5）にも関連） （4）市民が結ぶ新たなまちの環： 町内会と連携した地元コミュニティーの形成 （5）交通機能の強化： 羽田空港・扇島・大黒ふ頭・山下ふ頭・本牧・根岸/関内・新横浜を直結する地下鉄路線の実現 （6）災害に強いまち： 防災拠点（水上署・中消防署出先機能（救急艇，病院船，ドクターヘリ配備），水素発電施設（有事の電力供給源），飲食料・飲用水備蓄設備（市場機能），地域救急医療機関との連携） （7）景観： みなとみらい，ベイブリッジ方面を見渡す水際エリアには高さ規制を設定し，ふ頭内のどのエリアからでも素晴らしい景観を愉しめる構造物設計（バランス，景観阻害要因の排除）を重視すべき 総合意見： すべてのテーマを網羅した意見を準備したが、この意見募集集約システムは使い勝手が悪い。	イ-2-(1)
No844	○「市民が結ぶ新たなまちの環」 ・市民や多様な主体が関われる仕組みを導入していただきたい。 例えば公園や交流施設の運営に市民が参画できれば、誇りを持って関われると思う。 ○「緑・海辺のまち」を支える交通・物流インフラ ・ふ頭出入口の狭さや公共交通との接続は課題だと感じる。 山下公園通りやみなとみらいエリアなど広域の視点で交通動線を検討することをお願いしたい。 ○「海と一体化した横浜を象徴する風景づくり」 ・海と緑が一体となった新しい横浜らしい景観デザインを期待する。 市民や観光客にとって象徴的な風景となることを望む。 ○山下ふ頭の将来像（全体について） ・再開発はふ頭単体ではなく、都心臨海部全体と連動させるべき。 ・横浜の歴史と未来の創造をつなぐ計画となることを期待したい。 以上	Ⅳ
No845	きれいな海づくり事業、豊かな海づくり事業、美港横浜等、様々な方策が見え隠れしているが、横浜の海を開発はしても再生の視点がないのが残念である。真に市民が横浜の海に何を欲しているのか、時間を掛けて集約してもらいたい。企業優先、収益優先の方策では、100 年後に残せる海を作ることは出来ない。	Ⅰ-2-(1)
No846	デザインは大事だと思う	イ-3-(1)
No847	夜景がキレイなことをアニメ化したりすることでアピールしてほしい。アニメの力で世界に影響力を持たせることができると思う。	Ⅲ-1-(1) イ-3-(1)
No848	横浜市民として山下埠頭エリアの再開発に対して期待することは、みなとみらい地区と並ぶ新たなランドマーク的な景観の創造と、将来を見据えた横浜ベイ	イ-3-(1)

	エリアのグランドデザインをきちんと描くことです。新たな山下埠頭に閉じた再開発計画ではなく、横浜市として全体像をしっかり描いて欲しいと思います。それにより横浜ベイエリアの魅力・誘客・回遊性などが向上し、より一層の地域活性化に繋がると考えます。	
No849	ガンダム立像を再び横浜へ	Ⅲ-1-(1)
No850	みなとみらい地区のどこからでも、みなとみらいらしさを感じられる景観にしたい。夜景、防犯の安心安全など、昔ながらの地域も古いだけではない地域になると安心だと思う。	イ-2-(1)
No851	みなとみらいのようなタワマン乱立で景観を最悪のものにせず、ビジネスビルも含めビル乱立により陸と海との壁を作って風の流れを遮ることのないようにすべき。可能であれば砂浜を設置して、市民の憩いの場ができるようにしたほうがよい。	Ⅰ-1-(1)
No852	横浜市の環境デザインはどこも素晴らしく、他の都市に対しても誇りに思っております。山下ふ頭再開発もカジノ導入が正式に中止となり、安心しております。決断して頂き、有難うございました。山下ふ頭がお洒落なスポットに生まれ変わることは勿論大歓迎ではありますが、それに伴い、観光客が大挙して押し寄せ、交通渋滞が発生したり、地域住民が不快な思いをしないで済むような工夫をお願いいたします。地域住民が観光客に遠慮することなく、ゆったりと過ごせる環境になることを願っております。	Ⅲ-1-(1)
No853	アクセス手段として、中村川の高速高架下の水面上空を利用し石川町/元町中華街駅からの流動をつなげる新型ロープウエイを導入 高さ 50M の回遊できる多層回廊シェル　中にはオフィス/イベント会場 等　表面は季節の花で覆われ、ひたち海浜公園のネモフィラのような集客を期待 遊べる海　泳げる海　浅水化 岸壁の直線部は極力曲線とし、埠頭のイメージを消し「緑の島」を感じさせる	Ⅰ-2-(1)
No854	昨今の猛暑等気候変化に備え、樹々を多く植え、内陸に風の流れを、また、災害防止に全体的に建築物ではなく、芝生の公園。例えば、ロンドンのハイドパーク、ニューヨークのセントラルパークの様に大都市に隣接する大きな公園にする。 周りを塩害に強い樹々（松等）にする。 商業エリアにするのでは無く、何も無い芝生公園が価値になる。（人々を寄せるツール）日差しを遮る”緑の日傘”としての価値、津波を防ぐ森林としての価値、パンフレットの表紙写真をみても緑の割合が弱い、山下公園だけでは少な過ぎる。倉庫を CO2 減少の酸素を創るエリアに転換する。　東京湾のうみの森の横浜版。横浜なのに浜が無い！水辺を浜に再生して、元祖横浜の復活を！	Ⅰ-1-(1) Ⅰ-1-(2)
No855	横浜の中心（山下）は、日本の明治以降最も発展した地域。 歴史を築いた場所（地域）がカジノ等、金で外貨獲得する行政に反対！！ 横浜の新たな象徴となる魅力的な景観を望みます。 改めてしっかりと観光（横浜）実現に取り組んで欲しい。	イ-3-(1)
No856	山下埠頭をスポーツ賭博の場にすることに断固反対します。賭博にすればギャ	Ⅳ

	ンブル依存症が増えつあんが乱れ人心が荒廃することが目に見えています。 港町として歴史的文化的価値を継承している美しい街、横浜を壊してはいけない。市民が集える緑豊かな環境の創生を願っています。	
No857	新港ふ頭はレンガ倉庫の■な建物を■した賑わいのある町づくり（スカイツリーのような目立つシンボルタワーを中心とした町づくり）	イ-3-(1)
No858	横浜市内は、多数の横浜の現場視察経験有。本件意見書は、地方公務員法・地方自治法等による、より良い横浜市運営及びより良い地方自治実現に向けた中立的法律意見記載公文書である。横浜市中期計画 2022～2025「横浜市中期計画 2022～2025」、2025 年 6 月 27 日「山下ふ頭再開発 答申を踏まえた基本的な方向性」等を踏まえ、法的見解を述べる（追加「４」通目である）。　１，再開発方向性基本コンセプトへの「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」反映（意見書３通目に記載）及び「日本初」「横浜発祥」は日本列島の歴史・文化・経済等において欠かせない重要な貢献を果たしてきた」という観点で「統合的に、まとめて、分かり易く」「解説展示する文化施設」の設置 別途提出した山下ふ頭再開発方向性に関する法律意見書３通目において提言している通り、山下ふ頭再開発方向性基本コンセプトに関して、「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」の観点・視点を追加するよう法的観点より提言している。　また、横浜は江戸自体の横浜開港と共に、海外との交流の接点となり、現代日本列島において欠かせない「横浜発祥」の文化や生活インフラ等が数多く創出された。　例）横浜発祥の食べ物：ビール、近代パン、食パン、かき氷、アイスクリーム、ショートケーキ、トマトケチャップ、ナポリタン、ドリア、牛鍋、タンメン（諸説あり）など　例）横浜発祥の「日本初」の文化・生活インフラ関連：新聞、電信電話、鉄道、消防車、救急車、警察署、近代水道、競馬場、ホテル、バー（酒場）、銀行（香港上海銀行横浜支店）、クリーニング（西洋式洗濯）、レコード会社、写真館、公衆トイレ、鉄筋コンクリート建築、テニス（テニスコート）、吹奏楽、初の国産ヨット建造、ガス灯、西洋式街路、街路樹、乗合馬車、税関、洋式公園、国家君が代、最初のカトリック教会、西洋瓦製造、女学校（ミッション・スクール）、洋裁業、西洋理髪、西洋式劇場、和英辞典、トラス鉄橋、西洋歯科医学、石鹸工場、最初の臨海都市公園、近代下水道　以下、２記載目に続く	Ⅲ-1-(1) Ⅳ
No859	１通目より続く　上記を検証するだけでも、横浜で創出された「日本初」「横浜発祥」の文化、生活インフラ等は日本列島の産業化・近代化という側面から見ると、日本列島の歴史・文化・経済において欠かせない重要な貢献をしてきたことはまぎれもない客観的事実である。　別途提出した山下ふ頭再開発方向性に関する法律意見書において提言している通り、山下ふ頭再開発方向性基本コンセプトに関して、「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」の観点・視点を追加するよう法的観点より提言している。 上記「「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」の観点からすると、横浜は開港と共に、海外との交流の接点となり、現代日本列島において欠かせない「横浜発祥」の文化	Ⅲ-1-(1)

	や生活インフラ等が数多く創出されたことを示す横浜文化の基本歴史入門編の解説施設を山下ふ頭内に新設することも上記コンセプトに合致するのではなかろうか。 類似施設として、「横浜開港資料館」、「横浜都市発展記念館」、「神奈川県立歴史博物館」、「横浜みなと博物館」は別々に横浜市内に存在している。 しかし、横浜市「外」より横浜市中心部等を実際に訪問し、横浜開港等以降の横浜港の交流との接点を通じて近代日本列島に大きな影響を与えた横浜の歴史文化・横浜発祥文化を「横浜は開港と共に、海外との交流の接点となり、現代日本列島において欠かせない「横浜発祥」の文化や生活インフラ等が数多く創出され、日本列島の産業化・近代化にとって「日本初」「横浜発祥」は日本列島の歴史・文化・経済等において欠かせない重要な貢献を果たしてきた」という観点で「統合的に、まとめて、分かり易く」「解説展示する文化施設」は横浜市内には「存在しない」と考える。 【法的提言事項】 ・山下ふ頭再開発方向性基本コンセプトへの「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」の観点の反映（意見書３通目に記載） ・「日本初」「横浜発祥」の文化、生活インフラは日本列島の産業化近代化の側面から見ると、歴史・文化・経済等において欠かせない重要な貢献を果たしてきた」という観点で「統合的に、まとめて、分かり易く」「解説展示する文化施設」の設置 ・上記「解説展示する文化施設」と各構成資産を結ぶ観光ルート（文化教育観光ルート）の整備充実	
No860	これまでの委員会等で議論されたのかわかりませんが、毎年山下公園(周辺)で定期的に行われているイベントとの関わりについて、どのような考えを持っているのでしょうか。 山下公園では通年、民間団体主催のカッターレース、ドラゴンボートレース、ベルギービールウィークエンド、ハマフェス、ワールドフェスタ、横浜七夕まつり等、又、横浜市も関わるヨコハマパレード、トライアスロン、横浜マラソン、花と緑のスプリングフェア等があると思います。 これら各イベントが抱える課題や問題点等を包含した再開発をすることで、イベントを拡大、継続、発展させることでより多くの市民が楽しむことが可能となり、来街者にとってもより一層滞在時間を充実したものに出来るかと思います。 なので、一度各主催元へのヒヤリングを行い意見や希望を取るべきと考えます。	Ⅲ-2-(1)
No861	７月に行われたイベントで、騒音がひどかった。他都市の住民に迷惑をかけないでください。	Ⅲ-1-(1)
No862	７月に行われたイベントで、騒音がひどかった。開発をするのであれば、他都市の住民に迷惑をかけないでください。	Ⅲ-1-(1)
No863	軸としたテーマは理解できましたが、その他の選択テーマについては文面が長すぎて想像できない抽象的な内容となっているため具体化してから意見募集をして欲しい。	その他
No864	先日あったようなミセスの野外ライブの騒音問題が発生しないようにしていただきたい	Ⅲ-1-(1)
No865	7 月末、Mrs.GREEN APPLE のライブに参加しました。騒音問題や元町中華街駅の混雑は改善が必要だと思いますが、山下埠頭からの眺めや海風はとてもす	イ-2-(1)

	ばらしかったです。人を魅了する立地ですので、津波などの防災面にも配慮いただき、多くの人（老若男女、国籍問わず）が集い、楽しみ、リラックスできる場所になることを望みます。	
No866	山下ふ頭の周辺はみなとみらいとしての魅力ある施設が多く存在しています。山下ふ頭は今のように、不定期開催のイベント催事などのスペースとして様々な催しを、トレンドに合わせて行っていけばいいと思います。 逆に横浜イコールみなとみらいのイメージが強いため、周辺地域の魅力を拡大していくことが、今後の横浜の発展においてとても重要だと思います。 例えば、根岸にあるエネオス石油製油所などの広大な敷地を再開発の目玉として、新たなランドマークを作っていくとを提案します。※化石燃料の使用は何年、減少傾向なっており、近い将来不要となります。	Ⅳ
No867	初めての試みだったので、仕方ないとは思っています。 ただ、山下埠頭で行われた屋外ライブの騒音はひどいものでした。ライブをやること自体はまったく否定しませんが、流石に数 km 離れた鶴見区での騒音の度合いから考えるに、イベントは大失敗だったと評価せざるを得ません。 子供が寝られないほどの騒音でした。もし、逆の立場だったら、謝罪して回るだろうなと思えるほどの害だったと感じている。	Ⅲ-1-(1)
No868	横浜市内、この間のような野外ライブはやめていただきたい。山下ふ頭をこのように使用されていくのか？不安です。あの騒音の件は、1 日目を終えたあとの対応もせず、横浜の恥です。 イベントをしてくれる会社？アーティスト？の方が立場が上なのでしょうか!? 昔から横浜は「なんとか博」「EXPO」「Y150」と 黒字の成功とは程遠いのではないでしょうか？ 花博も、横浜市民は「またか」の感想です。 それをふまえ、この山下ふ頭はしっかりとしてほしい。ガンダムが 1 番良かった。	Ⅲ-1-(1)
No869	横浜都民の生活が長く、保育園の給食・布団などビックリさせられることの多い横浜でした。それでも、飛鳥田市長などの市民への愛情故、理解できる部分もありましたが、最近は退職後家にいても、市民の意見がどのように反映されているのか全く伝わって来ることがなく、ガッカリさせられています。 今回の山下ふ頭についても、何度市民の意見を募集したとしても、それを計画に盛り込むことがなく、副市長や有力議員・有力企業の方々の意見だけでまとめてしまうなら（市長の意見は市民には不明)、多くの職員たちの無駄な仕事が増えるだけで、意味のないものとなってしまいます。 私たちの地域では、山下ふ頭へのカジノ誘致反対の署名を集めている方がスーパーマーケットや駅頭で声をかけると、賛同する住民が多くかなり集められたと思っておりました。 市長が、「カジノ反対、中学校の給食実施」で市長に立候補したと聞き、みな喜んでいました。さて、その結果はどうだったのでしょう？ 今回の市長選で立候補した市長は、合同演説会には参加なさいませんでしたので、どのようにお考えかは定かではありません。 とは言え、市民はそんなに大量に入れ替わった訳ではなく、今でも「カジノ誘致反対」の方の方が多いでしょう。 ところが市長が誕生して以降、横浜	Ⅳ

	市の副市長も重要なポストも何も変わらず、これまでの前市長の時の計画がそのまま進んでいるように見えるのです。横浜旧市庁舎の売却や関内駅前の再開発については、以前菅さんと決まった計画がそのまま実施されているのはなぜなのでしょうか。山下ふ頭の「事業者提案」に「スポーツベッティング」などオンラインカジノが提案される文章などが何故入っているのか驚かされます。 テーマ１、テーマ２、テーマ３のすべてを満たす計画が可能だとは思えませんが、「市民が結ぶ新たな街の環」を抜きに考えることはできないでしょう。この欄に書かれている内容の細かいところすべてを計画に入れることもできないと思いますが、市民の意見をないがしろにした計画は認められません。 まずは新たな意見募集の内容、「市民代表も入る事業計画検討委員会」と共に検討した内容をその度に市民に伝えていただきたいと思っています。	
No870	３．市民生活の持続的向上に資する、長期的視野に立った再開発・まちづくりのあり方（1）山下ふ頭は市民の共有財産であり、都市空間としての公共性を最大限に尊重すべきである。本来この地は、「市民が集い、憩い、交流し、活動し、文化を育み発信する」ための、開かれた生活空間として位置づけられるべきである。収益性や集客力を前面に押し出した開発は、たとえ外観が華やかであっても、人間的な温もりや地域の歴史的・文化的背景を反映しない空虚な空間となりかねず、結果として市民にとって魅力の乏しい場となる危険性がある。（2）無機質で空間を圧迫する高層建築物や舗装された広場・道路面積の増加を慎重に抑制し、自然環境との調和を重視した空間設計が求められる。山下ふ頭の再開発においては、都市の喧騒から一歩離れた「里山的な環境」との親和性を意識し、緑豊かな景観と市民の身体感覚に寄り添う空間構成を追求すべきである。これにより、都市における自然との共生を体現する象徴的な場として、持続可能で人間中心のまちづくりを実現することが可能となる。（3）郊外住宅地の限界集落化と切り捨ての傾向は、短期的利便性を優先した都市計画の帰結である。市内郊外部において、鉄道駅からやや離れた自然環境に恵まれた住宅地では、住民の高齢化とともに生活利便性の高い駅周辺の集合住宅への移住が進み、結果として空洞化・限界集落化が顕著となっている。これは、行政が収益性や即効性のある利便性を優先し、持続可能な居住環境の形成や地域コミュニティの維持に対する長期的展望を欠いた都市計画を推進してきた証左である。山下ふ頭の再開発においても、同様の轍を踏むことなく、将来世代の生活基盤を見据えた構想が不可欠である。	Ⅰ-2-(1)
No871	住民基本台帳から無作為抽出した市民による検討会を実施するという。傍聴はできないということだが、どのような意見が出たのか、すぐに公表するべきだと思う。	Ⅳ
No872	今ちょうど AI 時代が来ています。 今後の議論や計画策定にも AI を導入して新しい市民参加の形として先進アピールできるようにすると良いと思いました。具体的には以下の 2 つを考えています。 1. 市民代表 AI: これまで市民から出た意見を全部学習させた AI を作り会議に参加させる 2. 有識者 AI: 有識者の意	その他

	見や「答申を踏まえた基本的な方向性」を学習させたAIを作り、横浜市のウェブサイトに設置して24時間365日市民が疑問点の問い合わせや意見交換をすることができるようにする　検討委員会にも色々意見送ってみたものの、委員会の冒頭でざっと流されたり、人数で集計されたりしたり、限られた市民がワークショップしたりするだけではいまいち反映されている実感に乏しかったです。ご検討のほどよろしくおねがいします。	
No873	9月に意見募集を締切り、年度末までに方向性を示すというのは、拙速と思います。 上がってきた意見を市民にも示し、 その上で再意見募集をして下さい。	その他
No874	2019年（令和元年）8月22日前市長がIR誘致の表明をしてから、カジノの是非を住民投票で決めようという条例制定の請求運動が始まりました。この時の率直な気持ちは、「あの大好きな港周辺になぜ賭博場をつくるのか、これまであった横浜らしさがなくなってしまうのではないか」というものでした。我が家から半径1キロメートルを回って署名を集め、多くの人と話し合ったり、考えを聞かされたりしました。勿論カジノ賛成の人もいましたが、多くの人は疑問に思ったり、怒ったりしていました。　今回、山下ふ頭再開発の経緯を調べて、改めて多くの人の疑問や怒りの理由を明確にする事ができました。横浜は、都市デザイン、まちづくりの中で飛鳥田市政の時から、ずっと【横浜らしさ】を大切にしてきました。【横浜らしさ】とは、「エキゾチックな都市環境」と「緑のネットワーク」「水際線を市民に開放し、臨海部に公園を造成」する事です。「エキゾチックな都市環境」は、「歴史を生かした町づくり」へと引き継がれ、旧英国七番館、エリスマン邸、カトリック山手教会聖堂、ホテルニューグランド本館、旧第一銀行等の復元、保存もこの頃から進められてきました。その後も横浜にある建造物の復元と保存は、今もずっと続けられています。「緑のネットワーク」とは、JR関内駅西側の大通り公園から、元市庁舎周辺にあるくすのき広場、そして横浜公園（ベイスターズスタジアムがある所）から日本大通り、そして山下公園への「緑の軸線」のことです。「水際線を市民に開放し、臨海部に公園を造成」とは、一つが山下公園から象の鼻公園、汽車道、赤レンガ倉庫、ハンマーヘッド、臨港パークへ、もう一つが汽車道から日本丸メモリアルパーク、ドッグヤードガーデンへと続く「ウォーターフロント軸線」のことです。　1977年横浜市企画調整局都市デザインチームに入庁した北沢猛さんは、『港町横浜の都市形成史』を作り始め、市内の歴史遺産の調査をし、1000件の建築物、100件の町並み等をリストアップしました。北沢さんがデザインされた象の鼻公園、ドッグヤードーデン、噴水広場などはとてもユニークで横浜らしさを象徴しています。しかし、そうした【横浜らしさ】は、前市長による経済重視のカジノを含むマスタープランによって大きく変容されようとしました。カジノ反対に大きな声を挙げた市民は、これまでの横浜の町づくりの歴史の中で、至極自然であり、当然そしてかつ必然だったと今更ながらに感じています。今回の山下ふ頭再開発の「答申を踏まえた基本的な方向性」も大きな目で見たら、マスタープランの枠から出ていません。　山下ふ頭再開発に当たっては、市民意見募集、意見交換会、今回新	その他

	たに市民検討会等いろいろな取組がなされていますが、市民の意見がどのように反映されたのか、また反映されるのか分かりません。飛鳥田市政の時に横浜市では以下のような取組を行っています。　『1973 年（S 48 年 8 月）「横浜市総合計画 1985－市民による新しいまちづくり－」を横浜国際港都建設審議会に諮問した。これに合わせて、我が国でも初めてと言われる全市をあげての市民討論集会「明日の横浜を話し合う区民の集い」を 42 回開催。8800 人の市民参加を得て討論を行った。 1973 年(S 48 年 11 月)審議会では市民討論も参考にして審議が進められ、48 年 11 月に答申をもらった。 1973 年(S 48 年 12 月)「横浜市基本構想」に沿った本市の長期目標計画「横浜市総合計画 1985」を確定。　市民の意見は様々で、総合的に判断され、審議会答申 115 件の意見の内、83 件は市民討議における意見や提案が反映された。答申に示されなかった意見は、総合計画の確定、実施などの段階で趣旨を可能な限り、十分に配慮するよう申し入れがなされた。』YLAP Yokohama Report 「横浜の都市づくり-開港から 21 世紀へ」YLAP 横浜レポート(日英両文) 田村明記念・まちづくり研究会　横浜市総合計画 1985part1 part2 part3 から抜粋　　370 万人の人口の横浜市で、市民の声を聞くことは、大変な事だとは思いますが、過去にやっていたことなので、できると思います。区ごとに分ける、人口の多いところは区をさらにいくつかに分ける、そして会議を行い審議していく。大変時間がかかると思いますが、こうした過程を経ることで納得がいく再開発ができると思います。目の前の金儲けに走るよりも、50 年 100 年先まで持続可能かを考えて、慎重に取り組むことが、カジノのような失敗を繰り返さないと言うことだと思います。	
No875	山下ふ頭の将来像(こうした施設があればという意見) 私は、今現在は、現役で関わってはいないものの数年前まで複数の海運・港湾の企業において、通関士の 1 人として横浜港で荷揚げ或いは輸出される貨物の通関業務に携わっておりました。市内の取引先や税関、保税倉庫、埠頭へと出向く事も多く、車で或いは徒歩で、横浜の港湾地域を中心に回るうちに開港当初から或いは文明開化期や昭和の高度成長期に多いに人々で賑い活気を見せたと思われる近代建築等も数多く残る日本を代表する大都市でありながら、他都市にない異国情緒を伴い、洗練されたグレードの高さと落ち着きを感じさせる街並を愛して止まない 1 人として、やはり通関業務で出向く事の多かった山下ふ頭の将来的な在り方について希望を述べさせて頂ければと思いました。　　横浜には、開港資料館をはじめ横浜税関本館の資料室、横浜都市発展記念館(ユーラシア文化館)、横浜みなと博物館(みなとみらい)、また横浜市立中央図書館にも膨大な郷土資料の他、資料室もあり横浜の文化発展に関する資料については様々点在しています。　また、横浜は日本で最初期の開港場の 1 つである事から外国人居留地を端緒とする食生活・娯楽・通信技術・語学・園芸を含む教育等様々な文化普及の発信基地となり、また、第二次大戦後米国海軍に市内の多くの主要施設が接収された時期にもその後芸能人として活躍する事になるミュージシャンの活動の場として発展してきた時期があり、いわば「横浜ことはじめ」を主要テーマとしたミュージアムと	Ⅳ

	して上記の資料類の集約化、また、横浜は、第二次大戦後市主要部が米国軍によって、海岸通りの横浜税関本関を司令部として、接収され、1965 年に開始したベトナム戦争後期には、相模原市にある相模総合補給廠において修理された戦車等を瑞穂埠頭(村雨橋経由)からベトナムへ送り返す動きに対して、ベトナム戦争への加担に繋がる事を阻止したいとして市民が立ち上がり人海戦術で抵抗を繰り広げた、「戦車闘争」の経験、今現在も米海軍の拠点として横須賀港と同様に駐留を継続している事に関して、米軍基地関連の資料を集成した平和的な都市の在り方への思いを託せるような平和祈念資料館、また国内には近代建築に関する専門図書館・資料館は存在しない事からそうした図書館・資料館及びこれまでの文化的遺産・財産を大事にすると同時に時代の変化に合わせ、物の流通拠点としてだけでなく、教育者を多く輩出した歴史にも倣い、人的交流特に国際交流の拠点としての教育的機能を持つワークスペース・ホール機能などを持つ複合施設的図書館・博物館を設置し、横浜市民のシビックプライドの象徴となるようなものが出来ればと思いました。また、JR 他横浜駅や桜木町駅・みなとみらい駅・関内駅・馬車道駅・日本大通駅といった地域でアクセスのいい場所に市立図書館がないと思われる事も提案の 1 つの理由です。	
No876	ガンダムのプラモデルやフィギュア、何万もするものもあります。それらを子供が購入できますか？購入するのは大人なのです。GYF の入場者も大人が多かったです。TV で親に連れられて来た子が動くガンダムに感動し、科学方面に興味を持つなど、教育にも役立つ部分はあるかと思います（再建設の際に楽しみながら科学や技術が学べるものがあると更に良いと思います） 未だに日本の年配の方や自治体、政府関係者は、アニメ＝子供のものと固定概念がありますが、もうそんな時代ではありません。鬼滅の刃がタイムズスクエアを占拠したり、聖闘士星矢のコンサートが中南米で開催されたり、今や世界に誇れる日本の文化でありビジネスにもなり得るものであると認識を改めてください。	Ⅲ-1-(1)
No877	提示された将来像は理念的で耳障りは良いものの、具体的にどのような事業が計画され、どんな生活環境が実現されるのかが見えません。特に、市民の日常生活に与える影響や、現在の地域との接続性、治安・災害対策・交通対策などの観点が不足しています。抽象的な理想像よりも、実行可能性や優先順位を示す具体的な検討案を提示いただきたいと思います。」	イ-2-(1)
No878	全体的にまだ言葉や概念が先行していて、将来のイメージを描けませんでした。今後の具体的な取り組みや計画を注視していきたいと思います。地元民としては、来街者増加に伴う激しい混雑の緩和やマナーの低下を防ぐことにも配慮して頂きたいと思います。	Ⅲ-1-(2)
No879	持続性のある計画にして欲しい	その他
No880	今年度で、計画を立てる事をやめて欲しいです。数年かかってもいい。市民のための山下埠頭再開発になるように、事業者も投票で選べるようにして欲しい。予算希望を示して欲しい。中学校給食が、不衛生のまま提供されようとしている。山下埠頭再開発も大事だが、インフラ整備、中学校給食も大切。そちらにお金遣	その他

	ってほしいです。この意見募集と、次の意見募集をもって、「市民の意見を聞きました」というアリバイづくりにしないで欲しいです。出てきた事業案に対しても、何度でも意見を言いたいし、無駄遣いしないで欲しいし、具体的に市民参加の場を作るべき(アンケートだけではなく)	
No881	観光名所である山下ふ頭の再開発自体がまだ市民に対してアピール不足だと思うもっと PR した方がよい	Ⅲ-1-(2)
No882	食、おみやげそんなスペースもあれば人が増えると思います	Ⅲ-1-(1)
No883	ざっくりしすぎて果たして上手くいくのか不透明な感じがする。山下埠頭が盛り上がれば廃れていく元町商店街も変化するのではないかと期待します。	Ⅲ-2-(1)
No884	横浜の歴史を知る街路樹、市民の日陰を確保してきた街路樹の伐採が目立ちます。伐採したら植林して新しい木を育ててください。	Ⅳ
No885	横浜市の財政を考え、投資対効果を明確に示すべきである。全体的にきれいごとで将来像のイメージが具体的に浮かばない。無尽蔵に費用をかければいいものはできるかもしれないが、中途半端にできましたというだけで構築してよかったという将来像が浮かばない。財政の健全化を図るべく、投資対効果を考えて、まず市民満足度を優先すべきである。くれぐれも中途半端な計画倒れにならないようにしてほしい。市長が変わり責任の所在があいまいにならないように、責任感を持って対応してほしい。	Ⅳ
No886	進め方についての意見です。私自身は以前、市役所で開催された市民意見交換会に参加させていただきました。以前進めていた IR 誘致取り下げの経緯から、市民の理解を得ながら進めるプロセスが重要であることを一市民としても理解する一方、過度の市民意見を取り入れる進め方に疑問を感じます。山下ふ頭の開発に関心がない(このような市民意見の場で表明することがない)大多数の市民が期待することは、市民生活への還元であり、具体的には税収増だと思います。そのため、税収増につなげる視点からグランドビジョンを描くことが大事であり、その主体となるのは市民ではなく、行政や企業になると思います。長期的な都市経営(都市間競争、経済発展による日本の国際競争力強化)の視点から、行政としてのグランドビジョンを描き、そのビジョンを実現するプレイヤーである企業との連携を強化して、山下ふ頭の開発が力強く推進されていくことを期待します。また IR と同じように、必要に応じて国の政策と連携しながら、国土の中での横浜市の役割を担っていく視点も必要と思います。以上を踏まえ全体像へのコメントですが、山下ふ頭は現状、全市域からの交通アクセスが良い立地ではないため、市民が利用する空間であることよりも、税収増や経済発展につながる機能を集積させた方が効率が良いと考えます。将来像のキーワードとして挙げられている「賑わい」や「イノベーション」を生み出すためには、企業による経済活動が不可欠であり、3 つのテーマが重なる地点の主体として企業よりも市民が強調されている理由がよく分かりませんでした(まちづくりへの参画も抽象的な表現で、多くの市民が山下ふ頭にそれらの場所を望んでいるとはあまり思えません)。市民活動の場よりも、企業の経済活動の場があった方が良いと思い	Ⅱ-1-(1)

	ます。市民利用を重視しないという判断はとりづらいと思いますが、より長期的かつ本質的な視点で「結果として多くの市民の生活が豊かになるための開発」という確固たる軸をもって計画が進むことを望みます。以上が、山下ふ頭の開発に関する市民プロジェクトや、意見交換会などに参加して個人的に思うことです。声の大きい一部の意見や内輪的な発想の意見などに左右されず、長期的な公益のために着実に前進していくことを期待します。	
No887	市民参加で意見を反応して下さい。	Ⅳ
No888	横浜市民の公有地は市民の声を聞き、市民の人々のための利用地として設営されることが大事です。 市民の声を聞いて意見を反映させてください。民主的なプロセスと運用を行って下さい。	Ⅳ
No889	まずは前々市長の山下埠頭のカジノ構想を反対して当選した現市長が何故オンラインカジノを持ち出してきたのか。ミイラ取りがミイラになったのでしょうか。横浜芸術文化創造都市の施策が以前よりあります。現在の横浜トリエンナーレのメイン会場は横浜芙術館ですが、現代アートフェアとしては、横浜美術館を会場として活かしつつ、現代アート作品展示に相応しい施設整備を考えてもらいたいです。飛烏田市長の現代美術館構想がありましたので。トリエンナーレは3年に一度の開催を考えて、横浜美術館の分館としての現代アート展示館を考えても良いかと思います。また現在の高架下の黄金町バザールを山下埠頭に移設することも案としてあってもよいかと思います。黄金町バザールを時々通りますが、正直いって寂しい感じがしています。高架下の利用も考えないといけませんが、新たな商店街構想はどうでしょうか。権利関係がどうなっているのかわかりませんが。	Ⅲ-1-(1)
No890	・現在山の上にあってとても利用が不便な「横浜市民ギャラリー」を廃止して、山下ふ頭地区に新設して下さい。 ・新市民ギャラリーは、市民活動支援として、大、中、小美術団体がいろいろ発表できるようにして下さい。 ・音楽、ダンスなどの市民活動支援もあわせて発表できるような施設が欲しい。これも大、中、小いろいろな会場があった方がよい。 ・上野の東京文化会館、横浜美術館のような、CD、映像含む図書資料館も併設してほしい。 芸術の都上野公園地区をコンパクトにした魅力的な山下ふ頭公園地区を創造する。	Ⅳ
No891	全体的に美しいし良いと思いますが市民がお金を掛けずに寛げる空間を基本にして欲しいです。ロープウェイとか廃止しろとは言いませんが明らかに観光客向けの価格設定で利用できないので、せっかく出来る空間がそういうものばかりだとがっかりします。東京都内のようにビジネスマンんおまちではなく横浜は住民主体の街だと思うので市民が快適に暮らせるようにして欲しいです。私はオーストラリアによく旅行に行っていましたが、公園にすごく安価に利用で	Ⅰ-1-(1) Ⅳ

	きるバーベキューコンロ（ゴールドコーストなど）がありました。確かワンコインでバーベキューが楽しめるようなコンロでした。普通に日常ユースで肉などをスーパーで購入したりつまり持ち込みでコンロで焼き芝生でレジャーシートなどで食べる感じです。みなとみらいの方も確か持ち込みのバーベキュー施設はできたと思いますがアホみたいに高くて利用するのが馬鹿らしいです。高校生などでもお小遣いでつまり高くても五百円、できれば百円くらいで利用できるような施設を用意して欲しいです。バーベキュー施設を作るというような直接的な要求というよりは商売っけばかり出さずにそういう感覚で市民が利用できるものにして欲しいということです。	

包含・賛同

計　755 件

No	意見全文
No1	市民や日本人が安心して過ごせる空間にしてほしい 横浜の歴史や文化が感じとれる空間にしてほしい
No2	今回のテーマいいと思います。この広さならバーベキューだったり家族連れで遊べる施設あればとてもいい感じになりますね。
No3	横浜の臨海部では、みなとみらい地区は活性化され観光客等も多い一方で、山下公園周辺が少し寂しい気がします。山下埠頭に魅力的な施設を作ることで、臨海部全体の活性化につながると思います。そのためには、開発目的を広く周知し、より多くの事業者から意見を聞き、実現性が高く、国内はもちろん海外からのインバウンドも引き寄せる魅力的な開発計画を策定して欲しい。
No4	交通の便が良ければ人が集まると思います
No5	山下ふ頭は、現在、横浜沿岸部で横浜の魅力を創出できる唯一のエリアです。このエリアで市内経済の活性化に取り組むことは、自治体の責務です。私たち市民の生活及び自治体が潤っていくことが国や自治体の取り組むべきミッションであり、緑よりも経済発展につながる取り組みを進めることを強く望みます。
No6	山下ふ頭は、現在、横浜沿岸部で横浜の魅力を創出できる唯一のエリアです。このエリアで市内経済の活性化に取り組むことは、自治体の責務です。私たち市民の生活及び自治体そのものが潤い施策を充実できるようになることが自治体や国が取り組むべきミッションであり、緑よりも経済発展につながる取り組みを進めることを強く望みます。
No7	1，横浜市内は、多数の横浜の現場視察経験有。本件意見書は、地方公務員法等による、より良い横浜市運営及びより良い地方自治実現に向けた中立的法律意見記載公文書である。横浜市中期計画 2022～2025「横浜市中期計画 2022～2025」、「答申を踏まえた基本的な方向性」（2025 年 7 月）2025 年 6 月 27 日「山下ふ頭再開発 答申を踏まえた基本的な方向性」横浜市戦略（関連施策）横浜市は「都心臨海部再生マスタープラン」や「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」等を踏まえ、法的見解を述べる（追加 3 通目である）。　横浜市は、施政戦略において、横浜駅周辺、みなとみらい、関内・関外地区の統合的な発展を目指している。山下ふ頭は、都心臨海部の核として、関連地区との連携を視野に入れ再開発計画を構想中である。 横浜の歴史は、開港以来積み重ねた歴史があり、みなとみらい、新港地区最開発等も踏まえると、山下ふ頭再開発コンセプト基本方向性については、「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」という観点も反映させることが望ましい。 具体的には、山下ふ頭の山下臨港線跡の鉄道歴史資産（汽車道、旧横浜港駅プラットホーム跡、山下臨港線プロムナード）、赤レンガ倉庫跡などが横浜港の物流を支えた歴史資産及び観光資源として保存されつつ、地区再開発が実施されている。　これを現在提示されている 2025 年 6 月 27 日「山下ふ頭再開発 答申を踏まえた基本的な方向性」を検証すると、「世界に誇れ

	る、魅せる「緑と海辺」空間」、「持続可能なまちを支える明日へのイノベーション」「活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい」「市民が結ぶ新たなまちの環」「「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構築と空間整備」という方向性は盛り込まれているが、みなとみらい、新港地区等と同じく、横浜の港の顔・結節点となる地区再開発にも関わらず、「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」という観点又は視点は提示された基本コンセプトにおいては乏しいものと考える。　以下、下記欄に続く
No8	●期待感・応援 開放感や港の雰囲気を活かした街づくりに期待。 多くの人が集まれる楽しい場所になることを楽しみにしています。　●市民ではないですが希望/要望 横浜に行くたびに新しい発見ができるような街並みになることを期待。イベント利用者にも使いやすい交通アクセスや案内表示があると助かります。　●その他素朴な感想 どんな場所になるのか、情報発信をもっと増やしてほしい。 家族連れも楽しめる場所だといいなと思います。
No9	海辺の景観を活かして大阪万博の大屋根リングのようなものがあるといいと思う。ミセスのライブが開催されるが、大規模イベントが開催できるような広場があるといい。ウメキタの広場が参考になると思う。誰もが行けるエンタメ、リゾート施設中心がいいと思う。
No10	生まれ変わる山下埠頭を素敵に変えてください。
No11	どのような使われ方がされるのか具体的な案を教えてほしい。子供が雨でも楽しめる施設が欲しいです。
No12	山下ふ頭の歴史について記載されていたが、このような内容を開発空間のどこかで紹介できるとよい。紹介ブースみたいなものを部屋として設置してしまうと、陳腐化し、ほどんど誰も寄り付かない空間となりそうなので、例えば歩行者通路に沿って壁面などに連続的にパネルを設置することやちょっとした空間を設置することなどが良いのではないか。　（横浜駅の南北連絡通路や桜木町駅周辺などのように）
No13	横浜を目的に、国外、国内を問わず様々な方が来るような策を本気で考えてほしい。昔から住んでいる横浜市民が考えているよりも横浜のブランド力というか、わざわざ目的に来るような魅力はないと思う。 もうすることはないとは思いますが、昨今のオンラインカジノの事例を見ても、カジノというか、公営ギャンブルの需要はあるのではと思う。 横浜市の財政ですべてするのは無理だと思うので、固定資産税の減免等横浜に誘致するインセンティブを与えて、巨大資本を誘致する策を検討してほしい。
No14	１．計画全体への意見（将来像について）　テーマ１：世界に誇れる魅せる「緑と海辺」空間　・素敵な空間をずっと維持していくためには、お金や手間がかかると思います。市の負担が大きくなりすぎないように、収益もしっかり考えながら工夫して進めてほしいです。　・横浜らしい緑や景観にしてほしいです。どこにでもあるようなものではなく、横浜の歴史や文化、港の雰囲気を感じられる独自性があると良いと思います。　・地球環境のためにも、再生可能エネルギーや省エネ設備をきちんと取り入れて、未来につながる街づくりを目指してほしいです。　テーマ２：持続可能なまちを支える明日へのイノベーション　・変化の激しい時代なので、一度きりの取り組

	みにならないよう、時代に合わせて柔軟に新しいアイデアを取り入れられる街になってほしいです。　・みなとみらいや山下公園、スタジアムなど、すでにある施設との連携も考えて、エリア全体でバランスが取れるよう計画してもらいたいです。　・民間の力もどんどん活かして、利益も生み出せる、先進的なサービスや新しい街の機能を持った場所になるとうれしいです。　・見た目だけでなく、実際に住む人や訪れる人にとって本当に役立つ街を目指してほしいです。　テーマ３：活気に満ちあふれ周辺へと広がる新たな賑わい　・新しい交通インフラ、特にモビリティサービスや今までなかった乗り物・駅などの整備に期待します。　・たとえば駅やロープウェイ、船着き場、空飛ぶクルマのポートなど、日常も観光も便利でワクワクできる設備があるとうれしいです。　・「ただの延長」ではなく、横浜ならではの個性ある、世界に誇れる賑わいのあるエリアになることを期待します。　・まちの空間づくりと、それに合わせたイベントや魅力的なコンテンツの両方で賑わいをつくってほしいです。
No15	カジノ等の治安が心配になる計画が無く安心しました。
No16	耳馴染みの良い言葉を並べているだけで、具体性が何も無い。このままいったら、ただ税金をかけて再整備を下だけで、多大な負債となるだけではないか。賑わいは大事だが、市の内外から何度も足を運んでもらえるような柱になる施設を決めてほしい。カジノはもう無理だろうが、横浜に来ないと体験できないようなものが望ましいのではないか。
No17	費用対効果を優先するあまり、商業施設の誘致や東京で行っているような再開発は望まない。せっかくカジノ計画を白紙にしたのならホテルやショッピングセンターは当初計画と重複している。いっそのこと森林公園やスタジアムなど市民のいこいの場になる施設を望みます。また、港でもあるので船舶の停泊や廃船の展示などのアトラクション的な施設もあるといいと思います。
No18	自然(緑、海の融合)が溢れる、テーマパーク、公園のようなもの。 経済効果にも期待したいので有料の施設がいいです。
No19	誰でも入ることができる・マナーをわきまえて他人の意向も配慮することをもってして何でもできる場所とする。そのために必要（施設設置（工事)・維持管理・運営、等々）な経費に充てることのみに「(使用）料金」を充てる。
No20	再開発では、世界に誇る横浜のふ頭になるように大規模に開発してほしいです。こじんまりとした再開発では継続的な集客につながりにくいのではないかと思うので、開発イメージに関することは山下ふ頭でできるんだとわかりやすいものにしてほしいです。
No21	遠くから見ても近くから見ても、美しく楽しく憧れの景色であってほしい。みなとみらいの景観やベイブリッジ等ととあわせストーリー性のあるデザインの構築、横浜らしい華やかな再開発を希望します。
No22	横浜ドーム球場を新設して、元町中華街から動く歩道で繋げます。また、横浜駅から海上バスで直接アクセス可能にします。ドーム球場周辺はみなとみらいの風景を眺める公園、カフェ、レストラン、ホテルなどを配置します。既存の横浜スタジアムは解体して横浜公園は公園として残します。

No23	長崎に出来た、長崎スタジアムシティの様な集合型のイベント会場など良いのでは無いでしょうか？ イベント会場、商業施設、ホテル、野球場(ベイスターズ)、サッカー場(マリノス)、体育館(ビーコル)、武道館、その他スポーツ施設等、各種練習場などで、多種多様な人が集まり、観る人も参加する人もワクワク出来て、横浜の胸の張れる複合施設になれば良いと思います。
No24	スペースを有効活用した子供が喜ぶ遊び場を追加してほしい。子連れの遊び場があれば観光も併せて東京や千葉などからも家族で遊びにきてくれると思う。　その際に周辺地域(中区)は割引があると地域に還元されて良いと思う。　具体的には水遊びできる広場、大型遊具など。 横浜を盛り立てることになると思う。
No25	災害時に機能できる、市民憩いの場所としてほしい
No26	世界中の人が知っているような、観光地になってほしいと願います ロサンゼルスやヴェネツィア、コペンハーゲンのような海に面している都市ならではの魅力を拡大していってほしいです
No27	概ね賛成。 交流、憩いの場、定期的なイベント開催など、土地の広さを活かした場所作り。 イベント時の交通網の拡大。
No28	1、施設を作る場合、申請しないと使えない部屋等の申請方法を分かりやすく簡略化してほしいです。　2、近年、外国人による迷惑行為が増加傾向にあるので警戒の強化を行っていただきたいです。　3、何かしら大きなイベントを行うと毎回路駐や渋滞により交通が止まるので対策を行っていただきたいです。
No29	ヨーロッパの港町のような開かれた街並みで、ゆとりのある土地の利用をお願いしたい。 イメージはポルトガルのドウロ川沿い。
No30	全天候型の子どもを中心とした遊び場。子どもが楽しめる場所に。
No31	個人や企業が所有しない、個人や企業社員の居住場所とはならない事。開発域は公共の場で利用には横浜市民に優遇されたものとし、特定のスポーツ施設やアウトレットなどではなく、開放的で将来的ににも維持できるみなと未来地区 山下公園や港の見える丘などとつながる緑と海辺の(セントラル・パーク)憩いの場となる事を願っています。
No32	山下埠頭は元町中華街駅からも徒歩で少し距離があるので、おそらくはバスを中心とした交通の強化を考えているのでしょうが、そこをお願いしたいです。あとは、湾をぐるっと見渡せるように低層で緑あふれる一帯のある空間にして欲しいです。カジノ構想はダメです。
No33	緑と海辺は良いが、物理的にも経済上も「持続可能」であることが不可欠。エネルギーの収支を合わせ、稼げることで金銭的な収支を黒字にして、いったん作ったものを維持するだけでなくアップデートしていける余地を残すこと、が重要。横浜市民だけのものでなく、日本の資産として戦略的に活用する視点で考えていただきたい。 単なる「憩いの場」的なものは最悪。将来に向けての「価値」を生み出すものにしていかないと単なる負債になりかねない。
No34	観光地として優秀、かつランニングやトライアスロンなどの競技が行われていることからスポーツをする人の利用も見込める場所。 水族館(他に近場で大きい所だと、八

	景島や江の島と遠いため競合しない)と水族館を活かしたホテル、また一階にスポーツジムか入浴施設の併設された施設だと利用者が見込めるのではないでしょうか？
No35	基本的には車で利用、電車なら横浜市営地下鉄から利用しますが、子供連れでいくには徒歩が多く、気合が必要なため中々利用したことがありません。 魅力的なイベントも多いのですが、そういう時は駐車場も埋まっていて人も多く、普段づかいは難しいなと思っています。 近頃は外国人観光客も多く、足が遠のいてました。 自然環境を残しながら、子供向けで楽しめるものがあるといいなと思います。 また、アクセスのしやすさももっと欲しいなと思います。
No36	人が多過ぎて困るので商業施設、観光施設はこれ以上必要ないです。難しいと思うけれど空港が欲しいです。もしくはみなとみらい地区に大学や企業が集まりつつあるので研究施設、ないし、古すぎる横浜国立大学を移転してリサーチパークにして欲しい。市の指針に沿ってであれば、緑地と人口海岸を作って八景島のような自然体験の場にして欲しい。　治安が悪化するのでカジノは絶対にやめて欲しい。
No37	各テーマのどれも魅力的です。商業施設が少なく、緑・文化・歴史を感じるものがいいです。
No38	山下ふ頭が日本そして世界最先端の脱炭素都市として発展する
No39	ドーム(ベイスターズ拠点)を建設してほしい。横浜スタジアムの老朽化、近年の温暖化による昼夜問わず猛暑であることなどを考えると、近い将来、ナイターでの試合も厳しくなると思われるため早急にドーム化計画を立てなければならないと思う。　イベント会場(音楽等の)にするのは辞めてほしい。既にぴあアリーナ、K アリーナ、横浜アリーナがあるため必要ない。また、先日の Mrs. GREEN APPLE の騒音問題を考えるとフェス会場として使うのであれば昼間に限定すべきである。その点、ドームにすればライブ等を行ったとしても風向き等で音が響き渡ることは少ないと思われる。山下公園から続く、緑溢れる公園内のドームのようなものが出来てほしい。
No40	子供と老人のための施設にしてほしい。 外国人のための施設には反対します。 安心安全な横浜市民の子どもの遊び場や子どもの教育施設、レジャー施設にしてほしい。老人が安心して来られるようなバリアフリーのレジャー施設にしてほしい。図書館や勉強施設も入れてほしい。
No41	方向性はいいと思うが、具体策がないので今ひとつイメージがわかない。
No42	賛成致します。横浜の地域特性を活かした、SDGs を意識した将来像になっていると思いました。
No43	外国人も来たくなるような日本の観光地として活用して欲しいです
No44	山下公園にかけて街の景観に憧れ 20 年前から近隣に移り住んできました。横浜のシンボルであるこの景観が損なわれることない開発を希望して止みません。以下、案です。 出島の特性を活かした他県ウォーターフロントを例にして、公共交通機関の拡充(現在車移動のみ)が不可欠な上で、①大学研究施設(横浜市大医学部は此処が善かった)、②(音漏れ防止等設備対策をした近隣迷惑のない)大規模イベントホール、③低層集合住宅、④五つ星ホテル隣接の商業施設、⑤水際プロムナード(臨港パークから徒歩散策で繋がる)

No45	オーガニックや自然栽培、だれでも楽しめるヴィーガングルテンフリー店舗が嬉しいまた、授乳室を増やして欲しい
No46	新たな箱モノはいりません。自然を生かして緑豊かな市民の憩いの場にしてすださい。
No47	キッザニア横浜を作って欲しいです。それ以外では子どもと楽しめる施設をお願いしたいです。
No48	DNA ベイスターズの野球ドームや、横浜エクセレンスのバスケアリーナなど、横浜に密着したチームによるスポーツで盛り上げて欲しいです。
No49	シドニーのように、海上レストランや海上ショッピングモールを置くことで、より外観がよくなると考えられる。また横浜はみなとみらい地区に関してはかなり素晴らしいと感じるが、海の上には何も無く全体的にみると寂しい。なので人口島を作り、島から島へフェリーや水以上ボートで移動できるようにしたり、人口島でバーベキューができたり様々なイベントを開催したりするなどするとより魅力的な街になると思う。
No50	緑と海辺とありますが緑は、山下公園にあるので海と港に焦点を当てた方が横浜らしいと思います。
No51	交通手段・移動手段の整備とありますが、現代人は運動不足になりがちなので、ぜひ歩くのが楽しくなるような街づくりをお願いしたいです。もちろん、足腰の弱い方などのためにバリアフリーや便利な交通手段もあって良いとは思います。
No52	掲げられたテーマにする必要性を感じない。緑と海辺は山下公園ですでに実現されている。　大型テーマパーク、ライブ会場、世界レベルの会社の誘致など、横浜市に利益をもたらすことが重要と考える。
No53	海外に 15 年滞在したのち昨年帰国後の居住地として横浜に住み始めた立場で申し上げると、地元の人も新しく住み始めた人も、横浜に住むという選択の時点で既に高いシビックプライドを持ち合わせていると感じるため、巨額の投資をしてまでシビックプライドを醸成をする必要はないと感じます。 海岸線を有し、埋立地や丘陵が多い土地の特性から、防災面の強化は必要だと感じます。
No54	令和 3 年の IR 誘致を撤回していただき本当によかったと思っております。ありがとうございました。 あの辺りは、夜になると真っ暗であまり通りたくない 場所になるので、緑が多く横浜市が活性化する再開発なら、大歓迎です。ただカジノなどの娯楽施設は、 絶対に作らないでいただきたいです。
No55	もっも災害に対応できる作りにしてほしい。 明るい未来も大事だか、 人口減少、少子高齢化に対応している山下埠頭、横浜みなとみらいにしてほしい。
No56	現地の地理的な特性は、横浜都心部・みなとみらい 21 からは近いが、駅からは遠いことだ。関内駅からは、徒歩 27 分。バスは 25 分プラス待ち時間で 30 分以上。遠すぎる。これを解決するにはシャトルバスを使うしかない。路線バスより速い。　以上を考えると、シャトルバスを使える高級施設が適合する。会社ビルやアリーナならば客がシャトルバスの料金を払える。大学や公園ならば客がシャトルバスの料金を払えない。
No57	上の補足。　◆戦略的含意　アクセスの弱さは**「高単価・高付加価値施設で回収」**

	する方向でしか解消できない。「広く安く人を集める施設」はアクセス面で不利。 計画段階からシャトル運行コスト込みで事業モデルを設計する必要あり。
No58	好感を持ちました。安易にショッピングモールとかにせず、イノベーション創出などに取り組まれる方針は良いと思います。
No59	②緑の市民祭事広場の整備　第一段階の早期に当地を活用する案として「緑の市民祭事広場」を提案する。その理由は、ガンダムファクトリーや赤レンガパークの利用状況から展示・スポーツ・集会・コンサートなど各種のイベント需要が想定できること、また市の方針のように「海の山下ふ頭・陸の上瀬谷」に大規模防災基地を確保する場合にも都合が良いためである。　具体的には埠頭全体 47ha の山下公園側約 7 割を「港湾緑地」とし、水際線の連続性や修景を重視した緑空間を創出する。その中に大中小のイベント会場となる区分可能なオープンスペースを設け、上下水道・電気など必要最小限のインフラ整備を行う。建設費は極力押さえて、会場使用料の徴収により維持管理費用や拡充整備の財源を確保する。
No60	山下ふ頭の将来像に関して。 賑わいは要りません。 ハーバーリゾート構想も、イヤです。 緑あふれるセントラルパークのような公園にしてほしい。 バスの赤い靴号を山下ふ頭の奥まで走らせて、行きやすいようにして欲しいです。
No61	作るならば中途半端なものではなく、世界から観光客を集められるようなものを作って欲しい。 歳入増の IR がなくなってしまったのはとても残念だった。 IR に代わる歳入増につながる案はいまだに市長から示されないが、埠頭利権を潤すだけでなく、しっかり市民にも還元されるためのものを築いてほしい。
No62	全体の方針は良いと思います。東京の都市開発はオフィスと金太郎飴のように同じブランドが店舗を構える施設ばかりです。 幕張メッセのような無機質な施設も、この歴史ある地域には不似合いです。 山下ふ頭の再開発では、これから何十年と人々の豊かな「生活」と「経験」をつくる場所を目指してください。
No63	市の中心部や観光名所にも至近の絶好のロケーションなので、集客を中心とした整備をすべき。参考になるのはサンフランシスコの湾岸倉庫街を再開発したオラクルパーク周辺。 スポーツとエンタメを核とした開発を目指すべき。横浜には、ベイスターズ、ビーコルセア、マリノス、FC 横浜、YSCC、エクセレンスなどスポーツコンテンツが豊富なので、野球ドームスタジアム、アリーナ、サッカーフィールドを中心としたコンプレックスを整備しては。これだけの複数スポーツエンタメ施設を整備出来る面積のある場所は世界どこにもないですし、エンタメでも使えることを考えると収益性も抜群だと思います。ご検討よろしくお願いします。
No64	人口減少社会の中でいかにして持続可能なまちづくりを実現していくのかが大事だと思う。
No65	他の賑わい施設にはない唯一無二の機能を導入した開発にすべき。
No66	国内だけでなく、国外の人も来てみたいと思う開発にすべき。
No67	横浜といったらというような象徴となる場所にしてほしい
No68	上瀬谷との連携も必要
No69	他都市にもないものを作ってほしい

No70	近くに居住している人も多いので混雑しないように工夫した開発にして欲しい
No71	横浜市民として、山下ふ頭の将来像には期待しています。一方で、示された交通結節機能の強化や防災・景観形成、新たな導入機能には多額の投資と長期の維持管理費が見込まれるため、事業化の前に費用対効果の十分な検討と、その結果の分かりやすい公表をお願いします。具体的には、需要予測、段階整備・代替案との比較、財源内訳（市費・国費・民間・受益者負担)、運営・維持管理費の見通し、混雑緩和や誘客等の効果の定量評価（KPI）を提示いただき、便益が市民生活の質の向上に確実に還元される仕組みとモニタリング体制を明確化してください。
No72	現在の山下公園の保存。誰でも、横浜の歴史と緑の公園を自由に楽しめること。時には､イベント開催にも役立てる。大型開発等で､何処にもある商業施設にして終わないこと。
No73	◎「山下ふ頭の再開発について答申を踏まえた基本的な方向性」を基礎づける哲学 方向性は多彩で多岐に渡っている。今後具体的に事業を展開する時、迷走しないためにも基礎となる考え方を明確にする必要がある。 提案 1：基礎となる哲学　　50 年から 100 年後に向けて横浜市民の心情、知性の糧となる種を蒔く ◎「山下ふ頭の再開発について答申を踏まえた基本的な方向性」を統合するコンセプト　　多岐多彩な方向性は、場づくりを雑多で散漫にする危険がある。方向性を統合するコンセプトが必要である。 提案 2：コンセプト　　大学を基軸とした文化公園の形成　　【施設】 大学を山下ふ頭の中心的施設として位置づける。　　大学の構想には横浜市立大学が参画　　大学の付属施設として、学生寮、研究者の滞在型施設、国際会議場。　　科学館、海外図書館、平和博物館、美術館、市民ホール、野外音楽堂。市民が利用できるスタジオ、学習室、集会室、会議場。　　公園、自由広場。防災施設。　　敷地内交通網はトラム（発展的には山手の公園、文化施設との接続も）　　【意義】　　・基礎となる哲学に叶うこと　　・関内・山下町エリアに落ち着きと知性の品格をもたらすこと　　・一過性の観光客のみならず、目的に応じて関係を形成する利用者（関係人口）が多数出入りできること ◎「山下ふ頭の再開発について答申を踏まえた基本的な方向性」を具体化するための市民参加　　方向性は市民の意見をベースに迫り上げられたものであり､これからも具体的に実現するまで市民参加の精神を貫くべきである。 提案 3：市民参加　　再開発検討委員会に市民代表の委員も参加すること 時宜を見て市民集会を開催すること（｢市民検討会」の開催には敬意を表します。）
No74	山下ふ頭でピックルボールの大きな大会を開催することを提案します。世界中で競技人口が増えて行くと予想されるからです。スケートボードやダンスも考えましたが、高齢者でもできるという点と治安の観点から考えてもピックルボールが最適だと思います。
No75	私は、緑が沢山あり、子供たちが楽しめる公園を作っていった方がいいと思います。今の横浜市には緑がたくさんあり、また緑が沢山あると気持ちも落ち着きとても過ご

	しやすい環境だと私は思います。なので緑を沢山とり入れ、誰もが過ごしやすい環境になるようにし、その環境に沢山入れれるような公園がいいと思いました。公園にすることにより子供が沢山遊びに来るので大人も来たり、近所に住んでる方々のウォーキングコースや落ち着けるスポットともなると思うので公園にしてみてもいいと思いました。
No76	横浜市の賑わいのエンジンになってほしい。横浜スタジアムの代替となってほしい。交通インフラを充実してほしい。
No77	自分は横浜市在住ではないので横浜市の課題と横浜市に求めることを書きます。横浜市は人口減少と高齢化が同時に進行しており、地域経済の停滞や医療・福祉サービスの負担増が大きな課題です。また、地震や風水害などへの防災・減災対策の強化、歴史的景観と都市開発のバランスにも配慮が必要です。こうした中で、市には子育て支援や教育環境の充実によって若い世代の定住を促し、多様な背景を持つ市民が安心して暮らせる共生社会の実現を目指してほしいです。さらに、市民一人ひとりの声を丁寧にすくい上げる開かれた行政運営を求めます。
No78	私はワークショップに参加させていただきましたが､専門家による答申を経てもなお､ワークショップで出た市民意見が強く反映された内容になっていることを嬉しく思いました。是非このままの方向性で進めていただきたいと思います。 以下、抽象的な内容になりますが、将来、再開発された山下ふ頭は、ひとりでも、大勢でも、イベントの予定があっても、急にふらりと行っても、お金があっても無くても、どんな時でも楽しめる場所になってほしいと思います。たとえ気持ちが沈んでいても、ここに来ればほっとできて、活力をもらってまた頑張ろうと思える、そんな懐の大きな場所に成長してほしいと願っています。
No79	民間事業者が儲かるような再開発は止めて欲しい。 市民が気軽に行かれる場所、緑が多く、安らげる場所にして欲しい。環境に負荷を掛けるような再開発はしないでください。
No80	近未来な建物が見たい
No81	ライブ会場などにする
No82	活気あふれる町にしてほしい
No83	いいね
No84	よいね
No85	公園
No86	いいと思います
No87	環境にやさしい街にして欲しい
No88	緑が増えて彩りのある街になればいいと思います。
No89	カジノなど治安に悪影響を及ぼす恐れのあるものはやめてほしいです。無難に工業地帯など、雇用促進につながる施設や、先端技術の研究機関誘致のような、後世にわたって日本の未来の為になるような物をお願いします。
No90	交通の便をより良くするといい。

No91	臨港パークから山下公園まで大型遊具が一つもない。土日祝は大型遊具があるところは必ず賑わっている。巨額の税金を投資しても人が来なければ意味がないと思うので大型遊具は必要と考えられる。
No92	山下ふ頭は、駅からの距離が遠く感じるため、アクセスの改善が求められると感じる。例えば、みなとみらい線を山下ふ頭まで延伸するなどの対策が必要と思われる。
No93	山下ふ頭はカジノ反対の大勢の市民の反対運動の結果、カジノ反対の市長を誕生させて基本的な方向性がまとまりました。「緑と海辺」空間の創造、持続可能なまちの実現、は賛成ですが横浜らしさと賑わいが広がる都市モデルの構築についてはよくわからないので賛成できません。山下ふ頭が「緑と海辺」の場所になり市民の安らぎの場所になるのは本当にうれしいことです。
No94	IR を蹴って再開発をされるのだから IR 以上の再開発でなければ納得いきません 横浜の経済などの将来を牽引するような エキサイトでダイナミックな横浜の全ての希望と近未来に満ち溢れた再開発にしてほしいです
No95	山下ふ頭について、横浜にこういうところがあるよね、といった意見がでるような魅力的な場所にしてほしい。 住んでいる市民、に還元して、あることで新しい若い人が「山下ふ頭があるから引っ越してきた。」と言わせるような場所にしてほしい。 具体的にはショッピングモールやレジャー施設、公園などのイメージがあげられるが、前回みたいに決まってひっくり返る等の議論が発生しないようにしてほしい。住んでいる区からよくみなとみらいに車等で行くので、アクセスについては整えてほしい。
No96	決してスポーツベッティング特区などギャンブルに関わる開発をしないでほしい。臨海部ばかりが横浜ではない。18 区全ての市民にとって有益な税金の使い方で、緑化を進め、ヒートアイランド現象を軽減してほしい。
No97	開発にはお金がかかります。当初計画よりも経費が増大する事例にはことかきません。無駄な投資とならないよう、慎重な収支計画を望みます。 回遊性を増して、既存のみなとみらいや山下地域と連携することは良いことですが、バランスが崩れると思わぬ弊害となります。 各地域との連携とバランスもみて計画していただきたい。
No98	リーフレットにある「賑わい拠点の創出」については反対です。なぜなら、横浜臨海部や市街地にはすでに大型アリーナや野球場、大型ショッピングモールなど多数の賑わい拠点があると考えるからです。 それよりも、海や緑といった自然を感じられる場所を作ってほしいです。なぜなら、横浜市の市街地は宅地化や商業施設の開発によって市民が自然を感じられる場所が少なくなっていると感じるからです。 一方で、リーフレットにある「多様な人材・技術の交流による絶え間ないイノベーションの創出」については賛成です。横浜市は東京都に比べて大学研究機関の数が少なく、在住の若い世代が市外に流出してしまう状況があります。山下ふ頭にアカデミックな拠点を作り、若い世代が活躍できるようにしてほしいです。
No99	行政の皆様も目を閉じて想像してみてください。　山下ふ頭の立ち位置です。　ベイブリッジを通過した豪華客船の乗客がインナーハーバーで初めて目にするところは『山下ふ頭』なのです。　世界の人々が見つめる空間です。　市民の財産（市有地）として『山下ふ頭』が世界に誇れる場所になることを市民が望むのは至極当然なこと

	であります。　横浜港と一体である『山下ふ頭』を市民として世界に誇れるプライムゾーンとするために、一部の市民とだけではなく幅広く市民との対話を ゆっくりと時間を掛けて進めていただきたい。　スケジュールありきではなく、本当の「横浜らしさ」とは何かを語り合い大事業こそ民意を反映して欲しい。
No100	横浜市には歴史的に先人達が革新的なアイディアを率先して取り入れた産業、技術や製品が数多くあり、その後全国的に広まったリーダー的事実がありますが、残念ながらスポーツ面においては個々の横浜出身のアスリートを除き「施設」は見当たりません、特にマイナースポーツと扱われる「アーチェリー」においては世界的に誇れる街中に立地する室内外夜間対応練習場や競技場はありません、老若男女を問わず一般市民に「アーチェリー」の楽しさを提供する身近な施設は本当に数が少ない。日本のアーチェリ選手層は薄く、世界で戦う若手もなかなか育っていない。この山下ふ頭再開発に際し、広大な敷地内の一部に「スポーツパーク」を作り、その中に室内と室外からなる夜間照明を備えた「アーチェリー関連施設」を作るのは市民にアーチェリーの楽しさや、学生からなる選手層を増やし強い後進者を育てる最後のチャンスと考えられます、山下ふ頭跡地が最適とされる最大の理由はアーチェリー練習場と競技場はフラットで広い土地が必要です、この条件からみて都会の中心部に位置する山下ふ頭は値千金、空前絶後な立地です。
No101	一般的に跡地利用はみなとみらい地区に見られる MICE 対応の建築物が作られがちですが、もう「箱もの」は十分だと思います。日本では近年スケードボード、ボルダリングや BMX などに見られる様に 10 代のオリンピックチャンピオン達が現れたのも「場」を提供した愛好団体が先にあったからこその結果で、人気が出た後に自治体が場を提供する後追いが多く見られます、残念ながら「アーチェリー」には広い敷地が必要で指摘にはなかなか提供者がいません、一方企業は採算性に主眼が行き「場」すら提供されません。山下ふ頭再開発の方向性の決定はこれからの横浜市が日本または世界に誇れる例を見ない「都市型スポーツパーク」となる重要なデシジョンポイントです。マルチスポーツパークは他に存在しなく、今はマイナーでも将来世界的に流行するスポーツは沢山あります。横浜市が新たに世界に名を轟かせるパークを是非作って欲しい。市長や多くの方々の英断が IR 誘致を断念させた結果に敬意を申し上げたい、同時に私の提案が再開発の方向決定の一助になれれば光栄です。
No102	広い公園を作って子供たちを遊ばせたり、地域の人たちがゆっくり休める海辺の公園がほしい！
No103	多くの人が目的地として訪れる場所になるためには、山下ふ頭に誘致するコンテンツが何になるかが一番重要だと考えます。昨今の物価高により工事費が高騰しており、事業収支が合わず計画が頓挫する事例をよく目にしています。また、人手不足により、ゼネコンすら捕まえるのが難しいということも聞いたりします。そういった観点からも事業を成立させるには多くの人を呼び、また稼げるようなコンテンツがないと先に進められないと思います。多くの市民の方の意見を聞くことも必要ですが、色々な人の意見を取り入れすぎて、いろんな要素をかいつまんだ凡庸な開発にならないようにしてほしいです。まちづくりは山下ふ頭だけで完結させるものではなく、周辺地域と

	一体的に考えるものです。周辺地域との役割分担もよく考えてほしいです。再開発を担当する部署がイニシアチブをしっかりとって、事業を推進してください。応援しています。
No104	山下埠頭の将来像は、横浜版「ベネチア」の街並みを 想像します。水路を設け、桟橋、歩道橋等もある街。 水害に強い開閉水門を作り、水路を船等の避難場所とする等の工夫を図り、水害災害に強靭な水上街を作り、観光,ショップ,宿泊,.エンタメ等で海上フロントの横浜を作ると良いと思う。海上移動手段を更に活発に活用すると良いと思う。
No105	将来像のイメージについて異論はない。現状維持でイベントごとにスペースを貸し出し、少しでも使用料が入れば良い。
No106	カジノは違法薬物や裏社会との関係、依存など数々の問題を生みかねないので白紙撤回してくれて良かったと感じています。 将来像は、観光客も横浜に住む地元の人も楽しめる何かがいいと思います。最新のテクノロジーを体感できる科学館や、たくさんのひとが集える場所、が良いと思います。外国の観光地を参考にするのはどうでしょう。
No107	「緑と海辺」を最前列とするのであれば、ナゼ、説明資料では収益が初めに示されているのか。 海側から見ても宇宙から見ても緑の埠頭であって欲しい。 横浜の海岸線は 140km ほど有るが、市民が自由に近寄れるのは 24km くらい、触れることが出来るのは 2.4ｋｍくらい、市民の海がないことを認識していただき、市民の海を再生することに注力して欲しい。
No108	・どのように再開発されるにせよ、高層ビルは建てずに市民が水に親しみ、港を感じられる空間にしてほしい。山下公園とつながった公園なども良いと思う。
No109	山下公園の延長のような緑があり海が望める憩いの場だけにはして欲しくないと思います。せっかく海沿いの広いスペースですから、有効活用して欲しいと思います。 横浜市は、ふるさと納税による税収の流出が全国の自治体で最も大きいです。山下埠頭の再開発時には少しでも流出を抑えることに役立てることも検討に加えて頂きたく思います。 例えば、今、ガンプラを購入するのは子供ではなく大人で、朝から並んだりされています。GYF から 2,3 袋ぶら下げて帰る方々を見ていましたか？先の要望として挙げた GYF を再建設し、毎年ふるさと納税限定のものを製作すれば欲しくなる方は多いかと思います。寄付で特別なエリアに入れるというのも魅力があると思います。
No110	「シビックプライド」など、わかりにくい用語が使われているのが気になりました。見た目は良いと思いますが、市民への思いは伝わりづらい気がします。
No111	現在のような観光資源とだけではなく、昔の良き横浜を思わせるような海などの自然も生かして開発してほしい
No112	カジノが浮上したときは横浜の未来を案じておりましたが、今回の将来像を拝見し心より賛同できると感じました。世界に誇れる魅せる「緑と海辺の空間」想像が広がります。今般の自然災害は我々の想像を越えています。魅力的でありながら、災害にも強い開発により世界を先導していただきたいと思います。
No113	みなとみらいからは少し離れいるので、交通アクセスが良くないと、観光ルートの一部になるのは厳しいと思います。折角水際で景観も抜群な立地なので、高級ホテルや

	イベント会場等、滞在型の施設を中心にした方がいいと思います。また、防災拠点化は直下型地震の発災確率が高まっている今は、大いに賛成です。大阪駅前の貨物駅跡地にできたグランフロントは、大いに参考になると思います。是非、大きな芝生空間と地下シェルターを備えた公園も期待します。どうぞ、宜しく御願いします。
No114	山下ふ頭には、図書室や漫画ミュージアム、視聴覚ルーム、自習室、環境問題や多文化共生に関する展示、博物館や美術館など、幅広い知的関心に応える文化施設を整備していただきたいです。現在社会は、単純な物語や分かりやすさが好まれる一方で、世の中の複雑さや多様な視点への理解が不足しがちなことに危機感を感じています。市民が多角的なものの見方や知識を深められるような学びの場を通じて、横浜市全体の知的基盤の向上につながることを期待しています。
No115	山下ふ頭は、公園と海と船のイメージです。これを最大限に生かす場所にすることが重要と考えます。
No116	観光も良いが、公園を災害時のためのインフラとして整備してほしいです
No117	桜木町周辺の街作りとは違って港と緑をテーマにした自然を前面に出した街作りを希望します。
No118	異国情緒あふれるイメージがいいです。
No119	山下公園からベイブリッジに簡単に行ける道を作ってほしい
No120	再開発自体は賛成しますが、横浜らしさをなくさないようにして欲しいです。
No121	横浜と言えば港、という市内外の方の期待に応える緑豊かでサステナブルな山下ふ頭にしてほしい。
No122	立地上大型施設でのイベントは交通渋滞が起こりそうで気になります。最近の横浜らしい景色を満喫できそうな点はとても良いと感じます。
No123	私の意見です山下ふ頭なんですけれど稀代な円形の芝の公園おつくていざとなったら災害避難場としての了して普段の輪横浜 JAZZ の会場そのほかのライブ会場としてか猛刺突を中区西区の港南区神奈川区の資源住管局の工場してわどうですか東京都で環今どこの久でもゴミ処理工場がありますから
No124	先ず山下埠頭へのアクセスを考えなければならないと思う。
No125	ビデオを拝聴しました。以前意見を述べましたが、出てきた案は余りに総花的で、できあがったものは恐らく日本のあちこちにある臨港再開発の例と同じになりそう。山下ふ頭は、ひとえに港の見える丘公園と、山下公園及び日本大通、横浜公園と一体にした『都市公園』にすべきと思う。来るべき大災害に備えて、広く融通の利く空間を準備しておくべき。
No126	基本コンセプト「緑・海辺のまち」は我が意を得たりの思いです。ランドマーク６９階からの展望、眺望が横浜市の位置づけを知らしめてくれる。海辺の寒村が、大型客船を集め、緑が埋め尽くす街が囲み、伊豆半島、箱根連山、富士山、丹沢山系、南アルプス山系が城壁の如く守ってくれる。東京のスカイツリーからの眺望と比べれば、自然と人が一体化している街を感じさせてくれる。新しく作られる山下ふ頭 47ha が、その一体化する街を先導している雰囲気を創り出してくれることを願っている。

No127	緑と海辺が隣接する空間には大変共感できます。
No128	運送業勤務です。昔は倉庫がたくさんありトラック渋滞が酷いものでした。現在は周辺環境がかなり変わりまた倉庫という訳にはいかず、商業施設も飽和状態です。ありきたりですがディズニーランド、ディズニーシー、ハウステンボスクラスのテーマパーク誘致、建設でしょうか。
No129	全体的な将来像として、テーマ 1 ともかぶるが、自然があふれる、自然と共生するような姿にしてほしい
No130	秩序ある環境の構築。高齢化社会を意識した交通アクセスの構築。横浜の象徴として意識して取り組んでほしいです。
No131	素晴らしいと思います。
No132	横浜を代表して誇れるようなきれいな街づくりをしてほしい
No133	集客性のある開発は周囲の交通事情を考えると止めて欲しいイメージのつきやすい開発もみなとみらいのように、港湾部=横浜、もどうかと(横浜村からの歴史を考えればそうなんですけどね)とは言えそんな事では済まない部分も有るでしょうから現状の山下埠頭への道路に 2 本以上アクセス出来る道路を通して横浜市内遠隔地からの無人航空アクセスなどで山下+アルファの地区に広がる開発をしてはどうでしょうか？
No134	将来的なビジョンに共感できた
No135	港湾にカジノは要らないので自然と防災と共生してほしい
No136	人口減少、東京への一極集中の対策となるような開発を求めます。将来的に維持管理に多額の税金がかかるようなものはやめていただきたいです。
No137	全体像の中心にゴミのない美しい街並みの推進的なものが欲しい。
No138	将来が楽しみです
No139	横浜臨海部の顔となるべき姿は何か？突き詰めた議論と市民参加による幅広い意見集約が必要と思います。シン・ヨコハマスタイルと内外から評価される将来像が望まれ増す。
No140	概要はよくできています
No141	全国各地どこにでもあるような商業的なエリアを目指すのではなく、話題性がなくなってからも人々が長く訪れ続ける場所となるようなまちづくりをお願いしたいと思います。
No142	山下ふ頭は思い切り観光客を呼び込めるような開発にしてもいいように思います。環境に配慮して、人を呼び込める場所ががあることによって、市民もちょっと自慢できたりしたら安定した人口定着に繋がる一助になるかもしれないと思います。
No143	公園にするのが好いのではと存じます。以上
No144	海の近さを生かした街作りと利便性の向上の課題が必須。
No145	ひらかれた市民がなじめる場所にしてほしい港とい海、都会という町のなかでもすこしは心やすまる、深呼吸できる場所に
No146	市民憩いの場所
No147	防災に対策は必要

No148	負の遺産となるような箱もの造りのない海と緑の魅力がたっぷりで人が訪れたくなるようなエリアになればと思う
No149	日本の顔、開かれた国際的な町、横浜を目指す。
No150	歴史ある港町をなくさないように開発していってほしい
No151	山下埠頭がどこなのかぼんやりと高速を走る時くらいしか通ることがなく、車以外のアクセスがわからない。行きにくい場所にあるというイメージ
No152	誰でも気軽に遊びに行けるような埠頭の開発にしてほしい
No153	国際都市横浜としての象徴的な場所である半面、緑豊かな海辺空間を住民として享受できたらいいと思います。
No154	みなとみらい地区から山下ふ頭まで歩いて楽しめる回遊性を望む
No155	綺麗な街にしてほしい
No156	山下埠頭は港町横浜を想起させる重要な場所だと思います。国内外の人に受け入れられだけでなく、周辺の経済にも貢献出来る開発であるべきと考えます。人を呼び込むだけでなく、お金が落ちる仕組みも考える必要があるとおもいます。
No157	今ある埠頭の利点を活かし、海に近いと言うことで、景観を損ねず且つ自然と足が向くような緑地の遊歩道などを整備すると良いと思います。災害発生時の迅速な避難と安全確保が必要です。ゴミの分別収集も大変なので、飲食物の持込み禁止の上、出来る限りゴミの種類を最小限（プラスチック、燃えるゴミ）にして、デポジット制を導入し分別廃棄をしてくれた方には返金するシステムも入れると良いと思います。
No158	大型船が入港できることで人流が大きく変わる可能性がある歩行者道路や公衆トイレなどインフラ面を強化してほしい
No159	新たな町のインフラ整備によりより良い利便性、アピールが可能となる。
No160	山下ふ頭は首都圏最後の都心部におけるウオーターフロントだと思います。首都高出入口、みなとみらい線、山下公園に隣接した、まとまった広大なエリアだけに、IR 廃止から今日まで全くの更地にしておくのは大変な無駄だと思います。せっかくの高い潜在力を開花させるまえにも、『みなとみらい NEXT』として首都圏や東京一極集中解消の受け皿として企業やオフィスの誘致、第 4 の客船ターミナル整備とクルーズ誘致、国特区として整備することで進出企業に対する法人税負担を長期にわたり軽減させるなど、新たな日本の都心部として斬新な取り組みを進めてほしいです。
No161	横浜市の経済の為にもなるべく横浜市でつくられたもの、なければ日本でつくられたもので開発してほしい。
No162	港横浜のシンボル的な場所だと思うので、周辺地域を含め一体的に再開発してほしい。
No163	素晴らしい基本的な方向性をお聞き致しました。実現を期待致しております。
No164	構想として、今期待する多くの資質を含んでおり、充分に練られた将来像と思います。一方、実現に向けた進めについて、時間軸、コスト軸でまだ課題があると思われますので、今後市民や県民としっかり議論できる場作りが必要と思います。
No165	市民の憩いの場ちなれば良いと思う
No166	横浜のイメージアップにつながるものにしてほしい。港や海のイメージアップや古き

	良き横浜のイメージも残してほしい。すべての年代にとって安全、安心な暮らしのもととなるようなものをとりいれたもの。高層ではない建物で広い空間を生かし、海との一体感もほしい。
No167	交通の便が良くない点をいかに克服して開発に繋げるのか?インフラ投資は将来への継続投資が必須になる点も考慮が必須。民活を前提に継続性の有る開発計画を望む。
No168	緑と海辺のまちというテーマを最大限生かしたまちづくりを考えてほしい。私の住んでいる都筑区も緑道で繋がっていて、都会の中でも緑の素晴らしさを感じることができるので、参考にしてほしい。
No169	山下ふ頭は、山下公園や山手地区に隣接するエリアでありながら、それらとはまったく融合しないどころか、港町としての景観も大きく損ねる原因になっている。すでにその役割を終えているのであれば、掘って海に戻し、大さん橋から山下公園、そこへ続く山手エリアの美しい景観を取り戻すことも考えてはどうか。すべて海に戻すのではなくとも、ベイブリッジ側の一部埠頭のみを残して防災拠点にするとか、それも難しいのであれば、せめて、山下公園側に運河を作って、縁切りにして、併せて新山下町側を景観重視で整備することを考えていただきたい。山下ふ頭の新たな活用に関しては特に意見はないが、そこへのアクセスするための交通の整備が大きな課題であるように感じる。
No170	横浜にはウォーターフロントの開発の成功例としてみなとみらい地区があると思います。山下ふ頭を同じパターンのグリーンベルトとしてだけの開発ではメリットがあまり出てこないように思います。山下ふ頭の強みは、みなとみらい地区にはない大型船のアクセス機能でしょう。これを活かした集客施設をつくることはいかがでしょうか。山下ふ頭の土地はすべて横浜市の所有地であるかどうかわかりませんが、もしそうであれば民間に売却したらどのくらいの金額となるのでしょうか。たぶん、相当な金額、これを基に市民税を減額したら、他の都市がうらやむような市となるでしょう。しかし、一時的な減税では将来的には意味がなく、そのお金を市民が喜ぶ施設建設として返していただけたらと思います。
No171	将来について真剣に考えられている
No172	お金をかけずに、市民や観光客が自然に港町を感じることができるようにするのがよいかと思います。
No173	なるべくコストを掛けず自然が多く、憩いの場になるような場所にしてほしい。水辺があると尚良い。
No174	自然と調和し、かつ横浜らしさを活かした港（海）と交易の特徴ある憩いの場
No175	自然を最低限残しつつ（環境破壊はあまりせず)、インフラが整って行けばよい
No176	現在も、過去においても、アクセスの悪さが思い浮かべられる場所であり、あまり期待していない。(市内の中枢域拠点から電車「路線バス・地下鉄含む」の高齢者が利用し易い、安全なルート及び関連施設拡充等)
No177	市民や観光客らの憩いの場
No178	ともかく地域活性化のため集客力重視でお願いしたい。
No179	ドローン型自動車や自動運転などのインフラを備えた街

No180	横浜の顔として幅広い世代や海外からの人々を惹きつける方向性を打ち出す事が主です
No181	山下埠頭は交通の便が悪い印象です。みなとみらい地区からの回遊を高める交通整備が重要と考えます。
No182	山下の将来像についてですが、過去に「山下にサーキットを作って、フォーミュラーE を開催しよう」みたいな動きがあったと思いますが、ホテルやクルーズ船なんかの船着き場がありつつのサーキット場を作ってくれたらなぁって思ってます。また、山下 3 号の辺りは、山下公園・大さん橋・みなとみらいなどが見渡せ、夜景もキレイですし、山下 9 号からはベイブリッジが間近に見えるので、この辺の岸壁を公園として整備するのもアリかなぁと思っています。
No183	山下埠頭は何度か訪問したことがあります。広大な面積と反対側から見る氷川丸・ビル群・その間から見る富士山は絶景です開発するのであればこの風景を取り込んだ設計を希望します。
No184	大変期待しています
No185	奇をてらったり、若者向けだけに迎合していくことには賛成しかねます。海があり、外国船が停泊し、背後には緑があり、古を彷彿とさせる建造物がある、そんな贅沢な場所であり続けて欲しいです。
No186	横浜らしさ(歴史／開国の地／スポーツをはじめとした文化など)をもっと追求して欲しい
No187	とても良い将来像と思いました。
No188	地震への対応のための拠点としていじしておけばよい
No189	掲載されている 3 つのテーマは横浜市の歴史や位置づけに相応しいものであると考えます。ポイントは、そのテーマに対する対象者が曖昧になっていることではないでしょうか。各テーマごとに特化したものにすることも考えられるし、あるいは、テーマ毎にいくつかのフィールドを設けることによって各対象者に特化したものにしつつも、フィールドを複数に分類することで、その特化した対象をも幅広くできることになります。つまり、逆に幅広い普く対象者を呼び込むための一つ、二つの施設や文化圏を構想してしまうと､極めて抽象的になってしまいます。だから、対象者毎に各フィールドに各関心事項を配置することで、幅広く、かつより多くの人々に注目して貰えるようなものになるでしょう。例えば、最近の事例では、北海道のエスコンフィールドが典型的な事例ではないでしょうか？横浜 DeNA と組んで､球場を移転させ新たな施設をつくるということも面白いと思います。勿論、全く似通った施設設計にせず、横浜らしい発想のもとで考案していけば良いと思います。このあたりは IT や企業に強みのある南場会長率いる DeNA と組むことが可能でしょう。国際都市横浜にふさわしく外国人にも興味を持って貰えるような文化施設や科学・医学的なテーマも良いのでは？また、やや、難しいかもしれないが、日産とのコラボも有り得るでしょう、プラント・コンサル会社の日揮などとの協働も面白いのではないでしょうか？更にいえば、横浜国立大学や横浜市立大学の施設や教育を活用したアイデアもあるでしょう。例示を挙げていてもつきませんが、要すれば、漠然としたものではなく、個別のテー

	マ・フィールドに分類して検討するのが、赤字にならず、多くの人を呼び込み、日本第 2 の都市である横浜をアピールするものになるのではないでしょうか。
No190	緑と海辺、世界に誇れる山下ふ頭、市民が結ぶというのが良かった。
No191	誰もがアクセスしやすく、遊びたくなる街を創造して欲しいです。
No192	『緑』があるのは、良いと思いますが、その管理や、そこに発生する生物への対応も考えがあるとよいです。植物は成長します。そこに昆虫や鳥類が住みつくのも、自然なことです。人間に害をもたらすものへの、対応も必要かと思います。
No193	山下ふ頭も商業化が進んでいますが物価が高いのと、雨の通行にアーケードなどがない箇所が多い
No194	誰もが楽しめる場所を作って欲しい
No195	ゴミ処理の方法が 1 つの課題になると思います。
No196	観光と暮らしの両立を望みます。
No197	わくわくするような将来像を実現できるよう見守りつつ､市民として応援出来ることには参加したいと思います。
No198	持続可能ながぴったりの街作りが誇れるようにしたい
No199	交通インフラの強化に努めて欲しい。
No200	特に MM 地区との関連性を持たせる事も重要で、総合的なプランが肝要です。
No201	山下公園に絞った海辺と緑をテーマにしているが、この大きなテーマに相応しい地域に拡大する必要が有る。海辺と緑が主要テーマは問題は有りませんが、山下公園だけで無く関連地域も包含した物にすべきと思う。MM 線沿線及び横浜港沿岸全体も包含したものにすべきと思います。中華街や元町・外人墓地、歴史的建造物・各種現存ミュージアムとも関連させる必要が有る。総合的な計画で無いと、構想の建設の終了した後に問題を残すと思われる、海辺と緑だけでなく歴史的・ミュージアム的・スポーツ的要素も甘えた計画にすべきで日本の横浜から世界の横浜にする概念の元に計画を策定すべきと思う。
No202	私は以前港湾関係の仕事をしていて山下ふ頭の開発には大変興味を持ちますが、自然環境を整えつつテーマパークのような場所になってほしいと思います。
No203	横浜市の将来像を先取りするかのような大変素晴らしい構想だと思います。
No204	車両整理を計画実行する
No205	非常の魅力的な場所であり、歴史もあることから世界に影響力のある文化的な発信をきたいする
No206	多くの理想が出されていて近い将来が楽しみになって来ます。ただ、山下埠頭の限られた地域で全ての事を成し遂げるにはスペースが不足していると感じます。具体的な実施計画では現在の案の絞込みが必要と考えます。全てが実現されれば良いと言う人もいるかも知れませんが「ごった煮」状態はかっこ悪いです。横浜ですから。
No207	イオンのような大型商業施設
No208	持続可能な都市型の街造りをして欲しい。①エネルギーの 100%を自給(地熱やシェールガスを使用)②食料の 100%を自給日本の他の地域や世界のモデルとなる街造りを目

	指す
No209	カジノ中止につき大規模複合公園（遊園地等併設）にしてほしい
No210	一般市民はなかなか踏み入れない山下埠頭ですが、あの一帯が開発されるのはとても楽しみです昼間は市民、近隣住民の癒しの場所(散歩などを楽しめるような)日中は家族が気軽に訪れることができる場所夜は素晴らしい夜景メインだと思いますので観光客が訪れる場所（近隣住民などは夜は行かないと思います)このような場所になることを希望します
No211	世界に誇れるきれいな街並みや景観を大事にできる町づくりをしてほしいから
No212	山下ふ頭といえば山下公園や港に係留する各種船舶の姿がすぐに思い浮かびます。横浜の観光名所である山下ふ頭の将来は、大変気になります。景観や環境に配慮することは勿論、利便性や公共性、安全性にも十分配慮して欲しいと思います。勿論世界から愛されるふ頭になって欲しいと考えます。
No213	山下ふ頭の将来像を読み、特段の異論無く、このように展開されて行けば良いと思いました。
No214	普段、あまり行く機会がないですが、魅力あるイベント等が有ればいいと思います。
No215	ドーム球場を作ってほしい。
No216	ホテルを備えた商業施設。通年で年齢を問わず集えるレジャー施設を併設する。
No217	横浜らしくお洒落にしてください。
No218	横浜らしい雰囲気を大切に、あまり流行りに乗り過ぎない荘厳で落ち着いた雰囲気がいい
No219	新しくしつつも昔ながらの雰囲気を残してほしい
No220	山下ふ頭の立地と歴史を踏まえての開発を望みます。
No221	みなと横浜というイメージを大切なかつこれからの未来像も楽しみになる将来像を期待します。
No222	津波などの災害とか、考えられているのですか？交通手段もあまりないかと。
No223	全体像がよくわかる
No224	きれいな外観を保ってほしい
No225	子供に魅力があるものを作ってほしい
No226	山下埠頭に興味がありません再開発することはいいと思います
No227	再開発の成果の一つとして、海外からの観光客を呼び込めるものとなれば、良いと思います。
No228	山下ふ頭が世界から人の集まる場所になればいいと思います。海洋都市国家シンガポールなどが参考になるのではないでしょうか？
No229	交通の利便性や治安の面をもっと良くして欲しい
No230	緑と海辺の空間を創出する計画であることから、防災拠点ともなるような都市公園の建設を希望します。商業施設はみなとみらいエリアには多数存在しているため、新たに建設されたとしても新鮮味が感じられないと考えます。
No231	海辺と緑青と緑の調和が美しい山下埠頭に！

No232	世界に誇れるためにはインフラ構築がしっかりできるように
No233	東京湾の水上移動のハブに出来たら良いですね。八景島とか横須賀､城ヶ島方面や横浜、日の出桟橋、ビッグサイトなど。
No234	災害のないようにしてほしい
No235	災害のない観光名所にしてほしい
No236	観光名所にしてほしい
No237	山下埠頭の景観の魅力は海と街の一体感とその中から感じられる歴史的な雰囲気だと思う誰もがイメージする横浜の良さと美しさを壊さずアップデートしてほしい
No238	テーマ１を中心にテーマ３にも力を入れてほしい。
No239	山下ふ頭をこれからどういう風にしていくのか現状維持ではなく将来を見据えて横浜の代表的な観光地の一つであるこの場所を誰もが納得する場所にしていくための取り組みは大切であり、ずっと守っていかなければならないと思います。
No240	活気に満ちた町にしてほしい
No241	海・港を主体に、世界への窓口であることがアピール出来る場所にしていただきたい
No242	市民&老若男女問わず幅広い層が有益に利用できる施設が出来ればいい
No243	山下ふ頭にしかできない開発をのぞみます
No244	前からの景観のいいところを残し、新たに新しい風を取り入れるいい塩梅を持って、進めていただきたいと思います
No245	山下ふ頭の将来の方向性を垣間見ることができ、横浜の町やそこから発信されるメッセージを世界にアピールできそうだと期待とともにとても楽しみになりました。一過性ではなく、持続性を大切にして取り組んでいただけたら嬉しいです。
No246	港町横浜の歴史を物語る将来像
No247	津波の心配がないよう避難できるような少し高い建物はあったほうが良いと思う
No248	日本の良さ、横浜の良さを生かしたものに。安易なインバウンドなんぞに走らないことを切に願うところです
No249	子供たちの将来に繋がるビジョンも取り入れてほしい
No250	とにかく変な建物を建てないで欲しい。今のみなとみらいのようにして欲しくない。そして交通機関の充実は必須。
No251	魅せる緑と海辺とあるが海辺はともかく山下埠頭で魅せる緑をどの様に演出するのか楽しみ
No252	公共交通を整備してほしい
No253	本当は横浜の人向けの施設を作ってほしいけれど、将来的に儲かる街づくりをしないと町の発展につながらないのは事実だ。何かみんながびっくりするような派手な施設を作ってほしい。
No254	カジノを推進する前市長を否定した結果の事業なので横濱の文化を広く伝える場所にして欲しい。
No255	みなとみらいの様な近代的な雰囲気（ビル群）もいいのですが、ふ頭は「自然」というものを大切にしつつ回遊性は充実させるのが良いと思っています。IT や技術は最新

	もものを使うが、最新技術とかをまったく感じさせない「自然」というものがなり立ては、一番いいかな。。人口は横浜といえども減少していくものと考えます。そうするとできるだけ維持する負担をすくなくする方向でお願いします
No256	良いと思います。
No257	いいと思う
No258	市民が憩えるオープンな場所。特に、海に直接触れることができるように整備する。自家用車乗り入れ禁止。釣りは禁止。子供たちが水遊びでき、泳げるように。横浜駅から新高島、みなとみらい、赤レンガ地区、山下公園、山下埠頭まで LRT を整備し老若男女が誰でも気軽に利用可能。建物は昭和を彷彿とさせる建物とし、温故知新をベースコンセプトとする。花火大会は不要。完全バリアフリーとする。災害時の避難場所にもなり、シェルターも完備。
No259	山下埠頭は、横浜港の玄関口として長年物流と産業の要となってきましたが、時代の変化とともに、その役割と景観は大きな転換点を迎えています。かつて構想された統合型リゾート（IR）計画は実現に至らなかったものの、インバウンド需要の回復と、横浜の都市ブランドの再構築が求められる現在、山下埠頭は単なる経済拠点ではなく、横浜の文化的アイデンティティを象徴し、世界に向けて「日本らしさ」を発信する新たな観光・交流の舞台としての再構築が期待されています。以上のような背景を踏まえ、山下埠頭の将来像として、日本の伝統と現代文化、自然と都市、地域住民と訪日観光客、そして国内と海外が交差する「和の国際交流拠点」を目指すべきだと考えます。
No260	山下ふとう一帯は、緑が極めて少ない。これから商業施設等何でも構築される際には、海辺に最適な緑をいっぱい落とし込んで欲しい。
No261	みなとみらい地区の景観は世界に誇れるものだと思います。そのため大幅にリニューアルはしないでほしいと思います。
No262	楽しむことを主としているように感じられる。良いことだと思います。けど、税収が増えなさそうなのと景気後退に対して脆弱な気がします。
No263	横浜『海』のイメージを大切にしてほしい
No264	そうなるといいです
No265	海浜の癒し施設として活用。
No266	緑と海辺のまちというコンセプトはとてもいいと思いますけど
No267	安全なイメージを強化して欲しい
No268	具体的な将来像が知りたい。自然環境との折り合い。
No269	山下公園の延長エリアであり、臨海公園として整備して欲しい。
No270	どうせなら万博規模の展開を望む。
No271	誰もから横浜素敵な町ですねと言われる再開発望みます
No272	市民の新たな憩いの場希望
No273	とても前向きな内容に感じました。IR のようなものではなく、子ども達の笑顔が溢れるような場所になることを強く願います。

No274	設備のバリアフリー化と、防災対策を優先にお願いしたい。
No275	方向性については肯定的です。但し、未だ漠然としたところが多く、意見を述べる迄無いというのが正直なところです。
No276	緑と海辺がふさわしい
No277	子供が安全に遊べる家族で行ける場所にしていただけたら嬉しいです。自然豊かな家族で遊べる場所がなかなか少ないのであったら喜びます。
No278	山下ふ頭には交通機関がバスしかありません。今後どうするのか知りたい。
No279	魅力溢れる場所にして欲しい。一定の企業に利のある開発は絶対に反対します。
No280	とてもいいプランだと思います。
No281	豊かな自然を保ちながらの、魅せる緑と海辺に、賛同します。
No282	高層ビル的なものは要りません。緑と水と太陽と風
No283	交通の便が悪いので商業施設にする気はないと思いますが、公園であったり干潟の造成に予算を使っていただきたいと思います。
No284	山下公園などの雰囲気とマッチしたものにして欲しい
No285	①山下公園、みなとみらいを一望出来る公園②大学移転誘致③イベントや災害時に使用出来る会場④大桟橋に次ぐ第二の埠頭（災害時にも使用）
No286	市民からみどり税を取っているのだから、緑豊かな街づくりを期待しております。
No287	IR 誘致を諦めた結果、将来像をまた新たに考えなければならなくなったと思う。みなとみらい地区とは違うものを打ち出すのはなかなか難しいのではないかと思う。交通の便なども考えないといけないと思う。海外からの観光客を集めることのできるような開発をしてほしい。
No288	海に街が出来ていくのはとてもいいことだと思います、発展するということは。ただ自然災害があった時の対処法など防災は徹底的に考えるべきかと。
No289	活気と魅力ある横浜にするため、有効活用してください。
No290	横浜市西区に住む者です。 市民の皆様からは色々な案が来てると思いますが､子育てや防災や緑地もいいですが､ちゃんと土地の価値に見合った生産性を考えて欲しい。例えば、国際的な大学と国際会議場や大展示場。それに付随したホテルと大型客船用の埠頭。国連本部なども可能なら誘致した方が良いと思います。
No291	カジノ計画が撤回されて、本当によかったと思います。 外資のギャンブル産業に利を与え、そのおこぼれにあずかろうという安易な考えは市民に受け入れられませんでした。 前回市長選ではカジノ誘設を推進する自民党候補もカジノ反対になりました。 市当局はこのような事態を事務方の非政治的な視点でしっかりと検証してそれを楽しい計画づくりの出発点として下さい。 方向性の 3 テーマはもっともだと思います。それらを構成する小さなエレメントを少しずつていねいに市民（諸団体企業含む）の希加、試行で積み上げていって下さい。 大企業丸投げはダメです。市役所職員のみなさんの横浜愛あふれる奮闘にも期待して

	います
No292	大型ドーム球場建設　屋根付き　空調完備
No293	山下ふ頭には、公園や図書館を置いてください。
No294	○子供食堂があると良いですね！（子供だけでなく、それぞれの年代の方々も） ○昔なつかしい、だがし屋があったりすると楽しいだろうなあ。
No295	山下ふ頭のバス停は、以前は、いろいろな系統が乗り入れていましたが、今は 20 系統だけになってしまいました！しかも平日朝のみですね！また、山下ふ頭全体は、とても古くあの山下ふ頭入口というバス停あれぼくは好きじゃありません！それにバス停自身もせまく乗り降りも少ないです。また、以前は、あそこで花火なども行われていましたが、36 年前にはばくはつ、炎上してしまいました！また、山下ふ頭全体と山下ふ頭辺りは、すべて再開発などをお願いします。また、10 月以降もバス路線の再編成（一部）をおねがいしたら良いと思います。以上です。
No296	山下ふ頭は、市民のために使ってください。広い公園にして、市民の憩いの場にしましょう。
No297	日本全国、再生エネルギー等により森林破壊ばかりで野生動物の家がなくなり食べ物もなくなり、これは本当に地球の為なのか。 だからこそ横浜から世界に向けて自然豊かな町作りをするべきかと思います。
No298	海と触れ合場所にして欲しい。
No299	ひろい公園
No300	「活気に満ちた、賑わい」「世界に誇れる、魅せる緑と海辺」はいらない。　旅行者が溢れる街はいらない。　企業が金儲けする開発はしないでください。　緑豊かな公園にしてください。　あとは図書館を造って
No301	販売、飲食は、周囲にたくさんある。 海と緑の空間を、横浜の新しい中心にしてほしい。
No302	横浜（港）は世界のあこがれる玄関。日本の良き伝統を維持しつつ国際的にアピールする外観、施設であってほしい。
No303	自然環境のことや、空間の重視は賛成です。災害対策としても、あまりビルなど詰め込みすぎると、かえって災害負荷になってしまうからです。 お金の点。市民が憩える所なら市費負担あっていいと思います。再開発といっても。逆に稼げる民間企業のため、出してやる必要はないと思います。
No304	今回の再開発では、子・孫・友人達と気軽に立ち寄れ、ゆったりと過ごせる緑の多い広々とした場所であってほしいです。 IR が取りやめになって本当に良かったと思っているのに又、同じようなハコモノを作ってがっかりさせないで下さい。 目先の利益ばかり追うのはやまて、50 年 100 年先の横浜を考えて下さい。
No305	埋立地であることは不安です。「横浜」というネームバリューは宝ですから立地を考えると皆が利用できる場所にしていただきたいです。「海」の景観を大切にして。海近、埋立地を考慮すると防災拠点にはふさわしくないですが、憩いの場に出来たらと思います。ガチャガチャとうるさい目の疲れる場所ではなくて。国内外から訪れてもらえ

	る海と緑の公園が理想です。
No306	山下ふ頭の活用については「カジノ動入ノー！！」の民意が決集していることを大前提に開発して下さい。青小年はじめ誰もが安心健全に足をふみいれることができる街作りをして下さい。税収を目指した商業施設造りを優先したいでしょうが、健全で地元の暮らし、治安が守られヨコハマの明るい未来を創って下さい。自然の利を豊かに一部の企業利益を優先先行させないで下さい。
No307	山下ふ頭の先端のふ頭とふ頭の間の空間/海域で ・フロートの実験、そのうえにサウナとかフロートを利用に海水を取り入れたプール ・海中観察ができる区域 などを設けて、実験的にやってみてはどうか。ヨーロッパ等では既にこの類似した海域では賑わいが創出されています。
No308	何が重要だと言えば、大勢の人がワクワク感を抱きながら来てくれるかどうかということです。つまり東京ディズニーランドや大阪万博に負けない場所にするとなると並みのアイデアでは困難なので私見を述べます。 1.オリンピック競技が出来る所であるかと言うこと。例えば、・体操・スピードクライミング・スケートボード・卓球・バドミントン・フェンシング etc 上記は日本が金メダルを取れる可能性がとても高いからです。 2.世界に「YOKOHAMA」をアピールする絶好のチャンスと思うからです。
No309	これからの世代に残す財産として、緑地や自然はいくらあってもありすぎることはないと思います。一部の政権を握る政党の国会議員に議論を限定すべきではなく、広く市民にいけんを求め、判断を仰ぐ、民主主義の基本姿勢を当たり前のこととして貫いて欲しいです。況してや、カジノの延長でしかない商業中心のレクリエーション施設を密室の会議で推進するなど言語道断許せない。ご担当者様にはぜひ、奮励の糧をお願い申し上げます。
No310	・市民の憩いの場をつくってほしい。　・横浜港の歴史が学べる施設をつくってほしい。　・災害時に防災拠点となるようにしてほしい。
No311	○山下ふ頭の土地の大半は市有地で市民の財産です。市民の願いを 12 分に折り交んだ開発を　○緑を増して、海辺にキャンプ場をつくる　○介護施設を作れ　○沢山木や緑を植え、野趣に富んだ広場をつくること。　○散策だけでなく色々なスポーツが出来るように、場所によっては■間照明も　○突端まで、バスを運行し、その間にいくつかのバス停を■■■など、利便性を備えるように　○このふ頭内に賑わいが広がる活力■との都市モデル＝街づくり、だとか、旅の目的地＝ホテル建設、イノベーション創出地だとか、全国どこでもやっていることはやるな。
No312	・山下ふ頭はそのほとんどが市有地＝市民共有の財産です。何よりも市民の意見が十分反映されるよう、事業計画検討委員会に市民の代表を入れるべきと考えます。 ・今年度末には事業計画作定を完了するのではなく、十分な時間をかけて、市民意見が反映するように行うべきと考えます。 ・市民共有の財産であるからこそ、市民の憩いの場にすべきと考えます。 ・大企業の利益優先の大型開発には反対です。

No313	山下公園のひきつづきで緑豊かな公園にし、海辺の良さも生かして、水遊びができる場所として活用したい。
No314	夕方の横浜の町並みはとても素敵なので、自然を活かした美しい町づくりをして欲しいと思う。
No315	「山下ふとうに○○があったらイイな」プロシェクトのプランでよいです。 上半分は、公園とふ頭、海で遊べる場所にしてください。
No316	山下公園を広げて、大きな公園にしてください。
No317	美術館と図書館と横浜特有のレストランを造って下さい。横浜に緑りのある伊藤博文、坂本龍馬の妻おりょう岡倉天心、浅野総一郎、桂歌丸、美空ひばり他の遺品等の展示。船の美術館で船の中にいるような造り、手でさわり見たり出来る物。 ジャズをかけるから地惑猫の喫茶店があるといいです。商業施設、コンサートもしたり買物もしたり映画も観たりする
No318	意見募集の姿勢に感謝します。にぎわいは、不要と思います。横浜は、すでにどこもにぎわっています。 欲しいのは、市民が静かに、自分をみつめ、気持ちを充実させる為の空間。そこに可能な限りの「緑」があれば、十分と考えます。脱、コンクリートを願います。
No319	・みなとみらい線の根岸まで延伸を早急にお願いします。 ・山下公園はもともと関車大震災のガレキを埋立ててつくられたこともあう、厚木市にある、ぼうさいの丘公園のような設備の設置もよいのではないでしょうか ・山下公園が、ヨコハマともいうべき場所でしたが、臨港パーク、赤レンガ、象の鼻パークの方が東京方面から近く、イベントも多く少し淋しい感じがしてきているので、花火もみなとみらいに会場を移しているのでドローンショーなど新しいイベントをぜひお願いします。
No320	わたしは船の上でのミニシアターがいいです。あとはコンサートホールがいいと思います。
No321	山下埠頭は横浜が港湾都市として栄える基礎となった埠頭で、かつてブイには沖荷役の中国をはじめ世界中から貨物船が停泊し、酒類や衣料、精密機械など、あらゆる貨物の輸出入基地となって日本経済の発展を支えてきました。 そして山下埠頭には当時から貨物船からの積み卸しの際使われていた船の繋留基地にもなっているので、横浜港の港湾荷役の博物館をつくって日本の貿易を下支えしてきた”みなとの仕事”を伝承してもらいたい。 例えば、漁師のかけ声歌、農家の収穫の踊りと同じように港湾荷後かけ声歌もありました。作業のし方、道具、アメリカ由来の港湾用語など、ここに来る事によって若い人に”みなと”の果してきた役割、歴史など横浜港そのものを知ってもらう機会になったらいいと思います。
No322	緑を入れる必要がどこからも感じられず、不要。むしろ唐突感があり、緑を入れることありきとも感じられる。 立地や広さを考えれば、横浜市の経済のエンジンとなり、将来性を感じられ、国内外から投資を呼び込むような場所にしていく必要があり、また、そのポテンシャルがある場所でもある。 実際には植栽などで緑が入ることもあろ

	うかと思いますし、それは必要だと思いますが、わざわざテーマとして設定し、最重要たど市内外へのメッセージにはふさわしくなく、最新技術の研究や精算、優秀な頭脳が集まるようなテーマ記載にして下さい。
No323	私たち自身の生活が潤っていくことが国や自治体の取り組むべきミッションであり、緑よりも経済発展につながる取り組みを進めることを強く望みます。
No324	緑と海辺について、シンプルかつ想像を膨らませられる良いテーマだと感じました。
No325	自然豊かな施設が欲しいから。
No326	1.皇居のランニングコースをイメージしたノンストップのランニングコースを設置 2.飲酒や食事をしながら散策できるウオーキングコースを作る。 高尾山のような最終目的地を設定して、人とすれ違った際は挨拶を交わすなどの他人とコミュニケーションが図れ非日常的な空間にする。
No327	海辺に近い環境を活かした場所として活用していただきたいです。
No328	海は海、緑は緑と、分けて考えるのはダメなのですか？現状の山下公園から赤レンガ倉庫までの街の景観で十分です。 それぞれのエリア（象の鼻、赤レンガ、山下公園、大さん橋）を統一するよりも、それぞれの個性を磨く方が良いです。 なので、山下ふ頭も山下ふ頭にしかない空間にしてほしいです。エリアが異なるため、全てのデザインを統一した街づくりをするのは困難です。 山下公園と一体化するのであれば、まだ多少の融通は効くと思いますが、赤レンガ倉庫と統一するのは、赤レンガ倉庫の魅力が半減すると思います。 場所によってコロコロと変わる街並みこそが、みなとみらいの魅力だと思いますし、パシフィコ横浜～赤レンガ倉庫のショッピングモールと一体化している雰囲気、象の鼻パークの停泊している船と現代的なアートとの融合の雰囲気、 大さん橋の壮大さ、 山下公園の復興のシンボル、ホテルニューグランド、マリンタワーとの歴史ある雰囲気、 各スポットに味がある方が魅力的です。山下ふ頭も単体で色を出すべきだと思います。（統一するなら山下公園と統一してください）
No329	オンカジなどと社会問題になっている取り組みは絶対にやめるべき。 なにしろ緑地を拡大する取り組みを。
No330	イメージ図としてシンガポールの緑豊かな高層マンションを載せていましたが、あれはしっかり管理しないと虫が湧きます（中国ではすでに問題になっています） 緑化は大歓迎ですが、よほどしっかり手入れをしないと悲惨なことになります。手入れのための予算の確保をお願いします。
No331	脱炭素にむけた取組が盛り込まれているのは素晴らしいと思います。地球温暖化の影響は大きく、子どもを連れて外出するのも難しいです。山下埠頭に限りませんが、再開発にあたって使われる車両や資材など過程においても妥協せずに環境を意識して、画期的といえるものにしてほしいです。また、このような再開発は数十年スパンで繰り返すべきではないと思いますので、再開発後は半永久的といえるくらい持続的な循環型社会の実現を目指してほしいです。再開発して景観が綺麗になって良かったね、で終わりにしてほしくありません。 高い市民税を払っているので、さすが横浜といえるような取組を期待します。
No332	一般の所有する船舶を係留する場所やトレーラーで牽引したボートをランチング出来

	る場所を作って下さい。海が近い街である横浜市にボートを降ろす場所やボートを係留出来る場所が少なすぎます。近くは葉山港や平塚などしかなく東京湾へ個人が自宅所有しているボートを降ろせないし、所有したくともベイサイドマリーナのように高級な場所しか空いておらず金沢漁港は使い辛過ぎるので東洋一の港町横浜市として本牧ふ頭に関わらずマリンレジャーへ積極的になって欲しい。
No333	本牧ふ頭の開発において、本牧海釣り施設の移設または新たな海釣り施設の開園を求めます。 幼い頃から釣りを嗜み、本牧海釣り施設は初めて釣りをした思い入れのある場所です。 台風や潮風の影響で老朽化が進み何度も修理をするのは良いですが、ふ頭の拡張工事によって海流が変わる、土地の拡張で将来取り壊される可能性が考えられる等影響は大きいと思います。横浜は海に面しているにも関わらず海釣りを合法的にできる場所は非常に少ないです。これを期に新しく作られる本牧ふ頭の方に移転し今よりも多くの人員が楽しめるような施設を目指してはいかがでしょうか。
No334	海を全面的におしだしてほしい
No335	横浜で砂浜で遊べるのは海の公園、野島公園くらいですよね。 大人(市民)が遊べる、リラックスができる水辺を増やして欲しいです。独身の方も増えてますからそんな場所があるといいと思いますよ。 海水を利用したスパなんかはどうでしょうか。 タラソプールです。 沖縄のブセナテラスとかにいかないとないですから、横浜にも欲しいですね！ 市民も気軽に行けるお手頃価格でできると嬉しい。
No336	美しいみなとみらいが見える場所。少し整備してあげるだけで今よりもっと素敵になると思います！ 海辺は、子どもが遊べる広場があると嬉しいです。
No337	その２から 山下ふ頭は、インナーハーバーに残された公有地、「市民の共有財産」である。したがって、市民の福利厚生向上のために使うのが本筋である。人口減社会、格差拡大、生成ＡＩなど技術革新、気候危機など歴史的転換期の中で市民生活第一にふさわしい横浜の都市づくり、その一環としての５０年１００年後の山下ふ頭のあり方として、「市民が集い・憩い・交流・活動し・文化を発信する、市民のためのオープンスペース」を提案する。三面が海に囲まれた景観豊かな山下ふ頭を軸に、大岡川、中村川運河と結び、本牧の三渓園とつなぐことによって、「横浜らしさ」の歴史や文化が未来に輝きを増して再生されるであろう。周辺地域の経済も活性化するに違いない。そのようなそこに住む市民が生活の豊かさを感じるまちこそ、５０年１００年先、国の内外の人々が訪れたくなる観光地となろう。さらに、都心部に広いオープンスペースが確保されていれば、防災拠点としての役割も果たせるのである。 ２、第二の問題点は、事業計画案づくりの「市民参加」問題である。 この点について「基本的な方向性」には、「３つのテーマが重なり合う中心に、『市民が結ぶ新たなまちの環』として、市民の皆様をはじめとする多様な主体が参画できるまちづくりの考え方を示しています」と、「市民参加」を重視しているかのように書かれている。しかし、その事例をみると、「最先端技術の体験・体感」とか、「国内外からの来街者を迎え、もてなす温もりある環境づくり」など、「にぎわい拠点」の利用者、もてなし役にすぎず、本来の「市民参加」とは根本的な違いがある。 さらに、「今後の検討の進め方」として、「市民意見を伺う取組を実施し、議論を積み上げ、より良い事業計画を作

	成していきます」と書いている。　イ、まず指摘しなければならないのは、都市づくりへの「市民参加」の問題は、第一の問題点でふれたどんな都市づくりの方向性をめざすのかと一体不可分の問題だということである。横浜の先進的都市づくりは、理念として「市民の政府」を掲げ、「市民と共につくる」ことを終始一貫重視し、実践してきた。飛鳥田市政時代の６大事業は、まちづくりパンフレットとして全世帯に配布された。港北ニュータウンのまちづくりは、文字通り住民との協議に依った。馬車道はじめストリート再生は、地域商店街との協議で実現された。国の内外から評価されている横浜の都市づくりの先進性は、「市民参加」抜きには語れない。　ロ、しかし、カジノ誘致のためにつくられた「都心臨海部再生マスタープラン」前後から、林前市政のやり方は、それと真逆で市民の意見に一切耳を貸さず、もっぱら行政主導で進め、「市民参加」を切り捨てるものであった。挙句の果ては、カジノの是非を問う市民の直接請求に対してさえ、「二元代表制」を振りかざして、はねつけた。こうした態度もまた、市民の怒りに油を注ぎ、カジノ誘致は挫折し、自らも破滅する運命となった。ハ、このようなカジノ誘致の顛末の反省に立つなら、山下ふ頭のまちづくりは、何よりも「市民参加」が最大限保証されなければならない。　しかし、その後の港湾局による２回にわたる「市民意見募集」「意見交換会」は、形式的にはともかく、市民意見を反映するものにはならなかった。方向性を「答申」する「山下ふ頭再開発検討委員会」にも、「地域経済団体」はメンバーに選定されたものの、市民代表は入れなかった。しかも、幸田委員が主張された「市民が過半数を占める事業計画検討委員会の設置」は、異例なことに多数決を強行し、「答申」では「委員会の権限を越える」として排除された。　ニ、このたびの「基本的な方向性」には、「市民意見を伺う取組を実施し、議論を積み上げ、より良い事業計画を作成していく」と書いているが、具体的に実施するとしているのは「市民意見募集」だけである。 私たちは、この間の経験からして、「市民意見募集」のやり方によって市民の意見を反映させることは決定的に不十分だと繰り返し指摘してきた。なぜなら、「市民意見募集」で応募された意見は、結局のところ港湾局の一方的判断で採否が決められる仕組みであり、カジノの時のように少数だった賛成意見がとり上げられ、多数の反対意見が排除された事実もある。また、「対話の場を設ける」との話も聞くが、具体的にはいつ、どのような選定を経て行われるのか、対話した結果は、事業計画案づくりにどのように反映されるのか、その保証はあるのか、など定かではない。 肝心なのは、市民意見の反映を実質的に保証するには、対等の立場で双方向の議論ができる仕組みが不可欠であるということである。それゆえ私たちは、「市民代表が入る事業計画検討委員会の設置」を求めて署名活動を展開してきた。７月２３日現在、賛同署名者数は、８２１６人に上っている。　ホ、こうした意見について、一部の市民運動の主張と軽視してはならない。神奈川新聞は昨年１２月２７日、「答申」を受けて　「大事業こそ民意反映を」という社説を掲載し、「市民意見募集」の不十分さを指摘して「熟議を重ねた丁寧な合意形成が不可欠である」と述べ、市の進め方に警鐘を鳴らしている。　私たちは、第二の問題点の対案として、カジノの反省に立ち、市民不在、軽視の拙速な進め方をやめ、双方向で市民と意見交換ができる仕組みをつくり、議論を積み重ねて、事業計画案を策定することを

	強く求める。そうなれば、当然にも「市民意見募集」が終わってから半年間で事業計画案を策定することは不可能で、必要にして十分な時間をかけるべきでスケジュールありきの態度は改めるべきである。 ３、最後に事業計画策定の重責を担う港湾局に２点申し上げ、結びとしたい。第一点は、「市民参加」を真に保証する前提として、「正しい情報」と「専門家の知見」が提供されねばならないということである。私が多少なりとも突っ込んだ意見を言えるのは、山下ふ頭再開発問題が市政の重要課題になって以降、横浜の都市づくりの情報を歴史をさかのぼって入手し、事情に通じるようになったからである。また、都市づくりの専門家、まちづくりの実践家の知見に学ぶ機会があったからである。日々の生活に追われる多くの市民にとって、ひまな私のような時間はない。したがって、港湾局としては、正しい情報と専門家の知見を複数提供して、市民が発言し、的確に判断、選択できるようにする責任がある。　第二点は、横浜の市民の中には、飛鳥田市政以来６０年間、先進的まちづくりの成果を享受してきただけでなく、まちづくりに参画し、実践してきた経験をもつ人々がいるという事実を見ていただきたいということである。「山下ふ頭に○○があったらイイナ」プロジェクトが、一年間の検討を経て２０２４年２月、提言書を公表したが、これは氷山の一角に過ぎない。３７７万市民の中には、こうした市民が少なからずおり、この力に頼れば、市民と共に、より素晴らしい山下ふ頭のまちづくり、横浜のまちづくりができると信じてことに当たられるよう希望する。　以上。
No338	最近の都市開発の国内事例を見ると、大阪グラングリーンや立川グリーンスプリングスなど､緑を中心に据え人々が集まってくるという街づくりがトレンドだと思います。横浜の臨海部で「緑と海辺」をテーマとする街づくりは大変すばらしいと思います。それなりの大きさの緑を中心とした空間を整備し、普段は人々が集まり「空と海」を感じられる緑の憩いの場所、災害時は防災拠点となってほしいです。横浜の新たな街づくりに期待しています。
No339	埠頭に隣接する形で、フランス発の「OKAHINA WAVE」に代表される、自然環境での人工波の技術を導入していただきたい。アクティブでウェルビーイングを重視する富裕層にとって魅力的であり、横浜の新たな都市像にもつながると考える。　横浜のトライアスロンのように、サーフィンの世界大会を毎年開催できる場所に発展してほしい。　埠頭の面積を使わずに経済効果を得られる点でも有効である。　緑と海辺の環境を活かし、美しい景観と心地よい空間の創出を期待したい。
No340	シンガポールのガーデン・バイ・ザ・ベイのような緑と海が融合した施設があると良い。
No341	環境保全のために木を伐採せず緑を生かした街づくりをしてほしい。
No342	歴史的横浜を忘れずに
No343	とてもよいアイデアと思う。オープンスペースで子供が無料で遊べる場所をもっとみなとみらいに作ってほしい。
No344	緑と海を大切にした、持続可能な取組みと合致した良い取組みだと思います
No345	観光客・インバウンド効果が期待できる施設の計画をお願いいたします。

No346	ビーチをつくる
No347	いいとも思います
No348	テーマ１「世界に誇れる魅せる緑と海辺空間」 この理念は、横浜らしさを象徴する素晴らしい方向性だと思います。むしろ、この理念に集中していただきたいと考えます。山下ふ頭は決して広大ではありません。だからこそ、余計な欲張りをせず、「市民の憩い」と「横浜の風景美」を第一に据えた開発に徹していただきたいと思います。
No349	海が近いので、海を眺められるような場所、広場があったらいいと思う。
No350	山下ふ頭に「タマちゃんマリンランド」を設置する提案 横浜市の海に面した山下ふ頭に、アザラシをはじめとする海洋哺乳類を中心とした水族館「タマちゃんマリンランド」を設置することを提案します。 この水族館は、海洋都市・横浜の魅力を高めるとともに、環境保護の重要性を発信し、観光客の誘致にもつながる施設となるでしょう。１タマちゃんと横浜市のつながり 2002 年、アゴヒゲアザラシの「タマちゃん」が横浜市の帷子川に現れ、市民の人気を集めました。流行語大賞を受賞し、横浜市から特別住民票が交付されるなど、大きな話題となりました。 このような背景から、「タマちゃん」の名前を冠した水族館を設けることで、横浜市と海とのつながりを象徴する施設として、多くの人に親しみを持ってもらえると考えます。２山下ふ頭の可能性 山下ふ頭は、横浜市の発展にとって重要なエリアです。他都市との差別化を図るためにも、脱炭素社会の推進、自然環境の保護、生き物との共生をテーマにした施設づくりが求められています。 「タマちゃんマリンランド」は、港湾と自然が調和する都市づくりの象徴となり、横浜の未来を担うプロジェクトとして大きな意義を持つでしょう。他の施設との相乗効果により、山下ふ頭の発展により効果的です。 海洋都市アピールの為タマちゃん顕彰の場があればいいと思います。
No351	みなとみらい近辺や横浜駅近辺は、次々と大企業が観光客を呼び寄せる遊戯施設・商業施設・ホテル等が誘致され、高層ビルディングが林立しています。 そのような施設がいくら横浜市の補助金を受けたものであろうと、横浜に暮らす市民が肩肘を張るとなく、安心して覗きに行けるようなものではなくなってしまいました。昔横浜市歌や学校の校歌に歌われたように、人と自然・生活が息づく横浜が消えようとしています。港から富士を臨める場も減り、港の人々の生活や仕事を支えた大岡川、吉田川、中村川、堀川などの河川も見ることのできなくなったものも多くあります。 横浜港と言っても、旅客船の停泊する大さん橋等以外は、大黒ふ頭、本牧ふ頭、南本牧ふ頭、山内ふ頭などは物流の中心となっており、瑞穂ふ頭などは米軍に占有され続けており、殆ど市民の目に触れることもないところです。 「山下ふ頭の再開発」と言った時、私たちが望むのは、市民が直接手に触れることのできる「緑と海辺」を実現することです。子どもも大人もゆったりと過ごせる緑のある広場こそ必要なものです。海外でも、そのような公園で人々が弁当を持ってゆったりと過ごしている姿を見ることがしばしばありました。 交通もぐるっと回る電車と、海と川を結ぶシーバスなどがあれば十分でしょう。
No352	今は緑が何もありません。将来の人達のために木々を植えたり、芝生を増やしたりして、市民が気軽にこれる公園にしてほしいです。 海のそばでもあるので、防災も考え

	たものもあるといいです。
No353	国際都市横浜を代表する国際会議場に隣接した、緑豊かな近代的公園の創造を望みます。
No354	山下ふ頭は、いわば横浜のシンボルのような場所です。市民の憩いの場所にして欲しいです。入る時や何かするために、お金を払わないとできないようにはして欲しくないです。また、スポーツ賭博のようなギャンブルは横浜にふさわしくないし、ギャンブル依存症が増える可能性があり治安も不安ですが、止めてもらいたい。緑多い市民の憩いの場にしてもらいたいです。
No355	多くの市民がお金の心配なく 親子で自由に利用できるような形の、自然公園を作ることが良いと思います。
No356	市民の財産であるコモンズなので、絶対に導入してはいけないのはカジノでありそれに類する賭け事やギャンブルの類。そして、必須なのが無料で遊び楽しめる公共空間であり、移動手段。例えば無料バイシクルのタンデムやその他のバリエーション。あまり、資本の匂いのない空間演出が重要なので、アーティストによる作品を全体的に展開してほしいし、安価で借りられる公共のスペースなどの構築が大切。とにかく華美な資本集積型の店舗などの集まりは不要。手弁当や飲み物を持って利用できる広大な場所に美術館や図書館、自然のスペースなどをちりばめて海との一体化を作り上げてほしい。 経済の主体や港湾倉庫主体の委員の構成は偏りすぎていておかしい。そこは、もう一度市民主体で引き直すべきです。
No357	「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」 ・臨港パークから山下公園に至る動線を山下ふ頭までつなげることは　非常に重要。 ・山下公園と一体的に整備し、緑豊かな空間を形成することで、　市民や来街者に開かれたウォーカブルな環境が実現できると思う。
No358	環境は破壊せず、市民のための場を作ってください。お願いします。
No359	ガンダムのあった場所の緑と海辺の再開発が良いのではと思います。
No360	市内在住ですが、たまに山下ふとう近辺へ散歩を兼ねて観光に行くことがあります海と近代的な建築物、公園などが大変心地よいので、これからも遠方からでも訪れたくなる景観が続いて欲しいです
No361	緑化を進めて欲しい。
No362	日本全体としてメガソーラーの問題や、歴史ある自然の遺産を破壊してしまうようなことが散見されるため、さすが横浜と尊敬されるような自然と融合したスポットにしてほしい。渋谷のように最先端テクノロジーを入れればよいとは必ずしも思わないので、どうか方向性は間違えないようにしてほしい。
No363	資料にあるような諸外国のように自然とうまく融合しているようなスポットにしてほしい。都会的なスポットはみなとみらい地区で十分賄えていると思うのでこれから作るエリアとしては山下公園との連続性も満たせる自然の多いエリアにしてほしい
No364	自然環境の保全は重要であるため
No365	みなとみらいは都市なので、山下埠頭は海と自然溢れる開発をして欲しい。

No366	CO2 削減には緑が必要
No367	テーマ 1 については、市民や観光客の憩いの場となるよう、都市でありながら緑が豊かな空間を作るべきだと思う。また、横浜市外に住む人にも「横浜には緑がある」というイメージを持ってもらいたい。
No368	変に流行ってる『木材』を使った建築物は止めて欲しい。横浜らしくレンガ調だったり、パシフィコよ様な近未来的な感じにして欲しい
No369	漠然としていますが、2027 年開催の園芸博覧会との繋がりを考慮しては如何でしょうか。
No370	海水の水質改善してほしい
No371	カナダのスタンレーパーク、オランダのキューケンホフ公園など世界的に有名な公園の日本版になると良いです。
No372	横浜市民として誇れる空間ですので、さらなるブラッシュアップを期待しております。
No373	これは大賛成です。立地的にもっともっと勢いがあっていいはずなのに、現状十分に生かしきれてない感じがするので、是非取り組んでほしいです。
No374	サーキットを作ろう。モナコサーキットの横浜版。それくらいしないと意味がないよ。親水公園？あの立地を無駄遣いしないで欲しい。観光客を呼び寄せる目玉が欲しい。
No375	開発などせず、自然中心の緑ばかりの広い公園にすべき。
No376	街と自然が共生し緑豊かな環境を更に整えていければと思います。
No377	緑があって海の美しさが保たれる
No378	世界に誇れる緑と海辺というタイトルに惹かれました市民も一緒になって楽しめる空間になってほしい
No379	この二つのテーマに、広い空を加えて新しい山下ふ頭イメージが実現することを願っています。
No380	自然と横浜港のコラボ
No381	具体的なことがなくて、ピンとこなかったです。でも、「緑・海辺」リゾート地みたいなところだといいなと思いました。
No382	早くじつげんしてもらいたい
No383	沢山の緑と海に囲まれた横浜を、もっと有効活用できるような取り組みを考えて欲しい
No384	海辺に緑の多いテーマパークがあれば嬉しい。ショッピングが出来て海を見ながら食べられるレストランがあって海沿いに広い公園で芝生でテイクアウトした物を食べたりのんびり出来る場所があったら嬉しい。
No385	美しい海と緑は魅力的なのでもう少し踏み込んだ何かがあればと思う
No386	100 年続く森作りをお願いしたい。
No387	環境、防災に配慮し設計願います。維持管理の方法や費用も事前に良く検討願います。
No388	緑を増やすのはとてもいいし、子どもが海辺を散歩できることでヨコハマに愛着がわくと思う。でも蚊が増えると嫌なので、その辺の対策は盛り込んで欲しい。
No389	横浜イコール海のイメージなのでこの資源を観光などに生かして財政に生かせたら良

	いと思います
No390	このふ頭で経済的利益をあげることを条件にしないで、世界に類のない海沿いのオープンスペースとして整備して、そこに来た人が周辺の既成市街地に波及する効果を目指してほしい。
No391	これを徹底したまちづくりを期待する。すべての計画が「魅せる緑と水辺」になっているかで判断する。
No392	先日シドニーへ行った際、数十年前の印象とだいぶかわっていた。世界へ発信出来るような港のある街となって欲しい。横浜って海外からはあまり知名度がないような感じがする。
No393	自然環境重視。
No394	港町なので、どんどん船の受け入れをして欲しい
No395	改めて、緑が欲しい
No396	緑を増やすことは気温下降に繋がるため、良いことだと思います。ただ、緑を増やすなら、津波など災害に強い緑を増やして欲しいです。
No397	自然環境の保全
No398	港町横浜の近未来へ向け新たな象徴となれば良いと思う
No399	とても新緑豊かでデザインやセンスに長けていて、色鮮やかで素敵だと思います
No400	山下公園付近の景観は、このまま残して欲しいです。
No401	セントラルパークのような、人があつまるみどりゆたかな公園にしてほしいです。アクセス良好にしてほしい。
No402	東京は代々木公園や新宿御苑をはじめたくさん森がある。都心に森があることが大切であって、今ある根岸森林公園や横浜公園が精一杯であって根岸は都心から離れているので機能していない。横浜公園は球場であって公園とは言えない。 まず、「森をつくる」を主題にして欲しい。それが一流都市の裕（ユト）りなのだ。森は廃れない。倒産しない。山下公園の隣に森をつくろう！！ フランス山は起伏が激しく（気軽に来客しない）だめだ。
No403	山下ふ頭は市有地です。企業優先で、スタートしないで欲しい。　市民の土地なので、市民の意見を中心に計画して下さい。税金払っている市民なのです。　広い公園にして下さい。　障害を持っている方でも楽しめるように、又、家族で行きたいと思えるような、場所にして下さい。
No404	・緑地公園（テニスコートを含む）を作ってほしい。　・災害時に市民の命を救う機能、施設、設備を作ってほしい。　・観光施設は、もうこれ以上ふやさなくてよい
No405	よけいな建物のいらない公園がいい
No406	みんなが楽しめる公園が望ましい。ビル等の四角コンクリートはいらない。山下公園もあるが、防災等にも利用出来る施設がほしい。運動が出来るようなベンチ等ほしい。
No407	テーマⅠについて 「都市と自然が共生した、ここにしかない緑・海辺」緑地帯を半分以上とり、緑の公園で住民やおとずれた人が自由に、そして家族とともにのんびり過ごせる場所にして

	下さい。 その他のテーマについて 平和都市横浜を世界にアピールさせて下さい。「平和創出館」を作って下さい。唯一の被爆国であることも協調して下さい。
No408	・山下公園と一帯化した整備を。　・関内駅、石川町駅、中華街駅からもゆったりと歩いていける歩道の整備を。（新駅は不要）　・炎天下や雨の日でも心休まる図書館を。　・建物は省エネ・再エネで。
No409	市民の憩える海辺のある公園を作ってほしい。　昔からの波止場（港湾）の町である横浜の良さを残してほしいと思います。　子や孫達が誇れる街になるようにと祈ります。
No410	数年前には、山下ふ頭跡にカジノが計画されていて、本当に心配しました。賢明な市民の選択でカジノにならず良かったです。横浜内港地区は、名実ともに世界に開かれた地域です。港地区を歩くと、本当に横浜はすばらしいと実感します。 山下ふ頭跡には高層ビルは建てず、空と海と緑が一体となった美しい海辺を作って下さい。賑わいや利益優先ではなく、ゆとりある良質な空間を望みます。
No411	地球温暖化で猛暑日が続き生命の危険すら感じます。今を生きる者として、将来の地球を守るため、これ以上の気候の悪化は許されません。20 世紀の■■でストップを■えるためにも、緑ゆたかな公園ひろい全面緑地化をもとめます。
No412	最高のロケーションで広大な市民の土地です。　市民が交流できる場所文化の発信地として公園を中心とした場所に市民のいこいの場にしてほしい。観光はもう沢山。
No413	1.英国：ロンドン・ドックランズ 　成功のポイント：商業、住宅、公園が共存することで、世界的金ゆうきょ点へと変ぼうをとげた。 2.米国：ボルチモア・インナーハーバー 　成功のポイント：観光レジャーに特化した施設を核に据える。 　集客力アップ：都市全体の活成化 3.日本：みなとみらい 21 地区 4.韓国：ソウル：清渓川（チョンゲチョン） 1～4 に共通しているのは「水辺と緑を一体的に英微視、人々が訪れたい、過ごしたいと思えるようなみりょく的な空間を創出する」という考え方です。
No414	山下ふ頭は市民が集える緑が多い公園にしてほしい。誰でも気軽に立ちよれるものにしてほしい。
No415	浜ッ子の森が良い。
No416	山下公園は、関東大震災でこわれた建物などの、ガレキでうめたてられてできました。今では、森に近い木に育ち、りっぱな緑豊かな会園です。山下ふとうも、50 年 100 年後は、緑豊かな公園になります。市民がいこえる広い緑豊かな公園にしてください。休憩所、カフェがあっても良いです。山下公園からひきつづきの、緑豊かな公園にしてください。
No417	海で遊べるようにしてください。

No418	緑の多い公園で思いっきり走りまわりたい。
No419	海辺の大きい公園で友達とあそびたいし、地いきの人たちとこうりゅうできるような場所がほしい。山下ふ頭は、今ある自然を生かして豊かな場所になっていてほしいです。
No420	公園やアスレチックであそびたてです。
No421	砂浜があるきれいな公園を希望します。
No422	これからの時代は物を売るのではなく、技術を売る時代になっていくのではないでしょうか？ 世界規模の温暖化に対するイノベーションを研究･実験していく場になればいいと思います。
No423	アクセスしやすいので工場型の畑があると嬉しいです
No424	最先端の技術で驚く場所を創りながら、どこかホッとする安心感のある場所（昔ながらの良さを残す）にもしてほしい。
No425	②ゴーカート場（平塚にあるが遠いので近くにあるとありがたい。維持費が心配ではあります
No426	YHH、YOXO、テックハブなどとの連携を考慮した新しいイノベーション拠点の開発に参加したいです。
No427	イノベーションを生み出し、実践する場として埠頭はちょうど良いと思った
No428	横浜市の港湾では実証実験が大変実施しにくいと聞いたことがあります。その前提があると、スタートアップによるイノベーションは絵空事になってしまうのではないかと思います。ぜひ、港湾での実証実験のハードルを下げる調整とあわせてすすめていただきたいです。
No429	緑と海辺の環境を整えることが大事だと思う
No430	近年の日本各地における治安悪化をこれ以上横浜市に持ち込んでほしくないので、研究機関などの学術的価値のあるものに投資してほしい。 あと、なるべく都市部だからこそ自然を増やしてほしい。
No431	国際的に活躍する人材育成の拠点としての山下ふ頭再開発　　激動する世界において日本国が世界から尊敬される国として存続する為には、日本国民､特に若い人達が語学留学、海外留学、海外視察等で見識を深め人間力を高めることが有効であります。特に英語力を中心としたコミュニケーション力が重要であります。　　しかし､これらは費用等の理由で誰でもが実行できるとは限りません。　そこで　山下ふ頭再開発地域にそれに代わるインフラを整備することを提言します。横浜市には外国からの留学生を受け入れる大学、学校、JAICA の施設、留学生会館などが有りますが　その反対に、日本人が海外に行かなくても研鑽できる居住施設、語学習得等の施設（できるだけ妥当な費用が望ましい）を設置してはと考えるしだいです。　以上は海外ビジネスに永年携わり、帰国後は日本語教師を務めたものの体験にもとずく浜っ子の提言です。山下ふ頭の再開発の成功をお祈りしております。
No432	国際都市横浜にふさわしい、大国際会議場、海外からの大規模な充実した宿泊施設の建設、情報化時代にふさわしい日本にほこる内容をともなった大規模な図書館の建設

	を期待します。
No433	「持続可能なまちを支える明日へのイノベーション」・横浜港の歴史や資産を活かし、環境にやさしい技術やゼロカーボンの取り組みを体験できる拠点があれば魅力的。日本のみならず世界中から未来を担う人材や企業の交流の場となることを期待したい。
No434	以前ハンマーヘッドにあった芸術家が作品を発表できるスペース(場)もあってもいいと思う。
No435	大型イベントが実施できる施設の設置。大型クルーズ船が発着できる設備の設置。
No436	世界に誇れる先進的且つ美しい景観を融合した街づくりを目指して頂きたい
No437	イノベーションの実験場として活用，規制緩和。緑は無関係、海とイノベーション。そこに防災や減災があればいい。
No438	現在の山下公園を含む景観と調和した全体のデザインを希望
No439	国際都市としての、人材交流，育成に力を入れて欲しい。国際シンポジウムなど活発に開催して、市民も参加させて欲しい。国内最大規模の外国人向けの日本語教育センター、生活支援センターなどを置き、中核を担って欲しい。
No440	マイボトル持参を促すため、給水所の設置をするなど地球に優しいまちでありたい。
No441	世界の横浜港に復活させる斬新なイノベーションを期待します
No442	国際都市横浜をアピールする企画を取り入れては？例えば。アジア村、中近東村、アフリカ村、南米村、等々を作り、各国のアンテナショップを誘致するなど。
No443	この３０年間、日本はイノベーション創成を目指してトップダウンで様々な研究、取り組みにトライして来ましたが、ご存じのとおり成功しておりません。ボトムアップな研究、取り組みがイノベーションに繋がるような環境整備が必須であると思いますが、今回の取り組みの考え方には、その点をもう少し前面に出すもう一段強い発想、発進が必要であると思います。
No444	人口減少に伴い、スマートシティを目指す。観光整備だけでなく、周辺部への投資を増やす。
No445	先端技術に限らず伝統技術の再開発、継承も目指して欲しい
No446	イノベーションと変わらなさのバランスが大切。ヨーロッパの変わらなさと垢抜けた感じはだいすきです。もちろん都会的な美しさと便利さも人を惹きつける大事な要素。
No447	サッカー場とか観客を呼込む施設
No448	観客を集める施設
No449	港町としての人材育成を目標に、幅広い年齢層が興味を持てる開かれた施設、設備を用いて、今までにない体験ができる未来を期待します。横浜市民、勤務、在学はしっかりと告知、低年齢層は団体での無料体験を斡旋するなど絶え間なく活用を期待します。
No450	どこにもない海辺の町を期待したものだ。
No451	全体像がよくわかる
No452	イノベーションというと耳障りは良いのですが，イノベーションが継続していく場と

	してくのは，困難だと思うし，場所の活かし方としてはテーマⅠと IIII に特化するのが良いと思います。もちろん，時代の最先端の技術の実装で，テーマⅠやⅠⅠⅠを実現すべきと思います。一方，ゴールしては，よくばらず，ⅠとⅠⅠⅠに注力してはどうでしょうか？
No453	脱炭素を目指しエネルギー利用に取り組むのは良いことだと思いますが、自然環境に優しい利用方法を目指してほしいです。
No454	イベント会場を作り、市営交通の充実をしてほしい。
No455	イノベーション ・港湾カレッジ校の誘致（移転）　・大学の誘致（大学など教育機関）　・小学生など港を知ってもらうための施設　・脱炭素化（CNP）基地 災害に強いまち ・岸壁部を利用した防災拠点 賑わい ・ウォークフロントを利用した非日常的な空間（イベントなど）創出　・地域経済の活性化と港湾との相乗効果を創出（雇用含む） 上記、すべてを達成すべく、交通機能の強化（羽田、川崎、横浜（みなとみらい、山下ふ頭）間をつなぐベイサイドライナー（仮称）の敷設など）
No456	横浜を世界的な場所とするため、先端医療基地と附属病院をつくる。 1.世界から人材を集める　2.難病や新治療の開発　3.附属病院の設置　入院患者の半数は外国から　4.資金は世界より　5.羽田と結ぶ世界との直結 等々世界の医療拠点を作り上げる。
No457	頻発する大規模災害に備えたまちづくり、そして新たなまちの土台となるインフラの構築や空間の整備に取り組んで頂きたいことを希望します。 それから、世界の脱炭素を先導する効果的なエネルギー利用
No458	市民が結ぶ新たな街の環 山下ふ頭の全体面積の約半分は市民が気軽に集えるエリアとしてください。山下公園に面した氷川丸側の半分は山下公園から続く自由に散策できる、憩いの場所として整備してください。そして、横浜のみなとの歴史やこれからの役割などの記念館・博物館などの整備をしてください。また、子どもたち遠足や社会見学などにも利用できる市民館や集会などが出来るスペースも整備してください。特に海辺の環境を生かした独創性のある整備をしてください。
No459	サッカースタジアムの建設を希望します。　山下公園を緑のある憩いの場として生かしつつ、山下埠頭については賑わいを創出する中心としての多目的スタジアムの建設を期待します。　長崎での事例のように、スタジアムを中心とした商業施設や宿泊施設を併設してスポーツイベント開催時以外も常に人があつまる場所として機能させる。 サッカーであれば海外からの人気も高く、海外から船で大さん橋に着き、サッカーを楽しむという流れも作れるかと思います。
No460	収益をあげるための商業施設は当然必要になってくると思うが、あまりに高額な施設であるとなかなか足を運びにくくなると考えます。賑わい創出の面で考えると無料で

	楽しめる施設・設備や安価で高付加価値の体験ができる施設等があれば良いなと思いました。
No461	アメリカのディズニーにあるスターウォーズのテーマパーク建設希望。世界的にファンが多く集客が見込める。横浜はこれといったテーマパークがないので誘致してほしい
No462	サッカー専用スタジアムの建設を希望します。広島や長崎の様に市街地に合致したスタジアムで人の流れは作れますし、海外からの訪日客にも魅力的な物になると思います。　日産スタジアムは良いスタジアムですが、陸上等のスペースが広くて試合が見辛く臨場感がありません。 また 1997 年完成と 30 年経過しており次世代を考え始めても良いと思います
No463	新山下埠頭再開発の課題 ①「開発業者が開発した事業だけが利益を生む事業であってはならない」。「何故なら新山下埠頭は、市民共有の財産」である。 ②みなとみらい地区は、現在も大手開発業者が進めている。新山ふ頭は、中区であるが、市庁舎や関係団体も移転、横浜の中心地は 、歴史的に中区である。現在、元町、中華街、関内、伊勢佐木町、長者町は衰退傾向。このため新山ふ頭開発は、中区の賑わいを取り戻す事が大目的、それによりみなとみらい地区に波及効果が期待できる。あくまで中区の賑わいを取り戻すための開発を要望。 ③新山下埠頭再開発の盲点は、「アクセスの悪さ」。「埠頭は、陸の孤島」。歩道も全く整備されてないので歩いて埠頭に行く人は皆無。大胆な道路計画の変更が必要。みなとみらい鉄道の根岸までの延伸が必要。何故なら、山手、根岸、本牧地域の所得水準が高い、消費意欲も旺盛。再開発地域や中区地域の賑わいとみなとみらい地域への波及効果が望める。水上バス、空中ケーブルなどの計画は、論外。高額であるばかりでなく天候の影響で市民の足にならない。大阪夢の島開発が反面教師である。
No464	エスコンフィールドのようなボールパーク一択です。なぜそれ以外の案があるのかわかりません。DeNA とともに開発を進めてください。
No465	横浜には海賊をモチーフにしたプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」があります。 NBA 選手である河村勇輝をはじめユースからも有望な選手を多数輩出しています。昨年は日本が誇るコンテンツである「ワンピース」と海賊コラボも実現しており、今後、ベイスターズやマリノスと並ぶ地元の人気チームになると思います。 2026 年から始まる B リーグのプレミア化に伴い、お台場のトヨタアリーナ、船橋のララアリーナ、神戸のジーライオンアリーナ等、各地に夢のアリーナが誕生しています。山下埠頭跡地という立地に海賊船をモチーフにしたビーコルのホームアリーナがあれば、バスケのみならず観光地としても賑わいを創出できると思います。
No466	みなとみらいなどと差別化が図れるよう、スポーツと健康をテーマにして欲しい。スポーツは X スポーツなど狭くても可能でかつ先進的で若者に人気なもの、健康は健康器具などを多く設置する、ヨガエリアの設置、うみをみながらの温泉などを検討して欲しい。
No467	常設の広いドッグランを検討して欲しいです
No468	スポーツで文化を醸成する。横浜の街の象徴でもある横浜 F・マリノスと市が連携し

	ていくべき
No469	山下北側整備計画に関連し、現横浜スタジアムを山下ふ頭北側へ移転し、全天候型の「横浜ドーム」として整備することを提案いたします。　ベイスターズは横浜の象徴の一つであり、プロ野球球団として市内経済・観光に大きく貢献しています。 年間を通じた試合開催は飲食・宿泊・物販など広範な産業に波及効果をもたらし、球団ブランドは観光資源としても機能しています。 仮に球団が横浜から移転すれば、経済面・都市ブランド面の両方で大きな損失となることは避けられません。 山下ふ頭北側は、みなとみらい線やベイサイドブルー等の既存公共交通機関を活用でき、アクセスの良さも十分に確保可能です。 新球場の開業は沿線の乗車率向上や地域活性化につながり、交通インフラの有効活用にも寄与します。　また、全天候型ドームは雨天や酷暑でもイベント開催が可能で、国際大会やコンサート、展示会、e スポーツ等多用途に利用できます。 これにより、国内外からの集客を促進し、横浜の国際的な魅力を高められます。　現横浜スタジアム跡地は再緑化や市民広場化、ふ頭とは違った国際的な魅力のある開発を行うことができます。こうした整備は球団だけに便宜を図るものではなく、市全体の利便性や魅力を高める取り組みとなります。　本提案は、横浜市が掲げる「国際性」「持続可能性」「港湾景観活用」といった開発理念にも合致します。 市民と訪問者が誇れる都市づくりの一環として、ぜひご検討ください。
No470	よくある、どこにでもあるハコモノにならないようにしてほしいです。　昨年ベイスターズが日本一になったことで大いに横浜市全体が盛り上がりました。 しかし、横浜スタジアムの老朽化や狭さは課題であり、改修はしていますが、来場者数に対しても施設は十分ではありません。また、より多くの来場者数を見込めても収容人数をこれ以上増やすのも簡単ではありません。 いずれは建替えも必要になる時が必ず来ます。そうなると十分な土地の広さ、アクセスも考えなければならず、他球団のように、最悪横浜から移転する可能性もあります。 そうなれば、横浜にとっては経済的にも、精神的にも大きな損害を被ります。　だからこそ、山下ふ頭に「横浜ドーム」として移転させるのが良いと思います。 ドーム化は長年の要望の 1 つでもあり、ドーム化して全天候型に使えるようになれば、試合がなくても安定してイベント開催等で使うこともでき、市内経済の活性化にも繋がります。　一方で、現横浜スタジアム跡地は駅前の一等地、横浜の中心地であることを活かして、ふ頭とは別の開発もできます。 そのため、ベイスターズにだけ便宜を図るわけではないです。 横浜市にとってはベイスターズに恩も売れ、ふ頭と横浜スタジアム跡地でそれぞれ地域経済や観光の起爆剤として使うこともできます。　海外でも生活し、国内のいろいろなところに旅行にも行きましたが、横浜市内も日本国内も「どこにでもある」「同じような」施設が多いです。ただのハコモノは作って欲しくないです。 ただ作って満足にならずに、長く横浜市の経済や観光、市民にとってプラスになる物を作って欲しいです。
No471	山下埠頭は横浜港全体の集客力を向上するため、金沢八景キーパラダイスの バージョンアップした娯楽施設を儲ける。 シーパーライスの跡地及び横須賀追浜の住友造船 日産自動車 跡地等は神奈川県 東京都 千葉県 及び 静岡県による 東京湾 の未来像の検討および実施 実施のための設備を行う場所とし、東京湾を中心にした各県の発展

	に寄与するような場所としてほしい。
No472	雇用創出が最優先。東京に集まりすぎている。企業の誘致は必須。
No473	ハワイみたいなところにしてほしい。
No474	みなとみらいとコラボしながら、ライブやイベントを行ってほしい。
No475	横浜市も税収が減って行く中、新たな観光資源や、たくさんの人が集まるくるような、施設が望ましい、
No476	今回、パブリックコメントを実施していただきありがとうございます。 今回の「基本的な方向性」には明記はありませんが、事業者からの 1 提案として出されている「スポーツベッティングの拠点」になることは反対します。 賑わい、と言っても、流行りものやキャラクターテーマパークなどに走ることなく、100 年後も残ってほしいと思うような、育っていく場になることを期待します。
No477	三ッ沢球技場に代わる、15000 人から 20000 人程度の、海辺に近いスタジアムを軸としたスポーツ・パークはいかがでしょうか。 スポーツパークとしてのモデルは広島市のピースウィング。都市部にありながらも、広大な広場が魅力的です。 スタジアムのモデルは北九州市のミクスタ。海や港が見える、ユニークなスタジアムとして好評を博しております。横浜港を一望できるスタジアムは大きな観光資源になります。 山下ふ頭での建設のメリットは、平地であること、交通の至便がよいこと、試合開催日になると、近くの元町・中華街が賑わいをみせることができるという点です。 賑わいとしてのスポーツパークを検討してほしいです。
No478	テーマ 1 にも当てはまると思いますが。　ミセスグリーンアップルさんの件でデータが取れていると良いのですが、海が背景となるステージが展開できるスタジアム、半野外ステージもいいと思います。　上に開くのではなく、客席から見た前、ステージに立つ人からは後ろが海！ あとはどのように音を制御するかというデザインが必要になりますのでその辺はプロと要相談ですが。 映画 sing にも出てきますが、ステージの背景が絶景というシチュエーションは誰にとってもたまらないと思います。さがみ湖野外バレエフェスティバルも背景が本当の相模湖ということですから参考になりそうです。　五感で楽しめるステージを展開するのも面白そうです。 現在のステージで足りないのは香りでしょうか。 上記の方法だと、自然の海の香りがするというのは叶いますからいいですね。 あとは、いつでも香りの演出ができる会場というのはどうでしょう？ ステージ上で香りを演出できる装置を開発した演出家の方がいるようですから、そういうのも面白そうです。 大阪にいらっしゃるみたいです。
No479	大さん橋との区別化が非常に難しいテーマにもなるかと思います。個人的に見てみたいものとしてはホテルの誘致で、クルーズ降りたらすぐホテルみたいな機能のある港は横浜には無いので、そうした海辺をもっと感じられるような非日常感、異日常感を喚起するような施設をみてみたいと思います。山下ふ頭がどのように開発され、周辺がどれくらい賑わうのかいい意味で想像できないので楽しみです。
No480	お金がないと施設の維持が難しくなるが、 お金の為に カジノを作るような事のないようにお願いします。 独居 の人にも 注目して、賑わいの中に入れる工夫をお願いします。

No481	山下北側整備計画を推進する中で、現横浜スタジアムの課題と横浜市の将来戦略を踏まえ、スタジアムを山下ふ頭北側に移設し、全天候型「横浜ドーム」として再整備する構想は、市民の暮らし・都市機能・経済・観光・環境の各面で極めて合理性の高い選択肢と考えます。以下に主な利点を示します。　【多面的な利点と政策的整合性】　老朽化・狭さ・法規制という現スタジアムの限界を回避　建ぺい率や容積率の制約、建替え中の球団負担を解消しつつ、自由度の高い設計が可能。　球団が横浜に残り続ける仕組みを現実的に実現　市民の誇り・ブランドとしてのベイスターズを守る最適解。　観光・都市景観への貢献　海と融合したドーム球場は横浜の新たなシンボルに。夜間景観や国際的な観光資源としての価値が高い。　経済・財政への持続的効果　イベント稼働率向上・雇用創出・商業活性化に加え、命名権（ネーミングライツ）や施設使用料、テナント賃料などで市の歳入にも貢献。　公民連携（PFI 等）による整備手法も活用可能　初期投資を抑え、持続可能な都市インフラとして整備できる。　防災・安全性の強化　広大な敷地を活かした避難拠点や災害対応機能も確保可能。　環境・未来都市モデルの形成　ZEB 対応や再生可能エネルギーの導入で、環境都市・横浜の先進事例となる。　跡地の柔軟な再活用　緑地・文化施設・市民広場など多様な都市機能への転換が可能。　この構想は、単なる球場の建替えではなく、横浜の都市政策全体と連動する「未来への投資」です。 市民・行政・民間が協働し、環境・経済・都市機能の調和を図るモデルとして、ぜひご検討をお願い申し上げます。
No482	賑わい拠点を増やし、回遊性を向上させ、宿泊者を増やすべき
No483	山下ふ頭の再開発において掲げられた「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」というテーマは、横浜の都市としての品格と魅力を世界に発信するための重要な指針であり、都市空間の質的向上を目指すものと理解しております。この理念に照らし、私はサッカー専用スタジアムの新設を強く提案いたします。 サッカーは、国際的な共通言語とも言えるスポーツであり、スタジアムはその舞台として、都市のアイデンティティを象徴する存在となり得ます。山下ふ頭という海辺の開放的な空間に、緑と調和したスタジアムを設けることは、都市景観の美しさを損なうことなく、むしろその魅力を高めるものです。スタジアムは単なる競技施設ではなく、都市の顔として、国内外からの来訪者に感動と誇りを提供する「都市の記憶装置」として機能します。 音楽イベント会場等の整備も賑わい創出の手段として有効ではありますが、イベントの性質上、断続的かつ一過性の利用にとどまる傾向があります。これに対し、サッカー専用スタジアムは年間を通じて定期的な試合開催が見込まれ、地域経済への継続的な波及効果が期待できます。観戦者の回遊による周辺地域への経済的恩恵は、関内・中華街・みなとみらいなどとの連携を促進し、都市全体の活性化に資するものです。 さらに、スタジアムは市民の交流と連帯を生む場として、再開発の理念である「市民が結ぶ新たなまちの環」の形成にも大きく貢献します。地元クラブの活動拠点として、地域に根差したスポーツ文化の醸成を促し、世代を超えた市民の誇りと絆を育む場となるでしょう。 加えて、環境配慮型設計や再生可能エネルギーの導入、スマートモビリティとの連携など、未来志向の技術を取り入れたスタジアムは、「持続可能なまちを支える明日へのイノベーション」の実証の場ともなり得ます。災害時には避難施設とし

	ての活用も可能であり、防災機能の強化にも資するものです。 以上の観点から、山下ふ頭におけるサッカー専用スタジアムの整備は、都市の魅力と機能を高める極めて有意義な施策であり、音楽イベント会場等と比べ、持続的かつ多面的な価値をもたらすと確信しています。
No484	人が集まるにはどのようにしたらよいか検討お願いします。
No485	横浜は日本のマーチングバンド発祥の地と聞いたことがあります。大会ができる体育館を整備し、音楽の街ということをもっとアピールしてほしい。 定期的にマーチングの演奏を披露する等も検討してほしいです。赤レンガから山下ふとうまで距離があるので、道中にきれいなトイレを設置してほしいです。トイレは、コンビニやお土産店と一体でもよいです。
No486	国際大会が開催可能な球技専用スタジアムを建ててください。
No487	横浜市に人が大勢くるようにする！
No488	ドーム球場の建設、ホテル、商業施設の集積、第 2 のみなとみらい、地下鉄の延伸、水上交通機関の充実、ロープウエイや新たなモビリティの導入
No489	私が思う山下ふ頭に必要な解決案としましては、様々な新技術や新アイデアを大量に盛り込んだ、視覚的、聴覚的に斬新かつ前代未聞なアミューズメント施設があることで大きく変わるのではないかと考えました。今現在みなとみらいにあるコスモワールドは、当然今まで多くの人を呼び、様々な商業効果を巻き起こした素晴らしい施設であると思います。しかし、それらの多くは立地に多大な価値が生まれており、来場者における満足度は以前に比べ低下してるのでないでしょうか。また、国内に点在している他のアミューズメント施設に比べアトラクションへ対する満足度は低いものとなっていませんでしょうか。未だ観覧車は類を見ないものの、より多くの若者層を取り入れるための目玉アトラクションがあっても良いと考えます。また、来日外国人からして見ても、そこまで魅力的に写るようには思えません。やはり日本の魅力である技術力、そして安全性を兼ね備えた新型アミューズメント施設を建設することでより良いところになるのではないでしょうか。あと音漏れしないライブ会場ですかね。
No490	先日のミセスグリーンさん野外ライブでの騒音問題は この地域が、野外ライブ施設としては不適合であると判明し また「音」の問題は充分に調査しなければならない事も分かりよかったと思います　対岸の千葉でも、幕張や蘇我で大きな野外ライブが行われるので 同じような施設は必要ない！　それより世界的なオペラやミュージカルなどが開催できるような 尚且つ、出演者もここで演奏したいと思ってもらえるようなホールを作って欲しい IR と合わせて、そういうレベルの演目を市民としても楽しみたい
No491	ロックライブのイベント等があると嬉しいです。
No492	デガイゲームセンター作ってください
No493	旅の目的地となる賑わい拠点の形成と掲げられているように、賑わいづくりには単に施設整備だけでなく、広く親しまれるような場所を整備していく必要がある。例えば、神戸市の TOTTEI PARK はウォーターフロントの先端に眺望点となる人口の丘を造っており、頂上からは海辺も山側の景色も、都市の夜景も楽しめるようになっている。

	真新しいものや単に話題性を呼ぶ施設を造るのではなく、シンプルでも新たな都市景観を楽しめるような場所、必ずしも優良ではなく、広く誰もが親しみを持てるような空間整備が必要だと思う。
No494	人と人が触れ合うだけがにぎわいでなく、人が集まることもにぎわいに繋がる。 人が来たいと思える場所を作ってほしい。
No495	全天候型の屋根付きで密閉された、コンサートや、バレーボール、バスケットボールなどのスポーツの世界大会の観戦ができるような大規模なアリーナを作ってほしい。その隣には、シンガポールにあるような大規模な植物園を作ってほしい。それを見たいがためにシンガポールに行くように、横浜にしかないエンターテイメント性の高い屋外屋内施設を兼ね備えた植物園なら、高い入園料を払っても来たくなるだろう。夕方にはイルミネーションのショーなどを企画すれば集客も見込める。
No496	山下ふ頭付近は周りの雰囲気が非常に良いのにもかかわらず、飲食できるところがなく滞在時間が伸びにくい印象がある。雰囲気に合うような気分の良いカフェを多く誘致してほしい。また､海と緑のある街並みだけではなかなか人は来ない｡ロスのSphereが呼べたらインパクトがあって日本だけでなく世界中の人がくるとおもう。
No497	横浜スタジアムが古いので、新しいスタジアムを作って欲しいです。 北海道のエスコンフィールドみたいに観光の目玉にもなると思いますし、多くの来場者を見込め、横浜の経済にも役に立つと思います。横浜市が建てるのであればネーミングライツ収入やその他の広告収入も見込めるかもしれません。 福岡の PayPay ドームの周辺には色々なエンタメ施設があるので、同じように新スタジアムの周囲にエンタメ施設を作ったり、東京ドームみたいに屋内球場にすればコンサートなどでも使えます。 みなとみらい線やバスの元々ある交通資源も使えるし、水上からアクセスできるようにすれば乗客の分散もできます。今のスタジアムはそのまま使うのもありかもしれないですが、解体して新しい何かを作るのもありだと思います。 この機会に新しいスタジアムを本当に作って欲しいです。
No498	みなとみらい在住の者です。 今後周辺地域に、ゲームアートミュージアム、ラグジュアリーホテル、専門学校、水族館等が出来ると聞いています。 現在無い施設を誘致や作ってほしいと思います。 例として、劇団四季など有名な劇団の演劇を鑑賞できる場所が欲しいと思います。 横浜港を望むロケーションを舞台背景に取り込み活用し、東京等の他の地域にある劇団四季専用の劇場とは差別化された、特徴を備えた劇場を作ってほしいと思います。 また劇場周辺には緑がある公園、芝生の広場等があればと思います、キッチンカーの出店等ができるスペースがあれば良いのではないかと思います。 みなとみらい線の元町・中華街からも少し遠く、交通の便が少し不便なエリアなので、 みなとみらい線の延伸が一番良いと思いますが、 ベイサイドブルーの増発等で対応いただけるとありがたいです。もしくはエアキャビンなどを新しく作る等。難しいとは思いますがよろしくお願いします。
No499	①文化と交通の組み合わせ ・横浜の歴史や文化を生かし、海辺ならではの特別な体験ができる拠点にしてほしいです。 ・アクセス面で不便を感じることもあるので、移動しやすさや回遊性を高める工夫をお願いしたいです。

No500	②夜のにぎわいづくり ・横浜は昼の観光は充実していますが、夜の過ごし方はまだ選択肢が少ない印象です。 ・食や音楽、夜景などを組み合わせた横浜らしい「夜の魅力」を　もっと打ち出していただければ、観光客も長く滞在しやすくなると思います。
No501	④多様な来街者への配慮 ・海外から来る方や幅広い年齢層が安心して楽しめる環境づくりを期待します。 ・特別感を求める来街者にとっても満足できる横浜の象徴的な場所になればよいと思います。　たとえば「世界的なコンテンツが集まり、それを目当てに日本、海外から横浜にあつまり賑わいを生み続ける場所＝横浜」のようになると理想的だと思います。　⑤人流や交通の安全性 ・大規模イベント時に人が集中し、混乱することがあります。 ・安全でスムーズに移動できる仕組みを、市と民間が協力して整えてほしいです。　以上ですが、重ねて、地球環境エコに配慮しながら、様々な訪れる人にとって､昼も夜も楽しめるシンボリックかつ 魅力的な｢賑わいの発信拠点」になることを期待しています。
No502	GUNDAM FACTORY YOKOHAMA 再建設を是非とも実現して頂きたく思います。最近インバウンドの方々がまた増えてきましたが、GFY があった頃に比べるとあの辺りの人数はまだまだ及びません。GFY の再建設は、「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」「と「新たな賑わい」を創出するという目標達成に大きく貢献し、横浜の魅力をさらに高める起爆剤となり得ると思われます。世界に一つしかない動くガンダムと横浜、山下公園の景色は文字通り世界に誇れる、魅せる空間だったと思います。ガンダムを観にこられた方々がそこから見えるみなとみらいの夜景にどれだけ魅了されたかご存知ですか？ 定期的に演出を変えることでファンは何度でも来場します。その人たちは、その後中華街やみなとみらいへ足を運ぶことでしょうし、みなとみらいや中華街を巡るイベント（スタンプラリーや謎解きを定期的に実施）また特別な場所に入れる宿泊プラン等もファンには魅力的なものです。
No503	横浜市の収益源となる仕組み
No504	野球やサッカーなどのスポーツスタジアムを核とした賑わい創生、アクセスのための交通機能(一度に数万人が移動できる)の整備が必要になる。広大な器は災害時の避難拠点としても有益になる。
No505	劇場やスポーツ開催など活気ある施設による賑わい。
No506	有料席のない花火大会
No507	世界からの人々をたくさん受け入れて、賑やかな横浜市を取り戻してください。最近は催し物が分散されているので、見に行くのも大変です。スポット開催を希望します。
No508	活気あるまちにしたい。
No509	誰もが気軽に参加できるイベント等の実施
No510	山下ふ頭は観光地として何を目指すべきか、が明確にあるわけでないです、ただ一市民として今回示されている答申に違和感があります。山下ふ頭周辺は必要以上に賑やかな場所であるべきでは無いと個人的には思っています。市民の憩いの場所であるはずです。すぐ近くに中華街の喧騒があり、少し歩けば赤レンガ倉庫、続々開発され今や世界のみなとみらいのきらびやかなな賑わいと隣り合わせであります。一方で、山下ふ頭には歴史があり市民が培ってきた美意識が根付いています。そこにまた何処に

	でもあるようなディベロッパーによる商業施設を誘致してしまっては台無しです。
No511	今もたまに屋外イベントを開催しているが、高頻度でイベントを開催できるスペースや施設を整備していただきたい特に屋内イベントホールの整備（神奈川県民ホールを同じ場所に建て替えた場合、「県民ホール」と「山下ふ頭屋内イベントホール(仮)」の2 か所同時開催するような大規模イベント誘致、イベント主催者が煩雑な手続きを踏むことなく県と市のホールを同時予約できるシステムの導入）また屋内イベントホールに飲食店を誘致することもありかと思います（山下公園周辺にリーズナブルに飲食できる店が少ない（近隣にドン・キホーテのフードコートがあるが飲食目的での山下公園からの人の流れはないように感じる）中華街と住み分けを図るために中華以外のジャンルがよいかと考えます
No512	人出が多くなるような施策を考える必要ある。
No513	如何に人を呼ぶかにかかっている。
No514	観光客が来るような場所がよいと思う。
No515	横浜市の観光地の魅力としては、やはりみなとみらい地区につきるとおもっております。方針を拝見しまして、どのテーマも重要なものと思いましたが、特に、旅先としての横浜みなとみらいの魅力を高めるための取り組みをお願いします。
No516	横浜のスポーツを牽引するサッカー、ラグビー、アメフトの試合を開催できる２、３万人程度の専用球技場の建設をして欲しい。特にサッカーはマリノス、YSCC、シーガル、日本女子体育大学とチームが多く、日産スタジアムとニッパツ三ツ沢球技場だけでは開催日の調整が難しい。
No517	観光向けに特化して外貨を稼ぎ、市民税減税を目指してほしい
No518	横浜の魅力ある施設を優先的に建設した上で、各都道府県のアンテナショップ以上の規模の施設を一同に配置。インバウンド向けも含め、ここに来れば日本の魅力的な食等に触れられる唯一の施設とする。
No519	ビルや箱物はもういらない各地どこでも同じようなお店もいらない高層ビルも不要みなとみらいが見渡せる景観の公園整備と緑で充分
No520	派手なイルミネーションやイベントなどに税金を使わず、ゴミ箱の設置や街の清掃と緑化を強化してほしい
No521	はっきり言ってとても不便なところ。市民にしても観光客にしても、来てもらうには、魅力的な施設が必要。コンサートができるホールや歌舞伎や能も誘致できるような劇場がいいと思う。その周囲に、ゆっくり景色を楽しめる公園のようなスペースがあるといい。薪能ができるスペースにもなるような。そのためには、公共交通機関の充実は必須。とにかく不便なのだから。少なくともダサい高層ビルはやめて欲しい。港を活かして欲しい。
No522	普段は市民の憩いの場として、イベント会場としても使えるような構造にするとよいと思っています。
No523	国内の人を含め海外の人にも遊びに来てほしいので、にぎわう街にしてほしい。
No524	人が集まる場所としての機能をもつ

No525	賑わいは欲しいですが、治安が悪くならないか心配
No526	ドームスタジアムやエンタメ施設などが集まる場所になると良いと思います
No527	DENA さんの意向次第ですが、ボールパーク希望（横浜スタジアム移転、ドーム化）横浜スタジアム跡地を別途開発してほしい
No528	老朽化もさることながら近年観客が増加し手狭になった横浜スタジアムを山下埠頭に移転し、ドーム球場として新築すると更なる賑わいを創出できると思います。
No529	旅の目的地になるようなものを新たに作成するのであれば、アウトレットなどの商業施設もよいが、鳥浜など他との差別化をはかるため、大人から子どもまで楽しめるテーマパークが良いと思う
No530	横浜市の財政状況が少しでも良くなる形にしてもらいたい
No531	昔から中華街があって、最近は中国人も増えている。中国と縁が深い土地柄なのでパンダをゆずってもらいパンダ舎を作れば老若男女の日本人が集まると思う。
No532	新たな賑わいを創出するのは賛成だが、既在の街へ渋滞など影響がでないように工夫してほしい
No533	横浜スタジアムをドーム化して（6 万人入る）建設してほしいです　宜しくお願いします
No534	ぜひ、世界トライアスロン大会の場所を山下ふ頭にしてもっと環場を整備する必要があると考える。 そこで、にぎわいが産まれると思うしさらには、子どもたちの公園すなわち第 2 の海の公園というビジョンでつくっていただきたい。 正直、あちこち、にぎわいすぎているので海の公園のように静かで時にスポーツ大会のようにできる場所であってほしい。
No535	屋上は歩ける大阪万博みたいに　上から見て横浜市のマーク「ハマ」　ドーム球場 1F～4F　えき　みなとみらい線または地下鉄　B1F～B3F 海が見える水遊館
No536	世界に誇れる大型ドーム球場を埠頭に建設してもらいたい。 緑の大きな公園、観光船ホテル、道路、鉄道新駅など大きな夢お願いします。
No537	イノベーション ・港湾カレッジ校の誘致（移転）　・大学の誘致（大学など教育機関）　・小学生など港を知ってもらうための施設　・脱炭素化（CNP）基地 災害に強いまち ・岸壁部を利用した防災拠点 賑わい ・ウォークフロントを利用した非日常的な空間（イベントなど）創出　・地域経済の活性化と港湾との相乗効果を創出（雇用含む） 上記、すべてを達成すべく、交通機能の強化（羽田、川崎、横浜（みなとみらい、山下ふ頭）間をつなぐベイサイドライナー（仮称）の敷設など）
No538	最もふさわしい国際都市、横浜について私の一言をお聞き願います。先ず、国際都市発展のポイントとして、横浜に世界中に自まん出来る様なオペラ専問劇場の建設を提案します。先ず、横浜をはじめ、日本にはヨーロッパの他の国際都市に有る様なオペ

	ラハウスがありません。今回の山下ふ頭の将来を考える時、この機会に是非横浜オペラハウスなる物を創って欲しく存じます。主な世界の国際都市には、何れも立派なオペラハウスが有るのに、日本にはない。有っても何れも専問化されていない。今回の此の機会に本気になって横浜と日本の将来に向けて是非ご検討をお願い致します。私丈ならず、国民、市民の切望と思っています。どうぞよろしくお願いします。
No539	横浜の将来像として、ドーム型多目的野球場（６万人収容）を建設し、交通機能の鉄道網再編による新山下ふ頭駅、道路の新山下出口を設置すべき。ドーム球場の地下に大規模駐車場を併設されたい。 緑の海辺の公園お願いします。
No540	ドーム球場の建設
No541	先日のミセスのライブにより、少し悲しいイメージとなってしまったように感じます。あの広い空間を LIVE で使うことは、街全体の盛り上がりにつながると思うので、今後もある程度全ての人が楽しく嫌な思いをしないように、ルールを明確にして色々なイベントができる場にしてほしいと思います。
No542	国際的の窓口の観点が薄い。バブル期、スペイン村とはロシア村とはいろんな所にできた。今こそ、もっと地に足をつけた〇〇村をつくるべき。ウクライナ村ができればウクライナから日本に来ている人も、集まってくらせる。ウクライナのような高い文化を持っている人々と日本人が、定常的に交流できる場がうまれる。ウクライナに限らず、いろんな村を増やしていけば、横浜に行くと万博のように、いつも外国人と交流できる場が生まれる。 これこそ、国際的港としての横浜が作るべき街だと思う。藤木氏も、市長もそう思うことを念う。
No543	税金が取れるテーマパーク
No544	観光客がたくさん訪れる場所。
No545	①子供、若者が喜ぶ施設を！ 1.水族館　2.アスレチック　3.緑の多い多目的広場、イベント開催、散歩、休憩など ②青年が楽しむ一大スポーツ広場を 1.スケボー　2.フットサル　3.バスケットボール
No546	山下埠頭の一部分について、以前 JAF 様のイベンでその場所を赤レンガのイベント場所みたいに移転したらどうか？ 入口と中央と先端ふ近にトイレももうけて、イベント会場として。
No547	子供達が遊べる場所がほしい。 周辺の川が汚臭がひどく改善して欲しい
No548	世界に未来を魅せる横浜ということを基本に、観光的な要素だけではなく、明日へのイノベーションだけでなく、その再開発地域に住まう人々の街を新たに作るのはどうでしょうか。 例えば、「柏モデル」にあるような、高齢化社会第１位の日本としての「モデル YOKOHAMA」（案）のような命名をし、世界に向けて、日本全国に向けてこの点での発信をしていく。 最先端な再開発地域に「山下ふ頭」に住まう未来地域の人々の生活を見るのは、異世代に向けても魅力的な実感ある街なのではと思いました。地域外の人に向けても、地域内の人に向けても、「新たなまち」の発信をと思います。

No549	緑の多いまちづくり
No550	ミニシアターや展示場などを作って使用料金を整備維持費に当てる。横浜市民の利用料は割引する。
No551	・今回のアンケートの趣旨が不明です。①山下ふ頭の将来像②再開発の各テーマと取組の考え方ですが、具体的な内容で判断すべき内容が無い。・リーフレット等で見るに、インフラ関連は将来的な観点での計画案が有りそうに思えます。再開発の各テーマと取り組みの考え方で判断するには、具体的な事項が無い。→山下ふ頭の将来像のみで、横浜市の街との結びつきある内容が無い。現在での課題やみなと地区との連携が何もない様に思えます。一体化した将来像が欲しい。例えば、新しい港湾施設のみでは、町の構成が出来ない。横浜全地区の市民が集う場を希望する。
No552	東京で例えると、上野の博物館や公園のエリアのように「緑と知」が融合してどの世代でも足が運べる場所になるといいと思います。博物館は最先端の科学博物館（体験型を多め)、宇宙を感じるプラネタリウム、地球人類の歴史を学べる子ども達が好きな恐竜の化石や古代の物の展示をテーマパークのように楽しめる博物館と公園もあり、１日楽しめる場所になる事を望んでます。
No553	山下埠頭とみなとみらい地区を繋ぐ輸送手段が必要ですが、一番大切なのは輸送時間です。 目安として、アンケートをとるのがいいと思いますが、山下埠頭とみなとみらい駅間で 10 分を目標にして欲しいです。 地下鉄がベストだと思いますが、道路は混雑します。道路整備、優先道路の設置など、輸送時間を短くして、回遊性を高めてください。
No554	周辺の観光地や居住地との交通利便性向上し、運転手不足対応し環境負荷の少ない新交通システムの導入 １． エコライド 既存の都市間鉄道駅を中心とする地域内交通システム。道路上空を走るので、既存道路網の制約を受けることが少なく、また定時性を確保し、高頻度運行が行えます。軽量コンパクトなので高速道路等との立体交差が容易なうえ、既存道路の中央分離帯や歩道をそのまま利用して敷設可能であるなど、従来の中量輸送システムに比べ建設費が非常に安価です。高架軌道を走行するので、道路渋滞の緩和による大幅な省エネルギー効果が見込めます。ジェットコースターの技術を公共交通システムに発展させ、車両側には駆動モーターやブレーキを持たず、車両の動きを全て地上側から操作する方式（＝地上一次型交通システム）であるため、車両重量を大幅に軽量できる点において「究極の省エネ交通システム」です。上野動物園のモノレール跡地に建設予定で、無人運転です。 ２． 全自動無人運転車両システム「Prismo」 運行中の車両の減速時に発生する回生電力を車両に無駄なく蓄電・活用することで、従来の AGT システムと比べ約 10%の省エネ運行および約 10%の CO2 排出量削減。駅間の架線による給電が必要ないため、万一の停電時も次の駅まで支障なく乗客を送り届ける。センターガイド方式を採用したことにより、軌道をスリムに設計できるため、土木構造物を含めたインフラ建設費を大きく削減することができ、景観向上にも寄与。加えて、架線やガイドの削減により、電気・軌道設備を点検・交換する作業も大幅に減り、保守コストも低減。必要な電力の全てを三菱重工和田沖太陽光発電所の電力で賄うなどして工場の CO2 排出量

	を 97.5%削減した「カーボンニュートラルトランジションハブ三原」で車両製造することやインフラの物量削減により、新交通システムの製造・建設時の CO2 排出量を従来に比べ 40%以上削減。製造・建設と省エネ運行、そしてメンテナンス・廃棄まで含めたライフサイクル全体で排出する CO2 は、従来製品と比較して約 6,400 トン削減。高架かつ無人運転です。
No555	GREEN×EXPO2027 の開催される上瀬谷地区、根岸森林公園等へのアクセスがかなり大きな課題となるため、次世代モビリティ（無人ドローン）またはロープウェイなどによる人の移動の拠点となるポートを作成することにより横浜市全体への導線を確保する必要があると考えます。
No556	新山下埠頭再開発の課題 ①「開発業者が開発した事業だけが利益を生む事業であってはならない」。「何故なら新山下埠頭は、市民共有の財産」である。 ②みなとみらい地区は、現在も大手開発業者が進めている。新山ふ頭は、中区であるが、市庁舎や関係団体も移転、横浜の中心地は 、歴史的に中区である。現在、元町、中華街、関内、伊勢佐木町、長者町は衰退傾向。このため新山ふ頭開発は、中区の賑わいを取り戻す事が大目的、それによりみなとみらい地区に波及効果が期待できる。あくまで中区の賑わいを取り戻すための開発を要望。 ③新山下埠頭再開発の盲点は、「アクセスの悪さ」。「埠頭は、陸の孤島」。歩道も全く整備されてないので歩いて埠頭に行く人は皆無。大胆な道路計画の変更が必要。みなとみらい鉄道の根岸までの延伸が必要。何故なら、山手、根岸、本牧地域の所得水準が高い、消費意欲も旺盛。再開発地域や中区地域の賑わいとみなとみらい地域への波及効果が望める。水上バス、空中ケーブルなどの計画は、論外。高額であるばかりでなく天候の影響で市民の足にならない。大阪夢の島開発が反面教師である。
No557	市営バスの本数が減ったことと、 高齢化に伴い自家用車を手放したことにより、 移動の手段に不便を感じることがあります。 交通機関が充実することや、従事者が無理なく働ける環境になることを望みます。
No558	山下町は観光地であるが故に土日や大型連休、イベントがある日は人、車ともに多数の方々が来ます。 そのような日だと周辺の駐車場は当然満車となり、周辺の道路も一回の信号変更では車が通りきれないほど混雑しているのが現状です。 そのため、山下ふ頭を現在の暫定利用エリアの状態のままでも構わないので大型の平面駐車場として開放することを提案します。現在の状態で平面駐車場としての開放であれば大きな工事等は不要だと考えます。 利用目的が決まるまでの暫定措置であっても、連休時などの道路混雑、駐車場の入荷待ち等は大きく改善されると思います。 また、将来的にはバスタ新宿のように複数の路線バス、観光バス、羽田空港へのバスのターミナル。レンタカー、ベイバイクや LOOP などのモビリティ。一般利用可能な立体駐車場など車両での横浜市利用が楽になる活用方法を希望します。
No559	臨港道路の整備とそこからみなとみらい地区に通じる道路の整備は自動車系アクセス改善のため必須。 山下ふ頭への大量輸送機関（鉄道）の整備は現実的に不可能。桜木町、関内、石川町から中規模輸送機関をどのように整備するか、国内外の事例を参考にできるものは検討してほしい。

No560	・長距離定期航路の確立（北海道・東北・大阪・四国・九州便） ・みなとみらい線の本牧埠頭延伸 ・フェリーの入港（ベイブリッジを通れない大型船）
No561	山下公園と駅の間で、横断歩道で人流が寸断されイベント開催時に非常に混雑する。混雑解消のためエレベーター付き横断歩道や地下道を作ってほしい。またイベント開催時に周辺の交通渋滞も頻繁に起こっており、一時的な交通規制や自動車に頼らない街づくりを推進してほしい。
No562	山下埠頭の開発をきっかけに、湾岸エリアの道路網や環状道路の整備などをもっと進めてほしい。財政的にも魅力的にも経済的にも更に強い横浜市を作ってください。
No563	高齢化、人手不足により運転手が減っているため、安全な自動運転の交通システムの開発に力を入れていただきたいです。 桜木町駅前のロープウェイは値段が高すぎます。
No564	本牧地域の地下鉄開通、またはバスの増便を希望します。 山下町在住ですが、バスは本牧地域から（また本牧地域への）の利用者が多く混雑しています。 山下埠頭の発展はとても嬉しく期待していますが、大規模開発が行われて人の行き来もさらに多くなると思うので、混雑緩和のための工夫をしていただくと近隣の住民もさらに歓迎して楽しめる空間になるかと思います。
No565	災害もそうですが、基本であるインフラ整備もしっかり行なっていただければ嬉しいです。 先日起きた、高田駅近くのマンホールが吹き飛びアスファルトが剥がれた事故のような事がくりが返されないことを願います。
No566	確かに山下埠頭に行くアクセスは他のみなとみらいエリア含み悪いです。路面電車などの整備があると良いかも知れません。またそこから花博跡地のテーマパークなどの直通バスなどがでると認知度もあがり市内の端まで人の流れができるので良いのではないでしょうか？
No567	自動運転の実験場にできないでしょうか。トヨタが街を作っていますが、日産と協働して自動運転を試す場に出来たらよいのではと。日産の援助にもなるかもですし、坂が多い横浜市において自動運転できればコミュニティバスが運行しやすくなるかもしれません。瀬谷区の花博が終わったあとの土地と山下ふ頭で自動運転専用道路とか繋げられたら面白そうです。 また、市バスが高齢者の乗り物になっていると感じます。子どもがいるので利用させていただくことがありますが座れることなどありません。お金を出して乗ってるのに、少しの負担しかしてない高齢者ばかり優遇されていると感じ不満です。自動運転に、なれば本数の増発などで混雑が緩和することに期待します。
No568	地元住民でも山下埠頭への交通の便はいいとは言い難い。多くの横浜への観光客は、複数観光地をホップすることが前提であり、観光地から観光地への移動はスムーズであるほどよい。 電車、バス、タクシー、徒歩以外の移動手段の検討をお願いしたい（動く歩道、セグウェイ、空飛ぶ車などの先進的な移動手段など）。
No569	都筑区に住んでいると、横浜球場に行っても試合後の帰り道が一苦労。もちろん、湾岸のイベントに行っても、楽しむより、帰りの交通の便が頭から離れません。 横浜マラソンに参加しますが、前々年は雨の中始発に乗るか、の集合時間の速さ。前年は応

	募したつもりが応募完了できていない。申込の不確定、応募完了の難しさ、電話で問合せしようにも、話し中ばかり。今年は集合出発が新横浜になる。そうだよ、ボランティアで無償の手伝い参加するので、交通の便市営地下鉄以外、各区中心までの直行バスなど考えて欲しい。イベントも然り、東京都、他県を注目せずに市内山側にも注視して頂きたい。そうすればマイカーで近隣の道路の渋滞を起こすこともないと思います。
No570	横浜駅・桜木町駅・磯子駅といった周辺のバスターミナルがある駅から、山下ふ頭行きのバスを出してもらえると良いと思います。 また、シーバスも山下ふ頭へも伸ばしても良いかと思います。
No571	みなとみらい線や市営地下鉄で、山下ふ頭駅があれば、多くの来訪者を期待できると思います。
No572	水上交通や LRT も検討すべき
No573	交通機能の強化は賛成だが、LUUP のようなキックボード型の乗り物の導入は安全面の心配が懸念されるので、導入の検討は念入りにしてほしい。
No574	石川町駅や元町中華街駅からのアクセス手段として、中村川の高速高架下の水面上空を利用した新型ロープウェイを検討してみてはどうか。
No575	山下ふ頭へのアクセスについて、根岸方面からのアクセスが良くないです。再開発の方向性にもよりますが、みなとみらい線の延伸を、ぜひ進めてほしいです。
No576	新埠頭に来てもらうためのサポート機能としての交通機関と、埠頭・最寄駅の移動をサポートする、二つの交通機関の検討が必要と思います。　最寄駅間には、起・終点を埠頭とする路線バスを、既存のコースを応用して設定してはいかがかと思います。例えば「Blue Line 」（横浜駅）や「赤いくつ」(桜木町駅・馬車道駅)。 「石川町駅・関内駅・馬車道駅・ワールドポーターズ・横浜税関・山下公園を循環（内・外）する」新コースの、３コース４路線設定。　併せて、根岸駅程度のバスターミナルを埠頭の中央に設置します。(仮：山下埠頭中央)　どのコースも、新旧の観光地やショッピングタウンとのアクセスの便を図り、フットワークを軽くします。　また、埠頭内の移動には「仮：山下埠頭中央」から「８ループ」コースで走るコミュニティスタイルの交通機関で、移動をサポートします。 この場合、「仮：山下埠頭中央」は、「８ループ」の２つの円の接するところに位置します。 埠頭が大勢の来訪者でにぎわい、その方々がストレスなく移動ができることは、リピーターを獲得するためにも肝要ですね。
No577	新たな BRT などの交通システムで、渋滞の緩和に務めて欲しい
No578	乗り換えをわかりやすくしてほしい
No579	交通機能の強化が必要であることは誰の目にも明らかですので、実装に向けて迅速に取り組んでいただきたいと思います。
No580	貴重な海辺空間かつ既設の埠頭であることから、陸・海・空の交通結節点とし、次世代モビリティーの乗り入れを見越した開発を進めるとよいのではないかと思う。イメージとしては、国土交通省の進めるバスタプロジェクトのようなもので、鉄道とバスではなく、船や有人ドローン、バスや次世代モビリティーの乗り入れが可能な施設と商業施設を併せ持つ多機能な交通結節点として開発することを想定しています。また

	単費ではなく社会資本整備総合交付金なども活用し、賑わい作り、災害時の避難経路の確保等様々な機能を集約した施設となることを望みます。
No581	2. 自走式ロープウェイ「Zippar」 神奈川県秦野市で実験され、福島県南相馬市で大規模実験線が建設中です。神奈川県と連携協定を結び、神奈川県藤沢市・厚木市・三浦市や北海道石狩市、宮城県富谷市はじめ各地の自治体で導入を検討しています。従来の公共交通機関と比べ低コストかつカーブも可能です。ロープウェイなら陸上だけでなく YOKOHAMA AIR CABIN のように海上に敷設もありえます。無人運転なので昨今の運転手不足等にも対応できます。 3. エコライド 横浜市の YOKOHAMA AIR CABIN や観覧車を運営している泉陽興業が開発しており、既存の都市間鉄道駅を中心とする地域内交通システムとして開発されました。道路上空を走るので、既存道路網の制約を受けることが少なく、また定時性を確保し、高頻度運行が行えます。軽量コンパクトなので高速道路等との立体交差が容易なうえ、既存道路の中央分離帯や歩道をそのまま利用して敷設可能であるなど、従来の中量輸送システムに比べ建設費が非常に安価です。また高架軌道を走行するので、道路渋滞の緩和による大幅な省エネルギー効果が見込めます。ジェットコースターの技術を公共交通システムに発展させ、車両側には駆動モーターやブレーキを持たず、車両の動きを全て地上側から操作する方式（＝地上一次型交通システム）であるため、車両重量を大幅に軽量できる点において「究極の省エネ交通システム」です。今後の導入事例として、上野動物園のモノレール跡地に建設予定です。こちらも無人運転です。
No582	交通の便が悪く、山下公園から地下鉄や JR に徒歩での移動を余儀なくされるが、案内が少なく分かりにくいので、県外の人や外国人、老人でも迷わず駅にたどり着けるように大きくて多言語の道路標識が必須。バスに乗るにしても、乗り場が分かりにくい。路線バスと観光地だけを周遊するバスの乗り場を分離したほうがいい。乗り場には、目立つ大きな案内板で、多言語による周遊ルートの案内をしたほうがいい。 みなとみらいは、横浜市民である私でもバスの乗り方が分からないし、山下公園から JR やみなとみらい線への道が分かりにくく、特に夜は景色がなくなるので、必ず道に迷う。県外の人や外国人は地図アプリに頼るしかない。
No583	かなり整備されている横浜市ですが、場所によっては常に混雑が生まれ、時間ばかりがかかってしまう、そんな状況も見受けられます。大きな商業施設ができると、必ず生じている問題なような気がします。 それこそ、何かあった際には、多くの人が混乱し、想定以上の被害になりかねないと思います。 通常の何気ない日々から、しっかり整備してほしいと思います。
No584	山下ふ頭は交通の弁が悪い。山下公園付近からの出入りくらいしかある程度の輸送力のある交通経路がない。 山下ふ頭を開発するのであれば、山下公園付近以外からの道路交通の出入りができるようにしなければならない。交通量の増大と飽和による観光公害の発生の見込みが高いことは、検討にあたっての前提とすべきである。
No585	国際会議場へのアクセスの強化のため、交通網を整備すること。
No586	④多様な来街者への配慮 ・海外から来る方や幅広い年齢層が安心して楽しめる環境づ

	くりを期待します。・特別感を求める来街者にとっても満足できる横浜の象徴的な場所になればよいと思います。　たとえば「世界的なコンテンツが集まり、それを目当てに日本、海外から横浜にあつまり賑わいを生み続ける場所＝横浜」のようになると理想的だと思います。　⑤人流や交通の安全性　・大規模イベント時に人が集中し、混乱することがあります。　・安全でスムーズに移動できる仕組みを、市と民間が協力して整えてほしいです。　以上ですが、重ねて、地球環境エコに配慮しながら、様々な訪れる人にとって､昼も夜も楽しめるシンボリックかつ 魅力的な｢賑わいの発信拠点」になることを期待しています。
No587	山下埠頭を始め臨海部は、MM 線が開通したとは言え、鉄道利用者には徒歩連絡としては、最寄駅から多少距離があります。そこで、今、全国で見直されている LRT 整備も検討してみては如何でしょうか？横浜駅東口（郵便局前）を起点に、金港町、パシフィコ、みなとみらい駅、赤れんが、海岸通り（クイーンズ)、山下公園、山下埠頭、本町通（日本大通り駅)、横浜公園（ハマスタ)、尾上町通（関内駅接続)、野毛（桜木町駅、呑み屋街・ウインズ)、中央図書館（日の出町駅接続)、高島町駅、万国橋、横浜駅東口と環状で結べば、主要観光地を直接連絡が可能で、各鉄道駅からも容易に乗り換えが出来ます。どうぞ、宜しく御願いします。
No588	みなとみらい地区に比べると、交通手段が少ない。(陸の孤島化？）みなとみらい線の延伸に期待する所､「大」だと思う。交通が不便だと中々「行ってみよう」と言う気になれないのが本音では無いでしょうか？みなとみらい地区は、(MM 線・市営地下鉄・JR 線」と公共の交通機関が最寄に多く、賑わいの一因になっていると思います。
No589	素人なので難しいことは解らないが､「賑わい」を創出したいのなら最初に交通網を構築するべきだ。交通がないのに「賑わい」が生まれるわけはない。
No590	山下埠頭への、歩行者へのアクセス（道路）が 1 箇所だけというのは、あまりにも問題がある。横浜市民が山下埠頭に出かけたくても道路が足りないという状態では何のための、そして誰のための開発なのか、と問いたい。「山下埠頭の将来図」も「再開発のテーマと取り組みの考え方」を読んだが、あれもやりたいこれもやりたいと欲張りすぎだという印象を持った。個人的には「まず道路をつくるべき」と声を大にして言いたい。賑わいを創出したいのなら「道路または鉄道を作る」ことから開始しないといけないと強く思っている。ドリームランドが消失したのは道路もモノレールもなかったから人が来なかったという事実を思い出していただきたい。全ては「アクセス向上」から始まる。それがなければ「賑わい」も「イノベーション」も絵に描いた餅である。それが無理ならあの区域をまるごと、データセンターにする方が良い。そうすれば税収があがる。賑わいなどと言うまやかしより、そちらのほうが良い。雇用もできるし悪い話ではない。
No591	駐車場は地下に造り、排気ガスを綺麗にして排出する仕組み。交通機関は中心部だけでなく、周囲から眺めることができるような仕組みにしてほしい。山下埠頭内に車が走る空間を持たせない。横浜駅から船でアクセスできる交通機関も
No592	公共交通機関がバスぐらいしかないのはやはり行きにくいです。路面電車とまではいきませんが軌道を確保するとか、もしくは海上交通の利用などで同線の確保が重要と

	思います。
No593	人口減少見据えた開発が必要であり埠頭内の交通基盤の充実は必要だが。限られたリソースなので併せて人口減少地区の交通基盤整理、縮小を行いコンパクトな街へ誘導し、その浮いた分でやれば良いと思う、直ぐの話では無いが開発に併せてスクラッドビルドの方向性を示す。
No594	山下埠頭までのアクセスについて。横浜駅から山下埠頭までトラムをひいてはどうか。遊歩道と共存できないだろうか。
No595	観光客が増えて、治安が悪化するのだけは避けてほしいです。また、元町中華街駅、石川町が観光客のメイン駅となっていると思いますが、山手駅付近からのアクセスや陸の孤島の本牧の開発も必要かと思います。山手駅は根岸森林公園や大和町商店街の中のおしゃれな喫茶店など少しずつ若者がおとずれる街になっていると思います
No596	都市基盤の整備:交通アクセスが貧弱だと無駄な開発になってしまうのでもったいない。防災機能も併せて最先端な開発を期待します。
No597	海上交通、路面電車の活用を希望する。
No598	羽田空港やディズニーランドと直結する海上交通
No599	周辺の観光地との回遊性を高めるためにはバス路線の新設が考えられますが、昨今の運転手不足を鑑みると、バスではなく LRT の導入を検討しては如何でしょうか。大桟橋、山下公園、山下埠頭、三溪園とつなぐルートができると観光客の利便性が高まると思います。主要駅との接続は考慮する必要はなく、あくまでもこれら観光地を接続することで良いと考えます。
No600	現在は交通インフラがほとんどゼロだから
No601	交通機能については、部分最適にならないよう他の地域との優先性をしっかり考慮ください。
No602	横浜は狭い道を、人と車が一緒に通る道が多い。子供やお年寄りなど安心して歩ける道、車が無理なく走れる道を、考えてほしい。現状を調べてほしい
No603	横浜市の将来の発展につながる新技術や新産業を横浜市内で育てるため、それらの人材を受け入れる交通機関のひとつとして発展させることが望まれる。
No604	山下公園再開発に賛成。遠くの人達が更に行き来しやすいように交通手段として羽田空港ー山下公園間を結ぶ直行連絡バスの設置、充実すべきでは？と思います。
No605	タクシーの無人自動運転の実施をしやすい道路計画を進めてほしいと思います。
No606	この周辺は意外に公共交通機関が不便です。鉄路が有ればいいかなと思う。
No607	インフラ整備により、今よりも渋滞や満員電車の解決ができるはず。とは言え、相鉄線は他に比べると快適だと思う。
No608	山下埠頭は電車の駅からは行きづらい場所にあるので、短い区間でも山下公園から路面電車を走らせるなどできればいいかなと思う。
No609	市民生活の場の本牧、山元方面からみなとみらい横浜各所を巡るルートの利便性を向上してほしい。
No610	横浜のあちこちの埠頭へ気軽に行ける交通網を整備してほしい。

No611	山下町全体の問題かもしれませんが、車を持っていない人間にとってわざわざ電車バスを乗り継いでまで行こうという気持ちにはなれません。もっと電車た LRT など気軽かつ渋滞に巻き込まれずにアクセスできる環境づくりが詳しく知りたいです。
No612	山下埠頭までの交通機関にエアーキャビンの延長を考えてもらいたい。山下埠頭の開発とは別に市営地下鉄のホームに冷房を入れてもらいたい。最近の温暖化で暑さを凌ぐ為のシェルターになれば良いと思う。
No613	山下の活用には、交通の利便性が不可欠です。みなとみらい線の延伸や、貨物線路の活用など、バスを使わなくても、アクセスできることが必要性だと思います。
No614	道路のインフラ整備が肝要。高速道路ではなく生活道路の利便さが必要と考えています。
No615	山下ふ頭の付け根、元町・中華街駅を越え、地下鉄を延伸することで、終点エリアではなく、広がりのある移動の中心に山下ふ頭を位置づけ、今までと違った地の利を創造したい。
No616	最寄り駅を含めた新たな街つくりになる事を願っています。
No617	この土地に住んでいる限りバスを使い移動する事が多い為、どういった場合にも周辺が交通渋滞しバスが今以上に遅延する事は避けていただきたい気持ちがございます。
No618	交通機能の強化ですが、広域から人を呼び込むためのアイデアは、豊富なようですが横浜駅（東神奈川近くの本覚寺も含めた）から、臨港パーク、象の鼻、山下公園、港の見える丘公園までの域内の人の動きをサポートする交通機関を既存の電車やバスだけでみるのですか。個々には、多くの人を呼び込むことを狙っているなら、新都市交通を引くとか考えないと横移動が複雑でやめたくなる気持ちになりませんか。シンプルに横移動を助ける道具をもつことを提案します。各人が車移動に拘れば、駐車場待ちの混雑が交通渋滞を招きかねません。車の為の交通機能強化は、人の為の交通悪化に繋がり横浜市の歩道整備が遅れるばかりです。
No619	小型、中型船舶（定義が当方ではわかりませんが、大型客席でないもの）のハブ港的な役割。日本各地（東京だけでなく北海道、東北、四国、九州なと）と気軽な旅を楽しめる、あるいは飛行機、新幹線は乗りづらい地域と横浜を船で繋ぐ港。
No620	交通機能が貧弱でアクセスしにくい所だと感じるので、バス以外の機能も欲しい。
No621	横浜博当時のように周囲の観光地との周遊を強化するような交通機関があった方が良いと思う
No622	ふ頭は交通アクセスが悪いので、アクセスが良くなるとよいと思います。
No623	シーバスの発着
No624	みなとみらいで失敗した交通機能を真剣に検討して欲しい。・いつも渋滞している道路・混雑している歩道・分断されている交通網
No625	現状ふ頭方面へのアクセスの悪さ（駅からの距離）がネックでなかなかふ頭方面へ出かけないので、電車、巡回バスなどをもっと強化してほしい。自動運転のバスに期待している。
No626	冒頭の災害に強いまちと同じことになります。交通インフラがダメになりますと市民や県民の生活がどうしようもなくなります。阪神大震災の時には現地調査に入りまし

	たが酷いものでした。その再来にならないような強化策が求められると思います。
No627	この辺りは意外と広く、脚の悪い人が長時間徒歩移動するのは難しい自動運転周回バスなど走らせて頂けると大変有り難い横須賀市には周回バスがあるが、その自動運転イメージ
No628	混み合ってしまわないようにしてほしい。
No629	①新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保②埠頭周辺の交通ネットワーク構築による利便性・回遊性の向上となっているが、交通機能は山下埠頭だけの交通だけではない周辺全体を踏まえた交通体系を考える必要がある。方向性の中には長距離バスや水上交通等の導入にと記載されているが埠頭に来る人のことだけを視点としている。鉄道、車、バス、水上交通を利用した、横浜駅、桜木町、空港、高速道路からの流入、他の地域からの回遊なども考慮した計画が必要現状でも、横浜駅、みなとみらい、大桟橋、山下公園、中華街、港の見える丘公園などの回遊はほとんどが徒歩によるもの、本町通は車で渋滞、赤い靴号などのバスは混雑、遅延、バスはどれに乗れば良いのかわからない。みなとみらい線は元町・中華街駅終点で人流が横浜駅方面だけになり混雑など課題が多くある。これらを全体的に考えた対策の一部として埠頭へのアクセス方法を計画すべきではないか。
No630	わかりやすくて、歩きやすい導線の確保。今の渋谷のように、たまに行く人にとっては必ず迷うような案内表示にならないことを望みます。
No631	この開発により山下ふ頭周辺の道路が更に混雑する恐れがあるので、西区、中区、南区の道路環境整備・改善もセットで検討すべき。
No632	今、新港にある湾岸道路を山下公園先の新山下まで延伸して大型トレーラーを中心部に運行させない
No633	本牧埠頭への大型車を迂回させる
No634	多くの方から様々な観光スポットの提案が上がるかと思っていますが、肝心なのはアクセスについてだと考えます。 土日やイベントの度に道路が混在、駐車場が並びますが、山下埠頭からは地下鉄や JR の 3 つ駅から歩ける距離だし、観光スポットを通って駅に戻る事から駐車場を追加する事はしない方が良いと考えます。 ご年配の方に対しては、赤い靴やブルーラインが新たな埠頭の奥まで入れば事足ります。 花火大会等があっても、帰り道が混雑せず、警備がしやすい導線をしっかり確保した上で、観光スポットの建設を進めて頂きたいと考えます。
No635	イベント会場を作り、市営交通の充実をしてほしい。
No636	臨海地区の一体化を考えた時、交通機能の充実が必要。 すでに検討されているかもしれないがエアーキャビンの山下ふ頭までの延伸が望まれる。
No637	最寄駅（JR）から 300 円以内で山下ふ頭へのモノレールをふ設する。 集人効果を担うにはやはり交通の便だと思いますが。 マリンタワーに代ってランドマークビル相当の高さの建築物があれば

No638	イノベーション ・港湾カレッジ校の誘致（移転）　・大学の誘致（大学など教育機関）　・小学生など港を知ってもらうための施設　・脱炭素化（CNP）基地 災害に強いまち ・岸壁部を利用した防災拠点 賑わい ・ウォークフロントを利用した非日常的な空間（イベントなど）創出　・地域経済の活性化と港湾との相乗効果を創出（雇用含む） 上記、すべてを達成すべく、交通機能の強化（羽田、川崎、横浜（みなとみらい、山下ふ頭）間をつなぐベイサイドライナー（仮称）の敷設など）
No639	横浜の将来像として、ドーム型多目的野球場（6万人収容）を建設し、交通機能の鉄道網再編による新山下ふ頭駅、道路の新山下出口を設置すべき。ドーム球場の地下に大規模駐車場を併設されたい。 緑の海辺の公園お願いします。
No640	巨大駐車場を作って、山下公園駐車場を無くして、山下公園の拡張を進めてほしい。公園の便の悪さ（歩かなくてはならない）ので、ここを開発というよりは、みなとみらいがキレイに見える所として、公園の造成や山下公園の延長の空間に加えて、ライブ会場（屋外）だとか、バスタ新宿のようなバスターミナルを作ってパーク＆ライドさせたりなど（羽田空港行く方の駐車場代わりなど） 公園の便を良くしてほしい。
No641	マンションの住民のうち、高齢者が多く、日々の買い物やお出かけする際は、急な坂を落りなければいけなくて、さらに、根岸駅や吉野町駅の最寄り駅から 20 分以上離れているため、国道 16 号線のバス停まで坂を落りて、そこからバス便が必須のエリアですが、現状としては、交通手段がバスしかない不便なところですが、山下ふとうにもし、空飛ぶタクシーの駅を作るなら、ぜひうちのマンションがある丘のうえにある丸山台一丁目第二公園に駅を作ってほしいです。また、「山下ふとう」から「元町・中華街」→「石川町」→「横浜市立大学附属市民総合医療センター」→「天神橋」→「横浜市立脳卒中・神経頚椎センター」→「根岸駅」→「根岸米軍住宅」→「横浜市立大学附属病院」→「石川町」→「元町・中華街」→「山下ふとう」の循環バスを新設してほしいです。
No642	横浜川崎地区では電気推進船など多くの船舶が港湾機能として日夜入出港船のアシストを行なっています。そこで働く乗組員は横浜在住も多く山下ふ頭再開発によって船の基地がなくなる問題を抱えています。山下ふ頭再開発計画の中に電気推進船などの基地を計画し災害時には非常用電源として活用し災害に強い町の機能として共存できないかご検討いただきたく思います。
No643	港湾の防災について、もっと具体的な方策を示した方がよい。港湾行政に携わる人間で、災害時に港湾がどのように役割を果たすのか、イメージを持っている人間が果たしてどのくらいいるのだろうか。内陸の応援拠点なら、消防職員の知見を得て計画できていると思うが、港湾の防災拠点として、海上からの災害対応にあたる海保の意見

	は取り入れているのだろうか。災害対応にあたる当事者の意見を聞かずに整備して、蓋を開けたら全然使い勝手が悪くて機能しなかったら、何の意味もない。ただ、耐震岸壁を整備して広いスペースを確保すればいいと言うものではない。しっかりと海保の意見も聞いて、具体的な内容を決めるべきである。
No644	山下埠頭近辺は津波からの逃げ場がないように感じます。震災が起きた際に安心して避難できるような、高さがあって沢山の人が避難できるような施設があるといいと思いました。
No645	大震災に備えた設備の強化や 道路や建物の見直し強化
No646	災害対策をしっかりして欲しい
No647	防災あっての経済・教育・芸術文化・福祉・医療であり、横浜を発展させるキーワードではないかと思います。
No648	災害に強いまちとするならば、山下埠頭では液状化や津波などの災害に遭いやすいのではないでしょうか？ それこそ横浜国大を山下埠頭の方に移転（市大病院の移転は上記の危険性から避けるべきですが）し、人の流れを作るのはいかがでしょうか？
No649	戦争（原爆）体験国、災害（つなみ）体験国として、有事に強い街づくりは、世界に向けても国内に向けても見本となる街づくりは魅力ある取り組みになるかと思います。 災害が起きた時、未来地域が、一瞬にして災害対策・対応地域に変化するような「山下ふ頭」でしたら、素晴らしいですね。
No650	昨今、南海トラフ地震や首都直下型地震など、近い将来大きな地震がくる確率が高くなっています。再開発をして、いろんな人が大勢集まる中、大きな地震があった時、大きな津波もきます。災害に強いまちづくりといっていましたが、本当にそれができるか、皆様で話し合ってください。世界中のいろんな人や障害を持つ人、赤ちゃんからお年寄りの方まで、言葉も宗教も食事も違う大勢の人に来てもらって、万が一のことがあった時の様々な対応、医療や薬など、万全の備えができますか？日頃から避難訓練をするなど、ただ１人の犠牲者も出さないまちづくりをしてほしいと願います。
No651	災害時に物資を海上輸送することができる拠点にすべき
No652	地震や気候変動などの様々なリスクがあるのでそれらに耐え、復興の拠点ともなる場所にすべき
No653	多文化交流や観光地を目指すより、災害の頻度が高い日本の状況に合致した防災用の街づくりが必要だと感じたから。
No654	どういう災害をイメージしているかが重要だと思う。地震や津波クラスのものを想定しているなら、本当にこの土地が機能するのか疑問。
No655	緑化計画に伴い、土に根を張る木々が育ち、豪雨の受け皿になってくれると良いと思う。
No656	かまどベンチや、グランピング施設を設置する等して、災害のときに避難拠点となるようにしてほしい。 災害があった際の拠点になるよう、備蓄をしっかりしてほしい。
No657	私は災害に強いまちづくりという課題で、地域と協力しながら避難経路などを確認する取り組みをした方がいいと考えました。山下ふ頭に関わらず横浜市では多くの観光客が訪れます。日本人は地震などをとても体験している為、慣れると言うべきではあ

	りませんが海外の方よりも焦りというのを感じていないという記事を見ました。日本人は震度3か4で焦り始めますが、海外の方々は震度2から焦ると言われているそうです。そこで山下ふ頭の再開発でテーマとされている、世界に誇れる、魅せる空間というのが叶えられないと考えました。これは海外の人向けでは無く、日本人も為になると思います。他の抱えている課題もとても重要だと思いますが、まずは災害対策をした方が大地震など災害が来た時に後悔しないと考えます。そこで安全になったらまた他の課題に取り組んだ方がこれからの横浜市、山下ふ頭に多くのメリットが生じると思いました。世界に誇れる空間を提供するために、安全な暮らしが大前提だと思うので、私にもできる限り情報提供して行きたいです。現在、日本では全国各地で大地震が起きています。3月11日に大震災が起きたり、1月1日も起きました。記事には3月11日に起きた事を全国民が理解したおかげで1月1日に3月11日よりも最低限に抑えれたと書いてありました。私は少なくともその可能性は0ではないと思います。この大震災を全国民が理解し、この横浜市、山下ふ頭の課題解決に向けて取り組んで欲しいと思いました。いつどこで大震災が起きるか分からないので呼び掛けなどをしたいと思いました。
No658	災害が多い国だから少しでも多く災害に強くなってほしい
No659	避難所をつくる
No660	関東大震災の際に多くの外国船が支援してくれた前例もありますが、当時は桟橋の面積が小さかったのに比べて、山下ふ頭は広大な空間を備えていることに留意したいです。土地があるからと言って大規模施設や森林のような用途で埋め尽くしてしまうことには反対です。逆に、災害時に多用途展開可能な平面を残し、大型病院船や輸送船が接岸して機能を発揮できるようなインフラを備える必要性が高いと考えます。　東京港、名古屋港、大阪港と違い、山下ふ頭は市民の居住地域に隣接していて、もともとの物流機能（重量制限や高さ制限のない道路など）が備わっているので、大規模災害時には頼りになると思われます。
No661	国際平和に関連する国連の機関を誘致し、国際平和友好の場所として発信できればと思います。その建物は、津波などの災害対策・避難場所として垂直避難が可能なものとし、また、 富士山が見える高さがあり、観光やシンボル的要素も兼ねたものとし、北斎の「神奈川沖浪裏の富士」を壁画などで飾ります。その隣接する建物として、「国際平和ミュージアム」を設置します。
No662	災害時の避難場所と被災地支援のハブになる機能は推進してほしいと思います。ここに避難しても孤立しないように山手等の高台への連絡路や水路を使用して移動ができること、また支援物資の搬出入が行えるように高速道路、船舶での輸送の連携が取れることが必要だと思います。
No663	2019年のラグビーのワールドカップには感動しました。港北区の治水は素晴らしく、鶴見川近くに住む我々の生活の安心に繋がっています。被害が大きかった台風直後の試合が予定どおりに行われたときには、治水事業に携わっていらっしゃる方々に心より感謝いたしました。この場を借りて感謝をお伝えしたいと存じます。山下ふ頭の開発でも日本の技術を総動員していただきたい。横浜から世界に災害に強いまちを発信

	し、世界を先導してほしいと願っています。災害の観点からも持続可能なまちを望みます。
No664	災害に強い街にしてほしい
No665	関東大震災のがれきをもとに作られた山下公園を中心に、災害に強い街づくりを目指してほしい。
No666	自然災害に強くすべきだ。
No667	災害に強い街づくり、賛成です。自然を壊して何かをするというよりかは、自然を生かして何かをしたほうが良いと思います。
No668	防災拠点の整備
No669	施設や飲食店など景観や観光に力を入れてる感じで、災害時の対応に関して全く感じない。標識など気づかないだけかも知れないが、海が近いし、観光客も多いため、市民や外国人、観光客が災害時に助かるための方法の周知が必要と思う。
No670	日本各地で災害があり、その都度住民のサポートに数々の困難をしめしている。このことはパッとしない問題で、陰に隠れそうな予算の使い方であるが、世界に示すような施設でなく、実は大変役に立つ目立たない仕事が大人の街と思う。結局、忘れたことに来る大震災になるまでは、多くの人から賛成を得られないことだが。
No671	災害が起こった時のいざと言う時に
No672	高齢化も進んでいる中、何かあったときに少しでも不安が減るようになったら良いなと思います。
No673	狭い道路を整備するような大きな区画整理も含めて災害に強い街にしていただきたいです
No674	地下トンネルや貯蓄水を増やして欲しいです
No675	市民の安全を第一に考えること。観光客を呼び込むための施策はもはや必要ない。
No676	日本の場合は必ず大きな地震がおきてしまうから、まず大地震に強い街作りが大事だと考える。そして横浜市民というより、日本人が誇れる日本人の為の街になって欲しい。ルールの守れない外国人も日本人も要らない
No677	山下ふ頭は海が間近であるため、人や技術の拠点となる場所だからこそ、災害時の避難など命を守るための対処に万全を期してほしいです。そして、災害への「備え」と災害時の「対処」、どちらにも力を入れて、災害に強い横浜になってほしいです。
No678	一番気になる案件だと思う。たくさんの人に来てもらい滞在してもらうためには、災害に強い街になってほしい。
No679	古い建物も多く混じっている街並みをこれからの時代にも誇れて長く愛していきたいので、より災害対策に力を入れてもらいたい
No680	自然災害だけでなく、経年劣化に伴うインフラ設備による災害の防止にも言及して欲しい。
No681	人が集まる場を作ることも良いが、災害時に物流基地になる場も必要だと思う。平時は憩いの公園、仮設用のインフラを埋設しておく。船舶着岸用の設備は維持しておく。広場は大規模野外フェスも可能な仕様にする。・・なんていかがでしょうか。

No682	山下埠頭は避難路が無いことで有名だと思いますが、災害に強い街とは合い反すると思います。
No683	安心安全が第一水面上昇も注意
No684	横浜市民だけでは無く来たい町、遊びたい町、希望の町、そんな来た人たちが安心して遊べるそんな場所希望です。
No685	開発によって災害に強いまちづくりを考えて欲しい
No686	コンセプトはいいと思います。外国人を呼び込むとか、人材育成とか、考えない方が混乱しないでしょう。
No687	市民だけでなく観光やレジャーで訪れる人（外国人も含む）が多くいる中で、災害が起きた場合の素早い対応が求められる。（言葉の壁、慣習などが課題？）避難経路（場所）の確保は重要だと東日本大震災で実感した。当時、夜通し歩いて帰宅する人がいたが、幸い二次、三次地震がなかったからよかったものの、無理に帰宅せずひとまずとどまる方がよいと感じた。そのためには企業や自治体に協力してもらい、建物の一部フロア（エントランスホールなど）の解放により帰宅困難者を受け入れる体制を整えて欲しい。
No688	災害とは切っても切り離せないので、いざというときに強い街をのぞみます。
No689	江戸時代までは寒村だった横浜村だったものが、今はみなとみらいの埋立地に役所があるわけですから、災害については、常時、最先端の取り組みが必要だと思います。役所が機能不全になる場合は市民はたまったものではないことになります。横浜市役所だけではなく神奈川県庁でも同じことになります。
No690	災害に強いまちづくりを願います。
No691	有事の際、横浜海上防災基地だけでは十分に機能しないことは明らかです。水辺は津波被害の心配はありますが、災害復興の際、船が有効な手段になることは過去の災害からも明らかです。揚陸艦タイプの大型艦艇が接岸できる耐震性の岸壁と、砂浜を整備して LCAC が揚陸できるようなタイプの海辺を整備し、後背地に公園と防災備蓄を兼ねた施設を整備すると良いと思います。
No692	同じ様な商業施設はもういらない。大きな災害の時に大勢が長期滞在できるような広い公園のような場所を確保してほしい。
No693	・緑地公園（テニスコートを含む）を作ってほしい。　・災害時に市民の命を救う機能、施設、設備を作ってほしい。　・観光施設は、もうこれ以上ふやさなくてよい
No694	イノベーション ・港湾カレッジ校の誘致（移転）　・大学の誘致（大学など教育機関）　・小学生など港を知ってもらうための施設　・脱炭素化（CNP）基地 災害に強いまち ・岸壁部を利用した防災拠点 賑わい ・ウォークフロントを利用した非日常的な空間（イベントなど）創出　・地域経済の活性化と港湾との相乗効果を創出（雇用含む） 上記、すべてを達成すべく、交通機能の強化（羽田、川崎、横浜（みなとみらい、山

	下ふ頭）間をつなぐベイサイドライナー（仮称）の敷設など）
No695	2011 年の「3.11」災害を思うと横浜も津波を軽視できないと思います。10ｍの津波になれば戸塚町もあぶないと思う。
No696	頻発する大規模災害に備えたまちづくり、そして新たなまちの土台となるインフラの構築や空間の整備に取り組んで頂きたいことを希望します。 それから、世界の脱炭素を先導する効果的なエネルギー利用
No697	【山下ふ頭周辺のタワーマンション建設反対】 山下ふ頭の再開発では、歴史・文化を残す街の景観を守り、今ある街並みを大切に未来へつなぐことを前提に進めていただきたいです。新たな観光スポットが生まれ、様々な人が楽しめるイベントの開催はとても楽しみにしています。一方で、多くの人々が集まることが予想されますので、地域の住民が大切にしてきた街並みや、歴史・文化・植栽の魅力などが大事に引き継がれるよう要望します。 山下ふ頭周辺では、景観を損なうタワーマンションの建設は反対です（花火も見られなくなる）。
No698	山下ふ頭に建てる建築物は低層でお願いしたいです。元町に「港の見える丘公園」がありますが、山下ふ頭に高層建築物ができると、公園から見える景観が損ねてしまいます。 「港の見える丘公園」は横浜の、昔からの大きな観光財産です。公園から見える景観を損ねないようなデザインを検討してほしいです。
No699	街の単位で景観をデザインできる地域は、日本でも希少であり、横浜港湾部の強みだと思う。東京では建物が多すぎてどうしても部分的な統一になってしまうし、地方では大規模なデザインは難しい。 かつ、デザインされた街と海や山（富士山）などの自然が 1 フレームにおさまるのも横浜唯一と思っている。 よりアイコニックで魅力的な景観を検討いただきたい。
No700	保税上屋と言うつまらない見た目の建物が建ち並ぶ場所には緑とデザイン性が圧倒的に必要です。先でも記載しましたが、そこにコンテンツを伴うことで自ずとコンテンツに見合ったデザインに景観は変わっていくはずだと思います。
No701	淡路島と言うつまらなかった場所に生まれたコンテンツビジネスに注目するのが非常に参考になる筈です。山下から本牧ふ頭に掛かるエリア一帯を生まれ変わらせる大きな可能性があると思います。横浜ジョイポリスは当時非常に良いコンテンツでした。また、山下ふ頭に隣接したバンドホテルやライブハウスも非常に魅力あるコンテンツでしたが、現在はそういった面でも山下や本牧を活かせていないと感じています。
No702	建造物は、背の低い物にしたいです。 山下地区には、山下公園はもちろんのこと横浜伝統のグランドホテルやマリンタワーもあり、それらから海に広がる景観を損なわないように、高層ビルでなくせいぜい 4 階程度の高さの建造物が良いと思います。
No703	みなとみらい地区とも一体となった景観づくりが大事。
No704	横浜付近は夜景が綺麗なので環境配慮しつつ自然をいかしたデザインがいいです
No705	ゴミなどの投棄が酷いため改善して欲しい
No706	建築デザインについて　横浜は「開国」という唯一無二の歴史を持つ都市です。再開発にあたっては、横浜らしい洋館や歴史的意匠を取り入れるなど、景観に調和した建築を求めます。決してガラス張りの巨大ビルや、無機質なポストモダン建築を建てる

	べきではありません。横浜の都市美と調和した空間こそが、未来に誇れる財産となると考えます
No707	私が、リニューアルされたマリンタワーにのぼった日は快晴でした。すばらしい眺めでした。広い空と美しい横浜港。まさにパノラマ。これは横浜の宝物だと思いました。山下ふ頭の再開発を考える人々はこの景観を大切にしてくれるのでしょうか。今各地の小高い丘に「テラス」をつくり、広い空と自分達が住む地の景観を観光とする場所があります。例えばアメリカ山がそのような感じです。横浜には昔から「港の見える丘公園」があります。しかし乱開発によって視野が潰され美しい横浜港は隙間からしか見ることができません。「山下ふ頭再開発会議」の中でベイブリッジができて横浜港は変わった。という発言がありました。ベイブリッジとランドマークタワー周辺の美しさは、横浜の宝物です。この会議での「観光は歴史だけではダメなのだ」という発言の説明に二条城が出てきました。いやはや横浜にはそんなすごい歴史的建造物はありません。もともと江戸からある程度距離があり何もないからこそ開港地に選ばれたのです。しかも大震災大空襲で破壊を尽くされ更に戦後の乱開発によりわずかに残った歴史的建造物も高層ビルに埋もれてしまいました。今又新たな名所というべきランドマークタワー周辺が立ち並ぶタワーマンションやガラスの高層ビル群によってめだたなくなっています。横浜美術館もしかり。日本にはかつて借景という文化がありました。今本当に忘れ去られたと、横浜美術館の前に立つと悲しくなります。ランドマークタワーの展望台はかつて横浜港を一望できました。今はタワーマンションによって横浜港の眺めが削られ、さらにタワーマンションの建築が進んでいます。歴史の浅い横浜は今ある宝物を大切にしてこれから歴史を重ねていかなければならないのです。横浜から大型バスで繰り出す新潟県の長岡花火は、戦争の空襲の慰霊から始まって 80 年の歴史を重ねた一大観光イベントです。赤れんが倉庫は上手に再開発がなされました。万国橋交差点を渡ってきた観光客が「これはすごい。」と言いました。マリンタワーは、やがて歴史的建造物となるでしょう。山下公園も歴史があります。ランドマークタワーやベイブリッジと共に大切にしてほしいと思います。
No708	世界に誇る緑と海辺空間の創出には全面的に賛同します。山下ふ頭にとどまらず、周辺のエリアにも連続した美しい緑の景観が広がることを期待しています。現在、横浜スタジアム周辺の美しい並木道が、象の鼻エリアでは開放的なコンクリート広場として広がっているのは少々残念です。赤レンガ倉庫から山下ふ頭に至るまで、緑と海辺が調和した景観のデザインをお願いしたいと考えています。　また、景観を損なうような建物については、思い切って解体することも選択肢として検討すべきではないでしょうか。例えば、大桟橋ふ頭ビルは、世界に誇る景観を作り上げるためには解体が不可欠だと感じています。また、シルクセンターについても、その歴史的意義を理解しつつも、横浜の由緒ある一等地にふさわしい景観を形成しているとは言い難いです。近隣の合同庁舎の解体とあわせて、再開発の検討をお願いしたいと思います。
No709	国際平和に関連する国連の機関を誘致し、国際平和友好の場所として発信できればと思います。その建物は、津波などの災害対策・避難場所として垂直避難が可能なものとし、また、 富士山が見える高さがあり、観光やシンボル的要素も兼ねたものとし、

	北斎の「神奈川沖浪裏の富士」を壁画などで飾ります。その隣接する建物として、「国際平和ミュージアム」を設置します。
No710	緑豊かである事は素晴らしいが、それだけでは世界を魅了し、驚かせる事はできないと思います。やはり建築の美しさや壮大さはとても重要でしょう。それが横浜らしさを表していたら、なおさら素晴らしいと思います。
No711	先進的な新しいデザインも魅力的ですが、例えばパリの都、トルコのボスポラス海峡など、世界的にも有名な都市を結ぶ景観は、歴史を刻みながら今昔変わらずなお愛される景観が残されていると思います。横浜の海も、そうした過去の遺産を引継ぎながら、横浜の海はここが安心！好き！そしてより魅力的な街になったよね、と感じられるといいなと思いました。
No712	景観が整えばおのずと賑わいも得られ、国内外からの集客の増加に従って雇用等の促進もされると思われる
No713	インバウンド観光客を集める特徴のある景観
No714	誰でも行きやすい場所になり,景観もぜひみたいと、思うようになれば,人出も増え、にぎわうのではないでしょうか。
No715	横浜の新名所となるべく近未来な景観デザインを考えてほしい
No716	世界に誇れるような景観がほしい。特に大規模なショッピング施設は必要ない。
No717	横浜市と言えば、みなとみらい、山下公園、みなとの見える丘公園の景観を思い浮かぶ方が多いと思います更なるブラッシュアップをしていただきたいです
No718	自分の仕事として参加できるものが有りそうだから。
No719	現在、みなとみらいは高層マンションやホテルばかり立ち並び、横浜らしさが損なわれていて残念です。マンション、ホテルは高さ制限をすべき。山下地区にはそういったものは取り入れず、港のある都市ならではの景観を作ってほしい。３つの突堤もそのまま活かしたい。
No720	商店でも公園でもゆっくり散歩しながら過ごせるところを増やしてほしいです
No721	一目で横浜市だとわかる景観作り
No722	今のままでもみなとみらい地区はとても綺麗だと思うが所々に再開発が必要な場所もまだまだあると思う。そんな隙間を縫っての開発も大事
No723	伝統を残しつつ、新しい物を取り入れる建物を建設してほしい。色彩の統一感、建物の高さ制限などは、特に注意し、子供からお年寄りまで、わかりやすく楽しめるような街作りを目指してほしい。
No724	山下埠頭の場所はみなとみらいや中華街を含めて横浜のイメージを高めるべきだと考えます。横浜は、江戸時代末期、開港を通じて日本の窓口になって日本の近代を造り出してきました。景観を通して未来を創造する横浜のイメージを表して頂きたい。
No725	昔及び従前の景観を最大限に残しての開発。
No726	立地的に横浜港の入口に近い場所なので、唐突なデザインは避けるべきだと思います。テーマを持って統一したデザインで街造りをして欲しい
No727	全国的にほぼ出来上がっている「横浜」のイメージは、みなとみらいから山下公園あ

	たりのことです。私も関西から移住したのでわかります。野毛みたいなところがすぐ裏にあるとは思いもしませんでした。このイメージを損なわないことはとても大切です。山下埠頭に何を作るにしても、「横浜」が崩れないようにお願いします。そこになら税金を使う意味もある。
No728	いつも横浜ベイブリッジから横浜方面を見て思ったのはスカイラインがみなとみらいからランドマークを経って馬車道の北仲エリアのタワーマンションエリアで途れてしまうのはとてもさびしいです。 ぜひ、既存の高さ制限を変更して、馬車道から山下ふ頭まで美しいスカイラインを形成できるように、アメリカのブルックリンブリッジから見た煌びやかなマンハッタンの夜景みたいな街並みを形成してもらいたいです。山下ふ頭や山下公園がまるで、セントラルパークみたいな存在になって、まわりは 200 メートル級以上の高さの高層の摩天楼群に囲まれて、大都会のオンスみたいな存在になってもらいたいです。
No729	キャンプ場
No730	どこから見てもステキに見える景観を実現してほしい。山下ふ頭だけが目立つのではなく、周囲との調和を考えて下さい。緑も大事...でもここは海、そして港なので、それが生かされる内容を...ここを目的に来ようと思えるような内容を望みます。
No731	横浜市で稼ぐことは何一つ考えなくて良いのですか。
No732	２、「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」としての野外映画鑑賞祭等の検討　横浜市内においては、既に定期的にフランス映画祭が開催されている。このような観点から、基本方向性案に記載される、山下ふ頭の巨大な空き地スペース（敷地スペース：緊急時を想定し、「誰もが安心して滞在できる、災害に強いまちづくり」で想定されている空間）等において横浜の港風景背景を活かした「パブリックビューイング企画」や「映画・芸術鑑賞祭企画」などは非常に有効な市民参加型企画であると考える。 実際に海外との対他比較事例で述べると、芸術の都・音楽の都である欧州オーストリア首都ウィーンを視察すると、ウィーン国立歌劇場（オペラ座）で上演されているオペラ公演をリアルタイムで、ウィーン市内の街路上のスクリーンにそのまま投影し市民がパブリックビューイング形式にて無料で観覧できる形式を採用している。　もし、横浜市として、山下ふ頭を「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」へと進化を図りたいと考えているのであれば、フランス映画祭の開催実績等もあることから、横浜の港風景背景を活かした「パブリックビューイング企画」や「映画・芸術鑑賞祭企画」などの市民参加型文化企画は、欧州芸術の都ウィーンの事例を参考にしてもわかるように、非常に有効なものであると考える。　【法的提言事項】 山下ふ頭再開発方向性として、山下ふ頭の「歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市のシンボル」としての横浜の港風景背景を活かした「パブリックビューイング企画」や「映画・芸術鑑賞祭企画」などの市民参加型文化企画の検討と実施
No733	横浜といえば、みなとみらい地区ばかり注目されていますが、そこに簡単に行けて簡単に帰って来られる様に、青葉・都筑・港北を蔑ろにしないで欲しいです
No734	横浜市より、「山下ふ頭再開発についての市民検討会」が別途発表されています。 ラ

	ンダムに選ばれた市民による検討会とのこと、それ自体については新しく、 素晴らしい取り組みと思います。 ただ、より広く、深く、市民の中に議論を起こすためには、現段階で予定されている 数回の規模ではなく、多くの検討会を様々な場所で行うこと、また、これまで 様々な形で山下ふ頭の問題に関わってきた市民団体、学識関係者も入れた検討会 にすることを望みます。 議論が十分に尽くされることが前提と思いますので、2026 年度の事業開始ではなく、 延期も考慮に入れたプロセスをご検討頂きたいと考えます。 どうぞよろしくお願い致します。
No735	いいとも思います
No736	この度の再開発は是非とも市民本位ですすめてもらいたい。このような大型開発では「開発業者」「大手デベロッパー」の餌食にならないか、「開発のための開発」にならないか、今まで遭遇した中で危うさを感じる。不必要な施設、規模などなどよくよく検討する事。間違っても、海辺に高層の建物を造ってはならない。都市の温暖化に繋がることは東京で証明済みだ。　外資が入ることには慎重になってほしい。大阪万博でパビリオンの建設費用が未払いになる事件が起きているが、殆ど元請けが外資である。また、これだけの開発をするには東京の大手建設会社が入らざるを得ないであろうが、少なくとも下請けは地元会社に受けさせるようなルールにし、その上で中小の建設会社を泣かせ事の無いように監査をしっかりする事。
No737	「答申を踏まえた基本的な方向性」に関する意見　（1）私は定年退職後、趣味で風景画を描いています。活動の範囲は主として横浜市中心部で、特に日本大通りの風景が好きです。ただ最近は、関内駅周辺で高層ビルが林立し始めており、このまま開発が進めば横浜らしさが失われてしまうのではないかと危惧しています。 最近の横浜は、東京の開発の後を追っているように見えて、この先どうなるのか心配しています。昨年の「山下埠頭再開発検討委員会」で、ある学者が、人口減少時代に人工増加時代のような発想で街づくりを進めるのはいかがなものかと指摘していましたが、全くその通りで、東京の再開発の真似のような街づくりは止めてほしいと思っています。 横浜は東京に隣接していますが、東京の真似をするのではなく、むしろ東京と異なったスタイルで街づくりを進めることによって、横浜独自の街を形成してほしいと思います。　（2）横浜市ご提案の市民検討会ですが、無作為に抽出した数十人規模の参加者から対面で意見を聞き、年内5回程度の検討会を行う、ということですが、「市民の声を聞きました」という単なるアリバイ作りで終わる可能性が高いと考えています。市民検討会の参加者には、その問題のプラス面とマイナス面の詳細な情報が「裁判員裁判」以上に詳しく提供される必要がありますが、やり方によっては非常に偏った立場からの情報のみが提供される可能性もあります。横浜市が考えておられる市民検討会は、手間だけかかって客観性の高いものにはならないことが十分想定されるので、止めることを提案します。 市民にとって重要なことは、利害関係者（港湾局、市民、建築家、事業者など）の議論を全て、定期的に（1か月に1回程度）YouTube などで公開することです。これによって、多くの市民に計画の問題点が明らかになり、場合によっては計画の途中で市民が声を挙げることも可能になります。その結果、ＩＲ誘致のような大きな間違いを防ぐことができるようになります。 繰り返しますが、「議

	論や検討の詳細を公開することを原則にして」進めてほしいと思います。
No738	みなとみらいの開発にアニメの案があったものの採用されなかった話を以前聞きました。アニメ関係が不採用になる理由は投資に対するリスクでしょうか？ガンダムはその問題は他の作品に比べて少ないと思います。もう何十年と新しいものが作られ続けています。一番安泰しているかと思います。
No739	よく整理されているんじゃないですか。市の職員が作ったのでしょうかね、文句の言えないような綺麗な表現で、よく整理されていますね。SDGs のようですね(笑)意見を集うには、もっと簡潔がいいかも。
No740	山下埠頭のみならず隣の貯木場跡が放置されていて新山下全体で考えたらいいと思う
No741	将来が楽しみです
No742	ヒアリだけではない水際の防疫をこれからも期待する
No743	山下ふ頭の将来像、とても良いと思いました
No744	特にありませんが、シニア層を注視したりせず、将来的なものを目指すのであれば、夢のある施設・文化圏にすべきであろうと考えます。
No745	近隣に他の飲食店があるのに土日の山下公園そばのマクドナルドが大行列なのをみるに、あのエリアで遊んだり観光している方々はリーズナブルな飲食店を求めていると感じますまた集客を考えてイベントホールも入れた複合施設があればと思いましたとは言え山下公園はのんびりしたい方々も多いように感じます山下公園に接続する山下ふ頭は山下公園を拡大したような「キッチンカーが多数入れるような芝生中心のイベント広場」も良いかと思います
No746	同じことの繰り返しで新しさがまったくない。こちら 1 点に税金を投入し続けるのは無意味。範囲を広げて新旧で楽しめるようにしていくことが良いと思う
No747	立派な言葉を並べているが抽象的であまり魅力に感じられません。記載の言葉がすべて実現できれば、素晴らしい再開発になると思います。
No748	心配なのは 8 月の市長選挙です。それにより市民のアンケートも意味がなくなってしまうのではないでしょうか？私たちは身近にカジノは要らない・欲しくないという選択をしました。勿論市民以上の大きな力も働いたわけですが、よりクリーンな、安全な、街づくりをこの先も進めて頂ければ、と切に願います
No749	全体像がよくわかる
No750	再開発にあたり、いろいろとコンテンツを盛り込みたくなる事情が生じる場合(外圧？内圧？etc）になることも理解しますが、投入コストはもとより将来の改修コスト・メンテコスト等も意識しておかなければならないと考えます。各テーマごとの今後の検討に際しては、場合によってはシンプルで質実剛健的なコンテンツの選択、選択と集中的なジャッジも必要かと思います。大いに期待しています。
No751	特にありません。書かれていることに納得できるのでそれを本当に実現していくことが大切だと思いました。
No752	私は、4 年前、市長が、カジノ誘致ストップを公約に掲げて市長に当選し、その公約を守っていることを非常に高く評価しています。今後共ぜひ守り続けてほしいと思って

	います。また、山下ふ頭の観光開発も大事かと思いますが、その土地に住み、暮らしている人達もいます。その人達が不都合、不具合にならないように、ぜひぜひご考慮の上、考えて頂きたいと思います。大手ゼネコンを利するだけの再開発はやめて頂きたいと思います。
No753	テーマⅠについて 「都市と自然が共生した、ここにしかない緑・海辺」緑地帯を半分以上とり、緑の公園で住民やおとずれた人が自由に、そして家族とともにのんびり過ごせる場所にして下さい。 その他のテーマについて 平和都市横浜を世界にアピールさせて下さい。「平和創出館」を作って下さい。唯一の被爆国であることも協調して下さい。
No754	第一にテーマと取組に「教育」がないことが横浜市の問題として考えられ、もう少し教育に関心を持っていただきたいです。 さて、昨年馬車道を歩いていたら、東京藝大の映画専攻 20 年記念上映会が開かれていました。東京藝大が横浜にもキャンパスがあったことが驚きました。しかも 20 年間もあったこと、みなさんご存じでしょうか？その上映会で知ったのが、かつて東京藝大の横浜キャンパスには撮影スタジオが新港に知りました。しかし、前市長の政策でそのスタジオが取り壊され、代わりにハンマーヘッドが作られました。上映会で多くの藝大生の作品を拝見しましたが、学生たちによる美術セットは本当にすばらしいです。日本映画を牽引する映画人を排出しています。分かりやすい例だと濱口竜介さんですが、その方たちが在学中にはあったスタジオを山下ふ頭に作ってさし上げるもが横浜の文化・教育・将来として良いのではないでしょうが、どうぞよろしくお願いします。
No755	これから年よりは多くなるから海を見ながらただの風呂に入れたらうれしい

参考

計　648 件

No	意見全文
No1	結局、何ができるのか（どうなるのか）イメージがわかない。
No2	３ページ 「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構築と空間整備 取組の考え方１ まちをつなぎ、賑わいが広がる交通機能の強化　取組の考え方２ 誰もが安心して滞在できる、災害に強いまちづくり 取組の考え方３ 横浜の新たな象徴となる魅力的な景観デザイン　今にも沈みそうな船が多くあるのに実現可能性があるとは思えません。信じられません。 今にも沈みそうな船は、取組の考え方に反しているとしか思えません。長年放置してきた不作為責任はありませんか。
No3	予算が書かれていないのは無責任ではありませんか。
No4	世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間　沈みそうなお舟が多くあるのに実現可能性はありますか。 今まで対策をしてきてこの状態なら今後実現可能性は低いと思います。 逆にこれから対策を初めて始めるのですか。 現在との乖離についてのお考えを教えてください。 実現可能な具体的な対策を教えてください。
No5	沈みそうな船舶を、これからもいつでも放置しておくのですか。 景観を損ねていると思いませんか。 震災時に、船舶が沈んだら海上交通の支障になると思いませんか。 そもそも、沈みそうな船舶を放置しておいて何も対策をしないのは不作為責任はありませんか。 横浜港には沈みそうな船舶を放置しておいて問題がない場所ですか。横浜市が沈みそうな船舶を放置しておくことを認めているのですか。
No6	人気スポット港横浜海釣り公園施設近場へ後１施設出来たらいいのではございませんでしょうか!
No7	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No8	エスコンフィールドのような巨大ボールパーク一択です。なぜそれ以外の案があるのかわかりません。DeNA とともに開発を進めてください。
No9	３、他地区との再開発計画への山下ふ頭再開発計画の反映 平成 14 年 4 月に制定された日本国法都市再生特別措置法に基づき、横浜都心・臨海地域【一部特定地域】は、524ha に渡って、都市再生緊急整備地域に指定されている。 今回の山下ふ頭はこの都市再生緊急整備地域に含まれるところ、横浜市の制定する「地域整備方針」において、山下ふ頭は「(山下ふ頭周辺地区) これまでの横浜になかった「ハーバーリゾートの形成」を目指し、観光・MICE・エンタ-テイメント・宿泊機能や大規模集客施設の整備により、国内外から人を呼び込む多機能な国際交流拠点を形成」と記載されている。具体策として、「○世界から人を呼び込む「ハーバーリゾートの形成」を目指し、観光、MICE、文化、芸術、エンターテイメント、宿泊機能など国際競争力を高める都市機能を導入」「国内外からの新たな誘客を図るため、これまでにない魅力や刺激に出会える特色のある施設を導入」「緑豊かなオープンスペースや水際線を活かしたプロムナード、積極的な水域の活用など潤いや賑わいのあるウォーターフロント空間を形成」「国内外から客船で訪れる来街者に対して、迅速かつ円滑に出入国の手続きが可能な施設

	を導入」と記述されているので、今回提示された「2025 年 6 月 27 日「山下ふ頭再開発 答申を踏まえた基本的な方向性」との整合性は考慮することが望ましい。　また、令和 3 年 3 月公表「根岸住宅地区跡地利用基本計画」に山下ふ頭再開発計画方向性との連携を考慮すべき要素があるのであれば、併せて、令和 3 年 3 月公表「根岸住宅地区跡地利用基本計画」に山下ふ頭再開発計画（特に、交通結節点・観光ルート関連等）を考慮する記述を追記することが望ましい。
No10	（1）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保　・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。人材不足が叫ばれている中で、長距離バスの乗務員が集まると思いますか。 路線バスの運転手の人員不足がニュースになっています。生活に必要な路線バスの運転者不足を加速させないでください。長距離バス乗務員より路線バスの運転者の方が生活に大切です。　長距離バスの乗務員が集まらなかったら、港湾局職員が責任を取って大型二種免許を取得して長距離バスを走らせる覚悟があって計画していると認識して問題ありませんね。 普通免許取得後 1 年、21 歳で誰でも取得できる簡単な免許ですから、港湾局職員が責任を取って取得して長距離バスを走らせてる覚悟をもっての計画だと認識して間違いありませんね。
No11	人材獲得競争が一層激化していることを認識して、ふ頭までの長距離バスを走らせることができると計画されたのですか。役所だから人材は黙っていてもいくらでも好きなだけ集まるから人材獲得競争が激化していることを知らないのですか。
No12	横浜市内は、多数の横浜の現場視察経験有。本件意見書は、地方公務員法・地方自治法等による、より良い横浜市運営及びより良い地方自治実現に向けた中立的法律意見記載公文書である。横浜市中期計画 2022～2025「横浜市中期計画 2022～2025」、2025 年 6 月 27 日「山下ふ頭再開発 答申を踏まえた基本的な方向性」等を踏まえ、法的見解を述べる。追加「5」通目である。　1：山下ふ頭再開発計画においては、横浜港長期ビジョンとの整合性の確保の確認を 山下ふ頭再開発計画の基本方向性及び今後の再開発計画具体化案においては、横浜市が策定し運用する、横浜港長期ビジョンとの整合性の確保が取れているか、確認検証のうえで、最終案を確定をお願いします。横浜港長期ビジョン抜粋 基本目標：『市民が誇れる港・ヨコハマ』 強い港・ヨコハマ：国際物流や生産など国際競争力の「強さ」 美しい港・ヨコハマ：港の景観や豊かな緑・水辺環境の「美しさ」 やさしい港・ヨコハマ：人や生態系、地球環境への「やさしさ」 6 つの将来像 1、東アジアのスーパーハブ港 2、知識創造型ものづくりの港 3、世界の文化が交じり合う港 4、見て触れて楽しめる港 5、資源・エネルギーが循環する港 6、生態系が保全・再生される港
No13	2：横浜都市再開発、横浜社会システム継続進化と横浜伝統歴史文化・文化的景観との両立を　横浜は、歴史と未来を繋ぐ、持続可能な国際港湾都市として、江戸時代に対外的に開港し、海外との接点を通じ、現代日本列島において欠かせない日本初、横浜発祥の文化や生活インフラ等を数多く創出し、日本列島及び日本居住者の社会、経済、文化の近代化・産業化等に顕著かつ大きな影響を与えてきた。 近代日本の産業・

	生活・文化革命遺産―国際貿易港横浜の歴史文化とその文化的景観は、世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約に基づく世界文化遺産への登録を目指し、その歴史資産・伝統文化だけでなく文化的景観も含めて歴史資産は法的保護を図ることが望ましい。　世界遺産登録基準適用可能条文：該当 ii、 iii、iv、vi　以上より、横浜都市再開発、横浜社会システム継続進化と横浜伝統歴史文化・文化的景観との両立をより積極的に図ることが望ましい。　上記観点から今回の山下ふ頭再開発計画も上記観点を視野に入れつつ、再開発計画・横浜社会システム継続進化と横浜伝統歴史文化・文化的景観との両立を踏まえて方向性・具体案を議論し意思決定することが望ましい。
No14	参考：「近代日本の産業・生活・文化革命遺産―国際貿易港横浜の歴史文化とその文化的景観」構成遺産候補　1： 開港前の神奈川の文化的景観及び名勝三渓園に保存される伝統的な文化的景観　1－1：開港指定地及神奈川湊及び旧東海道神奈川宿の原点の文化的景観：本覚寺：旧米領事館、洗瀧寺：旧英領事館、旧神奈川台場跡及び関連遺産：江戸湾防衛施設、成仏寺：ヘボン、慶運寺：旧仏領事館、浦島太郎伝説、甚行寺：旧仏領事館、金刀毘羅神社：神奈川湊の船乗に関する神社　1－2：名勝三渓園と文化的景観：名勝三渓園　2：国際港湾都市「横浜」とその歴史資産、文化的景観　2－1：国際港湾都市「横浜」の文化的景観：横浜港発祥の地「象の鼻」(象の鼻防波堤、鉄軌道と転車台、煉瓦造 2 階建倉庫)、産業遺産「ハンマーヘッドクレーン」近代化産業遺産、横浜赤レンガ倉庫群：近代化産業遺産、旧横浜船渠株式会社第一号船渠：日本丸メモリアルパーク、旧横浜船渠株式会社第二号船渠：ドックヤードガーデン、山下臨港線施設プロムナード：旧臨港線護岸、港一号橋梁、港二号橋梁、港三号橋梁・旧大岡川橋梁、新港橋梁　2－2：横浜港と隣接した伝統施設群と文化的景観：旧横浜正金銀行本店本館、横浜市開港記念会館、旧横浜居留地煉瓦造下水道マンホール、横浜市認定歴史的建造物群（横浜税関本関庁舎：クイーンの塔、旧横浜市外電話局：横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館、旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用 B 号倉庫及び C 号倉庫など）　2－3：山下地区文化的景観：「日本初」臨海公園山下公園一帯含む氷川丸記念保存帯、マリンタワー、ホテルニューグランド本館、山下町公園を中心とした商業的景観　3：横浜発祥文化の近代日本の産業・生活・文化革命に貢献したことを証する記念碑群：法的に構成遺産候補に計上できるかは慎重な検証が必要。　ホテル発祥の地記念碑、近代水道発祥の地碑、石鹸工場発祥の地碑、電話交換創始之地」の碑、消防救急の発祥地記念碑、キリン園公園日本のビール産業発祥の地、近代街路樹発祥の地記念碑、新聞発祥の地記念碑、日刊新聞発祥の地記念碑、銀行業務発祥の地の碑、日本で最初のガス灯の碑、日本ガス事業発祥の地の碑、西洋歯科医学発祥の地西洋歯科医学勉学の地の碑、鉄道創業の地記念碑など。　4：山手・元町・根岸地区の国際港湾都市の歴史資産及び文化的景観　4－1：山手地区：BEATTY 邸、エリスマン邸、ブラフ 18 番館、山手 234 番館、旧英国 7 番館・戸田平和記念館、ベーリック・ホール、山手 76 番館旧ウィトリッヒ邸、旧バーナード邸、山手 89-8 番館、山手 26 番館、山手 133 番館、山手 133 番ブラフ積擁壁、山手 237 番館、山手 69-6 番館、山手 267 番館・Bielous 邸、横浜海岸教会、カトリック山手教会、横浜山手聖公会、港の見える丘公園一帯、名勝山手公園・初の西洋公園　4－2：元町

	地区：ハマトラ発祥の横浜元町の文化的景観　４－３：根岸地区：旧根岸競馬場一等馬見所近：近代化産業遺産及び根岸競馬場跡、根岸住宅地区跡：在日米海軍司令部統合消防隊第５消防署施設等 ※根岸住宅地区跡国有地部分において既に公表されている方針である「接収の歴史や文化を伝える空間として、米国風住宅地の景観や雰囲気の継承」と文化的景観を保存を行う ※上記に関しては、防衛省、アメリカ政府、横浜市等との協議調整が必要。　５：横浜における日本開国の原点及びその関連遺産群 神奈川県横久里浜関連遺産群：ペリー公園一帯・ペリー上陸記念碑、下田関連遺産群：玉泉寺・国指定史跡、 弥冶川一帯、了仙寺、ペリーロード、長楽寺、吉田松陰踏海の地・弁天島ほか
No15	発展することは嬉しいのですが、山下ふ頭は現時点で綺麗で見どころのある場所だと思います。 物価高を鑑みると、これ以上発展させることに予算を使うのではなく、現状維持に留めてもいい気がします。浮いた予算をインフラ整備や社会福祉に回してもいいのではないかと個人的に考えます。
No16	今現在、特定の「国」や「場所」、あるいは「埠頭」のように、目指している具体的な地点はあるのでしょうか。 もし理想に近いと感じている場所があるのであれば、ぜひ伺ってみたいと思いました。
No17	自治体と自治体内のバス会社が一緒になってバスの運転手を確保しようとしている位、深刻な人手不足なのに、長距離バスの運転手をどのように集めるのか具体的な取組を教えてください。集める取組をしたが集まりませんでしたとの言い訳は絶対にしないでください。　長距離バスの運転手の具体的に集め方を教えてください。
No18	沈みかけているように見える船が多く集まっている場所が、あちらこちらにあるように思えます。 海上交通の邪魔になっているとしか思えません。 問題がないから放置プレーをされているのですか。 震災等の災害時に海上輸送の障害としか思えません。対策をしなくて問題がないから放置プレーなのですか。
No19	「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間の創造」とありますが、半分沈んでいると思える船が多くあるのに、なぜ何もしないのですか。 何かしているとしても何も改善されていないのは何故ですか。 「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間の創造」を実現する気持ちは、本当は無いのですか。　「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間の創造」と乖離しているとは思いませんか。　観光都市横浜からも乖離しているとは思いませんか。　沈みそうな船が横浜を代表する観光スポットですか。　港町ヨコハマらしい景観が、沈みそうな船が多くあることですか。　こんな状態で良いと考えて何もしていないのですか。
No20	19 ページ ・三方を海に囲まれた山下ふ頭の立地特性を生かし、客船や水上交通などといった船がある港の風景や魅力的な夜間景観の形成など、新たな発見や感動をもたらし、非日常感を体感できる空間を創出する。　沈みそうな船舶や沈んでいるように見える船舶が、あちらこちらに見られることが非日常感を体感できる空間ですか。 景観的にも災害時の海上交通的にも問題しかないと思います。
No21	Ｐ２８ 訪れる誰もが安心して滞在し、世界最高水準のコンテンツを楽しめるよう、ユニバーサルデザインなど多様な視点を取り入れたインクルーシブな空間を形成する。

	訪れる誰もが安心して滞在しの具体的な取組が明記されていません。他力本願で、計画をした港湾局では何もしないのですか。 何も具体的な取組はしないが、聞こえのよい言葉を並べているだけですか。 具体的な取組を責任をもって記載してください。
No22	（1）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保 ・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。（2）埠頭周辺の交通ネットワーク構築による利便性・回遊性の向上 ・来街者の回遊性向上により経済効果を波及させるため、周辺の商店街、観光・商業施設等とつながるシャトルバスの運行やパーソナルモビリティ、パーク＆ライドの導入等、ハード、ソフトの両面から多様な交通ネットワークの構築を図る。・周遊バス、水上交通など、横浜ならではの景色を眺めながら、誰もが移動自体を 楽しく感じられるようなモビリティの導入を図る。 深刻な人手不足で路線バスが減便されたのを知っていますか。深刻な人手不足の状況下で、どのように人を集めるのか具体的に明確に説明してください。 深刻な人手不足の状況下で、人手が集まると思った具体的な理由を明確に説明してください。
No23	人手不足で路線バスが減便になっています。長距離バスの運転手の集め方をはっきりと示してください。長距離バスの運転手を集める自信があっての計画と認識しています。集める自信がなく計画を作成しているのでしたら無責任極まりないとしか言いようがありません。 しっかりと説明責任を果たしてください。
No24	横浜スタジアムを山下埠頭に移動させ、新山下埠頭に国際プールを新設。スタジアム跡地を国際スポーツ競技場にし、プンタイと連携し、文化と国際スポーツ競技の街として若い層を取り込む。 トライアスロン、マラソン、アマチュア野球、など諸々のスポーツから聖地となることを目指す。
No25	収益（競馬場など）の期待できる施設を希望
No26	一部のエリアに入ったことがあるだけで、山下ふ頭の全体を体感したことがない中で将来像に対する意見を述べるは難しいと感じました。 例えば、キックボードや自動運転車両など様々な乗り物を一斉に集めて、ふ頭内を回れるようなイベントがあれば、その場に立って将来のことをイメージしやすいのではないかと思います。乗り物を集めるのが難しければ、サイクリングロードとして期間限定で開放するだけでも違うと思います。
No27	運送業界では深刻な人手不足である状況を把握されていますか。社会状況を把握されていますか。 どのように長距離バスの運転手を集めるのか、具体的で結果の出る対策を考えられていると思いますので、是非とも教えてください。 ごまかすような答えはしないでください。 明確に答えてください。
No28	沈みかけていると思う船がそのままにされて集まっている場所があると思いますが景観的にも海上交通的にも災害対策的にも問題があると思います。計画やプランとは乖離した状況だと言わざるを得ないと思います、これから対策をするのですか。 意見募集を始めるまで対策出来なかったので、今後ともいつまでもこのままですか。 実現不可能なことを計画に書いているのですか。 実現可能な計画なのか教えてください。

No29	○かつて策定されたＩＲ計画に比べ、具体的な再開発像が見えない。　・ＩＲは、全体の３％のカジノのほか、魅力増進施設や宿泊施設を整備しながら、まちづくりを進める計画であった。　・ＩＲを訪れた人が国内の他の観光地にも足を延ばす取り組みなども検討されていた　・ＩＲ事業者による交通機能や安心、安全機能などの都市の基盤整備への一定の還元なども検討されていた。　・ＩＲ事業にあわせて、市で交通機能の強化や災害に強いまちづくりなどの検討が行われていた。特に、当時は、、新型コロナウィルスの　感染拡大があり、「みなと」における防疫体制の構築は、観光や産業を「みなと」に呼び込むための基盤と考えられていた。　また、交通機能の強化や山下公園と連携したみどり海辺空間づくりも可能な計画になっていた。　・ＩＲ計画の時は、市が抱える課題を提起し、ＩＲ計画でどのように解決を図るのか、検討されていた ○国内外の多くの人を惹きつけ、にぎわいを創出するための、計画の「核」が見えない　料理に例えるなら、ドリンクとデザートとソースだけしかない。
No30	カジノは引き続き、作らない方向でお願いいたします。
No31	山下埠頭の再開発にあたり、みなとみらい線を繋げて山下埠頭駅を作って欲しいです。現在終点である元町中華街駅の延長なので、都内からのアクセスも良いです。
No32	このエリアの近くの本牧には、地元民の反対から鉄道インフラが延伸されなかったことを聞いている。 公共交通機関がバスだけでは限界があるし、地域交通などといってもたかが知れている。鉄道で行けるような場所にすることは絶対に譲れない条件と考えてほしい。
No33	災害などのときに沈みそうな船舶などが邪魔になると思います。何も対策をしないで沈みそうな船舶をそのままにしておいて問題無いのですか。 何も対策しないのですか。 何も対策できないのですか。
No34	上記意見の背景について 山下ふ頭は都心部に残された貴重な土地であり、国際港都横浜の将来がかかる重要な場所だ。横浜市が当地の検討に着手し既に十年以上になるが計画は未定であり、このままの状態が続くと周辺地域など横浜経済の停滞につながる。また民間に事業提案を求めても、企業にとっても社会的信用リスクが大きく失敗は許されない場所である。現在のジレンマの状況から踏み出すため、基本的な方向性を具体化させる方法について考えたものである。
No35	大雨や地震による津波、台風などの風などで沈んでしまいそうな船が多数あるように思えます。 防災の観点からも問題があると思いますが、何も対策をしない理由を教えてください。 計画を実行するのに今まで対策をしてこなかった理由を教えてください。 対策をする気持ちはあるのですか。 計画で明記しても今まで通り何も対策しないのでは市民を欺く行為になりませんか。対策できるのに今まで行って来なかったのなら不作為責任職があると思います。誰も責任を取らないのですか。 対策不可能なのに計画に明記しているのなら計画を修正する必要があると思います。対策の実現可能なのに今まで対策をしてこなかったのですか、それとも実現不可能なのに計画に書いているのですか。
No36	子どもたちにも分かりやすく、もっと簡単にどんな街作りをしようとしているのかを学校や地域で発信してほしい

No37	山下ふ頭の綺麗な景観を損ねる不法係留の船が目立つ。使用していない船舶は強制的に撤去するべきだ。 ほとんどの事業者がルール、法律を守っているが、一部の身勝手な者によって山下ふ頭、横浜市全体のイメージ、景観を損ねている。 新たに条例により不法係留を繰り返さない厳しい法整備が必要と考える。
No38	①各テーマを理解した上で異論はないが、それぞれを誰がどのように評価して振り返るつもりなのか、次に生かすべきは何なのか、その次とは何で誰がコミットするのか(自分の任期外に対して責任を持てるのか)を市民に対して広く明らかにして欲しい。評価については作文ではなく、数字でコミットしてほしい。②この円安や税金やエネルギー関係の高騰、海外ではトランプ旋風やロシアウクライナ問題などの嵐中で、インフラだけ先にあっても民間は付いてこないと思う。その意味で、作っておしまいになる懸念が強いと感じた。どの業種にどうコミットしてもらうことを望むのかについて、サプライチェーンおよびバリューチェーンを正しく理解し、より確度高く粒度細かく描いてほしい。③海外に誇る、とはどういう状態なのかが疑問である。KPI を示し、市民と合意して欲しい。愚直に海外訪問者数を掲げ、治安の悪化につながることを危惧している。提示した KPI に対して考えられるデメリットおよびリスクとその対策、それにかかる費用などリソースから目を逸らさずに議論を進めてほしい。
No39	テーマではなく、具体的な案を言ってもらわないと意見できない。
No40	山下埠頭の再開発について、田中康夫さんの選挙演説を拝聴しました。 市長の考えている事、YouTube に残る発言に大変驚き愕然としました。 カジノ反対派だったのでは？これからは、オンラインカジノだ！と恐ろしいです。 絶対にカジノや娯楽施設やイベント会場にしないでください。近所に在住の私は先日のグリーンアップルライブは辟易いたしました。 5 万人を 2 日間も集めてしまいスーパーで入場制限が出たり、元町・中華街駅や大変な混雑に遅くまで騒いでいる始末。 田中康夫さんの考えにあった緑や、ハマの森の公園の様な憩いの場を希望します。
No41	内容があまりに抽象的過ぎて愕然としています。カジノ計画を白紙化してからいったい何年経っているのでしょうか。白紙化した現市長は二期目に突入しましたが、これほど具体性に乏しいものしか出せない中で、市民に意見を求めるとは、あまりに無責任ではないでしょうか。市財政の悪化はより差し迫った問題として現実化しているにもかかわらず、その解決策にもなり得たカジノ計画を白紙化して、その対案もないまま何年もたち、こうして市民に丸投げしているような印象を抱き非常に不満です。
No42	総花的（良いところどり）で何を目指したいのかが不明確でイメージしにくい様に思えました。もう少しフォーカスした方が市民にも分かりやすい様に思えます。
No43	漠然とし過ぎていて実際には何も決まっていないのだろうなと思う。これからどう言う街にしていきたいのかもイメージだけで結局何も伝わってこない。
No44	基本的な方向性は理解しましたが、カジノ関係、環境破壊につながる事業にはしないでください。そもそも花博すらどうなるか分からない状況で山下ふ頭の話は早すぎるのではないのでしょうか？
No45	将来像が抽象的で今の状態との違いが不明瞭。 現在の山下埠頭の受け止め、評価を踏まえた将来像を示していただかなければ本意見書の意味がない。山下埠頭の近くに住

	んでいる人や何度も訪れている人以外が横浜市の大部分の人口を占める中でこの意見書にどの程度の信頼性と重要性を持たせるのかが全く不明瞭。　本意見書ではおそらく「意見は特にない」が大部分か「よく分からないため当たり障りのない回答」に留まるものが大多数になることが想定される。 つまり、行政の行いたいことを本意見書を通じて合意を得たという言い訳を作るためだけのものに思える。　本意見書の目的と今後の行政が検討していることも見られる状態にした上で再度意見書取りまとめを実施いただきたい。
No46	横浜スタジアムを移転し ドーム型スポーツ施設にし 横浜駅から会場までの海の交通を整理する
No47	具体的に何を作るのか、何を建設するのか、明示してほしい。 再開発として、それぞれ取り組みイメージがありますが、なぜそれが必要なのでしょうか？ 今何が問題で、その改善のために何が必要で、取り組みをした時のメリットやデメリット、資金はどうする予定なのか、分かりませんでした。
No48	具体的に何をするのか少しでも書いてあると イメージしやすい 市民年齢層べつにどのようにアプローチするかなど あるとわかりやすく参加意欲や興味がわいてきそうです
No49	横文字が多い。あえてデスティネーションやシビックプライドという意味は何？伝える事を蔑ろにして、発信する側の気持ち良さに酔っているように見える。　まちとはどこを指している？　全体的に詰め込んでいる感じがするがこれらの要素を入れたいのであればもっと分解しなければ伝わらない。　テーマ 1 の"世界に誇れる"は不要。もし入れたいのであればテーマ 1 をさらに外側から囲うイメージのはず。　持続可能という概念はライフサイクル全体に目を向けて初めて成り立つが、何を持って持続可能と捉えているのか漠然としていてどこを目指しているかわからない。最新技術の導入やイノベーション発掘に関して言うのであれば、躍進的なまちとか発展性を感じさせる言葉の方が理解できる。　そもそもこれは"山下埠頭の"将来像という範囲に収まっているのか。 夢を詰め込むよりは、時間軸を決めた上でその中で目指すべき事を書な方がマシ。
No50	画像 1 枚で掲載されているテーマが、要は何をしたいのかよく分からない、明確化されていない内容で、何をしたいのか結果わからないです。 もう少し明確化したことを書いてから再度アンケートをしてほしいです。
No51	ショッピングセンター等はたくさんあるので不必要です。
No52	山下北側整備計画にあたり、現横浜スタジアムの課題と将来の横浜のまちづくりを見据え、山下ふ頭北側への新球場移転とドーム化を強く提案いたします。　現在の横浜スタジアムには以下のような問題があります：　老朽化　　築 45 年以上が経過し、構造・設備が現代基準に合わなくなってきている。　収容力の限界　　観客数に対して座席が足りず、快適性・安全性に課題がある。　法的制約により建て替え困難　　建ぺい率・容積率の関係で現地での大規模再建築が難しい。　建て替え中の代替球場がない　球団の営業・運営に支障が出る可能性が高い。　天候リスク　　雨天中止や猛暑等で集客機会の損失が発生する。　　これらの問題を、山下ふ頭への移転により以下のように

	改善できます： 自由な球場設計が可能 ゆとりある敷地で、最新の観客動線・快適性を実現できる。 球団の負担を軽減 営業を止めずにスムーズに移行できる。 横浜に球団が残る 市民の応援文化や地域の誇りを継承できる。 交通インフラと連携可能 みなとみらい線やベイサイドブルー、水上交通など既存資源を活用。 ドーム化による経済効果 試合がない日もコンサートや国際イベントで集客可能。 跡地の再活用が柔軟 緑地、文化施設、にぎわい空間など市民に開かれた用途にできる。 山下ふ頭ドーム構想は、横浜の都市ブランド・経済・観光の未来を形づくる現実的で前向きな提案です。ぜひ本格的な検討をお願いいたします。
No53	上の地理的な特性から結論できる。 ◆適合する施設タイプ シャトルバス代を利用者が負担できる施設 会社ビル（企業負担や経費計上可能） アリーナ（イベントチケットに料金を上乗せ可能） 高級ホテル・リゾート施設（宿泊料金に組み込み可能） ◆適合しにくい施設 大学（学生は交通費負担に敏感） 公園・公共広場（入場無料が前提なので運賃徴収困難） 日常的利用を前提とする施設（スーパーマーケット等）
No54	日比谷図書文化館のような場所を作って欲しい
No55	再開発に当たり、その一部を市営ゴルフ場と公園としてください。東京都の若洲が成功例です。収益につながります。
No56	公園は周辺にたくさんあるのでいらない。
No57	人口減少社会の中で維持管理が人に依存しない形で開発を進める必要があると思う
No58	基本方針とリーフレットを拝見しました。 みどり、海辺については既に出来上がっていると考えます。資料の中にもあったように、みなとみらい～山下公園のラインが完成していると感じます。海に目を向けると、ベイブリッジこそありますが、大黒本牧のふ頭、工場施設が見え、これまた資料にあった諸外国のようなウォーターフロントを作ることは難しいと思います。 上記以外にも、同様の施設が市内にはあり、改めて開発する必要を感じません。 また、市民意見にあったような開発をして収入を確保できるとは到底思えません。こんな海にせり出した埋め立て地が災害の拠点になるかも疑問です。 結局、この開発の話はカジノを撤回した時点で終わっているのです。 横浜に宿泊してまで楽しむ魅力はありません。
No59	理念は立派だが、それだけで本当に人が呼べると本気で考えているなら、無計画・楽観視が過ぎる。
No60	山下ふ頭は、横浜市民にとっても市外からの来客者にとっても馴染みの薄い場所に思う。 （普段、一般人は入れないため） そのためか、再開発にあたっては、どんな形にすべきかのイメージが湧きづらい。 これまでにある資源から考えてみると、みなとみらい地区が参考になろうかと思うが、そこは街づくりに活かすことのできた近代産業の遺構があったから。 対して、山下ふ頭にはそれがない。 既設の施設を活用するのではなく全く新しい施設を建造して人を呼び込むとなると、それなりに必要性や将来性を調査した上で設置してもらいたい。 一方で、主要駅からのアクセスも悪く、集客を見込むのであれば、アクセスの悪さを我慢してでも行きたくなるような施設が求められるが、それに対応できるほどの規模の施設が築造からかなりの時間を経過しているふ頭に設置できるのかが不透明。 また、取り組みの考え方２で「有事の際に備

	える空間づくり」とあるが、上記のことから最も不安定な基盤をそのような位置づけにすることへ疑問がある。 色々な要望が寄せられるとは思うが、目先の利益やこの仕事の処理を優先せず、将来に負債を残さないようによく必要性を考えて進めていってほしい。
No61	（承前３）以上が『基本的な方向性』そのものへの意見であるが、さらに付言しておく事柄として、「市民参画」に関する要求を提示する。 遺憾ながら、『基本的な方向性』では、「市民参加型の意思決定過程」の確保がされていない。今後の行政の過程において、市民代表が計画策定段階から関与できる委員会の設置を求める。今回の市民意見募集とは別に、事業計画案にも市民が実質的に関わる仕組みが必須である。「山下ふ頭再開発検討委員会」の委員からは、事業計画案を策定する前に市民意見を取り入れる場を確保し、政策決定の透明性を確保すべきだとの声が上がっていた。その具体的な手法として、「事業計画検討委員会を設置して、市民が委員になるべき」、「事業計画の策定手続きは市民参加の手続きとすべきである」との言及もあった。この点に関して、８月１５日には、港湾局から「市民検討会」と称する企画が公表された。市民から「対面方式で直接意見を」を聞きながら「議論を積み上げ、事業計画案を作成して」いく取組ということであるが、事業計画案に市民が実質的に関わる仕組みとは言えない。やはり、市民代表が計画策定段階で討議に参加できる委員会の設置が求められる。その理由を述べる。 これまでの港湾局の進め方を見れば、２回に亘る「市民意見募集」と「意見交換会」から「山下ふ頭再開発検討委員会」における「市民意見伺い」に至るまで、市民意見については市側の取捨選択によって意見の採否が行われていて、「市民参加」とは名ばかりの実態が明らかである。『基本的な方向性』に「多くの市民意見が反映された答申を踏まえ」とあるのは虚言であり、行政の意に沿わない意見は捨て置かれたままである。市民代表が計画策定段階から討議に参加できる委員会の設置要求も、多くの市民が提示していたにも拘らず、顧みられてはいない。 この延長線上に提示された今回の「市民検討会」に多くを期待するのは、無いものねだかりに等しい。「市民検討会」とは聞こえは良いが、問題はその内実である。「無作為抽出」「幅広い世代」「対面形式で直接意見」「市民意見の深度下」と耳当たりの良い言葉を並べても、市側が意見を聴取するだけで終わるなら、これまでと同じように、市側が裁量権をもって市民意見を判断し処理するまでのことに過ぎない。「複数回」の「市民検討会」には市民が傍聴できないし、その都度の議論内容について意見を述べることもできない。先の「山下ふ頭再開発検討委員会」と比べて、その公開性、透明性において明らかに後退している。そもそも、予定人数が「数十名」の「無作為抽出」では、全く関心のない人あるいは基礎的知識に欠ける人が多く選ばれ、事業計画について腹案のある肝心の人が参加できない状況も大いに懸念されるところである。「市民意見の深度下」などとても覚束ないであろう。要は、「市民検討会」は「検討会」の名に値しない。 市民の中には、既に、学識経験者の向こうを張って、具体的な事業計画案として提言書「山下ふ頭に○○があったらイイナ」を公表している市民団体がある。「市民検討会」と言うからには、このような市民団体の代表がまずは参加すべきである。この横浜の地に生きてきた、そして生きていこうとする市民は、先の学識者および地域関係団体

	委員の「検討委員会」で提示された、横浜の地理、歴史、文化についての識見が十分でない生成ＡＩによるプレゼンテーションに勝るとも劣らない、文化の香り馥郁たる、血の通った、味わい深い企画を披露すると思われる。こうした市民団体が参加することなく、計画案のプレゼンテーションの機会を与えられない「市民検討会」は、市民代表が計画策定段階から討議に参加できる委員会とは全く異なるもので、市民の期待を裏切るものである。 山下埠頭再開発は、日本が人口減少社会に突入し、これまでのように大規模開発による経済成長一辺倒では済まされない、時代の転換期におけるまちづくりの見本を国内外に示す一大事業であり、横浜が持続可能なまちであるための試金石となろう。そのような画期的な事業に、横浜の歴史が育んで来た「市民参加のまちづくり」の伝統を大きく生かしたいものである。となれば、事業計画案に市民が実質的に関わる仕組みとは、市民が市と対等の立場で双方向の議論ができ、その結論が事業計画案策定に反映される保証のある委員会の設置をおいて他は無い。 以上が、市民代表が入る事業計画検討委員会の設置を要求する所以である。
No62	横浜の経済効果にどのくらい貢献するものなのか
No63	人手不足が叫ばれているなかで、各自治体がバスの運転手を確保するために様々なイベントを実施している状態です。その状態でどのようにして長距離バスの運転手を確保する計画ですか。誤魔化さずに具体的かつ明確に教えてください。 本当に集まると思って計画的を作成したのでしたら、誤魔化さずに具体的かつ明確に長距離バス運転手の集め方を教えてください。
No64	長期間で検討し、方針を作成した割には内容が薄く、各方面の有識者の顔色を伺ってそれぞれの要求を少しずつ入れこんだ結果できた 内容にしか見えず、最初に開港し、文明の先端を走っていた町であれば、もっと尖ったような再開発プロジェクトを目指していくべきだったと思う。
No65	教えてください。 様々なバス会社が運転手集めに苦労しています。 長距離バスを山下ふ頭まで走らせるのに運転手を集める自信があるから計画に取り入れたと認識しています。具体的にどの様な手段で運転手を集められる予想をされたのですか。
No66	効率の良い使い方をした方がいいと思う
No67	沈みそうな船が多くあると感じています。横浜市は何も対策をする責任は無いのですか。 何か対策をする責任があるとしたら所管は何処になりますか。 海上交通の支障にもなると感じています。　災害時に支障が発生すると市民の生命に関わってくると感じています。それでも横浜市は何もしないのですか。
No68	昔は山下ふ頭にたくさんの貨物船が接岸していましたが、コンテナ化により貿易港としての機能が周辺部に展開してしまいました。 それは仕方のないことですが、昔は山下公園あたりに来れば自然に貿易港の生きた姿を見ることができ、港や船について知識が増えたものでしたが、いつの間にかそういう機会がなくなりました。　港湾関係のプロから見ればあり得ない話になってしまいますが、山下公園からよく見える場所に貨物船が荷役をするバースを復活してほしいなという希望はあります。
No69	ボロボロで沈みそうな船舶が固まっている場所がありますが景観的にも防災的にも海上輸送的にも悪いことしかないと思います。何もしないで放置している理由を教えて

	ください。
No70	山下ふ頭は、横浜市民の共有の財産です。 多くの横浜市民が納得できるかたちでの開発をお願いします。 また「事業計画案」を年度内にも決定するようですが、横浜市民の多くは「山下ふ頭再開発」については、知らない市民が多数います。 横浜市として市民に「山下ふ頭再開発」にきちんと説明するとともに、市民の声に耳を傾けるべきと思います。 そういった観点から「事業計画案」を年度内に決定することは、時期尚早です。 もっと時間をかけて、市民からの意見を聞き、決定すべきと考えます。 8月15日の記者会見で「市民検討会」を設置し、市民の意見を聞くとしましたが、極めて限定的な市民参加です。 より多くの市民が参加できる「市民検討会」を再検討して下さい。
No71	山下ふ頭は、公有地、「市民の共有財産」です。市民の福利厚生向上のために使っていただきたく、そのためには意思決定の場に市民の参加は不可欠だと思います。 また、市外でも横浜が好きな第三者の方も含めて、一般市民の意見枠を作っていただくことを強く希望します。 このような大事業こそ民意反映を、そして時間をかけて、すぐに結論を出すのではなく、熟議を重ねた丁寧な合意形成をお願いいたします。
No72	その２　ところが、「基本的な方向性」では、なんと林市政下の2015年2月15日に策定された「都心臨海部再生マスタープラン」を「関連計画」と位置づけて、「検討する」と明記しているのだ！カジノ誘致の反省に立つなら、山下ふ頭の事業計画案策定に当たっては、「市民参加」を保証するかどうかこそが何よりも問われているにかかわらずにである。 これまでの港湾局による進め方を見ると、「市民意見募集」「意見交換会」から「山下ふ頭再開発検討委員会」に至るまで、肝心な「市民参加」を保証する考え方が全く欠けており、市民意見の扱いは軽視されてきたというのが、実態である。今回の「基本的な方向性」においても、これまでの「市民意見募集」のやり方が踏襲されていた。「意見」ではそのやり方で市民の意見を反映させるのは「決定的に不十分だ」と批判した。なぜなら、「市民意見募集」で提出された意見の扱いは、双方向での意見交換は保証されず、港湾局の一方的判断で採否が決められる仕組みになっているからである。これまで何度も「市民意見募集」に応募した市民から言えば、行政にとって「都合のよい意見」は取り入れ、「批判や不都合な意見」は聞き置くという実態になっている。結局のところ行政として「市民意見を聴いた」というアリバイ作りに終わっている。カジノの時には、少数だった賛成意見がとり上げられ、多数の反対意見が排除された実態さえあった。 長い「前ぶり」になったが、以上が「意見」で述べた「市民参加」の保証を求める考え方である。　２、「市民検討会」の始動を受けての「追加意見」　8月１５日「市民検討会」を始動するとの発表があった。一見、市民の意見を尊重するかの印象を与えているが、事業計画案づくりに市民参加の保証を求める考え方とは似て非なるものである。この点について「追加意見」を述べる。 ①「市民検討会」で「多様な意見を反映」し、「市民意見の深度化」を図れるのか？ 記者発表資料では、「無作為抽出により選ばれた幅広い世代の市民から、対面方式で直接意見を伺い、複数回議論し、市民意見の深度化を図る」としている。朝日新聞８月１６日の報道によれば、規模は「数十名」、「年内５回程度開催」の予定と言う。その３につづく

No73	その３　「市民意見募集」だけでなく、「対話の場」を設けることは半歩前進であり、検討委員会の幸田委員の意見や署名活動の広がりを無視できなくなったことを示すものと理解している。住民基本台帳からの無作為抽出であれば、幅広い世代から参加者を数十名決定することは、容易にできよう。しかし、問題は「複数回の議論を通じて新たな視点やアイデアをいただき、市民意見の深度化を図ります」というが、果たしてそれができるのか、また市民の多様な意見を反映できるのか。すぐに疑問が出るのは、「数十名」という規模である。３７７万人の人口からすれば、あまりにも少なく、代表性、中立性を確保することは無理である。「無作為抽出」である限り、これまで山下ふ頭問題に無関心で基礎的な知識すらない人が多く選ばれ、まちづくりの経験と知見をもった市民が参加できないとなると、なおさらである。さらには、その「数十人」で年内の短期間に５回も会議を詰め込んで、「市民意見の深度化」を図るというが、結果どんな意見の「深度化」が図れるというのか。そもそも「市民参加」を保証する前提として、「正しい情報の提供」(例えば飛鳥田市政以来の都市づくりの実績と考え方、進め方など)と「専門家の知見」が不可欠だが、それは保証されるのか。また、「市民検討会」には市民が傍聴できない。メディアには「公開」と言われているが、冒頭の５分だけにすぎない。議論内容は後日公開されるとしているが、それに対する意見を述べることもできない。きわめて透明性に欠ける密閉的なものである。３年前から行われた「市民意見募集」「意見交換会」、「山下ふ頭再開発検討委員会」に寄せられた１万件を超える市民意見、加えて今回募集している市民意見はどのように扱われるのか、「市民検討会」での議論との関係は？さらには、並行して行われる事業者へのヒアリングとの関係は？などなど、疑問は尽きない。 私たちはこの間の経験からして、こうした「市民検討会」によって、市民意見を反映することはとても難しいと判断せざるを得ない。 ②決定的なのは、「市民検討会」は、事業計画案づくりになんの権限もないという問題である　 しかも、「市民検討会」の運営とまとめは、結局、港湾局に委ねられるのである！その４につづく
No74	その４　これまでの「市民意見募集」の扱いなどと同様「都合のよい意見」は取り入れ、「批判や不都合な意見」は聴き置くという対応になるのは目に見えている。それにとどまらない。決定的なのは、「市民検討会」でどんな議論がされようと事業計画案づくりについて何の権限も与えられていないということである。だとすると、「市民検討会」は、「基本的な方向性」で港湾局が示している、一握りのデベロッパー、金融資本の短期的な金儲けのための「世界最高水準のコンテンツや施設等が広がる賑わい拠点」を事業計画案として策定するためのアリバイづくりということになる。形だけは、「市民意見を聴いた」というまやかしにすぎないと言ったら、言い過ぎだろうか。 「市民検討会」は、私たちが要求している「市民代表が入る事業計画検討委員会」とは「似て非なるもの」である。「市民参加」を実質的に保証するには、市民が市と対等の立場で双方向の議論ができ、その結論が事業計画案策定に反映される、権限のある委員会の設置がどうしても必要である。それゆえ私たちは、「市民代表が入る事業計画検討委員会の設置」を求めて署名活動を展開してきた。７月２３日現在、賛同署名者数は、８２１６人に上り、その後も増えている。私たちは、これまで以上に署名活動を強化し

	ながら、市民のための「もう一つの方向性」を実現するために広く力を結集するであろう。港湾局は、カジノ誘致の反省に立って、市民運動と市民の思いに真摯に向き合い、これまでの姿勢を根本的に改めて、「市民参加」を保証する仕組みに切り替え、市民と共に市民のための山下ふ頭事業計画案策定に臨まれるよう要求する。　「市民検討会」に参加される市民の皆さんには、この間の経験から来る私たちの意見と運動に注目していただき、自分の頭で考えて議論に参加されることを切にお願いしたい。③事業計画案づくりに「市民参加」を保証するには、スケジュールありきの態度を改め、「熟議を重ねた丁寧な合意形成が不可欠である」　最後に、そのための当面必須の問題を提起する。報道によれば、「市民検討会」は、年内に５回ほど開催されるという。それは、年度末(来年３月３１日)までに事業計画案を策定しなければならないというスケジュールありきの、市民をないがしろにした態度である。とてもカジノの教訓に学んだとは言えない。神奈川新聞は昨年１２月２７日、「市民意見募集」の「反映状況の不透明さ」を指摘して、「大事業こそ民意反映を」という社説を掲載し、市の進め方に警鐘を鳴らした。山下ふ頭のあり方は、歴史的転換期における横浜のまちづくり全体に関わる大事業である。市民の意見を反映すると言うのなら、「熟慮を重ねた丁寧な合意形成」のために、必要にして十分な時間をかけるべきである。以上。
No75	今まで実現しなかった実現できなかったことを、どの様に実現するのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。 沈みそうな船が多くあると思っていますが、対応できないのか対応しないのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。船が沈んだら災害時に大きな障壁になると思います。対策しないのか、対策できないのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。
No76	沈みそうな船が多くあると思っていますが、対応できないのか対応しないのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。今まで実現しなかった実現できなかったことを、どの様に実現するのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。それとも今後とも対応しないのか教えてください。土日も夜中まで市役所関係の建物の執務室の明かりがついていると認識していますが、サービス残業は発生していませんよね。
No77	長距離バスの山下ふ頭までの延伸するための運転手の確保はどの様に実行するのですか。 人手不足が深刻化しているなかで、バス運転手の人員不足は社会問題とまでなっていると認識しています。そのような状態のなかで長距離バスを山下ふ頭まで延伸するには運転手の確保が必要です。具体的にどの様な対策を行い長距離バスの運転手を確保するの教えてください。 計画をしているにも関わらず、長距離バスの運転手の確保はそれぞれのバス会社の問題などと無責任なことは言わないでください。計画を立てた責任として、言い訳しないでどの様に長距離バスの運転手を集めるの具体例を出して教えてください。
No78	F1 はやめてください。
No79	１．３つのテーマについて ３つのテーマともらしく掲げられているが、これらがはたして整合しているのかと問われれば、否定することになる。市の本当の狙いはテーマ３「活気に満ち溢れ、周辺へと広がる新たな賑わい」であることは疑いの余地がない。

	その考え方の「賑わい拠点の形成」、「市域全体の活性化につながる街づくり」は、集客性と収益性、ビジネス機会や雇用の拡大などを通しての経済的繁栄に繋がる都市開発を志向するものであり、それは必然的に巨大デベロッパーや大手金融資本による都市づくりを前提としている。　あるべき山下埠頭の新しい姿は、市民が憩い、交流し、活動することで多様で豊かな文化を発信する開かれたパブリックスペースである。すなわちこれこそが市民が望み、目指すべき方向性である。 市が提起しているテーマを利用するならば、テーマ１を軸にテーマ２の部分最適を併合させることを柱にし、それに市民からの具体的構想とプロセス案を取り入れることである。テーマ３は街づくりの方向性から排除すべきである。　長く続いた林市政に輪をかけて山中市政は、市民の財産を毀損し、民間企業の利益優遇の利権政治を貫いてきた。今年 8 月の市長選挙で圧勝した市長がその姿勢をいっそう強めてくるであろうことは想像に難くない。山下埠頭は 95%が市有地であり、すなわち市民の財産である。市民の総意を無視した開発を進めることは絶対に許されない。
No80	２．市民参加について それを具体的に保証するには、事業計画の検討・策定において市民代表を参加させ、双方向での対話による議論を進めながら事業計画案を作成することである。山下再開発検討委員会の有識者会合において幸田雅治委員は幾度となく「事業計画検討委員会には市民の代表委員が過半数を占めるようにすべき」との意見を発してきた。委員会はこれを受け付けなかったが、市民参画についての市民の想いや要求を反映した極めて重要な提起であった。 市は 8 月 15 日に突然、市民による「検討会」なるものを設置する旨を発表した。これは 前述した幸田委員の提起とそれに対する多くの共感が無視できないと判断した市の後追い提案である。しかし、以下のように多くの疑問がある。　＋ 開催回数および抽出対象数が少なく小さい。市民意見の深度化が保証されるか。　＋ 無作為抽出の公平性がどう担保されるのか。　＋ 市民検討会の開催時には、市は必要最小限の客観的情報の提供に止め、進行や記録などすべて市民の手に委ねることが認められるか。 この市民検討会でもって、事業計画案策定過程において市民をいっさい排除することがあってはならない。繰り返すが、事業計画案策定過程には過半数の市民代表、それも関心の高い人々を参加させることが必須である。
No81	３．スポーツベッティングについて　2021 年 12 月 23 日～2022 年 6 月 30 日に行われた市の事業者提案募集に対して 10 社からの応募があり、その中の 1 社が特区の活用についてスポーツベッティングの特区実証実験を提案した。Power Point6 面を使った力の入れようである。社名は公開されておらず、市も開示しない。 スポーツベッティングの解禁を目指す動きは 2022 年 6 月に経済産業省の素案として提示されており、本提案はそれに乗っかったものである。さらに、横浜市は「YOKOHAMA Hack!」という実証実験プラットフォームを運用している。市長が協定を締結すれば実験を実施することが可能な制度設計となっている。　現時点で横浜市は、山下埠頭に於いてスポーツベッティングの特区実証実験を行う旨を明言しているわけではない。しかし、カジノ IR 誘致の「振り返り」の不十分性に鑑みれば、さらには議会においてもいまだにカジノ誘致に未練を残す議員が少なからず存在していることを考慮すればこの動き

	に傾く可能性を否定できない。国からの働きかけがあれば、よりその姿勢は強まるはずである。　スポーツベッティングと呼ぼうがこれはあくまで賭博であり、市民の財産である山下埠頭に賭博を許すことなどあってはならない。実証実験だから良しということには絶対にならない。 本来は提案が提出された時点で、即その削除を求めるか受付を拒否するべきであった。多くの市民代表を交えて作りあげる事業計画案にはあらゆる賭博、カジノに繋がる要素を完全に排除する旨を明記すべきである。
No82	とにかく、横浜市の案は、ビックマウスです。 世界に誇れる、何度でもきたくなる。そんなものが、作れるのか、はなはだ不安。 横浜市は財政難なのに、事業費はいくらかかるのでしょう。横浜市が、もつ分を、都度、教えてください。 マイカル本牧の失敗例もあります。無茶なことは、やめてください。 山下ふ頭は市有地ですが、激安で貸し付けるのでしょうか？根拠をしめしてください。
No83	市立の「アーチェリー関連施設」はアスリートのみならず、老若男女問わずアーチェリの一般愛好者、学生や一般市民に使ってもらう事こそが大事な使命と考えます。日本には歴史的に見て多くの学生時代にアーチェリーをしたが、社会人になったのち辞めた理由の一つは（1）「練習場」が極端に少ない（2）営業時間が日中のみ（3）設備運営が体育会系なガチ競技のみ考慮し娯楽要素がない（4）ゴルフと同様に約 12～15kg の道具を携帯する必要があるのに施設内に駐車場がない、又は身障者対応のみ等、極端に少ない。（5）立地が街から、又は交通機関から遠く離れ、立地は丘の上にあり駐車場から重い道具を持ち長い坂を上る必要がある、などなど。この点、多くの国では「育成」と「娯楽＝楽しさの提供」を考慮し、（1）施設は交通機関の便利な街の中にあり、（2）道路からフラットにアクセスでき無料駐車場が設置され（3）練習中の修理対応に必要なアーチェリー部品や用品販売（4）室内以外の一部行射位置には天井又は覆いがあり（5）射場全体の照明設備完備（6）休憩用椅子や台、猛暑換気対策の扇風機（7）簡単なフードやドリンクを提供するカフェ（8）簡単な着替えスペース（9）利用者の都合に対応した営業時間に多くは 10 時から 21 時頃の設定にしている、等々。 この様な事が結果的にテニスやゴルフやバディングセンター同様に愛好者は増加し街中に多くの練習場が出来、最終的には選手層が厚くなり、世界的に活躍するアスリートが現れる。
No84	全体的に抽象的で、今までのまちづくりとどう違うのか分かりにくい。 前回の市長選で争点になっていた割にはその後の報告が少なく、進捗が知らされていないと感じる。報告がない中で今回の意見募集に出ている内容では全体像含め全体的に分かりにくい。山下埠頭の特徴がないように感じる。
No85	エンタメ性でなく、ファミリー層に寄り添えるような、安全で自然のある場所つくりをお願いしたい。 こちらのような意見募集だけでなく、もっと市民がオープンに参加できるような意見交換の機会をつくってほしい。
No86	玉虫色に思いついた言葉を並べているだけという印象を受ける。開発の目的を特定することもなく、耳に心地よい言葉を聞かされても、有意義な意見を集めることには限界があるだろう。 結局、選定した開発事業体に開発を任せるのだから、事業体の選定プロセスの情報と記録の保存、制限のない開示手続きの制定を先行させるべきである。

	開発事業体は、少なくとも神奈川県内所在のものに限定すべきである。
No87	市民が国策であるカジノを止めたとの意識をシッカリと共有し、公有地である山下埠頭の将来を市民が決定していく仕組みを創り上げていくことが肝要です、二元代表制の枠内で行政が物事を進め議会が承認する形態が機能していないと危機感を持つ市民が多くいることを承知すれば、多くの市民が参加して公有地の利活用をどのしていくかを計画し決定していけばよい。　　市民が決定権を行使した案件として行政が取り組めるかどうかです、地方自治体の公有地がゲネコンの餌食となり短期的な利益のために使われている事例は余りにも多い、公有地を高層ビル群の乱立となっている現状は情けないお粗末な再開発です。　　市民が将来世代にシッカリとメッセージを伝えていく為には山下埠頭に『関心を持つ市民』として収益開発派と市民文化創造派の２つの意見を戦わせ公表、行政が選んだ専門家ではなく当該の参加市民が選択した専門家を呼び判断していけば良いだけです、パブコメ等ではなく『熟議の大切さ』を市民が共有できれは素晴らしい山下埠頭を将来世代に引き渡せます。
No88	再開発て特措法でも作成されるのですか。今まで野放しにされていたとしか思えない沈みそうな舟に対する対策が行えるように変わるのですか。特措法などを作らずに対策が行えるのなら今まで対策をしなかった理由を教えてください。対策をしなかった責任は誰の責任ですか。誰も責任を取らない無責任ですか。 それとも特措法などを作成して対策を行うのですか。沈みそうな舟のまま放置しておいても横浜港は問題無いのですか。 具体的に明確に教えてください。 責任の所在も教えてください。
No89	市民の意見を聞く方策として住民基本台帳から無作為抽出して、その論議が傍聴不可・ネット配信もせず何故非公開なのでしょうか？そのようなありていに言えば『やっているふり』としか言えない形式を決定した理由を開示してください。　　市民がカジノを止めた一丁目一番地の山下埠頭については関心のある市民を募集して、どのような方向性を指向していくかの論議と市民が決定する仕組みが得られているかが必要です。選ばれた人々により専門家からの話を聞き判断していく熟議の大切を市民が共有していくことが肝要です。　　先の市長選の投票率が４０％レベルの民度であることを市民が十分に自覚してるかが問われています、民主主義の根幹である投票権も行使しない中で無作為抽出であれば無関心層の取り込みを図る、切り取り動画方式で行政が提示する情報だけでの論議は駄目です。カジノの際に市の広報が大量に配布されてカジノは市財政に寄与すると知らされたが、市民が学者を読んでマイナス面を理解したように情報の共有化をどのように構築するかが不可欠です。
No90	この場所は横浜市、つまり横浜市民が 90%以上所有する横浜市民の場所であり、市民の共有財産、コモンズである。その為には、どこの誰よりも市民の意見を主体的に聴くべきであり、横浜市民の横浜市民による横浜市民の為の場所であるという理念の元にすべての創造がなされるべきであり、その為に早急に物事を進めるよりもその事を重点にして市民の意見を十分に聴ききったというところまでやって市民が納得したうえで進める事が重要だと思う。　しかし、現在全市民的な知りうる状況になっているとは言えずそれを大々的に広報していないので興味の主体になっているとは言えない。この状況は決して望ましい状況ではない。話し合いは港湾隣接地域だけでなく遍

	く全市の市民と各年代層の意見の発出と話し合いその上での集約が重要。現在だれがどのように決めたかも全市民が納得しているとはいえず、一部の委員の中だけでの勝手な議論で進められている。学識者委員幸田雅治・神奈川大教授は「市民が参加する事業計画検討委員会の設置」を提案、答申には盛り込まれず。「答申案の検討は極めて短時間で、強引にまとめたやり方は異常だ。今後の事業計画案検討は、市民が実質的に関与する方法で行われなければならない」などとコメント。　市民有志らも「『大規模開発』と『市民生活第一のまちづくり』という相反する方向性が無理やりまとめられている」などと指摘。今一度、横浜市民の視点に立ったうえで、横浜市民が進める初めの一歩から始めるべきだと思う。急ぐ必要はなく、広報をし直してじっくりと多くの市民のワールドカフェ方式からじっくりとワークショップスタイルで進めるべきだ。
No91	第１　山下ふ頭の将来像（全体について）（1）そもそも，何故，山下ふ頭を再開発しなければならないのか？（2)「横浜市六大事業」に相当する，今，求められるヴィジョンを市長は描いているのか？（3）事業化検討のプロセスの透明性が確実に担保される仕組みを設計しているか？（4）令和８年度頃に「事業化」としている線表の実現可能性（妥当性）は？　ア　「市民との対話」を予定しているが，形だけのパフォーマンスなのでは？　イ　市民と丁寧かつ真摯に対話し，本気で開発案構想を練るのであれば，無理がある時間軸と評価　ウ　有識者による検討委員会の様に拙速で答申を纏めた結果，少数意見を蔑ろにした点を反省すべき（5)『「横浜ＩＲの誘致に係る取組の振り返り」（最終報告）（令和４年９月)』の反省を踏まえているか？（6)「旧市庁舎売却問題」で浮き彫りになった論点整理と，今回の再開発プランへの反映はできているか？（7）山下ふ頭と隣接する山下公園通りの再開発を主導する都市整備局とデベロッパー癒着問題との関連性は？（8）各論にも関係するが，山下ふ頭ならではの魅力，山下ふ頭でなければならない理由を重視（判断基準定立)，市民意見を選考し，限られたエリア内には最優先機能に限定して絞り込むべき（ふ頭の魅力・立地に比較優位性衡量の考え方を応用）（9）上記優先機能に基づいたバランスよくユニークなトータル設計（整合性・機能性（パッチワークではない))であるべき
No92	法的拘束力のない方向性を示すと、今まで行えなかったことができるようになるのですか。沈みそうな船が多く見られますが法的拘束力のない方向性を示して対策が可能になるのなら、何故今まで対策しなかったのですか。　対策しなかった責任は誰にあるのですか。
No93	・人工的な陳腐な構築物で人を惹きつけられ人が体験・体感して行動変容できると考えるのは、あまりにも人に対する理解が小さくおこがましく、人をお金を落とす消費者としてしか見ていないと思います。自然のままであった方が、自然に対する負荷も人がそこから得られる体感も段違いに大きいものと考えます。ニューヨークのセントラル・パークやロンドンのハイド・パークのような自然をできるだけ残した整備こそ望ましい姿と考えます。・山下ふ頭 42 ヘクタールの 96%は市有地であり、市民が消費者としてのみならず、主権者として山下ふ頭のあり方について市民の意見が全面的に取り入れられるよう望みます。・「イノベーション」を人工物で叶えられると考え

	るのは、あまりにも人のことを馬鹿にし過ぎです。ちゃちい人工物はすぐに陳腐化し飽きられます。イノベーションなぞ目指さないでください。意味がないです。 ・すぐに「賑わい」を持ち出すのは、お金儲けに走りすぎです。魅力的な自然があれば、人は集います。人が集えばそれだけで経済は回ります。人工的な賑わいは、すぐに飽きられます。どこにでもある人工的な賑わいは、もう要らないです。どんどんなくなってしまう自然こそ貴重であり、意識して残すべきです。人工物はもう沢山です。行きたくもありません。計画にあたり、市場調査すべきです。自然を人々が求めていることが分かるはずです。
No94	どのように変化させて、観光地としてよりよくさせるのか
No95	外国人の誘致や災害に強い街づくりをうたっているが、交通網の整備や大がかりな設備投資になると思うが、費用対効果の試算か明記されていない。災害対策に特化させるとか、もっと必要性を重視した政策としてほしい
No96	そもそもの貨物の取り扱い量との兼ね合いは大丈夫なのか。また、すで地方のバスだけでなく、新幹線でも貨客混在が進められていることから考えると船も同様な対応が考えられるが、そのあたりは大丈夫なのか。
No97	巨大な商業施設はもういらない。環境に優しい最小限の低層の建物にとどめ、豊富な緑に囲まれた自然豊かな広い公園にしていただきたい。
No98	イラストやイメージ図があると想像しやすく分かりやすい。
No99	予算はどうなるのか？採算がとれるよう、負債を出さないように事業計画を立ててほしい。
No100	統合型リゾートのごたごたのあと、あまり動きが伝わってこなかったのが実感ですが、下手にギャンブルができる施設を作って人と金を呼び込むのはやめたほうがよいと思います。抽象的な表現になりますが港町ヨコハマにふさわしいまちづくりを目指していただきたいです。
No101	未来への良い取り組みだと思うが、具体的なことが分からずなんとも言えない
No102	再開発は必要だと思うが、将来を見据えた費用対効果、市民への還元の説明があまりなく、知られていない。
No103	シビックプライド、デスティネーションなど分かりづらい単語が並んでいる
No104	できれば現在のままで良い。開発予定地はニューヨークのセントラルパーク的な市民の安らぎの場で良いと思います。もう無駄なお金を使うのはよしましょう。
No105	まだまだ掛かりそう。
No106	開発テーマパークとして運営するのでしたら入場料を徴収がよいと思います
No107	まだ抽象的で何をどのように造って行くのかよくわからない。
No108	誰のためにどのようなベネフィットがあるのか、目的が非常に抽象的で何を目指しているのかさっぱりわからない。緑と海辺をもってして、旅のディスティネーションとなることを横浜市民は望んでいるのだろうか？絶え間ないイノベーション、シビックプライド、世界から選ばれる象徴的な賑わい、どれをとっても具体的なイメージを持てる人などいるのか甚だ疑問。ただ綺麗事を並べたて、血税の無駄遣いを煙に巻いて

	いるだけ。
No109	あまり変わらない横浜の風景を残したい
No110	必要性を感じない。過去の清算（水道管やら税金やら）の方が重要度高い
No111	開発することで市民にどんなメリットやベネフィットがあるのか、予算がどのように組まれているのかがよく分からない
No112	動画で説明されている再開発像を見て、これを実現する労力及び資金（税金）が幾らになるかあきれてしまいました。税収が足りずカジノ導入を決めて税金を無駄に使い、その責任をだれも取らず、また性懲りもなく財政の裏付けのない夢物語を提示し、市民の同意を得た形をとるために、御用学者を集めた検討委員会、市民意見の募集等を実施し、最後に市民アンケートですか。すでに線路が引かれている事案に意見など無駄とは思いますが、検討委員会である委員が提案していた、極力人間の手をいれない原野のままという意見に賛成します。
No113	全体像について回答したいから
No114	将来像に書かれた内容は定番の用語が並び、さらには山下埠頭の将来にどう繋がるのか、全く想像できなかった。・・・像というなら具体性を記述する必要がある。それを書けないということは、将来像が描けていないのではと思う。税金の無駄遣いはやめてほしい。
No115	別に大きな問題はないと思うが両項目通して内容が抽象的過ぎて良いことしか書いておらずアンケートを取ってどうするのか、意義を感じない。後からのプランでどうとでも意見が変わりうる内容であり、このアンケートを持って市民の意見を聞きました、とされても困ると感じるのでここで終わりでなく継続的に意見を取り入れて欲しい
No116	全体像のみならず開発テーマに関しても美辞麗句のオンパレードでそこに暮らす人（いるのですか？）が見えてこない。開発投資を行うのであれば費用対効果（投資効果）が具体的に示されていないので、将来の横浜市にとって本当に必要な投資なのか、回収可能なのか、横浜市全体の財政にとってどのような影響がどの時点でどの程度出てくるのかが全く不明です。
No117	このふんわりとした基本像について市民意見を伺う理由がわかりません。どうとでも捉えることができる基本像です。
No118	「緑と海辺」では、港湾・観光都市として発展する横浜市のイメージと合致せず、市民からの理解を得難いと考える。港湾都市のイメージ形成を担ってきた山下埠頭の姿を連想させる、輸出入・貿易・海上輸送などに結びつく力強い言葉選びが必要だと思う。「緑と海辺」は、どこかの海水浴場と勘違いされることを危惧する。
No119	山下ふ頭の将来像のテーマについて、テーマ１は、世界に誇れる魅せる「緑と海辺」空）は、一つのテーマではなく、【全体のコンセプトとして掲げるべきもの】ではないか。テーマ２は、「イノベーション」、テーマ３は「賑わい創出」、を言っているのだと思うが、言葉が抽象的な言い回しで何を言っているのかわからない。もっと簡潔で具体的に述べないと何を目指すのか、わからない。また、「３つのテーマが重なり合う中心に、「『市民が結ぶ新たな街の輪』として・・・」とあるが、これこそ、抽象的な言い回しで具体的に何をどうするのか、が全くイメージ出来ない。全体として、饒舌で

	言葉遊びをしているようにも思える。以上、市民が理解しやすいよう、簡潔明瞭な表現に整理していただきたい。
No120	山下ふ頭の将来にあまり期待しない。東京湾の一部として海上部の埋め立て構想があればなんとかなる（？）陸上の交通機関が整備されずにおり、この地に東海道新幹線・新横浜駅が遠いので、将来的な発展は望めない。横浜イコール湾港都市ではなく、新交通の中で、新横浜駅を中心とした「新しい都市つくり」を企画計画、実行推進を図るべきであろう。再開発で何を叶えようとしているのだろうか。隣には膨大な予算や民間資本の為せる「東京都心」が存在する。同じような多少手遅れ的な再発構想では将来が無い。
No121	どのテーマにも目新しさを感じない。山下ふ頭、あるいは横浜でこの 3 つを掲げる意義が伝わらないため、市民の興味をひかないように思う。そのため、シビック・プライドの醸成に結びつかないのではないかと危惧している。
No122	絵曾良事として展望が見えない！
No123	臨海部埋め立て前に市民のものであった緑と海辺を返してほしい。先ずそのために厚く土盛りをして多様な植物を植え、車の進入を禁止するだけで良い。何かしたいなら北北東に伸びた 3 つの突端の真ん中のものだけを破壊し、岩と砂を使って入り江にしても良い。もっと直線的な人工構築物を作りたいというのなら、最も東側に突き出した突端の上に世界一大きなプールを作るといい。最低料金は 300 円以上取ってはならない。そうすれば本来市民の遊ぶ場所であった本牧の浜を取り上げた事に対しにお詫びの意味で行政が作ったが、その経緯を無視して水漏れ補修を名目に利用料金を 1500 円に引き上げた為、一般市民が利用できなくなってしまった本牧市民プールの代わりとして機能する。資料にはイノベーション、シチズンプライド、グリーン都市、旅のデスティネイションなど長嶋監督ばりの空虚な言葉が空回りしているが、ヨコハマシティはストレンジなランゲージをユーズしてシチズンをスモークにロールするのがエイムかとオーネストなインプレッションをホールド。横浜市は市民が一番大事に思うただ単に広大で深い緑の保全に関心がなく手っ取り早い税増収に繋がる商業施設を計画に盛り込みたいのか。その意図を誤魔化すためか資料には異常に多い概念と機能が散りばめられているが、山下埠頭の面積では実現できない。詰め込むと中途半端で他の臨海部と同じつまらない場所になってしまうだろう。都市化地域においては例えば東京都中心部の代々木公園や新宿御苑、臨海部の海の森公園などの様な広大な森林を作り出すことが酸素に満ちた貴重な場所として外来客を増やし、災害時の避難場所となり、役人の給料を作出するために働き続ける市民への恩返しとなる。プールのチケット売り場の屋根をソーラーパネルで作ればノーカーボンに資する。それで十分。余計なことは一切しないでほしい。
No124	この画像からは、具体的にどのようなことをしようとしているのか分からない。
No125	ざっくりしすぎていてイメージがつかない
No126	30 歳過ぎても、独身の男女が多すぎます。縁結びの聖地でも作って、全国から来て、この地で知り合い、結婚してくれたら、国のためにも役立つと思います。考えてみませんか？

No127	山下埠頭（機能や立地条件）でないと実現できない将来像ではありません。どこの街づくりでも同じような事を掲げていますが・・・。
No128	将来像に対する取り組みが、どれも抽象的すぎます。「新たな発見や感動をもたらす緑・海辺空間」とはどんなものですか？「市民が結ぶ新たなまちの環」とはなにを意味していますか？サイトの 11 分動画も見たけど、どうやって実現するのか、なにを意味するのか理解できない。具体がないのに意見は言いづらい。もう少し具体策が出てから意見募集をして、たった二回の意見募集ではなく、数年かかってもいいから市民の意見(特に市への反対意見)を取り入れる取り組みにして欲しい。予算が知りたい。
No129	今の山下ふ頭を大切にして未来を考えて欲しい
No130	特に興味がない。津波も怖いし、開発の必要性を感じない。人口も減るのだし、人を呼び込んで海を汚染するような施設は必要ない。関西もお台場も元だけ盛り上がって、既に閑散としています。
No131	横浜の今後ありたい姿をテーマとしたまちづくりとする。
No132	具体的な構想をききたい
No133	みなとみらい地区は多くの商用施設があり、他都市の人から羨望を集めるほど賑わいを見せている。文化芸術としての役割をもっと発揮させるために劇場やアリーナを求める声も聞こえている。さて、山下ふ頭は誰のために開発されるべきか考えてみたい。みなとみらい地区の商用施設は他都市からの訪問者に対応して、経済波及効果は絶大だ。劇場やアリーナも有名な俳優や歌手などが公演を開けば、他都市から人は流れてくる。山下ふ頭は横浜市民の憩いの場として緑あふれる公園に開発されるべきではないか、もちろん他都市の人々が憩いの場を求めて山下ふ頭に来ることは拒まない。だが、何かしらのイベントやら公演やら催せば、賑わいの創出には功を奏するだろうが、ここは賑わいを求める地ではなく、癒しを求める地であると明確に示すべきである。
No134	無駄に多様性を前面に押し出した施設はいらない
No135	抽象的で具体的な方針がよく伝わらなかった。
No136	建設コストが高騰する中、このタイミングで再開発に取り組むべきか疑問。10 年程度先送りしてはどうか？
No137	60 年前に粟津潔らが主導した『横浜の都市づくり市民がつくる横浜の未来』のような提言を期待したが、、、誰でも思い浮かべるような総花的な言葉の羅列で、ヴィジョンとは言い難く、空虚で、失望した。カジノ計画が撤回されたのは評価するものの、この 4 年間の山中市政を象徴するかのような内容。
No138	水辺の商業施設・公園は既に飽和状態であり、不要と考えます。集客・宿泊を含めた観光客単価を上げるには、テーマパークが理想的なのではないでしょうか？
No139	前市長の元、IR 誘致が計画されていましたが、現市長になり計画が白紙に戻りその後のどの様な計画になるかによって、山下埠頭周辺のあり方が変わると考えます。
No140	ひとくちに将来像と言われてもピンときません。カジノが実現しなかった今どうなさるつもりなんでしょうか？横浜は良い街ですが観光地としては中途半端です。外国人含めてみなさんが訪れたいと思う強いコンセプトが必要ですし市民のコンセンサスとサポートも必要です。独りよがり的に決めないでください。これ以上ガッカリさせな

	いで！
No141	何がしたいかわからない緑なんて関係ないのでは
No142	一つ一つの項目にはいいことが書いてあると思いますが、伝えたいことが伝わりにくい・分かりにくいレイアウトで、結果的には将来像に魅力を感じることができないという印象を抱きました。
No143	デスティネーション、シビックプライド・・・分かりにくいのではないでしょうか？言葉の「意味」を伝えようという意思が感じられず、言葉だけが独り歩きしている感じで、正直、独りよがりな印象が強く、誰に向かって伝えようとしているのかが不明です。
No144	山下ふ頭からベイブリッジまで海底トンネルを掘って、繋げてほしい
No145	何もかもがボヤっとしていて、分かりにくいそもそもあれだけ人を呼べていたガンダムを撤去する意味が分からない。こんなウジウジ考える時間が長いならずっとガンダム置いておけば良かったのに
No146	現在十分に活用されていないと思う。広大な土地であり、有効活用してもらいたい。
No147	観光客と市民の憩いの場は別になってほしいです
No148	言葉遊びのような表現が多く、まったく全貌が目に浮かんできません。現時点でも、臨海パーク／レンガ倉庫／山下公園は個別に存在しており、これに山下埠頭を加えて一貫性を持たせたいとしているが、もっとはっきりとしたコンセプトが欲しい。
No149	建前はよいが、投資対効果がどうなるかが見えない。どの程度の予算規模かどの程度の収益（経済効果）が見込まれるのか？本牧地区と同様に計画倒れにならないのか？あたらしい取り組みに手を付けるのではなく、ひとつづつ確実に成果を上げて欲しい。
No150	抽象的でわかりにくいです。
No151	各項目の内容は当たり前のことであり、かつ抽象的な表現にとどまっている。具体性がないので、実際の施設（サービス等を含む）等が検討された際、どうとでも関連づけられる内容としたのだな、と判断する。横浜市として実施したいことが特にあるわけではないことが理解できた。
No152	具体策が示されていないので、よく分からない。
No153	箱モノは作らないでください。テーマに逆行する施策ですし、レガシーとして活用できないことがオリンピックだけでなく様々な博覧会等で明白になっています。維持費や修繕費のコスト、最終的には解体など税金を活用できない負の遺産になることが証明されていますので。その上で、市全域、特にテーマ的には横浜の「緑」へのアクセス手段の充実が必要になります。「緑」へのアクセスを増やす場合には、オーバーツーリズムを含めた地域環境への負荷をどのように回避・軽減するかが重要です。「緑」というテーマを壊さないための施策の充実を期待します。
No154	具体的な中味のことではないのですが「旅のディスティネーション」という表現が分かりづらい。無理して英語にしなくても良いのではないでしょうか。
No155	投資額に見合う効果を検証し、その結果を出したうえで実施の可否を決めてほしい。
No156	あまり身近ではないのでよくわからない。

No157	当初からあれもこれもと盛り込みすぎることで、逆にどれも中途半端に終わりそうな気がする。主なテーマ１つに絞ることによって、はっきりと目標が定まる。そうなればそこに付随した、いろいろなことをテーマに沿って検討することが出来るのではないだろうか。
No158	将来像を読んでもあまりピンとくる感じがしない
No159	上記と同じ
No160	多くの視点で検討されておりますので、背反する点もあるかと思います。１００点を狙わなくても８０点で計画を時間を遅れることなく進めていただけばと思います。想像以上に技術の進歩は早いと思います。
No161	テーマ２の、持続可能なまちを支える明日へのイノベーション、の中で、「脱炭素都市」と明言していますが、地球温暖化の原因は正式には不明とされていると思われます。多分、オールドメデイアの偏向報道のたまもので、これらの誤った方向を国として取り入れてしまい、ユーザーの気持ちや懐や EV の持つ欠点を無視した EU や米国や我が国は、ガソリン車を廃止し EV 一本に変えていく、などという、とんでもない考え方を大々的に打ち出したおかげで、世界各国の自動車メーカー（横浜市に本社のある日産もその一つでしょう！）は、現在、売れない EV の在庫と莫大な借金を背負い、倒産の憂き目にあっている状況だと思います。行政が、さしたる根拠なく、民間を巻き込む見切り発車的な方向性は盛り込むべきではないと考えます。ですので、私は、持続可能な社会を維持するためには、イノベーションは是非とも必要と思いますが、この「脱炭素」という具体的すぎる危うい文言は削り、抽象的な文言を使うべきではと思います。
No162	「箱物行政の見本」となる事の無いように願います。できる限り財政支出を抑える必要が有ります。
No163	何をしたいのかさっぱりわからない。緑と水辺なら山下埠頭の必要性はない。これまでの議事録も見たが、結局何もアイディアがないから都市部の公園になっている感が否めないし、人工的な埋め立て埠頭に緑の空間とか水と緑とか、臨港パークとなにが違うのかわからないし、臨港パークとの差別化も語られていない。キーとなる集客がなければ、だれもあんな不便なところに行く訳がないと思う。緑ならば、根岸森林公園の歴史的遺産である競馬場跡の再整備と合わせての公園再開発をした方が横浜らしい。結局、市長はノーアイディアでＩＲさえ反対すれば未来は安泰と思っていたとしか思えません。大阪市の方が発展するシナリオを描いている。馬鹿げていると思います。
No164	横浜港ランキングが低下している現状を鑑み、ハブ貿易港としてのいちづけを明確にし、学者、市民代表、企業、利害関係者とうで構成するワーキンググループを立ち上げ、世界一を目指す貿易港の将来像をさくせい、パブリックコメントとと言ったことではなく、市長自ら市民にビジョンを示し、侃々諤々の意見交換するすべきである。
No165	海と緑は良いが、世界に誇るとは何か？市民が満足できるものであれば、別に世界に誇る必要はない。むしろ観光資源にしようなど、あざとい考えは、本来の目的を逸脱し、軽薄なものとなってしまうのが懸念される。

No166	ふんわりした将来像で具体的にどうしたいのか全くわからない。これで一体誰に何を伝えているんでしょうか？
No167	世界から選ばれるとは具体的にどのようなものか例がほしい。
No168	古き横浜を残すのが山下公園に隣接する山下地区のあるべき姿。近代的なものはみなとみらい地区でやってほしい。
No169	夢が現実となる町づくり
No170	将来像の案がぼんやりし過ぎているし、なぜ日本語で誰でもわかる表現で提示出来ないのか疑問です。
No171	「旅のデスティネーション」「明日へのイノベーション」「市民一人ひとりのシビックプライド」など、分かる人には分かるだろうが、分からない人間には何を言っているのか分からない。
No172	魅力的な横浜に。
No173	住みやすい横浜。
No174	将来像のイメージは理解できました。
No175	青葉区民にとっては馴染みが薄い
No176	横浜らしい素敵なふ頭にしてほしい
No177	資料がざっくりし過ぎて意見の出しようがない
No178	維持管理費が最小になること。税金ですよ。
No179	山下埠頭は今のままでよい。何をどうしたいのか誰も言えないと思う。あるがまま。
No180	魅力ある不当にしてもらいたい
No181	今まで埠頭に立ち入ることがなかったので、そこで何かをするというイメージがわかない。
No182	将来像そのものが具体的ではなく、ぼんやりとしている。本当にいったい何をし、何をやるべきか。
No183	此からの日本を、或いは市の将来を楽観的には見られない。従って初期投資は元よりその後の維持管理を含めた、其れこそ年金制度の真剣な見直しにでもリンクして考えて貰いたい。何で令和７年頃の人はこんな計画を立てたのかなと馬鹿にされない様に、市としては強靱な社会基盤を考えた方が魅力ある街として評価される方が良い。
No184	テーマが三つもあると、リソースが分散することになり、結局どれも中途半端になることを懸念。特に、他のテーマが成功すればいいからと、自分のテーマに全力を出さない可能性があるので、テーマごとに競争させる(信賞必罰)ぐらいはやらないと、複数のテーマを決めるのは悪手だと思う。テーマを一つに絞って、あり得ないぐらい徹底的にやらないと、何も残らないと思う。
No185	前市長の時代から市民の意向もはっきり聴取する機会も最小限にして何やら再開発を計画されておられるようですが、せっかくの機会ですから、「オール横浜」でベスト立案を建てようではありませんか！私はカジノなぞトンでもハップンです。皆で考えましょう、私も参加したいです！
No186	上記の通りです。

No187	上記のとおりです。
No188	先ず、説明ビデオを見たが、心地良いような批判されない言葉を並べているだけ（具体化すれば相反する言葉さえあり）で、どういうものを描いているか全くわからなかった。種々の意見を検討した結果がこれということは、何の構想もないか、あるいは既定路線？に落ち着かせようということだろうか。将来像の図でも「まち」という言葉が並んでいるが、どんな「まち」の姿を描いているのか、「まち」である必要があるのか疑問。「にぎわいの創出」というのは結局のところ商業施設とホテルというみなとみらいエリアを引っ張ってくることだろうか。むしろにぎわいから離れてほっとできる自然な空間が貴重ではないだろうか。今日本人はオーバーツーリズムにうんざりしている。雇用創出というが世の中は労働力不足で困っている。
No189	先ず念頭に浮かぶのは、この地の利用者層はどのような方々を想定されているのかです。ここは、足の便があまりよくないと理解していますが、一般横浜市民、就中、高齢者にもアクセスは可能な場所になるのでしょうか？横浜市主催の山下ふ頭に関する意見交換会に、昨年１月にあざみ野で開催された会合に参加しましたが、その際には、企業や学術関係の誘致も議題にあったことを記憶しています。壮大な理想を掲げることは大事ですが、所謂、箱物的な発想で、長期持続性に問題がある方向性だけには、ご注意していただきたいと考えます。
No190	lR には反対
No191	１は緑と海辺とある。安全に人々が集える器を専門家が設計すれば良い。玄人に任せるべき分野だ。２、３は概念なので、後付けで何とでもできる。素人が得意な分野だ。私どもは２，３だけに注力すれば良いと思う。
No192	特にありません。
No193	この図、理解が難しいと感じます。1.普通に日本語にしたほうが読む側が自分のこととしてピンとくるのでは、と感じました。デスティネーション→目的地シビックプライド→横浜市民としての誇りでいいのでは？カタカナを使ったらなんとなくかっこいい？という感覚がなんとも古臭く、肝心の企画はふんわりしたままカタカナ言葉で圧倒してしまおうという気配を感じます。（柔らかい言い方が思い付かずごめんなさい）2.一番上の「山下ふ頭の将来像」と下の「新たなまちの将来像」の違いは？3.下の青いエリア「『緑・海辺のまち』を支えるインフラ構築と空間整備」はテーマ１のために実施する内容、と捉えたらよいんでしょうか。緑エリアと青いエリアを分けてくっつけているのはどういう意味なのか？理解が難しいです。
No194	漠然としたビジョンはわかるしいづれも実現すれば良いと思うが、どのくらいの費用をかけるのか、その回収はどうするのか、維持のための費用と回収といった点がどこにも出てこない。一般企業なら一種の投資であるから資金調達、回収、費用対効果といったことが真っ先に俎上に上るはずだが、やっぱりお役所仕事かと言う感は否めない。オリンピックや万博と同じくまずやることを決めて後からどんどん予算が追加になるというのは是非辞めて欲しい。
No195	具体例があまりないため、ぼんやりとしたイメージしかわかない。
No196	抽象的すぎる

No197	鉄道を敷いてほしい
No198	ベイスターズのドーム球場をつくる。地下鉄を延長する。
No199	前に記入と同じ
No200	ない
No201	具体的にどう変わるのかがよくわかりませんでした。
No202	文章では実りある内容となっているが、以前問題となったカジノ構想等が否定されていないのが気になります。
No203	山下ふ頭の将来像を見たが、何を言いたいのか、何を目指しているのかがさっぱりわからない。「シビックプライド」とはなんですか。もっと誰でもわかる表現にできないものですかね。
No204	みなとみらいに象徴されるビルだらけの街並は、どこの都市でも見られるので、山下公園と中華街、横浜スタジアム、元町、山手周辺は、以前のような落ち着いた、良い意味でどこかひなびた感じの港町を取り戻して欲しい。理想を言うならば、あぶない刑事が走り回れそうな街並みです。そういう雰囲気を山下ふ頭の再開発を中心に、取り戻して欲しいです。
No205	横浜のイメージ：我が頭にあります「山下ふ頭」は横浜市のイメージのひとつ・・横浜市→横浜港→山下ふ頭！
No206	文字の羅列ばかりで何を訴求したいのかわかりません。又、中核にあり「・・・環」は何と読ませたいのでしょうか？ひらがなにするとかの工夫が必要に思います。
No207	抽象的な言葉で将来像（テーマ）を語っても、少しも心に響かないし、興味もわかない。書かれていることの何が世界に誇れるプロジェクトなのか？
No208	山下公園は分かるけれど、山下埠頭がどこら辺かよく知らないです。以前の市長選挙でカジノを造るとか話題になっていた地域かな?土地が余っていて活用したい企業があるなら、有効に使ってもらえる会社に託せばいいと思います。
No209	将来像が曖昧な言葉が多く、どんなイメージなのか沸かきませんでした。具体例などを知りたいです。
No210	IR や MICE などは、みなとみらい地区でも実現は出来ていると思います。無かったのは、カジノだと思います。これが実現出来なかった事は残念に思います。しかし、山下地区は、みなとみらい地区と棲み分けするならば、落ち着いた歴史のある地区と思います。よってこれらを活かした開発が必要と考えます。
No211	むーんとても難しいですが 10 年 20 年先それ以上を考えますと先ず人口減少社会と此の異常気象がどの程度進んで行くかによりスケジュールが変化すると思う次第です人口減少と働いて社会に貢献したいと思う人の減少を今でも少なく感じる昨今です
No212	テーマ１、２、３の上位概念の目標は何ですか？テーマ１の「魅せる緑と水辺」を全体の目標に掲げてはどうか？
No213	想定イメージとして経済の右肩上がり、人口の増加が前提となっている。今後、人口減少とそれに伴う経済活動の維持をどのように図っていくべきかを真摯に検討しなければならない。前向き、積極策というのは聞こえは良いが絵に描いた餅にならない、

	堅実な将来像も考えていかなければならいと思慮する。
No214	これがどう税収になり、市民へどう還元されるんｐかイメージがわかない。
No215	横文字を強調していてわかりづらいです。
No216	現状の感想・課題の整理が先だと思う
No217	動画を拝見しました。内容はわかりやすくて良いと思います。ただし、インクルーシブ、シビックプライド、レジリエンスなど日常会話では使用しない（使用している方もおられるかももしれませんが）言葉を聞くと「かっこをつけすぎ」です。70 代や 80 代の方でもわかるような説明にしてください。
No218	市民が利用しやすい場所になっていくのか気になるから
No219	物流の拠点、処理施設等を金沢区に集積していることに不満です。これを通すなら、それに見合う緑の拡張、道路の整備を図るべき。
No220	コンセプトだけでなく具体的に何を実施するのかを示して欲しい。
No221	「将来像」という通り、内容がよく理解できず、広義で、あまりイメージができませんでした。
No222	港湾都市横浜の思いはわかったが、これだけの開発に多額のお金を投じるのはいかがなものか？
No223	悠々とのびのびと、こせこせしないでおおらかに、横浜の唯我独尊を。
No224	将来の山下ふ頭がよくわからないです。
No225	何を伝えたいかが全くわからない文章
No226	よくある用語の組み合わせ、ワンフレーズが長くて頭に入ってこない。。。（レイアウトが淡いこともあるのかもしれない）
No227	立地問題
No228	漠然としてよく分からない。
No229	今の景観が好きなので変わらないといい。
No230	将来に関する具体的な想定が知りたい
No231	とてもざっくりした内容なので何とも言えません。
No232	言葉だけで分かりにくい
No233	これからの横浜の発展に寄与に期待します
No234	横浜の発展
No235	横浜市に寄与する企業、団体が、市民のために考え、実施して欲しい。
No236	清潔感が長く維持できるような仕組みがあると良いかもしれない。とにかく古くなると汚くなってすぐに陳腐化してしまうから。
No237	「世界に誇れる」という表現が、マウントを取りたい、自慢したい、という感じで嫌な心地がします。横浜に移り住んで 30 年になりますが、何かというと「発祥の地」「日本初」と言いたがるのが横浜人の悪い癖だと思います。他と比較したり、インバウンドを期待したりするのではなく、地道に住みやすい場所、安心できる場所であるような施策を期待したいです。
No238	当面、整備不要です。

No239	港湾関係に全く興味がなく取り組みには優先度下げて欲しい
No240	意味不明な「シビックプライド」などの横文字もあって、全体に何が言いたいのかさっぱりわからない。ちゃんとした日本語で書いて欲しい。
No241	何をするのか、イメージがつかない。具体性がない
No242	山下埠頭の魅力は何か
No243	どのように変わるのか想像がつかない
No244	再開発する必要性を感じない。再開発してもどこも似た様な感じがするので、再開発するお金を他の経済、社会福祉に回してほしい
No245	ネットニュースで知り、私も企画をと移行したいのですが横浜市の住民だけなのですか？ では参考意見 横浜スタジアム周辺は開港当時、関内よ関外と別れておりましたことを習いましたが、今の面影はJR関内駅が残っています。横浜の発展は横浜港開港やJR桜木町（旧）の発展からと思います。そこで、少し場所は異なりますが開港当時を残す為、オランダ、ポルトガル、イギリス、アメリカをメインにした異国の国（グルメ・ファッション・文化）の地は如何でしょうか？
No246	山下ふ頭は市有地です。みどり税を払っている市民の土地ですよ。 事業計画案わずか半年間で作成していくのは、いけません。 あやしいですよね。市民不在で、大企業優先で計画しようとしていますよね。 もっと時間をかけて市民の声を反映した事業計画案にして欲しい。 最後にやはり、カジノは止めて下さい
No247	スポーツ賭博特区など、賭博の施設にするのは止めて頂きたい。 ギャンブル依存症や、治安の悪化、さらなるコミュニティ、地縁の衰退を招き、やってる時は快楽は得られても、否認しているだけで、依存して、健康にも、治安にも、経済的にも、防災上も、百害あって一理無しだと思う。
No248	このパンフレットには、なぜ山下ふ頭の再開発が必要なのか述べられていません。横浜市は各自治体の中で市民税の負担が大きいと言われています。再開発に当たり私共の税負担が増えるのではないかと心配しています。再開発は企業や観光客にとっては有益かもしれませんが、市民にとっては魅力を感じません。事業化を進めることがあたかも決まっているかのような2ページ目の記載に疑問を覚えます。そのためには減税、無駄な歳出の削減、区役所窓口対応の改善を求めます。山中市政は市民の声に耳を傾けているのでしょうか？再開発の前に横浜市の予算を市長に分かりやすい形で公表していただきたいです。
No249	横浜市民の生活にうるおいを生むような開発を。 大企業■■でなく、市民の声を聞くこと。そのために「市民代表が入る事業計画検討委員会」を設置してください。
No250	緑のあるサーキット場作ってほしい（車は国産）子供から大人まで遊べる場（スケボーもここで）月に1〜2回は高齢者の運転技能場になり教える人と教わる人ができる。もしくわ免許取りたての人に技能の場としてマナーなども教える。

	場内も自然な物で安全に作られたもの（エコ、環境に応じて）騒音もおさえるボードや材料を企業から教えてもらう（世界から）（色んな乗りもの体験できるといい。船も）リハビリにも使える（体験なども）あるく、車イス（目、耳、体の不自由な方の気持ちがわかる体験とか） ※地球をこわさないで下さい
No251	介護施設付き高齢者向けの激安マンションをいっぱい作り、一般的買い物が出来る商店街、医療施設、散策、映画館、スポーツ観戦が出来る体育館、観劇ホール等、希望あふれる空間を作って下さい。
No252	新たな商業施設は不要に思います。それよりも将来の船舶の大型化、自動化に向け港湾機能の充実が必要と思います。 港：横浜の本来の型（形）にすべき。
No253	都市に寄り添う自然の再興 市民が.....多くの高齢者も集うことができ憩える館が在る建て物が望ましいです。若い方、多くの市民が使える国会図書館のような規模の大きな図書館ができること願っています。　息子や娘そして孫達も希望してます。
No254	”「再開発」が、今、本当に必要なのか”についてもっと多くの市民から声をきくことが大切ではないかと思う。 「再開発」の事業を行うための再開発になってはいけない。 従って、今は、市民が本当に必要なことにお金を使うべきだ。 カジノや軍事利用だけは市民は（私は）許しません！
No255	全体について、 山下ふ頭のすぐそばにノースドック（米軍基地）があることを忘れないで下さい。市民にきちんと伝え、有事に備え、何ができるかどう体制をととのえるのか、説明してください。 賑わい…カジノは撤退となりましたが、 ・市長はオンラインカジノを否定していないとの報道もあります。ごく一部の人の依存を増長するような空間作りには賛成できません。 ・子どもから大人も楽しめるスポーツ施設（ジム・プール etc）もあると市民の健康にも貢献できるのではないかと考えます。
No256	市民意見を聞くというのは良いが、何故、無作為抽出方式のみになったのか？いろんな方法を駆使して慎重に、また丁寧に行うべきだ。
No257	山下埠頭を空き地にして、あとは事業者を公募して、祖提案の中から選択してその民間事業者に再開発事業の建設・運営を丸投げしてやらせる方式は、絶対にやってほしくないです。 市民が再開発事業の運営とか経営に直接関わる体制を提示すべきです。或いは、再開発後の事業の経営のあり方を市民に問うべきではないでしょうか。 ゼネコン、デベロッパーに事業提案させることだけは考えないでいただきたいです。 その前に市民が参加する方法を是非考えて欲しいです。
No258	4 年前の市長選挙では「山下ふ頭」は IR カジノ誘致の是非が争点のひとつとなる主戦

	場でした。現市長の下でIRカジノは見送られましたが、横浜市としては総合的な振返りはしていないと思います。なにしろ、前市長の下で少子高齢化の流れの中、税収低減に対する唯一（他に方法はないという意味の）の解沢策はカジノ誘致しかないと言い切ったわけですから。この言い分に対する撤回表明は絶対に必要です。今の横浜市では、この先も財政難を理由にしたカジノ復活政策がないとはいえません。 社会的には国交省が管轄する IR カジノではなく経産省主導のスポーツベッティングが官民挙げて推進されるであろう潮流の中、横浜市は山下ふ頭再開発計画において、絶対に横浜を博打場にしないという強い意志表明が必要だと思います。
No259	市民の意見が十分に反映するように時間をかけて、検討していただきたい。形式的な「意見を聞く場」ではなく、この間意見や提案を発してきた団体や専門家の意見を広く公開して、オープンに市民の意見交換を行い、必要な検討をしていただきたいです。
No260	横浜らしさは、異文化をとり入れて、進歩してきた所だ。ドッグヤードガーデン、象の鼻公園、噴水広場は、北沢猛さんのデザインで、これらは、新しい所、古くは、外人墓地、中華街、山手の異人館など、歴史的な建造物を生かして、町づくりを行ってきた。市の歴史を生かしたまちづくり、都市デザイン室の方々は、歴史的建造物の保存・維持に、大きな力をつくしてきた。その経緯を生かして山下ふとうの町づくりも行ってほしい。すべてをこわしてしまうのではなく、ふなつき場、給水所、コンテナなどあった物を活用して、歴史（山下ふとうの）を後世に伝えてほしい。
No261	山本理顕さんが 2020 年あたりに発表した町屋構想が良いです。住んでいる人がいると、税収もあるし、コミュニティもできます。住宅の上の階に、あるいは、下の階に、老人ホーム、学校、保育所、会議場、ホテルなどをつくり、人々が町づくりに主体的にかかわり、住民自治が生かされ、外部の人たちとのかかわり方も工夫して生活できたら良いです。
No262	ふ頭のままにしてください
No263	MICE にはしないで下さい。全面、緑あふれる公園に。トイレ沢山。コンサートはナシ！！
No264	あそこは市有地です。市の、市民のための、広い広い公園にしてほしい。企業のために使わせないで欲しいです。
No265	事業化の段階でも、みなとみらい地区で継続的に取り組まれている様な情報媒体の発行等に関し、より多様なステークホールダーの直接的な参加の過程づくり、チャネルづくりも含めて取り組むことが必要だと考えている。また、事業化の段階でも、事業運営の評価・アセスメントという観点も含めて、参加参画の機会をより多様な形で設定していくことが求められる。
No266	山下公園につながる土地。市民の土地。SDGs にかなう、緑の公園にして下さい。一部ではなく、すべて、緑の公園に。
No267	（1）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保　人手不足が深刻と言われている現在、「全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バス」実現可能ですか。特に輸送業界で人員不足は深刻と認識しています。 人員不足で「全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バス」の運行

	が不可能な場合は、港湾局で責任を持ってバスの運転手を集めたり養成したりする覚悟があると言うことで間違いはありませんか。　普通免許取得後１年以上、19 歳以上で大型二種免許が取得出来るみたいです。港湾局職員が大型二種免許を取得して「全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バス」を行う覚悟があると言うことで間違いありませんね。
No268	（２）埠頭周辺の交通ネットワーク構築による利便性・回遊性の向上 人手不足が叫ばれている現在において、シャトルバスの運行の人員が集まりますか。 バス会社や横浜市営でも人員不足がニュースになって減便している状態だと認識しています。本当に人手不足のなかでシャトルバスの運行の人員が集まりますか。最終的には港湾局職員が二種免許を取得して責任を持ってシャトルバスの運行を行う覚悟があると言うことで間違いありませんね。
No269	利便性・回遊性向上につながる交通機能の強化、頻発する大規模災害等に備えたまちづくり　今にも沈みそうなお舟が多くある場所があると思います。頻発する大規模災害等に備えたまちづくりに反していると思います。今にも沈みそうなお舟は海上交通の障害になると思います。港湾局は今にも沈みそうなお舟も海上交通の障害にならないと思い、放置し続けているのですか。 今にも沈みそうなお舟を放置し続けていて問題がないから放置していると認識して間違いありませんか。
No270	沈みそうな船舶を、これからもいつでも放置しておくのですか。 景観を損ねていると思いませんか。 震災時に、船舶が沈んだら海上交通の支障になると思いませんか。 そもそも、沈みそうな船舶を放置しておいて何も対策をしないのは不作為責任はありませんか。 横浜港には沈みそうな船舶を放置しておいて問題がない場所ですか。横浜市が沈みそうな船舶を放置しておくことを認めているのですか。
No271	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No272	人不足が叫ばれている中で、山下ふ頭までの長距離バスの乗務員の人員確保は実現可能ですか。　万博などでもバスの運転手集めに苦労しているとニュースになっていたと認識しています。 路線バスの運転手も大量離職や人材獲得競争の激化で、予定人数が集まらないとニュースでなっていたと認識しています。　山下ふ頭までの長距離バスの乗務員は、路線バスの乗務員から引き抜きをするのですか。 路線バスの乗務員の人員不足が加速してしまうと思います。　どのように山下ふ頭までの長距離バスの乗務員を集めるのか具体的に実行可能な案を教えてください。何も考えずに計画した訳ではありませんよね。 具体的に実行可能な案を教えてください。
No273	人材不足が叫ばれている現在、どのようにして長距離バスの運転手を集めるのですか 特に運転手不足が深刻化していると思います 実現可能だと本当に思っているんですか 実現できると思っているなら具体的な方法を教えてください
No274	人材獲得競争が一層激化していることを認識して、ふ頭までの長距離バスを走らせることができると計画されたのですか。役所だから人材は黙っていてもいくらでも好きなだけ集まるから人材獲得競争が激化していることを知らないのですか。
No275	自治体と自治体内のバス会社が一緒になってバスの運転手を確保しようとしている位、深刻な人手不足なのに、長距離バスの運転手をどのように集めるのか具体的な取

	組を教えてください。集める取組をしたが集まりませんでしたとの言い訳は絶対にしないでください。　長距離バスの運転手の具体的に集め方を教えてください。
No276	19 ページ ・三方を海に囲まれた山下ふ頭の立地特性を生かし、客船や水上交通などといった船がある港の風景や魅力的な夜間景観の形成など、新たな発見や感動をもたらし、非日常感を体感できる空間を創出する。　沈みそうな船舶や沈んでいるように見える船舶が、あちらこちらに見られることが非日常感を体感できる空間ですか。 景観的にも災害時の海上交通的にも問題しかないと思います。
No277	体験・体感による行動変容や新たな交流を生む緑・海辺の創出について、既存の取り組みと重複する内容が含まれるように感じます。山下埠頭を使ってやるべきなのかは、よく検討して欲しいです。　例えば、横浜市は、こども自然公園、保土ヶ谷公園、ズーラシア、金沢動物園、野毛山動物園、プレイパーク活動など、既に自然と触れ合える市民のための施設や活動が充実していると感じます。
No278	どれを優先するのか、ということは明らかにすべきとは考えますが、ア～キは「選択」するテーマではなく、全て『再開発時に重要視、もしくは目指すべき』ことなのではないでしょうか。
No279	大きな緑を作っていくのは重要なことではあるものの莫大な費用が必要。開発に併せて事業者が全て整備するのも、市が全ての費用を拠出するのも現実的ではないと考える。官と民がそれぞれ役割分担をしながら整備を進めていく仕組みを検討していただきたい。
No280	ソーラス条約や沖堤防への渡船制限から、増加する釣り需要に対して釣りが可能な海辺が圧倒的に足りていないと考えられる現状なので、釣りが可能な海辺を増やしていただきたい。設備や環境が問題となるのであれば有料施設化を検討してもよいかと思います。
No281	ただ緑化すればいいということではないと思う。TNFD などの潮流を正しく取り込み、コンサル等のいいなりではなく、行政が主体となり本質的な取り組みを強く望む。水辺もあるものをそのままにする以上が読み取れない。きちんと課題を示し、どう改善したいのかを述べてほしい。
No282	①交通機能、②防災、③都市景観、を目的としていることは分かりましたが、それぞれ何を建設しようとしているのか提示してください。具体的なイメージがないと判断しようがありません。
No283	現状の問題点には何があって、それに対してどのようにアプローチしていくのかというストーリーが語られない。 そのため、書かれていることは大変美しいが、「世界に誇れる空間」などという言葉は、空々しく聞こえる。 莫大な費用を投下するプロジェクトであるから、絵空事ではない、地に足をつけた計画を策定して欲しい。
No284	往時の世界に誇る物流の拠点を支えた山下埠頭、その土地の履歴や海に飛び出た立地を考えると、どうしても「緑」は不自然に思えます。 技術的にできることはもちろんわかりますが、不自然な緑には維持管理コストも通常より余計にかかりませんか。 緑と水で憩うのは近接の山下公園に任せて、住み分けてほしいです。 景観的にも埠頭に緑は違和感しかありません。(それが狙いなんでしょうか？)

No285	１、「基本的な方向性」には、２つの大きな問題点がある。第一の問題点は一握りのデベロッパー、金融資本の短期的な金儲けのための「賑わい拠点」が目指されている点だ。　イ、「テーマ１世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」は、山下ふ頭再開　発の最も大きな軸と位置づけており、他のテーマを包含する関係性となっています」と市民受けしそうなキャッチフレーズを打ち出しているが、よく読めば「テーマ３活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい」こそが核心部分であることが分かる。山下ふ頭を「世界から選ばれる旅の目的地」とするため、「幅広いニーズに応え、何度でも訪れたくなるような、ここでしか味わえない世界最高水準のコンテンツや施設等が広がる賑わい拠点を形成する」と具体的に記載されている。危惧を深めざるを得ないのは、２０１５年２月、カジノを導入するために策定された「横浜市都心臨海部再生マスタープラン」等を「関連計画」と位置づけ、「今後のまちづくりに向けては、これらの計画を踏まえながら検討を進めていきます」と明記している点だ。　市民がカジノ誘致に反対し、運動を展開して撤回に追い込んだ最大の理由は、「横浜らしさ」が失われるという危機感であった。その「横浜らしさ」が形成されたのは、米軍接収が解除された後、１９６３年に成立した飛鳥田市政下、田村明氏ら企画調整室が切り開いた６大事業と５０年を超える都市デザインという都市・まち・づくりであった。その２に続く
No286	その「横浜らしさ」が形成されたのは、米軍接収が解除された後、１９６３年に成立した飛鳥田市政下、田村明氏ら企画調整室が切り開いた６大事業と５０年を超える都市デザインという都市・まち・づくりであった。それは、国の内外でも高く評価され、市民も誇りとしているところである。「誰もが住みたくなる都市づくり」「市民による都市づくり」という理念を掲げ、「人間を中心に据える都市」をめざした。それを受け継いだ北沢猛氏らによって、２０１０年３月には、縮減社会、人口減社会の都市構想として「次なる５０年横浜は海都へ・・・都心臨海部・インナーハーバー整備構想」提言書が公表されていた。５つの理念を掲げた「新しい市民社会と持続的な環境を創る人間都市」をめざすものであった。こうした横浜市が市民と共に切り開いてきた先進的都市づくりの流れを断ち切り、棚上げして策定されたのが、ほかならぬ「都心臨海部再生マスタープラン」である。それは、２００２年の小泉政権による都市再生特別措置法、２０１３年の安倍政権による国家戦略特別区域法など異次元の都市再開発規制緩和の流れに追随、活用して、都心臨海部を一握りの巨大デベロッパー、金融資本の金儲けに供する都市づくりであった。以降、みなとみらい地区、関内地区にはタワーマンション、超高層ビルが林立し、景観は壊され、「横浜らしさ」は失われてきている。海からは、横浜３塔は同時に見えなくなっており、港の見える丘公園からも港が見えなくなるに違いない。さらに、すでにオーバーストア状況になっており、セントラル関内地区ではマイナスの影響が出ている。この上に、「基本的な方向性」で事業計画が進められることになれば、「東京大改造」流の大規模再開発の動きが横浜まで拡張され、都心部が一握りの巨大デベロッパー、金融資本の金儲けの場に化すのは必至である。　「理念」なき、短期的収益第一の大規模再開発の行き着くところは、市民が誇りとする「横浜らしさ」が壊され、地域経済も疲弊し、持続不可能な都市になら

	ざるを得ない。よって、「基本的な方向性」には反対である。　ロ、市民生活第一の「もう一つの方向性」を提案する　その３につづく
No287	緑と事業性の調和を図るために事業者ヒアリングは慎重に行うべき
No288	今の開発のトレンドが緑なのかもしれないが、それはあくまで現在のトレンドでしかなく、将来は廃れて可能性もある。本当に必要があるのかについては再度検討が必要ではないか。
No289	緑は事業者の参入障壁になるとおもうので、慎重に考えるべき
No290	「緑」や「海辺」をいくら謳ったところで人は集まらないし、ディズニーやUSJといったブランドに頼らない限り持続性も一切ない。
No291	里山を作るのが良いと思います。
No292	焦らず、まずは「美しい緑と海辺空間」の整備に専念していただきたいと強く希望いたします。市民が誇りを持ち、後世に残せる山下ふ頭の再開発となることを、切に願います。
No293	沈みそうな船が多くあると感じています。横浜市は何も対策をする責任は無いのですか。 何か対策をする責任があるとしたら所管は何処になりますか。　海辺に関しても悪化していると感じます。
No294	沈みそうな船が多くあると思っていますが、対応できないのか対応しないのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。今まで実現しなかった実現できなかったことを、どの様に実現するのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。それとも今後とも対応しないのか教えてください。沈みそうな船があることは山下ふ頭再開発に反している状態だと思いますが、どの様に考えているのか具体的に明確に教えてください。 沈みそうな船があることは港湾局として問題はないと認識しているのですか、誤魔化さずに明確に教えてください。
No295	今日本各地では山や自然環境を壊しながら、利権に塗れたメガソーラーパネルの設置等、とても観るに耐えない景観が日本各地に広がっています。それらはいずれは有害物質を含んだ産業廃棄物として処理をされるのか?そのまま放置なのか?、山下埠頭の再開発には緑豊かで訪れた人々がのんびり緑を愛でながら、血の通うと感じられるような交流や各種イベント等、癒される場所として生まれ変わって欲しいです。インバウンドによる過度な国外の旅行者によって、各観光地は大変な状況にもなっています。日本国民がストレスなく集える場所であって欲しい。 これは差別ではなく区別です。ここは日本なのだから。
No296	法的拘束力のない方向性を示すと、今まで行えなかったことができるようになるのですか。沈みそうな船が多く見られますが法的拘束力のない方向性を示して対策が可能になるのなら、何故今まで対策しなかったのですか。 沈みそうな船が雨や風で沈みそうですが今までも対策を行うことが必要だったのではありませんか。対策しなかった責任は誰にあるのですか。
No297	老朽化した横浜スタジアムの移転先として、山下埠頭を活用して頂きたい。（活用例）現在の横浜公園より敷地を多く確保出来る利点を活かし、駐車場の確保や首都高との接続などの交通アクセス整備を行った上で、野球の試合観戦以外の楽しみ方（バーベ

	キューエリアなど）も出来るボールパークを整備する。ただし、インフラ整備に相当なコストが必要なため、起債も含め、財政負担の必要性を我々市民全体で共有し推進していくことが課題と思っています。
No298	一番大事なテーマを緑と海辺にしている理由が全くわからない。パーパスを前面に出さなければ、市民としては協力しようがないです。
No299	余計な箱モノは要らないです。
No300	海の青と森の緑が画像とともに目に入りやすいから
No301	カラー分けされていて
No302	別に大きな問題はないと思うが両項目通して内容が抽象的過ぎて良いことしか書いておらずアンケートを取ってどうするのか、意義を感じない。後からのプランでどうとでも意見が変わりうる内容であり、このアンケートを持って市民の意見を聞きました、とされても困ると感じるのでここで終わりでなく継続的に意見を取り入れて欲しい
No303	「旅のディスティネーション」の意味が漠然としており、具体的なイメージを持ちにくく感じます。「魅せる」も狙い過ぎており、こちらも雰囲気だけで恥ずかしさを感じました。
No304	お金がかからない方法を考えてほしい。
No305	緑だけなんてありえない。花火大会の時のための広場になるの？
No306	現状のままでよいと考える
No307	テーマ１の「世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間」というお題目の意味が分からない。テーマ２、３を包含しているが、そのゴールは何？というのが全く分からない。魅力的な空間にして人の往来を盛んにしてどうするのか？「収益を上げる仕組みを精緻に作り、横浜市の財政改善に貢献する」という目的を明確に書くべき。観念ばかりが先行して計画を作ると、具体化する段階で事業者同士の実利のぶつかり合いが始まるのは目に見えている。足の引っ張り合い、談合が当たり前になって、各事業者が自分のところが如何に儲けるか、しか考えなくなる。
No308	悠々とのびのびと、こせこせしないでおおらかに、横浜の唯我独尊を。
No309	新規開発よりも癒しの環境重視で。
No310	現在の姿は、歴史からの姿です、またまた再開発ですか？と感じています!
No311	余計な建物はいらない！　広い草原・木々のある空間。商業施設はみなとみらいや赤レンガ倉庫で十分。施設が必要なら船をおく！
No312	横浜市は東京に次ぐ第二の大都市です。 これ以上の再開発は要りません。子供達は海のある横浜に住んでいながら、海という自然にふれることはありません。今私たちに求められているのは自然へのふれあい、自然を取戻すことではないでしょうか。
No313	物は、もういらないですね。そういうのよりも　横浜は山、坂が多いので平らな、憩いの場を一番望みます。ぜひ、やって下さい。
No314	自然の海岸線ができるだけ残るような開発を希望する。 インバウンドを拡大するための、箱物の建設はできるだけ押え、残っている自然の景

	観を活かすことが重要と考える。
No315	絶対にビジネス優先は。やめてほしい！
No316	商業施設やテーマパークではなく、市民が思い思いにお金を使わずに楽しめる、いこいの場にしてほしい。緑が豊かで、海辺も楽しめる場所に。
No317	海を見ながら一生終わりたいので老人ホームがいいなあ～。
No318	三ツ沢公園に建設計画の新球技場こそが、山下ふ頭の新イノベーションに最もふさわしい施設だと思います。 ・グリーン技術の実装 ・新たな交通結束点（船、陸上交通、空）に世界からのお客を呼べる（ワールドカップ開催可能な）施設はここに最適 →国内外の多くの人々を引き付け呼び込める ・「三ツ沢公園に建設計画の新球技場」計画は、既存の「運動競技場、他」を壊して作る計画に対して、埠頭に新設すると →破壊することなく、既存の緑・自然も生かしたウィン・ウィン
No319	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No320	スタートアップ企業とかメガベンチャー企業とか言われる急成長する企業で特に成功してる企業は、圧倒的にアメリカ、中国に多い。その要因は何か。 一方、我が国ではそういったイノベーティブな成果が出にくいなにかがあるのではないか。そのあたりを専門的かつ分析的に考えてる専門家のアドバイスを踏まえて戦略を構築すべきである。 素人がワイワイいうレベルの話ではない。 さもなければお題目を並べただけに終わるだろう。 頑張ってください。
No321	どれを優先するのか、ということは明らかにすべきとは考えますが、ア～キは「選択」するテーマではなく、全て『再開発時に重要視、もしくは目指すべき』ことなのではないでしょうか。
No322	絶え間ないイノベーションは不要
No323	４、具体化に必要な条件 -1,本案は市大病院や市大医学部の現状と補完関係にあり、波及効果をもたらすこと -2,事業化には市民の協力と不退転の覚悟が必須 （例：市場調査費用のクラウドファンディング募集や人脈紹介募集など） -3, 先端再生医療のキーとなる先駆的リーダーとの関係強化と Involvement（京都大学 iPS 細胞研究所中山名誉教授や理化学研究所など） ここの人脈面でも市民の協力が不可欠です。以上
No324	財政改善を第一にしなければないないと考えます。 既存の観光、国際会議だけじゃなく、次世代産業パーク構想みたいな切り口が財政を改善するキーワードだと考えます。 1 AI 企業誘致 and AI パーク 内容 Google DeepMind や OpenAI のような AI 研究所 国内外のスタートアップを誘致 活用方法: 大規模データセンターやクラウドインフラ 冷却は海水利用でコスト削減 AI ロボット実証区 自動運転 ドローン配送 清掃ロボット実験 市民向け AI 体験施設 AI 美術館 生成 AI を使った観光ガイド メリット :雇用創出 横浜を未来都市として国際発信. 2 暗号資産 Web3 パーク 内容 ブロックチェーン研究拠点 スタートアップインキュベーション施設 活用方法: NFT 美術館やブロックチェーン記録型ライブハウスなど体験施設: 金融庁と連携して規制サンドボックスを導入 国内外の Web3 企業誘致 メリット: シンガポールや香港に流れている Web3 マネーを呼び戻せる 3 港湾型エンタメカジノ 市の方針次第 IR

	は撤回されましたが、もし将来規制が変われば再考の余地ありにした方が良い。 限定的に導入するだけで、市財政には爆発的な収益をもたらす可能性がある。
No325	失敗を直視せず責任から回避する市長と無難な対応を是とする企業文化をもつ横浜市役所には イノベーションを創造しやすい環境をつくるのはムリだと思います。 耳障りの良いコンサルティング会社に騙されて 多額の税金をつぎ込むことになると予想されるのであきらめてください。
No326	みなとみらい地区に先端産業を誘致，クラスター化するのであれば，産官学連携機能も併せ、そちらへ集約すべき。 山下ふ頭の敷地は４７ヘクタールという限られたリソースゆえ、その場の魅力を最大限に活かし、且つ、山下ふ頭でなければならない機能（e.g. 元々備わっている港湾物流機能を多目的に活かす施設、山下ふ頭ならではの景観を活かす市民のための憩いの施設など）に限定すべきであると考える。
No327	・イノベーションは、人が自発的に行うもので、与えられた人工物で箱庭のように行うようなものではありません。そんなチンケなものはすぐに飽きられます。イノベーションなど目指さなくていいです。もしイノベーションがあるとすれば、人が自らの思考を深め直感を得られるような自然の中でこそ、起こるものと考えます。人が癒され、人がなごみ、人が心地よくゆっくり休める、自然を生かした公園にしてください。
No328	その他の項目と若干異質に感じ、このテーマにより山下ふ頭の再開発が観光資源とするためのものなのか、そうでないのかの論点がぶれるように感じました。
No329	新しい技術の空間(街)作りをイメージします。
No330	山下ふ頭の再開発が、持続可能性なイノベーションや多様性に貢献するとは思えません。
No331	イノベーション施設は津波の心配のない内陸部のほうがよいと思う。
No332	多様な人材・技術の交流をどの様に実現するのか気になる。
No333	脱炭素及びエネルギーの地産地消のために、最新の小型原発を地中に実装する。反対の声が多いとは思うが、横浜市には首都圏での小型原発実装の先鞭をつけてほしい。活動中の電力は、そのまま使用してもよいし水素生成用の電源としてもよい。活動を終えた小型原発は、そのまま地中に埋めたままにし、将来、処分方法が確立するまで保管する。
No334	投資額に見合う効果を検証し、その結果を出したうえで実施の可否を決めてほしい。
No335	これからどのように開発されるのか心配であり、気になっております。
No336	ありきたりなことしか書いてなくて今もあるような似たようなものが出来上がることに意味があるのか。
No337	イノベーションと掲げがちですが、おそらく具体のイメージはまだないでしょうし、ふ頭に整備する「魅せる緑と水辺」空間には、用途も来街者も親和性はないと思う。
No338	具体性に欠けており、全くイメージが湧きません。
No339	イノベーションの前に、今、何が課題なのかを明確にすべきでは？ただ闇雲にイノベーションでは、「ニーズはなくても技術的に可能」のようなモノに無駄な投資をされそうで不安。

No340	具体的などのようなことを行い、市民にとってどのようなメリットとデメリットが考えられるか具体的に知りたい。
No341	持続可能は付加的価値で良いと思います。それを必須とするとイノベーションを阻害するので、メインタイトルからは外した方が良いと思います。
No342	・高層ビル・光の街等は、不要　・横浜の緑・脱炭素技術等に役立つ環境施設を希望　・ルートの開発　海の魅力（水族館）⇔山下公園⇔港の見える公園
No343	沈みそうな船舶を、これからもいつでも放置しておくのですか。 景観を損ねていると思いませんか。 震災時に、船舶が沈んだら海上交通の支障になると思いませんか。 そもそも、沈みそうな船舶を放置しておいて何も対策をしないのは不作為責任はありませんか。 横浜港には沈みそうな船舶を放置しておいて問題がない場所ですか。横浜市が沈みそうな船舶を放置しておくことを認めているのですか。
No344	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No345	Ｐ２８ 訪れる誰もが安心して滞在し、世界最高水準のコンテンツを楽しめるよう、ユニバーサルデザインなど多様な視点を取り入れたインクルーシブな空間を形成する。訪れる誰もが安心して滞在しの具体的な取組が明記されていません。他力本願で、計画をした港湾局では何もしないのですか。 何も具体的な取組はしないが、聞こえのよい言葉を並べているだけですか。 具体的な取組を責任をもって記載してください。
No346	横浜 F・マリノスのサッカー専用スタジアムを核とした活気あふれる街づくりを推進すべき
No347	広大な敷地ですから、市の中心部に近いところでオートバイや 4 輪自動車がレースができる本格的サーキットが出来れば面白いです。世界中から観客が来るような国際レースの会場になればすごいと思います。
No348	総合スポーツエリアとして整備し横浜ドーム球場、防災基地としても利用できるようにしたら良いと思います。
No349	１）横浜マラソンの公式レース認定を一刻も早く回復してください。このままではこの大会の未来はない。 このまま、他の地方マラソンと同等の市民マラソンで良いなどと、生ぬるいことを考えないでいただきたい。国際マラソンであることに意味があるのです。　２）文化と芸術の街では採算は合わないが、スポーツを取り入れられれば十分勝算あるはず。
No350	山下埠頭で 7/26 から 27 の二日間、夕方から夜にかけての時間帯に Mrs.green apple のライブが実施され、あたり一面に響き渡る重低音で日常生活に支障をきたすレベルの非常に不愉快な騒音に苦しめられました。調べてみれば、騒音公害と称して差し支えのない規模で音漏れが発生していたようです。今後の再開発において賑わいを創出するにしても、二度とこのようなイベントの実施はしないでほしいと思います。
No351	日本には数がない大規模国際会議場を中心とし、競馬場などの遊戯施設の設置を望みます。
No352	令和 7 年 7 月 26,27 日に山下ふ頭で開催された屋外ライブによる騒音で大変不快な思いをしました。 今回の一件で、大規模音響設備を有するような集客施設は既に K アリーナ等がある以上、山下ふ頭には不要と考えます。

No353	東京に負けない、魅力ある町づくりに期待します。
No354	みなとみらい線を根岸位まで伸ばして欲しい。アリーナと催事場は溢れてるのでスケートリンクとサッカー専用スタジオが欲しいです。
No355	ドーム型のベースボールパークを建設してください 灼熱の夏季､天候不順で雨によるイベント中止で どれだけの経済効果と賑わいが遺失したことか、 多目的型ベースボールパークは市民の願いです
No356	さすがに写真が気になる
No357	賑わいの核に､「新」横浜スタジアムを据えてほしいです。 福岡や千葉のスタジアムのイメージに近いかもしれません。埋立地で広々とスポーツを中心とした興行に使ってもらい、横浜の街を発信してほしいです。ドームなら、Mrs.Greenapple のようなこともないでしょう。 10 万人収容規模で、周辺の街と合わせて､「経済を回して」ほしいです。 ミナト施設をどかしてまで造るものなのだから､横浜市の財源となるもの以外は要りません。 また､今の横浜スタジアムは､横浜ベイスターズのおかげで最近は人が溢れています。正直、かなり手狭に感じますし、他のスタジアムが羨ましく思う時があります。オープンエアーで気持ちのいいスタジアムではあるんですが。横浜公園の緑で憩う人の邪魔になっているのは間違いないですし、ぜひ、山下埠頭に広々したスタジアム建設と周辺のまちづくりをお願いします。
No358	7 月に開催された Mrs. GREEN APPLE のライブでは諸問題あったかと思いますが、新しい試みとしては特徴的かつ人々の印象には残るようなイベントだったのではないでしょうか。ライブに参加できず、会場付近や現場の温度感を見ては無いのですが、テーマ 3 にある「活気」や「新たな賑わい」には大きく寄与したものだと思います。交通についてはみなとみらい線もあるので今後、どう活用されていくのか非常に楽しみです。
No359	通勤や生活で街中を歩いた感想ではありますが、今のままでも十分な賑わいがあると思います。賑わいについてはすでに確固たる地位を確立しているので、このテーマに新たな投資はせず他のテーマに予算を割り振った方が良いと思います。
No360	大手開発業者にお任せではなく、市民の声をきちんと反映したものにすべきです。少数の経済界の意見で決めるようなことは絶対にしないでください。
No361	山下ふ頭にサッカー専用スタジアムの建設を 山下ふ頭再開発の基本的な方向性に強く共感し、その実現に向けて、サッカー専用スタジアムの建設を提案いたします。横浜は F・マリノスをはじめとするサッカー文化が根付いた都市であり、国内外から多くのファンを惹きつける力を持っています。スタジアムは単なるスポーツ施設にとどまらず、地域の賑わい創出、観光振興、青少年育成、国際交流の拠点としても大きな役割を果たします。 まず､「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」という方向性に対しては、海辺の立地を活かした開放的なスタジアムデザインや、周辺に緑地や散策路を整備することで、景観との調和が図れます。スタジアムそのものが横浜の新たなランドマークとなり、訪れる人々に感動と誇りを与える空間となるでしょう。 次に､「持続可能なまちを支える明日へのイノベーション」という観点では、環境配慮型のスタジアム（再生可能エネルギーの活用、ゼロエミッション設計など）を導入する

	ことで、持続可能性の実現に貢献できます。また、スポーツを通じた健康促進や地域コミュニティの形成も、未来志向の都市づくりに資するものです。 さらに、「活気に満ちあふれ、周辺へと広がる新たな賑わい」という点では、スタジアムはイベント開催時に多くの人を集め、周辺の商業施設や観光資源と連携することで、経済波及効果が期待されます。特に山下公園や中華街、元町などとの回遊性を高めることで、横浜全体の魅力向上にもつながります。 これらの理由から、サッカー専用スタジアムの建設は、山下ふ頭再開発の基本的な方向性に合致し、横浜の未来にふさわしいプロジェクトであると確信しています。ぜひ前向きなご検討をお願いいたします。
No362	先日の 2 日間に渡るミセスの騒音､夜に家の前でのような大音量の重低音が鳴り続け､非常に迷惑でした。 しかも 2 日目の方がひどく､対策する気がなかったように思えます。 主催者側も市側も規定通りで想定外と責任逃れのような言い訳､更に腹が立ちました。このようなイベントが今後も開催されるのは大勢の平穏な生活が脅かされるものであり、到底看過できません。想定外が起こらないよう徹底できない限り、今後同様のイベントの開催はやめて頂きたいと思います。
No363	弓道場新設希望です。現在、横浜市内の各弓道場は老朽化に伴い修繕工事などで閉鎖をしているところがあります。日本での弓道人口は学生さんが一番多いかもしれませんが年齢層は幅広いです。海外ではヨーロッパなど多くの弓引きさんがいらっしゃいます。日本の窓口、横浜の港に日本伝統の和弓があるのは魅力的だと思います。近的と遠的を兼ね備えた文化施設を希望します。
No364	ライブハウスや野外ライブは要らない。
No365	以下の要件を備えた、体育施設を備え、広く一般に開放しては良いと思いますが、いかがでしょうか 1 市民の傷病予防・介護予防に向けて、未病を実現し、これからますます 膨れるであろう「医療・介護方面の予算を圧縮する事に資する、総合生涯体育施設。 ・市民が各種スポーツ､芸術･芸能を修め､個人 または同行会をして､それらの発表､及び 研鑽の場として競い合えるような施設 2 近隣の中大規模医療施設と連携し、日常生活上のリハビリテーション実施機能を持つ、総合体育施設 3 国際都市横浜にふさわしい。スポーツ・文化・芸術を発信しうるスポーツ・文化センター。 ・世界のアスリート やミュージシャンを招いて国際的なイベントを行う、競技・発表施設 4 市内に点在する既存のスポーツ施設等の集約機能を持ち、市内にまだ存在していない、たは少数しかなく、山下埠頭近辺及び、横浜中央部にはない、スポーツ・文化施設。 例えば、 ・近隣の掘割川・新山下運河を使用した漕艇コース ・山下ふ頭周りの水域を利用した､常設のトライアスロン･コース ・各種武道のうちの､土俵（相撲） ・アーチェリー場 10 的（富岡総合公園に準ずる：最長 90m)、兼・各種武道のうちの弓道場（ときわ台弓道場に準ずる：近的 5 立・遠的 2 立） ・国際競技規格に準じたプール（50m） ･国際競技規格に準じたバレーボール場･バスケットボール場･テニス場 ・演芸関係（話芸、能・狂言、舞踏） ・また、各種軽スポーツが行えるような「多目的

	グラウンド」の設置 ・各種パラスポーツも、ユニバーサル・スポーツとして取り扱い、誰でもできるようにする。 5 学生教育の一環として使用できる、正規の国際競技規格の各種競技場。 ・全周囲スタンド付きトラッグ・アンド・フィールド（三ツ沢競技場と同等） ・学校体育開放事業どの連携（一般体育館同等のスポーツができること） 6 体育関連指導者並にスポーツ活動運営要因養成講座等を行う機能を持つ。 ・各種スポーツ指導員育成カリキュラムの実施 ・各種パラスポーツ指導員育成カリキュラムの実施
No366	沈みそうな船が多くあると感じています。横浜市は何も対策をする責任は無いのですか。 何か対策をする責任があるとしたら所管は何処になりますか。 賑わいには沈みそうな船は邪魔ではありませんか
No367	賑わいにこだわるのは別に良いが、先日の爆音ライブによる騒音被害のような体たらくには二度としないこと。市内どころか川崎や東京の一部にまで被害があったようで恥さらしも良いところである。たとえ事業者が「騒音対策可能である」「問題が起こることはない」などという根拠のない主張をしても決して同様のことを繰り返させてはならない。そのような甘言に易易と騙された結果が前回の惨状ではないか。つまり、屋外のイベント会場の一切には強く反対する。毎週末騒音被害が広がるなどということになれば集団訴訟も現実味を帯びてくる。繰り返すが、そのような無様な恥さらしに二度とならないように、前回の失敗を深く反省して自らの不明を恥じ、節度を持った選択をするべきである。
No368	巨額の税金を投じた無理な再開発は、市民の負担を増やす恐れが非常に高く必要ないと考えます。
No369	「緑・海辺」と「イノベーション」と「賑わい」と、本来矛盾するはずの三点を平気で掲げているが、聞こえの良い「緑・海辺」から書いているが本来は市は大企業と結託して稼ぎたいのであり、それは市が稼ぐと言って、市の金で、それは本当は市民の金で、一私企業を稼がせるだけに終わり、市が、それも本当には市民が後で弊害を受けるのである。この三点を満たすのは、まさにカジノ構想時に掲げた、「緑」も適当に配置した「海辺」の自称「イノベーティブ」なリゾート型カジノ的なハコモノの「賑わい」だとしたいことが見え見えである。「再開発検討委員会」は「有識者」と言いながら大企業再開発側が不当に多い人選で、全く持続可能的な見識もない大企業の走狗のような人か、市の言いなりで市民側に立って述べる気概もない人ばかりであった。そんな「検討委員会」のお手盛りの答申に沿った、出来レースのようなまたぞろカジノ的テーマパーク型ハコモノ再開発で良いのか。大企業だけが一時だけ稼ぎ、周囲の商店街はさびれ、自称「イノベーティブ」というが内実は東京や大都市にあちこちあるようなハコモノが、市民の持続的な利益になるだろうか。森林公園にすれば、横浜という港湾都市で、「海辺」に大森林の公園がある驚きある「イノベーティブ」で、市民や、外国人も含めた多くの他地域の市民が憩え「賑わう」場となり、それは市民の鎮守の森として、防災対策にもなる持続的な空間となり、観光にも寄与し、横浜らしい場となるであろう。

No370	にぎわいに、かけ事は、やめてください。横浜市はｅスポーツを推進するようですが、賛成した覚えはありません。 交通機能の強化。市民がもつのでしょうか？
No371	「賑わい」と言うキーワードから連想するのは、「常設博覧会」「いつか飽きるテーマパーク」「どこにでもあるショッピングセンター」 各地で開催されている万博は本当に黒字になっているのか？テーマパークは次々と新しいイベントを提供する努力で集客している。各地の百貨店またはショッピングセンターも次々と閉店するとのニュースをよく聞く。　賑わなくても良いのではないか。儲けを出さなくてもいい。賑わいを目指すと、大型の施設、大きな資本投下がチラつく。そこに市民はどう参加できるのか？与えられたコンテンツに高額の料金を払って参加する、そこには従来型の遊ばせてもらう市民の姿を見る。 賑わいは目指さなくて良い。
No372	「賑わい」という曖昧な概念を開発の目的や考え方に据えることはやめるべきである。横浜市民と横浜市政への費用と便益の比率で、事業の当不当を判断しなければならない。 「賑わい」という曖昧な概念のために、時間、労力、費用を掛けることは、正当化されない。 開発の目的は、具体的な目標か明確な数値で特定されるべきである。
No373	J1 リーグ規格のサッカースタジアムを作って欲しい　新三ツ沢ができたとしても、市内各スタジアムでサッカー/ラグビーと理想とする芝が異なる競技が併用する状況は変わらないと思われる。山下埠頭に作ることで y.s.c.c.にテナントとした入ってもらい、(新三ツ沢は横浜 FC がはいり、)旧三ツ沢はラグビー専用にしてほしい。ファンの端くれとしてラグビーにとって理想的な芝の上で選手には試合をさせてあげたい。海沿いのスタジアムとして北九州市に先行事例がある。また地平にピッチを作るのが難しければ、フランスリーグの AS モナコのスタジアムが、まるでビルの屋上にスタジアムが乗っかっている感じで、参考になるのではないでしょうか。
No374	・人工物による賑わいは要りません。人を惹きつけるコンテンツなんて、人を馬鹿にし過ぎです。そんな陳腐なものはすぐに飽きられますし、廃れます。国内外から人が来ることを目指すなんて、金に目がくらみすぎです。 ・人が癒され、人がなごみ、人が心地よくゆっくり休める、自然を生かした公園にしてください。今は、そうした公園が稀有なものとなっています。希少価値のあるものほど需要があることを認識してください。
No375	全てに於いて在り来たり過ぎて発想が陳腐に感じる。Ｆ－１やフォーミュラＥを開催出来るサーキットを建設する位の発想が有っても良いのではないか？
No376	F1 や WTCR の様なモータースポーツの招致
No377	何をしたいのか、あまりに抽象的でよく解らない。安易なカジノの代替案は止めて欲しい。
No378	活性化
No379	観光資源
No380	カジノの招致には断固反対します。
No381	ビーコルセアーズのホームアリーナはこちらに作って下さい。国際プールを BUNTAI のようにしては、住環境が破壊されると思います。（今だって壊れつつあるのに）
No382	交通機関がバスしかない立地に、付近の道路渋滞を助長する誘客施設は不適だと思う。

No383	建物ではなく機能で特長を発揮してもらいたい。
No384	賑わいいらない。あと、予算を示して欲しい。「このくらいの予算で行います」「建設費、整備費が高騰したら、事業を見直して予算以内に収まるようにします」と明言確約して下さい。
No385	全く具体的なものがない。流行っている言葉を並べているのに過ぎない。並べているので、具体的な効果を具体的数値として出せないコスト、負担につての言及がない
No386	ドーム型総合スポーツ施設を建設して、横浜 DeNA ベイスターズのホームにして欲しい
No387	カジノはやめてください
No388	大阪万博のようにユスリカの大量発生が問題になるなど、「開発のその後」まで考えられているのか気になりました。
No389	どのような賑わいになるのか気になっております。
No390	具体的にどうする、がまだ決まっていない段階だろうと推察しますが、「賑わい」＝ショッピングセンターの建設、のような安易な結論にはならないことを祈るばかりです。
No391	実際に何ができると考えているのか聞いてみたい
No392	正直よくわからない
No393	テーマ 1 との違いが分からない
No394	4 年前にストップしたはずのカジノなのに今度はスポーツ賭博の提案を受付けたのはありえない。
No395	一部のうわさで、スポーツベッティングの誘致がとりざたされています。先の市長選挙でも一部の議員から、市が実施するかのデマが流れました。 市長は否定しているので、まさかとは思いますが、賭博まがいのものは絶対につくらないで下さい。カジノを止めた横浜市にそのような計画を導入することは反対です。 カジノまがいの事業計画をとり入れないことを強く要望するとともにそういうものはつくらないと再度明確にして下さい。
No396	全体について、 山下ふ頭のすぐそばにノースドック（米軍基地）があることを忘れないで下さい。市民にきちんと伝え、有事に備え、何ができるかどう体制をととのえるのか、説明してください。 賑わい…カジノは撤退となりましたが、 ・市長はオンラインカジノを否定していないとの報道もあります。ごく一部の人の依存を増長するような空間作りには賛成できません。 ・子どもから大人も楽しめるスポーツ施設（ジム・プール etc）もあると市民の健康にも貢献できるのではないかと考えます。
No397	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No398	（1）新たな交通結節点の形成による広域アクセス機能の確保 ・国内外から多くの人々を呼び込むため、全国主要都市、羽田空港、成田国際空港等と山下ふ頭を結ぶ長距離バスや水上交通等の導入により、市域における交通結節点の核の一つを形成する。

	（2）埠頭周辺の交通ネットワーク構築による利便性・回遊性の向上 ・来街者の回遊性向上により経済効果を波及させるため、周辺の商店街、観光・商業施設等とつながるシャトルバスの運行やパーソナルモビリティ、パーク＆ライドの導入等、ハード、ソフトの両面から多様な交通ネットワークの構築を図る。・周遊バス、水上交通など、横浜ならではの景色を眺めながら、誰もが移動自体を 楽しく感じられるようなモビリティの導入を図る。　深刻な人手不足で路線バスが減便されたのを知っていますか。深刻な人手不足の状況下で、どのように人を集めるのか具体的に明確に説明してください。 深刻な人手不足の状況下で、人手が集まると思った具体的な理由を明確に説明してください。
No399	テーマの中に平和と言う概念を入れて欲しい。言うまでもなく横浜国際都市であり、電話が確保されて、初めて経済も文化も発展するものである。
No400	◆13P にある市民の声は、2023 年のもののようです。これ以降の市民の声はどのようなものがあり、検討委員会に供された内容と検討状況についての横浜市の認識を公表してください。
No401	市民参画、と書いているが、実際にどのような形で参画するか、が明記されていない。参画とは、事業や計画に加わることであり、できあがったことに参加することではない。参画の形を明記するか、参画を削除するか、どちらかにしてほしい。
No402	経済効果を前提に考えないでください。
No403	もう少し具体的な例がないとイメージがわかない
No404	面倒と思わず、市民・町内会・老人会・ママパパグループ・子ども会、NPO、中高大専学生などに対して幅広く意見を聞く（またはアイデアを聞く）機会を数多く設けてください。その過程そのものが横浜の資産になります。新しい山下埠頭の姿にこれらの意見が反映される事を強く希望します。
No405	新たな街がどのようなものか気になっております。
No406	観光客用の場所という認識で、市民としては特に行きたいと思わない。
No407	コロナ禍以降、市内といえども遠出をする機会が減ってしまったので、山下埠頭の再開発に対する意見は特にありませんが、健全な横浜市を維持するために公序良俗を乱すような施設（カジノなど）の誘致は絶対にしないでください。
No408	「世界に誇れる、魅せる「緑と海辺』空間」は、山下ふ頭再開発の最も大きな軸「市民が結ぶ新たなまちの環」として、市民の皆様をはじめとする多様な主体が参画できるこのコンセプトで新たなまちの環に選出される地区とそうでない地区ではその後の生活の質において二分化されて行くと思います。山下ふ頭開発だけが市政ではありません。もっと隅々に脚光をあてて下さい。
No409	横浜の湾岸での開発もそうそうできないハマスタも古くなるしどうあそこを開発するのか新山下の中心をどうするのか大体どうやってあそこに人を運ぶのか？日本ハムはうまく人を寄せている野球の話をしているのではないのですがこれを野球の話と思うような人にはかかわってほしくないものです
No410	横浜ベイスターズ球場のドームを作って欲しい
No411	オープンスペースの活用等による賑わいづくりと地域活性化

	会場のセントラルパーク　有事の際はパトリオット設置
No412	沈みそうな船舶を、これからもいつでも放置しておくのですか。 景観を損ねていると思いませんか。 震災時に、船舶が沈んだら海上交通の支障になると思いませんか。 そもそも、沈みそうな船舶を放置しておいて何も対策をしないのは不作為責任はありませんか。 横浜港には沈みそうな船舶を放置しておいて問題がない場所ですか。横浜市が沈みそうな船舶を放置しておくことを認めているのですか。
No413	みなとみらいの再開発がほぼ終わり関内にも再開発が行われています。高層ビルが建てられる場所は限られているので、山下埠頭は高層ビルが立ち並ぶようにして欲しいです。
No414	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No415	人材不足が叫ばれている現在、どのようにして長距離バスの運転手を集めるのですか 特に運転手不足が深刻化していると思います 実現可能だと本当に思っているんですか 実現できると思っているなら具体的な方法を教えてください
No416	人材獲得競争が一層激化していることを認識して、ふ頭までの長距離バスを走らせることができると計画されたのですか。役所だから人材は黙っていてもいくらでも好きなだけ集まるから人材獲得競争が激化していることを知らないのですか。
No417	自治体と自治体内のバス会社が一緒になってバスの運転手を確保しようとしている位、深刻な人手不足なのに、長距離バスの運転手をどのように集めるのか具体的な取組を教えてください。集める取組をしたが集まりませんでしたとの言い訳は絶対にしないでください。　長距離バスの運転手の具体的に集め方を教えてください。
No418	沈みかけているように見える船が多く集まっている場所が、あちらこちらにあるように思えます。 海上交通の邪魔になっているとしか思えません。 問題がないから放置プレーをされているのですか。 震災等の災害時に海上輸送の障害としか思えません。問題はないのですか。
No419	横浜からの鉄道網の伸延をさらに加速させることを期待してます。
No420	路面電車の復活をお願い致します。宇都宮や広島を勉強して単なる模倣ではなく、日本第二位の人口を有する政令指定都市の横浜らしい LRT です。東京のベットタウンに化しているこの街。特別市を目指すなどの驕りは捨てて横浜独自のものです。横浜駅東口からみなとみらい、山下公園、山下埠頭、ベイブリッジの一般道を渡って、大黒埠頭、コットンハーバー、東神奈川、反町公園、東横緑道から横浜駅西口がルート案です。名前は「よこはまｅループ」。東京都横浜市からの脱却が必須です。
No421	山下埠頭周辺のインフラを強化する必要性はあまり感じません。
No422	現在横浜市では、2027 年の国際園芸博覧会や深谷通信施設跡地の事業化に向けた手続を進めており、さらに山下ふ頭を事業化するとしていますが、財政を圧迫すると思われるため、10 年位事業化は待った方が良いのではないか？ アクセスに高速バスや船を想定しているようだが運転手確保の問題などもあり厳しいように思う。事業手法を含め、再考していただきたい。
No423	教えてください。 様々なバス会社が運転手集めに苦労しています。 長距離バスを山下ふ頭まで走らせるのに運転手を集めるられるから計画に取り入れたと認識していま

	す。具体的にどの様な手段で運転手を集められる予想をされたのですか。
No424	教えてください。 様々なバス会社が運転手集めに苦労しています。 長距離バスを山下ふ頭まで走らせるのに運転手を集める自信があるから計画に取り入れたと認識しています。 どの様な手段で運転手を集められる予想をされたのですか。誤魔化さないで具体的に明確に教えてください。そんなに簡単に集められるなら路線バスの運転手集めに役立つと思います。
No425	交通費安くして欲しい。
No426	沈みそうな船が多くあると思っていますが、対応できないのか対応しないのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。今まで実現しなかった実現できなかったことを、どの様に実現するのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。 沈みそうな船が多くあることは海上交通を障壁になると思います。対策しないのか、対策できないのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。
No427	長距離バスの山下ふ頭までの延伸するための運転手の確保はどの様に実行するのですか。 2024 年問題を知らないなんてことは決してないと思いますが、運転手不足は他の業種と比較しても人員不足は深刻化しています。 人手不足が深刻化しているなかで、バス運転手の人員不足は社会問題とまでなっていると認識しています。 そのような状態のなかで長距離バスを山下ふ頭まで延伸するには運転手の確保が必要です。具体的にどの様な対策を行い長距離バスの運転手を確保するの教えてください。計画をしているにも関わらず、長距離バスの運転手の確保はそれぞれのバス会社の問題などと無責任なことは言わないでください。 計画を立てた責任として、言い訳しないでどの様に長距離バスの運転手を集めるの具体例を出して教えてください。長距離バスの運転手確保を考えずに無責任に計画をされたとは思いたくないので、長距離バスの運転手を確実な確保についてどの様に具体的に考えて計画されたのか、是非とも教えてください。 何も考えずに計画したのでしたら、そのことを教えてください。 何も答える気持ちもなく意見を聞いたという形式だけのめに意見募集を行っていないのでしたら、答える責務があると思います。 具体的に答えてください。
No428	長距離バスの山下ふ頭までの延伸するための運転手の確保はどの様に実行するのですか。 人手不足が深刻化しているなかで、バス運転手の人員不足は社会問題とまでなっていると認識しています。そのような状態のなかで長距離バスを山下ふ頭まで延伸するには運転手の確保が必要です。 路線バスも人員不足で減便になっています。 具体的にどの様な対策を行い長距離バスの運転手を確保するの教えてください。計画をしているにも関わらず、長距離バスの運転手の確保はそれぞれのバス会社の問題などと無責任なことは言わないでください。それは責任放棄です。計画を立てた責任として、言い訳しないでどの様に長距離バスの運転手を集めるの具体例を出して教えてください。 計画立案者が自ら長距離バスを運転する覚悟を持って計画したのですか。
No429	長距離バスの山下ふ頭までの延伸するための運転手の確保はどの様に実行するのですか。 2024 年問題を知らないなんてことは決してないと思いますが、運転手不足は他の業種と比較しても人員不足は深刻化しています。 人手不足が深刻化しているなかで、バス運転手の人員不足は社会問題とまでなっていると認識しています。 そのよう

	な状態のなかで長距離バスを山下ふ頭まで延伸するには運転手の確保が必要です。具体的にどの様な対策を行い長距離バスの運転手を確保するの教えてください。計画をしているにも関わらず、長距離バスの運転手の確保はそれぞれのバス会社の問題などと無責任なことは言わないでください。 計画を立てた責任として、言い訳しないでどの様に長距離バスの運転手を集めるの具体例を出して教えてください。
No430	人材獲得競争が激化しているなかで何をどの様にしたら長距離バスの運転士を確保できると考えて計画したのか具体的に教えてください。
No431	2024 年問題で人員不足が深刻化しているなかで具体的に何をどの様にしたら長距離バスの運転士を確保できると考えて計画したのか教えてください。　よもやよもや何も具体的なことは考えずにバス会社に丸投げの無責任で無策な考えではありませんよね。
No432	2024 年問題で人員不足が深刻化しているなかで具体的に何をどの様にしたら長距離バスの運転士を確保できると考えて計画したのか無責任で無策な考えではなければ教えてください。
No433	配送ドライバー不足やバスの乗務員不足が深刻でありニュースになっています。山下ふ頭までバスを延長するには乗務員が必要です。港湾局では配送ドライバー不足やバスの乗務員不足を知らなかったのですか。港湾局は計画を立ててバスの乗務員集めには各企業に無責任に丸投げで計画段階でも一切乗務員不足などの問題を考えてもいなかったのですか。
No434	何をどの様に考えたら人材獲得競争が激化している状態で長距離バスの運転士が集まると考えたのか、誰にでも分かるように説明してください。 長距離バスの運転士を集める自信があっての計画と認識しています。計画実行が出来ないと思って計画なんてしていないと思いますので誰にでも分かるように説明してください。
No435	山下ふ頭は広大な面積があるが、これまで再開発の話題が上らなかったことには理由がある。 大規模な開発をして集客をするには、著しく不便な区域なのであるから、賑わい創出のような曖昧で無価値な考え方や目的を掲げるよりも、交通網の整備による他地区との接続の実現を中心目的に据えるべきである。
No436	「壊れかけの船を」放置しておくことは交通機能強化とは反すると思いませんか、対策可能ですか 対策可能なら何故今まで対策しなかったのですか
No437	法的拘束力のない方向性を示すと、今まで行えなかったことができるようになるのですか。沈みそうな船が多く見られますが法的拘束力のない方向性を示して対策が可能になるのなら、何故今まで対策しなかったのですか。 沈みそうな船が雨や風で沈みそうですが海の上の交通のためには対策を行うことが今までても必要だったのではありませんか。 対策しなかった責任は誰にあるのですか。
No438	南武線尻手～矢向間の高架化をやってほしい。山下埠頭に高額な金銭をかける必要はなし
No439	人々が訪れたいと思うような場所（空間）にするためには、交通の便を良くする必要があります。現在はみなとみらい線の元町中華街駅が最寄りですが、それだけでは不十分です。都市部において最も利用されている移動手段である電車の路線もしくは駅

	を増やすべきだと考えます。みなとみらい線は元町中華街駅が終点となっていますが、それを根岸駅周辺まで延伸してほしいです。延伸の実現により、JR を利用する人々も訪れやすくなります。空間がいくら魅力的であっても、アクセスの悪い場所にあるだけで、訪れたいと思う人が減る、あるいはリピーターが増えないので、交通の弁は改善すべき課題です。
No440	ふ頭方面に対して、交通機能の強化は、本当に必要だろうか。確かに施設を作った場合、そこへどうやって行くんだ？という問題は、当然に存在するが、例えば、道路とすると、すでに付近の施設はあるわけで、港湾事業者への迷惑となろう。鉄道はどうか？海に近い状態で、現在の地下鉄を延伸する方法は、災害対策としていかがなものか。高架にした場合のアクセスは、敷設・景観に問題があると考える。路面鉄道となると、シーサイドラインに代表される方法か、通常の道路をタイヤで走行するという形になり、だったら、バスでいいのでは？となる。画期的方法がないと、かなりいろいろな点で無理が出ると思われる。
No441	地下鉄の延伸が必要
No442	インフラが整っていると、ある程度は民間などが自然と成長していく逆に言うと民間とかが想定以上に流入した後にインフラ整備をするのはめちゃくちゃ困難。
No443	投資額に見合う効果を検証し、その結果を出したうえで実施の可否を決めてほしい。
No444	人ごみや喧騒からは離れた新しい賑わいのイメージを具現化するエリアになってほしい。
No445	具体的にどのようなインフラ整備がされるのか、利便性がどのように変わるのか、イメージしやすいようにしてほしい。
No446	横浜の中心地から回遊できる交通手段が新たに構築できるか疑問
No447	今の不便なところが魅力なのでバス便増発位で充分人を呼ぶ為に新たに箱物作ったり開発しだすのは断固反対人は来づらいがステキな公園、が欲しい橋を渡っている時に見えるだけでも満足
No448	あまりに多くのコンセプトを実現しようとすると中途半端なものになるので、実施時には２つ３つの実現に留めるべきでしょう。
No449	都市の発展に連携する地下鉄の延長、新設を提案したい。横浜は人口の割に交通が不便。
No450	山下町に行くのは、電車が乏しく(高い)対策が必要と思う。例えば、地下鉄延伸。
No451	山下埠頭へのアクセスは、車がないと不便なので、みなとみらい線を延長させる必要性をがあると思う。
No452	市営地下鉄の延伸をして、根岸あたりで JR とつながるようにしてほしい山下ふ頭あたりに出向くのには、現在、市バスがメインになっているが、日中は混んでおり、ベビーカーで乗れないことがあるテーマ 3 の旅の目的地になりうる場所を作るのであれば、車だけでなく、なおさら利便性の高い公共交通機関も検討してほしい
No453	観光地と海辺をつなぐ交通の充実として、ゴンドラの延伸　桜木町～コスモワールド～国際会議場～ハンマーヘッド～大さん橋～山下公園～山下ふ頭～みなとの見える丘公園（山手）　※賑わい（点）を線で結び人の回遊性を計る

No454	沈みそうな船舶を、これからもいつでも放置しておくのですか。 景観を損ねていると思いませんか。 震災時に、船舶が沈んだら海上交通の支障になると思いませんか。 そもそも、沈みそうな船舶を放置しておいて何も対策をしないのは不作為責任はありませんか。 横浜港には沈みそうな船舶を放置しておいて問題がない場所ですか。横浜市が沈みそうな船舶を放置しておくことを認めているのですか。
No455	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No456	沈みそうな船舶がとてもとても多くあるように思えます。横浜の魅力を著しく低下させていると思います。 横浜市は何もしないのは不作為責任があるとは思いませんか。災害時の海上輸送にも大きな大きな障害になると思いませんか。
No457	沈みかけているように見える船が多く集まっている場所が、あちらこちらにあるように思えます。 海上交通の邪魔になっているとしか思えません。 問題がないから放置プレーをされているのですか。 震災等の災害時に海上輸送の障害としか思えません。災害に強いまちですか。
No458	19 ページ ・三方を海に囲まれた山下ふ頭の立地特性を生かし、客船や水上交通などといった船がある港の風景や魅力的な夜間景観の形成など、新たな発見や感動をもたらし、非日常感を体感できる空間を創出する。 沈みそうな船舶や沈んでいるように見える船舶が、あちらこちらに見られることが非日常感を体感できる空間ですか。 景観的にも災害時の海上交通的にも問題しかないと思います。
No459	沈みそうな船が多くあるように思える。 災害に強いまちにするために、結果を出さないでいるのに計画を実現できるとは思えない。沈みそうな船を置いておくことは横浜港では認められているのですか。災害に強いまちとは一致しないと思います。
No460	なんでここからわざわざ物資運ぶんだ笑
No461	大雨や地震による津波、台風などの風などで沈んでしまいそうな船が多数あるように思えます。 対策可能なのに対策してこなかったのですか。対策不可能だから対策してこなかったのなら計画に記載するのは矛盾していると思います。対策可能なのに対策してこなかったのなら責任者の責任を明確に追及してください。誰も責任を取らない組織体制ですか。
No462	近年、便利さや娯楽ばかりに目がいき、みなとみらい地区の街並みに様々な建物が建設されています。その為、横浜の象徴であったみなとみらいの景観がゴチャゴチャして元々あった良さを年々失っている様に感じて残念に思います。目先の楽しみ、観光などに目を向けて何かを建設するのではなくこの先経験するであろう南海トラフ地震などの災害対策に焦点を当てて「何も建てない。けれども災害時に避難場所や仮設病院などとして、有効活用できる場所」としての有効活用などがされる事を切に望みます。、
No463	広大な土地は避難所としても活用できる。今の問題はペットとの同行避難。埠頭ではあるが、災害の種類によってはペット同行避難所として活用できるように計画してほしい。
No464	沈みそうな船が多くあると感じています。横浜市は何も対策をする責任は無いのですか。 何か対策をする責任があるとしたら所管は何処になりますか。 沈んだら救援物

	資の搬入のさいに支障が発生すると感じますが横浜市は何もしないのですか
No465	沈みそうな船が多くあると感じています。横浜市は何も対策をする責任は無いのですか。 何か対策をする責任があるとしたら所管は何処になりますか。 沈んだら災害時に応急復旧作業の支障になると感じますが横浜市は何もしないのですか
No466	沈みかけているように見える船がたくさんあるように思えます 台風や雨などで沈んでしまいそうな船もたくさんあるように思えます 何もしないのですか、それも、何もできないのですか　対策ができるけれどもしていないのですか
No467	沈みそうな船が多くあると思っていますが、対応できないのか対応しないのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。今まで実現しなかった実現できなかったことを、どの様に実現するのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。 沈みそうな船が多くあることは災害に強いまちとに反していると思います。対策しないのか、対策できないのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。
No468	沈みかけていそうな船舶がとても多くあると思いますが、本プランを作ったら沈みかけていそうな船舶を無くすことは可能ですか。夜中まで明かりが事務所についていますが、まさかサービス残業なんて発生していませんよね。 本プランを実行するには沈みかけていそうな船舶を無くす必要があると認識しました。今まで放置してきたのに沈みかけていそうな船舶を無くすことは可能なんですか？ 可能なら何故今まで結果の出る対策をしなかったのですか。 とても矛盾を感じます。
No469	「壊れかけの船を」しないで今後も放置ですか 対策されるのですか、対策できるのですか 「壊れかけの船を」放置しておくことは災害に強いまちに反しませんか
No470	法的拘束力のない方向性を示すと、今まで行えなかったことができるようになるのですか。沈みそうな船が多く見られますが法的拘束力のない方向性を示して対策が可能になるのなら、何故今まで対策しなかったのですか。 沈みそうな船が雨や風で沈みそうですが災害に強いまちにするには対策を行うことが今までても必要だったのではありませんか。 対策しなかった責任は誰にあるのですか。
No471	港ヨコハマでなく丘の横浜の住人としては、災害時の方が身近である。
No472	横浜市は河川が多く東側は海に面しているため地盤の緩い場所や埋められているライフラインの老朽化など、災害に弱い箇所が多々あるように見受けられるため、先延ばしにせず市民と観光客を守るために積極的動いている姿を見せて頂ければ自分達を守るためなので返礼品目的のふるさと納税が減るのでは？と感じます。
No473	自衛隊を誘致しよう。３５０万人都市を守る拠点ができるぞ。磯子には官邸修理できる IHI もあるし。いずも型の母港にすれば、万が一の災害の時に市民を守る拠点にできる。
No474	新しい施設を作るよりも、まず水道事業に予算を使ってほしい。災害復旧にも、老朽化した水道管では安心して横浜市に住むことが出来ないので、何よりも優先させて下さい。
No475	youtube　富士山噴火を見て下さい。 森林公園、火山灰の集積場の空間が必要です。
No476	取組の考え方３ 横浜の新たな象徴となる魅力的な景観デザイン 36 ページ　今にも

	沈みそうな船が多く放置されているように思える場所が至る所にあると思われます。景観デザインと一致しているとは思えません。今まで長年放置している理由を教えてください。 横浜港は今にも沈みそうな船を放置するのが認められているのですか。認めているのですか。黙認しているのですか。是非とも教えてください。
No477	沈みそうな船舶を、これからもいつでも放置しておくのですか。 景観を損ねていると思いませんか。 震災時に、船舶が沈んだら海上交通の支障になると思いませんか。 そもそも、沈みそうな船舶を放置しておいて何も対策をしないのは不作為責任はありませんか。 横浜港には沈みそうな船舶を放置しておいて問題がない場所ですか。横浜市が沈みそうな船舶を放置しておくことを認めているのですか。
No478	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No479	景観デザインに、沈みそうな船を放置しておくのとは問題ないと考えているのですか。沈みそうな船に対して何一つ行動を行えないなら計画の実現は不可能だと思います。計画の実現が不可能な計画をたてたのですか。それとも沈みそうな船に対して対策しなければならない責務を放棄しているのですか。どちらにしても今のままでは計画の実現は不可能だと思います。 どのように計画を実現するのか具体的に教えてください。ブランに明記してください。
No480	魅力のある街が良いから
No481	交通機関における電子案内掲示板ですが、外国語のみの廃止を求めます、　求むべくは常に日本語が表示され、片隅に外国語の表示が出るようにしていただきたい、日本人が日本で生活していて分からなくなる案内が多いせいで不便です、　外国人が必要なのはわかりますが日本人が不便になるのは違うと思いますので行政として進めていって欲しいです
No482	景観デザインは必要ないと思います。 景観を良くするためには、集まる人も景観に配慮できる人が集まらなければ、ゴミや治安の問題になりかねないと思います。ただ人が集まれば良いと言うわけではないと思います。デザインのためにお金をかけなくても、今のままで素敵です。
No483	私は、横浜港、インナーハーバー、関内周辺のいくつかの建物とその周辺の景観は、横浜の宝物であり、しかしながらいかんせん歴史の浅い横浜が観光を生業としていくならば、これらを大切して歴史を重ねていかなければならないと考えています。何か事業を行う際には「環境アセスメント」というものが行われます。観光を町の生業とするならば、開発の前に建物だけでなくそれを取り巻く景観を評価する仕組みをつくり大切な景観を消滅させないように長く保存できるようにしたいものです。環境アセスメントは国の法律ができる前に各地で大切にしたいものの環境影響評価をする条例ができていました。国の法律を待つことなく、横浜の美しさを歴史的景観にする仕組みが必要と考えます。
No484	横浜の景観を残すようにお願いします。高層階の建物は要りません。
No485	景観デザイン、整備費の予算を示して下さい。その予算以上は、市税からは出さない、という契約にして下さい。
No486	みなとみらい地区とは異質な日本的景観により、対比の相乗効果から世界にアピール

	出来る。
No487	横浜の景観が変わってきています。海から住宅に代わってきています。
No488	みなとみらいといえば！というような景色だから。
No489	新港地区(観覧車横)の横浜の景観とは場違いなデザインの結婚式場を許可したような間違いを繰り返すな
No490	新港地区(観覧車横)の横浜には場違いなデザインの結婚式場の建築を許したような根本的な間違いを繰り返すな
No491	当面、整備不要です。
No492	みなとみらいの海辺に緑が入るのは、逆に景観が悪くなりそうな印象を受けた。みらい、という名前があるので、もっと最先端な景観の方が受けそう
No493	安易な高層マンションの乱立は避けてください。
No494	マリンタワーをふ頭の中心に移設したらどうでしょうか シンボルになると思います。
No495	・高層ビル・光の街等は、不要　・横浜の緑・脱炭素技術等に役立つ環境施設を希望 ・ルートの開発　海の魅力（水族館）⇔山下公園⇔港の見える公園
No496	山下ふ頭の倉庫・上屋は残しておくべきだ。
No497	予算について何一つ書かれていません。予算のことは何も考えずに好きなだけ無制限に使えるのですか。横浜市中期計画に反していませんか。横浜市財政計画に反していませんか。子供たちを借金漬けにしたいのですか。子供たちに借金を押し付けたいのですか。
No498	山下ふ頭再開発にあたり、市民の意見が募られていることを受け、図書館の設置を提案いたします。 現在、神奈川県立図書館は紅葉坂の上に、横浜市中央図書館は野毛山に位置しており、いずれも坂道を登らなければならず、高齢者や小さなお子様連れの方にとってはアクセスが容易とは言えません。 一方、山下公園に隣接する山下ふ頭は平坦で開放的な立地であり、ここに図書館を設けることで、県民・市民はもとより、国内外からの観光客も気軽に立ち寄ることができるようになります。海を望みながらゆったりと読書に親しむことで、訪れる人々にとって有意義な時間を提供できると考えます。 そこで、公共性の高い多機能を備え、誰もがリラックスして過ごせる図書館の整備を提案いたします。 参考となる図書館の事例： - 大和市立図書館（神奈川県） 生涯学習センター、芸術文化ホール、屋内こども広場が一体となった複合施設。多世代が集える空間設計が魅力です。 - 金沢海みらい図書館（石川県） 約 6,000 個の丸窓が印象的なスタイリッシュな建築で、海外の旅行雑誌にも取り上げられるなど、観光資源としても注目されています。 - ゆすはら雲の上の図書館（高知県） 木のぬくもりに包まれた空間で、靴を脱いでくつろげる設計。遠方からも多くの来館者を集めています。 - 武雄市図書館（佐賀県） 書店やカフェを併設し、木の温もりあふれる空間で、滞在型の図書館として高い評価を得ています。 - 富山市立図書館本館（富山県） ガラス美術館と一体化した複合施設「TOYAMA キラリ」内にあり、建築家・隈研吾氏による設計。富山県産材を活かした温かみのある空間と、カフェやミュージアムショップを併設した滞在型の図書館です。

No499	アンケートがわかりにくい
No500	自治体ごとに役割があり、緑はそれこそ地方に行けばいくらでもあるわけです。それをわざわざ何故横浜市で売りにする必要があるのでしょうか。横浜市にしかないもの、横浜市だから誇れるものを作るほうが市の発展になると信じています。
No501	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No502	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No503	予算を示していない理由を具体的に明確に説明してください
No504	何年も前より話題には出ているが、基本的な事を決めていないのでズルズルと先延ばしになってるのではないか？ 誰が？何を？いつまでに？ 現在、山下埠頭で仕事をしている人々も何時までに移動するのか明確に出ないと何も出来ないと思います。
No505	沈みそうな船舶がとてもとても多くあるように思えます。横浜の魅力を著しく低下させていると思います。 横浜市は何もしないのは不作為責任があるとは思いませんか。交通機能強化の障害になりませんか。
No506	沈みそうな船舶がとてもとても多くあるように思えます。横浜の魅力を著しく低下させていると思います。 横浜市は何もしないのは不作為責任があるとは思いませんか。沈みそうな船舶が横浜の魅力にどのように貢献しているかおしえてください。
No507	人材獲得競争が一層激化していることを認識して、ふ頭までの長距離バスを走らせることができると計画されたのですか。役所だから人材は黙っていてもいくらでも好きなだけ集まるから人材獲得競争が激化していることを知らないのですか。
No508	これからの日本、横浜を担う若い世代の意見を大いに取り入れてほしい。
No509	なお、資料に横文字が多く意味が掴みづらいので、日本語を用いた資料に直した物も作って下さい。
No510	今後の進め方について、令和 8 年に事業化と書いてあるが、「事業化」とは何か。事業者をこの時期に募集するのか。今回の方向性で具体の事業条件がわからない中で、43ha の広大な敷地に対して事業者がリスク判断をするにはあまりにスケジュールが早急と思われる。適切なスケジュールを検討していただきたい。
No511	絶対に反対なのは、スポーツベッドの検証の場とするという案です。IR カジノと何ら変わりがなく横浜の品格を落とす案だと思っています。
No512	2 度と野外ライブはやらないで下さい。
No513	なぜこんなに進んでいないのか理解ができない
No514	やるのはいいのですが、人口減少の折、税金が重く個人消費に回らない状態が続く中で、例えば 2100 年を見据えて維持できるのでしょうか。その上でやるべき理由は何でしょうか。
No515	IR を否定して行う事業なのだから 事業や市の財政に対する効果、市の事業リスクへの低さ、反社会的勢力の排除の徹底度は IR と同等以上にすべき。
No516	横浜市公的機関機関の方々には、是非人口減で過疎地域となっている他地域を視察して現状把握をしてもらいたいと思います。
No517	いらない。 シビックプライドなんてカッコつけてるだけ。 市民のことなんて考えて

	ない。
No518	どっちにしても税金の無駄使い。 観光向けはもういい。 常識のない観光客ばかりに税金使うなら 税金払って住んでる人達に還元すべき。 横浜市なにもしてくれないでこんなことばっかりやるなら市長いる意味ない。 選ぶ意味無い。 どうせ作っても子どもが遊ぶのにお金かかるからいらない。 もっとやることある。 もっと考えることある。 もっと改善すべきところはある。
No519	そもそも山下埠頭の再開発は必要ないと思う。 前からずっと思っていたが、みなとみらい周辺ばかり綺麗にしており、青葉区などの観光地とはならないところへは全然開発されず格差が酷すぎる。横浜市民として地域で税金の使われ方に差があるのは非常に不愉快。桜木町駅からワールドポーターズまでの乗り物もなぜ作ったのか分からない。 再開発などに税金を使うのではなく、子育て支援などにもっと充ててほしい。使い道が納得できない。
No520	市長に対して市民が直接意見できる場所が欲しい。こちらの意見を一方的に伝えるだけでなく、そのことに対する返答もするべきだと思う。
No521	事業スキームやお金の流れなどが、公開されることを望みます。
No522	現実を見据えて、必要な部分に投資をお願いします
No523	IR、賭博、カジノは作らないで欲しいです。
No524	綺麗事はいいから無駄な予算を使わないでほしい。ベイサイドブルーの山下埠頭の停留所、待合室を廃止してしまいましたが、あれの建設費維持費どこの出所のお金ですか？税金の無駄でしかありません。そもそも廃止した理由はなんですか？その理由を踏まえて再開発の検討をすべきです。無駄な事に税金を使わないでください。集客の見込みがないところに投資するべきでは無く、本当に今必要な所にお金を使うべきです。
No525	以前、事業者提案募集結果という書類を拝見し、その中にスポーツベッティングの話が書かれておりました。 そもそも IR 事業が受け入れられなかった背景は、賭博に対する市民の不信感からかと思います。そんな中、種類は違えど賭博の一部としか考えられないスポーツベッティングの話が出てきてしまっていること自体に不安を感じています。今回の資料にスポーツベッティングについての記述がないかどうかを必死に読み、ないことに安堵しております。どうか、市長が変わらなかったからと話を進めるのではなく、他に隠れるような書き方ではなく、その部分についての賛成反対を市民に問うタイミングを作っていただきたいと思います。
No526	税金を使って再開発なんてしないで欲しいです。 無駄なことに使うくらいなら、市民に還元してください。 特に子供の給食をなんとかしてください。 将来子供を学校に通わせるのが不安です。 再開発でたくさん税金を取るくらいなら、 再会発せずに住民税をもう少し減らすなどしてください。
No527	まず、危機感とスピード感が欠落していますので、メンバーを変更するなど改善をして下さい。　　IR 反対して当選して 4 年、今頃意見公募というのは民間企業ではクビになるレベルです。　　釈迦に説法ですが、成果を出すためには行動が必要です。行動を起こすためにはマインドが必要です。株式会社では無い組織でデータドリブンの

	お仕事される方の特徴だと思いますが、データを見て「これじゃあうまくいかないからやめよう」と「石橋を叩きすぎて渡れない」状態のマインドセットです。今回の意見公募の実施の遅れだけではなく、18 歳までの医療費無料を実現できていないのが根拠です。遅い。　IR を反対する代わりに、当初から代替案はなかったのですか？ もしあるのであれば、データを見てできるか・できないか、ではなく、その目標をどうやったら達成できるか？という思考で動くべきです。 失礼を承知で申し上げますが、成果出せない横浜市と市長は要らないです。そのマインドを叩き直した方がいいですよ。　本気出せ。
No528	文章でつらつらと注意書きしなければ伝わらないイメージ図はイメージ図として成り立っていない。
No529	ちゃんと時間かけてやったらいいと思います。
No530	カジノだけはやめてほしいですね。当該エリア住民含む横浜市民に百害あって一利無し。
No531	その他への意見です。　市の資料に、「スポーツベッティングの実証実験」を山下ふ頭で行いたいという事業提案がありましたが、 あれは絶対にダメです。 カジノを止めた山下ふ頭でスポーツベッティングとは冗談にもなりません。 市長は「市民が望まないものは作らない」と議会で発言していましたが、 市民が望んでも作らないでください。 賭博はだめです。
No532	物価高騰もしており、費用が多くかかると思います。 ただし、安物買いの銭失いとならないようにしっかりと審査し、必要なお金はしっかりとかけて進めてください。 また、透明性もしっかりと担保して、裏でこそこそと裏金発覚などで無駄な停滞を生まないようにしてください
No533	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その1】 標記「答申を踏まえた基本的な方向性」に対して、評者の意見・質問・要望を下記のとおり述べさせていただく。 今後、「事業計画」の策定にあたり、既定路線に捉われることなく、本意見をはじめ市民の声を十分考慮・斟酌し、これらを盛り込んだ「計画」となるよう強く要望する。 記　「執権者はプロパガンダしない」 かつぐ側からすれば、「お神輿は、軽ければ軽いほどいい」と、お思いだったろう、 横浜市役所幹部の皆さま、市長再選、おめでとうございます。 市・港湾局は、山下ふ頭の再開発問題について、「答申を踏まえた『基本的な方向性』」（以下「方向性」）を 6 月 27 日に発出した。市側が、同「方向性」を市長選（7・20）前に出したということは、市当局・現職市長は、本山下ふ頭再開発問題は、市長選の「争点」にはならない、と踏んだからだろう。 事実、市長選に再選をかけて立候補者の一人となった市長の「選挙公報」（市選管作成・公布）での、山下ふ頭に関る記述では、「海辺空間と山下ふ頭を再生、世界を魅了する都市へ！」と述べるだけ。他の候補者にあっても、「山下ふ頭問題」に触れていたのは、1 名だけ。 もちろん、評者ら一部の市民運動家が本件を大問題視しようとも、横浜市政全般を争う市長選では、何千分の 1 くらいの小さな位置づけなのは、むしろ当然ではあるが。だがし

	かし、港湾局が「方向性」で示した、「今後の検討の進め方」によれば、今 25 年度中に「事業計画」を策定し、以降、2030 年度中の供用開始を目指している。市長選告示前に「方向性」を提起すれば、次期市長に誰が選出されようと、当選者（次期市長）は、港湾局が設定したスケジュール感に拘束され、山下ふ頭再開発の進捗は港湾局が敷いた路線をほぼ自動的に進まざるを得ないことになる。 つづく
No534	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その２】 再選出馬に臨む市長には、前回・初当選時の「ＩＲ＝カジノ誘致の撤回」といった、市民に大きくアピールする目玉・大看板はない。それどころか市長は、「これまでの取り組みが重層的に実を結びつつある。今ここで立ち止まるわけにはいかない」（6・5 市会）と主張し出馬表明をした。市長自身のＨＰでも、「More Yokohama　ヨコハマの好循環を、もっと」と第 1 期目の「実績」を強調するばかりである。 カジノ無きあとの山下ふ頭の取扱いを市長が、自身の「選挙公約」であえて言及せずとも、市・港湾局側が「基本的な方向性」で示した内容は、候補者としての市長の山下ふ頭再開発に対する「方針」「公約」そのものと言って差し支えないのではないだろうか。 「ＩＲ＝カジノの撤回」、第 1 期目の最大の目玉に代わる、「それ」がない現市長陣営にとって、山下ふ頭の再開発問題は、過去の栄光でしかない、と過小評価し、可能なら触れたくない、市民＝有権者から見られたくない、との想いがあったと言うこともできる。 つづく
No535	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その３】 おざなりな市長の「山下ふ頭問題」への対応 まず、市長選告示前にローカル紙「タウンニュース」が実施した候補者アンケート（特に、本件「山下ふ頭再開発関係の設問「Ｑ７」）に対する市長の回答は、 市長 ： 令和 3 年 12 月からこれまで、市民の意見を丁寧にお聞きし、山下ふ頭再開発検討委員会での検討、答申を経て、市として「基本的方向」を公表しました。テーマの第一に「世界に誇れる、魅せる『緑と海辺』空間」を掲げた、山下ふ頭の将来像をもとに、市民意見をいただきながら、事業計画を策定し、令和 12 年頃の供用開始をめざします。――と面白くも可笑しくもない、優等生の、否、官僚の答弁そのままの答えをしているだけである。 次に、市長の公式ＨＰを見てみる。 評者は、市長のＨＰを常時チェックしているわけではない。だが、いま掲載されているのは、市長選を意識したコンテンツを集めたものであることは、一目瞭然。 上記でも若干ふれたが、まず、「More Yokohama　ヨコハマの好循環を、もっと」― と強調する。「4 年間の主な実績」の項の 4 番目「世界水準のにぎわい都市へ！」の中の 11 番目に、「山下ふ頭の再開発、答申を受領」について触れている。 そこでは、「将来像の検討から始まり、市民意見募集を 2 回、ワークショップを全 9 回実施。寄せられた声を踏まえ、有識者や地域関係者からなる再開発検討委員会を 6 回開催。市民意見や専門的議論の積み重ねを経て、2024 年 12 月、委員会から市に、「緑と海辺」「持続可能性」「都市としてのにぎわい」を軸とした再開発の方向性にかかる答申

	が提出され、今後、共用開始に向けたフェーズへと移行。」と、市長はこれを「実績」と言いたいのだろうが、単なる事実経過の紹介に終始しているだけ。　　つづく
No536	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その４】 続いて市長は同ＨＰの中で、「4 年間で生まれた好循環を未来へつなげる」 １４の政策― を挙げている。これの一番最後、第 14 項目に「もっとデータと市民声でつくる市政」とある。なぜかその先頭に、◆「行財政運営」データで政策強化と財政健全化、を持ってき、市民には縁遠く、容易には理解できない。○「1 期目で進めた財政の健全化の更なる推進」を掲げ、以下に、・計画的な市債活用・借入金残高の縮減・財源確保・歳出改革、減債基金からの臨時取崩しの脱却（以下、略）を並べたてる。 次に挙げたのは、◆「市民の声を大切にする市政運営」である。これは市長が初回の選挙戦で掲げた大目標のひとつ「住民自治を取り戻す」、つまり、市民自治に依拠した市民本位の市政を推進。だったはずなのだが、今ＨＰを見る限りその面影は微塵もない、どころか一般市民を寄せつけないコトバの羅列に終始している。曰く、(1)生成 AI の活用。(2)行政のデジタル化云々（お好きな方は、以下ご自分でお調べください)。一般市民には、「行かない」「待たない」区役所、ぐらいしかすぐに連想できず、読み飛ばすことは目に見えてる。一般市民が「市民の声でつくる市政」のコトバから受ける印象とは、はるかに掛け離れた内容を市長は掲げているのである。 財政や市債だとか、ＤＸ（デジタル化）等、どちらかと言えば市民が苦手とし、避けたいと思う事案を、あえて前面に押し出している。市民側とは別の意味で、当局者側（市長がその先頭）が避けたい・都合が悪いと考える案件とを、両者の利害を一致させたかのように装い、「市民の声」を掲げておきながら、目に見える市民との対話を中心とした本来の有るべき姿からはまったく程遠い、デジタルや財政等を持って来たのではと疑わざるを得ない。つづく
No537	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その５】 同ＨＰには「4 年間の主な実績」もある。「市民の声 × デジタルの力！」では、市民の声を聴く新システムを導入等を例示している。が市長自ら、市民の元に出掛け、直接、自分の耳で市民の意見・要望を聴くといった姿勢はひとつも見えない、それどころか、一言も言っていない。すべてシステム・コンピュータ・データ任せなのだ。それもそのはず、最後の第 6 項目では「データで動かす横浜市政！」と自己暴露している。 市長にとって市政を動かすのは市民ではなく、データであるらしい。これを「親情疎民」と言うか「情尊民卑」と言うかは不明。 市のＨＰ 次に市ＨＰを見てみよう。「市長の部屋」 「市長と語ろう！」とのコンテンツがある。 市長が地域の団体等のメンバーに話を聞いた内容を載せている。年度別の実施回数は、◆22 年度　２３件、◆23 年度　9 件、◆24 年度　4 件―― である。しかし、25 年度の行動状況は記載されていない（おそらく、実施ゼロ回なのだろう）うえ、過去の実施回数も、年を追うごとに縮小・先細りしている。 それに比し、同ＨＰの「フォトダイアリー」には、21 年の新市長の「就任記者会見」から、25 年 8 月現在（市長選挙投票日直前 25 年 7 月）

	の 12 件までギッシリ盛り込まれている。 同「フォトダイアリー」が、市当局や関係団体、市内民間団体がお膳立てをした会議・行事・イベントに、市長自身がお客様然として乗っかていればいい事案が殆どである。これに対し、「市長と語ろう！」の方は、ヒト任せにしてばかりもいられない、市長自身も動かざるを得ないケースが多いからこそ、この差であり、右肩下がりなのであろう。　　つづく
No538	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その 6】 ガラスの団結と、市民との関わり 市長は、「市民の代表」「市民派市長」として選出されて来ていながら、市民を恐れているのではないか。逆から言えば、「市民」を見下している、すくなくとも任期 4 年間で市民を見下すようになった、と言えるのではと疑わざるを得ない。 市長は、活動家・市民活動団体との接触を避けている。市民運動側からすれば、市長を煙たいとも、鬱陶しいとも、面倒くさいとも、重たいとも、感じたことは一度としてない。それに対し、市長側の態度は、市民との関わりを拒絶したいように見える。何故か。 市長が初当選を果たした市長選（21・8）に際し、メディアは「ガラスの団結」と評した。市長の当選を応援してきた評者ら市民運動家からすれば、きつい表現であった。しかし、その山中市政を支えてきた、真面目な市民運動家にとって上記表現は「当らずとも遠からず」と捉えた。 1 期 4 年経過直前、24・11・25 に市内経済界が、市民を抜きに（あるいは蔑ろにした）市長の「後援会」を正式に発足させ、設立総会を開いた。ヨコハマの財界・政界の重鎮らはこれをもって「オール横浜」結成を唱え、讃えた。 だがこの「オール横浜」は虚影でしかない。①「オール横浜」は、時の前市長が再選（2 期目 13・8）を果たした後に発したコトバそのものであること。②市長が言う、「オール横浜」の中に、真面目に活動する市民運動家の姿は映っていないこと、がある。 4 年前の「ガラスの団結」と、今般の「オール横浜」とを比べた場合、市民にとって好ましいのは、いずれであろうか。 初当選時、評者ら市民が押し上げた市長が頼れるものは、「ガラスの団結」の真の支持者＝草の根の市民だけだったはず。4 年の在任中、市長がすべきだったことは、草の根＝ガラスの脆弱さを克服・強化しながら、エセ味方を探し出し・排除することではなかっただろうか。しかし上記観て来たとおり、市長が市長として頼みとする市民との接触は、市長室を一般市民に開放してこなかったことを代表に、ふれあいが皆無とまでは言わないが、まったく十分ではなかった、と総括せざるを得ない。
No539	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その 7】 市による、思わぬ変化球 当会は、市長選前、25・7・24「市民参加の『事業計画検討委員会』の設置を求める署名」 ８２１６筆（自筆 1471＋Web 署名 6745）を市港湾局経由で市長あてに提出した。 これに応えたかは不明だが、港湾局は、「山下ふ頭再開発についての市民検討会」を設置・開催する旨を発表（8・15）した。住民基本台帳から無作為抽出の市民（数十人を想定）で構成。「基本的な方向性」について討議し、「議論の深度化を図る」としている。9.27 を初回に、年内に 5 回開催するという。報道機関には取材を許すようだが、市民による傍聴等は不可だ。 市民参加の「事業計画検討

	委員会」の設置・開催を要望している評者らの会にとって、今般「検討会」の発表は、不意打ちであり、思わぬ変化球が飛んできたとの想いがあったのは事実である。 あるがしかし、もともとの「答申」(24・12・26) 最後の章、「今後のまちづくりに向けて」に、「2 まちづくりへの市民の関わり」の項を設け、「多様な意見を問うプロセスを経ることが望ましい」― と締めている。 一方、市長も自身のＨＰや「選挙公約」、メディアへの回答等で、「市民意見をいただきながら」云々と述べている。 前者は、検討委において、山下ふ頭の再開発に際して、市民参加をと力強く説いた一委員の声を、不当にも圧倒的多数の反対で否決に持ち込んだ醜悪な場面があった。しかし、同検討委員の最後の良心なのか、最低限の善意なのかは知る由もないが、市民の意見を聞くべしと、盛り込まざるを得なかったのではないだろうか（だが、少なからぬ委員は、それさえ同意しなかったであろうことは容易に想像がつく)。 つづく
No540	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その8】 後者、第1期目在任中から市長は（市側の答弁メモに従って棒読みしただけ、とは言わないが)、「市民参加」は既に実施されている、と言わんばかりの発言を繰り返してきた。会議等の公開（傍聴、インターネット中継)、市民意見の募集、意見交換会の開催、ワークショップの公開等々。しかし評者ら市民運動家は、「言い放し」「一方通行」として、これを以って「市民参加」とはいえない、「市民参画」にカウントするな、と批判し続けてきた。しかもそれに加え、市長は、第2期目の選挙において圧勝を果たしたのだ（上述)。市長選を終え「フェーズは変わった」とみるべきであろう。 その一つが、「市民参加」の捉え方だ。 この事実を抜きに「山下ふ頭の再開発」問題は、これまでの路線上を進めば安泰と考えるにはムリがある―。「であるならば」と考え、市・港湾局は、取り敢えず特別に何らかの「委員会」を立ち上げ、その中に市民を充足させ、市当局の操縦のもとに「山下ふ頭の再開発」問題を「議論」（ドガチャカ）させ―。「市民参加」を装いつつ、港湾局の思惑どおりに委員を誘導し、それをもって「民意！」だと大々的に宣言していく、との想定・シナリオを描いている。つづく
No541	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その9】 「市民委員」の募集の例 評者が市のＨＰ等から探し出した市の審議会/検討委員会等における「市民委員」の募集の例を見ていく。 ▼「消費生活審議会」 若干名、応募期間：20.6.5-7.6、任期：20.10.-22.9.、根拠条例：「消費生活条例」第8条(組織)の(2)消費者 ▼「都市美対策審議会」 2名、同：21.3.8-4.8、同：21.8.-23.7.、同：「都市計画審議会条例」第2条の(3)横浜市の住民 ▼「都市計画審議会」 2名、同：24.7.1-7.31、同：24.11.-26.10.、同：「都市計画審議会条例」第2条の(3)横浜市の住民 ▼「人と動物との共生推進よこはま協議会」 2名、同：？、同：23.3.25-25.3.24、同：「横浜市附属機関設置条例」[別表] 33委員会の1つ ▼「地域福祉保健計画 策定・推進委」 2名、同：23.12.25-24.1.15、同：24.4.1-26.3.31、同： 同上 ▼「横浜みどりアップ計画会議」 6名、同：24.5.1-6.7、同：24.10.1-27.9.30、同： 同上 ―― 横浜市には、「市民参画」が可能な委員会等がこれだけ存在する（コメントは控える)。各種

	審議会/検討委員会における「市民委員」の参画の有無・可否は、個別の「条例」か、または包括的な意味合いをもつ「附属機関条例」に規定されているか否かにかかっている。　　つづく
No542	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見 【その１０】 今般提起の、「山下ふ頭再開発についての市民検討会」なるもの。これを、かつての「市山下ふ頭再開発検討委員会条例」（23・2・22）にてらせば、第２条(組織)で委員として、「学識経験のある者」「その他」とあった。この「その他」の中に同検討委のメンバーとなった「地域関係団体」以外の一般市民は考慮されていなかった、と解釈する。いずれにしろ同「検討委員会条例」は、「答申」受領後に失効したのである。とするならもうひとつの、「附属機関条例」規定の「別表」に、「山下ふ頭再開発についての市民検討会」の追加を考えているのか、が問題となる。しかし、同条例改正（追加）のために条文の構成、市会や市議会局等への事務的根回し・工作が費やされた（されている)、との情報は寡聞にして存じない。さらに付け加えるなら、同「附属機関条例」に列記された委員会等すべてが「市民委員」を受け入れているわけではないことも事実である。 と、なると、「山下ふ頭再開発についての市民検討会」は、評者ら当会が求めている、市民参加の「事業計画検討委員会」とは、月とスッポン（名称、法的根拠、構成、権限等々)。まったくのまやかしもの、子どもだましでしかない。 結論 私たちはこれからも、市民参加の「事業計画検討委員会」の設置・開催を求めていく。以上
No543	グテレス国連事務総長が国連機能移転の候補として横浜を挙げたそうです。ちょうどいいタイミングで山下ふ頭の再開発があるので誘致や将来像への組み込みを検討してみてはどうでしょうか？
No544	大型開発と言われると、大手企業の利益優先で、 直ぐ飽きて終う消費の場を想像してしまいます 横浜では、こんなバカは止めましょう
No545	間違ってもカジノや IR に近づかないように、方向性と実施計画をコントロールしてもらいたい。
No546	利権はこりごりだ。IR がなくなったら花博と政治行政のワンパターンはオワコンである。
No547	「答申を踏まえた基本的な方向性」のはじめに（1P)において、市民参画を採用しなかった理由をキチンと説明してほしいと思います。 検討委員会の委員が強く要望し、報告書に付記することまで要請したのを検討委員会委員長は排除しました。その経緯は、市役所の関係者も当然知っていたわけですから、答申書で触れていないから、というスタンスをとるのは全うではありません。市民参加と市民参画は似て非なるものです。加えて、寺島委員長の辞任についても説明をいれるべきでしょう。 以上を明記したうえで、各論に入るよう修正してください。
No548	ぜひ、将来計画に米軍に提供しているノース・ドックの返還も見据えた計画としてください。 （将来、今回つくる計画の拡張や第二ステップ等につながる、計画としてください。）

No549	川崎区在住です。 ミセスグリーンアップルのコンサートで生じた騒音公害について。主催者から検証を行うと発表がありましたが、検証を行ったのか、検証結果はどのようなものだったのか未だに発表がありません。横浜市港湾局からの発表もありません。横浜市以外に多大な迷惑をかけているのに、検証も待たずテーマや取り組みについて進めて行くのでしょうか。そもそも横浜市はこの騒音公害について積極的に調査するきはあるのてしょうか。 横浜市だけの問題ではありません。横浜市が許可して開催され、近隣の市や区に迷惑をかけてしまった事案です。再開発にあたって、大々的に調査し発表する責任があると思います。いかがお考えですか。
No550	山下ふ頭再開発の「基本的な方向性」を拝見しましたが、まるで言葉のパレードのようで、実態がまったく見えてきません。「緑と海辺」「イノベーション」「市民が紡ぐ」など、聞こえの良い言葉を並べる技術には感心しますが、それが何を意味するのか、どう実現するのかについては、まるで霧の中です。 この資料を読んで意見を出せと言われても、何に対して意見を言えばいいのか分からないのが正直なところです。 もしこれが「市民参加」だというのであれば、それは市民の理解力を試すクイズか、あるいは既定路線にお墨付きを与える儀式にしか見えません。本当に市民の声を聞くつもりがあるなら、もっと具体的で、選択肢のある形で提示すべきです。今のままでは、「参加している感」だけを演出するためのプロセスにしか見えません。
No551	山下ふ頭再開発の答申をふまえた基本的な考え方のリーフレットに「雇用創出」という言葉があります。これはとても理解に苦しみます。南区役所の公会堂で実施されたIR の説明会でも前市長がその言葉を発して私は首を傾げました。社会は私の感覚と違うのでしょうか。町に HP に「従業員募集」のことばが目につく。バスやタクシーは運転手不足で減便が相次ぐ。私たちが利用する食料品日用品の販売業や飲食業などのサービス業は自動化が進み、外国人の従業員が増えている。このような現状で、いったい「雇用創出」とはどういうことなのか。詳しい説明を聞きたいと思います。
No552	1. 山下ふ頭再開発計画は、民主的手続きに基づいて決定されるべきである（1）山下ふ頭再開発検討委員会の構成には、市民代表が含まれておらず、同委員会の答申を踏まえた基本的な方向性そのものが市民の意思を反映しないまま策定されている。これは、都市政策における意思決定プロセスとして極めて非民主的であり、計画立案の手法自体が行政主導の専制的な構造に依拠していると言わざるを得ない。（2） 「市民意見募集」の制度も、実質的な双方向の対話を欠いている。提出された意見は、港湾局によって一方的に取捨選択される仕組みとなっており、形式的な参加機会にとどまっている。これまで繰り返し意見を提出してきた市民の間では、「行政にとって都合の良い意見のみが採用され、批判的あるいは不都合な意見は黙殺される」という不信感が広がっている。結果として、「市民の声を聴いた」という体裁を整えるための手続きに過ぎず、実質的な市民参加とは言えない。（3）こうした行政の姿勢は、過去のカジノ誘致問題にも顕著に表れている。前市長が掲げた「市民の意見を踏まえる」という選挙公約は、実際には反故にされ、横浜市は市民の強い反対を押し切って誘致を推進しようとした。このような経緯は、横浜市行政に根深く残る専制的な意思決定体質を象徴しており、現在の山下ふ頭再開発計画にも同様の構造的問題が引き継がれている

	と考える。（4）港湾局が公開した「基本的な方向性」の説明動画において、「水際線」を「すいさいせん」と読む場面が確認される（2 分 30 秒付近）。これは、横浜市西区の公式サイトに記載されている「高島水際線公園（たかしますいさいせんこうえん）」と同様に、一般的な日本語の読み方から逸脱した不自然な読み方と表記である。 このような言語使用の強制は、行政が市民の言語感覚や文化的慣習を軽視し、独自の命名規則を一方的に押し付ける姿勢を象徴している。公共空間の名称においてすら、市民との対話や文化的配慮が欠如していることは、行政の専制的体質が言語政策にも及んでいることを示唆しており、制度的な民主性の欠如と深く連関している。
No553	２．「市民検討会」の形式的設置と実質的権限の欠如 市民検討会の設置が提起されているものの、その役割は極めて限定的であり、事業計画案の策定に関する実質的な権限は付与されていない。港湾局が示す「基本的な方向性」は、特定のデベロッパーや金融資本の利益を優先する構造に基づいており、「世界最高水準のコンテンツや施設等が広がる賑わい拠点」という表現に象徴されるように、短期的な収益性を重視した開発モデルが前提とされている。 このような枠組みの中で市民検討会が設置されることは、実質的な市民参加というよりも、あらかじめ定められた方向性に対して「市民の声を聴いた」という形式的正当性を付与するための手段として機能する可能性が高い。市民の意見が政策形成に反映されることなく、単なるアリバイづくりに利用される構造的危険性を孕んでいる。
No554	(4) 横浜市は地方分権の旗手として、政府の政策からの自立を図るべきである。現在、多くの地方自治体は中央政府の集権的政策に翻弄され、「人口減少下の人口獲得競争」や「一過性のイベントによる財政改善策」に追い込まれている。園芸博のような大型イベントは一時的な経済効果が期待されているが、赤字となり市の財政圧迫をもたらす可能性も大であり、人口減少のなか跡地などの開発は、不要な自然破壊をもたらし持続的な価値創出には直結しない。さらに、「ふるさと納税制度」による富裕層優遇と交付金配分の不均衡は、基礎自治体の財政運営を著しく歪めている。 日本最大の基礎自治体である横浜市は、こうした政府の制度的制約に対して受動的に従うのではなく、地方分権の実現に向けて主体的な立場を打ち出すべきである。交付金制度の見直しや都市の自律性を高める財政・政策運営のあり方について、国に対して積極的な提言を行うとともに、市民との協働による地域主権の確立を目指す姿勢が求められる。 以上
No555	横浜市は「無作為」に選出された市民の会合を開くというが、ちゃんちゃらおかしい。市民だけ無作為選出を求めるのがおかしいではないか。そもそも「有識者」の「再開発検討委員会」は無作為でなく、市側に都合良い大企業再開発推進派か、市に逆らわぬイエスパーソンかで過半数が 占められ、市民側で持続可能性を以て語る見識ある真の「有識者」は非常に少なかった。当初から決まっている答に誘導するがための「作為」ある選出であった。市民を「無作為」で選出せねばならぬのなら、「再開発検討委員会」自体を「無作為」で選出してやり直すべきではないか。また、そもそも市会自体が大政党や宗教政党の組織票で勝った与党議員多数に占められているのも市民の声の実態を反映していないではないか。市会自体も「無作為」で選出してやり直さねば

	ならぬではないか。それなのに、市民だけは「無作為」で選出しなければならないと言う。市民軽侮も良いところだ。属性を市民の統計に合わせても、僅か数十人の「無作為」選出市民が市民全体を真に代表できるはずがない。また、「無作為」選出とはどうやって行うのか。方法論を事前に示し、市民に監視させ、実際に「無作為」だったか検証させるべきである。「再開発検討委員会」のように、実は市が裏で人選しており、それを「無作為」と公表する可能性も否定できない。しかも仰々しく「無作為」選出市民会合を開かせながら、何ら決定権は与えられず、「参考」にするだけであり、実態は参考にしたと言って何ら参考にしていなくても差し支えないのである。これも市民軽侮も良いところである。市民会合に権利を与えるべきである。要するに始めから大企業のテーマパーク型ハコモノ再開発方針で答が決まっており、都合悪いことを言う市民を排除するための「無作為」選出なのであり、さらに「無作為」で選出された市民が都合悪いことを言っても聞かないための「参考」なのである。多重に市民を愚弄し軽侮しており、とんでもない。これまで山下埠頭について深く考え、意見を提出してきたような積極的な市民を排除するのはおかしいではないか。そういう市民達こそ、市や大企業の走狗の「有識者」よりも余程真の「有識者」ではないか。なぜかかる市民達の意見は排除し、大企業や大企業の走狗の意見だけは尊重するのか。市民軽侮が著しい。カジノを市民の意向を無視してゴリ押ししようとした反省を全くしていない証拠であり、だから同じことを繰り返すばかりなのである。市長はカジノを「止めた」と言うのならば、同様な大企業のためのテーマパーク型ハコモノ再開発も止め、市民の意見を尊重すべきではないか。前市長とそっくりになってしまった。これまで山下埠頭について深く考え提案してきた市民達も市民の会合に加え、市民の会合に決定権を与えるべきである。
No556	検討委員会は、役割を終えたとして、廃止されて、無責任。これから、市民検討会に、無作為抽出で市民を選ぶというが、大反対です。 希望する市民の中から選んでください。
No557	市長が再選しましたが、選挙結果には疑義があります。 市民に選ばれた市長とは、言えないと思います。 組織に選ばれた市長。市民の税金が、市民に還元されていません。事業者に横流し。 リーダーシップがなく、説明が雑で、いいかげん。横浜花博も所管に丸投げです。 有志市民の意見を聞いてくださるよう、重ねてお願いします。
No558	他の情報は、しばしば自治会などで情報が出てくるが、今回のこの件はどの媒体で周知されていたのか。 先述のとおり、選挙の論点にもなった内容の割に市民にきちんと説明がなされないまま進んでいる印象がある。 土地、資金、ヒューマンパワー全てが関わるものであるので、きちんと進捗を周知しながら再開発を推進して言って頂けるように望んでいます。この意見募集の後の検討会～決定までの流れが意見募集の冊子には書かれていなかったので、今回あげた意見がどこまで意見として意味があるのか不明だが、より良いまちづくりのためにも、きちんと意見を聞く仕組みをもって進めていただきたい。
No559	大手の企業だけが儲かるような箱物利権は絶対やめて頂きたい。いろんな意味で気づき始めてる国民が増えてきています。

No560	横浜市（港湾局）で山下ふ頭再開発についての事業計画を作成するために、市民（個人）及び市民団体の代表を含めた事業計画策定委員会をつくっていただきたいと思います。「横浜市基本構想（長期ビジョン）」にある「活力創造都市」の実践になると確信します。委員を決めるにあたっては、公募と行政内各局調整の両面を活用して下さい。
No561	今すぐ、港湾局の具体案（暫定案でも可）を市民に示すべきです。
No562	僕の意見としては、来年3月31日とは言わず、いますぐ港湾局の事業計画案（暫定案でも良い）とそのだと思います（もしそれがないのであるならば、いま直ぐに山下ふ頭再編計画そのものを延期すべきでしょう。今までの検討委員会の議論は港湾局にとって何だったのかが問われます)。同時に、「市民による市民のための山下ふ頭を求める会」の具体案（具体的要望）も行政の責任で横浜市民に公開すべきです。さらに今までの一万件を超える市民の意見と今回募集した意見もこれも行政が整理まとめて一緒に公開すべきです。そして「港湾局案」と「市民案や市民意見」に対する横浜市民の意見を再び募集すべきでしょう。今までの行政による一方的告知を直ちにやめて市民と行政の双方的な意見を交流をする横浜の行政と市民のコラボレーションこそ飛鳥田市政をはじめてとする横浜らしさの継承なのですから。 その時、横浜市当局は、港湾局案も市民案と同じようにＳＮＳや動画を作って市民にも分かりやすく解説して、横浜市民の財産である山下ふ頭再開発の意義や役割をみんなに理解させて、更に考えるための広報活動を行政と市民が協力して行うべきです。それが横浜市の行政と市民の任務だし責任だと思います。大事なことは横浜市行政としての透明性とあるべき姿を市民に示し、共に協力して横浜を住みよい活気ある郷土することこそ大切なのですから。
No563	『基本的な方向性』第１章３「今後の検討の進め方」には、「市民意見を伺う取組を実施し、議論を積み上げ、より良い事業計画の案を作成していきます。」と書かれています。その一環として、８月１５日に港湾局から「市民検討会」と称する企画が公表されました。さらに、メディアのインタビューに応じて市長はこの組織について「これまでにない方法で市民の意見を聞く」と、その「意義を強調した」そうです。「無作為抽出」が売りのようですが、参加する市民の人数は１００人に満たないとのことです。横浜市の人口は３８０万弱です。母集団に対して十分な人数が確保されていなければ、代表性や中立性が確保されているとはとても言えません。しかも、この問題に関心の高い市民の参加が不確実です。したがって、市民全体の意見として取り扱うのは問題があります。 やはり、具体的な事業計画案の作成段階の検討会には、関心の高い公募の市民やこれまで提言してきた実績のある市民が参加することは必須です。そうでない「市民検討会」は「市民検討会」の名に値しないし、これを認めることは、行政の恣意的な切り盛りで検討会や審議会を使うことを許すことになります。 事実、横浜市のこれまでの市民意見募集等で、市側の意向に沿った意見は取り入れられても、意に沿わない意見は捨て置かれたままです。要は、市民意見については市側の取捨選択によって意見の採否が行われていて、「市民参加」とは名ばかりの実態が明らかです。 市長は同インタビュー記事で「意見交換ワークショップなどを通し、1 期目に多くの市

	民の声を聞いた。そのような声を有識者や地域の方々に検討していただき」と述べていたが、これは虚言です。「検討」が偽りです。ただ、市民意見を公表、紹介したまでで、「検討」など全くしていません。 今度の「市民検討会」にしても、「無作為抽出」「幅広い世代」「対面形式で直接意見」「市民意見の深度下」と耳当たりの良い言葉を並べたところで、市側が意見を聴取するだけで終わるなら、これまでと同じように、市側が裁量権をもって市民意見を判断し処理するまでのことに過ぎません。「複数回」の「市民検討会」には市民が傍聴できないし、その都度の議論内容について意見を述べることもできません。先の「山下ふ頭再開発検討委員会」と比べても、その公開性、透明性において明らかに後退していると言わざるを得ません。 詰まるところ、事業計画案に市民が実質的に関わる仕組みとは、市民が市と対等の立場で双方向の議論ができ、その結論が事業計画案策定に反映される保証のある委員会の設置をおいて他はなく、それは、市民代表が入る事業計画検討委員会の設置ということになります。
No564	横浜市は何をそんなに焦っているのでしょうか。　他の市区で行われた市民の意見を反映した取り組みを挙げます。 まずは東京都三鷹市。　　三鷹市では「まちづくり」に関して『三鷹市市民参加でまちづくり協議会～Machikoe（マチコエ）～』を三鷹市が設置して進めてきました。 特に当協議会の『組織・体制』については必見で参考にしていただきたい。　協議会役員：10 名＋（一般公募＋無作為抽出）：　４０９名＋団体：５４名＝市民ボランティア４７３名が参加しております。また協議会には三鷹市の職員：８名＋若手職員：２５名＋関連部署：数名＝約５０名の方が参加して市民との共働を図っております。　その活動は行政と市民が一体的になり８００日と言う長い時間を掛けて自分たちの「まちづくり」に取り組んできた。 ２例目は東京都世田谷区。　　世田谷区では、東北沢駅、下北沢駅、世田谷代田駅の各駅周辺において、小田急線上部利用の施設配置（ゾーニング構想）に基づき、施設整備に 向けた検討を進めました。この間、北沢デザイン通信では、小田急線沿線の街づくりの情報と区施設に関わる上部利用デザインワークショップの 経過を総合的に絶えず情報提供しております。　　市民の意見を重視するならば、今年度中の事業計画案完成はあまりに性急であり、十分な時間をかけて行うべきであることを市民として求めます。　世田谷区下北沢駅前開発は市民と行政と企業が一体となって進めてきた成功例で、市民の声を聞き、具体化する中で、小田急電鉄も協力する中で実現されたのです。この事業では 10 年近くかかったと聞いています。関係した市民と地主である小田急、世田谷区も入り、合意に 10 年近くの時間を掛けた成果です。 上記 2 件を参考に日本で最大の自治体である横浜市が積極的に市民との共働に取り組み、その成果を全国に発信するべき好例「大事業こそ民意を反映」を訴えるチャンスです。　　【山下ふ頭再開発】に於いても市民の意見を聴き、一部の市民とだけではなく幅広く市民との対話をゆっくりと時間を掛けて進めるべきです。 例えば、「市長との座談会（車座形式）」「区民会議」「女性１００人会議」「ユース会議」などあらゆる場で直接市長や行政の皆様と対話することができる大きな自治体として全国に名声を挙げて欲しい。そうあるべきだと信じています。

No565	市民への現状報告や、意見募集中の情報公開が不足している。 大きな開発で市民にとって大事なことなので、すぐにアクセスをして閲覧をしたり 意見を書き込めたりできるよう、公共交通機関の構内や車内に QR コード付きポスターを貼って 多くの人が関心を持ち、意見ができるようにしてはどうか？　これでは、意見を集めるのはポーズだけ、あまり集まって欲しくない印象しか持てない。
No566	市民との意見交換を充分に行うことを求めます。
No567	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見　2【その 1】 標記「答申を踏まえた『基本的な方向性』」に対して、評者の意見・質問・要望を下記のとおり述べさせていただく。 今後、「事業計画」の策定にあたり、既定路線に捉われることなく、本意見をはじめ市民の声を十分考慮・斟酌し、これらを盛り込んだ「事業計画」となるよう強く要望する。 記　・世論をミスリードする「基本的な方向性」　・恣意的に書き換えられ/ネジ曲げられた「基本的な方向性」　・(誘致)企業・来街者・観光客 ＞ 現住市民 の「基本的な方向性」　◆評者は、「答申」を神聖視するつもりはない。しかし、今般「基本的な方向性」は、いま述べた「答申」さえも後退し下回るような内容と断ぜざるを得ない。その第一は、世論のミスリードを狙っていることである。　港湾局には前科がある。それは、山下ふ頭再開発検討委の第 5 回会合の段階で、「まとめ（第 4 回目検討委までの)」なるものを検討委員に提示した事実である。その時点で、まだプレゼン発表が終わっていない委員がいた。彼らに対し、無言の圧力をかけ、当該委員らの意見を港湾局が望む方向へ向かわせ、多数派形成をつくり出そうとしたのだ。 もっとも、港湾当局は同検討委で使用した資料「ファクトシート」の多くの点で、委員会全体をコントロールしていた。　つづく
No568	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見　2【その 2】 ◆「基本的な方向性」(P12～P13）に掲げる、「これまで市民意見募集・意見交換会でいただいたご意見をまとめました」は大きく 3 分類され、その第 1 分類には、しっかり「市民が主役」を謳っている。しかし、そのあとがいけない。同分類内のトップに「市の収益をしっかり確保！」をもって来た。市民意見や意見交換会で何人かの市民から、市の「収益」についての発言等はあったのだろう。だからと言って、そうした声が多数を占めたわけではないし、ましてや第 1 項目のトップに据えるとは、「基本的な方向性」編集者の悪意・恣意性を感じざるを得ない。　市民意見や意見交換会で「11,123 件の意見が寄せられた」(「答申」P4）と記載されているが、この 1 万件を超す市民からの意見が、「答申」そして、本「基本的な方向性」のどこに反映されているのか明らかではない。それどころか、上で述べた「収益」をトップに掲げているところをみるだけでも、多くの市民の意見が意図的にネジ曲げられ、当局に都合よく扱われていることは確かだ。　つづく
No569	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見　2【その 3】

	上記、「これまで市民意見募集・意見交換会でいただいたご意見をまとめました」(「基本的な方向性」(P12～P13)) で示した文書・イラストは、22 年 11 月～23 年 2 月に実施した「市民意見募集等のとりまとめ結果」のうち、「市民意見募集の結果」(P20) を使い回しただけ。つまり、その後 23 年 8 月から始まった「山下ふ頭再開発検討委」の各回開催後に求めた市民意見（443 件）は、まったく顧みられ・反映されていないのだ。この 443 件は 11,123 件の 4%弱に過ぎない。だが、それ以前のせいぜい市提供の資料を基にした市民「意見」とは違い、23 年 8 月以降実施の同検討委（計 6 回も開催）の委員に選ばれた有識者・専門家のプレゼン・意見を聴取した後に述べる市民の「意見」とは、有識者・専門家らの話に触発され、自らの思考に少なからぬ影響を受け、市民の「意見」にも一定の質的な変化が生じるのは当然だろう。従って「基本的な方向性」に掲載した「ご意見」とは（まったく、とは言わないが）それなりに違った「ご意見」になっていたはずである。ところが、市当局は検討委員後の市民意見を無視・捨象した。これでは、「基本的な方向性」を見た市民は、同検討委の最終第 6 回目の市民意見まで含めた「ご意見」が掲載されていると受け取るであろう。港湾当局は、市民のその錯誤を計算の上、当該「意見」に目を向けない悪意ある態度をとった。すくなくとも市は、同検討委開催後に募集した市民意見（443 件）を含み考慮した内容に基づき「ご意見」としてまとめ直すべきである。 つづく
No570	山下ふ頭の再開発について「答申を踏まえた基本的な方向性」に関しての意見　2【その 4】 ◆「基本的な方向性」には、いま住んでいる市民に対する施策を示しているというより、「事業者」をはじめ、これから横浜をおとずれる「誘致企業・来街者・インバウンド・観光客」を対象・重視する（わかりやすく言えば、ヨソモノに媚び・へつらい・おもねる）姿勢が著しい。ウラから言えば、現住市民への配慮・心配りが、二の次ぎ・薄弱・淡白になっている。その実例を列挙する。　①「基本的な方向性」(P3)「第 2 章山下ふ頭の将来像」の（最下段)「多様な主体」：明らかに、市民以外の主体が含まれている。②「第 4 章再開発のテーマと取組の考え方」(P14) の「テーマ 1」の「取組の考え方 1」の「多くの人々」：現住市民が、業者・来街者の影に隠れてしまう。③同「テーマ 2 ～明日へのイノベーション」：イノベーションを起こせるのは事業者のみ=市民は対象外。④同「テーマ 2」の「取組の考え方 1」の「多様な人材・技術～」：明らかに業者・誘致企業が対象。⑤同「テーマ 2」の「取組の考え方 2」の「時代の最先端の技術～」：業者・誘致企業以外には考えられない。⑥同「テーマ 3」の「取組の考え方 1」の「旅の目的地となる～」：現住市民に横浜市内が「旅の目的地となる～」はないだろう。⑦「『緑・海辺のまち』を支える～」の「取組の考え方 2」の「誰もが安心して滞在できる～」：最先頭にもって来るべきは「(誰もが安心して) 生活できる」だろう、先日、カムチャッカ半島沖地震に伴う津波警報等の例にみるように、観光客等への配慮は欠かせない。が、同表現では「来街者ファースト」でしかない。　――まだまだ続くが、キリがないのでやめる。　・仏作って魂入れぬ「検討会」　港湾局は、「基本的な方向性」の「議論の深度化を図る」として、「山下ふ頭再開発について

	の市民検討会」を設置・開催する旨を発表（8.15）した。住民基本台帳から無作為抽出の市民（数十人を想定）で構成。9.27 を初回に、年内に 5 回開催する、という。　▼9 月 6 日付け東京新聞は、市長へのインタビュー記事を掲載した。その中で山下ふ頭再開発に関する検討組織について市長は、「年代、ジェンダー、地域の差が生じると、集団の声が市民の声を代表しているかが疑わしくなる」と述べている。　データサイエンティストたる市長に向かって、釈迦に説法であることを承知の上で言わせてもらえば、370 万人の市民からすれば、「数十人」で構成する当該「検討会」では少なすぎ、代表性・正当性がそれこそ「疑わしい」だろう。専門家も「母集団に対して人数の確保が十分ではない」「代表性や中立性が確保されているとは言い難い」と評している。▼港湾局が考えついた「検討会」の建付けは、「議論の対象となるテーマは、総合計画や分野別計画などの将来構想について幅広く議論するのには最適」(前出専門家)だが、山下ふ頭の再開発等のような地域限定・個別「具体的な再開発事業計画を議論することには馴染まない」と批判している。　▼「具体的な再開発事業計画を議論する場合は、当該テーマに関心を持っている市民の参加が重要」(同）とも教示している。当該関心を有する者を「無作為」の名の下に、排除することは許されない。　―― 同じ税金を使って、「基本的な方向性」の「議論の深度化」を目指すのであれば、あえて評者ら市民活動家が従前から提起する「市民代表が入る『事業計画検討委員会』」をよけて通るようなマネはせず、すなおに同「検討委員会」を構成すべきである、市には再考を求める。これを強く訴えることをもって、本稿を締める。　以上
No571	横浜市民の市民による市民の為のコモンズとしての位置づけが重要であり、経済主体でなく、自然主体の公共スペースであることが重要。ですから、委員の選びなおし、とりわけ地域関係団体委員 の再選定を行うべきです。一市民として委員の選定の事など何も聞いておらず知らないうちに事が運んでいます。
No572	学識者委員には市長選挙に出馬した、田中康夫氏や環境団体イコモス、例えば石川幹子氏、ロッシェル・カップ氏などにも声掛けをして賛同いただけるのなら入っていただきたい。
No573	海に精通した市民の意見、行政視点での計画の推進はやめてもらいたい。
No574	・住民台帳から無作為に抽出した市民数十人による検討会を年内 5 回ほど開くとのことですが、山下ふ頭については市を 2 分するほどカジノ IR では関心があり、山下ふ頭について意見を言いたい市民はたくさんいます。無作為抽出した人をまっさらなところから議論するするのではなく、意見を言いたい人を広く募り衆人環視の中で意見を言い合う場を作ってください。密室で行わないでください。疑念を持ちます。　・カジノ IR は市民からは否定されたのに、スポーツベッティング（賭博）の案が今なお、横浜市から否定されないのは、その案が採用される道筋を作っている物との疑念を持ちます。スポーツベッティング（賭博)、オンラインカジノは現行違法です。いますぐに、横浜市として、スポーツベッティング案は却下してください。
No575	全体としてこのスライドが何を言ってるか全く分かりませんでした。何がしたいのか、どうしようと考えてるのか、結果としてどういうことが市民に帰ってくるのかこれは将来像じゃ無くて「あんなこといいな、できたらいいな、でも何やるかは考えてない

	よ」ってのを大々的に打ち出してきて示されてもどうしたらよいのか一市民として困惑してます。1つだけ言えることは、何も考えておらずIR計画を潰したのだけは理解出来ました。
No576	論ずるに値しない資料ですが、この後何か出てくるのでしょうか。アンケートという事で期待を持って見たところにこの何も書いてないに等しい資料で回答しろと言われて正直腹が立ってます。「活気があってシビックプライドを持てて持続的なイノベーションを持つインフラ構築と空間整備」この資料のキーワードをまとめてみると昔テレビでやっていて、今はネットミームになっている「オフチョベットしたテフをマブガッドしてリットにする」を見た時と同じような印象を持ちました。次はもう少しだけでも市民に何を伝えたいか示せる物が出てくることを強く期待しています。
No577	山下公園は市民の公園というより、市外から来た方の公園のイメージです。
No578	横浜駅周辺のごみ拾いや雑草取り、植栽の手入れ等の頻度を上げていただけると有り難いと感じています。山下埠頭も出来上がった後のメンテ費用に重きを置いて、美しく保つ計画をお願いします。
No579	山下埠頭と聞いても実際にイメージがわかない
No580	説明動画、資料などを見させて頂きました。文言の表現について気になりました。「再開発のテーマと取組の考え方・・・」を伝えることが何よりも重要なことであると認識しましたが、その説明文に、本来日本語での表記あるいは表現をするべきと思われる部分に、いわゆる横文字カタカナが多用されていて、大変わかりずらくなって、曖昧になって、もっと言えば軽薄になっているように感じます。そのような意図はないのかもしれませんが、「横文字カタカナを使えばおしゃれになるじゃん」とハイカラを気取っている方が多数いらっしゃるのかなと感じます。開発が終わって、最終的な宣伝用ビラ・チラシなどの時におしゃれな横文字を使っても遅くはないのではないでしょうか。
No581	こんなワケわからんことに血税を使うのではなく、商港横浜の復権を果たし、日本だけではなく世界のハブとしての横浜を知らしめることによって、雇用の創出から始まって安心して暮らして行ける横浜が実現するはず。緑で何ができるのか？血税の無駄遣いは綺麗事で洗い流せるはずはない
No582	地方公務員の固まって痴呆化した頭で考えることをさっさとやめて、もっと民間の切れ者から意見を聞くべき
No583	あまり外国人が多いと雰囲気が壊れる
No584	そもそも山下公園から大桟橋に続く地域は今のままでも十分に魅力的だと思いますが・・・。何故、再開発が必要なのでしょうか？
No585	アンケートの設問、解答が難しかった。
No586	山下ふ頭の９０％超は横浜市の土地ということですので、住民投票を行って決めたらどうでしょうか。
No587	そもそも再開発する意味があるの？
No588	特にありません。横浜市の行うことには興味がありません。お好きにどうぞ。

No589	抽象的概念を並べて将来像と主張するのは後で何とでも具体化できるようにしたお役所仕事！しかも、定番の言葉を並べたに過ぎない。緑の税のように使い道もよく分からないことをする政治、行政をするくらいならやらないほうがいい。
No590	臨海部最後の再開発の砦ではありますが、みなとみらいの失敗をあまり活かせなさそう。市長はオンラインカジノ肯定してました。ここのところの規制強化でもう無理だと思いますが、ホームページにあったスポーツベッティングは、その上を行く最悪の賭博です。ならパチンコやスロット、公営ギャンブルどうにかしろという方もいますが。依存症にもうこれ以上の選択肢を作らないでください。横浜市が先駆けとならないで。
No591	ウクライナ支援の一環として、姉妹都市オデーサをイメージしたエリアをつくるというのも一案だと思います。ウクライナからの避難民で日本滞在を希望する人々が居住し、エリア内の商店や施設等の運営に携わってもらうことで経済的な自立の支援にもつながりますし、また山下ふ頭に新たな魅力を加えることにもなり、全国的にも注目される場所になると思います。
No592	新規のハコものを建設する資金があるなら、既存老朽化インフラの維持管理に回すべき。
No593	時間がかかりすぎだと思います。委員会での議論をふまえて、早急にコンペティションを行って結論を出すべきと思います。民間企業が、それにのってくるかが重要な問題と思います。カジノを撤回してから 4 年。都市間競争は、待ったなしと思います。いつまでも決められない(決めない)のが役所の悪いところだと思います。
No594	各種の好ましいと思える提案も多々に感じる一方で、山下ふ頭ではなくとも、山下ふ頭は場所的にちがうだろ！との意見も多々。提案内容が山下ふ頭に相応しいかをキッチリ検討選択すべきに思う。
No595	絵に描いた餅にならないようにしなければならない
No596	海と緑は相容れない。人工的に作っても、持続、管理のためのコストが係るだけ
No597	まったくいっている事が理解できない。具体的な実行目標、コスト目標がない。そんなに広大なエリアなのか。。。。インフラの中心にはならない人口減少なかの人材の確保どうするのか、安易な国外人材活用は、日本の文化の破壊、治安の悪化をまねく。ヨーロッパの事例を分析して進めるべき。大規模開発は不要事業計画は具体的な数値での見える化をする事。推進及び維持負担
No598	気もちはわかるが、漠然としすぎというか。「持続可能」は、昨今の世間の考え方としてよく聞くようになった言葉だが、本当にそこに向かっていけるのか？と、疑問がわく。
No599	災害に強い町づくりに関しては必要性を感じるが、山下ふ頭の景観等に関しては今のままで充分であって、変化や再開発が必要だとは思わない。
No600	税金の無駄使いに思った。全国でもトップクラスの住民税なので、物価高の中、価値の薄いものに税金を使って欲しくない。税金を下げるか、災害関連に使って欲しい。もしくは近隣県並みに健康管理に予算を使って欲しい。
No601	再開発の各テーマと取り組みの考え方について、内容よりも、とにかくレイアウトが

	見にくく、内容が入ってこないです。
No602	カジノの復活は反対である。
No603	いろいろな考え方がありドレがいいと決めることが出来ないです。
No604	結局、市長はIRに反対しただけだったのですね。余りにもお粗末です。一部の利権屋の言いなりになったということであれば、その事を総括して市民に謝ることから始めるべきです。以上
No605	そもそも山下ふ頭を再開発する必要があるのかがわからない。
No606	具体的にどのような取り組みをしようとしているのか、これだけだとよくわからない。
No607	漠然としていてよくわからない
No608	内容が抽象的過ぎて、何を言いたいのかわからない・・・
No609	【注意喚起：アンケート冒頭の文章は再検討の必要あり】★☆当該文章☆★（1）山下ふ頭の再開発に向けて、令和3年から5年にかけて、市民意見募集や市民意見交換会等を実施し、その結果を踏まえ、令和5年8月から「横浜市山下ふ頭再開発検討委員会」を開催し、まちづくりの方向性や導入機能等についてご議論をいただき、令和6年12月に答申を受領しました。（2）この答申を踏まえ、山下ふ頭再開発の基本的な方向性を取りまとめましたので、新たな事業計画策定に向けて、市民の皆様からのご意見を幅広く募集します。★☆★☆★問題点（1）についてひとつの文章が3行にも渡り長すぎます。更に、懸案事項検討の経過を羅列しているので、言いたい事の把握が困難です。（2）について一般市民には、「答申」「方向性とりまとめ」「新たな事業計画策定のための意見募集」の繋がりが、すんなりと頭に入りません。門外漢の市民にも分かり易い表記が望ましと思います。★☆★☆★ご参考までに、拙文を記載致します。(1改) 山下ふ頭の再開発に向けて、まちづくりの方向性や導入機能等につき、令和6年12月に「横浜市山下ふ頭再開発検討委員会」より答申を受領しました。この答申は、令和3年から5年にかけて、市民意見募集や市民意見交換会等の結果を踏まえた議論によるものです。(2改) 当部署はこの答申を基に、山下ふ頭再開発の基本的な方向性を取りまとめました。今後はこの方向性に沿い、新たな事業計画を策定することとなります。つきましては、市民の皆様からのご意見を幅広く伺い、この事業計画に活かしたいと考えております。何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。★☆★☆★何卒御一考の程宜しくお願い申し上げます。
No610	IRリゾートにしていれば税金取れて潤っていたのにね。大した根拠もなく取りやめにして、そこから数年間どーしよーどーしよーと白紙に戻して、中身のない提言をして時間を稼ぎ、また数年何も産まないという無駄なことをやらかしている責任を市長は取れよな？
No611	人工的なものは何もいらない。
No612	とにかくカジノが回避されて良かったと思っている。
No613	発展を意識し過ぎないで、場合によっては、撤退することも考えてほしい。
No614	心地よい横浜
No615	特に意見はありません。

No616	具体的に何をするのか全然分からないので、意見もありません。
No617	横浜市の港湾部のみ優先的に投資しすぎです。市内西部や市内南部等の都市計画道路の整備等大幅に事業が遅れている部分にもっと投資してください。事あるごとに申し入れています。同じ税金を支払っているのに不公平です。港湾部であれば、みなとみらい地区の予算を山下ふ頭等の再開発に流用できるようにうごいてください。
No618	今回の構想の中で民間の果たすことを含め、横浜市が税金をどの程度使うのかについて、又、議論できる場があったほうが良いと思います。
No619	今のままでいい
No620	無い
No621	全体的にわかりづらい
No622	あまりにも抽象的で何を聞きたいのかわからない。
No623	横浜に生まれて 70 年になりますが、私の人生で残念ですが山下ふ頭に足を踏み入れたことがありませんので、私的意見はございません。
No624	ヨコハマｅアンケートに出す前に関連者で事前レビューとかされましたか？
No625	箱物行政だけは絶対にしないように。IR（統合型リゾート）構想に反対した市長の真価が問われるプロジェクトですね。
No626	今でも充分素敵なのに開発する必要性を感じない
No627	品位ある市民、秩序ある社会、今の横浜市に欠けているものを醸成していきたいと思う次第です。
No628	コストはどのように考えていますか？あまり市民に負担がかかるような、コストパフォーマンスが悪い計画にならないようにしてほしいです。
No629	カジノがなくなり、次の施策がなく、何をやってきてのか？疑問です。
No630	山下ふ頭は、横浜市の位置づけがはっきりしていないような感じです。
No631	税金投入額は全体的にコスパを鑑みて検討していただきたい税金投入は反対しないが、やはり生活に重く負担が掛かるので
No632	計画案をもっと広く市民に広報して欲しい
No633	一部の人達だけが利益を得るような事がないようにして頂きたい。
No634	山下埠頭について、大前提となる基本的な知識がない人が多いので、機能説明に限定したシンプルな新旧対比を作成してほしい。
No635	工事関係者の方の安全確保については、手を抜かないよう期待しています。余裕のあるスケジュール管理や、当たり前のことが当たり前に指摘できるような雰囲気作りなど。
No636	当面、整備不要です。
No637	これだけ物価高、社会保障費高騰が続いているのだから、インフラ整備はこれくらいにして、お米券、クーポン券、各種費用の無償化など、市民に対する補助を行なっても良いのではと思う。隣町の川崎市は市民に優しい市政を行なっている。何で、横浜市はインフラ整備に走るのか分からない。市民を見捨てる政策は止めて欲しい。
No638	あまりイメージできない

No639	病院を作って欲しい
No640	野菜、果物の水こうさいばいをおすすめします。食料不足に役立ち地産地消できます。
No641	国際都市ヨコハマの港の玄関である山下ふ頭に国連事務所の誘致、設置を是非！
No642	R8 年事業化の検討は、早すぎる。もっと時間をかけて慎重にすすめるべきだ。
No643	これまでの市民無視のやり方では、同意できないし、良い方向には向かっていない 進め方が無茶苦茶、折角山下ふ頭の再開発が白紙からスタートしたはずなのに、失敗した IR カジノ導入の手法となんら変わらない
No644	最後の委員会があれだけ荒れたのに、それを踏まえての答申に従ってとは、どういう事か？市長への答申に寺島委員長が突然辞任した理由、最後の委員会で荒れてしまった内容は全て市長に正直に報告されたのか？港湾局の独善的な答申になっているのではないか。
No645	以前、横浜市港湾局が 2022 年 6 月 30 日締め切り及び 2023 年 2 月 28 日締め切りで事業公募した案件はどうなったのか？検討委員会でも取り沙汰されなかったし何だったのか？どうして無視しているのか？ 横浜市・港湾局が行っていることは支離滅裂ではないか。このまま提案公募を行った事実を無視して進めることに危惧を感じるとともに説明無くしてこれ以上進めないで頂きたい。
No646	意見交換会、意見募集、市民検討会、どれをとっても、形だけにおわっていませんか。市全体をいくつかのブロック（区単位）に分けて、話し合う場をつくり、まとめていきませんか。それには、ある程度のプランがあって、8 つ位のプランのよしあしを話し合い、そのブロックで一番よいとされたものを次の大きなブロックでさらに話し合い、何回かの話し合いを経て、一つにまとめあげていくのです。まだ、プランができてない段階なので、市民検討会は、プラン①②③位まで出すところとし、それ以外に「山下ふとうに○○があったらイイな」も一つのプランし、また市民検討会以外でも、ある団体、地域などで考えたプランも 4 つ位出せることとして、8 つくらいのプランの中から、ねりあげていくと良いです。決定までには、まだまだ時間が必要です。1 年では、できません。
No647	●歴史と山の公園の内容説明 ・具体的には、市営バス 21 系統、103 系統の山元町 2 丁目下車。その直近に五寺中華義荘、共同墓地、根岸森林公園あり、これを加えることで、緑、海、山、歴史の項目ができる。 ●その交通機関として、現行の 21 系統のバス停、「元町」を「元町・山下ふ頭」又は「元町・港の見える丘公園」に変更する。 ●地図には、根岸森林公園の下に中華義荘を加え卍卍卍卍卍卍（又は卍を 5 にする）を表示がする。 以上、提案します。
No648	何もやらない。他にやるべき事は沢山ある。国際プールの時みたいに市民の意見は改ざんされる。市長（横浜市）は信用出来ない

その他

計　316 件

No	意見全文
No1	IR の再誘致を
No2	カジノを誘致されたら良かったのではないでしょうか　また、アリーナなど箱物を横浜市が建てるのでしょうから、20 年 30 年後に負の遺産とならないよう、建ったあとのメンテナンスや解体まで考慮いただきたいです
No3	横浜でしか体験できないカジノを含む IR 等の大規模リゾートが必要だと感じています。人口が多いにも関わらず財政的にかなり厳しい横浜市には税収が必須です。大きなお金が動く施設開発が望ましいと思います。また、日産に変わる大企業の誘致も必要不可欠であり、カジノを含まないにしても横浜市として本社を横浜市内に誘致しやすいような大規模リゾートの開発の方向性が望ましいと思います。
No4	IR がほしかったです。
No5	沈みそうな船舶がとてもとても多くあるように思えます。横浜の魅力を著しく低下させていると思います。 横浜市は何もしないのは不作為責任があるとは思いませんか。
No6	大黒ふ頭中央緑地運動施設で行われた横浜港国際船員スポーツ大会で、契約先の会社とソフトボールなどをしていませんでしたか。公平性透明性のある契約とかけ離れていませんか。計画的に契約をしている会社とソフトボールなどのスポーツを一緒に行うことは利害関係者との接触指針に違反していませんか。
No7	（3）世界の脱炭素化を先導する効果的なエネルギー利用　市庁舎が土日を含めて夜中まで職員の仕事のために明かりがついています。脱炭素化と行動が真逆だと思います。 サービス残業は一切行われていないことを確認されていますよね。 土日含めて夜中まで働いている職員に性格に時間外手当てを支給していますよね。時間外手当ては雇用者が把握して支払う義務が法令で定められて射ると認識しています。法令遵守されていますよね。
No8	横浜市では令和５年１月に「横浜市地球温暖化対策実行計画」を改定し、脱炭素社会の実現に向けて、温室効果ガス排出量削減の取組を推進しています。　夜中まで市庁舎の明かりがついているので職員が仕事をしていると思います。土日も夜中まで明かりがついているので土日の夜中まで仕事をしている職員がいると思います。「横浜市地球温暖化対策実行計画」に反していると思いませんか。 残業代金は正確に把握して適法に支払っていますよね。
No9	ゼロカーボン（カーボンニュートラル）とは、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする（排出量と吸収量を均衡させる）ことを意味します。2020 年 10 月、政府は 2050 年までに脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。横浜市では令和５年１月に「横浜市地球温暖化対策実行計画」を改定し、脱炭素社会の実現に向けて、温室効果ガス排出量削減の取組を推進しています。　横浜市で持っている船をドローンに変えれば「横浜市地球温暖化対策実行計画」温室効果ガス排出量削減の取組を推進に貢献すると思います。 なぜ自ら率先垂範しないのですか。 横浜市は温室効果ガス排出量

	削減の取組を推進の取組を行わないのですか。横浜市自らが率先垂範しないと説得力はありません。 船をドローンに変えれば「横浜市地球温暖化対策実行計画」温室効果ガス排出量削減の取組を推進に貢献すると思います。
No10	やっぱりカジノを作って欲しいです。
No11	消費・雇用の創出、周辺地域で働く人々の収益向上、より良い労働環境の確保等を図ることにより、市民生活を支えるまちづくりを行う。　ゴールデンウィークの市庁舎公開のときに、職員が何人も何人も３階のゲートを出入りしていましたが、より良い労働環境の確保等が行われているのですか。夜遅くまで市庁舎を見ると灯りがついている階がありますが、より良い労働環境の確保等が行われているのですか。
No12	IR 計画を復活し全世界から観光客が来る開発を目指してください
No13	カジノで働いてた自分は横浜の IR 白紙撤回がとても残念でなりません。シンガポールがあそこまで成長したのは IR オープン以降、様々な国の人が訪れたり国際会議等が行われたり経済も活性化していき今では東南アジアを代表する国にまでなりました。日本ではギャンブル依存症問題などもありますがシンガポールのカジノでは色々対策をしており従業員も数ヶ月に一回コンプライアンスを受ける必要があります。その結果 IR をオープンする前と後では依存症の人が減ったという結果も出ています。（カジノ内ではお酒を頼みすぎている人にはもうそれ以上提供しない、泥酔してる人、負けてイライラしてる人にはプレイさせない、上司等に報告など） 日本の起爆剤となる初の IR が横浜じゃないのがとても残念でなりません。横浜の名を全世界に宣伝する機会をミスミス大阪に譲るのは悔しいの一言です。 いつの日か横浜に IR がオープンする日が来ることを祈ってます。上瀬谷通信施設跡地とかもいいですね。
No14	許認可を出している所属の責任職や職員が、許認可を申請する会社が多く参加している横浜港船員スポーツ大会に、ソフトボールのチームとして参加するのは利害関係者との接触指針などの法令に抵触しないのですが。違法な行動にはならないのですか。
No15	委託契約を結んでいる会社とソフトボールの練習などをすることは、横浜市は問題ないのですか、 契約の透明性かつ公平性が必要だと思います。
No16	世界に誇れるとあるため、世界的に有名なホテルの誘致や、リゾート化をしていくことで横浜が一つ観光名所となり世界的に人気になると思う。また、そのために韓国のパラダイスシティのようなものを作れたらより、面白いと思う。
No17	韓国のパラダイスシティみたいなものを作る。 人気だし、インフルエンサー等も来るため有名になると思う。高級感もあるため、治安も悪くならないと思う。
No18	横浜港国際スポーツ大会にソフトボールチームとして参加していることは、よかとですか。 契約の透明性が必要としか思えません。
No19	横浜港スポーツ大会でソフトボールをすることは、利害関係者との接触指針に抵触しませんか。疑問を持たれる行動がないようなクリーンな行動になるように調査して結果を公表してください。
No20	港湾スポーツ大会に参加していない人でも入札に公平に参加する機会があること。港湾スポーツ大会で球技を一緒にしている人を優先に契約しないこと。契約している職員と契約を結んでいる人で球技の練習を一緒に行い港湾スポーツ大会に一緒に参加す

	ることは法令に照らし合わせて問題ないですか。
No21	競馬場を作ってほしい
No22	横浜港国際船員スポーツ大会で球技スポーツにチームとして参加するのは問題なかですか。 国家公務員は懲戒処分の対象だったと思いますが横浜市は問題なかですか。
No23	特になし
No24	委託会社の職員とソフトボールの練習を行ったり横浜港国際船員スポーツ大会に別々のソフトボールのチームとして参加するのは横浜市は認められているのですか。国などは利害関係者との接触指針に違反する行為に該当するので懲戒処分の対象みたいです。横浜市は国と異なります認められた行動ですか。
No25	IR の誘致をどうか再検討してほしい。
No26	カジノなどの娯楽施設により国外に対して魅力的な街作りをすべき
No27	カジノでいいです
No28	そもそも再開発を話して決定する人たちの年齢は 60 歳未満してくれよ。
No29	どの自治体もやっているような取り組みで、横浜が活性化されると全く思わない。なぜ IR 計画を潰したのか、IR に代わる横浜に企業や客を呼び寄せられる具体案が全くない。みなとみらいの企業がどの企業もパッとせず、企業に「横浜なら利益を出せる」と思ってもらえる取り組みを早急に考えなければならない中、なんの具体性もない計画を見せられても怒りしか湧かない。IR の方がよほど具体的だった。
No30	カジノを改めて入れてほしい。税収を上げる必要があります。 あと、パマトコのメールで子供に関係ないことを言ってこないでください。
No31	（空欄）
No32	まず、そもそも内容が具体的ではなく、どのようにでも解釈ができるのが問題と考える。次に何らかの施設を公費で建設した場合、それに係る費用、建設後得られるリターンが投資に見合っているかの説明もなく、判断のしようがない。つまり、長らく議論したであろう結論として意味不明もしくはそもそも意味自体ないものが得られたわけで、この将来像を導いた選考委員や会議、ひいては市長に対しても疑問を呈さざるを得ない。私個人は、IR に賛成しており、少なくとも投資に見合うリターンが得られる可能性が高いわけであり、もう少し具体的に議論してもらわないと賛成反対の判断自体出来ない。
No33	カジノを中心とした統合型リゾートの建設が望ましい。横浜市に足りないものは、宿泊をしてもらえるような圧倒的なエンターテインメント。現状の案では大きな収益は望めないと考える。収益が望めないのであれば、そもそも持続可能なまちを支えることはできないのでは。
No34	将来の人口減による税収減が目の前に見えています。それを踏まえ山下ふ頭は、人を引き付ける賑わいと収益を兼ねそろえたものに変えていく必要があります。従って、現在の考え方を白紙に戻しＩＲの誘致を再考すべきです。以前はカジノについて過剰に反対を述べている人がいましたが、冷静に考えれば競馬やパチンコと同列に考えるべきではなく、カジノをはじめとした将来の山下ふ頭からの収入（税収等）を無視す

	ることはできません。横浜市民として将来の都市経営を考えた上で意見を書かせていただきました。ＩＲの再考をお願いします。
No35	新たな賑わいの場所として、 ・市営カジノを創設しましょう。 ・市営ボートレースを創設しましょう ・市営ドローンレース場を創設しましょう ・市営海釣り施設を創設しましょう ・市電（ＬＲＴ）の発着場を整備し、みなとみらい～赤レンガ～新山下～本牧～根岸へ交通手段として利活用しましょう。 ・ポケモンのＩＰを借りて、ポケパークヨコハマを作りましょう これから、少子高齢化に伴い恒久的で有効な市税の財源として確保しましょう。
No36	一部の利権者の利権維持のためのものにしかならないのなら必要ない 税収減、人口減に対しての策になるのなら元々の案であったIRで構わない
No37	（空欄）
No38	（空欄）
No39	社会主義における生産者たちは、いつも原材料が不足していた。たまたま生産できても誰にも需要されないことも多かった。消費者は必要とするものをなかなか手に入れられなかった。 一方、資本主義には人々に何を生産して、どこに配達しろと指示を出す中央当局は存在しない。個々の生産者は一番儲かると思うモノを作るだけ。個々の消費者は自分が選択したモノを買うだけ。要するに中央の指令に基づく計画経済よりも、無計画な市場経済の混沌状態の方がずっと整然と経済が営まれている。 ポール・グルーマン　各人は単に自らの利益のみを意図しているに過ぎない。しかし、「見えざる手」に導かれて、意図していなかった社会的な利益を促進することに繋がる。 アダム・スミス　脱炭素、グリーンはイノベーションとは相反し、資本主義・市場主義経済とは真逆の政策である。個人主義が世界的潮流となっている現代において、脱炭素、グリーンに１人むなしく取り組んだところで世界的に遅れを取る。 脱炭素、グリーンビジネスは誰か１人が抜ければ、たちまち破綻する。アメリカはすでに手を引いている。 利己的に利益追求のみを求める土地利用をすべき。脱炭素、グリーンに取り組んだところで一銭の徳にもならない、不合理かつ究極の無駄である。IRを一刻も早く復活させるべき。
No40	花火大会でのニュースで大々的に取り上げられた事故がありましたが、許可を出した責任はないのか。あんな生命の危険があったのに許可を出した責任は誰も取らないのが。 あれだけの危険があるのに許可を出して良いのか。 あれだけの危険があったのに許可権者は誰も責任を取らないのか。
No41	花火大会でのニュースで大々的に取り上げられた事故がありましたが、許可を出した責任はないのか。 誰も許可を出した責任を取らないのか。無責任で良いのか。 あんな生命の危険があったのに許可を出した責任は誰も取らないのが。あれだけの危険があるのに許可を出して良いのか。あれだけの危険があったのに許可権者は誰も責任を取らないのか。 無責任で良いのか。
No42	治安悪化とかギャンブル依存症とかネガティブな事ばかり表面化しておりますが福富西通りや街のパチンコ店と変わらないのに何故騒ぎ立てるのか理解に苦しみます。地方税が隣りの政令指定都市の川崎市に比べてどうなのか？市民として疑問に思う。

No43	国際都市横浜の誇りについて皆さまいかがお考えでしょうか？ちなみに横浜高校の校歌は今は昔になっていません？
No44	（空欄）
No45	大阪では IR が決まり、企業の進出などで自治体の歳入が増えているときく。 今回の市長選挙では、IR や山下ふ頭が議論としてあがらなかったため、こちらの再検討が必要
No46	IR 含むの再検討により市の財源の一つとする必要がある。子育てなど特定財源にすれば良いと思います。
No47	正直 IR のころのほうがわくわく感があってよかった。 このままの雰囲気だと横浜らしさがなく、よくある商業施設のような内容で箱だけ最先端みたいになってしまいそうで もったいない。
No48	再度、IR を検討して欲しい。 横浜市の税収を増やすには、法人誘致と IR は避けられないと思う。 横浜の景観・治安を今以上に向上しつつ、 安心安全な次世代の IR 計画を目指せないだろうか。
No49	暑っつい
No50	暑い
No51	あっちい
No52	熱すぎる
No53	特にない。
No54	あ
No55	は
No56	カジノ作ろう。
No57	沈みかけているように見える船がたくさんあるように思えます 台風や雨などで沈んでしまいそうな船もたくさんあるように思えます 何もしないのですか、それも、何もできないのですか 問題はないのですか
No58	ソフトボールの練習や大会に委託契約をしている会社と一緒に参加している職員がいたりしませんか。 透明で公平な契約が大切だと思います。 委託契約をしている会社とソフトボールの練習や大会に一緒に参加している職員がいないか調べることはしないのですか。 公平透明な契約をするために調べることが大切だと思います。
No59	４．瑞穂埠頭の North Dock について　多くの市民意見が寄せられたにも拘わらず、再開発検討委員会においてまったく議論されることはなく、答申にも、したがって「基本的方向性」においても完全に無視されたテーマが米陸軍の「第５輸送中隊」の配備撤回と North Dock の返還である。 瑞穂埠頭はインナーハーバーの顔の位置にあり、本来は重要な市民の共有財産であるべき土地である。そこにわがもの顔で米軍艦船が居座り続ける North Dock は横浜の未来に立ちふさがる最大の障害物である。「厳しさを増す安全保障環境」を盾に現状を容認し続けることはおよそ主権国家にあるまじき屈辱である。　横浜市は神奈川県とも歩調を合わせながら、少なくとも表向きは North Dock の早期返還を求めてきた。しかし、実際は、これは国の専管事項であり、

	国政の問題であるとして主体的かつ能動的な取り組みは行ってこなかった。2015 年に策定された「都心臨海部再生マスタープラン」は恣意的に瑞穂埠頭を除外していた。心ある多くの市民や有識者が強調してきたように山下埠頭の将来をどうするかは 50 年後、100 年後の長期を見通した中で検討、決定していかなければならない。 米陸軍部隊の配備撤回と North Dock の返還要求を基本的方向性から欠落させてはならない。以上
No60	山下埠頭とは長年仕事で行き来した場所から 埠頭入り口付近は、昼間は車両の出入りも混雑する所です。開発において、商業施設(ベイサイドマリーナ)のようなアウトレッドなどだと、県内外の車両が押し寄せで 近隣住民や港湾関係者には、多大なご迷惑をかけます。　海外からの観光客を視野に入れと思うと、カジノ、 防災も含めば、多目的に利用出来るドーム型サッカー場の様な施設。 又、隣の貯木場を開発の対象になりませんか？
No61	沈みかけていそうな船舶がとても多くあると思いますが、本プランを作ったら沈みかけていそうな船舶を無くすことは可能ですか。 可能なら何故今まで対策をして来なかったのですか。 本プランを作っても対策できないなら、対策出来ないことを本プランに書くことは市民を騙す行為だと思います。
No62	クリーンで透明性の高い契約が絶対に必要だと思います。 ソフトボールの練習やソフトボールで大会に委託会社と計画的に長年参加していたりしませんか。 クリーンで透明性の高い契約の実現が絶対に必要だと思います。
No63	意見募集を行えば出来るようになるのなら、今まで対策をしなかった不作為責任は誰が負うのですか 誰も不作為責任はとらないのですか 「壊れかけの船を」今後も対策しないのですか 今後は対策するのですか 法律も条例も規則も変えずに対策できるようになるのなら、今までは何故対策しなかったのですか 法律も条例も規則も変えないので今後とも対策できないのですか
No64	特になし
No65	わかりやすい
No66	以前有りました、カジノ構想ですが、私的には、カジノ建設に期待しておりました。横浜市の財政を考えますと、事業税収入が期待でき、ふるさと納税による他府県への資金流出を考えますと残念でした。当時は、ギャンブル依存症の人が増える、治安悪化を懸念する声により却下されましたが、法的管理されてたカジノより、ネットカジノの方が大きな社会問題かと思われます。
No67	なし
No68	港湾労働者
No69	なし
No70	カジノを含むリゾート開発ではなくなったのが、今だに大変残念に思っております。
No71	前述のの内容
No72	ない
No73	どの程度の投資を考えているのか？資料では触れられていない。再開発により横浜市

	の財政基盤が大丈夫なのかが先に議論されるべきと思う。IR であれば商業施設ありきなのであまり心配しなくて良かったが、漠然としたこの計画では何も分からない。
No74	よさそう
No75	間違い
No76	ｚｚｚ

No95	ふわっとしすぎていて中身が何もない。IR リゾートでよかったのに。
No96	特になし
No97	カジノを作ってほしい！
No98	何もない
No99	横浜に住んで 10 年ですが、まだ行ったことがありません。
No100	米軍基地は山下ふ頭に属さないのでしょうか？将来的にはどうなんでしょうか？
No101	もう一度、カジノ誘致を。
No102	わからない
No103	なし
No104	特になし
No105	特になし。
No106	特になし
No107	特になし
No108	特になし
No109	得になし
No110	カジノの開発が中止となり代わってどのように開発していくのか？興味があります。
No111	みなとみらいのこれからの開発の取り組みに興味がある。
No112	山下埠頭の手前まではよく行きますが倉庫群もあり、どこまで開発するのか、どこまで残すのか、が今一つわかりにくいと思います。
No113	分かる人にお任せします。
No114	特になし
No115	特になし
No116	ない
No117	近年、山下ふ頭は米軍使用が最優先になっている為、その理由と詳細内容を市民に公開すべきかと思います。
No118	山下埠頭に含まれるかは分かりませんが、神奈川県民ホールが、取り壊しではなく、建て替えに決定して下さった事が嬉しく思います。
No119	特になし（意見を問う趣旨がよく分からず）
No120	（空欄）
No121	（空欄）
No122	IR を含めた再開発を山下埠頭で行うことに賛成します。最近の横浜市長選で 5 年後に横浜市が約 500 億円の歳入不足が生じることを知りました。IR による税収が年間 1000 億円規模との見込みであれば、ぜひ山下埠頭で IR を含めた商業施設を作って、横浜の財政問題を解消していほしいです。横浜市に住む小学校低学年と保育園児の子供 2 人を育てる世代としては、東京都都民と同じ条件で子育てしたいので、法人税で潤っている東京都と同等しベルとするためには、横浜市で今後大規模な企業誘致や IR による税収増加が必要不可欠だと思います。ぜひ一刻も早く山下埠頭の再開発を実現して、

	横浜市の経済の核として、今抱えている財政問題を解決してもらいたいです。
No123	（空欄）
No124	（空欄）
No125	（空欄）
No126	（空欄）
No127	委託会社の職員とソフトボールの練習を行ったり横浜港国際船員スポーツ大会に別々のソフトボールのチームとして参加するのは横浜市は認められているのですか。国などは利害関係者との接触指針に違反する行為に該当するので懲戒処分の対象みたいです。横浜市は国と異なります認められた行動ですか。
No128	花火大会でのニュースで大々的に取り上げられた事故がありましたが、許可を出した責任はないのか。あんな生命の危険があったのに許可を出した責任は誰も取らないのが。 あれだけの危険があるのに許可を出して良いのか。 あれだけの危険があったのに許可権者は誰も責任を取らないのか。
No129	うけるね
No130	計画とは真逆だと思われるボロボロの船舶が多く集まっている場所があると思いますが、何もしない野放し状態にしているのは何故ですか。計画を実現しようと思っていられるなら事前に対策をしておく必要があったのではありませんか。このまま今後とも何もしないのですか。
No131	全国的なニュースになった海上での花火打ち上げで大勢の人達に危険を及ばした事故について、海上で花火を打ち上げる許可を出した職員や職場や責任者に責任は無いのですか。
No132	沈みかけているように見える船がたくさんあるように思えます 台風や雨などで沈んでしまいそうな船もたくさんあるように思えます 何もしないのですか、それも、何もできないのですか　沈んでも問題ないのですか
No133	くだらないゼ！
No134	なし
No135	なし。なんとなく
No136	（空欄）
No137	（空欄）
No138	（空欄）
No139	（３）世界の脱炭素化を先導する効果的なエネルギー利用　市庁舎が土日を含めて夜中まで職員の仕事のために明かりがついています。脱炭素化と行動が真逆だと思います。 サービス残業は一切行われていないことを確認されていますよね。 土日含めて夜中まで働いている職員に性格に時間外手当てを支給していますよね。時間外手当ては雇用者が把握して支払う義務が法令で定められて射ると認識しています。法令遵守されていますよね。
No140	横浜市では令和５年１月に「横浜市地球温暖化対策実行計画」を改定し、脱炭素社会の実現に向けて、温室効果ガス排出量削減の取組を推進しています。　夜中まで市庁

	舎の明かりがついているので職員が仕事をしていると思います。土日も夜中まで明かりがついているので土日の夜中まで仕事をしている職員がいると思います。「横浜市地球温暖化対策実行計画」に反していると思いませんか。 残業代金は正確に把握して適法に支払っていますよね。
No141	ゼロカーボン（カーボンニュートラル）とは、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする（排出量と吸収量を均衡させる）ことを意味します。2020 年 10 月、政府は 2050 年までに脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。横浜市では令和５年１月に「横浜市地球温暖化対策実行計画」を改定し、脱炭素社会の実現に向けて、温室効果ガス排出量削減の取組を推進しています。　横浜市で持っている船をドローンに変えれば「横浜市地球温暖化対策実行計画」温室効果ガス排出量削減の取組を推進に貢献すると思います。 なぜ自ら率先垂範しないのですか。 横浜市は温室効果ガス排出量削減の取組を推進の取組を行わないのですか。横浜市自らが率先垂範しないと説得力はありません。 船をドローンに変えれば「横浜市地球温暖化対策実行計画」温室効果ガス排出量削減の取組を推進に貢献すると思います。
No142	許認可を出している所属の責任職や職員が、許認可を申請する会社が多く参加している横浜港船員スポーツ大会に、ソフトボールのチームとして参加するのは利害関係者との接触指針などの法令に抵触しないのですが。違法な行動にはならないのですか。
No143	何がイノベーションかわからない。 どの自治体もやっているような取り組みで、横浜が活性化されると全く思わない。なぜ IR 計画を潰したのか、IR に代わる横浜に企業や客を呼び寄せられる具体案が全くない。みなとみらいの企業がどの企業もパッとせず、日産が潰れそうになっている今、企業に「横浜なら利益を出せる」と思ってもらえる取り組みを早急に考えなければならない中、なんの具体性もない計画を見せられても怒りしか湧かない。IR の方がよほど具体的だった。
No144	花火大会でのニュースで大々的に取り上げられた事故がありましたが、許可を出した責任はないのか。あんな生命の危険があったのに許可を出した責任は誰も取らないのが。 あれだけの危険があるのに許可を出して良いのか。 あれだけの危険があったのに許可権者は誰も責任を取らないのか。
No145	私はカジノ構想に賛成でした。横浜市は法人が少ない上に日産自動車さん工場縮小など横浜市にとって財源が東京と比べられる比率じゃない程です。ある程度の財源確保、市民の福祉還元などできる様にして住みやすい環境作りを願いたいです
No146	旧来の概念に囚われずに、統合リゾート開発を含めた検討をすべきでは?先ず否定から入る検討は、イノベーションを起こさず、発展の阻害にしかならない。
No147	個人的には、IR 型統合リゾートの開発は賛成でした。ベイエリアという立地や横浜ブランドをベースに、国内、地元、インバウンド向けの統合リゾート施設を希望します。
No148	なんとなく
No149	人口減の中、将来、横浜が世界の中で生き残れるように、IR 事業の再考をお願いします。
No150	みなとみらいの商業施設を見る限り、特定日以外では全く賑わっていないと思います。毎日賑わいをもらたせば、それだけ経済効果もあり、市民にも還元されます。 人口が

	更に減少する中で、なぜ IR 事業をやめたのか、IR 事業を絡めて検討して、国内だけでなく世界中から人が集まるようにしなければ、未来の横浜に賑わいはないと思います。
No151	個人的には IR は誘致して欲しかったです。これから少子化で税収も減っていき、高齢者を支えないといけないのに新たな財源確保は必要かと思います IR が無理ならカジノのない IR はどうでしょうか クルーズが止まるのですから、カジノが無理ならカジノ抜きの IR を作って欲しい
No152	カジノや室内植物園を含む総合テーマパークがほしい 但し市の財政に貢献するもの
No153	消費・雇用の創出、周辺地域で働く人々の収益向上、より良い労働環境の確保等を図ることにより、市民生活を支えるまちづくりを行う。　ゴールデンウィークの市庁舎公開のときに、職員が何人も何人も３階のゲートを出入りしていましたが、より良い労働環境の確保等が行われているのですか。夜遅くまで市庁舎を見ると灯りがついている階がありますが、より良い労働環境の確保等が行われているのですか。
No154	IR により国内外からの観光客収入で税収を増やしてください
No155	競馬場を作ってほしい
No156	特になし
No157	過度に市民を意識した結果、外部の人にとって、他の都市や施設と比べ相対的に魅力がなくならないようにして欲しいです。　山下埠頭（横浜）は、そこを経由して他の観光地に行くことが、立地の観点から東京や大阪と比べて難しいと考えます。カジノを含む IR の再検討も含め、どのように集客するかはよく検証して欲しいです。
No158	インバウンドの潮流に乗れるよう、山下埠頭も再開発すべきだと思う。カジノのようなものがあっても良いと思う。
No159	必要ないのでみどり税廃止してほしい。
No160	IR の誘致を検討していただきたい。 横浜市の税収の増加につながる。
No161	カジノを作ってください。 かつての横浜がそうであったように、大人のための大人の遊び場が必要だと思います。 昨今はどこも大人子ども向けの施設ばかりで辟易します。
No162	IR に変わるような海外の富裕層が国内にきたらとりあえず立ち寄るような仕掛けをしてほしい。 羽田空港成田空港からのアクセス強化やエンターテイメントの導入 可能であれば IR を再度誘致してほしい
No163	カジノを作って 運営会社には法人税とは別にカジノ税を払ってもらう。 横浜市民から巻き上げてる、固定資産税、住民税を安くして。
No164	横浜市長 殿　横浜市財政改善に向けたカジノ誘致提案書　拝啓　横浜市は人口減少、税収減少、社会保障費増大により財政難が深刻化しています。現状を打開するには、市内外から新たな投資と需要を呼び込む成長戦略が不可欠です。その有力策として、外資導入を前提とした統合型リゾート IR カジノ誘致を提案いたします。　カジノを核とする IR は、海外大手運営企業の資本投入により、市の初期負担を最小化しつつ大規模観光施設を整備できます。これにより、海外富裕層を中心としたインバウンド需

	要と国内観光需要を同時に獲得可能です。周辺宿泊、飲食、小売、交通業など関連産業の活性化も期待できます。　財政改善策としては、土地使用料や許認可料の徴収、カジノ収益への課税と入場料収入、雇用創出による市民所得増と消費拡大、収益の一部をインフラ整備、福祉、教育へ再投資することなどが考えられます。直接・間接雇用を合わせ数千から数万人規模の雇用創出も見込まれます。　併せて、依存症対策の徹底、治安維持のための警備や監視強化、市民説明会の実施により、安全性と透明性を確保します。　IR 誘致は、外資導入、需要創出、雇用拡大を同時に実現し、横浜市の財政基盤強化に資する現実的かつ持続的な施策です。本提案が市政運営の一助となれば幸いです。　敬具
No165	サーキット場　F１誘致 高級ホテル カジノ（無理か） エグゼクティブ セレブに受ける街作り 日産も頑張る
No166	横浜市として稼ぐ場所にならないといけない。稼げない観光地は要らない。 IR を再誘致し、横浜ならではの IR とすべき。 ※IR 以外で稼げる場所にできるのであれば、それでもよい。テーマパークは、横浜イメージと合うの　市外の人からは、横浜はみなとみらいのイメージが強いがなんの観光価値はほとんどなく、観光収益があるわけではない。
No167	花火大会でのニュースで大々的に取り上げられた事故がありましたが、許可を出した責任はないのか。あんな生命の危険があったのに許可を出した責任は誰も取らないのが。 あれだけの危険があるのに許可を出して良いのか。 あれだけの危険があったのに許可権者は誰も責任を取らないのか。
No168	税収を上げるためには、高級カジノ&高級ホテル、しかないと思う。 カジノ高級ホテルなどを、ふるさと納税返礼品にして税収をアップする！ 横浜市は時代先駆者にならないとダメ！
No169	IR 計画の再考を強く望みます
No170	全国的なニュースになった海上での花火打ち上げで大勢の人達に危険を及ばした事故について、海上で花火を打ち上げる許可を出した職員や職場や責任者に責任は無いのですか。
No171	失敗の未来しか見えない。カジノ作ろう。
No172	高い市民税とってこれか。失敗の未来しか見えない。カジノ作ろう。
No173	法的拘束力のない方向性を示すと、今まで行えなかったことができるようになるのですか。沈みそうな船が多く見られますが法的拘束力のない方向性を示して対策が可能になるのなら、何故今まで対策しなかったのですか。　全国的なニュースになった花火を継続することは市民や観光客の生命身体に危険があったにも関わらず問題は無いのですか。 市民や観光客の生命身体に危険を与えた責任は誰にあるのですか。
No174	カジノ施設を作って内外のお金持ちに滞在してもらって、お金を落としてもらうんじゃなかったんですか？
No175	私はカジノ構想に賛成でした。横浜市は法人が少ない上に日産自動車さん工場縮小など横浜市にとって財源が東京と比べられる比率じゃない程です。ある程度の財源確保、市民の福祉還元などできる様にして住みやすい環境作りを願いたいです

No176	特にありません。
No177	一度無くなってしまったカジノ建設計画を復活させてはどうかカジノ＝博打と言い張るアタマの固い頑固おやじを中心に廃案に追い込まれたが、アメリカのラスベガスを参考にしてもらえばわかるように、ディズニーランドのような一大レジャーランドとなりえます。そうなればふるさと納税によって流出してしまった住民税分を補えるし、古くなった下水道設備のメンテナンス、子ども世帯への給付をもっと手厚くすることもできます。いまだにカジノ＝悪と考える老人世代はこれから納税することもないだろうから、その世代の反対意見に屈することなく、大胆なアイディアで安心安全な街と税収アップを両立する開発を行ってほしい。
No178	世界から選ばれる象徴的な賑わいの創出、新たな活気って大袈裟で、例えば何？と思う。IR カジノ今からでもやるべき。
No179	v
No180	日本初のカジノでいいのでは。横浜市はカジノで売上を上げて、市民税を安くしてほしい
No181	未だに、カジノを建てていただきたいと思っています。カジノ・オンラインカジノ・など、何故と思うような人が手を出している。それも優秀な人たちだ。私どもには何故、手を出したのかわからない。違法性があるのにも関わらずにだ。だから、公営のカジノを設ければ、安全に賭け事が出来る。安全に息抜きが出来るのだ。街中にある公営ギャンブルを移転させて、健康的に大人が安全に遊べるようにしてほしい。街中にできた跡地は、その市町村が跡地の利用を考えれば良いだけだと思います。
No182	過去の遺産を食いつぶす横浜市はもっと大きな変革が必要です。港湾関係の再編や新技術による未来的な都市の創出に向けた規制緩和、再度の IR 誘致などによる横浜西側全体の大規模再開発による、観光等のお金が落ちる仕組みの創出。
No183	全国的なニュースになった海上での花火打ち上げで大勢の人達に危険を及ばした事故について、海上で花火を打ち上げる許可を出した職員や職場や責任者に責任は無いのですか。
No184	（空欄）
No185	なし
No186	なし。なんとなく
No187	特になし
No188	（空欄）
No189	許認可を出している所属の責任職や職員が、許認可を申請する会社が多く参加している横浜港船員スポーツ大会に、ソフトボールのチームとして参加するのは利害関係者との接触指針などの法令に抵触しないのですが。違法な行動にはならないのですか。
No190	委託契約を結んでいる会社とソフトボールの練習などをすることは、横浜市は問題ない当たり前の行動ですか。 契約の透明性かつ公平性が必要だと思います。
No191	特にありません。
No192	特になし

No193	（空欄）
No194	なし
No195	横浜は住みやすい街ですが、道路のインフラの整備が遅れている地域が多いと思います。私の知る範囲では、上大岡駅周辺（せっかく再開発したのに、地権者の権力によりいびつな開発箇所がある。特に駅周辺の脇道は、規制もないため多くの車の乱雑な走行が目立つ。
No196	特にありません
No197	特に無し
No198	横浜北部地域の道路拡幅整備の促進
No199	経済効果を考えて、カジノ（IR）を含めたホテル、オフィス、ショッピングモール、観光、MICE、文化、芸術、エンターテインメント、公園などの複合施設ができてほしいです。横浜らしいレンガ造りの街並みを海岸沿いに作って、高層部はガラス貼りのビルで、低層部はレンガ作りの商業施設で山下ふとうから馬車道までの海岸沿いの街並みの一体感を作ってほしいです。建物全体にスポットライトであてて、夜の街のシンボルとなるような存在になってほしいです。散歩やジョギングの執着地点になってほしいです。ラスベガスのベラージオホテルの噴水ショーを見るために、散歩したくなるような、市民にとってお金かけなくても楽しめる憩いの場になってほしいです。ぜひ中村川と掘割川の遊歩道を整備して、「磯子・海の見える公園」から「山下ふとう」まで全長 7km の散歩ルートを作ってほしいです。また、水上バスも作って、川の沿線に水上バス停を作って、根岸駅と吉野町駅の中間地のバス便エリアの住民にとって新しい交通手段になってほしいです。
No200	（空欄）
No201	委託契約を結んでいる会社とソフトボールの練習などをすることは、横浜市は問題ないのですか、 契約の透明性かつ公平性に疑問が生じます。
No202	前に記載した通り
No203	特になし
No204	特になし特になし
No205	特になし
No206	7/5 に何かあるのかも
No207	横浜は関東大震災で大きな被害をうけた。近年、大地震が起きることを予想されているが、マンションの林立で人口が増えているにも関わらず、防災拠点が脆弱で、マンションに対しての備えは殆ど考えられていない。
No208	（空欄）
No209	（空欄）
No210	沈みそうな船が多くあると感じています。横浜市は何も対策をする責任は無いのですか。 何か対策をする責任があるとしたら所管は何処になりますか。 景観も悪化していると感じています。
No211	沈みそうな船が多くあると思っていますが、対応できないのか対応しないのか誤魔化

	さずに具体的に明確に教えてください。今まで実現しなかった実現できなかったことを、どの様に実現するのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。それとも今後とも対応しないのか教えてください。市役所関係の執務室に土日も夜遅くまで明かりがついていますが、景観デザインのためですか。脱炭素の行動と逆行していると言わざるを得ません働いている職員がいるなら労働時間を把握されていて時間外手当を支払っているのですよね。サービス残業が発生していることはありませんよね。 沈みそうな船が多くあることは景観デザインを悪化させていると思います。対策しないのか、対策できないのか誤魔化さずに具体的に明確に教えてください。
No212	法的拘束力のない方向性を示すと、今まで行えなかったことができるようになるのですか。沈みそうな船が多く見られますが法的拘束力のない方向性を示して対策が可能になるのなら、何故今まで対策しなかったのですか。 沈みそうな船が雨や風で沈みそうですが景観デザインを考えるうえでは対策を行うことが今までても必要だったのではありませんか。 対策しなかった責任は誰にあるのですか。
No213	特に意見は無い
No214	（空欄）
No215	経済効果を考えて、カジノ（IR）を含めたホテル、オフィス、ショッピングモール、観光、MICE、文化、芸術、エンターテインメント、公園などの複合施設ができてほしいです。横浜らしいレンガ造りの街並みを海岸沿いに作って、高層部はガラス貼りのビルで、低層部はレンガ作りの商業施設で山下ふとうから馬車道までの海岸沿いの街並みの一体感を作ってほしいです。建物全体にスポットライトであてて、夜の街のシンボルとなるような存在になってほしいです。散歩やジョギングの執着地点になってほしいです。ラスベガスのベラージオホテルの噴水ショーを見るために、散歩したくなるような、市民にとってお金かけなくても楽しめる憩いの場になってほしいです。ぜひ中村川と掘割川の遊歩道を整備して、「磯子・海の見える公園」から「山下ふとう」まで全長 7km の散歩ルートを作ってほしいです。また、水上バスも作って、川の沿線に水上バス停を作って、根岸駅と吉野町駅の中間地のバス便エリアの住民にとって新しい交通手段になってほしいです。
No216	全然関係のない話で申し訳無いのですが、日産の工場閉鎖に伴う、日産の協力会社（下請け会社）の売上減が心配です。 横浜市内には高い技術を持つ町工場がたくさんあります。技術者の生活が守られるよう、仕事の支援を行政にお願いしたいです。 また、工場閉鎖に伴い仕事を失った人への支援にも目を向けていただけると嬉しいです。よろしくお願いします。
No217	沈みかけているように見える船が多く集まっている場所が、あちらこちらにあるように思えます。 海上交通の邪魔になっているとしか思えません。 問題がないから放置プレーをされているのですか。 震災等の災害時に海上輸送の障害としか思えません。観光都市横浜からして問題はありませんか。
No218	計画的に契約をしている会社とソフトボールなどのスポーツを一緒にすることは利害関係者との接触指針に違反していませんか。大黒ふ頭中央緑地運動施設で行われた横浜港国際船員スポーツ大会で、契約先の会社とソフトボールなどをしていませんでし

	たか。 公平性透明性のある契約とかけ離れていませんか。
No219	許認可を出している所属の責任職や職員が、許認可を申請する会社が多く参加している横浜港船員スポーツ大会に、ソフトボールのチームとして参加するのは利害関係者との接触指針などの法令に抵触しないのですが。適法な行動ですか。
No220	契約の透明性かつ公平性が必要不可欠だと思います。 球技などの練習をを長年したり、大会に一緒に出たりするなどの疑わしい行動のない透明性の高い契約が必要不可欠です。
No221	横浜港スポーツ大会でソフトボールをすることが利害関係者との接触指針に抵触しないか調査して公表してください。
No222	委託会社の職員とソフトボールの練習を行ったり横浜港国際船員スポーツ大会に別々のソフトボールのチームとして参加するのは横浜市は認められているのですか。国などは利害関係者との接触指針に違反する行為に該当するので懲戒処分の対象みたいです。横浜市は国と異なります認められた行動ですか。
No223	本アンケートは、「横浜市は（市長ほか「個人」ではなく、行政の総意として）どうしたい」と、表明する前のあくまでも手続きとして意見募集というかたちをとっているのでは、と邪推します。
No224	（空欄）
No225	それよりもまず本牧まで電車を通して下さい。 少子化が進み、住みやすい本牧が電車が無いことにより 更に若年層が町から離れていきます。 残るは高齢ばかり。 これでは、ゴーストタウンになるのも時間の問題でしょう。
No226	あ
No227	金もってる外国人しか来ないから、そろそろ免税やめて税金とりません？
No228	いらん。
No229	（空欄）
No230	8/4 の花火は、花火自体の事故が発生してしまいはしたものの、運営には素晴らしさを感じる部分がありました。 具体的には、交通整理や鉄道への影響と言う観点で大きな事故なく始まりから終わりまで運営されていたのは成果だったと感じました。
No231	花火大会でのニュースで大々的に取り上げられた事故がありましたが、許可を出した責任はないのか。あんな生命の危険があったのに許可を出した責任は誰も取らないのが。 あれだけの危険があるのに許可を出して良いのか。 あれだけの危険があったのに許可権者は誰も責任を取らないのか。
No232	（空欄）
No233	（空欄）
No234	（空欄）
No235	（空欄）
No236	根岸森林公園隣接の米軍駐留地区に牧場があってもよい、都会にいながら牛、馬がいてその後ろに富士山があるような風景を期待
No237	おもろいね

No238	沈みそうな船が多くあると感じています。横浜市は何も対策をする責任は無いのですか。 何か対策をする責任があるとしたら所管は何処になりますか。
No239	市民の税金を使って人を動かしているんだから、意思決定に重みをしっかり市長も持ってほしい。
No240	全国的なニュースになった海上での花火打ち上げで大勢の人達に危険を及ばした事故について、海上で花火を打ち上げる許可を出した職員や職場や責任者に責任は無いのですか。 生命身体に危険が及んだのに今後とも続けるのですか。 生命身体より花火大会が大切ですか？
No241	沈みかけているように見える船がたくさんあるように思えます 台風や雨などで沈んでしまいそうな船もたくさんあるように思えます　雨や風などで船が沈んでしまう可能性があっても気にしていないのですか
No242	下記欄に書き込みます。
No243	（空欄）
No244	今までの意見の通り
No245	特になし
No246	特になし
No247	わからない
No248	特になし
No249	山下ふ頭へは１度しか行ったことが無い。正直あんなところ、誰が行くんだろう？と思っています。カジノができたら行ったかもなぁ程度です。
No250	海外のオンラインカジノで日本円が溶かされるくらいなら横浜にカジノ作ってほしかった
No251	考えた事がありません。
No252	なし
No253	特になし。
No254	特に意見はございません
No255	特になし
No256	特になし
No257	特になし
No258	特にありません
No259	特にありません。
No260	特に意見ないです
No261	特にありません
No262	特にありません
No263	特にありません
No264	特に意見はない
No265	ありません

No266	特になし
No267	なし
No268	特になし
No269	特にない
No270	特にないです
No271	意見なし
No272	IR を潰したことは間違いだったと、白旗を上げたらどうですか？以上
No273	街路樹は横浜市のシンボルだと思います。
No274	・防空基地ウクライナ戦争に於いて、防空設備に守られたは首都機能官公庁や基地は、攻撃に於いてミサイルの着弾は出来ず、ロシアの攻撃対象は商業施設、学校や病院と成って居る。横浜は首都東京から近いが、防衛範囲からは外れていて丸裸同然である。パトリオットミサイルは全土をカバーして居る訳ではなく、狭い範囲のみである。防災に於いて語られることはあっても、戦争に関しては語られる事は無く、360 萬人の人口を要する横浜市は災害、戦争には脆弱である。
No275	国立の犯罪者特別厚生施設。再犯率の高い性犯罪者や麻薬常習者等を収容して、教育と治療を徹底的に行う事により矯正して社会復帰を支える施設の設立。
No276	特にない
No277	特にない
No278	なし
No279	なし
No280	特になし
No281	現市長の公約でＩＲ廃止でしたが、それに変わる将来の横浜市の税収については、本当に「ノーアイデア」なんですね。本当に失望しています。
No282	特にない
No283	特になし
No284	-
No285	特になし
No286	特になし
No287	なかなか凡人には難しいことです。
No288	なし
No289	山下埠頭とは直接関係ない事ですが今回は毎回入力させられていた項目がなくて良かった。其れとアンケートに直接関係ない通知が何時もあるのは煩わしいし、おかしなところに繋がるかもなどとの記載があり在りますがアンケートをされる側は調子いいなと思います。その様な事にならない様にするのがアンケートをされる側の責務てはないのかなと思いますがどうですか。
No290	時間がないので後にします。
No291	公営ギャンブルがよくてカジノがダメなの分かりません

No292	何故、カジノがダメなのかわかりません
No293	なし
No294	特にない
No295	得になし
No296	特にない
No297	特になし
No298	特に意見がありません。
No299	特になし
No300	なし
No301	青葉台駅周辺並びに田奈駅周辺の再開発早期実施
No302	特にない
No303	質問の指示が良く理解できません。いつもは氏名やメルアドを入力してアンケートが開始されますが、このアンケートは氏名などの入力なく始まりました。フェイクアンケートでない事を願っています。
No304	特にありません。
No305	特にありません
No306	特になし
No307	特にない
No308	お任せします。
No309	特にない
No310	論点が外れてしまいますが年金生活者はあまりにも酷い物価高に対応するためだけに手持ちのお金でやりくりしています手取りを上げて物価高対策など愚の骨頂です今やるべきことを真剣に考えていただきたい
No311	意見は無し。
No312	特になし
No313	福島県原発の表面利離土壌の再利用（リサイクル）は、とくに神奈川県が積極的に手を挙げているが、最近そういうことはやめてもらいたい。 低濃度の長期被ばくについては、現地でも取り沙汰されており、神奈川県のリサイクル使用が適当とは思えない。　低濃度であっても建設度に混ぜ合わせて使うなどはデータがないばかりか住民に与える健康被害など真剣に考えてもらいたい。むしろ東京電力の方がそのキケンをよく知っていると思う。
No314	（空欄）
No315	（空欄）
No316	（空欄）